

新潟医療福祉大学

年 報

2020（令和2）年度

Annual Report 2020

Niigata University of Health and Welfare

はじめに

学長 西澤 正豊

2020年度の年報が完成しました。作成にご尽力をいただきました関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

前年度よりペーパーレスの時代に対応するため、冊子体の作成を廃し、データは大学のホームページ上に公開することとして、ご希望の方々にはCD-ROMとして配布しています。また、県外の医療福祉系大学や県内大学・県立図書館への配布も中止しました。学内の皆様には、ご自身の1年間の活動を自己点検・評価する資料として、大学ホームページより必要な部分をダウンロードして、有効にご活用いただきたいと思います。

本学は昨年10月に大学機関別認証評価を受け、適合の判定を受けました。毎年の年報は、このための重要資料となります。次回の評価は7年後に予定されていますので、毎年の年報をしっかりと積み重ねて、準備を進めてまいります。

前回から年報作成のためのワード入力と教員業績評価のためのエクセル入力の書式をエクセルに統一し、提出先も一本化しました。皆様の自己点検・評価の結果は教員業績評価の基礎となる重要な資料となりますが、今後はこれを人事考課にも反映させて、皆様のエンゲージメントを高めるためにも活用してまいります。

本学は2030年に向けて持続可能な発展を遂げるために、新たに10年間の長期目標、その前半5年間の中期目標・計画、さらにその前半3年間のアクションプランを策定したばかりです。当面のアクションプランを達成するには、皆様一人一人の活動と、皆様の連携による協働作業が不可欠です。皆様の活発な活動により、これら将来計画が具体化されてまいりますので、今後とも大学の諸活動に積極的に取り組んでいただきますよう、何卒宜しく願いいたします。

目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念	1
2) 教育内容の特色等	2
3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」	2
2. 沿革	3
3. 組織	
1) 組織図	8
2) 役職者	9
3) 教員数	11
4. 学年暦	12
5. 管理運営	
1) 総務会	27
2) 大学院委員会	29
3) 合同教授会	31
4) 研究科委員会	32
5) 各種委員会活動	32
(1) 危機管理委員会	32
(2) 人権委員会	33
(3) 個人情報保護委員会	33
(4) 安全衛生委員会	34
(5) 将来計画機構（教育研究機器の更新に関する選定委員会）	34
(6) 自己点検・評価委員会	35
(7) 教員選考委員会	35
(8) 外部評価準備委員会	35
(9) 教務委員会	36
(10) 学生委員会	37
(11) 入試委員会	38
(12) 広報委員会	38
(13) 交通安全委員会	39
(14) 国家試験・資格試験対策委員会	40
(15) 教育開発委員会	40
(16) FD委員会	41
(17) 健康管理センター運営委員会	42
(18) 就職センター運営委員会	42

(19) 国際交流センター運営委員会	43
(20) 教職支援センター運営委員会	46
(21) 地域連携推進センター運営委員会	46
(22) 産官学連携推進センター運営委員会	47
(23) 新潟連携教育研究センター運営委員会	47
(24) Sports & Health先端科学研究センター運営委員会	48
(25) 図書館・学習支援委員会	49
(26) 科研費対策委員会	50
(27) 研究奨励金委員会	50
(28) 学術委員会	50
(29) 倫理委員会	51
(30) 遺伝子組換え実験安全委員会	51
(31) 動物実験委員会	51
(32) 大学院教務委員会	52
(33) 研究プロジェクト演習 (UROP) 運営委員会	53
(34) 大学院入試広報委員会	53
(35) 大学院FD委員会	54
(36) 大学院教育研究環境委員会	54
6. 大学情報の公開と広報	
1) 公開講座等	55
2) 広報活動	55
7. 研究活動	
1) 学長	56
2) リハビリテーション学部	57
(1) 理学療法学科	57
(2) 作業療法学科	119
(3) 言語聴覚学科	131
(4) 義肢装具自立支援学科	140
3) 医療技術学部	151
(1) 臨床技術学科	151
(2) 視機能科学科	162
(3) 救急救命学科	170
(4) 診療放射線学科	174
4) 健康科学部	186
(1) 健康栄養学科	186
(2) 健康スポーツ学科	199

5) 看護学部	253
(1) 看護学科	253
6) 社会福祉学部	265
(1) 社会福祉学科	265
7) 医療経営管理学部	284
(1) 医療情報管理学科	284
8) プロジェクト研究センター	295
(1) アクアヘルス推進プロジェクト研究センター	295
(2) 言語発達支援センター	306
(3) 医療経済・QOL研究センター	307
(4) ロコモティブ症候群予防研究センター	309
(5) シティズンシップ教育実践研究センター	312
(6) スポーツカウンセリング研究センター	317
(7) アスリートサポート研究センター	317
(8) 身体教育研究センター	322
(9) 栄養科学研究センター	329
(10) 脳卒中リハビリテーション研究センター	331
9) 運動機能医科学研究所	333
10) 学内における研究助成金の採択状況	356
(1) 研究奨励金	356
(2) 学長裁量研究費	358
(3) 研究科長裁量研究費	358
(4) 外部資金獲得奨励金	358
11) 外部資金の獲得状況	361
(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費助成事業	361
(2) 厚生労働科学研究費補助金	367
(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧	367
12) 新潟医療福祉学会	368
8. 図書館	
1) 蔵書数	369
2) 年間受入冊数	369
3) 利用状況	369
4) データ推移	369
9. 学生関係	
1) 収容定員	370
2) 入試広報活動	371

3) 入学者選抜方法	373
4) 入学者選抜試験結果	374
5) 在籍学生数	375
6) 異動学生数	376
7) 学生生活	378
(1) 学生生活に関する指導	378
(2) オリエンテーション	378
(3) 健康診断	378
(4) 心理相談	378
(5) 奨学金制度	378
(6) 学生寮	379
(7) 学友会	379
(8) 大学祭	379
(9) クラブ活動	379
(10) 学生表彰	381
(11) 海外研修	385
(12) 学習支援センター	385
8) 強化指定クラブ成績	386
9) 国家試験・資格試験結果	388
10) 就職状況	388
10. その他	
1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園	390
(1) 定員	390
(2) 園児数	390
(3) 2020年度の主な行事	390

1. 大学の基本理念

1) 基本理念

開設時の学則で示された建学の精神は「本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、広く保健・医療・福祉に関する専門の学芸を教授研究し、豊かな人間性と高潔な倫理性を涵養し、保健・医療・福祉に関する指導的人材の養成を目指し、もって学術文化の発展に寄与し、人類の福祉の向上に貢献することを目的とする」である（2001年）。

この学則に基づき、大学の基本理念を次の3項目とする。なお2005年に健康スポーツ学科が開設されたので、以下の文章では「保健医療福祉スポーツ」と表記する。

(1) 優れたQOLサポーターを育成する大学

- ①保健医療福祉スポーツ分野の高度専門職者を育成する。
- ②保健医療福祉スポーツ分野の諸専門領域を横断的、融合的に理解する人材を育成する。
- ③対象者を全人的に理解し、支援する人材を育成する。

本学では全学科における人材育成の教育理念・目標の核心を、「対象者のQOL向上を考え、QOL向上のため支援を実践する人材育成」と設定し、上記①～③を実践する。教育課程の最初には専門分化でなく、保健医療福祉スポーツの分野を広く統合して考えられる人材育成を基本的目標とし、その上で高度に分化した専門職育成を行う。以上をまとめて、“優れたQOLサポーターの育成”としている。

(2) 地域社会のニーズに応える大学

- ①大学の教育研究情報の積極的公開・提供
- ②地域の関連専門職団体や関係機関と連携して行う研究会の開催、研究会への協力
- ③情報通信ネットワークによる保健医療福祉スポーツ施設、在宅介護支援機関等への支援
- ④社会人等特別入学試験、科目等履修生制、聴講生制度
- ⑤公開講座（エクステンションプログラム）開講

ア. 保健医療福祉スポーツ専門職・小中高教員向けのセミナー・研究会の開催

イ. 高校生など対象の夏季特別プログラムの実施

ウ. 市民公開講座、市民参加交流講座の開催

⑥社会的貢献－教職員・学生のボランティア活動の積極的推進

保健医療福祉スポーツサービスは、行政機関や各種施設の職員、家族・親族、ボランティア団体、住民など多様な人々によって担われる。保健医療福祉スポーツ分野の大学である本学が、専門的学術情報を中心として地域の連携拠点として機能することにより、多様な活動を有機的に結び付け、より一層地域全体としてサービス水準の向上を図れるものと考ええる。

また、本学学生のみならず、広く社会人に対して門戸を開き、更に地域の保健医療福祉スポーツ水準向上のため、関係機関や行政と密接に連携をとりつつ可能な限り地域住民の保健医療福祉スポーツ活動に寄与するよう努める。

(3) 国際社会に貢献する大学

- ①人的交流－教員の交流・留学生の受入れや学生の派遣
- ②日本周辺諸国との保健医療福祉スポーツ分野における交流のシンポジウム・ワークショップなどの開催

保健医療福祉スポーツ分野でも「発信」型の国際交流が望まれる。中国、韓国、台湾、東南アジア諸国では、程度の差はあれ、工業化、都市化、核家族化、長寿化、伝統的な家族意識の崩壊などの諸要因によって、一人暮らしや老夫婦だけの高齢者世帯が増え、健康問題、保健医療問題、介護問題などの生活問題を抱えはじめている。このような変化はまさしく我が国が辿った過程であり、その先には保健医療福祉制度の見直しや、高度専門職者育成など諸課題が生じることが予測される。

我が国が周辺諸国から期待されている役割を果たす意味からも、これらの課題に取り組み、我々の高齢社会に於ける経験に基づく有用な情報を積極的に発信し、国際的に貢献するよう努める。

2) 教育内容の特色等

本学は教育理念と教育目標を基本理念とは別に定めているのが特徴であるが、基本理念（1）の具体概念と考えられる（再出）。教育理念（目的）は「医療福祉分野に対する社会的要請に応えるべく、豊かな人間性と高潔な倫理性に立脚し、高度な専門性に加えて他の専門領域をも横断的・融合的に理解し、研究し、実践し、教育する人材を養成する」、教育目標は「保健医療福祉スポーツの4分野を統合的に考え、他のスタッフと協力しながらQOL（=いかによく生きるか）を総合的に考え、豊かなコミュニケーションで対象者のQOLを支える「優れたQOLサポーター」を育成する」である。

上記の目的・目標を達成するため、それぞれの学科におけるカリキュラムは、その名称が示す内容の国家資格等の受験資格を取得することができるように設定し、育成する“人材像”は次の通りである。

- ①対象者のQOL（生活の質、生きる質、健康の質）を自ら考え、その向上を実践する人材
- ②多様な価値観に寛容であり、対話ができる人材
- ③保健医療福祉スポーツ分野の複数の職種の人たちとチームアプローチができる人材
- ④教養的知識と専門的知識・技能をバランス良く身につけている人材
- ⑤保健医療福祉スポーツおよび一般社会における情報化に対応できる人材
- ⑥異文化理解・コミュニケーションの手段として外国語を使い、自ら発信できる人材

3) 「優れたQOLサポーターの育成」を達成するための「5つの要件」

「優れたQOLサポーター」とは、保健医療福祉スポーツ分野を総合的に捉え、他分野のスタッフと協力しながら、対象者のQOL（=いかによく生きるか）をいつも考え、その人を全人的に支える人材を意味する（再出）。

本学では「優れた」を満たす要件として、次の5項目を設定した（2010年）。

- ①科学的知識と技術を活用する力（Science & Art）
- ②チームワークとリーダーシップ（Teamwork & Leadership）
- ③対象者を支援する力（Empowerment）
- ④問題を解決する力（Problem-solving）
- ⑤自己実現意欲（Self-realization）

「5つの要件」を表す英語の頭文字を取ってSTEPSとまとめている。なお保健医療福祉スポーツ分野でエンパワメント（Empowerment）は、「対象者自身が自分らしく生きる力（自己決断力）および権利（自己決定権）」を意味するので、上記③を厳密に表現すれば「対象者のエンパワメントを支援する力」となることを付記する。

2. 沿革

年	月	事 項
1996年 (平成8年)	4月	大学設立構想検討開始
1997年 (平成9年)	1月	大学設置準備室設置
1999年 (平成11年)	6月	財団法人新潟医療福祉大学設立準備財団設立許可(文部省)
2000年 (平成12年)	12月	新潟医療福祉大学 設置認可(文部省)
	12月	学校法人新潟総合学園 設立認可(文部省)
	12月	理学療法学科 理学療法士学校の指定
	12月	作業療法学科 作業療法士学校の指定
	12月	言語聴覚学科 言語聴覚士学校の指定
2001年 (平成13年)	2月	校地・校舎 竣工
	3月	健康栄養学科 管理栄養士養成施設・栄養士養成施設の指定
	4月	新潟医療福祉大学開学(2学部5学科設置) ・医療技術学部 理学療法学科(入学定員40名), 作業療法学科(入学定員40名), 言語聴覚学科(入学定員40名), 健康栄養学科(入学定員40名) ・社会福祉学部 社会福祉学科(入学定員100名)
	4月	新潟医療福祉大学竣工・開学式典
	4月	新潟医療福祉大学 第1回入学式
	4月	新潟医療福祉大学 第2回入学式
2002年 (平成14年)	4月	新潟医療福祉大学 第2回入学式
	9月	第2厚生棟 竣工
2003年 (平成15年)	4月	新潟医療福祉大学 第3回入学式
2004年 (平成16年)	4月	新潟医療福祉大学 第4回入学式
	11月	新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科(修士課程:保健学専攻・社会福祉学専攻)の設置認可
2005年 (平成17年)	1月	第3研究棟, 体育棟, 第2実験実習棟 竣工
	3月	新潟医療福祉大学 第1回卒業式
	3月	健康栄養学科(栄養教諭一種免許) 教員免許課程の認定 健康スポーツ学科(中・高教諭一種免許(保健体育)) 教員免許課程の認定
	4月	大学院医療福祉学研究科設置 保健学専攻, 社会福祉学専攻開設(入学定員40名)
	4月	医療技術学部健康スポーツ学科開設(入学定員60名)
	4月	医療技術学部理学療法学科入学定員増(入学定員80名)
	4月	新潟医療福祉大学 第5回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第1回入学式
	4月	ハルビン医科大学第一臨床医学院(中国)との学術交流協定の締結
	9月	看護学科 保健師学校・助産師学校・看護師学校の指定

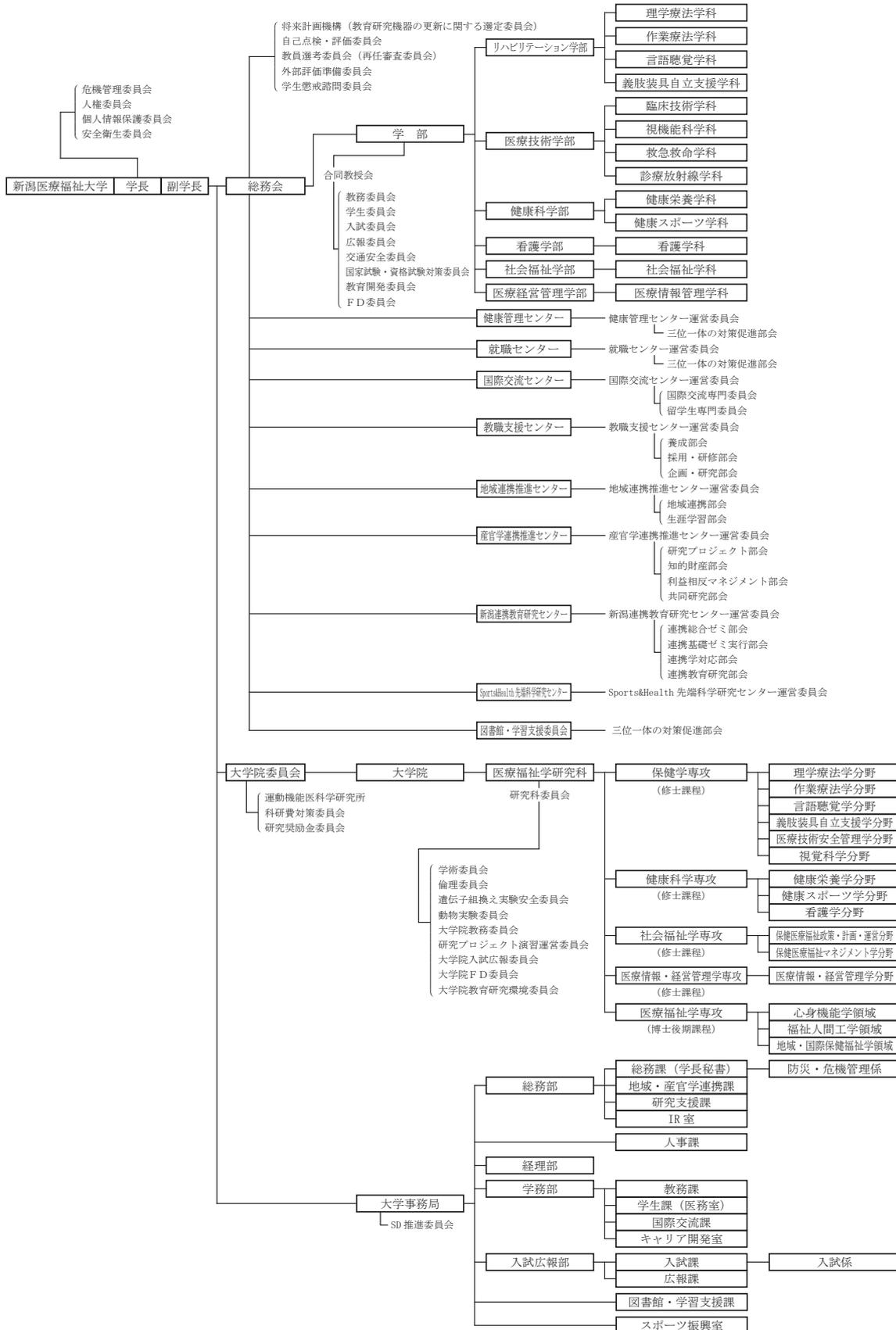
	7月	国立シリントン・リハビリテーションセンター（タイ）との学術交流協定の締結（義肢装具自立支援学科）
	9月	キングストン大学（イギリス）およびロンドン大学セントジョージ校（イギリス）の健康社会福祉科学学部との国際交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国の4カ国から8名の参加
2010年 (平成22年)	3月	新潟医療福祉大学 第6回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第4回修了式（学位記授与式）
	3月	第3厚生棟改修 竣工
	4月	医療経営管理学部医療情報管理学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第10回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第6回入学式
	8月	弘光科技大学（台湾）との学術交流協定の締結
	8月	アンヘレス大学財団（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の4カ国から5名の参加
	11月	運動機能医科学研究所 開設
2011年 (平成23年)	3月	新潟医療福祉大学 第7回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第5回修了式（学位記授与式）
	3月	第6研究・実習棟 竣工
	4月	医療技術学部臨床技術学科（入学定員80名）開設
	4月	新潟医療福祉大学 第11回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第7回入学式
	8月	ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部臨床技術学科（アメリカ）との学術交流協定の締結（臨床技術学科）
	10月	サント・トーマス大学（フィリピン）との学術交流協定の締結
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島・マーシャル諸島共和国・トンガ王国の5カ国から10名の参加
	10月	『新潟医療福祉大学』開学10周年記念式典開催
	12月	イーストアングリア大学看護・助産学校（イギリス）との学術交流協定の締結
2012年 (平成24年)	3月	新潟医療福祉大学 第8回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第6回修了式（学位記授与式）
	4月	新潟医療福祉大学 第12回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第8回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・マーシャル諸島共和国・キリバス共和国・ツバル・パラオ共和国の6カ国から7名の参加
2013年 (平成25年)	3月	新潟医療福祉大学 第9回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第7回修了式（学位記授与式）
	3月	第7研究・実習棟 竣工
	3月	硬式野球グラウンド 竣工
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増（入学定員160名）
	4月	新潟医療福祉大学 第13回入学式

	4月	新潟医療福祉大学大学院 第9回入学式
	5月	陸上競技グラウンド, テニスコート 竣工
	8月	台北榮民總醫院(台湾)との学術交流締結
	9月	視機能科学科 視能訓練士学校の指定
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2014年 (平成26年)	3月	新潟医療福祉大学 第10回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第8回修了式(学位記授与式)
	3月	第8研究・実習棟 竣工
	3月	屋内走路, 屋内野球練習場 竣工
	3月	公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において適合認定を受ける ※認定期間 平成25年4月1日～平成32年3月31日
	4月	医療技術学部視機能科学科(入学定員50名)開設
	4月	大学院修士課程医療情報・経営管理学専攻(入学定員4名)開設 ※入学定員の変更 保健学専攻18名, 社会福祉学専攻8名
	4月	新潟医療福祉大学 第14回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第10回入学式
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防に関する研修【フェーズⅡ】の実施 フィジー諸島共和国・バヌアツ共和国・ソロモン諸島の3カ国から11名の参加
2015年 (平成27年)	1月	クラブハウス 竣工
	2月	マヒドン大学(タイ)との学術交流協定の締結
	3月	新潟医療福祉大学 第11回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第9回修了式(学位記授与式)
	4月	健康科学部健康スポーツ学科 入学定員増(入学定員200名)
	4月	新潟医療福祉大学 第15回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第11回入学式
	4月	クイーンズ大学(カナダ)との学術交流協定の締結(作業療法学科)
	10月	JICAの要請による生活習慣病予防コース研修の実施 タイから14名の参加
2016年 (平成28年)	3月	新潟医療福祉大学 第12回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第10回修了式(学位記授与式)
	3月	第2講義棟, 第4体育館棟 竣工
	4月	医療技術学部理学療法学科 入学定員増(入学定員120名)
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増(入学定員8名)
	4月	新潟医療福祉大学 第16回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第12回入学式
2017年 (平成29年)	3月	新潟医療福祉大学 第13回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第11回修了式(学位記授与式)
	4月	第9研究・実習棟 竣工
	4月	医療技術学部救急救命学科(入学定員55名)開設
	4月	新潟医療福祉大学 第17回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第13回入学式
	11月	「リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合による先端的研究拠点-Sports & Health for All in Niigata-」が文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業として採択

2018年 (平成30年)	3月	新潟医療福祉大学 第14回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第12回修了式(学位記授与式)
	3月	第4研究・実習棟増築改修 竣工
	3月	新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園 竣工
	3月	学生寮「N-Village 伍桃」第1期工事(13棟311室, 共用棟) 竣工
	4月	リハビリテーション学部理学療法学科(入学定員120名)開設
	4月	リハビリテーション学部作業療法学科(入学定員50名)開設
	4月	リハビリテーション学部言語聴覚学科(入学定員40名)開設
	4月	リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科(入学定員40名)開設
	4月	医療技術学部臨床技術学科 入学定員増(入学定員100名)
	4月	医療技術学部診療放射線学科(入学定員90名)開設
	4月	看護学部看護学科(入学定員107名)開設
	4月	大学院博士後期課程医療福祉学専攻 入学定員増(入学定員10名)
	4月	新潟医療福祉大学 第18回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第14回入学式
	6月	スポーツ庁「大学横断のかつ競技横断の統括組織(日本版NCAA)創設事業」に採択
2019年 (平成31年)	3月	学生寮「N-Village 伍桃」第2期工事(13棟295室) 竣工
	3月	新潟医療福祉大学 第15回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第13回修了式(学位記授与式)
	4月	新潟医療福祉大学 第19回入学式
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第15回入学式
2020年 (令和2年)	3月	新潟医療福祉大学 第16回卒業式(COVID-19感染拡大防止のため中止)
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第14回修了式(COVID-19感染拡大防止のため中止)
	4月	新潟医療福祉大学 第20回入学式(COVID-19感染拡大防止のため中止)
	4月	新潟医療福祉大学大学院 第16回入学式(COVID-19感染拡大防止のため中止)
2021年 (令和3年)	3月	公益財団法人日本高等教育評価機構より大学機関別認証評価において適合認定を受ける ※認定期間 平成31年4月1日～令和8年3月31日
	3月	新潟医療福祉大学 第17回卒業式
	3月	新潟医療福祉大学大学院 第15回修了式(学位記授与式)

3. 組織

1) 組織図



2) 役職者

(1) 新潟医療福祉大学

学 長	西澤正豊
副学長	渡辺敏彦
副学長	丸田秋男
副学長	大山峰生
副学長	大西秀明
リハビリテーション学部長	大西秀明
医療技術学部長	鈴木 力
健康科学部長	西原康行
看護学部長	塚本康子
社会福祉学部長	丸田秋男
医療経営管理学部長	福島正巳
リハビリテーション学部	
理学療法学科長	大西秀明
作業療法学科長	大山峰生
言語聴覚学科長	山岸達弥
義肢装具自立支援学科長	東江由起夫
医療技術学部	
臨床技術学科長	中村藤夫
視機能科学科長	前田史篤
救急救命学科長	鈴木 力
診療放射線学科	笠原敏文
健康科学部	
健康栄養学科長	斎藤トシ子
健康スポーツ学科長	西原康行
看護学部	
看護学科長	松井由美子
社会福祉学部	
社会福祉学科長	渡邊敏文
医療経営管理学部	
医療情報管理学科長	柴山純一
図書館・学習支援委員長	山岸達弥
健康管理センター長	塙 晴雄
就職センター長	永井 徹
国際交流センター長	久保雅義
教職支援センター長	吉田重和
地域連携推進センター長	渡邊敏文
産官学連携推進センター長	児玉直樹
新潟連携教育研究センター長	松井由美子
Sports&Health 先端教育研究センター長	西原康行
学生部長	佐藤敏郎
図書館長	山岸達弥
大学事務局長	小野哲之

(2) 新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究科

研究科長 佐藤大輔

修士課程

保健学専攻長 阿部 薫
健康科学専攻長 佐藤大輔
社会福祉学専攻長 横山豊治
医療情報・経営管理学専攻長 瀧口 徹

保健学専攻

理学療法学分野長 久保雅義
作業療法学分野長 能登真一
言語聴覚学分野長 山岸達弥
義肢装具自立支援学分野長 阿部 薫
医療技術安全管理学分野長 長濱大輔
視覚科学分野長 増田 修

健康科学専攻

健康栄養学分野長 永井 徹
健康スポーツ学分野長 佐藤大輔
看護学分野長 宇田優子

社会福祉学専攻

保健医療福祉政策・計画・運営分野長 渡邊敏文
保健医療福祉マネジメント学分野長 横山豊治
医療情報・経営管理学専攻
医療情報・経営管理学分野長 瀧口 徹

博士後期課程

医療福祉学専攻長 佐藤大輔

3) 教員数 (2020年5月1日現在)

(1) 教員数

学部専任教員数 276名

(注1) 学長・副学長を含む。

(注2) 大学院担当者155名を含む。

(2) 学部別教員数 (注3)

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
リハビリテーション学部	(1)	15	6	15	16	0	52
医療技術学部		29	10	18	19	4	80
健康科学部		19	16	21	17	2	75
看護学部		5	4	4	3	7	23
社会福祉学部		10	5	2	6	3	26
医療経営管理学部		8	3	3	4	1	19
合計		(1)	87	46	53	69	21

(注3) 理学療法学科, 作業療法学科, 言語聴覚学科, 義肢装具自立支援学科は学部改組後の学年進行中のためリハビリテーション学部, 医療技術学部に教員数を分けて計上

(3) 学科別教員数 (注4, 注5)

学科	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	合計	
理学療法学科	(1)	9	4	9	13	0	35	
作業療法学科		4	0	2	5	0	11	
言語聴覚学科		4	3	4	2	0	13	
義肢装具自立支援学科		4	1	3	2	0	10	
臨床技術学科		7	3	6	2	3	21	
視機能科学科		6	0	2	3	1	12	
救急救命学科		5	1	4	4	0	14	
診療放射線学科		5	4	3	4	0	16	
健康栄養学科		5	4	5	4	1	19	
健康スポーツ学科		12	10	13	10	0	45	
看護学科		7	6	7	6	8	34	
社会福祉学科		10	5	2	6	3	26	
医療情報管理学科		8	3	3	4	1	19	
計		(1)	86	44	63	65	17	275

(注4) リハビリテーション学部：理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 義肢装具自立支援学科
 医療技術学部：臨床技術学科 視機能科学科 救急救命学科 診療放射線学科
 健康科学部：健康栄養学科 健康スポーツ学科
 看護学部：看護学科
 社会福祉学部：社会福祉学科
 医療経営管理学部：医療情報管理学科

(注5) 理学療法学科, 作業療法学科, 言語聴覚学科, 義肢装具自立支援学科は学部改組後の学年進行中のためリハビリテーション学部, 医療技術学部を合算した数で計上

4. 学年暦

- 4月 1日(水) ・【中止】辞令交付式
代替／学長挨拶文とともに辞令を人事課にて配布
(新任・重任管理職19名, 昇任等教員15名, 新任教員等22名, 合計56名)
- ・【中止】新任教職員事務局研修
代替／資料配布にて対応
- ・【中止】学生寮「N-Village 伍桃」入寮式・オリエンテーション
代替／資料配布にて対応, 相談窓口の設置
- ・学長メッセージ1を発信
内容／新型コロナウイルスに係る4月10日までの大学方針(大方針)
- 2日(木) ・【延期】新入生オリエンテーション
対応／4月27日にオンラインにて実施
- 3日(金) ・【中止】新任教員FD研修
代替／資料配布にて対応
- ・第3回危機管理対策委員会開催
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針等を決定
5月前期授業開始, メディア授業対応, 学外実習の延期, 強化クラブの活動休止等, 活動制限について決定
- ・学長メッセージ2を発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針(詳細)
- 4日(土) ・【延期】新入生基礎ゼミ(実践行動学I)
- 6日(月) ・【中止】入学式
代替／学長祝辞をWEBサイトで配信(祝辞を文書でも送付)
- ・【中止】後援会総会
代替／書面審議にて対応
- ・【中止】大学院オリエンテーション
代替／資料送付にて対応
- 7日(火) ・【延期】前期授業開始日
対応／5月7日授業開始日とし, 前期はメディア授業対応とする
- ・新型コロナウイルス対策として, 事務局の執務場所を分散
- 10日(金) ・第4回危機管理対策委員会開催
内容／授業開始日は5月7日, メディア授業の実施方針, 臨床実習の延期等について決定
- 11日(土) ・【中止】新入生歓迎会「桃迎会」
代替／クラブ・サークル活動の紹介等をオンラインで実施
- 13日(月) ・メディア授業に関するFD研修を実施
内容／5月7日の授業開始日まで12回実施
- 15日(水) ・図書館の休館を決定(当面の間)
- ・全学生のネット環境調査を実施
- 20日(月) ・教育担当副学長より「メディア授業実施に向けた方針」を発信
- ・学生食堂の休業を決定(当面の間)
- ・附属こども園の利用自粛を要請
- 23日(木) ・大学休業措置
対応／新潟県知事による緊急事態措置(大学への休業要請)に伴い, 5月6日まで入構

禁止, 教職員のテレワーク等を実施

- 25日(土) ・【中止】医療機関業界職種研究会
代替/5月27日, 29日に就職セミナーをオンラインで実施
- 27日(月)~30日(木)
・新入生WEBオリエンテーション実施
・メディア授業通信接続テストを実施
- 27日(月)~5月14日(木)
・履修登録期間
- 29日(水) ・第2回WEBオープンキャンパス開催
内容/申込者限定のサイトを公開
参加者数/703名
- 5月 7日(木) ・前期授業開講(メディア授業)
・第5回危機管理対策委員会開催
内容/5月20日までの大学方針を決定, 活動制限の延長, 現行措置解除に向けた方法の検討等
・学長メッセージ3を発信
内容/新型コロナウイルス対策に係る大学方針(5月20日まで)
- 11日(月) ・教職員のテレワーク要請を解除
- 20日(水) ・第6回危機管理対策委員会開催
内容/5月31日までの大学方針を決定, 活動制限の延長, 「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限レベル」の策定等
・学長メッセージ4を発信
内容/新型コロナウイルス対策に係る大学方針(5月31日まで)
- 23日(土) ・【中止】義肢装具企業説明会
代替/WEBにて企業情報を提供
- 29日(金) ・第7回危機管理対策委員会開催
内容/・6月1日~6月18日までの方針を決定
(主な方針)
・「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限レベル表」による制限の可視化を行う
・旧特定警戒5都道府県と感染拡大のある恐れがある地域への移動は自粛する(14日ルールの適用)
・新しい生活様式を守る中で, ①会食・カラオケの回避 ②マスク装着, 口・鼻に触れない ③健康観察と行動の記録の3項目を徹底する
・強化指定クラブの活動は活動計画書の提出をもって, チーム練習を段階的に再開する
・会議はオンラインの活用を継続する
・大学事務局職員の執務場所の分散は継続する
・学長メッセージ5を発信
内容/新型コロナウイルス対策に係る大学方針(6月18日まで)
- 6月 5日(金) ・福島県人会開催(オンライン) 参加者/21名
- 8日(月) ・図書館への来館による図書貸出を再開(予約制, 人数限定, 時間制限)
- 8日(月)~19日(金)
・学友会のクラブ, サークル紹介を実施(オンライン) 参加者/158名
- 10日(水) ・2020年度「夢を語る会」実施

- 各学科にて基礎ゼミ（オンライン）等で実施
- 13日（土） ・【延期】日本語プレイスメントテスト（1年生）
- 13日（土）、14日（日）
- ・第3回WEBオープンキャンパス開催
内容／申込者限定のサイトを公開，大学紹介等全38本の動画配信
参加者／受付1,983名
- 16日（火） ・第8回危機管理対策委員会開催
- 内容／・6月19日～7月9日までの方針を決定
（主な方針）
- ・「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限レベル表」による制限の可視化を行い，段階的な制限解除を目指す
 - ・感染拡大の恐れがある地域（東京・神奈川・埼玉・千葉）への移動は自粛（14日ルールを適用）
 - ・学内への立入りを許可制から届出制に緩和する
 - ・県内における学外実習は感染防御対策を行ったうえで再開する
 - ・図書館は段階的に使用制限を緩和する
 - ・臨床心理士等による学生相談はオンラインでの対応の他，対面が必要と判断される場合は許可する
 - ・大学事務局職員の執務場所の分散は継続する
- ・学長メッセージ6を発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（7月9日まで）
- 17日（水） ・創立記念日
- ・台湾・宜蘭県政府消防局式典に参加（オンライン）
内容／西澤学長，鈴木救急救命学科長，久保国際交流センター長，竹井救急救命学科教授がオンラインで式典に参加．西澤学長の祝辞，宜蘭県長・現地関係者との意見交換を実施
- 20日（土） ・同窓会役員会，総会開催（オンライン）
- 22日（月） ・新潟県人会佐渡支部開催（オンライン） 参加者／8名
- 22日（月）～7月3日（金）
- ・高等学校教諭対象2021年度入試WEB説明会開催
内容／大学紹介動画，2021年度入試説明動画等の配信
参加者／47校54名
- 23日（火） ・長野県人会開催（オンライン） 参加者／29名
- 25日（木） ・山形県人会開催（オンライン） 参加者／18名
- 26日（金） ・群馬県人会開催（オンライン） 参加者／8名
- 29日（月） ・沖縄県人会開催（オンライン） 参加者／7名
- 30日（火） ・秋田県人会開催（オンライン） 参加者／10名
- ・大学院オープンキャンパス「教えて大学院」開催（オンライン）
参加者／受付23名
- 7月 1日（水） ・学友会クラブ，サークルが活動計画書による段階的な活動を再開
- 4日（土）、5日（日）
- ・第4回WEBオープンキャンパス開催
内容／申込者限定のサイトを公開，大学紹介等全55本の動画配信
参加者／受付1,609名
- 8日（水） ・第9回危機管理対策委員会開催

- 内容／・7月10日～7月29日までの方針を決定
 (主な方針)
- ・「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限レベル」により現行の対策レベルを可視化, 当面の間, 現行の規制を維持
 - ・感染拡大の恐れがある地域への移動は自粛, 対象地域は感染拡大の状況により随時追加指定する(14日ルールを適用)
 - ・大学事務局職員の執務場所の分散は継続する
 - ・後期は学内実習・演習科目以外の講義系科目については, 原則メディア授業を継続する
- ・学長メッセージ7を発信
 内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針(7月29日まで)
- 17日(金) ・第10回危機管理対策委員会開催
 内容／・新型コロナウイルス感染の疑いがある学生が発生したため, 当該学生が陽性になった場合の対応について事前協議を実施
- 22日(水)～28日(火)
- ・薬物乱用防止講演会実施 ※オンデマンド形式
 内容①／公益財団法人警察協会ビデオライブラリーの視聴
 「STOP! 薬物乱用～断る勇気～」
 内容②／コロナ禍における夏季休業の過ごし方(学生部長)
 対象／1年生全員
- 23日(木) ・授業実施日(メディア授業)
- 24日(金) ・授業実施日(メディア授業)
- 26日(日) ・大学院オープンキャンパス開催
 内容／オンラインによる大学院案内, 教員による進学セミナー等
 参加者／21名(前年来場型による参加者15名)
- 28日(火) ・第11回危機管理対策委員会開催
 内容／・7月30日～8月26日までの方針を決定
 (主な方針)
- ・「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限レベル」により現行の規制(レベル1)を維持する
 - ・「感染拡大の恐れがある地域」として1都2府15県を指定し, 当該地域への移動は禁止とする. やむを得ない場合には「14日ルール」を適用する
 - ・「感染拡大の恐れがある地域」は夏季休業明けの8月17日に見直す
 - ・厚労省新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)に登録する
- ・学長メッセージ8を発信
 内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針(8月26日まで)
- 30日(木)～8月5日(水)
- ・学部／大学院前期定期試験実施
- 8月 1日(土) ・グローバルキャリア支援Meeting「第2回オンライン座談会」開催
 主催／国際交流センター
 講師①／山口大輔氏(元NBAアスレティックトレーナー)
 内容／「世界最高峰のスポーツ現場で活躍するために必要なこと」
 講師②／上松大輔氏(FC東京コンディショニングコーチ)
 内容／「スポーツ現場が求める資質」
 参加者／27名

- 1日（土）、2日（日）
- ・第94回北信越陸上学生対校選手権出場
結果／男子総合優勝（10連覇）
女子総合優勝（9連覇）
- 4日（火）
- ・第12回危機管理対策委員会開催
内容／・NSGグループコロナ対策本部から発出された「新型コロナウイルス8月以降のNSGグループとしての対応」について以下を確認した
 - ①「新しい生活様式」の徹底
 - ②「事業実施における共通対策事項」に則した運営
 - ③ 県外への不要不急の往來の禁止
- 5日（水）
- ・健康科学部健康スポーツ学科 定員増の認可
内容／入学定員：250人（変更前：200人）
変更時期／2021年4月
- 7日（金）
- ・大学休業日
- 8日（土）
- ・グローバルキャリア支援Meeting「第3回オンライン座談会」開催
主催／国際交流センター
講師／Mimi Nakajima (California State University, Long Beach Program Director)
内容／「アメリカのATCプログラムで学べること、学生に求めること」
参加者／10名
- 8日（土）、9日（日）
- ・第5回WEB型オープンキャンパス開催
内容／申込者限定のサイトを公開
大学紹介等新規動画17本含む全42本を公開
参加者／受付2,652名
- 10日（月）～16日（日）
- ・大学休業日
- 16日（日）
- ・天皇杯第100回日本サッカー選手権大会新潟予選出場
結果／優勝（5年連続5回目）
- 17日（月）
- ・危機管理対策委員会を開催し、感染拡大の恐れがある地域の見直しを実施
1都2府17県を指定した
- 17日（月）～19日（水）
- ・前期追試験、再試験実施
- 17日（月）～30日（日）
- ・個別対面型（来場形式）オープンキャンパス開催
参加者／52名
- 21日（金）
- ・大学休業日
- 25日（火）
- ・医療福祉求人説明会（WEB形式）開催
内容／リハビリ職を中心とした求人説明会をオンデマンドで実施
参加施設／100施設
 - ・第13回危機管理対策委員会開催
内容／・8月27日～9月24日までの方針を決定
(主な方針)
 - ・「新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動制限レベル」により現行の規制（レベル1）を維持する
 - ・「感染拡大の恐れがある地域」として1都2府19県を指定し、当該地域への移

- 動は禁止とする。やむを得ない場合には「14日ルール」を適用する
- ・後期授業開始に向けて「対面授業ガイドライン」「入構ガイドライン」を周知し、全学で統一した対応にあたる
 - ・学長メッセージ9を発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（9月24日まで）
- 28日（金） ・大学休業日
- 31日（月）～9月4日（金）
- ・2020年度連携総合ゼミ開催（オンライン開催）
参加者／123名
海外からの参加／中山医学大学、ハイズオン医療技術大学
- 9月 2日（月） ・学部9月卒業判定会議実施
結果／19名の9月卒業を認定
（作業療法学科6名、言語聴覚学科6名、義肢装具自立支援学科5名、看護学科1名、医療情報管理学科1名）
- 4日（金） ・学部9月卒業発表
- 5日（土）、6日（日）
- ・第6回WEB型オープンキャンパス開催
内容／申込者限定のサイトを公開、
大学紹介等新規動画17本含む全51本を公開
参加者／受付2,089名（前年来場型による受付実績／687名）
- 7日（月） ・大学休業日
- 9日（水） ・大学院9月修了判定会議実施
結果／2名の9月修了を認定（修士課程1名、博士後期課程1名）
- 11日（金） ・大学院9月修了者発表
・大学院オープンキャンパス開催
内容／オンラインによる大学院案内、教員による進学セミナー等
参加者／12名
- 11日（金）～13日（日）
- ・日本学生陸上競技対校選手権大会出場（ビッグスワンにて開催）
- 12日（土） ・第14回危機管理対策委員会開催（メール審議）
内容／・感染拡大の恐れがある地域の見直し
・「感染拡大の恐れがある地域の見直しを行い、あらたに1都2府5県を指定する。当該地域への移動は禁止とし、やむを得ない場合には「14日ルール」を適用する
・有効期間は9月12日から9月24日までとする
- 14日（月）～ ・連携基礎ゼミ（実践行動学Ⅱ）
新型コロナウイルス対策の為、時期を分散して実施中（2年生）
- 23日（水） ・9月卒業式、修了式挙行（本学にて）
卒業生／19名（作業療法6名、言語聴覚6名、義肢装具5名、看護1名、医療情報1名）
修了生／2名（保健学専攻1名、医療福祉学専攻1名）
- 23日（水）、24日（木）
- ・1年生オリエンテーション実施（4グループに分けて実施）
内容／学校生活全般の説明、後期授業開始に向けたコロナ対策について
- 24日（木） ・第15回危機管理対策委員会開催
内容／・9月25日～11月26日までの方針を決定

- ・感染拡大の恐れがある地域の見直しを行い、あらたに1都1府5県を指定。当該地域への移動は禁止とし、やむを得ない場合は「14日ルール」を適用する
- ・行動制限レベル表の改訂
- ・学長メッセージ10を発信
内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（11月26日まで）
- 25日（金）
 - ・後期授業開始
授業形態／講義系科目はオンライン型、実習・演習系科目は対面型で実施
対策／3つのガイドライン（対面授業実施ガイドライン、施設管理ガイドライン、学科ガイドライン）に基づく対応を実施
 - ・施設管理ガイドラインに基づいて入構口を2か所に限定し、入構者の検温チェックを開始
- 29日（火）
 - ・第16回危機管理対策委員会開催
内容／感染拡大の恐れがある地域を見直し、1都1府3県を指定
- 10月 3日（土）
 - ・総合型選抜入試（主体性一次、基礎教養）実施
志願者数／907名
※新型コロナウイルス感染症防止対策として、「新潟」会場に加え、「高崎」会場、「長野」会場を追加、また、これまでの対面型面接をオンライン型面接に変更し実施
- 11日（日）
 - ・第20回大学祭「伍桃祭」※オンライン開催
内容／特設サイトを設置し、クラブ・サークルを中心とした動画パフォーマンス、ゲストによるライブ配信など
総アクセス数／2,064件
 - ・第7回WEBオープンキャンパス開催
内容／申込者限定のサイトを公開、学校紹介等新規動画7本含む全58本を公開
参加者／受付者1,668名
- 17日（土）
 - ・総合型選抜入試（主体性二次）実施
志願者数／907名（合格者253名）
 - ・看護学科3年次編入試験実施
志願者数／1名（合格者数1名）
 - ・グローバルキャリア支援Meeting「第4回オンライン座談会」開催
テーマ／JICA海外協力隊の活動について
講師／講師2名（本学卒業生）
参加者／22名
- 17日（土）～18日（日）
 - ・第62回日本選手権（25m）水泳競技大会出場
結果／2種目で優勝、その他4名が入賞
（優勝者）
女子50mバタフライ 津田萌咲（健康スポーツ学科2年）※学生新記録
男子50m自由形 松井浩亮（職員）※2連覇
- 20日（火）、22日（木）
 - ・就職ガイダンス実施（3年生対象）
内容／一般企業への就職を希望する学生に対するオリエンテーション
参加者／対面型参加 70名、オンライン型参加 196名
- 23日（金）～25日（日）
 - ・U20全国陸上競技大会2020出場
結果／1種目で優勝、その他2名が入賞

(優勝者)

男子円盤投げ 中町真澄 (健康スポーツ学科1年)

- 24日(土) ・大学院第一次入学選考試験
志願者数/37名(合格者37名)
- 25日(日) ・第38回全日本大学女子駅伝対校選手権出場
結果/24位(出場25校)
- 27日(火)～28日(水)
・日本高等教育評価機構 大学機関別認証評価実地調査の受審
内容/オンライン面談にて実施(新型コロナウイルス対策のため)
- 28日(水) ・天皇杯JFA全日本サッカー選手権大会出場
結果/3回戦敗退 新潟医療福祉大学 0-2 福井ユナイテッドFC
- 31日(土) ・第19回新潟医療福祉学会学術集会 ※オンライン開催
内容/20周年特別講演:多職種連携による認知症の地域包括ケア
講師/西澤正豊学長
シンポジウム/健康寿命の延伸に対する取り組み 20年のあゆみとこれから
- 31日(土)～11月1日(日)
・第68回全日本バレーボール大学選手権大会 北信越予選出場
結果/北信越Bブロック優勝 インカレ出場決定 (7年連続7回目)
- 11月 3日(火) ・授業実施日
- 7日(土)～ ・保護者会開催 ※オンライン開催
内容/①後援会長挨拶 ②学長メッセージ ③大学事務局長運営報告
④学科長メッセージ,学科の取り組みなどを動画にて配信
視聴期間/11月7日～15日
・後援会役員会開催
内容/学長挨拶,大学運営報告,意見交換など
参加者/役員10名
- 10日(火) ・第17回危機管理対策委員会開催
内容/・感染拡大の恐れがある地域の見直しを行い,1都1道2府12県を指定
・学生,教職員に対して感染防御対策の徹底を指示
- 14日(土),15日(日)
・第8回オープンキャンパス開催 ※オンライン
内容/申込者限定のサイトを公開,新規動画12本含む全62本を公開
参加者/受付者1,439名
- 23日(月) ・授業実施日
- 25日(水) ・第18回危機管理対策委員会開催
内容/・11月27日から12月24日の大学方針を決定
・感染拡大の恐れがある地域の見直しを行い,新潟県以外の地域を指定.当該地域への移動は禁止とし,やむを得ない場合には「14日ルール」を適用する
・学長メッセージ11を発信
内容/新型コロナウイルス対策に係る大学方針(12月24日まで)
- 26日(木) ・自衛消防訓練実施
内容/①地震を想定したシェイクアウト訓練 ②火災を想定した通報・避難誘導・消火訓練 ③消火器操作訓練
参加者/75名
- 28日(土) ・学校推薦型選抜入試(公募,指定校)実施

- 志願者数／486名（合格者388名）
- ・総合型選抜入試（スポーツ，基礎学力）実施
志願者数／370名（合格者232名）
 - ・社会人特別入試実施
志願者数／3名（合格者3名）
※コロナ禍における入試対応として，試験会場を「新潟」に加えて「高崎」，「長野」を追加し3会場で実施。また，これまでの対面による個人面接を「WEBを利用した個人面接」に変更して実施。
 - ・サッカーインディペンデンスリーグ信越地区予選出場
結果／北信越代表決定戦 新潟医療福祉大学B 1－0 金沢星稜大学
※全国大会出場決定
- 29日（日）
- ・皇后杯全日本女子サッカー選手権大会出場
結果／1回戦 新潟医療福祉大学 0－6 日体大FIELDS横浜
- 30日（月）
- ・群馬県人会開催 参加者／4名
 - ・北陸圏人会開催 参加者／5名
- 12月 1日（火）
- ・秋田県人会開催 参加者／3名
 - ・第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会出場
結果／2回戦 新潟医療福祉大学 0－3 帝塚山大学
- 2日（水）～6日（日）
- ・第96回日本選手権水泳競技大会出場
結果／松井浩亮（職員）男子50m自由形 2位
男子100m自由形 4位
水沼尚輝（職員）男子100mバタフライ 2位
佐藤 綾（職員）女子100m自由形 5位
田中優弥（健康スポーツ4年）男子100mバタフライ 4位
深澤 舞（健康スポーツ4年）女子200m平泳ぎ 3位
- 5日（土），6日（日）
- ・第9回オープンキャンパス開催 ※オンライン
内容／申込者限定のサイトを公開 新規動画9本含む全61本を公開
参加者／受付者1,444名
- 8日（火）
- ・第72回全日本大学女子バスケットボール選手権大会出場
結果／1回戦 新潟医療福祉大学 73－79 福岡大学
- 11日（金）
- ・沖縄県人会開催 参加者／4名
- 12日（土）
- ・大学院第二次入学選考試験実施
志願者数／修士課程 8名 博士課程 12名
合格者数／修士課程 8名 博士課程 12名
 - ・業界，職種研修会（オンデマンド形式にて実施）
参加企業／30業種30社 参加学生／400名
 - ・第2回グローバルキャリア支援Meeting「第5回オンライン座談会」開催
講師／東兼岡麻子先生（東京大学附属病院 言語聴覚士）
参加者／49名
- 14日（月）～1月22日（金）
- ・メンタルヘルス研修会開催（動画公開方式での実施）
講師／三間 聡 先生（一般財団法人健康医学予防協会診察部長）
研修テーマ／「コロナ禍における職場のポジティブメンタルヘルス」

- 対象／全教職員
- 16日（水） ・ 2020年度 在学生表彰式 表彰者／14名
- 17日（木） ・ 長野県人会開催 参加者／7名
- 19日（土） ・ 学校推薦型選抜入試（公募）実施 志願者数／7名（合格者数6名）
 ・ 総合型選抜入試実施 志願者数／6名（合格者数6名）
- 21日（月） ・ 山形県人会開催 参加者／10名
- 23日（水） ・ 第19回危機管理対策委員会開催
 内容／ ・ 12月25日から1月28日の大学方針を決定
 ・ 感染拡大の恐れがある地域として、引き続き新潟県以外とする当該地域への移動は禁止とし、やむを得ない場合には「14日ルール」を適用する
 ・ 年末年始に向けて、学生と教職員に以下を周知徹底する
 ① 「感染防御対策」の徹底
 ② 「帰省・移動届」の提出による行動管理
 ③ 帰省・県外移動の際の「PCR検査申請手続き」と「受検」
 ④ 各学科による学生個々の「健康観察表と行動記録」の確認
 ・ 学長メッセージ12を発信
 内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（1月28日まで）
- 24日（木）～28日（月）
 ・ 第29回全日本大学女子サッカー選手権大会出場
 結果／ベスト8
 1回戦 新潟医療福祉大学 2－1 姫路独協大学
 2回戦 新潟医療福祉大学 3－0 中京大学
 3回戦 新潟医療福祉大学 1－1（PK 1－3）日本体育大学
- 25日（金） ・ 年内授業最終日
 ・ 第18回サッカーインディペンデンスリーグ全国大会出場
 結果／ベスト8 新潟医療福祉大学 2－6 国士舘大学U22
 ・ 2020年度文部科学省科学研究費採択結果
 採択件数／106件（昨年度88件）
 配分金額／198,510千円（昨年度184,990千円）
 ※「スポーツ科学、体育、健康科学及びその他の関連分野」で国公立大学中第4位（昨年度5位）
 「若手研究者採択比率」で国公立大学中第3位（昨年度2位）
- 26日（土） ・ 同窓会連携研修会 ※オンライン開催
 内容／～クライアントを尊重したコミュニケーションと意思決定支援～
 講師／手島美子准教授（看護学科） 参加者／8名
- 26日（土）～1月5日（火）
 ・ 大学休業日
- 1月 1日（金）～11日（月）
 ・ 第10回オープンキャンパス開催 ※オンライン
 内容／申込者限定のサイトを公開、学校紹介等動画全49本を公開
 参加者／受付者854名
- 7日（木） ・ 第20回危機管理対策委員会開催 ※メール審議
 内容／ ・ 1都3県（東京・神奈川・千葉・埼玉）に対する緊急事態宣言を受け、当該地域への移動および新潟県以外の地域への移動の禁止を再確認
 ・ 行動制限レベル表におけるレベル1（制限小：注意）を維持するが、「移動」

- と「出張」はレベル2（制限中：警戒）とする
- 9日（土）
 - ・授業再開日であったが、大雪によりJRが全面運休となったため終日臨時休講とした
 - ・2021年度入学予定者対象「スクーリング」実施 ※オンライン
参加人数／835名
 - 内 容／入学前教育の重要性について、大学生生活の過ごし方、学習支援センターの活用、学科別プログラム等
 - 14日（木）
 - ・第21回危機管理対策委員会開催 ※メール審議
 - 内容／・2府5県（栃木・愛知・岐阜・京都・大阪・兵庫・福岡）に対する緊急事態宣言を受け、当該地域への移動および新潟県以外の地域への移動の禁止を再確認
 - ・行動制限レベル表におけるレベル1（制限小：注意）を維持するが、「移動」と「出張」はレベル2（制限中：警戒）を継続
 - 15日（金）
 - ・大学閉鎖日
 - 16日（土）～17日（日）
 - ・大学共通テスト実施（試験会場） 受入者数／445名
 - 20日（水）
 - ・教職員交通安全講習会実施（オンライン開催）
 - テーマ／「妨害運転罪（あおり運転）について」
 - 講 師／新潟北警察署 交通課 高橋様
 - 参加者／全教職員
 - 22日（金）
 - ・挨拶・マナー向上活動 優秀作品表彰式開催
 - 内容／教育担当副学長賞1名、学生部長賞1名、事務局長賞2名を表彰
 - 24日（日）～26日（火）
 - ・（水泳）KOSUKE KITAJIMA CUP出場
 - 結果／水沼尚輝（職員）男子100mバタフライ 優勝
 - 田中優弥（健康スポーツ4年）男子100mバタフライ 4位
 - 26日（火）～2月1日（月）
 - ・後期定期試験実施
 - 実施科目数／対面形式107科目 メディア形式91科目
 - 27日（水）
 - ・第22回危機管理対策委員会開催
 - 内容／・1月29日～2月25日の大学方針を決定
 - ・1都2府8県（東京・神奈川・埼玉・千葉・栃木・愛知・岐阜・京都・大阪・兵庫・福岡）に対する緊急事態宣言を受け、当該地域への移動および新潟県以外の地域への移動の禁止を再確認
 - ・行動制限レベル表におけるレベル1（制限小：注意）を維持するが、「移動」と「出張」はレベル2（制限中：警戒）を継続
 - ・学長メッセージ13を発信
 - 内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（2月25日まで）
 - 29日（金）
 - ・「第31回ヤンマー学生懸賞論文」にて大賞を受賞
 - 受賞者／社会福祉学科4年の原口彩子講師ゼミに所属する3名（遠藤菜夏、福原早友美、丸山華奈）が受賞
 - 論文タイトル／教育産業に参入する「畑の共生教室」－食農福教育プログラムの開発－
 - 31日（日）
 - ・介護福祉士国家試験受験（社会福祉学科）
 - 2月 3日（水）～4日（木）
 - ・一般選抜（前期日程）実施 （志願者1,615名／昨年1,745名）
 - ・大学入学共通テスト利用選抜（前期日程）実施（志願者1,019名／昨年848名）
 - 4日（木）～7日（日）

- ・(水泳) ジャパンオープン2020 出場

結果/松井浩亮 (職員) 男子 50m 自由形	2 位
男子 100m 自由形	4 位
水沼尚輝 (職員) 男子 50m バタフライ	2 位
男子 100m バタフライ	2 位
田中優弥 (健康スポーツ 4 年) 50m バタフライ	優勝
100m バタフライ	6 位
佐藤 綾 (職員) 女子 100m 自由形	3 位
深澤 舞 (健康スポーツ 4 年) 女子 200m 平泳ぎ	5 位
山崎 光 (健康スポーツ 2 年) 女子 50m 背泳ぎ	6 位
津田萌咲 (健康スポーツ 2 年) 女子 50m バタフライ	7 位

5 日 (金) ~ 9 日 (火)

- ・後期追試験, 再試験実施

6 日 (土)

- ・大学院第 3 次入学選考試験実施 (志願者 2 名/昨年 5 名)
- ・2020 年度スポーツ庁委託事業「大学スポーツ振興の推進事業」(1)
「スポーツ障害予防フェスタ in NUHW」開催
内容/①小学生の身体とミニバスケットボールのけが
講師: 大森豪 (健康スポーツ学科教授)
②障害予防の為のセルフチェックとコンディショニング
講師: 菊元孝則 (理学療法学科講師)
③バスケットボールクリニック
講師: 伊藤篤司 (女子バスケットボール部監督)
小林真里奈 (女子バスケットボール部コーチ)

参加者/186 名

- ・2020 年度スポーツ庁委託事業「大学スポーツ振興の推進事業」(2)
「スポーツ・ヘルスケア産業創出に係るシンポジウム」開催 (オンライン)
内容/①産学連携の事例とアスリートサポート研究センターの可能性
講師: 大森豪 (健康スポーツ学科教授)
②新潟県の健康寿命延伸に向けた, 大学医学部発ベンチャーの展望
講師: 木村大地 (株式会社アイセック代表取締役 CEO)
③「ONE TAP SPORTS の挑戦とスポーツテック産業の今後」
講師: 橋口寛 (株式会社ユーフォリア代表取締役)

参加者/169 名

6 日 (土) ~ 7 日 (日)

- ・精神保健福祉士国家試験受験 (社会福祉学科)

7 日 (日)

- ・社会福祉士国家試験受験 (社会福祉学科)

11 日 (木)

- ・第 11 回オープンキャンパス開催 ※オンライン

内容/申込者限定のサイトを公開, トークライブ動画 4 本含む全 7 本を公開

参加者/受付者 316 名

- ・助産師国家試験受験 (看護学科)

12 日 (金)

- ・保健師国家試験受験 (看護学科)

12 日 (金), 15 日 (月)

- ・医療福祉向け就職ガイダンス開催 (オンライン)

参加者/441 名

14 日 (日)

- ・看護師国家試験受験 (看護学科)

- 17日（水） ・ 学部卒業判定会議実施
 結果／卒業判定対象者1,009名のうち976名の卒業者を認定（卒業保留者8名）
- | | |
|------------|------|
| 理学療法学科 | 125名 |
| 作業療法学科 | 29名 |
| 言語聴覚学科 | 34名 |
| 義肢装具自立支援学科 | 37名 |
| 臨床技術学科 | 99名 |
| 視機能科学科 | 47名 |
| 救急救命学科 | 52名 |
| 健康栄養学科 | 45名 |
| 健康スポーツ学科 | 206名 |
| 看護学科 | 86名 |
| 社会福祉学科 | 130名 |
| 医療情報管理学科 | 90名 |
- ・ 臨床検査技師国家試験受験（臨床技術学科）
- 18日（木） ・ 転部転科選考試験実施
 結果／（全体）志願者3名 合格者3名
 内訳／健康スポーツ学科2年次 志願者1名 合格者1名
 医療情報管理学科3年次 志願者2名 合格者2名
- ・ 視能訓練士国家試験受験（視機能科学科）
- 19日（金） ・ 学部卒業発表
 ・ 義肢装具士国家試験受験（義肢装具自立支援学科）
- 20日（土） ・ 言語聴覚士国家試験受験（言語聴覚学科）
- 21日（日） ・ 理学療法士国家試験受験（理学療法学科）
 ・ 作業療法士国家試験受験（作業療法学科）
- 24日（水） ・ 大学院修了判定会議実施
 結果／修士課程 44名の修了を認定
 博士後期課程 9名の修了を認定
- 25日（木） ・ 第23回危機管理対策委員会開催
 内容／・2月26日から3月25日の大学方針を決定
- ・ 1都2府7県（東京・神奈川・埼玉・千葉・愛知・岐阜・京都・大阪・兵庫・福岡）に対する緊急事態宣言を受け、当該地域への移動および新潟県以外の地域への移動の禁止を再確認
 - ・ 行動制限レベル表におけるレベル1（制限小：注意）を維持するが、「移動」と「出張」はレベル2（制限中：警戒）を継続
- ・ 学長メッセージ14を発信
 内容／新型コロナウイルス対策に係る大学方針（3月25日まで）
- 26日（金） ・ 大学院修了者発表
 ・ 就職セミナー開催（オンデマンド）
 内容／就職年次生向けオリエンテーション
- 26日（金）～3月5日（金）
 ・ 新4年生オリエンテーション実施（オンライン）
 内容／新型コロナウイルス感染防止対策，授業スケジュール，奨学金，証明書発行手続き，学生相談窓口案内，学研災についてなど
- 28日（日） ・ 管理栄養士国家試験受験（健康栄養学科）

- 3月 5日（金） ・一般選抜入試（後期日程）実施 （志願者150名／昨年163名）
 ・大学共通テスト利用選抜入試（後期日程）実施（志願者100名／昨年61名）
 ※2021年度学部入学者選抜試験出願結果
 総出願件数／4,663件（昨年度4,624件）
- 7日（日） ・臨床工学技士国家試験受験（臨床技術学科）
- 8日（月） ・大学休業日
- 13日（土） ・大学院第4次入学選考試験実施（志願者1名／昨年3名）
 ※2021年度大学院入学者選抜試験出願結果
 総出願件数／60件（昨年度55件）
- 16日（火） ・日本高等教育評価機構より令和2年度大学機関別認証評価の結果、大学評価基準に「適合」との認定を受理
 ・アルビレックス新潟、アルビレックス新潟レディース、新潟リハビリテーション病院、本学の4者間で連携協定を締結
 会場／デンカビックスワンスタジアム
 参加者／アルビレックス新潟 中野幸夫 社長
 アルビレックスレディース 山本英明 社長
 新潟リハビリテーション病院 山本智章 院長
 新潟医療福祉大学 西澤正豊 学長
 内容／アルビレックス新潟、アルビレックス新潟レディースのアカデミー（U12・U15・U18）選手からトップ選手の強化を目的に、新潟医療福祉大学のアスリートサポート研究センターの研究機能と新潟リハビリテーション病院のスポーツ医学総合診療センターの医学的管理機能を融合し、医科学的側面から選手の食事・栄養等のサポート行う
- 17日（水） ・2020年度卒業式・大学院修了式挙行
 会場／朱鷺メッセ
 形式／・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学内関係者のみの参加とし、3回に分けて実施
 ・来場できない卒業生と保護者にはオンライン配信
 参加者／会場参加 811名
 オンライン参加 224名 ※その他保護者視聴
- 19日（金） ・大学休業日
- 20日（土） ・後援会役員会開催
 内容／大学運営報告、2020年度後援会収支決算書（案）、2021年度後援会収支予算書（案）、2021年度後援会役員（案）、意見交換など
 参加者／役員10名
- 20日（土）・21日（日）
 ・春のオープンキャンパス開催 ※オンライン
 内容／申込者限定のサイトを公開、新規公開動画5本含む全21本を公開
 参加者／受付者849名
- 23日（火） ・学内合同企業就職説明会開催（新4年生対象） ※オンライン
 参加企業／37社
 参加者数／122名
 ・ハラスメント防止のための意識向上セミナー開催
 内容／ハラスメントの態様と防止に向けた各自の取り組みについて本学でのハラスメント防止に求められる理解と行動

講 師／名川・岡村法律事務所（新潟総合学園 顧問弁護士）

弁護士 新居裕登 先生， 弁護士 金子周悟 先生

対象者／全教職員

24日（水） ・ 鯖江市との包括連携に関する協定締結式（オンライン）

参加者／（鯖江市）佐々木勝久市長， 中村修一副市長， 斉藤邦彦部長， 蓑輪夢未（健康スポーツ学科1年， 鯖江市出身）

（本 学）西澤正豊学長， 丸田秋男地域連携担当副学長， 堀井遥樹（健康スポーツ学科3年， 鯖江市出身）

内 容／めがねの聖地といわれる鯖江市と日本海側唯一の視能訓練士養成校である本学との連携協定. 鯖江市との「眼育（めいく）」事業等をとおして， 幼児期の子どもたちの視力検査体制の強化や眼の健康づくりなどに連携していく

26日（金） ・ 新2年生オリエンテーション実施

・ 修学アドバイスオリエンテーション実施（留年者対象）

27日（土）・28日（日）

・ オープンキャンパス（追加）開催 ※オンライン

以上

5. 管理運営

1) 総務会

総務会構成員

西澤正豊学長，渡辺敏彦国際交流兼強化スポーツ担当副学長，丸田秋男地域連携兼同窓会・生涯学習担当副学長兼社会福祉学部長，大山峰生教育担当副学長兼作業療法学科長，大西秀明研究・産官学連携担当副学長兼リハビリテーション学部長兼理学療法学科長，佐藤大輔医療福祉学研究科長，鈴木 力医療技術学部長兼救急救命学科長，西原康行健康科学部長兼健康スポーツ学科長，塚本康子看護学部長，福島正巳医療経営管理学部長，山岸達弥言語聴覚学科長，東江由起夫義肢装具自立支援学科長，中村藤夫臨床技術学科長，前田史篤視機能科学科長，笠原敏文診療放射線学科長，斎藤トシ子健康栄養学科長，松井由美子看護学科長，渡邊敏文社会福祉学科長，柴山純一医療情報管理学科長，佐久間俊也法人常務理事兼法人事務局長，小野哲之大学事務局長，堀川雅行法人企画調整部長

(事務局) 片岡 昇総務部長兼総務課長兼IR室長，斎藤佳昭経理部長，若井和則学務部長，中原英伸入試広報部長，大竹 宏総務部研究支援課長兼地域産官学連携課長，本間智之人事課長，吉田俊雄学務部教務課長，長谷川陽一学務部学生課長，石崎伸一学務部キャリア開発室長，嵐田浩吉学務部国際交流課長，近藤 至入試広報部広報課長，木原 亨入試広報部入試課長，船山澄子図書館・学習支援課長，西海幸頼スポーツ振興室長，牧浦秀紀法人企画課長，佐藤 宏法人総務部長

主な審議事項および報告事項等

(1) 方針・計画について

- ・学長マニフェストについて
- ・2020年度教育関係予算の承認
- ・入学式の代替対応についての報告
- ・辞令交付式の代替対応についての報告
- ・はり師・きゅう師養成学科の設置企画についての報告
- ・2020年度年報の発行形態の変更とスケジュールの承認
- ・奨学金制度，学生支援緊急給付金についての報告
- ・将来計画策定スケジュールの報告
- ・大学年間予定表の報告
- ・健康スポーツ学科定員増認可の報告
- ・2020年度卒業式・修了式の開催方針について
- ・理事会報告
- ・学費未納対応者の承認
- ・危機管理委員会報告
- ・学生寮入寮状況について
- ・インターナショナルこども園状況報告
- ・新型コロナウイルス対応に関する報告
- ・大学機関別認証評価受審に関する報告
- ・自己点検・自己評価報告
- ・2021年度学事暦の承認

(2) 学則・規程について

- ・学則改正の承認
- ・新潟医療福祉大学入学者選抜に係わる規程改正の承認
- ・事務組織規程改正の承認
- ・将来計画機構規程改正の承認
- ・障がいのある学生支援に関する規程・方針・手順の承認

- ・国際交流事業計画に関する規程改正の承認
 - ・研究奨励金規程改正の承認
 - ・研究奨励金研究計画調書改定の承認
 - ・リサーチ・アシスタント取扱規程の承認
- (3) 制度・組織・人事・業績・評価について
- ・2020年度研究費の承認
 - ・2020年度研究奨励金，学長裁量研究費募集の承認
 - ・2020年度研究科長裁量研究費募集の承認
 - ・2020年度外部資金獲得奨励金募集の承認
 - ・2020年度教員短期留学選考の承認
 - ・ベストティーチャー報告
 - ・教員選考委員会設置の承認
 - ・教員選考委員会の選考結果の承認
 - ・教員業績評価実施スケジュールの承認
 - ・臨床教授等の選考結果の承認
 - ・名誉教授称号付与の承認
 - ・再任審査スケジュールの承認
 - ・再任審査委員会設置の承認
 - ・再任審査委員会審査報告の承認
 - ・2020年度Sports & Health先端科学研究費採択結果の承認
 - ・2021年度組織体制の報告
 - ・2021年度管理職者の報告
 - ・2021年度各種委員会委員長の報告
 - ・ストレスチェックの実施について
- (4) 教育について
- ・ティーチングアシスタント公募スケジュールの承認
 - ・ティーチングアシスタント審査結果の承認
 - ・教育の重要課題に対する2019年度分析と2020年度対策についての報告
 - ・2020年度国家資格・資格試験合格率目標の承認
 - ・社会福祉学科カリキュラム変更の承認
 - ・看護学科カリキュラム変更の承認
 - ・2019年度資格試験結果報告
 - ・2020年度教員採用試験結果報告
 - ・国家試験・資格試験報告
 - ・就職活動報告
 - ・メディア授業についての報告
- (5) 学生について
- ・学籍異動状況報告
 - ・2019年度卒業アンケート結果報告
 - ・2019年度卒業生定着度調査結果報告
 - ・学生懲戒諮問委員会答申の承認
 - ・民法改正に伴う誓約書および身元保証書の変更についての報告
 - ・読売新聞「大学の實力」による退学率と卒業率についての報告
 - ・学生表彰の報告
 - ・社会福祉学部園田奨学金選考結果についての承認

(6) 研究について

- ・2020年度科研費採択状況の報告
- ・2020年度研究奨励金等の採択者の承認
- ・2020年度外部資金獲得奨励金審査結果の承認
- ・2021年度科研費申請状況の報告
- ・研究倫理教育受講状況報告
- ・リサーチ・アシスタント採用に関する手続きについて

(7) 入学選考試験について

- ・2021年度入学者選抜試験概要案の承認
- ・2021年度入学者選抜試験概要改正案の承認
- ・2020年度（2021年度入学者）学部合否判定会議の承認
- ・2021年度新潟医療福祉大学入学者選抜一部選抜区分における選抜試験日程変更等の報告
- ・2021年度転部転科選考試験の承認
- ・大学共通テスト実施概要の報告
- ・2021年度入学目標の承認
- ・2021年度入学選考試験結果報告
- ・2021年度入学定員充足状況報告
- ・2021年度転部転科判定結果報告
- ・2021年度転部転科選考試験の承認

(8) 国際交流について

- ・国際交流活動報告

(9) 地域・産官学連携について

- ・地域連携・貢献活動報告

2) 大学院委員会

大学院委員会構成員

西澤正豊学長、佐藤大輔医療福祉学研究科長兼医療福祉学専攻長兼健康科学専攻長兼健康スポーツ学分野長（議長）、阿部 薫保健学専攻長兼義肢装具自立支援学分野長、横山豊治社会福祉学専攻長兼保健医療福祉マネジメント学分野長、瀧口 徹医療情報・経営管理学専攻長兼医療情報・経営管理学分野長、久保雅義理学療法学分野長、能登真一作業療法学分野長、山岸達弥言語聴覚学分野長、長濱大輔医療技術安全管理学分野長、増田 修視覚科学分野長、永井 徹健康栄養学分野長、宇田優子看護学分野長、渡邊敏文保健医療福祉政策・計画・運営分野長、大西秀明将来計画機構長兼運動機能医科学研究所長、竹井 豊学術委員長、能村友紀大学院教務委員会委員長、児玉直樹産官学連携推進センター長、椿 淳裕研究奨励金委員長、佐久間俊也法人常務理事、堀川雅行法人企画調整部長、小野哲之大学事務局長

主な審議事項および報告事項等

(1) 方針、計画等について

- ・次期将来計画について
- ・大学院の教育目的と3つの方針および学位論文審査の基準等について
- ・大学院の基盤構築と発展に向けて
- ・2020年度卒業式・修了式の実施方針について
- ・2021年度大学院学事暦について

(2) 学則、規程、内規等の改定について

- ・新潟医療福祉大学大学院学則の改正について
- ・研究生・科目等履修生規程の改正について
- ・毒物および劇物管理規程の制定について

- ・新潟医療福祉大学大学院リサーチ・アシスタント取扱規程について
 - ・研究奨励金規程の改正について
- (3) 組織・人事等について
- ・修士課程保健学専攻放射線情報学分野の設置について
 - ・大学院担当教員資格審査委員会設置について
 - ・大学院担当教員資格審査結果について
 - ・臨床教授等候補者選考委員会設置について
 - ・臨床教授等の称号付与審査結果について
 - ・2021年度大学院組織体制案について
 - ・2021年度大学院辞令交付式について
- (4) 研究について
- ・研究科長裁量研究費，研究奨励金，学長裁量研究費について
 - ・外部資金獲得奨励金について
 - ・研究奨励金採択結果の承認について
 - ・Sports&Health 先端科学研究費の採択結果の承認について
 - ・科研費学内説明会について
 - ・運動機能医科学研究所による科研費申請サポートデスクについて
 - ・科研費申請件数，獲得状況について
- (5) 国際交流，留学生について
- ・私費外国人留学生授業料減免申請について
 - ・外国人留学生サポーターの採用について
 - ・留学生学習状況報告について
 - ・大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）の採用について
- (6) 学生について
- ・大学院学生表彰者の選出について
- (7) カリキュラム・論文審査・教育について
- ・論文審査スケジュールの確認について
 - ・修了生アンケート結果について
 - ・修士課程，博士後期課程の中間発表会の日程について
 - ・修士，博士後期課程の学位論文審査委員会設置，審査日程，発表会について
 - ・大学院生の現状とメディア授業に関する状況について
 - ・2020年度大学院修了判定会議について
- (8) 学生募集，入学選考試験について
- ・2020年度修士課程・博士後期課程入試結果について
 - ・2021年度大学院入試日程について
 - ・分野の特徴やターゲットについて
 - ・大学院オープンキャンパス日程について
 - ・大学院オープンキャンパス実施報告について
 - ・大学院出願状況について
- (9) その他
- ・外部認証評価について
 - ・大学構内の入構ルールについて
 - ・大学院生の入構状況について
 - ・新入生オリエンテーションについて
 - ・2020年度修了判定会議，修了発表について

- ・2020年度修了式, 2021年度入学式について
- ・ティーチングアシスタント公募スケジュールについて
- ・ティーチングアシスタント候補者審査について
- ・危機管理委員会報告について

3) 合同教授会

合同教授会構成員

学長, 副学長, 研究科長, 学部長, 学科長, 教授, 准教授, 講師, その他陪席: 助教, 助手, 事務局

主な審議事項および報告事項等

- ・各種委員会の報告
- ・学籍異動状況報告
- ・学長マニフェスト
- ・新型コロナウイルス対応について
- ・対面授業実施ガイドラインについて
- ・教員業績評価について
- ・教育職員の兼業について
- ・次年度授業形態方針について
- ・メディア授業報告
- ・ベストティーチャー表彰式について
- ・名誉教授称号授与について
- ・2019年度病院施設定着度・満足度調査について
- ・入学者選抜試験日程等の変更について
- ・学生懲戒諮問委員会答申の承認
- ・研究生志願者の合格認定の承認
- ・科目等履修生入学志願者の合格認定の承認
- ・9月卒業判定会議報告
- ・9月卒業式について
- ・2020年度科研費採択状況報告
- ・2021年度科研費応募スケジュールについて
- ・第20回新潟医療福祉学会学術集会についての報告
- ・研究奨励金の募集について
- ・研究奨励金申請状況について
- ・強化指定クラブ戦績等報告
- ・科研費説明会の開催について
- ・ストレスチェックの実施について
- ・伍桃祭について
- ・2019年度年報の刊行について
- ・防災訓練の実施について
- ・全棟停電作業の実施について
- ・学生寮運営報告
- ・学生懲戒の承認
- ・研究奨励金審査結果について
- ・外部資金獲得奨励金審査結果について
- ・研究計画調書改定について
- ・研究倫理教育受講について

- ・2020年度卒業式・修了式について
- ・2021年度入学式について
- ・2020年度学事暦の変更について
- ・2021年度学部学事歴について
- ・2021年度転部転科選考試験について
- ・卒業判定会議結果報告
- ・入学選抜試験合否判定結果報告
- ・2020年度学生表彰について
- ・国家試験・資格試験結果報告
- ・山本前学長の受章報告
- ・ヤンマー学生懸賞論文大賞受賞報告

4) 研究科委員会

研究科委員会構成員

西澤学長，佐藤研究科長，小野事務局長，大学院担当専任教員，その他陪席：事務局

主な審議事項および報告事項等

- ・研究科長メッセージ
- ・2020年度大学院学生募集結果・入学者数について
- ・危機管理対策委員会報告について
- ・学籍異動について
- ・大学院研究生入学志願について
- ・研究生・科目等履修生規程の改正について
- ・2020年度科研費等各種研究費の採択状況報告
- ・外部認証評価について
- ・大学院のオープンキャンパス（夏・秋・冬・春）についての報告
- ・学部生向け大学院説明会「教えて！大学院」の開催について
- ・2020年度9月修了判定会議結果報告
- ・大学院学生表彰審査委員会の設置，審査スケジュールについて
- ・2020年度大学院学生表彰について
- ・2020年度3月修了判定会議結果報告
- ・大学院進学ガイドライン（修士課程・博士後期課程）について
- ・修士課程一般教養科目の新設について
- ・修士課程メディア授業実施調査結果について
- ・院生行動フローチャートについて
- ・2020年度大学院修了式・2021年度入学式について
- ・2021年度大学院学事暦について
- ・対面授業ガイドライン（施設編・授業対応編）について

5) 各種委員会活動

(1) 危機管理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西澤正豊（学長，委員長），渡辺敏彦（副学長），丸田秋男（副学長），大山峰生（副学長），大西秀明（副学長），佐藤大輔（研究科長），古西 勇（PT），佐藤敏郎・埴 晴雄（HS），小野哲之（大学事務局）

②会議開催回数 24回

③特記事項（必要に応じて実施した事項）

- 1) 新型コロナウイルスに対応する大学方針について
- 2) 2020年度授業開始日について
- 3) メディア授業実施について
- 4) 行動制限レベルについて
- 5) 研究活動ガイドラインについて
- 6) 健康診断開始について
- 7) メディア授業における質保証の指針
- 8) 新型コロナウイルス感染状況について
- 9) 感染拡大地域の見直しについて

(2) 人権委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

河野聖夫（SW，委員長），奈良貴史（PT，副委員長），澤田純明（PT），浅尾章彦（OT），石本 豪（ST），須田裕紀（AT），丸野 透（CT），多々良俊哉（CO），松岡輝彦（EM），宮地幸久（RT），川上心也（HN），山崎史恵（HS），中澤紀代子（NR），寺島和浩（HI），小野哲之（大学事務局），佐々木俊太郎（キャリア開発室），波間早苗（医務室），船山 諭（人事課，事務担当）

ハラスメント調査委員会委員候補者：相馬俊雄（PT），今西里佳（OT），大石如香（ST），笹本嘉朝（AT），小澤口治樹（CT），生方北斗（CO），長谷川恵（EM），関本道治（RT），石澤幸江（HN），佐近慎平（HS），下山博子（NR），五十嵐紀子（SW），井上弘樹（HI），船山澄子（事務局）

②会議開催 委員会14回（定例12回，臨時2回），案件対応会議22回，ハラスメント調査委員会1件

③審議事項および決定事項等

- 1) ハラスメント防止対策（計画）作成と相談体制の確立・周知
各学科に対し，ハラスメント防止対策の計画作成と相談体制の確立，およびそれらの内容を学内に周知するよう協力を要請した。
- 2) 教職員のためのハラスメント相談対応マニュアルの作成と周知
「新潟医療福祉大学 ハラスメントの防止及び対策等に関する規則」，および「ハラスメントの防止及び対策等に関するガイドライン」の改定をおこなった。
- 3) ハラスメント相談員・調査員向け研修の実施
2020年8月19日にハラスメント調査委員会委員候補者，および人権委員等を対象として「相談員・調査委員の役割と心構え」をテーマに研修を実施した。
- 4) ハラスメント防止のための意識向上FDの実施
2021年3月23日に全教職員を対象として「ハラスメント防止に向けた一人ひとりの理解と意識向上に向けて」をテーマにセミナーを実施した。
- 5) 1年生に対するDate DV防止セミナーの実施
Date DV防止セミナーを始めてオンライン形式で計画し実施した（11月から12月）。
新潟県が作成したDate DV防止に関するDVDの視聴利用について，調整をおこなった。
- 6) ハラスメント案件（16件）に対応した。
 - ・2018年度からの継続案件1件（内1件継続対応中）
 - ・2019年度からの継続案件1件（内1件継続対応中）
 - ・2020年度の新規相談案件14件（内12件終了，内2件継続対応中）

(3) 個人情報保護委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

寺島和浩（HI，委員長），川上心也（HN，副委員長），佐伯史子（PT），浅尾章彦（OT），石本 豪（ST），須田裕紀（AT），丸野 透（CT），多々良俊哉（CO），松岡輝彦（EM），宮地幸久（RT），山崎史恵（HS），

中澤紀代子 (NR), 河野聖夫 (SW), 真藤高明 (事務局), 船山 諭 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新入生に対して、個人情報の取扱いについての同意書の回収を行った。
- 2) 以下事業の計画に従いワーキング・グループ (WG) を設けて実施した。
 - ・個人情報保護監査結果に基づく是正措置等
 - ・教育プログラムの立案と実施
 - ・内部監査実施立案
 - ・情報セキュリティ対策のためFD
- 3) 2019年度に引き続きe-Campus版個人情報保護チェックを行った。設問方法や問題等の検討を行い2020年度版の運用を行った。
- 4) 情報セキュリティ・コンサルティング会社に依頼し、標的型攻撃メール訓練およびこの訓練を踏まえたFD研修を実施した。

(4) 安全衛生委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

宇田優子 (NR, 委員長), 萩原康雄 (PT), 渡部貴史 (OT), 今村 徹 (ST), 郷 貴博 (AT), 齋藤 幸, 阿部拓也 (CT), 岸 哲志 (CO), 長谷川恵 (EM), 大野 健 (RT), 遠藤和男 (学校医/HN), 大森 豪・塙 晴雄 (HS), 井上弘樹 (HI), 小野哲之・波間早苗 (事務局)

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2020年度推進体制が異議なく承認された。
- 2) 2020年度心の健康づくり推進計画 (案) が承認された。
- 3) 学内の全教職員を対象にして、2020年度心の健康問題に係る教職員研修会を開催することが承認された。
- 4) 相談窓口・相談体制について、引き続き私学事業団健康相談ダイヤルを活用することとし、学内教職員への案内・情報提供を行うことが確認された。
- 5) 「学校法人新潟総合学園 2020年度ストレスチェック実施計画」(案) が承認された。

④特記事項

- 1) 実施計画に基づき、9月~2月にストレスチェックならびに面接指導が実施された。
- 2) ストレスチェックの実施に伴う確認ならびに課題の共有を適宜に実施された。
- 3) 2020年度教職員研修会を実施した。

日程：2020年12月14日~2021年1月22日 (オンデマンド)

テーマ：コロナ禍における職場のポジティブメンタルヘルス

講師：一般財団法人健康医学予防協会診療部長 三間聡氏

参加者数：213名

アンケート回収：213名分 (86%が研修内容について「非常に参考になった」「参考になった」と回答)

- 4) 安全衛生委員による学内巡視が20年9月、21年3月の2回実施された。巡視の結果を委員会にて審議し、安全確保が必要な学科および事務局 (総務課) に改善の要請を行った。

(5) 将来計画機構 (教育研究機器の更新に関する選定委員会)

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

大西秀明 (PT, 委員長, 機構長), 西澤正豊 (学長), 渡辺敏彦 (副学長), 丸田秋男 (副学長), 大山峰生 (OT, 副学長), 佐藤大輔 (研究科長), 中村藤夫 (CT), 塚本康子・松井由美子 (NR), 福島正巳・柴山純一 (HI), 古西 勇 (PT), 山岸達弥 (ST), 東江由起夫 (AT), 前田史篤 (CO),

鈴木 力 (EM), 笠原敏文 (RT), 斎藤トシ子 (HN), 西原康行・佐藤敏郎 (HS), 渡邊敏文 (SW), 佐久間俊也・堀川雅行 (法人事務局), 小野哲之・片岡 昇 (事務局)

②会議開催回数 2回

③特記事項

- 1) 次期将来計画の作成方針, スケジュールの策定
- 2) 新将来計画の進捗管理の実施
- 3) 新将来計画案を作成し, 総務会, 理事会において報告, 承認を得た.

(6) 自己点検・評価委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

古西 勇 (PT, 委員長), 大山峰生 (副学長, OT, 外部評価準備委員長), 大西秀明 (PT, 将来計画機構長), 斎藤トシ子 (HN), 松井由美子 (NR), 山岸達弥 (ST), 東江由起夫 (AT), 中村藤夫 (CT), 前田史篤 (CO), 鈴木 力 (EM), 笠原敏文 (RT), 西原康行 (HS)・佐藤敏郎 (HS, 学生部長), 渡邊敏文 (SW), 柴山純一 (HI), 小野哲之・片岡 昇 (事務局)

②会議開催回数 2回 (専門委員会4回)

③審議事項および決定事項等

- 1) 自己点検・評価の方針について
- 2) 自己点検スケジュールについて
- 3) 各ドメイン毎の担当者の確認
- 4) 自己点検・評価書案の確認
- 5) 自己点検・評価の承認について
- 6) 自己点検・評価書完成後のスケジュール確認

(7) 教員選考委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

大山峰生 (副学長, 委員長, OT), 大西秀明 (PT), 山岸達弥 (ST), 東江由起夫 (AT), 中村藤夫 (CT), 前田史篤 (CO), 鈴木 力 (EM), 笠原敏文 (RT), 斎藤トシ子 (HN), 西原康行 (HS), 松井由美子 (NR), 渡邊敏文 (SW), 柴山純一 (HI), 福田修一・船山 諭 (事務局)

②会議開催回数 50回 (採用34回, 昇任16回)

③審議事項および決定事項等

- 1) 各学科長の内申に基づき総務会にて教員選考委員会の設置を行った.
- 2) 総務会は教員選考委員会を, 教育担当副学長の委員長に加え, 該当学科長ならびに他学科の学科長の3名で構成した.
- 3) 教員選考委員に人事課長等がオブザーバーとして加わり教員選考委員会を開催した.
- 4) 教員選考委員会では履歴書, 教育研究業績書, 抱負を記載した書類をもとに審査を行った.
- 5) 審査にあたっては学科における面接結果や模擬授業ならびに法人による面接結果を参考にした.
- 6) 審査にあたっては教育面の意欲と実績を特に参照した.
- 7) 委員会出席者全員の合意で評価を決定し, 報告書を作成, 学長に報告した.

④特記事項

助教以上の職位の採用ならびに昇任については, 法人職員同席のもとで学科における模擬授業 (ミニレクチャー) を課し, 助手についてはプレゼンテーションを課した.

(8) 外部評価準備委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

大山峰生 (OT, 委員長), 大西秀明・古西 勇 (PT), 佐藤敏郎 (HS), 小野哲之・片岡 昇・真藤高明 (事

務局)

②会議開催回数 10回

- 1) 自己点検評価書の進捗状況について
- 2) 実地調査までのスケジュール確認
- 3) 自己点検評価書記載内容の確認, 読み合わせ
- 4) 自己点検評価書の記載についての確認
- 5) 実地調査リモート開催についての確認
- 6) 実地調査準備状況の確認
- 7) 実地調査追加資料の確認
- 8) 実地調査面談参加者の確認
- 9) 実地調査参加者説明について
- 10) 実地調査総括と指摘事項に対する対応について
- 11) 評価チーム評価報告書案の確認と対応について
- 12) 評価報告書案の評価報告書案の確認と対応について

(9) 教務委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

古西 勇 (PT, 委員長), 竹井 豊 (EM, 副委員長), 山口弘次郎 (RT, 副委員長), 犬飼康人・伊藤 渉 (PT), 能登真一・外川 佑 (OT), 大石如香・内山 信 (ST), 笹本嘉朝・須田裕紀 (AT), 浅井孝夫・大山富三 (CT), 増田 修・志賀木綿子 (CO), 大和田均・長谷川恵 (EM), 織部祐介 (RT), 山崎貴子・石澤幸江 (HN), 熊崎 昌・佐藤裕紀・佐藤晶子 (HS), 宇田優子・下山博子 (NR), 佐藤 洋・五十嵐紀子・原口彩子・荒川大靖 (SW), 木下直彦・谷賢太朗 (HI), 吉田俊雄・村山萌子・駒形高広 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 教務委員会副委員長を選出し, 承認した。
- 2) 教務委員会各専門部会 (カリキュラム・時間割・シラバス・学事暦専門部会, 履修・試験等専門部会, 単位認定・編入学・転部転科等専門部会, 非常勤対応専門部会, 学外実習専門部会) の担当者と部会長を決定した。なお, 2020年度の委員としてeラーニング室長を委員会に加える提案があり, 承認された。
- 3) 履修登録願に関する特例処置について承認した。
- 4) 転部転科者単位認定について審議し, 承認した。
- 5) 3年次編入者単位認定について審議し, 承認した。
- 6) 非常勤講師任用審査について審議し, 承認した。
- 7) 文部科学省への実習施設変更承認申請書提出について確認した。
- 8) オンラインの特性に合わせた授業と試験の再構築と教育の質保証について確認した。
- 9) 保健医療福祉教養科目の履修経過と結果について確認した。
- 10) 前期休学者に対する履修配慮について審議し, 承認した。
- 11) 9月卒業申請者について確認した。
- 12) 情報倫理に関する指針について確認した。
- 13) 2019年度卒業生アンケート結果に対する各学科の振り返りを共有した。
- 14) 定期試験実施要綱, 試験実施について審議し, 決定した。
- 15) 追試験願のオンライン申請について確認した。
- 16) 学外実習における学生自己負担への後援会補助の配慮について確認した。
- 17) NR・SW学科のカリキュラム変更について確認した。

- 18) 新型コロナ禍の対応も含めた学外実習に関する状況を各学科で報告した。
- 19) メディア授業に関する学生向けアンケートの集計結果について確認した。
- 20) 対面授業に関するガイドラインについて報告した。
- 21) 学外実習事故報告について確認した。
- 22) 時間割作成について審議し、決定した。
- 23) 保健医療福祉教養科目の次年度見込のクラスサイズについて確認した。
- 24) 選択科目履修率について確認した。
- 25) 卒業見込判定および卒業判定結果について確認した。
- 26) 外部認証評価および自己点検・自己評価に基づく課題について確認した。
- 27) 新潟医療福祉大学将来計画について、教務委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプラン内容について確認した。
- 28) 後援会補助金分配額を決定し、分配金使途報告について確認した。
- 29) 卒業生アンケート実施について審議し、決定した。
- 30) 対面授業に関するアンケートの集計結果について確認した。
- 31) 不正行為者への事案について確認した。
- 32) 学生表彰における学業成績優秀者推薦について審議し、委員会決定した。
- 33) 授業目的公衆送信補償制度について確認した。
- 34) 修学支援制度「実務経験のある教員が担当する科目」について確認した。
- 35) 学外実習に伴うPCR検査体制について審議し、決定した。
- 36) 2021年度学事暦・シラバス・履修の手引き作成について確認した。
- 37) 2021年度研究生・科目等履修生・聴講生の規定改正案について審議し、決定した。
- 38) 学生の授業欠席に関する取扱い、認識について確認した。
- 39) PT・OT学科の実習指導者の変更に関する申請方法について審議し、決定した。

(10) 学生委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤敏郎（HS，委員長），岩森 大（HN，副委員長），太田大樹（PT），間宮靖幸（OT），富澤晃文（ST），郷 貴博（AT），藤井 豊（CT），岸 哲志（CO），岩崎 隆（EM），長谷川晃（RT），吉松 梓（HS），稲垣千文（NR），渡邊恵司・大坪美香（SW），近藤正紀（HI），風間篤史・夏井博臣・丸山未来・小林彩子（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 挨拶の励行，敷地内禁煙の遵守および地域生活におけるマナーの改善に向けた取り組みについて，WEB形式による学年別オリエンテーション等を通して学生部長より全学生を対象に指導を行った。また，学生委員による構内の巡視を兼ね美化運動を実施した。さらに地域からの苦情等については，全学生への注意喚起および該当学生に対する個別指導等を行い再発防止に努めた。
- 2) 日本学生支援機構奨学金の利用者数について情報共有を行った。
- 3) WEB形式による保護者会の実施に伴う企画・運営を行った。
- 4) 薬物乱用防止に関する学生への指導として，WEB形式の講演会を開催した。
- 5) 学生生活アンケートを実施し，集計結果を関係各署に情報共有することで学生生活の向上に努めた。
- 6) 学生の挨拶，マナー向上の啓発を目的に，挨拶・マナー標語の公募を行い，優秀作品4作品に対し，表彰した。
- 7) 学長表彰，学生表彰に係る学生委員会の推薦候補者について審議した。
- 8) ひとりぼっち対策として，より多くの学生をコミュニティに所属させることを目的とした，クラブ・サークル紹介（冊子）の作成，全県人会の開催促進に取り組んだ。またWEB形式による大学祭やク

ラブ・サークルの勧誘活動などコロナ禍における学友会活動の継続と活性化に取り組んだ。

(11) 入試委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

椿 淳裕（PT，委員長），佐近慎平（HS，副委員長），寺田貴美代（SW，副委員長），大鶴直史・堀田一樹（PT），今西里佳・能村友紀（OT），今村 徹・栞原 桂（ST），前田 雄・佐藤未希（AT），牧口智夫・小野 等（CT），戸田春男・岸 哲志（CO），川上一岳・大松健太郎（EM），前島 偉・関本道治（RT），八坂敏一・寺尾幸子（HN），馬場康博（HS），波多幸江・杉本 洋（NR），渡邊 豊（SW），井上弘樹・波多野誠（HI），木原 亨・小松祐介・樋山耕一・高橋智子・山口和朗・長谷川のぞみ・吉原 舜（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 入試委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 入試委員会年間計画を審議し，決定した。
- 3) 入試問題作成部会および入試問題検討部会の担当者を決定した。
- 4) 学校推薦型選抜（指定校制）における各学科の指定高等学校について審議し，承認した。
- 5) 入試に必要なとなる学科教員の必要見込教員数について決定した。
- 6) 一般選抜における県外試験会場別の外部委託人員数について審議し，決定した。
- 7) 学生募集要項および出願書類の書式等について審議し，決定した。
- 8) 総合型選抜A方式・B方式および3年次編入学選抜の実施概要について審議し，決定した。
- 9) 総合型選抜・学校推薦型選抜・社会人等特別選抜・3年次編入学選抜の合否判定配点について審議し，決定した。
- 10) 合否判定会議提出資料の書式について審議し，決定した。
- 11) 総合型選抜C方式・D方式・学校推薦型選抜・社会人等特別選抜の実施概要について審議し，決定した。
- 12) 2020年度AO入試・推薦入試等と学力の3要素の整合性について審議し，決定した。
- 13) 試験問題印刷工程・採点業務立会担当者の選出について審議し，決定した。
- 14) 総合型選抜A方式・B方式に対する委員会総括を行い，AO総括会議へ意見・要望等を提案した。
- 15) 大学入学共通テスト 新潟医療福祉大学試験場の実施概要について審議し，承認した。
- 16) 一般選抜の実施概要について審議し，決定した。
- 17) 合格・補欠ライン設定について審議し，決定した。
- 18) 2022年度入学者選抜試験日程について審議し，決定した。
- 19) 2022年度入試概要について審議し，決定した。（その後，総務会承認を以って最終決定した。）

④特記事項

- 1) 高校教諭対象入試説明会のWEB開催について審議し，決定した。
- 2) 2021年度入試 一部選抜区分の日程変更について審議し，決定した。
- 3) 令和2年7月豪雨受験特別措置について審議し，決定した。
- 4) 各選抜区分（一部選抜区分・学科除く）で実施する面接試験のWEB個人面接への変更について審議し，決定した。
- 5) 2021年度入学者選抜試験概要（改定案）について審議し，決定した。
- 6) 将来計画（2021年度～2030年度）の第一期中期目標・中期計画・アクションプランを決定した。

(12) 広報委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

杉崎弘周（HS，委員長），江玉睦明（PT，副委員長），中村雅俊（PT），天野 暁・浅尾章彦（OT），

渡辺時生・田村俊暁 (ST), 前田 雄・高橋素彦 (AT), 高野 操・佐々木一真 (CT), 金子 弘・生方北斗 (CO), 山内 一・安達哲浩 (EM), 安達登志樹・櫻井典子 (RT), 稲葉洋美・川上心也・星野美美 (HN), 武田丈太郎・下門洋文 (HS), 坪川麻樹子・安藤 萌 (NR), 中井良育・渡邊恵司 (SW), 伊藤嘉高・前田理歩 (HI), 近藤 至・樋山耕一・笹川克己・倉部崇史 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 広報委員会規程第5条に基づき, 杉崎委員長より, 理学療法学科江玉教授が副委員長に指名され, 全会一致で決定した.
- 2) WEBオープンキャンパス実施計画について, 入試対策講座等を実施する旨を決定した.
- 3) 各WEBオープンキャンパス受付者およびアンケート結果について確認した.
・受付15,850名(昨年6,522名)
- 4) 大学ホームページへの男子サッカー部オリジナルブログ, 陸上競技部オリジナルブログ, 卓球部オリジナルブログ, 健康管理センターページ, 教職支援センターページ, 北陸農政局ページ, 言語聴覚学科オリジナルブログへのリンク申請について決定した.
- 5) 広報誌「QOLサポーター新潟」の制作について検討し, 発行回数(年3回)および担当学科について決定した.
- 6) 新潟県内私大連携事業の一環で実施される, 村上高等学校, 佐渡中等教育学校, 新潟西高等学校での出張講義について, 本学に参加依頼があり対応することを確認した.
- 7) 2021年度学生募集状況について, 「選抜区別出願状況」「学科別出願状況」「県内高校別出願状況」「都道府県別出願状況」「男女別出願状況」「オープンキャンパス参加者からの出願率」などを報告し, 確認した.
- 8) ホームページのアクセス状況, 各学科のブログ(NUHW放送局), SNSのアクセス状況について報告した.
- 9) 2021年度大学パンフレットについて, コンセプト・デザイン・ページ構成等を決定した.
- 10) 2021年度広報制作物について, 「教員紹介」「出張講義一覧」の冊子等を作成することを決定した.
- 11) 2021年度ホームページコンテンツについて, 「未来発見ガイド」「未来研究ガイド」「県外生LIFE」「研究力」等のページを作成することを決定した.
- 12) 2021年度大学ホームページリニューアル内容について, コンセプト等を決定した.
- 13) 2021年度WEBオープンキャンパス開催日程について, 全18回の開催日程を決定した.

④特記事項

- 1) 年間を通して, オープンキャンパスはWEB型で実施する旨を審議し, 決定した.
- 2) 科研費対策委員会からの要請により, ホームページ上の教員紹介に, 各教員のresearchmapのURLを希望制で記載することを決定した.
- 3) 将来計画(2021年度~2030年度)の第一期中期目標・中期計画・アクションプランを決定した.

(13) 交通安全委員会

①委員名簿(敬称略, 所属, 委員会役職)

佐藤敏郎 (HS, 委員長), 岩森 大 (HN, 副委員長), 太田大樹 (PT), 間宮靖幸 (OT), 富澤晃文 (ST), 郷 貴博 (AT), 藤井 豊 (CT), 岸 哲志 (CO), 神藏貴久 (EM), 長谷川晃 (RT), 吉松 梓 (HS), 稲垣千文 (NR), 渡邊恵司・大坪美香 (SW), 近藤正紀 (HI), 風間篤史・夏井博臣・渡辺龍一郎 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 各学年別にWEB動画を使用し, 交通安全講習会を実施した.
- 2) 教職員対象の交通安全講習会の企画・実施運営を行い, 法改正に伴い新設された妨害運転罪をテーマ

とし、交通安全の意識向上に努めた。

3) 学生の車両登録を促進することで、学内駐車場の安全管理に努めた。

(14) 国家試験・資格試験対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

川村宏樹（CT，委員長），吉岡 豊（ST，副委員長），相馬俊雄・玉越敬悟（PT），藤目智博（OT），
今村 徹・内山 信（ST），笹本嘉朝・郷 貴博（AT），渡邊博昭（CT），村田憲章・多々良俊哉（CO），
大松健太郎（EM），山口弘次郎（RT），鈴木一恵・増田紘之・竹内瑞希（HN），脇野哲郎（HS），
長谷川隆雄（NR），横山豊治（SW），坂井さなえ（HI），吉田俊雄（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 国家試験・資格試験対策委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 試験対策費予算案分について審議し，決定した。
- 3) 試験対策室割り当てについて審議し，決定した。
- 4) 各学科の模擬試験実施予定を取り纏め，実施教室を決定した。
- 5) 国家試験対策システム UCAR（うか〜る）について審議し，システムの改修を承認した。
- 6) 新潟医療福祉大学将来計画について，国家試験・資格試験対策委員会が関与する中期目標・中期計画
およびアクションプラン実施状況について審議し，承認した。
- 7) 2019年度卒業生アンケート結果と振り返りについて，確認した。
- 8) 各試験対策予定表を作成し，確認した。
- 9) コロナ禍における国試対策の自習スペースや指導について，確認をした。
- 10) 保護者会にて配布する委員会資料について審議し，承認した。
- 11) 年末年始（大学閉鎖期間）の対策予定および自習室開放（講義棟・厚生棟）について確認した。
- 12) 毎月の指導状況およびスローラーナー対策状況について，確認した。

④特記事項

4つの国家試験（保健師・助産師・精神保健福祉士・介護福祉士）で合格率100%を達成した。

(15) 教育開発委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

能登真一（OT，委員長），牧口智夫（CT，副委員長），神田 賢・宮口翔太（PT），栞原 桂（ST），
高橋素彦（AT），高橋良光（CT），村田憲章（CO），安達哲浩（EM），橋本 薫（RT），田村典子・
岩森 大（HN），市川 浩・若月弘久（HS），石塚敏子・今井雄二（NR），松永 繁・荒川大靖（SW），
谷賢太郎・高野晃輔（HI），吉田俊雄・駒形高広（事務局）

②会議開催回数 8回

③審議事項および決定事項等

- 1) カリキュラムPDCA・3ポリシー検討部会
・カリキュラムアセスメントチェックリストについて検討・審議・実施
・カリキュラム評価アンケートの検討・審議・実施
・カリキュラムアセスメントチェックリストの集約内容の学科共有
- 2) 初年次教育検討部会
・夢を語る会についての審議，運営，実施
・基礎ゼミ実施内容の報告
・基礎ゼミ改善についての検討，審議，実施
・入学前教育（入学前課題，Webスクーリング）についての審議，運営，実施
Webスクーリング：学科単独実施のプログラムについての審議，運営，実施

- ・プレイスメントテストの実施についての審議, 確認
- ・「日本語検定」の実施についての審議
- ・実践行動学担当者についての確認と新規担当者のための講習会についての確認
- ・入学前課題「BasicStudy Camp」「Remedial Courses」についての検討, 審議, 実施
- ・補習教育「Remedial Courses」の運営方法の検討

3) その他

- ・2020年度部会構成についての審議

(16) FD委員会

①委員名簿（敬称略, 所属, 委員会役職）

五十嵐紀子 (SW, 委員長), 杉本 洋 (NR, 副委員長), 菊元孝則 (PT), 間宮靖幸 (OT), 田村俊暁 (ST), 佐藤未希 (AT), 大山富三 (CT), 石井雅子 (CO), 大和田均 (EM), 吉田皓文 (RT), 星野美美 (HN), 秋山隆之 (HS), 柴山純一 (HI), 野澤絃子・本間美雪 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項及び決定事項等

- 1) FD委員会副委員長を選出し, 承認した.
- 2) FD委員会部会構成および部会担当者を決定した.
- 3) FD委員会年間計画を審議し, 決定した.
- 4) 学生による授業評価要綱について審議し, 承認した.
- 5) 新潟医療福祉大学将来計画について, 2018~2020年度アクションプランに対する自己点検評価の実施状況を確認した.

④特記事項

- 1) 対面での新任教員対象FD研修会を中止し, オンデマンドコンテンツを公開した.
- 2) SD推進委員会との共催でFD・SDセミナーを計6回実施した.
- 3) 2019年度後期ベストティーチャーと語る会を実施した.
- 4) 図書館・学習支援センター運営委員会との共催セミナーを計2回実施した.
- 5) TOEIC IPテストをオンライン実施した. Spring Boardとの共催でTOEIC IPテストフォローアップセミナーを実施した.
- 6) 新潟連携教育研究センター運営委員会との共催で連携基礎ゼミに向けたFDを実施した.
- 7) 教務委員会との共催でシラバスの書き方オンラインセミナーを公開した.
- 8) 教務委員会との共催でオンライン授業時代の不正行為防止の在り方に関するFDを実施した.
- 9) 個人情報保護委員会との共催で教職員向けセキュリティ研修会を実施した.
- 10) 授業評価のフィードバックに関するセミナーを実施した.
- 11) 図書館・学習支援センター運営委員会との共催で“スローラーナー”に寄り添う学生支援FD研修会を実施した.
- 12) 米国カリフォルニア州立大学フレズノ校への教員海外研修派遣研修は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した. 代替企画として, 国際交流委員会との共催で春の教員英語研修および春の教員英語研修 振り返りセッションを実施した.
- 13) 地域連携推進センター運営委員会との共催で地域連携活動および社会貢献活動に関するセミナーを実施した.
- 14) メディア授業化による教育力バイアスが生じる事由から2020年度ベストティーチャー選考を中止した.
- 15) 外部FD研修会の案内および参加者の募集を実施し, 研修参加費の助成を行った.

(17) 健康管理センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

埜 晴雄（HS，委員長），遠藤和男（HN，副委員長），萩原康雄（PT），渡部貴史（OT），今村 徹（ST），
郷 貴博（AT），齋藤 幸・阿部拓也（CT），岸 哲志（CO），長谷川恵（EM），大野 健（RT），
大森 豪（HS），和田直子（NR），佐久間由紀（SW），井上弘樹（HI），波間早苗（医務室），中山あかね・
駒沢 猛（事務局）

②会議開催回数 11回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新入生の健康状況については，個人情報保護に留意し，学生記録票の身体状況記入欄を用いて各学科および体育教員と情報共有を行った。場合によっては健康状況の詳細を把握する必要があるため，学生記録票に病歴の記載がある場合には，中学・高校の学生生活管理指導表の写しなどの提出を求めた。
- 2) インフルエンザ流行防止のための予防喚起と，ワクチン接種を行い，発生状況の把握に努めた。接種人数は学生，教職員あわせて989名であり，前年度と同様の数であった。今期の感染は学生教職員ともに罹患することなく終息したことを確認した。
- 3) インフルエンザ感染後の文部科学省による登校基準改訂により「発熱後5日間は自宅で休養，安静」から「発症した後5日を経過し，かつ，解熱した後2日を経過するまで」であることを再度周知した。
- 4) 卒業式において救護体制を整備した。
- 5) 熱中症の予防について学生へ呼びかけ，各棟にポスターを掲示した。対策として医務室にスポーツ飲料を準備した。学生の熱中症の発生がなかったことを確認した。
- 6) ノロウイルス予防対策として各棟のトイレに手洗い奨励のポスターを掲示した。ノロウイルスの発生がごく一部にみられたことを確認した。
- 7) 学生委員会と共催で薬物乱用防止講演会を開催した。
- 8) 学生心理相談は臨床心理士と精神科医で行った。COVID-19の感染予防のため遠隔相談（電話相談やZoomでの相談）を開始した。
- 9) 健康診断担当者の選出を各学科長あてに依頼した。
- 10) 大学入構後の検温所と発熱や体調不良学生の休養場所を設置した。
- 11) 健康管理センターのHPが完成した。
- 12) COVID-19対策として新潟リハビリテーション病院でのPCR検査について，運用ガイドラインを作成し，周知した。

(18) 就職センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

永井 徹（HN，委員長），高橋英明（PT，副委員長），藤目智博（OT），大石如香（ST），前田 雄（AT），
池上喜久夫・渡邊博昭（CT），石井雅子・戸田春男（CO），田村一好（EM），安達登志樹（RT），
小林志郎・山本悦史（HS），長谷川隆雄（NR），青木 茂（SW），多湖雅博・柴山純一（HI），石崎伸一
（事務局）

②会議開催回数

就職センター運営委員会会議12回，クラウド型ポートフォリオのワーキンググループ会議12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 副委員長の選出。
- 2) 就職対策年間スケジュール（各学科と全体）の確定。
- 3) 将来計画（2010-2020年度）に係る自己点検・評価の実施。
- 4) 実践行動学パート3の企画，実施。
- 5) 医療福祉施設求人説明会（8月25日）の案内先および実施方法検討，インターネットによるオンデマ

ンド形式での準備・実施（作業療法学科を主幹に理学療法学科，言語聴覚学科が担当）。

医療福祉関連107施設の協力により実施。

- 6) 保護者会（11月7日）における就職関係資料の検討。
- 7) 業界・職種研究会（12月12日）の案内先および実施方法検討，インターネットによるオンデマンド形式での準備・実施（義肢装具自立支援学科を主幹に健康栄養学科，健康スポーツ学科，医療情報管理学科が担当）。企業34社の協力により実施。
- 8) 学内企業求人説明会（3月23日）の案内先および実施方法検討，ライブでのウェブ面談形式による準備・実施（義肢装具自立支援学科を主幹に健康栄養学科，健康スポーツ学科，医療情報管理学科が担当）。企業37社，学生122名の参加。
- 9) 教育重要課題の改善に向けた三位一体の対策として，学生のモチベーション維持・向上のため国家試験前の就職内定を重視，国試前後については時期に応じた未内定学生への支援を実施。
- 10) 各学科就職指導状況の情報交換による効果的な就職対策の検討・協議。
- 11) 2021年度の学内合同企業説明会，医療福祉施設求人説明会および業界・職種研究会の日程を決定し，学事歴に掲載。

④特記事項

1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の施策

例年，対面方式で実施していた医療福祉施設求人説明会，業界・職種研究会をインターネットによるオンデマンド形式にて実施。説明会参加予定企業・施設より企業データ，採用情報に関する資料・映像の提供を得て，Microsoft Teams上にて公開した。キャリア形成支援講座も講義動画を作成して実施した。また，学内企業求人説明会，公務員ガイダンス，その他各種ランチセミナーなどはライブでのウェブ面談形式による実施も積極的に取り入れた。

2) キャリア支援中期計画について

学生支援の充実の観点から今後5年間の中期目標として「就職支援体制の強化（キャリアカウンセリングの専門相談員の増員，オンラインの活用による支援拡充）」「キャリア教育の拡充（低学年からのキャリア意識形成，ポートフォリオ教育の利用拡大，実践行動学の分析によるキャリア教育改善）」「卒業生の定着度調査の分析による教育活動の改善」の3つを柱として具体的アクションプランに落とし込み実施する。

(19) 国際交流センター運営委員会

<国際交流専門委員会>

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

渡辺敏彦（国際交流担当副学長），久保雅義（PT，委員長），増田 修（CO，副委員長），横田裕丈（PT），今西里佳（OT），天野 暁（OT），伊藤さゆり（ST），阿部 薫（AT），高橋良光（CT），竹井 豊（EM），織部佑介（RT），澁谷顕一（HN），神田勝夫（HS），紅林佑介（NR），今井理恵（SW），高野晃輔（HI），石上和男（HI；オブザーバー），嵐田浩吉・大野あかね（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

1) 国際交流提携

すべての学科が何らかの形で海外の大学や機関と提携することを目標に国際交流活動を支援し，2020年度においては9カ国17大学3機関と提携を結んでいる。

番号	提携先	国名	都市	開始年	終了年
1	国立極東医科大学	ロシア	ハバロフスク市	2006	2021
2	カリフォルニア州立大学フレズノ校	アメリカ	フレズノ市	2007	2023
3	アンヘレス大学財団	フィリピン	アンヘレス市	2010	2022
4	ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部 臨床技術学科	アメリカ	ホノルル市	2011	2023
5	サント・トーマス大学<教育>	フィリピン	マニラ市	2011	2021
	サント・トーマス大学<研究>	フィリピン	マニラ市	2017	—
6	イーストアングリア大学看護・助産学校	イギリス	ノーリッジ市	2011	2021
7	マヒドン大学 (義肢)	タイ	バンコク	2015	2021
	マヒドン大学 (放射線)	タイ	バンコク	2018	2022
8	京畿大大学校	韓国	水原市	2015	2025
9	ホンバン国際大学	ベトナム	ホーチミン市	2016	2024
10	国立陽明大学	台湾	台北市	2016	2021
11	ハイズオン医療技術大学	ベトナム	ハイズオン市	2017	2022
12	中山医学大学	台湾	台中市	2017	2022
13	釜山カトリック大大学校	韓国	釜山市	2018	2024
14	サイバージャヤ医学大大学	マレーシア	セラランゴール州	2019	2024
15	太平洋国立大大学	ロシア	ハバロフスク市	2019	2024
16	弘光科技大大学	台湾	台中市	2019	2024
17	輔英科技大大学	台湾	高雄市	2019	2024
18	国立シリントン・リハビリテーションセンター	タイ	バンコク	2012	2022
19	台北榮民總醫院	台湾	台北市	2013	2023
20	フィリピン脳性麻痺のための法人 (PCPI)	フィリピン	マカティ市	2018	2021

2) 部会活動

- ・国際交流事業計画部会 (増田, 天野, 紅林, 高野)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、国外との往来を伴う国際交流事業を実施することはできなかった。しかし、救急救命学科が交流協定を締結予定の台湾・宜蘭県政府消防局より、6月17日の記念式典に招待いただき、西澤学長、鈴木学科長、久保国際交流センター長、竹井教授が本学からオンラインで出席し、西澤学長が祝辞を述べた。その模様は日本のメディアや台湾のメディアでも紹介された。また、創立90周年を迎える交流締結校、ロシア・国立極東医科大学より10月2日に開催される記念式典に西澤学長が招待されたが、現地に赴くことはできないので、ビデオメッセージの形で祝辞を送付した。式典当日には、国内外から寄せられたビデオ祝辞の中で、西澤学長のものが1番目に紹介された。

- ・英語等短期研修部会 (高橋, 澁谷, 神田)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、英語等短期研修は実施することはできなかった。しかし、学生のグローバル意識の涵養を止めることはできないので、オンラインで実施できる海外研修の代替企画「グローバルキャリア支援Meeting」を以下の通り、年間5回実施した。本企画は海外で就業あるいは修学の経験を有する専門職の方を講師に招いて、学生とオンラインでミーティングを行っていただくことで、学生のグローバル意識の向上を目指したものである。講師料については、英語等短期研修助成制度を利用し、合計75,000円を執行した。

回	実施日	講師 (敬称略)	参加学生数	講師料	備考
1	7月18日 (土)	興津界多 (Minor League PT at Texas Rangers)	20	15,000	講師料辞退
2	8月1日 (土)	山口大輔 (東京医科歯科大学スポーツサイエンスセンター)	25	30,000 (15,000 × 2)	
		上松大輔 (株式会社Function代表, FC東京コンディショニングコーチ)			
3	8月8日 (土)	Mimi Nakajima (California State University, Long Beach: Program Director)	10	15,000	講師料辞退
4	10月17日 (土)	中川真紀子 (元JICA海外協力隊員)	22	30,000 (15,000 × 2)	
		渡邊靖子 (元JICA海外協力隊員)			
5	12月12日 (土)	兼岡麻子 (東京大学附属病院言語聴覚士)	40	15,000	

- ・リスク管理部会（久保，横田，竹井）
学生に対しては海外渡航禁止の指示を年間を通じて発信し続けた。また，本年度の英語等短期研修に
関しては，実施しないことを危機管理対策委員会に提言し，同委員会です承された。
- ・コーヒーハウス部会（竹井，久保，伊藤）
連携総合ゼミに海外からオンラインで参加した学生と交流し，また，本学の留学生と県内他大学の留
学生との交流会を開催した。
- ・JICA国際協力部会（松井，久保，佐藤）
ベトナム・ハイズオン医療技術大学をカウンターパートとするJICA草の根技術協力事業が8月31日
から3年間の予定で開始された。また，9月3日には双方の関係者が一堂に会し，オンラインによる
キックオフミーティングを行った。
- ・英語版広報物作成部会（織部，今西，高橋，今井）
本学の魅力を海外や外国人学生に向けてさらにアピールするために，英文カタログ2020-2023を作成
し，英語版ホームページの改修作業を行った。また，英語版大学紹介動画のダイジェスト版を作成し，
用途に応じた活用が可能となった。
- ・国際交流締結プロジェクトチーム（渡辺副学長，久保，阿部）
既存の学術交流協定締結校との締結内容を点検し，さらに1機関との新たな交流協定の締結が決定し
ている（調印はコロナ禍のため，次年度の予定）。

3) その他の活動

- ・文部科学省が展開する官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」に，
本学から過去最多となる7名の学生が応募した。
- ・JASSO「2021年度海外留学支援制度（協定派遣）」に3件申請し，3件すべて採択された。
- ・海外の交流協定締結校（アメリカ・ハワイ大学，タイ・マヒドン大学）とオンラインによる学生交流
を行った。
- ・海外の交流協定締結大学・機関にマスクケースを同封して，状況伺いの書簡を送付した。多くの大
学・機関から返礼のお礼状が届いた。
- ・新潟日米協会のイベントへの学生の参加を促進した。
- ・FD委員会との共催で英語FD: Presentationの部およびSmall Talkの部を実施した。さらに，同委
員会との共催で春の教員英語研修「英語による教授法」を実施した。

<留学生専門委員会>

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

渡辺敏彦（国際交流担当副学長），久保雅義（PT，委員長），嵐田浩吉（事務局，副委員長），増田 修
（CO），阿部 薫（AT），大野あかね（事務局），若井和則（事務局，オブザーバー）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等（活動内容を含む）

- ・留学生募集のための活動と調査
アクセス日本留学フェア外国人学生のための進学説明会（東京）へのオンライン参加，JASSO外国人
学生のためのオンライン進学説明会（東京・大阪）への資料参加，Japan Study Support（JPSS）で
の英語・ベトナム語による大学紹介ページの公開，留学生募集リーフレットの作成，NSGグループ留
学生募集パンフレットの作成，等を行った。
- ・留学生募集および受入れのための海外提携校との連携
2021年度大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）として，協定校のベトナム・ハイズオン医
療技術大学の学生1名を文部科学省に推薦した。
- ・留学生の受入れ体制の整備と留学生支援
留学生学習状況調査の実施，外国人留学生サポーター制度の運用，留学生のための日本語講座開設の準

備, 等を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止に関しては, 新規入国の留学生に対しては2週間のホテル待機, 一時帰国からの再入国学生に対しては2週間の自宅待機を命じるなどして, 感染防止に努めた。

(20) 教職支援センター運営委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

吉田重和 (HS, 委員長, 教職課程長, センター長), 森 光雄 (HS, 副委員長), 森泉哲也・渡辺優奈 (HN), 脇野哲郎・佐藤裕紀・杵渕洋美・高田大輔・針谷美智子・上田純平 (HS), 波多幸江・坪川麻樹子 (NR), 野澤紘子・叶内月菜 (事務局)

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 教職支援センター運営委員会副委員長を選出し, 承認した。
- 2) 教職支援センター運営委員会年間計画を審議し, 決定した。
- 3) 教職支援センター指導体制について審議し, 承認した。
- 4) 2019年度卒業生アンケート結果について検討した。
- 5) 教員採用試験合格者目標値を設定し, 決定した。
- 6) 学内教員による教員採用試験対策学内講座について審議し, 決定した。
- 7) 外部業者による教員採用試験対策学内講座について審議し, 決定した。
- 8) 外部業者による教員採用試験対策学内模試について審議し, 決定した。
- 9) 教職支援センター利用ガイドラインについて審議し, 決定した。
- 10) 教員採用試験人物評価試験対策について審議し, 決定した。
- 11) 次年度予算案を審議し, 決定した。
- 12) 教職課程自己点検・自己改善作業を実施した。
- 13) 新潟医療福祉大学将来計画について, 教職支援センター運営委員会が関与する中期目標・中期計画およびアクションプランの実施状況について確認した。

④特記事項

- 1) 教員採用試験対策オリエンテーションを実施した。
- 2) 教員採用試験「合格者の声を聴く会」を実施した。
- 3) 教職支援センターニューズレター第6号・第7号を刊行した。
- 4) 2019年度教職支援センター年報を刊行した。
- 5) 「現職教員の声を聴く会」を実施した。
- 6) 教員免許状更新講習を1講座開講し, 実施した。
- 7) 講師登録希望者説明会を実施した。
- 8) 新潟県教育委員会・新潟市近郊私立大学との教員養成連絡協議会を実施した。(参加機関: 新潟県教育委員会・敬和学園大学・新潟青陵大学・新潟薬科大学・新潟経営大学・新潟工科大学・新潟医療福祉大学)
- 9) 「教職ボランティア体験を語る会」を実施した。
- 10) 3学科連携「教職実践演習」を実施した。
- 11) 教員採用試験出願書類作成指導会を実施した。
- 12) 教職支援センターWEBページを開設した。

(21) 地域連携推進センター運営委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

渡邊敏文 (SW, 委員長), 東江由起夫 (AT, 副委員長), 佐藤成登志 (PT), 天野 暁 (OT), 渡辺時生 (ST), 小澤口治樹 (CT), 石井雅子 (CO), 山内 一 (EM), 大徳尚司 (RT), 斎藤トシ子 (HN),

色摩正雄 (HS), 山口典子 (NR), 松本京介・渡邊恵司 (SW), 波多野誠 (HI), 大竹 宏 (事務局)

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1) 地域貢献活動の単位科目化の検討 (2022年度より)
- 2) 豊栄地区公民館の受託事業「2020年度市民大学講座」中止
- 3) 2020年度とよさか中高年教養大学のカリキュラム科目「健康長寿学」中止
- 4) 将来計画の自己点検
- 5) 「新潟医療福祉大学と北区との意見交換会」2021年3月15日：北区役所新庁舎

(22) 産官学連携推進センター運営委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

児玉直樹 (RT, 委員長), 大西秀明 (PT), 大鶴直史 (OT), 吉岡 豊 (ST), 東江由起夫 (AT), 下門洋文 (HS), 横山豊治 (SW), 山本智章 (新潟リハビリテーション病院), 小野哲之・大竹 宏 (事務局)

②会議開催回数 3回

③審議事項および決定事項等 (活動内容含む)

- 1) 脳卒中リハビリテーション研究センター設置承認について
- 2) 栄養科学研究センター設置承認について
- 3) 利益相反自己申告書について
- 4) 発明届出書について

(23) 新潟連携教育研究センター運営委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

松井由美子 (NR, 委員長), 泉田俊幸 (HS, 副委員長), 森下慎一郎・井上達朗 (PT), 間宮靖幸・渡部貴史 (OT), 榎原 桂・渡辺時生 (ST), 佐藤未希 (AT), 小澤口治樹・森田邦恵 (CT), 村田憲章・岸 哲志 (CO), 山内 一・大松健太郎 (EM), 吉田秀義 (RT), 遠藤和男・石澤幸江 (HN), 伊藤篤司 (HS), 渡邊千春 (NR), 松本京介・渡邊 豊・山口 智 (SW), 伊藤嘉高 (HI), 村山萌子 (事務局)

②会議開催回数 10回 (うち1回メールによる開催)

③審議事項および決定事項等

- 1) 連携総合ゼミ実行部会, 連携基礎ゼミ実行部会, 連携学対応部会, 連携教育研究部会の部員を選出し, 承認した。
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大抑止のための連携総合ゼミの実施形態変更について審議し, 承認した。
- 3) 連携総合ゼミの企画・準備スケジュールおよび各担当の割り振りについて審議し, 決定した。
- 4) 連携総合ゼミ履修希望届の内容について審議し, 承認した。
- 5) 連携総合ゼミ学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し, 承認した。
- 6) 連携総合ゼミの履修登録締切後の取消申請1件 (法事のため) について審議し, 承認した。
- 7) 連携総合ゼミの各事例への学生・教員配置について審議し, 承認した。
- 8) 連携総合ゼミの学生用アンケートの設問変更について審議し, 承認した。
- 9) 連携総合ゼミ関係教職員対象事前説明会, ファシリテーター研修会, 事前オリエンテーションの中止について審議し, 承認した。
- 10) 連携総合ゼミ開会式, 発表会, 修了式の内容について審議し, 承認した。
- 11) 連携総合ゼミ実施報告書の内容について審議し, 承認した。
- 12) 2021年度連携総合ゼミの日程について審議し, 8月30日～9月3日に決定した。
- 13) 新4年生オリエンテーションにおける2021年度連携総合ゼミの周知方法について審議し, 承認した。

- 14) 新型コロナウイルス感染拡大抑止のため、連携基礎ゼミをオンラインで実施することについて審議し、承認した。
- 15) 連携基礎ゼミの担当教員およびオンラインで用いるシステム等の詳細について審議し、承認した。
- 16) 連携基礎ゼミ学生ガイド・教員ガイドの内容について審議し、承認した。
- 17) 「連携基礎ゼミに向けたFD」をFD委員会と共催することについて審議し、承認した。
- 18) 連携基礎ゼミのゼミ分けについて審議し、承認した。
- 19) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートに自由記載項目を追加することについて審議し、承認した。
- 20) 新型コロナウイルス感染拡大抑止を考慮した「チームアプローチ入門（リハビリテーション学部必修，リハビリテーション学部を除き選択）」の授業計画について審議し、承認した。
- 21) 新型コロナウイルス感染拡大抑止を考慮した「地域連携学」の授業計画について審議し、承認した。
- 22) 新潟西高等学校の医療講演会に講師を派遣することについて審議し、承認した。

④特記事項

- 1) 連携教育協力教員の募集を行った。
- 2) 連携総合ゼミ関係教職員対象事前説明会，ファシリテーター研修会，事前オリエンテーションは中止した。
- 3) 連携総合ゼミ期間中の開会式，発表会，修了式等の運営（オンライン）を行った。
- 4) 連携総合ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し，結果の集計と考察を行った。
- 5) 連携総合ゼミの実施報告書および記録用Webページを作成した。
- 6) 「連携基礎ゼミに向けたFD」をFD委員会と共催した。
- 7) 連携基礎ゼミ初回オリエンテーション，最終発表会の実施方法についてとりまとめを行った。
- 8) 連携基礎ゼミグループワークテーマについてとりまとめを行った。
- 9) 連携基礎ゼミ中のトラブル（通信不良，周囲の環境など）についてヒアリング調査を行い，事務局に改善要望をした。
- 10) 連携基礎ゼミの学生アンケート・教員アンケートを実施し，結果の集計と考察を行った。
- 11) 連携基礎ゼミの発表スライドデータを収集した。
- 12) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部必修）をオンデマンド型および同時双方向型を組み合わせたオンライン授業で実施した。
- 13) チームアプローチ入門（リハビリテーション学部を除き選択）をオンデマンド型のオンライン授業で実施した。
- 14) 地域連携学を初開講した。
- 15) 連携教育科目担当教員の一部退職などに伴い，新しい担当教員の調整を行った。
- 16) 新潟医療福祉学会学術集会で2演題，日本保健医療福祉連携教育学会（JAIPE）学術集会で1演題を発表した。
- 17) 新潟西高等学校の医療講演会に講師を派遣した。
- 18) 新4年生オリエンテーションで2021年度連携総合ゼミの周知活動を行った。
- 19) 連携教育に関連する勉強会やシンポジウムなどについて情報発信を行った。

(24) Sports & Health先端科学研究センター運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

西原康行（HS，委員長），東江由起夫（AT，副委員長），大西秀明・江玉睦明（PT），大森 豪・下山好充・佐藤大輔・佐近慎平（HS），小野哲之・西海幸頼・中原英伸・大竹 宏・鈴木亜弥・坂田衣里（事務局）

②会議開催回数 8回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2020年度Sports & Health先端科学研究費に3件の応募があり，書面審査で最上位の課題を委員会

として採択課題として承認した。

- 2) 新潟QOLサポートコンソーシアム活動報告を行った。
- 3) 大学全体の研究成果を集約し発信するサイト「研究力サイト」を公開した。

④特記事項

- 1) 「大学のスポーツ資源を活用した地域活性化拠点形成・大学スポーツアドミニストレーター配置支援事業」に採択された。
- 2) スポーツ庁「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」について採択された。採択金額は、1年1千万円（間接経費込）×2年。

(25) 図書館・学習支援委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山岸達弥（ST，委員長，図書館長），笹本嘉朝（AT，副委員長），小島 翔・高林知也（PT），北上守俊（OT），石本 豪（ST），金子 弘・生方北斗（CO），神藏貴久（EM），橋本 薫（RT），澁谷顕一
田村典子（HN），三瀬貴生・濱野礼奈（HS），高橋智美（NR），原口彩子・佐久間由紀（SW），
多湖雅博（HI），船山澄子・中村委代・野水清秀・野口正信（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新型コロナウイルス感染症対策のため開館時間の短縮などサービスの一部変更が報告された。
- 2) 2019年度科研費移管分の書籍363冊を除籍した。
- 3) 図書館所蔵の修士論文・卒業論文の取扱いについて各学科の意向を調査し，館内では卒業論文の複写は原則として全学科で認めない旨確認した。
- 4) 剽窃検知ツールiThenticateの導入を審議し承認した。
- 5) 統計解析ソフトSPSSの導入を審議し承認した。
- 6) 雑誌閲覧ソフトdマガジンの契約と，それに伴うブラウジング雑誌12誌の購読中止を審議し承認した。
- 7) 個別指導利用者を対象にアンケートを実施し，WEBによる個別指導が概ね好意的に受け入れられていること，苦手意識の改善に効果的であることを確認した。
- 8) 学内ネットワークの整備を行い，WiFiをE棟・F棟全館に新設，Q棟3階に増設した。
- 9) 学習支援ピアサポーターの募集を行い，選考の結果9名を採用した。
- 10) データベースScopus，JCR，iThenticateの講習会を実施した。
- 11) 洋雑誌45誌の継続購読，1誌の新規購読を審議し承認した。
- 12) 和雑誌311誌の継続購読，2誌の新規購読，10誌の購読中止を審議し承認した。
- 13) 重複で保存対象外の書籍310冊，不明本20冊を除籍した。
- 14) 図書館緊急時初動マニュアルを作成した。
- 15) 経年や改訂により保存の必要がないと判断した書籍1,042冊，利用者紛失により入手不可の書籍1冊を除籍した。
- 16) 履修登録サポートデスクをオンラインで行うこととし，在学生のボランティアスタッフ50名を採用した。
- 17) 入学前セミナーをオンラインで実施し，配信動画の総視聴回数は5,087回だった。
- 18) 実習貸出の手続きを，来学せずに申請できるよう変更した。
- 19) 2020年度科研費移管分の書籍273冊，重複本1,832冊，不明本260冊を除籍した。

④特記事項

- 1) 学生選書ツアーをオンラインで行い，82冊の図書が選書された（8月20日～9月13日）。
- 2) 郵送による図書の貸出，オンラインを利用した図書・雑誌リサイクルを行った。
- 3) FD委員会と共催で「スローラーナー研修会」を開催した（3月24日 3限）。

(26) 科研費対策委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

佐藤大輔（HS，委員長），椿 淳裕（PT），外川 佑（OT），大石如香（ST），須田裕紀（AT），
浅井孝夫（CT），増田 修（CO），神藏貴久（EM），児玉直樹（RT），八坂敏一（HN），宇田優子（NR），
松本京介（SW），伊藤嘉高（HI），大竹 宏・坂田衣里（事務局）

②会議開催回数 3回

③審議事項および決定事項等

- 1) 過年度の申請状況を踏まえて，今年度の目標申請率を85%に設定することとした。
- 2) 科研費学内説明会が9月18日（水）13時10分～14時40分に実施し，120名の参加があった。
- 3) 科研費サポートデスクを設置し，運動機能医科学研究所メンバーによる申請書作成サポートを実施した。
- 4) 2020年度（令和2年度）科研費採択状況及び2021年度（令和3年度）申請状況について報告された。

(27) 研究奨励金委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

椿 淳裕（PT，委員長），大西秀明（PT），杉崎弘周（HS），宇田優子（NR），横山豊治（SW），
大竹 宏（事務局）

②会議開催回数 2回 ワーキング4回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2019年度研究奨励金および学長裁量研究費等の実績報告書について，採択課題81件中（秋期追加募集含む），81件の実績報告書の提出が確認され，研究実績の集計，事後評価を行った。
- 2) 2020年度研究奨励金等の募集（募集要項）について審議し承認した。2020年度予算は，研究奨励金4,350万円，研究科長裁量経費160万円，学長裁量研究費390万円とした。
- 3) 本委員会の2018-2020年度アクションプランを審議し承認した。
- 4) 研究奨励金，学長裁量研究費用の応募申請および書面審査（第1段審査）について，各学科から学科長により1名選出された書面審査員（合計13名）に書面審査を依頼し実施した。
- 5) 研究奨励金および学長裁量研究費の合議審査（第2段審査）について，書面審査員より提出された第1段審査結果を基に行い，大学院委員会および総務会への推薦課題を審議決定した。

(28) 学術委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

委員長：竹井 豊（EM，委員長），佐藤克郎（ST，副委員長），佐宗亜衣子（PT），浅尾章彦（OT），
高橋素彦（AT），追手 巍（CT），金子 弘（CO），稲川正一（RT），蘆田一郎（HN），池田祐介（HS），
杵渕洋美（HS），山口典子（NR），青木 茂（SW），瀧口 徹（HI），権瓶一葉・浅野美紀（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 学術委員会副委員長を指名した。
- 2) 新潟医療福祉学会役員（会計1名，会計監事2名，和文誌編集委員長・和文誌編集委員，英文誌編集委員長・英文誌編集委員）を選出し，決定した。
- 3) 学会誌第18巻第2号掲載論文の図表転載許諾申請について審議し，許諾した。
- 4) 評議員開催日程およびオンライン（Zoom）開催について審議し，決定した。
- 5) 評議員会議案について審議し，決定した。
- 6) 第20回新潟医療福祉学会学術集会のオンラインと誌上の併用開催について審議し，承認した。
- 7) 英文誌のJ-STAGE利用申請について審議し，決定した。

- 8) 英文誌投稿・執筆規程・投稿フォームの改訂について審議し、決定した。
- 9) 学術集会発表演題から投稿された論文への特典継続について審議し、決定した。
- 10) 会頭交代に伴う学会会則改訂について審議し、決定した。
- 11) 論文剽窃ツールiThenticateの学会利用について審議した。
- 12) クリエイティブ・コモンズ・ライセンスの採用について審議し、決定した。
- 13) 2022年度新潟医療福祉学会学術集会担当学科について審議し、理学療法学科に決定した。
- 14) 学会誌掲載可論文の機関リポジトリ登録について審議し、決定した。
- 15) 学会誌名称変更について審議し、和文誌の英語名称の変更を決定した。
- 16) 第20回新潟医療福祉学会総会議案を審議し、決定した。
- 17) 第20回新潟医療福祉学会総会の委員の役割分担を審議し、決定した。
- 18) 学会誌の発刊目的および和文誌への英文論文投稿を審議し、決定した。
- 19) 第21回新潟医療福祉学会学術集会の日程を審議し、決定した。
- 20) 学会賞表彰式（学会誌）のオンライン開催について審議し、決定した。
- 21) 2021年度学会入会案内冊子の内容について審議し、決定した。
- 22) 英文誌編集体制の強化と新たなEditorial Board創設を審議し、決定した。
- 23) 英文誌Associate Editorの要件と学外公募について審議し、決定した。
- 24) 英文誌査読者の要件について審議し、決定した。
- 25) 2021年度の外部評議員について審議し、決定した。

(29) 倫理委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山崎史恵（HS，委員長），齊藤 慧（PT），塚本康子（NR），児玉直樹（RT），青木 茂（SW），
佐藤卓也（新潟リハビリテーション病院），坂田衣里（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2020年度の申請件数は191件（受付番号18404～18594）であった。
- 2) 2020年度の学外学識経験者は、5月まで新潟リハビリテーション病院の立石学先生，6月から同病院の佐藤卓也先生を倫理委員会委員に委嘱した。
- 3) 倫理委員会開催日を毎月第1金曜日と設定し，倫理委員会で審査された内容を合同教授会と研究科委員会で報告することを決定した。

(30) 遺伝子組換え実験安全委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

田口 徹（PT，委員長），川村宏樹（CT，副委員長），大石如香（ST），田村典子・増田紘之（HN），
埴 晴雄（HS），渋谷友之（事務局）

②会議開催回数 4回（メール審議を含む）

③審議事項および決定事項等

- 1) 4件の遺伝子組換え実験計画書について審議し，4件を承認した。
- 2) 4件の遺伝子組換え実験室設置について審議し，4件を承認した。
- 3) 動物実験施設の外部認証評価に向け，有識者との意見交換会を実施した。
- 4) 遺伝子組換え実験の教育訓練用資料について審議し，承認した。

(31) 動物実験委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

越中敬一（HS，委員長），藤井 豊（CT，副委員長），長坂和明（PT），田口 徹（PT），大石如香（ST），

増田紘之 (HN), 宮地幸久 (RT), 渋谷友之 (事務局)

②会議開催回数 10回 (メール審議を含む)

③審議事項および決定事項等

- 1) 22件の動物実験計画書について審議し, 22件を承認した.
- 2) 動物実験施設の外部認証評価に向け, 有識者との意見交換会を実施した.
- 3) 新規実験計画書の書式を審議し, 承認した.
- 4) マウス飼育スペースの拡充に向け, 飼育施設内のレイアウトを変更した.
- 5) 動物実験実施者 (教員および学生) を対象に, 2020年度動物実験教育訓練講習会について検討し, 実施した.
- 6) 2020年度 (第10回) 実験動物慰霊祭について検討し, 執り行った. 動物実験に関わる教職員および学生が参加した.

(32) 大学院教務委員会

①委員名簿 (敬称略, 所属, 委員会役職)

能村友紀 (OT, 委員長), 佐藤克郎 (ST, 副委員長), 永井 徹 (HN), 原口彩子 (SW), 瀧口 徹 (HI), 吉田俊雄・野村奈央・菅原直実・村山萌子 (事務局)

②会議開催回数 6回 (うち1回メール審議)

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院設置基準の一部改正に対応するための大学院学則変更 (既修得単位の認定数に関する規定の変更) について審議し, 承認した.
- 2) 大学院一般教養科目「アカデミック・スキルズ」, 「スポーツ」の新規開設およびそれに付随する大学院学則変更について審議し, 承認した.
- 3) 大学院進学ガイドラインの作成について審議し, 承認した.
- 4) 大学院論文中間発表会を全てオンラインで開催することを定めた開催要領について審議し, 承認した.
- 5) 大学院論文中間発表会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施することについて審議し, 承認した.
- 6) 9月修了および3月修了者の論文審査スケジュールについて審議し, 承認した.
- 7) 新型コロナウイルスの感染抑止に配慮するため, 学位論文の書留郵便による提出を可とすることについて審議し, 承認した.
- 8) 新型コロナウイルスの感染抑止に配慮するため, 9月修了申請者の論文審査会の聴講を事前申込制とすることについて審議し, 承認した.
- 9) 新型コロナウイルスの感染抑止に配慮するため, 3月修了申請者の論文審査会を全てオンラインで実施することについて審議し, 承認した.
- 10) 3月修了申請者の論文審査会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施することについて審議し, 承認した.
- 11) 修了生アンケート結果への対応策について審議し, 承認した.
- 12) 大学院生向けセミナーの開催計画について審議し, 承認した.
- 13) 大学院論文作成マニュアルの改訂 (第6版) について審議し, 承認した.
- 14) 学部科目と同様に, 次年度シラバスに事前事後学習に関する記載とメディア授業に関する記載をすることについて審議し, 承認した.
- 15) 「保健・医療・福祉連携学特論」の開講期を後期から前期に変更することについて審議し, 承認した.
- 16) 2021年度修了生から, 新潟医療福祉学会誌への投稿論文を学位論文とした場合は大学保存用の別刷り提出を免除することについて審議し, 承認した.

④特記事項

- 1) 大学院進学ガイドラインを新たに作成し, 利用を開始した.

- 2) 中間発表会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施し、評価を行った。
- 3) 3月修士申請者の論文審査会開催後に院生対象アンケートおよび教員対象アンケートを実施し、評価を行った。
- 4) メディア授業実施状況（今年度実績・次年度予定）に関する調査を行い、分析した。
- 5) 統計学セミナーをオンデマンド型のオンライン形式で開催した。
- 6) 論文投稿セミナーを同時双方向型のオンライン形式で開催した。
- 7) 大学院教育研究環境委員会と共同で修士生アンケートを実施した。
- 8) 大学院教務拡大委員会（2回）の開催はオンライン上の資料共有で代替した。

(33) 研究プロジェクト演習（UROP）運営委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

阿部 薫（AT，委員長），牧口智夫（CT，副委員長），佐藤成登志（PT），今村 徹（ST），戸田春男（CO），佐藤裕紀（HS），中井良育（SW），若井和則・菅原直実・本間美雪（事務局）

②会議開催数 3回

③審議事項および決定事項

- 1) 研究プロジェクト演習（UROP）運営委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 2019年度後期履修者研究活動報告会の開催方法を審議し、承認した。
- 3) 2020年度後期履修者研究活動報告会・2021年度前期履修説明会を2021年度4月にオンラインで開催することを決定した。

④特記事項

- 1) 2019年度後期履修者研究活動報告会をポスター発表（掲示のみ）で開催し、また履修者による研究活動の成果をポータルサイト上で公開した。
- 2) 2020年度前期研究プロジェクト演習を閉講とした。
- 3) 2020年度後期履修説明会を開催した。
- 4) 2020年度後期研究プロジェクト演習は原則オンラインで実施した。

(34) 大学院入試広報委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

阿部 薫（AT，委員長），戸田春男（CO，副委員長），外川 佑（OT），武田丈太郎（HS），渡邊 豊（SW），木下直彦（HI），若井和則・菅原直実・野村奈央（事務局）

②会議開催回数 12回（拡大委員会 2回）

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院入試広報委員会副委員長を選出し、承認した。
- 2) 大学院入試広報委員会年間計画を審議し、決定した。
- 3) 2021年度医療福祉学研究科の定員管理に係る方針・入試日程・試験項目を審議し、決定した。
- 4) 2022年以降の入試のオンライン化について審議し、決定した。
- 5) 出願希望者情報フォームの運用について審議し、決定した。
- 6) 県外在住者に対する入学選考試験の特別措置について審議し、決定した。

④特記事項

- 1) 学部生向け大学院説明会「教えて！大学院」を計5回開催した。
- 2) 大学院オープンキャンパスを計4回開催した。
- 3) 国際交流センターと合同で、アクセスリード主催「アクセス日本留学フェア『外国人学生のための進学説明会2020』（東京・大阪）」にオンライン出展した。
- 4) 大学院進学ガイドライン作成に係る資料として、分野別履修プラン・生活スケジュールのサンプルを作成した。

- 5) 在学生を対象に大学院入試・広報活動に関するアンケート調査を実施した。
- 6) 本学主催イベントを記録した動画を大学院ホームページに公開した。

(35) 大学院FD委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

久保野勝男（CT，委員長），蘆田一郎（HN，副委員長），河野聖夫（SW），柴山純一（HI），菅原直実・本間美雪（事務局）

②会議開催数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院FD委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 大学院FD委員会年間計画を審議し，決定した。
- 3) 研究支援FDセミナーについて審議し，決定した。
- 4) 統計学FDセミナーについて審議し，決定した。
- 5) 論文投稿FDセミナーについて審議し，決定した。
- 6) 研究指導FDセミナーについて審議し，決定した。
- 7) 研究倫理FDセミナーについて審議し，決定した。

④特記事項

- 1) FD委員会と共同しメディア授業に関する情報発信を実施した。
- 2) 研究支援FDセミナーを計2回開催した。
- 3) 統計学FDセミナーを計3回開催した。
- 4) 論文投稿FDセミナーを開催した。
- 5) 研究指導FDセミナーを開催した。
- 6) 研究倫理FDセミナーを開催した。

(36) 大学院教育研究環境委員会

①委員名簿（敬称略，所属，委員会役職）

山代幸哉（HS，委員長），阿部 薫（AT，副委員長），江玉睦明（PT），宇田優子（NR），寺田貴美代（SW），近藤正紀（HI），菅原直実（事務局）

②会議開催回数 10回

③審議事項および決定事項等

- 1) 大学院教育研究環境委員会副委員長を選出し，承認した。
- 2) 2018-2020年度アクションプランの遂行について審議し，決定した。
- 3) 2020年度・2030年度将来計画に基づくアクションプラン案について審議した。
- 4) 修了生アンケート結果について審議し，対応策を決定した。
- 5) 大学院生用Q&A集の改訂について審議し，決定した。
- 6) リサーチ・アシスタント（RA）規程の策定について審議し，決定した。
- 7) 大学院退学抑止対策に関する検討について審議し，各委員会協働により対応策を決定した。

④特記事項

- 1) 大学院退学抑止対策の一環として，大学院進学ガイドライン（修士課程・博士後期課程）を作成した。
- 2) 大学院生用Q&A集を作成した。
- 3) 大学院教務委員会と共同で修了生アンケートを実施した。
- 4) 学生生活アンケートを実施した。
- 5) 全国医療福祉看護系大学の教育研究環境について調査を実施した。
- 6) 全国医療福祉看護系大学の博士後期課程学費減免制度について調査を実施した。

6. 大学情報の公開と広報

1) 公開講座等

全て中止

2) 広報活動

(1) 大学広報誌の発行 (QOLサポーター新潟)

- ・2020年4月1日 第52号 発行
- ・2020年9月15日 第53号 発行
- ・2020年12月8日 第54号 発行

(2) 各種広報物の作成

- ・大学案内パンフレット, 入試ガイド, 募集強化学科リーフレット, 教員紹介, 出張講義・講演一覧, 学費等支援制度案内リーフレット (全8学科), WEBオープンキャンパス告知DM, 選抜区分別出願案内DM等

(3) ホームページの管理・運営

- ・WEBでの動画コンテンツの充実化, ユーザビリティ向上, SEO (内部・外部) 施策の充実化, WEB広告出稿等, WEBプロモーションの強化
- ・「研究力サイト」による, 私立大学研究ブランディング事業をはじめとする本学の研究についての情報発信
- ・アドミッションポリシー, 入学者選抜試験概要等の入試情報の発信
- ・学部学科情報, 強化指定クラブ情報, WEBオープンキャンパス等の大学情報の発信
- ・教育研究上の目的, 授業科目等の教育情報公開に係る情報発信
- ・大学トピックス&ニュース掲載 年間303本
- ・部局ブログ (学科・強化指定クラブ・各種支援センター) による情報発信
- ・大学公式アプリ, Instagram, Facebook, Twitter, YouTube, LINE, TikTok等による情報発信

(4) WEBオープンキャンパスの実施

- ・年間21回開催 (4月, 6月 [2回], 7月 [2回], 8月 [2回], 9月 [2回], 10月 [2回], 11月 [2回], 12月 [2回], 1月, 2月, 3月 [4回])

(5) 進路相談会等への参加

- ・会場ガイダンス 45会場
- ・高校内ガイダンス 266校
- ・資料参加 (会場・高校) 468件
- ・高校出張講義 講座 77講座
- ・大学見学 17団体

(6) 高校教諭対象WEB入試説明会の実施

- ・開催期間 2020年6月15日 (月) および6月22日 (月) ~7月3日 (金)
- 参加者数 47校54名

(7) メディア広報

- ・パブリシティー掲載 TV, 新聞等 年間989件掲載 (内, 全国608件)

(8) その他

- ・高校訪問活動, コンソーシアム新潟への参加

7. 研究活動

1) 学長

氏名：西澤 正豊

1 研究題目 認知症・神経難病の地域包括ケア

2 著書

1. 西澤正豊. 脊髄小脳変性症 (SCD)・多系統萎縮症 (MSA). In Year Note Topics 2021-2022 内科・外科疾患. 11th edition. 東京：Medic Media; 2021: J-23-24.
2. 西澤正豊. 筋萎縮性側索硬化症 (ALS). In Year Note Topics 2021-2022 内科・外科疾患. 11th edition. 東京：Medic Media; 2021: J-25-26.
3. 西澤正豊. 脊髄性筋萎縮症 (SMA). In Year Note Topics 2021-2022 内科・外科疾患. 11th edition. 東京：Medic Media; 2021: J-27.
4. 西澤正豊. 球脊髄性筋萎縮症 (SBMA). In Year Note Topics 2021-2022 内科・外科疾患. 11th edition. 東京：Medic Media; 2021: J-28.

3 論文

1. Perez-Lloret S, van de Warrenburg B, Rossi M, Rodriguez-Blazquez C, Zesiewicz T, Saute JAM, Durr A, Nishizawa M, Martinez-Martin P, Stebbins GT, Schrag A, Skorvanek M, Members of the MDS Rating Scales Review Committee. Assessment of ataxia rating scales and cerebellar functional tests. Critique and recommendations. *Mov Disord.* 2021 Feb; 36 (2): 283-297. PMID: 33022077.
2. Nagano S, Jinno J, Abdelhamid RF, Jin Y, Shibata M, Watanabe S, Hirokawa S, Nishizawa M, Sakimura K, Onodera O, Okada H, Okada T, Saito Y, Takahashi-Fujigasaki J, Murayama S, Wakatsuki S, Mochizuki H, Araki T. TDP-43 transports ribosomal protein mRNA to regulate axonal local translation in neuronal axons. *Acta Neuropathol.* 2020 Nov; 140 (5): 695-713. PMID: 32803350.
3. 西澤正豊. 医の倫理総論. In 増大特集 神経倫理ハンドブック. BRAIN and NERVE. 2020 Jul; 72 (7): 667-675. PMID: 32641563.
4. 西澤正豊. 多職種連携による認知症の地域包括ケアと本学が目指すもの. 新潟医療福祉学会誌. 2020; 20 (3): 62-67.

4 学会等研究発表

1. 西澤正豊：多職種連携による認知症の地域包括ケアと本学が目指すもの. 第20回新潟医療福祉学会学術集会特別講演（新潟市），2020.10.31.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経学会（名誉会員・専門医・指導医），内科学会（功労会員・認定内科医・指導医），神経免疫学会（名誉会員），認知症学会（代議員・専門医・指導医），神経治療学会（功労会員），神経感染症学会（功労会員），神経化学会（功労会員），難病医療ネットワーク学会（顧問），全国難病センター研究会（副会長）American Academy of Neurology（Active Corresponding Member）

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和2年度新潟健康ビジネス会議，「新型コロナウイルス感染症の対処法について」講演，新潟市朱鷺メッセ，2021.1.13.
2. 柳井緩和ケア講演会，「神経難病の地域包括ケアと緩和ケア」特別講演，国立病院機構柳井医療センター大会議室，2021.3.11.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 新潟日報，「就任半年 新潟医福大・西澤正豊学長に聞く」，2020.10.7.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

厚生労働省厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会（委員），日本医療研究開発機構（AMED）難治性

疾患実用化研究事業（プログラム・オフィサー・課題評価委員会委員），同産学医療連携イノベーション創出プログラム（評価委員），同研究企画課FORCEプログラム（評価委員），新潟市難病対策地域協議会（会長），新潟県難病医療連絡協議会（会長）

4) 職能団体（協会，士会等）の委員

NPO 法人新潟難病医療ネットワーク（理事長），日本多発性硬化症協会（顧問），脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会（顧問）

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学脳研究所非常勤講師

2. 新潟大学医学部非常勤講師，臨床入門「生命倫理学1 生と死の倫理学」，2020.11.2，同「社会の中の医学 新潟水俣病の50年」，2020.11.16.

8 学内委員会活動 総務会，大学院会，危機管理対策委員会（委員長）

2) リハビリテーション学部

(1) 理学療法学科

氏名：大西 秀明

1 研究題目 知覚学習・運動学習に関する研究

2 著書

1. 大西秀明. 卒前教育における管理学. 斎藤昭彦, 下田信明編「リハビリテーション管理学」. 東京:羊土社; 2020 : 177-192.

3 論文

1. Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Tokunaga Y, Qin W, Kojima S, Onishi H. Changes in the Laterality of Oxygenation in the Prefrontal Cortex and Premotor Area During a 20-Min Moderate-Intensity Cycling Exercise. *Adv Exp Med Biol (JCR)*. 2021;1269:113-117. doi: 10.1007/978-3-030-48238-1_18.

2. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Kojima S, Sato D, Shirayama A, Ito Y, Onishi H. Relationship Between the Borg Scale Rating of Perceived Exertion and Leg-Muscle Deoxygenation During Incremental Exercise in Healthy Adults. *Adv Exp Med Biol (JCR)*. 2021;1269:95-99. doi: 10.1007/978-3-030-48238-1_15.

3. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype on Short-Latency Afferent Inhibition and Motor Cortex Metabolites. *Brain Sci. (JCR)* 2021 Mar 20;11(3):395. doi: 10.3390/brainsci11030395.

4. Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, Saito K, Inukai Y, Shirozu H, Onishi H. The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. *Eur J Neurosci (JCR)*. 2021 Mar 26. doi: 10.1111/ejn.15209.

5. Yokota H, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-Specific Effects of 10-Hz Transcranial Alternate Current Stimulation Over the Left Posterior Parietal Cortex and Primary Somatosensory Area on Tactile Two-Point Discrimination Threshold. *Front Neurosci (JCR)*. 2021 Feb 18;15:576526. doi: 10.3389/fnins.2021.576526.

6. Pham MV, Miyaguchi S, Watanabe H, Saito K, Otsuru N, Onishi H. Effect of Repetitive Passive Movement Before Motor Skill Training on Corticospinal Excitability and Motor Learning Depend on BDNF Polymorphisms. *Front Hum Neurosci (JCR)*. 2021 Feb 5;15:621358. doi: 10.3389/fnhum.2021.621358.

7. Hoshi H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Corticospinal excitability of untrained side depends on the type of motor task and degree of improvement in motor function. *Brain Cogn (JCR)*. 2021

Mar;148:105691. doi:10.1016/j.bandc.2021.105691.

8. Yamashiro K, Yamazaki Y, Siiya K, Ikarashi K, Baba Y, Otsuru N, Onishi H, Sato D. Modality-specific improvements in sensory processing among baseball players. *Sci Rep (JCR)*. 2021 Jan 26;11(1):2248. doi: 10.1038/s41598-021-81852-x.
 9. Saito K, Otsuru N, Yokota H, Inukai Y, Miyaguchi S, Kojima S, Onishi H. α -tACS over the somatosensory cortex enhances tactile spatial discrimination in healthy subjects with low alpha activity. *Brain Behav (JCR)*. 2021 Mar;11(3):e02019. doi: 10.1002/brb3.2019.
 10. Inukai Y, Miyaguchi S, Kobayashi N, Otsuru N, Onishi H. Noisy galvanic vestibular stimulation effect on center of pressure sway during one-legged standing. *J Clin Neurosci (JCR)*. 2020 Dec;82(Pt A):173-178. doi: 10.1016/j.jocn.2020.10.050.
 11. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Inoue T, Qin W, Kojima S, Fu JB, Onishi H. Face Pain scale and Borg scale compared to physiological parameters during cardiopulmonary exercise testing. *J Sports Med Phys Fitness (JCR)*. 2020 Dec 3. doi: 10.23736/S0022-4707.20.11815-2.
 12. Inukai Y, Miyaguchi S, Saito M, Otsuru N, Onishi H. Effects of Different Stimulation Conditions on the Stimulation Effect of Noisy Galvanic Vestibular Stimulation. *Front Hum Neurosci (JCR)*. 2020 Sep 24;14:581405. doi: 10.3389/fnhum.2020.581405.
 13. Fukaya T, Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Inaba K, Nishishita S, Onishi H. The Relationship between Stretching Intensity and Changes in Passive Properties of Gastrocnemius Muscle-Tendon Unit after Static Stretching. *Sports (Basel)*. 2020 Oct 23;8(11):140. doi: 10.3390/sports8110140.
 14. Hirabayashi R, Kojima S, Edama M, Onishi H. Activation of the Supplementary Motor Areas Enhances Spinal Reciprocal Inhibition in Healthy Individuals. *Brain Sci (JCR)*. 2020 Aug 24;10(9):587. doi: 10.3390/brainsci10090587.
 15. Sato D, Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Baba Y, Ikarashi K, Maruyama A. Elite competitive swimmers exhibit higher motor cortical inhibition and superior sensorimotor skills in a water environment. *Behav Brain Res (JCR)*. 2020 Oct 1;395:112835. doi: 10.1016/j.bbr.2020.112835.
 16. Miyaguchi S, Inukai Y, Takahashi R, Miyashita M, Matsumoto Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of stimulating the supplementary motor area with a transcranial alternating current for bimanual movement performance. *Behav Brain Res (JCR)*. 2020 Sep 1;393:112801. doi: 10.1016/j.bbr.2020.112801.
 17. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Enhancement of spinal reciprocal inhibition depends on the movement speed and range of repetitive passive movement. *Eur J Neurosci (JCR)*. 2020 Oct;52(8):3929-3943. doi: 10.1111/ejn.14855.
 18. Miyaguchi S, Inukai Y, Matsumoto Y, Miyashita M, Takahashi R, Otsuru N, Onishi H. Effects on motor learning of transcranial alternating current stimulation applied over the primary motor cortex and cerebellar hemisphere. *J Clin Neurosci (JCR)*. 2020 Aug;78:296-300. doi: 10.1016/j.jocn.2020.5.24.
 19. Inukai Y, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H, Nagasaka K, Onishi H. The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: A randomized controlled trial. *Neurosci Lett (JCR)*. 2020 Jun 11;729:135009. doi: 10.1016/j.neulet.2020.135009.
 20. Tsubaki A, Morishita S, Tokunaga Y, Sato D, Qin W, Kojima S, Onishi H. Effect of Exercise Duration on Post-Exercise Persistence of Oxyhemoglobin Changes in the Premotor Cortex: A Near-Infrared Spectroscopy Study in Moderate-Intensity Cycling Exercise. *Adv Exp Med Biol (JCR)*. 2020;1232:193-199. doi:10.1007/978-3-030-34461-0_24.
- 4 学会等研究発表
1. 大西秀明. 理学療法による神経調整の基礎 (教育講演), 第4回日本リハビリテーション医学会 秋季学術

集会（神戸・ハイブリッド），2020.11.20-11.22【教育講演】

2. 渡邊拓，小島翔，長坂和明，大野健，櫻井典子，児玉直樹，大鶴直史，大西秀明．健常者の脳灰白質容積の変動性について．第50回日本臨床神経生理学学会学術大会（京都・ハイブリッド），2020.11.26-11.28.
3. 平林怜，江玉睦明，山田勇輝，齊藤ありさ，縄涼平，大西秀明．噛みしめは脊髄の介在ニューロンを変調させる．第75回日本体力医学会大会（鹿児島・Web），2020.9.24-9.26.
4. 大鶴直史，木村慎二，岩崎円，細井昌子，大西秀明．認知行動療法と運動療法の併用効果．第13回日本運動器疼痛学会（新潟・Web），2020.11.28-11.29.
5. 犬飼康人，宮口翔太，斎藤美樹，大鶴直史，大西秀明．異なる条件下での前庭ノイズ電流刺激が刺激後の立位重心動揺に与える影響．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
6. 齊藤慧，大鶴直史，犬飼康人，小島翔，宮口翔太，長坂和明，大西秀明．後頭頂皮質への経頭蓋パルス電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
7. 宮口翔太，犬飼康人，高橋諒，大鶴直史，大西秀明．補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
8. 平林怜，小島翔，江玉睦明，大西秀明．補足運動野への脳刺激が脊髄相反性抑制に及ぼす影響．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
9. 長坂和明，小島翔，大鶴直史，大野健，櫻井典子，児玉直樹，大西秀明．触覚刺激パターンの違いが脳領域間の機能的結合性に与える影響－MRIを用いたfunctional connectivityの評価－．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
10. 横田裕丈，大鶴直史，齊藤慧，小島翔，宮口翔太，犬飼康人，長坂和明，江玉睦明，大西秀明．左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別覚閾値に及ぼす領域特異的効果．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
11. 渡邊拓，小島翔，齊藤慧，長坂和明，宮口翔太，横田裕丈，犬飼康人，大鶴直史，大西秀明．刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
12. 1Pham Van Manh，宮口翔太，渡邊拓，長坂和明，横田裕丈，小島翔，齊藤慧，犬飼康人，大鶴直史，大西秀明．他動運動介入による皮質脊髄路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
13. 神居寧，小島翔，齊藤慧，大西秀明．主動筋または拮抗筋神経に対する末梢神経電気刺激が脊髄興奮性および反応時間に及ぼす影響．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
14. 橋本慈樹，宮口翔太，犬飼康人，大西秀明．バスケットボールシュートスキル学習と練習前後の睡眠の関係．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
15. 伊藤祐輝，宮口翔太，犬飼康人，大西秀明．運動練習前後の睡眠が運動スキルの転移および保持に与える影響．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
16. 大橋佑介，犬飼康人，宮口翔太，大西秀明．座位姿勢における前庭交流電流刺激が立位重心動揺に与える影響．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
17. 富樫亮弥，犬飼康人，宮口翔太，大西秀明．BDNF遺伝子多型がバランス機能の運動学習に与える影響．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
18. 鈴木孝昇，長坂和明，渡邊拓，大鶴直史，横田裕丈，大西秀明．瞳孔径と一次運動野興奮性には関連があるか？．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
19. 神野美佳，大鶴直史，横田裕丈，長坂和明，大西秀明．陸上競技者の疲労と関連する因子－内受容感覚と不安の観点から－．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
20. 阿部晃平，齊藤慧，小林拓夢，田中日菜，小島翔，大西秀明．健常若年者におけるペグボード遂行能力と触覚方位弁別能力の関係．第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・Web），2020.12.13-12.18.
21. 伊藤愉快，大鶴直史，横田裕丈，長坂和明，大西秀明．バーチャルリアリティが身体サイズ認知に及ぼす

影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台・Web), 2020.12.13-12.18.

22. 工藤綾乃, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 内側前頭前野の灰白質容積はオフセット鎮痛の程度に関連するの? - Voxel based morphometryを用いた検証 -. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台・Web), 2020.12.13-12.18.
23. 佐藤壘, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 痛みへの選択的注意に関連する灰白質構造の特定—脳構造画像解析による検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台・Web), 2020.12.13-12.18.
24. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 五十嵐一希, 宮口翔太, 大西秀明. COMT遺伝子多型による痛みの注意と失感情の関連. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台・Web), 2020.12.13-12.18.
25. 堺大輝, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 森下慎一郎, 椿淳裕, 大西秀明. 内受容感覚が運動負荷中の強度制御に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台・Web), 2020.12.13-12.18.
26. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽聴取によって喚起される情動と灰白質容積との関連—脳構造画像解析を用いた検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台・Web), 2020.12.13-12.18.
27. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 横田裕丈, 長坂和明, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 反復的な静的・動的触覚刺激入力が一身体性感覚野の抑制作用および二点識別覚に及ぼす影響. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟・Web), 2020.10.30-11.15.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本基礎理学療法学会(副理事長), 日本理学療法士学会, 日本生体磁気学会(評議員), 日本臨床神経生理学会, 日本体力医学会, 日本リハビリテーション医学会, 全国大学理学療法学会(副理事長), 新潟医療福祉学会, 新潟スポーツ傷害フォーラム
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士学会(協力学術団体), 「理学療法学」編集委員(副編集委員長)
 2. 日本理学療法士学会(協力学術団体), 「理学療法学」査読員
 3. 日本理学療法士学会(協力学術団体) Physical Therapy Research, 編集委員
 4. 日本理学療法士学会(協力学術団体) Physical Therapy Research, 査読員
 5. 令和2年度日本理学療法士教員協議会, 企画・調整・運営, 報告書作成, Web, 2021.3.13開催(活動期間:2020.11-2021.2)
 6. 令和2年度日本理学療法士教員協議会, シンポジウム・講師, 司会, Web, 2021.3.13開催
 7. 国際誌(Muscle and Nerve)査読

6 社会活動

- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本理学療法士学会・コアカリ検討委員会委員

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 挑戦的研究(開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化(代表)
 2. 2020年度, 挑戦的研究(萌芽), 新しいニューロリハビリテーションを可能にするMEG対応ハプティック技術の創成(分担), 代表:原正之
 3. 2020年度, 基盤研究(B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微少循環の評価法の開発と検証(分担), 代表:椿淳裕
 4. 2020年度, 基盤研究(C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発(分担), 代表:斎藤慧

5. 2019年度, 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー (代表)
 6. 2019年度, 基盤研究 (B), 慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略 (分担), 代表・大鶴直史
 7. 2018年度, 基盤研究 (B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発 (分担), 代表・佐藤大輔
 8. 2017年度, 基盤研究 (B), 骨機械感受性を調節する骨細胞ネットワークとその神経性調節 (分担), 代表・山本智章
 9. 2017年度, 基盤研究 (B), 骨組織の力学的反応性を調節するプレコンディショニング磁場刺激の役割 (分担), 代表・田巻弘之
 10. 2020年度, 厚生労働科学研究費・障害者政策総合研究事業「障害者の支援機器開発に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル構築に資する研究」(分担), 代表・出江紳一
- 8 学内委員会活動 将来計画機構 (機構長), 自己点検・評価委員会 (委員), 学部評価準備委員会 (委員), Sports&Health先端科学研究センター運営委員会 (委員), 運動機能医科学研究所 (所長), 研究奨励金委員会 (委員)

氏名：江玉 睦明

- 1 研究題目 機能解剖学に関する研究 (機能解剖学), スポーツ傷害に関する研究 (スポーツ科学)
- 2 著書
 1. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 アキレス腱の捻れ. 東京：月刊スポーツメディスン；2020：4月号. 49-50.
 2. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 二分靭帯のバリエーション. 東京：月刊スポーツメディスン；2020：5月号. 49-50.
 3. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 靭帯のバリエーション. 東京：月刊スポーツメディスン；2020：6月号. 49-50.
 4. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 肘の靭帯と筋の付着部について. 東京：月刊スポーツメディスン；2020：7月号. 25-27.
 5. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 研究を支える技術およびツール. 東京：月刊スポーツメディスン；2020：8月号. 25-27.
 6. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 末梢の構造の性差 (男女差). 東京：月刊スポーツメディスン；2020：9月号. 25-27.
 7. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 膝蓋骨の形状と動き. 東京：月刊スポーツメディスン；2020：10月号. 25-27.
 8. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 足の裏側から見た足部の靭帯. 東京：月刊スポーツメディスン；2020：11月号. 49-50.
 9. 江玉睦明. 形態学的特徴から考える身体の機能と役割 理学療法士が形態学的研究を行う意義. 東京：月刊スポーツメディスン；2020：12月号. 25-29.
 10. 江玉睦明. 臨床スポーツ医学 アキレス腱の解剖学. 第37巻. 第7号. 東京：文光堂；2020：738-743.
- 3 論文
 1. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Inai T, Sekine C, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Anatomical variations in the insertion of the peroneus longus tendon. Surgical and Radiologic Anatomy (JCR). 2020;42(10):1141-1144.
 2. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Morphological features of the lateral plantar ligament of the transverse

- metatarsal arch. *Clinical Anatomy (JCR)*. 2020 Sep 30.
3. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hrabayashi R, Sekine C, Kageyama I. Morphological characteristics of the plantar calcaneocuboid ligaments. *J Foot Ankle Res (JCR)*. 2021 Jan 7;14(1):3.
 4. Edama M, Inaba H, Hoshino F, Natsui S, Maruyama S, Omori G. The relationship between the female athlete triad and injury rates in collegiate female athletes. *Peerj (JCR)*. Apr 6;9:e11092.
 5. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Nakamura E, Kubo M. Effect of gender and load conditions on foot arch height index and flexibility in Japanese youths. *Journal of Foot and Ankle Surgery (JCR)*. Nov-Dec 2020;59(6):1144-1147.
 6. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Differences in rearfoot, midfoot, and forefoot kinematics of normal foot and flatfoot during running. *J Orthop Res (JCR)*. 2020 Oct 10.
 7. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Shank and rearfoot coordination and its variability during running in flatfoot. *J Biomech (JCR)*. 2021 Jan 22;115:110119.
 8. Ikezu M, Edama M, Matsuzawa K, Kaneko F, Hirabayashi R, Kageyama I. Morphological features of the ulnar collateral ligament of the elbow and common tendon of flexor-pronator muscles. *The Orthopaedic Journal of Sports Medicine (JCR)*. 2020 Sep 21;8(9): 2325967120952415.
 9. Ikezu M, Edama M, Inai T, Matsuzawa K, Kaneko F, Hirabayashi R, Kageyama I. The Effects of Differences in the Morphologies of the Ulnar Collateral Ligament and Common Tendon of the Flexor-Pronator Muscles on Elbow Valgus Braking Function: A Simulation Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2021 Feb 18;18(4):1986.
 10. Kaneko F, Edama M, Ikezu M, Matsuzawa K, Hirabayashi R, Kageyama I. Anatomical characteristics of tissues attached to the fifth metatarsal bone. *The Orthopaedic Journal of Sports Medicine (JCR)*. 2020 Sep 18;8(9):2325967120947725.
 11. Matsuzawa K, Edama M, Ikezu M, Kaneko F, Hirabayashi R, Kageyama I. The origin structure of each finger in the flexor digitorum superficialis muscle. *Surg Radiol Anat (JCR)*. 2021 Jan;43(1):3-10.
 12. Matsuzawa K, Edama M, Ikezu M, Otsuki T, Maruyama S, Sato N. Contributions of the third and fourth digits and the second and fifth digits of the flexor digitorum superficialis muscle to elbow valgus stability. *Orthopaedics Journal of Sports medicine (JCR)*. In press
 13. Yamazaki T, Maruyama S, Sato Y, Suzuki Y, Shimizu S, Kaneko F, Ikezu M, Matsuzawa k, Edama M. A preliminary study exploring the change in ankle joint laxity and general joint laxity during the menstrual cycle in cis women. *J Foot Ankle Res (JCR)*. 2021 Mar 24;14(1):21. doi: 10.1186/s13047-021-00459-7.
 14. Suzuki Y, Edama M, Kaneko F, Ikezu M, Matsuzawa K, Kagayama I. Morphological characteristics of the Lisfranc ligament. *Journal of Foot and Ankle Research (JCR)*. 2020 Jul 16;13(1):46.
 15. Inai T, Takabayashi T, Watanabe S, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, Edama M. A new method for estimating three-dimensional movement of the patella using a surface mapping method and computed tomography. *Heliyon (JCR)*. 2020 Aug 18;6(8): e04729.
 16. Inai T, Takabayashi T, Edama M, Kubo M. Algorithm to compute muscle excitation patterns that accurately track kinematics using a hybrid of numerical integration and optimization. *Journal of Biomechanics (JCR)*. 2020 Jun 23;107: 109836.
 17. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Enhancement of spinal reciprocal inhibition depends on the motion speed and range of repetitive passive movement. *European Journal of Neuroscience (JCR)*. 2020 Oct;52(8):3929-3943.
 18. Hirabayashi R, Kojima S, Edama M, Onishi H. Activation of the supplementary motor areas enhances spinal reciprocal inhibition in healthy individuals. *Brainsciences (JCR)*. 2020;10(9):587. doi: 10.3390/brainsci10090587.

19. Kobayashi T, Takabayashi T, Kudo S, Edama M. The prevalence of chronic ankle instability and its relationship to foot arch characteristics in female collegiate athletes. *Physical Therapy in Sport (JCR)*. 2020 Nov;46:162-168.
20. Maruyama S, Yamazaki T, Suzuki Y, Shimizu S, Ikezu M, Matsuzawa K, Edama M. Relationship between anterior knee laxity and general joint laxity in the menstrual cycle. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine (JCR)*. 2021 Mar 29;9(3):2325967121993045.
21. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. ランニング中に生じる足部内のバイオメカニクス. *日本基礎理学療法学会誌 (協力学術協力団体)*. 第23巻1号. 2020.
22. 江玉睦明, 佐藤大輔. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト (女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究)」研究成果報告書.

4 報告書

1. 江玉睦明. 基盤研究C, アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究代表者

5 学会等研究発表

1. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (Web開催), 2020.10.17-10.18.
2. 江玉睦明, 高林知也. Lateral Lisfranc Ligamentの形態学的特徴. 第45回日本足の外科学会・学術集会 (Web開催), 2020.11.26-11.27.
3. 江玉睦明, 高林知也, 松澤寛大. ヒラメ筋の形態学的特徴. 第46回JOSSM・第12回JOSKAS合同学会 (Web開催), 2020.12.17-12.19.
4. 江玉睦明. 第45回日本足の外科学会シンポジウム「アスリートの足疾患に対する集学的治療－診断からリコンディショニングまで－」 (Web開催), 2021.11.27. 【シンポジウム】
5. 江玉睦明. 第25回日本基礎理学療法学会 シンポジウム1「運動器理学療法における基礎と臨床の接点」 (Web開催), 2020.12.12. 【シンポジウム】
6. 松澤寛大, 江玉睦明. 浅指屈筋における各指の起始部構造について. 第46回JOSSM・第12回JOSKAS合同学会 (Web開催), 2020.12.17-12.19.
7. 高林知也, 江玉睦明. 正常足と扁平足におけるランニング時の後足部と下腿間の運動連鎖の違い. 第46回JOSSM・第12回JOSKAS合同学会 (Web開催). 2020.12.17-12.19.
8. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 昇段動作の速度と股関節内・外転モーメントインパルスとの関係性. 第8回運動器理学療法学会 (Web開催), 2020.10.17-10.18.
9. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. T字杖の使用は立脚期の股関節屈曲・伸展モーメントインパルスに影響を与えるか? 第9回支援工理学療法学会 (Web開催), 2020.11.7-11.8.
10. 星野美美, 稲葉洋美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化部女子選手の睡眠と食事状況に関する調査報告. 第67回日本栄養改善学会 (Web開催), 2020.9.2-9.4.
11. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定クラブ女子選手における月経状況と栄養素等摂取状況に関する報告. 第67回日本栄養改善学会 (Web開催), 2020.9.2-9.4.
12. 平林怜, 横田裕丈, 山田勇輝, 齊藤ありさ, 縄涼平, 江玉睦明. 噛みしめは脊髄の介在ニューロンを変調させる. 第75回日本体力医学会大会 (Web開催), 2020.9.24-9.26.
13. 青柳努, 工藤慎太郎, 小林匠, 江玉睦明, 兼岩淳平, 平田正純, 林英俊. 踵腓靭帯損傷が距骨下関節内反不安定性に与える影響の検討. 第45回日本足の外科学会学術集会 (Web開催), 2020.11.26-11.27.
14. 工藤慎太郎, 小林匠, 高林知也, 江玉睦明. 超音波画像診断装置を用いた距骨下関節不安定性の評価方法の検討－徒手的な内反負荷の妥当性の検証－. 第45回日本足の外科学会学術集会 (Web開催), 2020.11.26-11.27.

15. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林怜, 大森豪. 本学アスリートサポート研究センターにおける脳振盪予防プログラムの試み. アスレティックトレーニング学会 (Web開催), 2020.12.
16. 平林怜, 小島翔, 江玉睦明, 大西秀明. 補足運動野への脳刺激が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
17. 縄涼平, 平林怜, 山田勇輝, 齊藤ありさ, 大西秀明, 江玉睦明. 前脛骨筋への異なる振動刺激が筋パフォーマンスに及ぼす即時効果の検討. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
18. 齊藤ありさ, 平林怜, 山田勇輝, 縄涼平, 大西秀明, 江玉睦明. 噛み締め強度の変化がIa相反抑制と脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
19. 山田勇輝, 平林怜, 齊藤ありさ, 縄涼平, 大西秀明, 江玉睦明. 異なる噛み締め強度が足関節背屈パフォーマンスにおよぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
20. 吉岡乾太, 松澤寛大, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 江玉睦明. 異なる負荷量の肘外反ストレスにおける肘外反不安定性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
21. 舍川真侑, 丸山紗永, 平田有彩, 横山瑞希, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 松澤寛大, 大槻智史, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性, 反張膝, 全身関節弛緩性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
22. 横田裕丈, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 江玉睦明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別覚閾値に及ぼす領域特異的効果. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
23. 松澤寛大, 江玉睦明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 影山幾男. 肘尺側副靭帯の横走線維束と前部線維束の関係. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
24. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 歩幅とケイデンスが立脚期の股関節内・外転モーメントインパルスに与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
25. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の後足部, 中足部, 前足部キネマティクスに与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
26. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の下腿と後足部のcoordination variabilityに与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
27. 高林知也, 江玉睦明. ランニング中に足部内で生じている力学的負荷の性差. 第25回日本基礎理学療法学会 (Web開催), 2020.12.12-12.13.
28. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 大森豪, 久保雅義. ランニング中のショパール関節およびリスフラン関節モーメントの定量化の試み. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (Web開催), 2020.10.17-10.18.
29. 丸山紗永, 山崎朋美, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 松澤寛大, 大槻智史, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (Web開催), 2020.10.17-10.18.
30. 松澤寛大, 江玉睦明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 浅指屈筋の各指の筋腹の形態学的特徴. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (Web開催), 2020.10.17-10.18.
31. 平林怜, 横田裕丈, 伊藤涉, 三瀬貴生, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 江玉睦明. 噛みしめが及ぼす脊髄機能と運動パフォーマンスへの効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (Web開催), 2020.10.17-10.18.
32. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (Web開催), 2020.10.17-10.18.

33. 平林怜, 江玉睦明. 噛みしめが運動パフォーマンスに及ぼす影響: 脊髄機能との検証. 日本スポーツ歯科医学会 (広島), 2020.12.5-12.6.
34. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学女子バレーボール選手の利用可能エネルギー. 第20回新潟医療福祉学会 (Web開催), 2020.10.31-11.15.
35. 星野美美, 真島一郎, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学生男子アスリートの睡眠状況ならびに栄養素等摂取状況に関する横断調査. 第20回新潟医療福祉学会 (Web開催), 2020.10.31-11.15.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会 (会員), 日本臨床スポーツ医学会 (会員), JOSKAS (会員), 日本足の外科学会 (会員), 日本解剖学会 (会員), 新潟スポーツ傷害フォーラム (理事), 新潟スポーツ理学療法研究会 (副代表), 足の構造と機能研究会 (理事), 体表解剖学研究会 (講師)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第25回日本基礎理学療法学会, 一般演題 (構造・機能・情報学8) 座長, Web開催, 2020.12.13.
 2. 第7回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 一般演題5「下肢のスポーツ外傷・障害5 (足関節)」座長, Web開催, 2021.1.24.
 3. Journal of Clinical Medicine Topic Editors
 4. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 一般演題査読
 5. 第7回日本スポーツ理学療法学会学術大会 一般演題査読
 6. PeerJ (#50883) 査読
 7. JPTA-Journal (#11941) 査読
 8. JPTA-Journal (#11865) 査読
 9. JPTA-Journal (#12039) 査読
 10. Anatomical science international (#00359) 査読
 11. Journal of anatomy (#0519) 査読

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第2回アスレティックトレーナー長崎県協議会研修会, 「解剖学的視点からみたスポーツ障害～筋構造・筋腱移行部・腱付着部の新しい知見～」, 講師, アスレティックトレーナー長崎県協議会, アスレティックトレーナー・理学療法士, Web開催, 2021.1.28.
 2. 医療法人アレックス職員研修会, 「解剖学的見地から考えるアキレス腱障害患者の治療戦略」, 講師, 理学療法士, Web開催, 2021.1.30.
 3. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー, 「新潟市中体連部活動指導者研修会」, 運営, 部活指導者, Web開催, 2020.9.18.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 秋季大学北信越バレーボール選手権大会, メディカルサポート, 富山県, 2020.11.1.
 2. 全日本インカレ, メディカルサポート, 東京都, 2020.11.30-12.2.
- 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県サッカー協会 (医科学委員), 日本理学療法士協会機関紙査読委員

8 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 基盤研究C, アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～, 研究代表
 2. 2020年度, スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト (女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究)」, 「月経周期におけるコンディション不良に対する運動器機能と中枢神経機能からアプローチする新たなトレーニング法・傷害予防法の開発」, 研究代表

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 第126回日本解剖学会 トラベルアワード 2020年 (共同)

3) 学外兼務講師等

1. 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター非常勤勤務 (スポーツ外来), 2020.4-2021.3.
2. 新潟リハビリテーション病院非常勤勤務 (スポーツ外来), 2020.4-2021.3.
3. 日本歯科大学新潟生命歯学部解剖学第一講座 聴講生, 2020.4-2021.3.
4. 新潟大学医学部解剖学第一講座 客員研究員, 2020.4-2021.3.
5. 島根大学医学部解剖学講座 研究員, 2020.4-2021.3.

- 9 学内委員会活動 広報委員会 (副委員長), 大学院広報委員会 (委員), 大学院研究環境員会 (委員), 運動機能医科学研究所 (所員), Sports&Health先端科学研究センター (委員), SHAIN (研究メンバー), アスリートサポート研究センター (副センター長)

氏名 : 久保 雅義

1 研究題目 身体運動の解析

2 論文

1. Sargent B, Havens KL, Wisnowski JL, Wu TW, Kubo M, Fetter L. In-Home Kicking-Activated Mobile Task to Motivate Selective Motor Control of Infants at High Risk of Cerebral Palsy: A feasibility Study. *Phys Ther* (2020) 100(12): 2217-2226.
2. Kim JA, Fetters L, Kubo M, Eckel SP, Sargent B. Infants born full term and preterm increases the height of anti-gravit leg movements during a kick-activated mobile task using a scaffolded task environment. *Infancy* (2021) 26(1): 168-183.
3. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Effect of gender and load conditions on foot height arch height index and flexibility in Japanese youths. *Journal of Foot and Ankle Surgery*. (2020) 59(6): 1144-1147.
4. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Shank and rearfoot coordination and its variability during running in flatfoot. (2021) 115.

3 学会活動

- 1) 所属学会 バイオメカニズム学会 (理事), 日本臨床スポーツ医学会, グローバル人材育成教育学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療通訳センター, 模擬通訳トレーニング, 協力員, 新潟市 (Online), 9.13.
2. 新潟医療通訳センター, 模擬通訳トレーニング, 協力員, 新潟市 (Online), 11.15.

氏名 : 古西 勇

- 1 研究題目 地域在住の中高齢者の健康増進に関する研究, 低中所得国における障害のある人々へのリハビリテーション支援に関する研究

2 論文

1. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保雅義. 若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子 「本態性肩こり」における頸部屈伸筋群の持久力, 最大筋力および頸部機能に着目して. *理学療法科学 (協力学術研究団体)*. 2020 ; 35 (4) : 483-487.

3 学会等研究発表

1. 土田千歳, 狩俣美紀, 古西勇, 瀧口徹. ドミニカ共和国32自治体におけるCOVID-19感染拡大の現状と感染者の致死率の要因分析. 日本国際保健医療学会他・グローバルヘルス合同大会2020 (大阪市オンライン開催), 2020.11.1-11.3.

2. 狩俣美紀, 玉田千歳, 古西勇, 瀧口徹. タイの僧侶の食生活や喫煙はsocial determinants of healthに変質してきたのか?. 日本国際保健医療学会他・グローバルヘルス合同大会2020(大阪市オンライン開催), 2020.11.1-11.3.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 新潟医療福祉学会, 日本公衆衛生学会, 日本国際保健医療学会, 日本疫学会, 日本骨粗鬆症学会, 全国大学理学療法教育学会(事務局)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 全国大学理学療法教育学会, 2020年度日本理学療法士教員協議会, 事務局, 新潟市オンライン開催, 2021.3.13.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 全国大学理学療法教育学会, 事務局, 庶務幹事, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. Journal of Physical Therapy Science, 査読.
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県理学療法士会, 令和2年度新潟県臨床実習指導者講習会, 講師・演習ファシリテーター, 村上市, 2020.3.6-3.7.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 新潟県理学療法士養成校協議会(臨床実習指導者講習会世話人)
- 6 学内委員会活動 教務委員会(委員長), 自己点検・自己評価委員会(委員長), 外部評価準備委員会, 危機管理対策委員会, ロコモ予防研究センター

氏名: 佐藤 成登志

- 1 研究題目 腰痛・肩こりの理学療法に関する研究, ロコモ・フレイル予防に関する研究, 慢性腰痛および脊柱変形のある対象者に対する研究, 痛み・しびれ・麻痺に対する徒手治療の研究, 通いの場の現状および介入プログラムに関する研究, 職業性腰痛に関する研究
- 2 論文
 1. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法効果. Journal of Spine Research. 2020; 11 (6): 923-930.
 2. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保雅義. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の血液循環動態の経時的変化について. Journal of Spine Research. 2020; 11 (6): 902-907.
 3. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保雅義. 若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子. 理学療法科学. 2020; 35(4): 483-487.
 4. 若菜翔哉, 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志. 若年者および高齢者女性における体幹筋と大腰筋の筋厚および筋輝度の比較. 理学療法科学. 2020; 35(2): 245-249.
 5. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志. 座位体幹伸展動作が腰部多裂筋の血液循環動態に及ぼす影響. 地域ケアリング10. 2020; 22(11): 72-76.
 6. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢が腰部多裂筋の血液循環動態に及ぼす影響-腰痛の有無での比較. 地域ケアリング1. 2021; 23(1): 77-81.
 7. 佐藤成登志. 地域高齢者に対する介護予防と健康寿命延伸への課題と取り組み. 新潟医療福祉会誌. 2020; 20 (3): 69-74.
 8. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2020年度報告書. 2020. 代表.
 9. 佐藤成登志. 日本脊椎脊髄病学会プロジェクト委員会腰曲がり研究保存療法ワーキング. 腰曲がりに対する運動療法のエビデンス創出に関する研究 運動療法手帳・手引書. 2020. 分担.

10. 神田賢, 北村拓也, 鈴木祐介, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－腰痛の有無での比較－. Journal of Spine Research. (印刷中)
 11. Kanda M, Kitamura T, Sato N. Cervicothoracic spinal alignment and neck flexor muscle endurance in young and older adult females with and without neck and shoulder pain (Katakori in Japanese). J of physical therapy science (in press)
- 3 報告書
1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 基盤研究 (C), 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究分担者
 2. 佐藤成登志, 神田賢, 北村拓也. 基盤研究 (C), 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
1. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者の姿勢と身体機能. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市), 2020.11.28-12.25.
 2. 佐藤成登志. 健康寿命の延伸に対する取り組み—20年のあゆみとこれから—. 第20回新潟医療福祉学会 学術集会シンポジウム (新潟市Web), 2020.10.31-11.15.
 3. 津布子夏実, 佐藤成登志, 神田賢. 前屈時痛を有する非特異的腰痛患者と健常成人との比較—股関節の回旋可動域制限に着目して—. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市Web), 2020.11.28-12.25.
 4. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化—腰痛の有無での比較—. 第28回日本腰痛学会 (札幌市Web), 2020.10.30-11.29.
 5. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 若年女性における肩こりの有無と頭頸部の位置が頸部筋群の筋血流動態におよぼす影響. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市Web), 2020.11.28-12.25.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 日本理学療法士学会 (代議員), 新潟県理学療法士学会 (理事・会長), 日本腰痛学会, 日本運動器疼痛学会, 理学療法科学学会, 日本MTA学会 (理事), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 準備委員会, 学会長, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士学会 認定理学療法士, 査読
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. サポーター研修会, コロナ予防, 講師, 新潟市秋葉区, 住民, 新潟市, 2020.9.11.
 2. フレイル予防教室, フレイルについて, 講師, 新潟市秋葉区, 住民, 新潟市, 2020.10.4.
 3. 日本医師会認定産業医研修会, 職業性腰痛の特徴とその予防法, 講師, 上越市医師会, 産業医, 上越市, 2020.10.7.
 4. きらっと輝く生きがい研修会, 足腰丈夫に健康長寿～姿勢改善で膝痛・腰痛予防～, 講師, 柏崎市老人クラブ連合会, 住民, 柏崎市, 2020.11.13.
 5. 日本医師会認定産業医研修会, 職業性腰痛の特徴とその予防法, 講師, 長岡市医師会, 産業医, 長岡市, 2020.12.5.
 6. 管理者ネットワーク研修会, 管理者ネットワークの背景と必要性, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 長岡市 (Web), 2021.2.27.
 7. 第1回助言者研修会, 地域ケア個別会議における助言者について, 主催・運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟県 (Web), 2020.6.27.
 8. 第2回助言者研修会, 地域ケア個別会議における助言者について, 主催・運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟県 (Web), 2020.7.18.
 9. 第3回助言者研修会, 地域ケア個別会議における助言者について, 主催・運営, 新潟県理学療法士会,

理学療法士，新潟県（Web），2020.8.23.

10. 助言者フォローアップ研修会，地域ケア個別会議における助言者について，主催・運営・ファシリテーター，新潟県地域包括ケア支援専門職協議会，6 専門職，新潟県（Web），2021.2.14.

11. 臨床実習指導者研修会，講師，日本理学療法士協会，理学療法士，村上市，2021.3.6-3.7.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 新聞，日本農業新聞，自立支援自ら動く環境づくり，科学的な視点を，2021.1.27.

3) 社会活動への参加協力

1. （公社）日本理学療法士協会・拡大組織運営委員会，組織運営，県代表，web，2020.4-2021.3.（2回）

2. （公社）日本理学療法士協会・代議員総会，総会，県代表代議員，web，2020.6.6.

3. （公社）日本理学療法士協会・理事会，組織運営，県代表，web，2020.4-2021.3.（2回）

4. （公社）日本理学療法士協会・倫理委員会，倫理協議，県代表，東京，2020.4-2021.3.（3回）

5. （公社）新潟県理学療法士会・総会，会長，新潟，2020.10.18.

6. （公社）新潟県理学療法士会・理事会，会長，新潟，2020.4-2021.3.（6回）

7. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議，県代表，web，2020.4-2021.3.（2回）

8. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議，会長，新潟，2020.4-2021.3.（6回）

9. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議，会長，新潟，2020.4-2021.3.（6回）

4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

第8期新潟県高齢者保健福祉計画・新潟県高齢者保健福祉推進協議会委員会（新潟県リハビリテーション専門職代表・委員）

5) 職能団体（協会，士会等）の委員

（公社）日本理学療法士協会（代議員），（公社）日本理学療法士協会（倫理委員），（公社）新潟県理学療法士会（会長・理事），新潟県リハビリテーション専門職協議会（会長），新潟県地域包括ケア支援専門職協議会（会長），日本マイチューニングアプローチ学会（理事・北陸支部長）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度（継続），科研費基盤C，骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立，研究分担者

2. 2020年度，県委託事業，介護予防における大学との連携事業，研究代表者

3. 2020年度，新潟市秋葉区委託事業，地域ぐるみでフレイル予防事業，研究代表者

4. 2020年度，科研費基盤C，看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証，研究代表者

8 学内委員会活動 地域連携推進運営委員会，研究プロジェクト演習運営委員会，ロコモティブ症候群予防研究センター（センター長）

氏名：相馬 俊雄

1 研究題目 身体運動およびバランス機能に関するバイオメカニクス研究，中枢神経疾患の下肢装具歩行に関する研究

2 論文

1. 相馬俊雄. 脳卒中片麻痺者に対する体幹ベルト付下肢装具歩行の臨床応用. BIO Clinica. 2020 ; 35 (14) : 44-46. (総説・解説)

2. 相馬俊雄. 脳卒中片麻痺者への体幹ベルト付下肢装具歩行の有効性. 地域ケアリング. 2021 ; 23 (3) : 52-54. (総説・解説)

3. 前田雄，林豊彦，須田裕紀，高橋素彦，郷貴博，東江由起夫，相馬俊雄. 下腿義足ソケット下腿義足ソケットの後壁面高さがソケット内接触圧ソケット内接触圧力と歩容に与える効果. バイオメカニクス学会誌. 2020 ; 44 (4) : 242-251. (原著論文)

4. 渡部朱織, 相馬俊雄. スクワット動作における足部荷重位置の違いが下肢関節モーメントおよび下肢筋活動量に及ぼす影響. 石川県理学療法学会雑誌. 2021; 20 (1): 9-12. (原著論文)
- 3 報告書
 1. 2017-2019年度, 科研費基盤研究 (C), 体幹ベルト付下肢装具歩行における立脚支持と遊脚制御機構の解明, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 相馬俊雄, 丹保信人, 西片寿仁. 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の身体動揺解析. 第36回日本義肢装具学会学術大会 (東京), 2020.10.31-11.1.
 2. 相馬俊雄, 丹保信人, 西片寿仁, 内田貴洋, 布施優一, 伊藤秀敏, 渡部朱織, 神田基生, 神戸晃男, 松下功. 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行が身体重心に及ぼす影響. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟), 2020.11.6-11.7.
 3. 相馬俊雄, 丹保信人, 西片寿仁, 内田貴洋, 布施優一, 伊藤秀敏, 渡部朱織, 神田基生, 神戸晃男, 松下功. 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の身体動揺解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2020.10.31-11.1.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本運動器理学療法学会, 日本神経理学療法学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本義肢装具学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本生体磁気学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会, 日本リハビリテーション工学会, 臨床歩行分析研究会, 日本肘関節研究会, 新潟県理学療法士会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読委員
 2. 第8回日本運動器理学療法学会学術大会, 演題査読委員
 3. 日本基礎理学療法学会, 基礎理学療法学会誌, 論文査読委員
 4. 日本生理人類学会, 論文査読委員
 5. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 座長, 仙台市, 2020.12.12-12.18.
 6. 新潟県理学療法士会, 理学療法新潟, 論文査読委員
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校. リハビリテーション医学, 2020.10.1-2021.3.31.
 2. 国際メディカル専門学校. 運動学, 2020.10.1-2021.3.31.
- 7 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 田口 徹

- 1 研究題目 遅発性筋痛の神経・分子機構解明, 線維筋痛症の病態機構解明, 筋・筋膜性疼痛の病態機構解明, 不活動性疼痛の病態機構解明, 触覚の神経生理学的研究, 痛みと免疫に関する研究, 筋痛・筋損傷に対する理学療法効果の実証, 気圧変動による慢性痛増悪機構
- 2 著書
 1. 田口徹. 「疼痛医学」第II編, 2. 運動器の痛みのメカニズム, 1) 筋痛. 東京: 医学書院; 2020: 61-66. (教科書)
- 3 論文
 1. Murase S, Kobayashi K, Nasu T, Kihara C, Taguchi T, Mizumura K. Synergistic interaction of nerve growth factor and glial cell-line derived neurotrophic factor in muscular mechanical hyperalgesia in

- rats. *Journal of Physiology (London) (JCR)*. 2021; 599(6): 1783-1798.
- Miyahara K, Nishimaru H, Matsumoto J, Setogawa T, Taguchi T, Ono T, Nishijo H. Involvement of parvalbumin-positive neurons in the development of hyperalgesia in a mouse model of fibromyalgia. *Frontiers in Pain Research (JCR)*. 2021; 2: 627860.
 - 田口徹. AMED-CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開, 研究成果報告書, 2020, 研究分担者
 - 田口徹. 基盤研究 (C), 新規in vivoパッチクランプ法を用いた慢性筋痛の脊髓機構解明と治療薬の探索, 研究成果報告書, 2020, 研究分担者
- 4 報告書
- 田口徹. 基盤研究 (B), 遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証, 研究成果報告書, 2020, 研究代表者
- 5 学会等研究発表
- Taguchi T, Katanosaka Y, Katanosaka K. Decreased mechanical response of cutaneous nociceptors in TRPV2-deficient mice. 43rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (Kobe), 2020.7.29-8.1.
 - 田口徹, Ulrich HOHEISEL, Siegfried MENSE. 腰痛の知覚に関わる神経解剖学的知見. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 田口徹, 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫. 線維筋痛症治療薬の脊髓作用機序. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 田口徹, 太田大樹. 機械痛覚に関わる神経・分子機構の探索. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 田口徹, 太田大樹. モデルラットを用いた不活動性疼痛機構の電気生理学的解析. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 田口徹, 坪島功幸. 筋筋膜のバイオメカニクス機能の実証. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 竹部陽菜, 太田大樹, 田口徹. 長期ギプス固定による後肢不動化モデルラットの脊髄後角におけるミクログリアの活性化. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 鷲澤玲央, 太田大樹, 田口徹. 運動後に生じる筋機械痛覚過敏におけるTRPV2チャネルの関与: モデルラットを用いた行動薬理学的解析. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスによる痛み関連行動の増大とその脊髄機構の解明. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 田口徹. 中心核線維の発現に筋損傷は必要か? 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 太田大樹, 田口徹. 異なる病態モデルラットにおける骨格筋神経線維の電気生理学的特性の比較. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛におけるTRPV2チャネルの関与: コンディショナルノックアウトマウスを用いた行動学的解析. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 菊地貴矢, 太田大樹, 平澤孝枝, 田口徹. 骨格筋神経における非活動性侵害受容器の組織学的発現解析. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 - 太田大樹, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 片野坂友紀, 田口徹, 水村和枝. マウス遅発性筋痛モデルにおける機械感受性TRPチャネルの関与. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟), 2020.11.28-11.29.
 - 太田大樹, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 片野坂友紀, 田口徹, 水村和枝. 遅発性筋痛の分子機構: TRPA1およびTRPV2ノックアウトマウスを用いた解析. 第42回日本疼痛学会 (東京), 2020.12.4-12.5.
 - 田口徹, 片野坂友紀, 片野坂公明. 皮膚の機械痛覚におけるTRPV2の関与: 単一神経記録法による電気生理学的解析. 第42回日本疼痛学会 (東京), 2020.12.4-12.5.

17. 田口徹, HOHEISEL Ulrich, TREEDE Rolf-Detlef, MENSE Siegfried. 腰部筋と下肢筋の痛覚受容に差異を生み出す神経解剖学的知見. 第25回日本基礎理学療法学会 (WEB開催), 2020.12.12-12.13.
18. 太田大樹, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 片野坂友紀, 田口徹, 水村和枝. マウス遅発性筋痛モデルにおけるTRPチャネルの関与. 第25回日本基礎理学療法学会 (WEB開催), 2020.12.12-12.13.
19. 田口徹. 筋膜痛の末梢神経および脊髄機構. 日本ペインクリニック学会第1回東京・南関東支部学術集会 (WEB開催), 2021.1.30. 【教育講演】
20. 田口徹, 太田大樹. 動物モデルから探る骨格筋痛のメカニズム. 第50回日本慢性疼痛学会 (WEB開催), 2021.3.19-3.20. 【シンポジウム】

6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本生理学会 (評議員), 日本疼痛学会 (代議員), 日本神経科学学会 (会員), 日本線維筋痛症学会 (会員), 日本筋学会 (会員), 若手による骨格筋細胞研究会 (会員), 日本理学療法士協会 (会員), 日本基礎理学療法学会 (会員), 日本運動器疼痛学会 (会員), 国際疼痛学会 (会員)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Current Rheumatology Reviews, 査読
 2. Animals, 査読
 3. Journal of Pain Research, 査読
 4. Current Pharmaceutical Biotechnology, 査読
 5. Acupuncture in Medicine, 査読
 6. Journal of Neuroinflammation, 査読
 7. Molecules, 査読
 8. Journal of Musculoskeletal Disorders and Treatment, 査読
 9. Medicines, 査読
 10. Current Diabetes Reviews, 査読
 11. 日本基礎理学療法学会, 第25回学術大会, 査読, 仙台, 2020.12.12-12.13.

7 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第10回新潟医療福祉大学理学療法学科Pain Lab主催特別セミナー, 「痛みの脊髄機構－後角膠様質細胞の形態と機能に着目して－」, 世話人, 学内教員および学生, 新潟医療福祉大学, 2020.6.8.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. ライオン株式会社, 研究技術指導, 2020.4.1-11.30.

8 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019, 基盤研究 (B), 遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証, 研究代表者
 2. 2019, 基盤研究 (C), 新規in vivoパッチクランプ法を用いた慢性筋痛の脊髄機構解明と治療薬の探索, 研究分担者
 3. 2016, AMED-CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開, 研究分担者
- 9 学内委員会活動 遺伝子組換え実験安全委員会 (委員長), 動物実験委員会 (委員), 運動機能医科学研究所 (メンバー), SHAINプロジェクト (メンバー)

氏名：榊 淳裕

- 1 研究題目 運動時の脳活動と循環反応に関する研究, 内部障害と身体活動に関する研究, 呼吸機能と理学療法

2 論文

1. Qin W, Kojima S, Yamazaki Y, Morishita S, Hotta K, Inoue T, Tsubaki A. Relationship between the difference in oxygenated hemoglobin concentration changes in the left and right prefrontal cortex and cognitive function during moderate-intensity aerobic exercise. *Applied Sciences*. 2021; 11(4): 1643.
2. Nashimoto S, Morishita S, Hotta K, Iida S, Tsubaki A. Relationship between the face scale for rating of perceived exertion and physiological parameters in older adults and patients with atrial fibrillation. *Physiological Reports*. 2021;9(5): e14759.
3. Inoue T, Maeda K, Shimizu A, Nagano A, Ueshima J, Sato K, Murotani K, Hotta K, Morishita S, Tsubaki A. Related Factors and Clinical Outcomes of Osteosarcopenia: A Narrative Review. *Nutrients*. 2020; 13(2):291.
4. Inoue T, Maeda K, Nagano A, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Sato K, Tsubaki A. Undernutrition, sarcopenia, and frailty in fragility hip fracture: Advanced strategies for improving clinical outcomes. *Nutrients*. 2020; 12(12):3743.
5. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Qin W, Kojima S, Fu JB, Onishi H. Face Pain scale and Borg scale compared to physiological parameters during cardiopulmonary exercise testing. *Journal of Sports Medicine and Physical Fitness* (in press)
6. Otsuka R, Oyanagi K, Hokari M, Shinoda T, Harada J, Shimogai T, Takahashi Y, Kitai T, Iwata K, Tsubaki A. Preoperative physical performance-related postoperative delirium in patients after cardiovascular surgery. *Archives of Gerontology and Geriatrics*. 2020; 91: 104172.
7. Abe T, Iwata K, Yoshimura Y, Shinoda T, Inagaki Y, Ohya S, Yamada K, Oyanagi K, Maekawa Y, Honda A, Kohara N, Tsubaki A. Low muscle mass is associated with walking function in patients with acute ischemic stroke. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases*. 2020; 29(11): 105259.
8. Shirai N, Tsubaki A, Morishita S, Honma D, Isobe S, Ikarashi K, Suzuki A, Murayama S. The Association between time spent in performing physical activity and physical function in outpatients with type 2 diabetes who may have diabetic neuropathy. *Diabetes & Metabolic Syndrome: Clinical Research & Reviews*. 2020; 14(6); 2111-2116.
9. 高橋治憲, 堀田一樹, 橋本和哉, 金井梨里, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健康成人の大腿動脈血流量は上肢クランク運動中に増加する. *日本基礎理学療法学雑誌*. 2020; 23(1): 61-70.
10. 酒井渉, 堀田一樹, 石井佑典, 浅見崇之, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚の浅大腿動脈血流量は増加する. *日本基礎理学療法学雑誌*. 2020; 23(1): 71-78.
11. 浅見崇之, 堀田一樹, 石井佑典, 酒井渉, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚の母趾皮膚における温度と血流変化. *理学療法科学*. 2020; 35(5): 693-698.
12. 椿淳裕. JKA研究補助事業, 脳を含めた運動時の生体反応に基づいた運動強度をフィードバックするシステムの開発 補助事業報告書, 2019.4-2020.3, 研究代表者

3 学会等研究発表

1. Tsubaki A, Morishita S, Hotta K, Tokunaga Y, Kojima S, Weixiantg Qin, Onishi H. Cerebral blood volume and cerebral oxygen exchange in the motor-related area during and after a 20-min moderate-intensity cycling exercise. 25th Virtual Congress of the European College of Sport Science (Sevilla/Spain/Web開催), 2020.10.28-10.30.
2. 椿淳裕, 森下慎一郎, 堀田一樹, 井上達朗, 白井信行, 梨本智史, 長濱秀明. 新潟内部障害リサーチミーティングの活動-位置づけと今後-. 第20回新潟医療福祉学会(新潟市/紙面開催), 2020.10.31.
3. 武田智徳, 鈴木真弓, 椿淳裕, 津島正明, 桑原陽子, 下斗米佳奈実, 稲葉望文, 澤田凱志, 水村翔, 国府田剛, 森まゆか, 金井利沙, 寺崎義貴, 池田礼史, 加藤律史, 内田龍制, 牧田茂. 心臓デバイス植込み側上肢に対する上肢機能練習の有無と合併症の発生頻度の比較. 第26回日本心臓リハビリテーション学会(福岡市/Web開催), 2020.7.18-7.19.

4. 梨本智史, 井上雅之, 杉戸裕一, 與口貴子, 阿部健介, 坂内将貴, 飯田晋, 富井亜佐子, 眞田明子, 岡田慎輔, 杉浦広隆, 樋口浩太郎, 堀田一樹, 椿淳裕. 外来心臓リハビリテーションによる身体活動量の変化に季節が与える影響. 第26回日本心臓リハビリテーション学会(福岡市/Web開催), 2020.7.18-7.19.
5. 堀田一樹, 藤井豊, 間藤慶也, 池田光功, 梅木沙彩, 森下慎一郎, 椿淳裕. 吸入気酸素濃度の増加がラット骨格筋間質の酸素分圧に与える影響. 第75回日本体力医学会大会(鹿児島市/Web開催), 2020.9.24-9.26.
6. 市川美華, 堀田一樹, 児玉直樹, 櫻井典子, 森下慎一郎, 井上達朗, 椿淳裕. 動脈スピンドラベリングを用いたグリップ運動中の前腕血流マッピング. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台市/Web開催), 2020.12.12-12.13.
7. 一杉直樹, 堀田一樹, 大須賀睦, 堀くるみ, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健常若年者における他動的ストレッチ中の腓腹筋酸素利用. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台市/Web開催), 2020.12.12-12.13.
8. 大須賀睦, 堀田一樹, 一杉直樹, 堀くるみ, 椿淳裕, 森下慎一郎, 井上達朗. 駆血中の骨格筋酸素動態に影響する因子. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台市/Web開催), 2020.12.12-12.13.
9. 五十嵐佳南, 椿淳裕, 筒井奈々子, 森下慎一郎, 堀田一樹, 白井信行, 中村可愛, 長岡小夏, 坂井邦彦. 慢性閉塞性肺疾患患者の認知機能と身体活動量との関係. 第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会(京都市/Web開催), 2021.3.19-3.20.
10. 大柳春菜, 白井直人, 齊藤正和, 椿淳裕, 小島将, 久留秀樹, 稲津昭仁, 上畑昭美. 血液透析患者における心拍数を用いた有酸素運動の処方:最大心拍数予測式の開発とその妥当性. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(Web開催), 2021.3.20-3.21.
11. 白井信行, 山本卓, 大澤豊, 椿淳裕, 森下慎一郎, 佐藤陽一, 成田一衛. 外来維持血液透析患者における透析日と非透析日の強度別身体活動量の比較. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(Web開催), 2021.3.20-3.21.
12. 小島将, 白井直人, 椿淳裕, 松沢良太, 繁竹真人, 中田純一郎, 稲津昭仁, 上畑昭美, 鈴木裕介. 腹部CTを用いた血液透析患者の生命予後予測:骨格筋密度に着目した検討. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会(Web開催), 2021.3.20-3.21.
13. 椿淳裕. オープンなりサーチミーティングを通じた, 基礎と臨床の親和. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(仙台市/Web開催), 2020.12.12-12.13. 【シンポジウム】

4 学会活動

所属学会 日本理学療法士協会, 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 日本心臓リハビリテーション学会, 日本腎臓リハビリテーション学会, 日本体力医学会, 日本糖尿病学会, 日本基礎理学療法学会, 日本呼吸理学療法学会, 日本循環器理学療法学会, 日本糖尿病理学療法学会, 日本生理学会, 日本運動生理学学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本臨床生理学学会, 日本心不全学会, 日本高血圧学会, 日本睡眠学会, 日本抗加齢医学会, 新潟医療福祉学会, The European College of Sport Science, International Society on Oxygen Transport to Tissue, International Society of Physical Medicine and Rehabilitation, International Society for Cerebral Blood Flow and Metabolism, European Respiratory Society, European Association for the Study of Diabetes, European Association of Preventive Cardiology, The Physiological Society, American Physiological Society, American Heart Association

1) 学会等でのその他の活動

1. Frontier in Neuroscience, Review board
2. International Journal of Environmental Research and Public Health, Topic Editor
3. Philippine Journal of Allied Health Sciences, International reviewer
4. 理学療法学, 査読委員
5. Physical Therapy Research, 査読委員
6. Frontier in Psychology, 査読

7. Journal of Cognitive Enhancement, 査読
 8. Experimental Brain Research, 査読
 9. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読
 10. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
 11. 日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会心血管作成班, 班員
 12. 日本理学療法士協会認定・専門理学療法士制度委員会, 委員
 13. 日本呼吸理学療法学会企画部会, 部員
 14. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会表彰委員会, 表彰委員長
 15. 理学療法士講習会(基礎技術編), 循環器疾患の理学療法の基礎, オーガナイザー, 2021.2.23.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 高齢者福祉大学(新潟市社会福祉協議会), 自分の体と向き合う, 付き合う, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 一般市民, 新潟市, 2020.9.1.
 2. 理学療法士講習会(基礎技術編), 循環器疾患の理学療法の基礎: 運動時のバイタルサインをどう読み解くか, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟市, 2021.2.23.
 - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟市健康づくり推進委員会(委員)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 基盤研究B: 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 研究代表者
 2. 2019年度(継続課題), 地球快適化インスティテュート, 共同研究, 運動時のNear Infrared Spectroscopy(NIRS)測定における運動強度の影響および再現性, 個体間差の研究, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 入試委員会(委員長), アドミッション・オフィス(室長), 研究奨励金委員会(委員長), 科研費対策委員会, 運動機能医科学研究所, 脳卒中リハビリテーション研究センター

氏名: 奈良 貴史

- 1 研究題目 現生人類の出現とネアンデルタール人類の消滅, 日本列島の更新世人類化石を探る, 出土焼骨の基礎的研究, 近世大名の貴族形質
- 2 論文
 1. Adachi N, Kanzawa-Kiriyama H, Nara T, Kakuda T, Nishida I, Shinoda K. Ancient genomes from the initial Jomon period: new insights into the genetic history of the Japanese archipelago Anthropological Science 2021; 129:13-32.
- 3 学会等研究発表
 1. 奈良貴史. 灰塚山古墳出土人骨 第73回日本人類学会大会 2020.11.1.
 2. 辰巳晃司, 奈良貴史. 岩槻藩主大岡家の頭骨形質について 第73回日本人類学会大会 2020.11.1.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本人類学会(理事), 日本解剖学会, 日本考古学協会, 新潟医療福祉学会, 形態科学研究会
- 5 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報 縄文の焼人骨, 大量出土 村上・上野遺跡 4千年前, 国内最古か 2020.12.2.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究(B), 本州北部更新世人類集団の資源利用に関する学際的・研究(研究分担者)

2. 2020年度, 科研費基盤研究 (B), 長岡藩牧野家の歴代藩主と正室の遺骨の再調査 (研究代表者)
3. 受託研究 (株) 中野技術 越谷市大道遺跡出土人骨鑑定 (研究代表者)

氏名 : 大鶴 直史

1 研究題目 痛み, 内受容感覚の脳内情報処理に関する研究

2 論文

1. Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, Saito K, Inukai Y, Shirozu H, Onishi H. The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. *European Journal of Neuroscience*, in press (JCR)
2. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of brain-derived neurotrophic factor genotype on short-latency afferent inhibition and motor cortex metabolites. *Brain Sciences* 11, 395, 2021 (JCR)
3. Saito K, Otsuru N, Yokota H, Inukai Y, Miyaguchi S, Kojima S, Onishi H. Alpha-tACS over the somatosensory cortex enhances tactile spatial discrimination in healthy subjects with low alpha activity. *Brain and Behavior* 11, e02019, 2021 (JCR)
4. Yokota H, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-specific effects of 10-Hz transcranial alternate current stimulation over the left posterior parietal cortex and primary somatosensory area on the tactile two-point discrimination threshold. *Frontiers in Neuroscience* 15, 576526, 2021.
5. Yamashiro K, Yamazaki Y, Siiya K, Ikarashi K, Baba Y, Otsuru N, Onishi H, Sato D. Modality-specific improvements in sensory processing among baseball players. *Scientific Reports* 11, 2248, 2021 (JCR)
6. Hoshi H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Corticospinal excitability of untrained side depends on the type of motor task and degree of improvement in motor function. *Brain and Cognition* 148, 105691, 2021 (JCR)
7. Inukai Y, Miyaguchi S, Kobayashi N, Otsuru N, Onishi H. Noisy galvanic vestibular stimulation effect on center of pressure sway during one-legged standing. *Journal of Clinical Neuroscience* 82, 173-178, 2020.
8. Pham Van M, Miyaguchi S, Watanabe H, Saito K, Otsuru N, Onishi H. Effect of repetitive passive movement before motor skill training on corticospinal excitability and motor learning depend on BDNF polymorphisms. *Frontiers in Human Neuroscience* 15, 621358, 2021 (JCR)
9. Inukai Y, Miyaguchi S, Satio M, Otsuru N, Onishi H. Effects of different stimulation conditions on the stimulation effect of noisy galvanic vestibular stimulation. *Frontiers in Human Neuroscience* 14, 581405, 2020. (JCR)
10. Miyaguchi S, Inukai Y, Takahashi R, Miyashita M, Matsumoto Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of stimulating the supplementary motor area with a transcranial alternating current for bimanual movement performance. *Behavioural Brain Research* 393, 112801, 2020 (JCR)
11. Miyaguchi S, Inukai Y, Matsumoto Y, Miyashita M, Takahashi R, Otsuru N, Onishi H. Effects on motor learning of transcranial alternating current stimulation applied over the primary motor cortex and cerebellar hemisphere. *Journal of Clinical Neuroscience* 78, 296-300, 2020 (JCR)
12. 大鶴直史. 非侵襲的脳刺激法による鎮痛効果. *理学療法ジャーナル* 54巻, 1138-1142, 2020.

3 学会等研究発表

1. 大鶴直史. 痛みを様々な視点から考える. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18. 【教育講演】
2. 大鶴直史, 木村慎二, 岩崎円, 細井昌子, 大西秀明. 認知行動療法と運動療法の併用効果. 第13回日本運動器疼痛学会, 2020.11.28-11.29. 【シンポジウム】

3. 神野美佳, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 大西秀明. 陸上競技者の疲労と関連する因子. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
4. 伊藤愉快, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 大西秀明. パーチャルリアリティが身体サイズ認知に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
5. 堺大樹, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 森下慎一郎, 椿淳裕, 大西秀明. 内受容感覚が運動負荷中の強度制御に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
6. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 五十嵐一希, 宮口翔太, 大西秀明. COMT 遺伝子多型による痛みの注意と失感情の関連. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
7. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋パルス電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
8. 横田裕丈, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別閾値に及ぼす領域特異的効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
9. 犬飼康人, 宮口翔太, 齊藤美樹, 大鶴直史, 大西秀明. 異なる条件下での前庭ノイズ電流刺激が刺激後の立位重心動揺に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
10. 佐藤星, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 痛みへの選択的注意に関連する灰白質構造の特定—脳構造画像解析による検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
11. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽聴取によって喚起される情動と灰白質容積との関連—脳構造画像解析を用いた検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
12. 鈴木孝昇, 長坂和明, 渡邊拓, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 瞳孔径と一次運動野興奮性には関連があるか?. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
13. 工藤綾乃, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 内側前頭前野の灰白質容積はオフセット鎮痛の程度に関連するののか? — Voxel based morphometry を用いた検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
14. 長坂和明, 小島翔, 大鶴直史, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 触覚刺激パターンの違いが脳領域間の機能的結合性に与える影響—MRIを用いたfunctional connectivityの評価—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12-12.13.
15. 宮口翔太, 犬飼康人, 高橋諒, 大鶴直史, 大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
16. Manh Van Pham, 宮口翔太, 渡邊拓, 長坂和明, 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 他動運動介入による皮質脊髄路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
17. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 長坂和明, 宮口翔太, 横田裕丈, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
18. 渡邊拓, 小島翔, 長坂和明, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹. 大鶴直史, 大西秀明. 健常者の脳灰白質容積の変動性について. 第50回日本臨床神経生理学会学術大会, 2020.11.26-11.28.
19. 木村慎二, 細井昌子, 大鶴直史, 岩崎円. 難治性慢性疼痛患者への認知行動療法に基づく運動促進法—いきいきりハビリノート活用法—. 第28回日本腰痛学会, 2020.10.30-11.29.
20. 岩崎円, 木村慎二, 大鶴直史, 眞田菜緒, 山崎遼, 居城甫, 川島寛之. 慢性疼痛患者に対するいきいきりハビリノートを用いた認知行動療法に基づく運動促進法後のADL障害度に関連する因子の検討. 第13回日本運動器疼痛学会, 2020.11.28-11.29.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 全国理学療法学会教育学会 (庶務), 日本運動器疼痛学会, 日本ペインリハビリテーション学会 (代議員), 日本生体磁気学会 (評議員)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 全国大学理学療法学会教育学会, 日本理学療法士教員協議会, 運営および報告書作成, ウェビナー, 2021.3.13.
 2. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, プログラム編成委員, 2020.12.12-12.18.
 3. 日本運動器疼痛学会, 第13回日本運動器疼痛学会, 企画, オンライン開催, 2020.11.28-12.25.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. Frontiers in human neuroscience 誌, review editor
 2. Frontiers in Physiology 誌, review editor
 3. 日本理学療法士協会, 「理学療法学」査読委員
 4. 日本基礎理学療法学会雑誌, 査読委員
 5. Brain stimulation 誌, 論文査読
 6. Physical Therapy Research, 論文査読
 7. 理学療法学, 論文査読
 8. 理学療法学, 論文査読
 9. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
 10. 第35回日本生体磁気学会, 監査
 11. 第25回日本ペインリハビリテーション学会学術大会, 演題査読
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第13回日本運動器疼痛学会 認知行動療法に基づく「第3世代いきいきリハビリノート」を用いた運動促進法講習会, 企画, 医療従事者, web, 2020.11.28-12.25.
 2. 第13回日本運動器疼痛学会 「患者はそのとき何を考えていたか?」 - 慢性疼痛患者へのインタビュー, 講演, 医療従事者, web, 2020.11.28-12.25.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県慢性疼痛診療体制構築モデル事業キックオフミーティング, 委員, web, 2020.6.18.
 2. 第1回新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画, web, 2020.9.6.
 3. 第2回新潟県慢性疼痛診療研修会, 企画, web, 2021.2.21.
 4. 日本運動器疼痛学会「認知行動療法に基づく第3世代いきいきリハビリノート」作成チーム
 - 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
厚生労働省慢性疼痛診療体制構築モデルワーキンググループ委員
 - 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟疼痛懇話会 (役員)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究 (萌芽), バーチャルリアリティとロボティクスを応用した心拍駆動型身体認知変容システムの開発, 研究代表者
 2. 2019年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略, 研究代表者
 3. 2018年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 研究分担者
 4. 2019年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション - 次世代感覚運動学習法の創出を目指して -, 研究分担者
 5. 2020年度, 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激

戦略の開発, 研究分担者

6. 2020年度, 科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 新しいニューロリハビリテーションを可能にするMEG対応ハプティック技術の開発, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学医歯学総合病院非常勤理学療法士

7 学内委員会活動 入試委員会, 産官学連携推進センター, 運動機能医科学研究所

氏名: 澤田 純明

- 1 研究題目 東アジアの狩猟採集集団および初期農耕集団に関する人類学的研究(人類学), 東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応を解明する研究(動物考古学, 人類学), 日本列島の土器出現期人類集団に関する人類学的研究(人類学), 日本列島の古代集団の人類学的研究(人類学), 日本列島の更新世洞窟遺跡から出土した動物化石の動物考古学的研究(動物考古学), 考古遺跡から出土した微細骨片の骨組織形態学的種同定(骨組織形態学, 人類学)

2 著書

1. 澤田純明, 鶴澤和宏; 中村慎一・劉斌編. 河姆渡と良渚: 中国稲作文明の起源. 1版. 東京: 雄山閣; 2020: 317-321.

3 論文

1. 澤田純明, 吉永亜紀子. 上黒岩岩陰と縄文草創期の動物利用. 季刊考古学. 2020; 34: 32-35.
2. Hattori T, Sawada J, Kanomata K, Akoshima K, Sato T. Animal utilization of the Epi-Jomon and Okhotsk cultures in Sakhalin: A zooarchaeological analysis of the Nobuo Ito Collection. Bulletin of the Tohoku University Museum. 2021; 20: 41-66.
3. 澤田純明, 佐伯史子, 萩原康雄, 佐宗亜衣子, 辰巳晃司, 奈良貴史; 降矢順子編. 材木座町屋遺跡発掘調査報告書. 鎌倉: 斉藤建設埋蔵文化財調査部; 2020: 173-193.
4. 澤田純明, 佐伯史子; 山中豊編. 前橋市0107遺跡. 前橋: 群馬県埋蔵文化財調査事業団; 2021: 232-234.
5. 佐伯史子, 澤田純明; 常深尚編. 富山市友坂遺跡発掘調査報告書. 富山: 富山市教育委員会埋蔵文化財センター; 2021: 52-54.

4 学会等研究発表

1. 澤田純明, 安保凜, 佐伯史子, 鶴澤和宏, 樋泉岳二, 柳田裕三, 奈良貴史, 米田穰. SPring-8のX線CTを利用した福井洞窟出土旧石器時代焼骨片の種同定. 第74回日本人類学会大会(オンライン大会・日本), 2020.10.31-11.1.
2. Sato T, Sawaura R, Sawada J, Watanabe T, Nara T. Hunting Activities of Upper Paleolithic Humans in the Japanese Archipelago. SAA (Society for American Archaeology) the 86th Annual Meeting (オンライン大会・アメリカ), 2021.4.15-4.17.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本人類学会(代議員, Anthropological Science (Japanese Series) 編集委員), 日本解剖学会, 日本動物考古学会(編集委員), 東南アジア考古学会(運営委員), 形態科学研究会(運営委員), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本人類学会, 第74回日本人類学会大会, 大会実行委員, オンライン大会, 2020.10.31-11.1.

6 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 神奈川県鎌倉市教育委員会, 遺跡出土人骨の鑑定業務, 2020.4.1-5.31.
2. 富山市教育委員会埋蔵文化財センター, 遺跡出土人骨の鑑定業務, 2020.10.1-10.30.
3. 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団, 遺跡出土動物骨の鑑定業務, 2020.11.1-11.30.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費挑戦的研究（萌芽）, SPring-8のマイクロCTを利用した福井洞窟出土縄文草創期焼骨群の種同定, 研究代表者
2. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 生物分布境界域「下北半島」における更新世人類集団の行動様式に関する学際的研究, 研究分担者
3. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 狩猟採集文化と農耕文化の接触による社会の変容と地域的多様性に関する学際的研究, 研究分担者
4. 2019年度, 科研費挑戦的研究（萌芽）, 歯牙フッ素分析を用いた人の移動と婚姻システムの解明, 研究分担者
5. 2020年度, 科研費基盤研究（B）, 日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する, 研究代表者
6. 2020年度, 国際共同研究加速基金, 東南アジア大陸部における後期更新世人類の環境適応の解明, 研究代表者
7. 2020年度, 科研費基盤研究（B）, エミシとは誰だったのか：全ゲノム解析で明らかにする東北古代人の遺伝的変遷, 研究分担者
8. 2020年度, 学術変革領域研究（A）, 同位体比分析から見たヒトとモノの動態復元, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 死体解剖資格（認定番号9764）（2020.12.14）

3) 学外兼務講師等

1. 慶應義塾大学文学部非常勤講師, 民族学考古学特殊, 2020.4.1-2021.3.31.

8 学内委員会活動 人権委員会

氏名：森下 慎一郎

1 研究題目 がん患者や内科系疾患患者のリハビリテーション, リハビリテーション看護研究, 運動生理学

2 論文

1. Wakasugi T, Morishita S, Kaida K, Ikegame K, Uchiyama Y, Domen K. Muscle oxygen extraction and lung function are related to exercise tolerance after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Support Care Cancer. 2021 Mar 30. doi: 10.1007/s00520-021-06178-w. Online ahead of print.
2. Nakano J, Fukushima T, Tanaka T, Fu JB, Morishita S. Physical function predicts mortality in patients with cancer: a systematic review and meta-analysis of observational studies. Support Care Cancer. 2021 Mar 26. doi: 10.1007/s00520-021-06171-3.
3. Kasahara R, Fujita T, Jinbo R, Kai T, Yamamoto Y, Morishita S, Furukawa M, Shiga Y, Kimura H, Fukatsu M, Harada K, Kimura S, Ikezoe T. Weight Loss Intervention before Cord Blood Transplantation in an Obese Patient with Acute Myeloid Leukemia: A Case Study. Prog Rehabil Med. 2021 Mar 19;6:20210018. doi: 10.2490/prm.20210018.
4. Nashimoto S, Morishita S, Iida S, Hotta K, Tsubaki A. Relationship between the face scale for rating of perceived exertion and physiological parameters in older adults and patients with atrial fibrillation. Physiol Rep. 2021 Mar;9(5):e14759. doi: 10.14814/phy2.14759.
5. Fu JB, Ng AH, Molinares DM, Pingnot EA, Morishita S, Silver JK, Bruera E. Retrospective Analysis of Acute Rehabilitation Outcomes of Cancer Inpatients with Leptomeningeal Disease. Am J Phys Med Rehabil. 2021 Jan 1;100(1):100-104. doi: 10.1097/PHM.0000000000001565.
6. Inoue T, Maeda K, Nagano A, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Sato K, Hotta K, Morishita S, Tsubaki A. Related Factors and Clinical Outcomes of Osteosarcopenia: A Narrative Review. Nutrients.

2021 Jan 20;13(2):291. doi: 10.3390/nu13020291.

7. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Inoue T, Qin W, Kojima S, Fu JB, Onishi H. Face Pain scale and Borg scale compared to physiological parameters during cardiopulmonary exercise testing. *J Sports Med Phys Fitness*. 2020 Dec 3. doi: 10.23736/S0022-4707.20.11815-2.
 8. Nakamura M, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Morishita S. One-repetition maximum can be estimated with a handheld dynamometer and circumference in community-dwelling older adults. *J Phys Ther Sci*. 2020 Oct;32(10):669-673. doi: 10.1589/jpts.32.669. Epub 2020 Oct 3.
 9. Kojima S, Abe T, Morishita S, Inagaki Y, Qin W, Hotta K, Tsubaki A. Acute moderate-intensity exercise improves 24-h sleep deprivation-induced cognitive decline and cerebral oxygenation: A near-infrared spectroscopy study. *Respir Physiol Neurobiol*. 2020 Mar;274:103354. doi: 10.1016/j.resp.2019.103354.
 10. Morishita S, Hamaue Y, Fukushima T, Tanaka T, Fu JB, Nakano J. Effect of Exercise on Mortality and Recurrence in Patients With Cancer: A Systematic Review and Meta-Analysis. *Integr Cancer Ther*. 2020 Jan-Dec;19:1534735420917462. doi: 10.1177/1534735420917462.
 11. 平山陽太, 高橋祐介, 長濱秀明, 森下慎一郎. 高齢患者のがんリハビリテーション開始時期とADL及び転帰先の関係. *ホスピスケアと在宅ケア* (1341-8688) 28巻1号 Page20-26.
 12. 笠原龍一, 藤田貴昭, 高橋祥子, 甲斐龍幸, 森下慎一郎, 神保良平, 神保和美, 高野綾, 山本優一, 木村秀夫, 志賀隆, 古川未希, 池添隆之. 血球減少を伴う悪性リンパ腫患者における運動療法の実行可能性について 後方視的観察研究による予備的検討. *理学療法学* (0289-3770) 47巻2号 Page174-180 (2020.4)
 13. 森下慎一郎. 化学療法を施行した血液がん患者の身体機能, 身体活動量と健康関連QOLについて. *医療の広場* 60巻7号 Page11-14 (2020.7)
 14. 梨本智史, 坂内将貴, 井上雅之, 杉戸裕一, 奥口貴子, 阿部健介, 飯田晋, 富井亜佐子, 眞田明子, 岡田慎輔, 杉浦広隆, 樋口浩太郎, 森下慎一郎, 椿淳裕. 外来介入開始時の身体活動量に影響を与える因子の検討 季節を加味した検討. *心臓リハビリテーション* 26巻2号 Page229-234 (2020.6)
 15. 浅見崇之, 堀田一樹, 石井佑典, 酒井渉, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚の母趾皮膚における温度と血流変化. *理学療法科学* (1341-1667) 35巻5号 Page693-698 (2020.10)
- 3 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 公益財団法人日本リハビリテーション医学会, 一般社団法人日本がんサポーターブケア学会, 特定非営利活動法人心臓リハビリテーション学会, American College of Sports Medicine, The International Society of Physical and Rehabilitation Medicine.
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本理学療法士協会, 機関誌「理学療法学」, 編集委員
 2. 日本理学療法士協会, 機関誌「Physical Therapy Research」, 編集委員
 3. 日本理学療法士協会, 生涯学習業務執行委員会, 認定理学療法士審査担当 (呼吸理学療法専門分野)
 4. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会, プログラム委員
 5. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題査読
- 4 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), がん患者に対する運動と栄養をあわせた戦略的リハビリテーションプログラムの開発 (研究代表者)
 2. 2020年度, 笹川保健財団 2020年度地域啓発活動助成, 地域のがんサバイバーのための運動プログラム啓発活動 (研究代表者)
 3. 2020年度, 公益財団法人日本政策医療財団, 化学療法を施行した血液がん患者に対する運動と栄養をあわせたりハビリテーションの研究 (研究代表者)

2) 学外兼務講師等

1. 兵庫医科大学医学医学部非常勤講師（リハビリテーション医学），2020.4-2021.3.
2. 国立がん研究センター中央病院外来研究員，2020.4-2021.3.

5 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会，運動機能医科学研究所

氏名：佐久間 真由美

報告事項なし

氏名：犬飼 康人

1 研究題目 非侵襲的脳刺激法を用いたリハビリテーション介入手法の開発

2 論文

1. Yokota H, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-Specific Effects of 10-Hz Transcranial Alternate Current Stimulation Over the Left Posterior Parietal Cortex and Primary Somatosensory Area on Tactile Two-Point Discrimination Threshold. *Front Neurosci.* 2021 Feb 18;15:576526.
2. Saito K, Otsuru N, Yokota H, Inukai Y, Miyaguchi S, Kojima S, Onishi H. α -tACS over the somatosensory cortex enhances tactile spatial discrimination in healthy subjects with low alpha activity. *Brain Behav.* 2021 Mar;11(3):e02019.
3. Inukai Y, Miyaguchi S, Kobayashi N, Otsuru N, Onishi H. Noisy galvanic vestibular stimulation effect on center of pressure sway during one-legged standing. *J Clin Neurosci.* 2020 Dec;82(Pt A):173-178.
4. Inukai Y, Miyaguchi S, Saito M, Otsuru N, Onishi H. Effects of Different Stimulation Conditions on the Stimulation Effect of Noisy Galvanic Vestibular Stimulation. *Front Hum Neurosci.* 2020 Sep 24;14:581405.
5. Miyaguchi S, Inukai Y, Takahashi R, Miyashita M, Matsumoto Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of stimulating the supplementary motor area with a transcranial alternating current for bimanual movement performance. *Behav Brain Res.* 2020 Sep 1;393:112801.
6. Miyaguchi S, Inukai Y, Matsumoto Y, Miyashita M, Takahashi R, Otsuru N, Onishi H. Effects on motor learning of transcranial alternating current stimulation applied over the primary motor cortex and cerebellar hemisphere. *J Clin Neurosci.* 2020 Aug;78:296-300.
7. Inukai Y, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H, Nagasaka K, Onishi H. The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: A randomized controlled trial. *Neurosci Lett.* 2020 Jun 11;729:135009.

3 報告書

1. 犬飼康人. 若手研究，前庭ノイズ電流刺激が高齢者のバランス機能に与える持続効果と長期介入効果の検証，研究成果報告書，2019-2020，研究代表者

4 学会等研究発表

1. 犬飼康人，宮口翔太，斎藤美樹，大鶴直史，大西秀明. 異なる条件下での前庭ノイズ電流刺激が刺激後の立位重心動揺に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会（宮城，オンライン），2020.12.13-12.18.
2. 犬飼康人. 前庭器官へのノイズ電流刺激が姿勢制御に与える影響. 第50回日本臨床神経生理学学会学術大会（京都，オンライン），2020.11.26-11.28. 【シンポジウム】
3. 宮口翔太，犬飼康人，高橋諒，大鶴直史，大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会（宮城，オンライン），2020.12.13-12.18.
4. Manh Van Pham，宮口翔太，渡邊拓，長坂和明，横田裕丈，小島翔，齊藤慧，犬飼康人，大鶴直史，大

西秀明. 他動運動介入による皮質脊髄路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (宮城, オンライン), 2020.12.13-12.18.

5. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 長坂和明, 宮口翔太, 横田裕丈, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (宮城, オンライン), 2020.12.13-12.18.
6. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋パルス電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (宮城, オンライン), 2020.12.13-12.18.
7. 横田裕丈, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別閾値に及ぼす領域特異的効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (宮城, オンライン), 2020.12.13-12.18.
8. 橋本慈樹, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. バスケットボールシュートスキル学習と練習前後の睡眠の関係. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (宮城, オンライン), 2020.12.13-12.18.
9. 伊藤祐輝, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 運動練習前後の睡眠が運動スキルの転移および保持に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (宮城, オンライン), 2020.12.13-12.18.
10. 富樫亮弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. BDNF遺伝子多型がバランス機能の運動学習に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (宮城, オンライン), 2020.12.13-12.18.
11. 大橋佑介, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 座位姿勢における前庭交流電流刺激が立位重心動揺に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (宮城, オンライン), 2020.12.13-12.18.

5 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 全国理学療法教育学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本理学療法士協会, 理学療法学, 査読
2. 日本理学療法士協会, 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
3. 日本理学療法士協会, 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 演題査読

6 社会活動

1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本理学療法士協会 (「理学療法学」査読委員), 日本理学療法士協会 (「Physical Therapy Research」査読委員), 全国理学療法教育学会 (事務局)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020-2022年度, 科研費若手研究, 小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響 (研究代表者)

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科, リハビリテーション医学, 2020.11.27-12.18.

8 学内委員会活動 教務委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト, 脳卒中リハビリテーション研究センター (センター長)

氏名: 井上 達朗

1 研究題目 高齢者のサルコペニア, フレイル, 栄養障害に関する臨床研究

2 論文

1. Inoue T, Maeda K, Shimizu A, Nagano A, Ueshima J, Sato K, Murotani K. Calf circumference value for sarcopenia screening among older adults with stroke. Arch Gerontol Geriatr. 2021 Mar-Apr;93:104290. doi: 10.1016/j.archger.2020.104290. Epub 2020 Nov 3. PMID: 33171328.
2. Inoue T, Maeda K, Nagano A, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Sato K, Tsubaki A. Undernutrition,

Sarcopenia, and Frailty in Fragility Hip Fracture: Advanced Strategies for Improving Clinical Outcomes. *Nutrients*. 2020 Dec 4;12(12):3743. doi: 10.3390/nu12123743. PMID: 33291800; PMCID: PMC7762043.

3. Inoue T, Maeda K, Nagano A, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Sato K, Hotta K, Morishita S, Tsubaki A. Related Factors and Clinical Outcomes of Osteosarcopenia: A Narrative Review. *Nutrients*. 2021 Jan 20;13(2):E291. doi: 10.3390/nu13020291. PMID: 33498519.
4. Inoue T, Wakabayashi H, Maeda K, Momosaki R. Body mass index affects postoperative daily activities of older patients after gastrectomy. *Eur Geriatr Med*. 2021 Feb 15. doi: 10.1007/s41999-021-00458-8. Epub ahead of print. PMID: 33587279.
5. Inoue T, Wakabayashi H, Iida Y, Takahashi K, Miyazaki S. On "Nutrition in Physical Therapist Practice: Tools and Strategies to Act Now." Berner P, Bezner JR, Morris D, Lein DH. *Phys Ther*. 2021; <https://doi.10.1093/ptj/pzab061> and "Nutrition in Physical Therapist Practice: Setting the Stage for Taking Action." Berner P, Bezner JR, Morris D, Lein DH. *Phys Ther*. 2021; <https://doi.org/10.1093/ptj/pzab062>. *Phys Ther*. 2021 May 8:pzab124. doi: 10.1093/ptj/pzab124. Epub ahead of print. PMID: 33970248. (Letter to the Editor)
6. Okumura M, Inoue T, Melinda G, Saito T, Fukuta A, Makiura D, Inoue J, Sakai Y, Ono R. Social frailty as a risk factor for new-onset depressive symptoms at one year post-surgery in older patients with gastrointestinal cancer. *J Geriatr Oncol*. 2020 Jun;11(5):904-907. doi: 10.1016/j.jgo.2020.01.012. Epub 2020 Feb 6. PMID: 32035802.
7. Nagano A, Maeda K, Koike M, Murotani K, Ueshima J, Shimizu A, Inoue T, Sato K, Suenaga M, Ishida Y, Mori N. Effects of Physical Rehabilitation and Nutritional Intake Management on Improvement in Tongue Strength in Sarcopenic Patients. *Nutrients*. 2020 Oct 12;12(10):3104. doi: 10.3390/nu12103104. PMID: 33053651; PMCID: PMC7601202.
8. Shimizu A, Maeda K, Honda T, Ishida Y, Ueshima J, Nagami S, Nagano A, Inoue T, Murotani K, Kayashita J, Fujishima I, Mori N. Comparison between the Global Leadership Initiative on Malnutrition and the European Society for Clinical Nutrition and Metabolism definitions for the prevalence of malnutrition in geriatric rehabilitation care. *Geriatr Gerontol Int*. 2020 Dec;20(12):1221-1227. doi: 10.1111/ggi.14072. Epub 2020 Oct 27. PMID: 33107703.
9. Sato K, Maeda K, Ogawa T, Shimizu A, Nagami S, Nagano A, Murotani K, Inoue T, Suenaga M. The functional assessment for control of trunk (FACT): An assessment tool for trunk function in stroke patients. *NeuroRehabilitation*. 2021;48(1):59-66. doi: 10.3233/NRE-201533. PMID: 33386820.
10. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Inoue T, Qin W, Kojima S, Fu JB, Onishi H. Face Pain scale and Borg scale compared to physiological parameters during cardiopulmonary exercise testing. *J Sports Med Phys Fitness*. 2020 Dec 3. doi: 10.23736/S0022-4707.20.11815-2. Epub ahead of print. PMID: 33269889.
11. Qin W, Kojima S, Yamazaki Y, Morishita S, Hotta K, Inoue T, Tsubaki A. Relationship between the Difference in Oxygenated Hemoglobin Concentration Changes in the Left and Right Prefrontal Cortex and Cognitive Function during Moderate-Intensity Aerobic Exercise. *Applied Sciences*. 2021; 11(4):1643. <https://doi.org/10.3390/app11041643>.
12. 兵庫県理学療法士協会研究助成報告. 理学療法兵庫. No.26. pp39-40. 2020.

3 学会等研究発表

1. Inoue T, Maeda K, Shimizu A, Nagano A, Ueshima J, Sato K, Murotani K. Calf circumference value for sarcopenia screening among older adults with stroke. The 6th Asian Conference for Frailty and Sarcopenia. Hong Kong, China (Web), 2020.10.30.
2. 井上達朗, 前田圭介, 清水昭雄, 永野彩乃, 上島順子, 佐藤圭佑, 室谷健太. 高齢脳卒中患者における

AWGS 2019推奨の下腿周径カットオフ値の妥当性の検討. 第10回日本リハビリテーション栄養学会. (優秀演題). 福島 (Web), 2020.12.13.

3. 井上達朗, 若林秀隆, 前田圭介, 百崎良. 高齢胃がん患者における術前Body Mass Indexが術後日常生活動作能力, 合併症及び在院日数に与える影響. 第10回日本リハビリテーション栄養学会. (優秀演題). 福島 (Web), 2020.12.13.
4. 井上達朗, 小川真人, 八木拓磨, 藤川孝, 櫻井進一, 白土健吾, 小林光, 白井信行, 前川健一郎. リハ栄養領域におけるエビデンス創出を目的とした「リハ栄養ラボ」の発足及び活動について. 第10回日本リハビリテーション栄養学会. 福島 (Web), 2020.12.13.
5. 小林光, 井上達朗, 小川真人. Global Leadership Initiative on Malnutrition (GLIM) criteria の臨床的有用性と機能障害との関連:ナラティブ・レビュー. 第10回日本リハビリテーション栄養学会. 福島 (Web), 2020.12.13.
6. 奥村真帆, 斎藤貴, 井上達朗, Melinda Gea, 福田章真, 牧浦大祐, 井上順一朗, 酒井良忠, 小野玲. 高齢消化器がん患者における術前のソーシャルフレイル下位項目とうつ症状の関連. 第3回がん理学療法部門研究会. 神戸 (Web), 2020.12.5.
7. 森下慎一郎, 中村雅俊, 椿淳裕, 堀田一樹, 井上達朗, 青木修, Jack B. Fu. がんサバイバーと健常者間でのバランス機能と末梢神経障害の違いの探索. 第3回がん理学療法部門研究会. 神戸 (Web), 2020.12.5.
8. 椿淳裕, 森下慎一郎, 堀田一樹, 井上達朗, 白井信行, 梨本智史, 長濱秀明. 新潟内部障害リサーチミーティングの活動-位置づけと今後-. 第20回新潟医療福祉学会学術集会. 新潟医療福祉大学 (Web), 2020.10.31-11.15.
9. 堀田一樹, 藤井豊, 森下慎一郎, 井上達朗, 椿淳裕. ECMO管理中の骨格筋酸素動態-リン光クエンチング法を用いた計測-. Web開催, 2020.10.10.
10. 一杉直樹, 堀田一樹, 大須賀睦, 堀くるみ, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健常若年者における他動的ストレッチ中の腓腹筋酸素利用. 第25回日本基礎理学療法学会. Web開催, 2020.12.12-12.18.
11. 森下慎一郎, 堀田一樹, 井上達朗, 小島将, 秦偉翔, 椿淳裕. Face pain scaleは自覚的運動強度として利用できるかを心肺運動負荷試験で検証する. 第25回日本基礎理学療法学会. Web開催, 2020.12.12-12.18.
12. 大須賀睦, 堀田一樹, 一杉直樹, 堀くるみ, 森下慎一郎, 井上達朗, 椿淳裕. 健常大学生の皮下脂肪厚は駆血による下腿の酸素動態に影響する. 第25回日本基礎理学療法学会. Web開催, 2020.12.12-12.18.
13. 市川美華, 堀田一樹, 児玉直樹, 櫻井典子, 森下慎一郎, 井上達朗, 椿淳裕. 動脈スピラベリングを用いたグリップ運動中の前腕血流マッピング. 第25回日本基礎理学療法学会. Web開催, 2020.12.12-12.18.
14. 一杉直樹, 堀田一樹, 大須賀睦, 堀くるみ, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健常若年者における他動的ストレッチ中の腓腹筋酸素利用. 第75回日本体力医学会大会. Web開催, 2020.9.24-9.26.
15. 井上達朗. 栄養理学療法の研究について. 第4回栄養・嚥下理学療法研究会. 教育講演. 日本理学療法士協会 栄養・嚥下理学療法部門. 東京 (Web講演), 2021.2.14.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床栄養代謝学会 (学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人), 日本理学療法士協会 (栄養・嚥下理学療法部門運営幹事), 日本リハビリテーション栄養学会 (理学療法士部会役員, リハビリテーション栄養ガイドライン システムティックレビュー班), 日本骨粗鬆学会 (骨粗鬆症リハビリテーション委員会), 日本サルコペニア・フレイル学会, 日本老年医学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本臨床栄養代謝学会 学術評議員, 関東甲信越ブロック 世話人
 2. 日本理学療法士協会 栄養・嚥下理学療法部門 運営幹事
 3. 日本リハビリテーション栄養学会 理学療法士部会役員, リハビリテーション栄養ガイドライン シス

テーマティックレビュー班

4. 第7回日本予防理学療法学会 演題査読
5. 日本骨粗鬆症学会 骨粗鬆症リハビリテーション委員会
6. The Journal of Nutrition, Health & Aging, reviewer
7. World Journal of Surgical Oncology, reviewer
8. Nutrients, reviewer
9. Nutrients, reviewer
10. Nutrients, reviewer
11. Aging clinical and experimental research, reviewer
12. Patient Related Outcome Measures, reviewer
13. Journal of Personalized Medicine, reviewer
14. Archives of Gerontology and Geriatrics, reviewer
15. Healthcare, reviewer
16. Clinical Interventions in Aging, reviewer
17. リハビリテーション栄養, 査読
18. リハビリテーション栄養, 査読
19. リハビリテーション栄養, 査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟内部障害リサーチミーティング, 今からできる臨床研究の進め方ーリハと栄養を中心にー, 特別講演, 新潟内部障害リサーチミーティング, 医療従事者対象, Web開催, 2020.11.9.
2. 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科, サルコペニアとフレイルの最近の動向ー臨床での評価と対策ー, 講演, 甲南女子大学, 医療従事者対象, Web開催, 2020.12.9.
3. 令和2年度理学療法士講習会「循環器疾患の理学療法の基礎」, 最新トピックスー骨格筋の萎縮と栄養障害ー, 講義, 日本理学療法士協会, Web講義, 2021.2.23.

2) 職能団体（協会、士会等）の委員

日本臨床栄養代謝学会（学術評議員, 関東甲信越ブロック世話人）, 日本理学療法士協会（栄養・嚥下理学療法部門運営幹事）, 日本リハビリテーション栄養学会（理学療法士部会役員, リハビリテーション栄養ガイドライン システムティックレビュー班）, 日本骨粗鬆症学会（骨粗鬆症リハビリテーション委員会）

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 第10回日本リハビリテーション栄養学会 優秀演題賞 a (2020.12.12)
2. 第10回日本リハビリテーション栄養学会 優秀演題賞 b (2020.12.12)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション病院 骨粗鬆リエゾン委員会 オブザーバー

7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員, 運動機能医科学研究所

氏名：菊元 孝則

- 1 研究題目 膝前十字靭帯損傷予防への科学的基礎, バスケットボール選手の運動機能に関する研究, 慢性足関節不安定症が膝関節のバイオメカニクスに与える影響
- 2 報告書
 1. 菊元孝則, 大森豪, 江玉陸明. 若手研究, 膝前十字靭帯損傷の危険因子になり得る衝撃吸収パターンの解明, 報告書, 2018-2020, 研究代表者
 2. 江玉陸明, 高林知也, 菊元孝則, 大森豪, 影山幾男. 基盤研究 (C), アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～, 報告書, 2019-2022, 研究分担者

3 学会等研究発表

1. 菊元孝則, 久保雅義, 大森豪. 慢性足関節不安定症が片足着地動作時の膝関節に与える影響. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2020.11.4-11.30. 【シンポジウム】
2. 三瀬貴生, 熊崎昌, 平林怜, 江玉睦明, 伊藤涉, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 横田裕丈, 阿久澤弘, 金岡恒治. 水泳動作中の肩甲骨周囲筋活動にエクササイズ介入が与える即時効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2020.11.4-11.30.
3. 平林怜, 横田裕丈, 伊藤涉, 三瀬貴生, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 江玉睦明. 噛みしめが及ぼす脊髄機能と運動パフォーマンスへの効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2020.11.4-11.30.
4. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2020.11.4-11.30.
5. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2020.11.4-11.30.
6. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学寮に住む大学生女性アスリートの栄養素等摂取量に関する報告. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2020.11.4-11.30.
7. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 平林怜, 中村絵美, 三瀬貴生, 横田裕丈, 大森豪. 大学女子バレーボール選手のエネルギー摂取量と身体活動量に関する報告. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2020.11.4-11.30.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本バスケットボール学会, 日本体育学会, American College of Sports Medicine
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, 査読 (JPFMS-2020-025)

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 日本バスケットボール協会JBA公認講習会, コート上で発生する緊急事態の対応策, 講師, 新潟県バスケットボール協会, 部活動指導者, オンライン, 2021.3.6.
 2. 日本バスケットボール協会JBA公認講習会, ケガ予防とパフォーマンス改善, 主催者, 新潟県バスケットボール協会, 部活動指導者, オンライン, 2021.1.13.
 3. 日本バスケットボール協会JBA公認講習会, ケガから選手を守るために, 主催者, 新潟県バスケットボール協会, 部活動指導者, オンライン, 2020.6.28.
 4. 新潟市中体連部活動指導者研修会, 成長期のスポーツ選手に求められる身体機能, 講師, 新潟県中体連, 部活動指導者, 新潟市, 2020.9.14.
 5. スポーツ傷害予防フェスタ, 傷害予防の為にセルフチェックとコンディショニング, 講師, 日本スポーツ協会, 部活動指導者, オンライン, 2021.2.6.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 一般財団法人 新潟県バスケットボール協会, スポーツ医科学委員会, 副委員長, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 一般財団法人 新潟県バスケットボール協会, Performance Screening Niigata 事業, 企画運営, 県内大学バスケットボール選手, 新潟市, 2020.4.5.
 3. 一般財団法人 新潟県バスケットボール協会, Performance Screening Niigata 事業, 企画運営, 県内高校バスケットボール選手, 新潟市, 2020.5.10.

4. 開志国際高等学校, 第73回全国高校選手権大会新潟県予選会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 新潟市, 2020.11.8.
 5. 開志国際高等学校, 第73回全国高校選手権大会新潟県予選会メディカルサポート, 開志国際高等学校女子バスケットボール部, 新潟市, 2020.11.8.
 6. 開志国際高等学校, 第73回全国高校選抜優勝大会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 東京都, 2020.12.23-12.29.
 7. 新潟県バスケットボール協会, 第49回BSN杯新潟県高校大会メディカルサポート, 大会参加選手, 新潟市, 2020.1.16-1.17.
 8. 開志国際高等学校, 第52回北信越高校新人大会メディカルサポート, 開志国際高等学校男子バスケットボール部, 長岡市, 2021.2.13-2.14.
 9. 開志国際高等学校, 第52回北信越高校新人大会メディカルサポート, 開志国際高等学校女子バスケットボール部, 長岡市, 2021.2.13-2.14.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県バスケットボール協会 スポーツ医科学委員会(副委員長)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 若手研究, 膝前十字靭帯損傷の危険因子になり得る衝撃吸収パターンの解明, 菊元孝則, 研究代表者
 2. 2019年度, 基盤研究(C), アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明~予防法の開発に向けて~, 研究分担者
 3. 2020年度, 若手研究, 膝前十字靭帯再建術後の反対側における衝撃吸収パターンの解明, 菊元孝則, 研究代表者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(2021.3)
 - 3) 学内部活動の実績
 1. 女子バスケットボール部, 第54回北信越大学バスケットボール選手権, 準優勝, 上越市, 2020.10.17. (メディカルサポート)
 2. 男子バスケットボール部, 第54回北信越大学バスケットボール選手権, 3位, 上越市, 2020.10.18. (Aコーチ/メディカルサポート)
 - 4) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学, スポーツ健康科学, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 開志国際高等学校, アスリートサポート, 2020.4.1-2021.3.31.
- 7 学内委員会活動 FD委員会(FD・SD推進部会部会長), アスリートサポート研究センター(研究員), 運動機能医科学研究所(研究員), SHAINプロジェクト

氏名: 小島 翔

- 1 研究題目 機械的触覚刺激による介入が皮質活動および感覚機能に及ぼす影響を明らかにする研究, 触覚刺激方法の違いが皮質活動に及ぼす影響を明らかにする研究
- 2 論文
 1. Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, Saito K, Inukai Y, Shirozu H, Onishi H. The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. Eur J Neurosci (JCR). 2021;53(10):3433-3446.
 2. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype on Short-Latency Afferent Inhibition and Motor Cortex Metabolites. Brain Sci (JCR). 2021;11(3):395.

3. Yokota H, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-Specific Effects of 10-Hz Transcranial Alternate Current Stimulation Over the Left Posterior Parietal Cortex and Primary Somatosensory Area on Tactile Two-Point Discrimination Threshold. *Front Neurosci (JCR)*. 2021;15:576526.
4. Hoshi H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Corticospinal excitability of untrained side depends on the type of motor task and degree of improvement in motor function. *Brain Cogn (JCR)*. 2021;148:105691.
5. Saito K, Otsuru N, Yokota H, Inukai Y, Miyaguchi S, Kojima S, Onishi H. α -tACS over the somatosensory cortex enhances tactile spatial discrimination in healthy subjects with low alpha activity. *Brain Behav (JCR)*. 2021:e02019.
6. Hirabayashi R, Kojima S, Edama M, Onishi H. Activation of the Supplementary Motor Areas Enhances Spinal Reciprocal Inhibition in Healthy Individuals. *Brain Sci (JCR)*. 2020;10(9):587.
7. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Enhancement of spinal reciprocal inhibition depends on the movement speed and range of repetitive passive movement. *Eur J Neurosci (JCR)*. 2020 Oct;52(8):3929-3943.
8. Watanabe H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. The Repetitive Mechanical Tactile Stimulus Intervention Effects Depend on Input Methods. *Front Neurosci (JCR)*. 2020;14:393.

3 報告書

1. 小島翔. 科研費若手研究, 触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 横田裕丈, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 江玉睦明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別覚閾値に及ぼす領域特異的効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催), 2020.11.30-12.1.
2. 長坂和明, 小島翔, 大鶴直史, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 触覚刺激パターンの違いが脳領域間の機能的結合性に与える影響—MRIを用いたfunctional connectivityの評価—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催), 2020.11.30-12.2.
3. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋パルス電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催), 2020.11.30-12.3.
4. 平林怜, 小島翔, 江玉睦明, 大西秀明. 補足運動野への脳刺激が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催), 2020.11.30-12.4.
5. Manh Van Pham, 宮口翔太, 渡邊拓, 長坂和明, 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 他動運動介入による皮質脊髄路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催), 2020.11.30-12.5.
6. 阿部晃平, 齊藤慧, 小林拓夢, 田中日菜, 小島翔, 大西秀明. 健常若年者におけるペグボード遂行能力と触覚方位弁別能力の関係. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催), 2020.11.30-12.6.
7. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 長坂和明, 宮口翔太, 横田裕丈, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催), 2020.11.30-12.7.
8. 神居寧, 小島翔, 齊藤慧, 大西秀明. 主動作筋または拮抗筋神経に対する末梢神経電気刺激が脊髄興奮性および反応時間に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催), 2020.11.30-12.1.
9. 渡邊拓, 小島翔, 長坂和明, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大鶴直史, 大西秀明. 健常者の脳灰白質容積の変動性について. 日本臨床神経生理学会学術大会 第50回記念大会 (WEB開催), 2020.11.26-11.28.
10. 小島翔. 新型コロナウイルス感染対策に伴う大学教育の対応. 第14回全国大学理学療法教育学会大会 (WEB開催), 2020.11.18. 【シンポジウム】

11. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 横田裕丈, 長坂和明, 宮口翔太, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 反復的な静的・動的触覚刺激入力が一身体性感覚野の抑制作用および二点識別覚に及ぼす影響. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (WEB開催), 2020.10.31-11.15.
 12. 小島翔. 機械的触覚刺激介入が体性感覚誘発磁界に及ぼす影響. 第35回日本生体磁気学会大会 (紙面開催), 2020.7.3-7.4. 【シンポジウム】
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床神経生理学会, 全国大学理学療法教育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読委員
 2. *Frontiers in Neuroscience*, Reviewer
 3. 令和2年度理学療法教員協議会, 運営, WEB開催, 2021.3.13.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究, 触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
 3. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 研究分担者
- 7 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名：齊藤 慧

- 1 研究題目 体性感覚機能に関する研究 (神経生理学)
- 2 論文
 1. [Saito K](#), Otsuru N, Inukai Y, Miyaguchi S, Yokota H, Kojima S, Sasaki R, Onishi H. Comparison of transcranial electrical stimulation regimens for effects on inhibitory circuit activity in primary somatosensory cortex and tactile spatial discrimination performance. *Brain and Behavior*. 2021; 11(3):e02019.
 2. Inukai Y, Otsuru N, [Saito K](#), Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H, Nagasaka K, Onishi H. The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: A randomized controlled trial. *Neurosci Lett*. 2020; 729:135009.
 3. Pham MV, Miyaguchi S, Watanabe H, [Saito K](#), Otsuru N, Onishi H. Effect of Repetitive Passive Movement Before Motor Skill Training on Corticospinal Excitability and Motor Learning Depend on BDNF Polymorphisms. *Front Hum Neurosci*. 2021;15:621358.
 4. Yokota H, Otsuru N, [Saito K](#), Kojima S, Miyaguchi S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-Specific Effects of 10-Hz Transcranial Alternate Current Stimulation Over the Left Posterior Parietal Cortex and Primary Somatosensory Area on Tactile Two-Point Discrimination Threshold. *Front Neurosci*. 2021;15:576526.
 5. Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, [Saito K](#), Inukai Y, Shirozu H, Onishi H. The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. *Eur J Neurosci*. 2021;53(10):3433-3446.
- 3 学会等研究発表
 1. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋パルス電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (WEB開催),

2019.12.12-12.18.

2. 齊藤慧, 一次体性感覚野に対する経頭蓋電気刺激が触覚機能および体性感覚野領域の興奮性に及ぼす影響. 専門理学療法士(基礎)必須発表会(WEB開催), 2019.12.12-12.18.
3. Manh Van Pham, 宮口翔太, 渡邊拓, 長坂和明, 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 他動運動介入による皮質脊髄路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(WEB開催), 2019.12.12-12.18.
4. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 長坂和明, 宮口翔太, 横田裕丈, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(WEB開催), 2019.12.12-12.18.
5. 横田裕丈, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別覚閾値に及ぼす領域特異的効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(WEB開催), 2019.12.12-12.18.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本臨床神経生理学会, 日本物理療法学会, 全国大学理学療法学会教育学会, 日本神経科学学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本理学療法士協会, 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 企画部長, 2021.9.4-9.5・2020.4-2021.3.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 学会演題査読, WEB開催, 2020.12.12-12.18.

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新人教育研修会, 理学療法と倫理, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, WEB開催, 2020.7.5.
 2. 新人教育研修会, 理学療法と倫理, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, WEB開催, 2020.11.15.
 3. 臨床実習指導者講習会, 人間関係論・ハラスメントの防止について・臨床実習の到達目標と修了基準・臨床実習における学生評価・臨床実習施設における臨床実習プログラムの立案・臨床実習指導者およびプログラムの評価, ファシリテーター, 日本理学療法士協会・全国リハビリテーション学校協会, 理学療法士・作業療法士, 新潟リハビリテーション大学, 2021.3.6-3.7.
 4. 理学療法士教員協議会, COVID-19禍における理学療法教育ー現状と中長期的課題ー, 運営, 全国大学理学療法学会教育学会, 理学療法士, WEB開催, 2021.3.13.
 5. 新潟脳外科病院院内研修会, 診療参加型臨床実習について, 講師, 新潟脳外科病院リハビリテーション科, 新潟脳外科病院に勤務する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士, 新潟脳外科病院, 2021.10.1.
 6. 新潟脳外科病院院内研修会, 末梢電気刺激療法の効果とその使い方, 講師, 新潟脳外科病院リハビリテーション科, 新潟脳外科病院に勤務する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士, 新潟脳外科病院, 2021.10.7.
- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県理学療法士会(学術部員), 全国大学理学療法学会(事務局員, 庶務)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 研究代表者

7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所

氏名: 高橋 英明

- 1 研究題目 腱-骨移行部(Enthesis)に関する研究, 変性性関節症および関節拘縮などの軟骨代謝に関する

研究, 萎縮筋に関する研究, 糖尿病の骨脆弱性に関する研究

2 論文

1. Hayao K, Tamaki H, Tamakoshi K, Takahashi H, Onishi H. Myofiber Permeability and Force Production of Rat Muscles Following Eccentric Contractions: The Repeated Bout Effect Depends on the Interval. *Journal of Biomedical Science and Engineering*. 2020; 13(2): 275-289.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本骨代謝学会, 日本組織細胞化学学会, 日本物理療法学会

4 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2018年度, 若手研究, 軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明, 研究代表者

5 学内委員会活動 就職センター運営委員会 (副委員長), 運動機能医学研究所

氏名: 玉越 敬悟

- 1 研究題目 脳卒中後の運動療法による運動機能の回復機序および脳内改善メカニズムに関する研究

2 論文

1. Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H. Early Exercise after Intracerebral Hemorrhage Inhibits Inflammation and Promotes Neuroprotection in the Sensorimotor Cortex in Rats. *Neuroscience (JCR)*. 2020;438:86-99.
2. Tamakoshi K, Maeda M, Nakamura S, Murohashi N. Very early exercise rehabilitation after intracerebral hemorrhage promotes inflammation in the brain. *Neurorehabilitation and Neural Repair(JCR)*. 2021;35(6):501-512.

3 学会等研究発表

1. Tamakoshi K, Maeda M, Nakamura S, Murohashi N. Very early rehabilitation promotes pro-inflammatory factor expression and delays motor function recovery in cerebral hemorrhage model rats. The 43rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society (WEB meeting), 2020.7.29-8.1.
2. Tamakoshi K, Maeda M, Nakamura S, Murohashi N. Very early rehabilitation promotes pro-inflammatory factors and neuronal cell death in cerebral hemorrhage rats. 63rd Annual Meeting of the Japanese Society for Neurochemistry (Web meeting), 2020.9.10-9.12.
3. 玉越敬悟, 前田まどか, 中村慎之介, 室橋七衣. 脳出血モデルラットにおける超早期リハビリテーションは炎症促進因子の増加および神経細胞死を促進する. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (Web開催), 2020.12.12-12.18.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本神経科学会, 日本運動生理学会, 日本生理学会, 日本脳循環代謝学会, Society for neuroscience

5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020年度科学研究費助成事業, 基盤研究 (C), 脳卒中超急性期リハビリテーションの効果検証と新たな治療戦略の開発, 研究代表者
2. 2020年度理学療法にかかわる研究助成, 脳梗塞後と脳出血後における理学療法効果の比較検証による脳卒中病型別理学療法の開発

6 学内委員会活動 運動機能医科学研究所 (研究員), SHAINプロジェクト (神経・筋・骨組織研究メンバー)

氏名：中村 雅俊

- 1 研究題目 ストレッチングが筋腱複合体に及ぼす影響，レジスタンストレーニングの効果検証，遅発性筋痛に対する運動療法の効果検証
- 2 著書
 1. 北條達也編著 中村雅俊. 図解 スポーツ健康科学入門：金芳堂；2020年
- 3 論文
 1. Takeuchi K, Nakamura M. Influence of high intensity 20-second static stretching on the flexibility and strength of hamstrings. *J Sports Sci Med (JCR)*. 2020, 19, 429-435.
 2. Nakamura M, Kiyono R, Sato S, Sutoh S, Yahata K, Morishita S. Estimating training intensity for low-intensity resistance training using surface electromyography. *Gazz Med Ital - Arch Sci Med*. In press.
 3. Sato S, Hiraizumi K, Kiyono R, Fukaya T, Nishishita S, Nunes JP, Nakamura M. The effects of static stretching programs on muscle strength and muscle architecture of the medial gastrocnemius. *PLoS One (JCR)*. 2020 15(7): e0235679.
 4. Kiyono R, Onuma R, Yasaka K, Sato S, Yahata K, Nakamura M. Effects of 5-weeks foam rolling intervention on range of motion and muscle stiffness. *J Strength Cond Res (JCR)*. In press.
 5. Nakamura M, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Morishita S. One-repetition maximum can be estimated with a handheld dynamometer and circumference in community-dwelling older adults. *J Phys Ther Sci*. 2020;32(10):669-673.
 6. Yoshimura M, Hojo T, Yamamoto H, Tachibana M, Nakamura M, Tsutsumi H, Fukuoka Y. Application of carbon dioxide to the skin and muscle oxygenation of human lower-limb muscle sites during cold water immersion. *PeerJ (JCR)*. 21;8:e9785.
 7. Kiyono R, Sato S, Inaba K, Yahata K, Nakamura M. Time course of changes in range of motion, muscle shear elastic modulus, spinal excitability, and muscle temperature during superficial icing. *Sport Sci Health (2020)*.
 8. Nunes JP, Jacinto JL, Ribeiro AS, Mayhew JL, Nakamura M, Capel DMG, Santos LR, Santos L, Cyrino ES, Aguiar AF. Placing Greater Torque at Shorter or Longer Muscle Lengths? Effects of Cable vs. Barbell Preacher Curl Training on Muscular Strength and Hypertrophy in young adults. *Int J Environ Res Public Health*. 13;17(16):5859.
 9. Takeuchi K, Nakamura M. The optimal duration of high-intensity static stretching in hamstrings. *PLoS One (JCR)* 2;15(10):e0240181.
 10. Fukaya T, Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Inaba K, Nishishita S, Onishi H. The Relationship between Stretching Intensity and Changes in Passive Properties of Gastrocnemius Muscle-Tendon Unit after Static stretching. *Sports (Basel)*. 2020 23;8(11):140.
 11. Fukaya T, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Yasaka K, Onuma R, Nakamura M. Effects of static stretching with high intensity and short duration or low intensity and long duration on range of motion and muscle stiffness. *Front Physiol (JCR)* 11:601912.
 12. Takeuchi K, Nakamura M. Influence of aerobic exercise after static stretching on flexibility and strength in plantar flexor muscles. *Front Physiol (JCR)* 11:612967.
 13. Umehara J, Nakamura M, Saeki J, Tanaka H, Yanase K, Fujita K, Yamagata M, Ichihashi N. Acute and prolonged effects of stretching on shear modulus of the pectoralis minor muscle. *J Sport Sci & Med (JCR)* 2021; 20, 17-25.
 14. Nakamura M, Onuma R, Kiyono R, Yasaka K, Sato S, Yahata K, Fukaya T, Konrad A. The acute and prolonged effects of different durations of foam rolling on range of motion, muscle stiffness, and muscle strength. *J Sport Sci & Med (JCR)* 2021; 20, 62-68.

15. Yoshimura M, Hojo T, Yamamoto H, Tachibana M, Nakamura M, Fukuoka Y. Effects of artificial CO2 rich cold water immersion on repeated-cycling work efficiency. *Res Sports Med (JCR)* 2020 10:1-12.
16. Nakamura M, Sato S, Murakami Y, Kiyono R, Yahata K, Sanuki F, Yoshida R, Fukaya T, Takeuchi K. The comparison of different stretching intensities on the range of motion and muscle stiffness of the quadriceps muscles. *Front Physiol (JCR)* 2021 13:11:628870.
17. Takeuchi K, Takeumura M, Nakamura M, Tsukuda F, Miyakawa S. The effects of using a combination of static stretching and aerobic exercise on muscle tendon unit stiffness and strength in ankle plantar-flexor muscles. *Eur J Sport Sci (JCR)* in press.
18. Nakamura M, Yasaka K, Kiyono R, Onuma R, Yahata K, Sato S, Konrad A. The Acute Effect of Foam Rolling on Eccentrically Induced Muscle Damage. *Int J Environ Res Public Health*. 2020 Dec 24;18(1):E75.
19. Yahata K, Konrad A, Sato S, Kiyono R, Yoshida R, Fukaya T, Nunes JP, Nakamura M. Effects of a high-volume static stretching programme on plantarflexor muscle strength and architecture. *Eur J Appl Physiol (JCR)* In press.
20. Nakamura M, Kiyono R, Sato S, Yahata K, Fukaya T, Nishishita S, Konrad A. The associations between rapid strength development and muscle stiffness in older population. *Healthcare*. 2021, 9(1), 80.
21. Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Yoshida R, Fukaya T, Konrad A. Comparison of the Acute Effects of Hold-Relax and Static Stretching among Older Adults. *Biology (Basel)*. 2021, 10(2), 126.
22. Konrad A, Mocnik R, Nakamura M, Sudi K and Tilp M. The Impact of a Single Stretching Session on Running Performance and Running Economy: A Scoping Review. *Front Physiol (JCR)* 11:612967.
23. Konrad A, Mocnik R, Titze S, Nakamura M, Tilp M. The Influence of Stretching the Hip Flexor Muscles on Performance Parameters. A Systematic Review with Meta-Analysis. *Int J Environ Res Public Health*. 2021, 18, 1936.
24. Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Yoshida R, Fukaya T, Nishishita S, Konrad A. Association between the range of motion and passive property of the gastrocnemius muscle-tendon unit in older population. *Healthcare*. 2021 12:9(3):314.
25. Nakamura M, Yahata K, Sato S, Kiyono R, Yoshida R, Fukaya T, Nunes JP, Konrad A. Training and detraining effects following a static stretching program on medial gastrocnemius passive properties. *Front Physiol (JCR)* 2021 1;12:656579.
26. Fukaya T, Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Inaba K, Nishishita S, Onishi H. Influence of stress relaxation and load during static stretching on the range of motion and muscle-tendon passive stiffness. *Sport Sci Health*. in press.

4 報告書

1. 中村雅俊. 若手研究, ストレッチングによる筋ステイフネス減少メカニズムの解明, 科学研究費補助金報告書, 2019-2022 (研究代表者)

5 学会等研究発表

1. Nakamura M, Kamazawa T, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Nosaka K. Effects of 8-week eccentric heel drop exercise on muscle strength, muscle thickness and tendon stiffness in young men. the International Society for Electrophysiology and Kinesiology 2020 biennial congress. Nagoya, Japan. 2020.6.11-6.14.
2. 中村雅俊, 佐藤成, 清野涼介, 八幡薫, 吉田麗玖. 地域在住高齢者に対するストレッチング介入効果の比較スタティックストレッチングとホールドリラックスストレッチングの比較-. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台市), 2020.12.12-12.13.
3. 清野涼介, 大沼れみ, 矢坂晃樹, 佐藤成, 八幡薫, 中村雅俊. 5週間の foam rolling が関節可動域と筋硬

度に与える効果の検討. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会(仙台市), 2020.12.12-12.13.

4. 佐藤成, 吉田麗玖, 清野涼介, 八幡薫, 矢坂晃樹, 野坂和則, 中村雅俊. 片側の漸増負荷レジスタンストレーニングによる cross-transfer 効果の検討 - 伸張性収縮と短縮性収縮の比較 -. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会(仙台市), 2020.12.12-12.13.
5. 八幡薫, 池津大高, 清野涼介, 佐藤成, 矢坂晃樹, 樋口涼香, 吉田麗玖, 中村雅俊. セット間ストレッチングはトレーニングの筋肥大効果を阻害しない. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会(仙台市), 2020.12.12-12.13.

6 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会(日本基礎理学療法学会企画部協力部員), 日本体力医学会, 日本バイオメカニクス学会, 国際電気生理運動学会(ISEK), 日本物理療法学会, 日本温泉気候物理医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本ダンス医科学研究会(世話人), European College of Sport Science
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Physical Therapy Research, 査読
 2. Journal of Applied Biomechanics, 査読
 3. The Journal of Physical Therapy Science, 査読
 4. International Journal of Sports Medicine, 査読
 5. Sports Medicine International Open, 査読
 6. Archives of Rehabilitation Research and Clinical Translation Comparison, 査読
 7. Physical Therapy Research, 査読
 8. Journal of Science in Sport and Exercise, 査読
 9. Musculoskeletal Science and Practice, 査読
 10. Scientific Reports, 査読
 11. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, 査読
 12. Journal of Electromyography and Kinesiology, 査読
 13. Translational Sports Medicine, 査読
 14. 理学療法学, 査読
 15. Clinical Biomechanics, 査読
 16. Scandinavian Journal of Medicine & Science in Sports, 査読
 17. Physiotherapy Theory and Practice, 査読
 18. 理学療法学, 査読
 19. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
 20. IEEE Access, 査読
 21. Journal of International Medical Research, 査読
 22. life, 査読
 23. Journal of Athletic Training, 査読
 24. BMC Sports Science, Medicine and Rehabilitation, 査読
 25. European Journal of Applied Physiology, 査読
 26. International Journal of Therapy and Rehabilitation, 査読
 27. BMC Sports Science, Medicine and Rehabilitation, 査読
 28. medicina, 査読
 29. Physical Therapy Research, 査読
 30. Clinical Biomechanics, 査読
 31. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読
 32. European Journal of Physical and Rehabilitation Medicine, 査読

33. Journal of Comparative Effectiveness Research, 査読

34. 理学療法学, 査読

35. medicina, 査読

7 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 教育講演「病態運動学の確立における基礎研究の役割」, 司会, 仙台, 2020.12.12-12.13.

2. 第24回宮城県理学療法学会学術大会, 教育講演「ストレッチングアップデートーストレッチングで“予防できるもの”と“予防出来ないもの”ー」, 講師, 仙台, 2021.2.7.

2) 職能団体（協会, 士会等）の委員

日本基礎理学療法学会文化学会企画部会部員（若手研究推進委員会）, 日本理学療法士協会機関誌「理学療法学」査読委員, 日本理学療法士協会機関誌「Physical Therapy Research」査読委員, 日本ダンス医科学研究会 委員

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019-2021年度, 若手研究, ストレッチングによる筋スティフネス減少メカニズムの解明, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟リハビリテーション病院（一般整形外来）, 2017.4-（継続）

2. ICM専門学校（鍼灸学科）, 運動学非常勤講師, 2020.9-（新規）

氏名：堀田 一樹

1 研究題目 骨格筋微小循環の制御機構に関する研究, 佐渡市におけるフレイル一次予防に関する研究

2 論文

1. Nashimoto S, Morishita S, Iida S, Hotta K, Tsubaki A. Relationship between the face scale for rating of perceived exertion and physiological parameters in older adults and patients with atrial fibrillation. *Physiol Rep*. 2021 Mar;9(5):e14759.

2. Qin W, Kojima S, Yamazaki Y, Morishita S, Hotta K, Inoue T, Tsubaki A. Relationship between the difference in oxygenated hemoglobin concentration changes in the left and right prefrontal cortex and cognitive function during moderate-intensity aerobic exercise. *Appl. Sci*. 2021; 11(4):1643.

3. Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Inoue T, Qin W, Kojima S, Fu JB, Onishi H. Face Pain scale and Borg scale compared to physiological parameters during cardiopulmonary exercise testing. *J Sports Med Phys Fitness*. 2020 Dec 3. doi: 10.23736/S0022-4707.20.11815-2.

4. Inoue T, Maeda K, Nagano A, Shimizu A, Ueshima J, Murotani K, Sato K, Hotta K, Morishita S, Tsubaki A. Related Factors and Clinical Outcomes of Osteosarcopenia: A Narrative Review. *Nutrients*. 2021 Jan 20;13(2):291.

5. Kato M, Nihei Green F, Hotta K, Tsukamoto T, Kurita Y, Kubo A, Takagi H. The Efficacy of Stretching Exercises on Arterial Stiffness in Middle-Aged and Older Adults: A Meta-Analysis of Randomized and Non-Randomized Controlled Trials. *Int J Environ Res Public Health*. 2020 Aug 5;17(16):5643.

6. 高橋治憲, 堀田一樹, 橋本和哉, 金井梨里, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健康成人の大腿動脈血流量は上肢クランク運動中に増加する. *日本基礎理学療法学雑誌*. 2020.

7. 酒井渉, 堀田一樹, 石井佑典, 浅見崇之, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚の浅大腿動脈血流量は増加する. *日本基礎理学療法学雑誌*. 2020.

8. 浅見崇之, 堀田一樹, 石井佑典, 酒井渉, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚の母趾皮膚における温度と血流変化. *理学療法科学*. 2020.

9. 堀田一樹. ストレッチングが骨格筋の微小循環に与える影響. 日本基礎理学療法学雑誌 23 (1), 2020.

3 報告書

1. 堀田一樹, 宮田裕章, 佐藤賢治, 神谷健太郎, 和泉徹, 平原憲道, 藤田卓仙, 窪田杏奈. 新潟県フレイル事業実施報告書 2020年度

4 学会等研究発表

1. 堀田一樹, 藤井豊, 森下慎一郎, 井上達朗, 椿淳裕. ECMO管理中の骨格筋酸素動態 –リン光クエンチング法を用いた計測–. 第24回酸素ダイナミクス研究会, オンライン, 2020.10.10. [一般演題 (口述)]
2. 堀田一樹, 藤井豊, 間藤慶也, 池田光功, 梅木沙彩, 森下慎一郎, 椿淳裕. 吸入気酸素濃度の増加がラット骨格筋間質の酸素分圧に与える影響. 第75回日本体力医学会, オンライン, 2020.9.24-9.26. [一般演題 (ポスター)]

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本体力医学会, 日本心臓リハビリテーション学会, American Physiological Society, Microcirculatory Society, 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第5回日本心管理理学療法学会学術大会準備委員会企画部長 (2020.4-2021.3)
 2. 日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会心血管作成班班員 (2020.4-2021.3)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 堀田一樹. 理学療法士が知っておくべき循環器の解剖生理. 理学療法士講習会：循環器疾患の理学療法法の基礎, 講師, zoom, 2021.2.23.
2. 堀田一樹. 循環器疾患を有する高齢者に対する運動指導の注意点, 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会, 講師, 新潟日報メディアシップ, 2020.11.15.
3. 堀田一樹, 宮田裕章, 藤田卓仙, 平原憲道, 神谷健太郎, 和泉徹, 山下真司, 窪田杏奈. にいがたヘルスケアICTフォーラム「新潟がリードするこれからのヘルスケアICT」トキめき会 –あなたの若さ度チェックしてみませんか? –新潟日報メディアシップ, 2021.1.22.
4. 堀田一樹. 運動時のバイタルサイン –病態把握と予後予測の有用性–. 令和2年度リハビリテーション技術部地域連携講演会, 兵庫, zoom, 2020.11.10.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報おとなプラス, 「鳥モデルに歩き方解析」, 2020.11.13.
2. 佐渡ジャーナル, 身体の衰えを測り, 対策を実践しよう! –トキめき会にご参加ください–, 2021.1.15.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟県, 佐渡市, 新潟県健康づくり財団の協賛をうけて, 佐渡市における身体・精神機能測定会を実施 (トキめき会), 運営幹事, 佐渡スポーツハウス, 2020.10.23-10.25.
2. 新潟県, 佐渡市, 新潟県健康づくり財団の協賛をうけて, 佐渡市における身体・精神機能測定会を実施 (トキめき会), 運営幹事, サンテラ佐渡スーパーアリーナ, 2021.1.8-1.11.
3. 新潟県, 佐渡市, 新潟県健康づくり財団の協賛をうけて, 佐渡市における身体・精神機能測定会を実施 (トキめき会), 運営幹事, 佐渡スポーツハウス, 2021.3.12-3.14.

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 訪問研究員 (2020.4-2021.3)

8 学内委員会活動 入試委員会

氏名：伊藤 渉

1 研究題目 スポーツにおける外傷・障害調査, ラグビーにおける非接触型膝前十字靭帯損傷の予防に関する

研究, 女性アスリートにおける非接触型膝前十字靭帯損傷の予防に関する研究, Jones骨折予防に関する研究, 膝前十字靭帯再損傷の予防に関する臨床研究

2 著書

1. 伊藤涉, 小林匠. 軟部組織損傷・障害の病態とリハビリテーションー組織特性に基づくアプローチ法の構築. 1版. 東京:メジカルビュー社;2020:455-469.

3 報告書

1. 伊藤涉. 科研費若手研究, 「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発, 研究実施状況報告書, 2019-2020 (研究代表者)

4 学会等研究発表

1. 平林怜, 横田裕丈, 伊藤涉, 三瀬貴生, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 江玉陸明. 噛みしめが及ぼす脊髄機能と運動パフォーマンスへの効果. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会, 2020.11.14-11.30.
2. 江玉陸明, 稲葉洋美, 星野美美, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.10.17-10.18.
3. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉陸明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林怜, 大森豪. 本学アスリートサポート研究センターにおける脳振盪予防プログラムの試み. アスレティックトレーニング学会, 2020.12.
4. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉陸明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.10.17-10.18.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会, 日本アスレティックトレーナー学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会, European College of Sport Science

2) 学術集会の主催

1. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会. 第38回研修会, 準備委員, オンライン開催, 2021.2.28.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本アスレティックトレーニング学会, 日本アスレティックトレーニング学会誌, 査読.
2. 新潟医療福祉学会, Niigata Journal of Health and Welfare, 査読.
3. 日本理学療法士協会, ガイドライン・用語策定委員会, 足関節・足部機能障害理学療法ガイドライン システムティックレビュー班班員.
4. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会 第38回研修会, 一般演題座長・表彰審査委員, オンライン開催, 2021.2.28.
5. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会, 広報部, 部長
6. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会, 若手部会, 委員

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県ラグビーフットボール協会, 第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会新潟県大会 第1回戦, 大会救護, 鳥屋野球技場, 2020.9.12.
2. 新潟県ラグビーフットボール協会, 第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会新潟県大会 第2回戦, 大会救護, 長岡NT球技場, 2020.9.19.
3. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技 3期生拠点活動 第1回合宿, トレーニング講師, 長岡市, 2020.10.23-10.25.
4. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技 3期生拠点活動 第2回合宿, トレーニング講師, 長岡市, 2020.11.6-11.7.

5. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技 3期生拠点活動 第2 回合宿, トレーニング講師, 長岡市, 2020.12.18-12.20.
 6. トキめき会, 体力測定, 測定員, 新潟医療福祉大学・慶應義塾大学・北里大学, 佐渡市在住者, 佐渡市, 2021.1.8-1.11, 3.12-3.14.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
- 日本理学療法士協会 2019・2020年度ガイドライン・用語策定委員会システムティックレビュー班班員, 公益財団法人新潟県スポーツ協会アスレティックトレーナー部会幹事, 新潟県ラグビーフットボール協会理事, 新潟県ラグビーフットボール協会メディカル委員会安全対策委員長, 新潟県サッカー協会医学委員会委員
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発, 研究代表者, (継続)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション病院非常勤勤務 (スポーツ外来), 2018.4-
 2. 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター非常勤勤務 (スポーツ外来), 2018.4-
- 8 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, アスリートサポート研究センター, SHAINプロジェクト

氏名 : 太田 大樹

- 1 研究題目 骨格筋新規侵害受容器の電気生理学的分類, 遅発性筋痛における機械チャネルの関与
- 2 著書
 1. 阿部弘之, 丹羽孝仁, 溝口佳宏, 大塚博史, 太田大樹. 質問表調査における低回収率の要因としてのインフォームド・コンセント～帝京大学医療技術学部柔道整復学科学生への質問表調査から得た教訓～ 帝京大学宇都宮キャンパス研究年報人文編 26号, pp.1-26, 2020.11.
- 3 学会等研究発表
 1. 太田大樹, 田口徹. 異なる病態モデルラットにおける骨格筋神経線維の電気生理学的特性の比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2020.10.
 2. 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛におけるTRPV2チャネルの関与: コンディショナルノックアウトマウスを用いた行動学的解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2020.10.
 3. 菊地貴矢, 太田大樹, 平澤孝枝, 田口徹. 骨格筋神経における非活動性侵害受容器の組織学的発現解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2020.10.
 4. 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスによる痛み関連行動の増大とその脊髄機構の解明. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2020.10.
 5. 鷲澤玲央, 太田大樹, 田口徹. 運動後に生じる筋機械痛覚過敏におけるTRPV2チャネルの関与: モデルラットを用いた行動薬理学的解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2020.10.
 6. 竹部陽菜, 太田大樹, 田口徹. 長期ギプス固定による後肢不動化モデルラットの脊髄後角におけるミクログリアの活性化. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2020.10.
 7. 田口徹, 太田大樹. 機械痛覚に関わる神経・分子機構の探索. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2020.10.
 8. 田口徹, 太田大樹. モデルラットを用いた不活動性疼痛機構の電気生理学的解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟・日本), 2020.10.
 9. 太田大樹, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 片野坂友紀, 田口徹, 水村和枝. マウス遅発性筋痛モデルにおける機械感受性TRPチャネルの関与. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟・日本), 2020.11.
 10. 太田大樹, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 片野坂友紀, 田口徹, 水村和枝. 遅発性筋痛

の分子機構：TRPA1およびTRPV2ノックアウトマウスを用いた解析。第42回日本疼痛学会（東京・日本），2020.12.

11. 太田大樹，片野坂公明，村瀬詩織，加塩麻紀子，富永真琴，片野坂友紀，田口徹，水村和枝。マウス遅発性筋痛モデルにおけるTRPチャンネルの関与。第25回日本基礎理学療法学会学術大会（仙台・日本），2020.12.

12. 田口徹，太田大樹。動物モデルから探る骨格筋痛のメカニズム。第50回日本慢性疼痛学会（東京・日本），2021.3.【教育講演】

4 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本筋学会，国際疼痛学会，日本運動器疼痛学会，日本理学療法士協会，日本疼痛学会，日本神経科学会，日本生理学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会 演題査読（2演題）

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度，科研費基盤研究（C），遅発性筋痛における機械感受性イオンチャンネルの役割の解明，研究代表者

2. 2019年度（継続），ファイザー製薬 学習と変革のための独立助成金：日本における疼痛治療の抜本的改革を支援する教育プログラム，慢性運動器疼痛の理学療法のための教育モデルおよび教育拠点の構築，プロジェクトメンバー

3. 2020年度，大学間連携による共同研究概要書，「痛み」の新規伝達経路と慢性痛の発生・維持機構の解明，平澤孝枝，内野茂夫（帝京大学理工学部バイオサイエンス学科），太田大樹，田口徹（新潟医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科）

2) 受賞，学位取得，資格取得

1. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 奨励賞（2020.11）

6 学内委員会活動 学生委員会，交通安全委員会，運動機能医科学研究所

氏名：神田 賢

1 研究題目 腰痛・肩こりなど生活習慣病の予防に関する研究（予防医学），脊椎後弯変形のある対象者への体幹筋持久力評価として独自のテストの考案および評価法としての確立（予防医学），職業性腰痛・職業性頸肩腕愁訴など，職業関連疾患の予防に関する研究（産業医学）

2 論文

1. 神田賢，北村拓也，佐藤成登志，鈴木祐介，渡辺慶，久保雅義。異なる座位姿勢における腰部多裂筋の血液循環動態の経時的変化について。Journal of Spine Research. 2020；11（6）：902-907.

2. 神田賢，北村拓也，佐藤成登志，古西勇，鈴木祐介，渡辺慶，久保雅義。若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子。理学療法科学。2020；35(4)：483-487.

3. 神田賢，北村拓也，鈴木祐介，渡辺慶，佐藤成登志。異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－腰痛の有無での比較－。Journal of Spine Research.（印刷中）

4. Kanda M，Kitamura T，Sato N. Cervicothoracic spinal alignment and neck flexor muscle endurance in young and older adult females with and without neck and shoulder pain (Katakori in Japanese). J of physical therapy science (in press)

5. 神田賢，北村拓也，佐藤成登志。座位体幹伸展動作が腰部多裂筋の血液循環動態に及ぼす影響。地域ケアリング10。2020；22(11)：72-76.

6. 神田賢，北村拓也，佐藤成登志。異なる座位姿勢が腰部多裂筋の血液循環動態に及ぼす影響－腰痛の有無での比較。地域ケアリング1。2021；23(1)：77-81.

7. 北村拓也，神田賢，佐藤成登志，渡辺慶。慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法効果。

Journal of Spine Research. 2020 ; 11 (6) : 923-932.

8. 若菜翔哉, 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志. 若年者および高齢者女性における体幹筋と大腰筋の筋厚および筋輝度の比較. 理学療法科学. 2020 ; 35(2) : 245-249.
9. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2020年度報告書. 2020.

3 報告書

1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 基盤研究 (C), 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究代表者
2. 佐藤成登志, 神田賢, 北村拓也. 基盤研究 (C), 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究分担者

4 学会等研究発表

1. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化-腰痛の有無での比較. 第28回日本腰痛学会 (札幌市Web), 2020.10.30-11.29.
2. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 若年女性における肩こりの有無と頭頸部の位置が頸部筋群の筋血流動態におよぼす影響. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市Web), 2020.11.28-12.25.
3. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者の姿勢と身体機能. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市), 2020.11.28-12.25.
4. 津布子夏実, 佐藤成登志, 神田賢. 前屈時痛を有する非特異的腰痛患者と健常成人との比較 - 股関節の回旋可動域制限に着目して -. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市Web), 2020.11.28-12.25.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士学会, 日本運動器疼痛学会, 日本腰痛学会, 日本マイオチューニングアプローチ学会, 新潟医療福祉学会, APTA, CPTA, KEOMT

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. ファシリテーター. 厚生労働省慢性疼痛事業; 第1回新潟県慢性疼痛研修会. 2020.9.6. (於 新潟大学医歯学総合病院+Zoom)
2. ファシリテーター. 厚生労働省慢性疼痛事業; 第2回新潟県慢性疼痛研修会. 2021.2.21. (於 新潟大学医歯学総合病院+Zoom)
3. 講師. フレイル予防教室, フレイルについて, 新潟市秋葉区, 住民, 新潟市, 2020.10.4.
4. 臨床実習指導者研修会, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, 村上市, 2021.3.6-3.7.
5. 五泉市教育委員会スポーツ推進課生涯スポーツ振興係肩こり・腰痛解消エクササイズ研修会, 講師, 五泉市, 住民, 五泉市, 2020.12.5.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本理学療法士協会, 臨床実習指導者講習会 世話人

3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

日本理学療法士協会ガイドライン・用語策定委員会背部システムティックレビュー班班員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 神田賢, 研究代表者
2. 2020年度, 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 佐藤成登志, 研究分担者
3. 2020年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 研究分担者
4. 2020年度, 新潟市秋葉区委託事業, 地域ぐるみでフレイル予防事業, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢,

鈴木祐介, 研究分担者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 博士(保健学) / 新潟医療福祉大学 / 2020年, 2020年度JSR日本腰痛学会優秀論文賞, 2021年度運動器の健康・日本賞 奨励賞

氏名: 佐伯 史子

- 1 研究題目 古人骨の生活誌に関する研究(骨考古学), 古人骨に観察される病変に関する研究(古病理学), 古人骨の形態に関する研究(形質人類学)
- 2 論文
 1. 澤田純明, 佐伯史子, 萩原康雄, 佐宗亜衣子, 辰巳晃司, 奈良貴史. 材木座町屋遺跡から出土した中世人骨について. 神奈川県鎌倉市 材木座町屋遺跡 (No.261) 発掘調査報告書-材木座五丁目946番1地点-, 2020:173-193.
 2. 奈良貴史, 佐伯史子. 石川原遺跡出土人骨の人類学的研究. 石川原遺跡(2)ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第72集, 2020:499-506.
 3. 佐伯史子, 澤田純明. 友坂遺跡出土焼骨の人類学的報告. 富山市友坂遺跡発掘調査報告書-朝日小学校プール改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告-. 2020:52-54.
 4. 奈良貴史, 小林鷹, 波田野悠夏, 佐伯史子, 澤田純明, 辰巳晃司. 新潟県新潟市細池寺道上遺跡出土人骨の人類学的調査報告. 細池寺道上遺跡X 第29・31次調査-県営ほ場整備事業(担い手育成型)両新地区に伴う細池寺道上遺跡第13・14次発掘調査報告書. 2021:138-143.
 5. 奈良貴史, 佐伯史子. 人骨の人類学的調査. 前橋市0107遺跡(一)南新井前橋線2期工区道路改築事業(地方道・連携)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書. 2021:229-231.
 6. 澤田純明, 佐伯史子. 獣骨の形態学的調査. 前橋市0107遺跡(一)南新井前橋線2期工区道路改築事業(地方道・連携)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書. 2021:232-234.
- 3 学会等研究発表
 1. 澤田純明, 安保凛, 佐伯史子, 鶴澤和宏, 樋泉岳二, 柳田裕三, 奈良貴史, 米田穰. SPring-8のX線CTを利用した福井洞窟出土旧石器時代焼骨片の種同定. 第74回日本人類学会大会(オンライン大会・日本), 2020.10.31-11.1.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本人類学会, 日本解剖学会
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 東京都港区湖雲寺遺跡出土江戸時代人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2020.4-(継続中)
 2. 神奈川県鎌倉市教育材木座町屋遺跡出土中世人骨の鑑定業務, 2020.4-5.
 3. 群馬県前橋市0107遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2020.8-2021.2.
 4. 群馬県前橋市0107遺跡出土動物骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2020.11.
 5. 群馬県安中市吉ヶ谷津遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業および鑑定業務, 2020.8-2021.2.
 6. 埼玉県越谷市大道遺跡出土人骨の修復等基礎的整理作業, 2020.11-(継続中)
 7. 富山市友坂遺跡出土人骨の基礎的整理作業および鑑定業務, 2020.10.
 8. 花巻市教育委員会・新潟医療福祉大学・慶應義塾大学民族学考古学研究室共催, 花巻市総合文化財センター共同企画展「アバクチ・風穴洞穴-北上山地に人類の痕跡を探る-」, 展示協力, 花巻市, 2020.3.7-3.8, 9.25.
- 6 学内委員会活動 個人情報保護委員会

氏名: 佐宗 亜衣子

- 1 研究題目 古人骨の口腔内健康指標についての研究(骨考古学), 遺跡出土人骨群の血縁関係に関する研究

(自然人類学), 関東地方の縄文から弥生時代の人骨の形態的变化に関する研究 (自然人類学), 遺跡人骨の古病理学的研究 (骨考古学), 集積人骨のタフオノミー分析 (骨考古学)

2 著書

1. 佐宗亜衣子; 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館・鳥居龍蔵を語る会編. 城山第2号貝塚から出土した人骨 ― 発掘記録からの検証 ―. 鳥居龍蔵生誕150周年・鳥居龍蔵記念博物館10周年記念論集 鳥居龍蔵の学問と世界. 京都: 思文閣出版; 339-360.

3 論文

1. 佐宗亜衣子, 米田穰, 尾寄大真, 大森貴之, 諏訪元; 東京大学総合研究博物館収蔵の城山第2号貝塚出土人骨. 徳島県立鳥居龍蔵記念博物館研究報告. 2020; 4: 1-13.

4 学会等研究発表

1. Saso A, Hampson K, Kondo O. Temporal changes of periodontal disease in the Neolithic Jomon, Japan. 89th Annual Meeting of the American Association of Physical Anthropologists (Los Angeles, 誌上開催), 2020.4.15-4.18.
2. 佐宗亜衣子. 姥山B9住居址および加曾利北II-29住居址出土人骨の形態的および古病理的特徴. 日本考古学協会第86回総会 (誌上開催), 2020.5.
3. 佐宗亜衣子, 米田穰, 尾寄大真, 大森貴之, 湯浅利彦, 諏訪元. 徳島県城山第2号貝塚から出土した人骨 ― 発掘記録からの検証と年代測定 ―. 第74回日本人類学会 (山梨大, Web開催), 2020.10.31-11.1.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本人類学会, 日本解剖学会, 日本考古学協会, 日本考古学研究会, 日本古病理学研究会, 新潟医療福祉大学 (理事, 会計監査)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会 (Niigata Journal of Health and Welfare), 編集委員
 2. 新潟医療福祉学会, 会計監査
 3. 日本考古学協会, 日本考古学協会第86回総会, セッション企画・座長, 誌上開催, 2020.5.

6 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報, 江戸期の食 歯石で解明, 2020.5.31.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 公益法人福島県文化振興財団, 川俣町前田遺跡古環境調査に関する指導・助言, 福島県, 2020.5.1-2021.3.31.

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 研究スタート支援, 縄文人に初期農耕集団的特徴はみられるか? : 古病理および形態的特徴に基づく検討, 研究代表者
 2. 2020年度, 縄文家族論の新展開: 廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明, 研究代表者
 3. 2020年度, 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 研究分担者
 4. 2020年度, 人骨から読み解く日本列島人の食生活―食物の変遷と多様性の復元―, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校看護学科, 解剖生理学I・II, 2020.4.1-9.30.
 2. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校歯科衛生学科, 解剖・生理学, 2020.4.1-9.30.
 3. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校歯科衛生学科, 発生組織学, 2020.10.1-12.31.
 4. 慶應義塾大学通信教育学部, 人類学, 2020.8.14-9.15.

8 学内委員会活動 学術委員会

氏名：鈴木 祐介

- 1 研究題目 変形性膝関節症と身体機能との関係性，変形性膝関節症に対する効果的な理学療法開発に関する研究
- 2 論文
 1. Tashiro Y, Suzuki Y, Nakayama Y, Sonoda T, Yokota Y, Kawagoe M, Tsuboyama T, Aoyama T. The effect of Capacitive and Resistive electric transfer on non-specific chronic low back pain. Electromagnetic biology and medicine. 2020 Oct 1;39(4):437-444.
 2. Shimoura K, Nishida Y, Abiko S, Suzuki Y, Hala Zeidan, Kajiwara Y, Harada K, Tatsumi M, Nakai K, Bito T, Yoshimi S, Kawabe R, Yokota J, Aoyama T. Immediate effect of neuromuscular electrical stimulation on the abductor hallucis muscle: A randomized controlled trial. Electromagnetic biology and medicine. 2020 Oct 1;39(4):257-261.
 3. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2020年度報告書. 2020.
 4. 神田賢, 北村拓也, 鈴木祐介, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－腰痛の有無での比較－. Journal of Spine Research. (印刷中)
 5. Tashiro Y, Nishida Y, Yamaoka A, Suzuki Y, Horii T, Arai H, Yamaguchi Y, Wada N, Yokota I, Aoyama T. Validation of the Developed Eating Activities Questionnaire in Working People with Disabilities: A Cross-Sectional Study. 2020 Volume 16 Issue 1 Pages 87-93.
 6. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保雅義. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の血液循環動態の経時的変化について. Journal of Spine Research. 2020 ; 11 (6) : 902-907.
 7. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保雅義. 若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子. 理学療法科学. 2020 ; 35(4) : 483-487.
- 3 報告書
 1. 鈴木祐介, 科研費若手研究, 科研費若手研究, 早期変形性膝関節症の新規抽出アプローチの開発－関節加速度を用いて－, 研究成果報告書, 2020-2023, 研究代表者
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. Clinical Epidemiology, 査読
 2. Clinical Rheumatology, 査読
 3. The Knee, 査読
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県介護予防事業会議, 分担研究者としての参加, 新潟県, 2020.4-2021.3. (12回実施)
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本理学療法士協会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費若手研究, 早期変形性膝関節症の新規抽出アプローチの開発－関節加速度を用いて－, 研究代表者
 2. 2020年度, 新潟市秋葉区委託事業, 地域ぐるみでフレイル予防事業, 研究分担者
 3. 2020年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 京都大学大学院医学研究科, 客員研究員, 2019.8-
- 7 学内委員会活動 運動機能医科学研究所(研究員), ロコモティブ症候群予防研究センター(研究員)

氏名：関根 千恵

1 研究題目 腰部障害に関する研究，体幹筋機能に関する研究

2 論文

1. Sekine C, Matsunaga N, Okubo Y, Hangai M, Kaneoka K. The lumbar intervertebral disc degeneration does not affect muscle synergy for rowing activities. Applied Bionics and Biomechanics (JCR). 2021. (筆頭論文)
2. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Inai T, Sekine C, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Anatomical variations in the insertion of the peroneus longus tendon. Surgical and Radiologic Anatomy (JCR). 2020;42(10):1141-1144. (共著論文)
3. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Morphological features of the lateral plantar ligament of the transverse metatarsal arch. Clinical Anatomy (JCR). 2020. (共著論文)
4. Edama M, Takabayashi T, Yokota H, Hirabayashi R, Sekine C, Kageyama I. Morphological characteristics of the plantar calcaneocuboid ligaments. Journal of Foot and Ankle Research (JCR). 2021;14(1):3. (共著論文)

3 学会等研究発表

1. 関根千恵，松永直人，大久保雄，半谷美夏，金岡恒治. ローイング動作時の筋シナジーの腰椎椎間板変性の有無による比較. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催)，2020.11.14-11.30.
2. 稲葉洋美，江玉睦明，星野美美，海和美咲，夏井紗野，石井なるみ，菊元孝則，熊崎昌，三瀬貴生，横田裕丈，関根千恵，伊藤涉，平林怜，大森豪. 大学女子バレーボール選手の利用可能エネルギー. 第20回新潟医療福祉学会 (Web開催)，2020.10.31-11.15.
3. 江玉睦明，稲葉洋美，星野美美，平林怜，横田裕丈，関根千恵，菊元孝則，伊藤涉，熊崎昌，三瀬貴生，大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催)，2020.11.14-11.30.
4. 丸山紗永，山崎朋美，平林怜，横田裕丈，関根千恵，松澤寛大，大槻智史，大森豪，江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催)，2020.11.14-11.30.
5. 松澤寛大，江玉睦明，大槻智史，丸山紗永，横田裕丈，平林怜，関根千恵，大森豪，影山幾男. 浅指屈筋の各指の筋腹の形態学的特徴. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催)，2020.11.14-11.30.
6. 熊崎昌，三瀬貴生，江玉睦明，菊元孝則，伊藤涉，横田裕丈，平林怜，関根千恵，稲葉洋美，大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (Web開催)，2020.11.14-11.30.
7. 舎川真侑，丸山紗永，平田有彩，横山瑞希，横田裕丈，平林怜，関根千恵，松澤寛大，大槻智史，江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性，反張膝，全身関節弛緩性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web開催)，2020.12.13-12.18.
8. 吉岡乾太，松澤寛大，大槻智史，丸山紗永，横田裕丈，平林怜，関根千恵，江玉睦明. 異なる負荷量の肘外反ストレスにおける肘外反不安定性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web開催)，2020.12.13-12.18.
9. 松澤寛大，江玉睦明，大槻智史，丸山紗永，横田裕丈，平林怜，関根千恵，影山幾男. 肘尺側副靭帯の横走線維束と前部線維束の関係. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web開催)，2020.12.13-12.18.
10. 縄涼平，平林怜，山田勇輝，齊藤ありさ，横田裕丈，関根千恵，江玉睦明. 前脛骨筋への異なる振動刺激が筋パフォーマンスに及ぼす即時効果の検討. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web開催)，2020.12.13-12.18.
11. 山田勇輝，平林怜，齊藤ありさ，縄涼平，横田裕丈，関根千恵，江玉睦明. 異なる噛みしめ強度が足関節背屈パフォーマンスにおよぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web開催)，2020.12.13-

12.18.

12. 齊藤ありさ, 平林怜, 山田勇輝, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 噛み締め強度の変化がIa相反抑制と脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web開催), 2020.12.13-12.18.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本スポーツ理学療法学会, 日本体力医学会

5 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 陸上競技部, アスリートサポート, 2020.6-2021.3.
2. 陸上競技部, 秩父宮賜杯第52回全日本大学駅伝対校選手権大会 北信越地区選考会, 2020.9.19. (トレーナー)

2) 学外兼務講師等

1. 医療法人新青会 川口工業総合病院, 理学療法士, 2020.4.1-4.30.

6 学内委員会活動 運動機能医科学研究所, アスリートサポート研究センター

氏名 : 高林 知也

1 研究題目 ランニング障害に関する研究, 足部バイオメカニクスに関する研究

2 論文

1. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Nakamura E, Kubo M. Effect of gender and load conditions on foot arch height index and flexibility in Japanese youths. *Journal of Foot and Ankle Surgery (JCR)*. 2020;59(6): 1144-1147.
2. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Differences in rearfoot, midfoot, and forefoot kinematics of normal foot and flatfoot during. *Journal of Orthopaedic Research (JCR)*. 2021; 39(3): 565-571.
3. Takabayashi T, Edama M, Inai T, Kubo M. Shank and rearfoot coordination and its variability during running in flatfoot. *Journal of Biomechanics (JCR)*. (in press)
4. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Inai T, Sekine C, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Anatomical variations in the insertion of the peroneus longus tendon. *Surgical and Radiologic Anatomy (JCR)*. 2020; 42(10): 1141-1144.
5. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Morphological features of the lateral plantar ligament of the transverse metatarsal arch. *Clinical Anatomy (JCR)*. 2020: 1-7.
6. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Kageyama I. Morphological characteristics of the plantar calcaneocuboid ligaments. *Journal of Foot and Ankle Research (JCR)*. 2020; 14(1): 3.
7. Inai T, Takabayashi T, Edama M, Kubo M. Algorithm to compute muscle excitation patterns that accurately track kinematics using a hybrid of numerical integration and optimization. *Journal of Biomechanics (JCR)*. 2020; 23(107): 109836.
8. Inai T, Takabayashi T, Watanabe S, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, Edama M. A new method for estimating three-dimensional movement of the patella using a surface mapping method and computed tomograph. *Heliyon (JCR)*. 2020; 6(8): e04729.
9. Kobayashi T, Takabayashi T, Kudo S, Edama M. The prevalence of chronic ankle instability and its relationship to foot arch characteristics in female collegiate athletes. *Physical Therapy in Sport (JCR)*. 2020; 46: 162-168.
10. Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Yoshida T, Kubo M. Copers adopt an altered movement

pattern compared to individuals with chronic ankle instability and control groups in unexpected single-leg landing and cutting task. *Journal of Electromyography and Kinesiology (JCR)*. 2021; 57: 102529.

11. Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Kubo M. Individuals with chronic ankle instability exhibit altered ankle kinematics and neuromuscular control compared to copers during inversion single-leg landing. *Physical Therapy in Sport (JCR)*. 2021; 49:77-82.
12. 渡部貴也, 高林知也, 久保雅義. 慢性足関節不安定症の有無が片脚着地からの切り返し動作時の足部機能に及ぼす影響. *バイオメカニクス学会誌 (協力学術研究団体)*. 2020; 44 (3) 171-178.
13. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. ランニング中に生じる足部内のバイオメカニクス. *日本基礎理学療法学会誌 (協力学術研究団体)*. 2020; 23 (1) : 25-30.

3 報告書

1. 高林知也. 若手, RigidとFlexibleな扁平足における足部内の動きと力学的負荷の解明, 研究実施状況報告書, 2020-2021, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 大森豪, 久保雅義. ランニング中のショパール関節およびリスフラン関節モーメントの定量化の試み. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (Web), 2020.11.14-11.30.
2. 高林知也, 江玉睦明. ランニング中に足部内で生じる力学的負荷の性差. 第45回日本足の外科学会学術集会 (Web), 2020.11.26-11.27.
3. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の下腿と後足部のcoordination variabilityに与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2020.12.13-12.14.
4. 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の後足部, 中足部, 前足部キネマティクスに与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2020.12.13-12.14.
5. 高林知也, 江玉睦明. 正常足と扁平足におけるランニング時の後足部と下腿間の運動連鎖の違い. 第12回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (Web), 2020.12.17-12.19.
6. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪. ランニング中に生じる足関節・ショパール関節・リスフラン関節モーメントの定量化. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (Web), 2020.11.7-11.30.
7. Tokunaga Y, Takabayashi T, Watabe T, Kubo M. The trunk flexed posture enhanced the capability generating fore-aft ground reaction force. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2020.12.13-12.14.
8. 渡部貴也, 高林知也, 徳永由太, 久保雅義. 慢性足関節不安定症群は非予測的な着地において足関節の安定性が低下する. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2020.12.13-12.14.
9. 徳永由太, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. ランニング動作中の股関節運動におけるハムストリングス機能の解明. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2020.10.31.
10. 渡部貴也, 高林知也, 徳永由太, 久保雅義. 非予測的なカッピング動作における慢性足関節不安定症群とcoper群の下肢キネマティクスと足部の筋活動の比較. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟市), 2020.10.31.
11. 徳永由太, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. 筋骨格モデル解析によるランバート・パラドックス現象の再考. 第41回SOBIMバイオメカニクス学会 (Web), 2020.12.5-12.6.
12. 渡部貴也, 高林知也, 徳永由太, 久保雅義. 片脚着地における慢性足関節不安定症者とcoperの足関節キネマティクスと足部の筋活動. 第41回SOBIMバイオメカニクス学会 (Web), 2020.12.5-12.6.
13. 江玉睦明, 高林知也. Lateral Lisfranc Ligamentの形態学的特徴. 第45回日本足の外科学会学術集会. 第45回日本足の外科学会学術集会 (Web), 2020.11.26-11.27.
14. 江玉睦明, 高林知也, 松澤寛大. ヒラメ筋の形態学的特徴. 第12回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科

学会 (Web), 2020.12.17-12.19.

15. 渡邊貴博, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. 慢性足関節不安定症群とcoper群におけるランニング時の後足部と前足部間の運動連鎖の違い. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2020.12.13-12.14.
16. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 変形性股関節症の進行を遅延させるためのバイオメカニクス研究. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2020.12.13-12.14.
17. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 歩幅とケイデンスが立脚期の股関節内・外転モーメントインパルスに与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (Web), 2020.12.13-12.14.
18. 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. T字杖の使用は立脚期の股関節屈曲・伸展モーメントインパルスに影響を与えるか?. 第9回日本支援工理学療法学会学術大会 (Web), 2020.11.7-11.8.
19. 工藤慎太郎, 小林匠, 高林知也, 江玉睦明. 超音波画像診断装置を用いた距骨下関節不安定性の評価方法の検討-徒手的な内反負荷の妥当性の検証-. 第45回日本足の外科学会学術集会 (Web), 2020.11.26-11.27.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 日本足の外科学会, 新潟スポーツ理学療法研究会, 全国大学理学療法教育学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. Medical Science Monitor, 査読
 2. Sports Biomechanics, 査読

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. セミナー, 足部の評価方法と足部内のバイオメカニクス, 講師, アルクラボ, 理学療法士, Web, 2020.8.2.
 2. 講習会, 拘縮を防ぐポジショニング, 講師, 二王子とっさか, 看護師・介護士, 胎内市, 2020.11.17.
 3. 講習会, シーティング, 講師, 二王子とっさか, 看護師・介護士, 胎内市, 2021.1.19.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本理学療法士協会・足部足関節理学療法ガイドラインチーム (班員), 全国大学理学療法教育学会 (選挙管理委員長), SHAINブランディング事業・人対象基礎研究チーム (班員)

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費若手, RigidとFlexibleな扁平足における足部内の動きと力学的負荷の解明, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究C, アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明~予防法の開発に向けて~, 研究分担者

8 学内委員会活動 図書館・学習支援センター運営委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 長坂 和明

- 1 研究題目 脳卒中後疼痛の発症や維持に関連する神経可塑性の研究, 体性感覚情報処理の脳内機構, 脳領域間情報伝達の光イメージング法に関する研究, 疼痛に関連する脳機能構造の研究
- 2 論文
 1. Nagasaka K, Nemoto K, Takashima I, Bando D, Matsuda K, Higo N. Structural plastic changes of cortical gray matter revealed by voxel-based morphometry and histological analysis in a monkey model of central post-stroke pain. Cerebral Cortex. (in press)
 2. Gotoh M, Nagasaka K, Nakata M, Takashima I, Yamamoto S. Brain temperature alters contributions of excitatory and inhibitory inputs to evoked field potentials in the rat frontal cortex. Frontiers in

Cellular Neuroscience. 2020; 14: 593027.

3. Dezawa S, Nagasaka K, Watanabe Y, Takashima I. Lesions of the nucleus basalis magnocellularis (Meynert) induce enhanced somatosensory responses and tactile hypersensitivity in rats. *Experimental Neurology*. 2021; 335(113493).
 4. Inukai Y, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H, Nagasaka K, Onishi H. The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: A randomized controlled trial. *Neuroscience Letters*. 2020; 729(11): 135009.
 5. Yokota H, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-specific effects of 10-Hz transcranial alternate current stimulation over the left posterior parietal cortex and primary somatosensory area on the tactile two-point discrimination threshold. *Frontiers in Neuroscience*. 2021; 13(2).
 6. Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, Saito K, Inukai Y, Shirozu H, Onishi H. The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. *European Journal of Neuroscience*. (in press)
 7. 太田隆之, 山本竜也, 藤井杏美, 本寺哲一, 迫力太郎, 長坂和明, 小笹佳史. 陳旧性右被殻出血を有する視床出血例における臨床所見と脳画像の継時的な評価. *Journal of Rehabilitation Neurosciences*. 2020; 2042-2048.
- 3 学会等研究発表
1. 渡邊拓, 小島翔, 長坂和明, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹. 大鶴直史, 大西秀明. 健常者の脳灰白質容積の変動性について. 第50回日本臨床神経生理学学会学術大会, 2020.11.26-11.28.
 2. Manh Van Pham, 宮口翔太, 渡邊拓, 長坂和明, 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 他動運動介入による皮質脊髄路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
 3. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 長坂和明, 宮口翔太, 横田裕丈, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
 4. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 五十嵐一希, 宮口翔太, 大西秀明. COMT遺伝子多型による痛みの注意と失感情の関連. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
 5. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋パルス電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
 6. 横田裕丈, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別閾値に及ぼす領域特異的効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
 7. 長坂和明, 小島翔, 大鶴直史, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 触覚刺激パターンの違いが脳領域間の機能的結合性に与える影響—MRIを用いたfunctional connectivityの評価—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12-12.18.
 8. 佐藤星, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 痛みへの選択的注意に関連する灰白質構造の特定—脳構造画像解析による検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
 9. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽聴取によって喚起される情動と灰白質容積との関連—脳構造画像解析を用いた検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
 10. 鈴木孝昇, 長坂和明, 渡邊拓, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 瞳孔径と一次運動野興奮性には関連があるか?. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
 11. 工藤綾乃, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 内側前頭前野の灰

白質容積はオフセット鎮痛の程度に関連するのか？ - Voxel based morphometryを用いた検証 - . 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.

12. Matsuda K, Nagasaka K, Kato J, Higo N. Structural plastic changes of gray matter by voxel-based morphometry and histological analysis of dendritic arborization after internal capsular infarcts in macaque monkeys. 第98回日本生理学会大会, 2021.3.28-3.30.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本生理学会, 日本神経科学学会, 日本疼痛学会, 日本理学療法士協会, 脳機能とリハビリテーション研究会 (理事)
- 2) 学術集会の主催
 1. 脳機能とリハビリテーション研究会, 第27回脳機能とリハビリテーション研究会学術集会, 学術大会企画副部長, 千葉市, 2020.4.1-2021.3.31.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第25回日本基礎理学療法学術大会, 演題査読, 仙台市, 2020.7.31-8.10.
 2. Journal of Rehabilitation Neurosciences誌, 編集委員

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 学びほぐしタイム, 実践脳研究, 講師, 長野県坂城町坂城中学校, 中学生・中学教員・一般参加者, 坂城中学校, 2020.11.25.

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費若手研究, 島皮質の活動をリモート制御する大脳皮質電気刺激法の確率, 研究代表者
- 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会奨励賞 (2021.2.25)

7 学内委員会活動 動物実験委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 萩原 康雄

- 1 研究題目 縄文時代人の生活様式に関する研究 (自然人類学), 出土人骨の古病理学的研究 (自然人類学)
- 2 論文
 1. Hagihara Y. Dorso-palmar elongation of the diaphysis of the third metacarpal bone in prehistoric Jomon people. Anatomical Scientific International. 2020 (in press)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本人類学会, 日本解剖学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. Anatomical scientific international, 査読
 2. Anatomical scientific international, 査読
- 4 社会活動
 - 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本人類学会 (広報幹事)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究. 再考: 海と山の縄文人 - 四肢骨骨幹部から縄文人の生活様式を復元する -, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会

氏名：平林 怜

1 研究題目 脊髄相反性抑制増強法の開発, 咬合が運動機能に及ぼす影響に関する研究

2 論文

1. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Enhancement of spinal reciprocal inhibition depends on the movement speed and range of repetitive passive movement. *European Journal of Neuroscience (JCR)*. 2020; 52(8): 3929-3943.
2. Hirabayashi R, Kojima S, Edama M, Onishi H. Activation of the Supplementary Motor Areas Enhances Spinal Reciprocal Inhibition in Healthy Individuals. *Brain Sciences (JCR)*. 2020 Aug 24;10(9):587.
3. 平林怜, 江玉睦明, 大西秀明. 脊髄相反性抑制に着目した力みのメカニズムの解明. *デサントスポーツ科学*. 2020; 41: 175-184.
4. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Inai T, Sekine C, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, kageyama I. Anatomical variations in the insertion of the peroneus longus tendon. *Surgical and Radiologic Anatomy (JCR)*. 2020; 42(10): 1141-1144.
5. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Morphological features of the lateral plantar ligament of the transverse metatarsal arch. *Clinical Anatomy (JCR)*. 2020 Sep 30.
6. Ikezu M, Edama M, Matsuzawa K, Kaneko F, Shimizu S, Hirabayashi R, Kageyama I. Morphological features of the ulnar collateral ligament of the elbow and common tendon of flexor-pronator muscles. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine (JCR)*. 2020 Sep 21;8(9):2325967120952415.
7. Kaneko F, Edama M, Ikezu M, Matsuzawa K, Hirabayashi R, Kageyama I. Anatomical characteristics of tissues attached to the fifth metatarsal bone. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine (JCR)*. 2020 Sep 21;8(9):2325967120947725.
8. Matsuzawa K, Edama M, Ikezu M, Kaneko F, Hirabayashi R, Kageyama I. The origin structure of each finger in the flexor digitorum superficialis muscle. *Surgical and Radiologic Anatomy (JCR)*. 2021 Jan;43(1):3-10.
9. Suzuki Y, Edama M, Kaneko F, Ikezu M, Matsuzawa K, Hirabayashi R, Kageyama I. Morphological characteristics of the Lisfranc ligament. *Journal of Foot and Ankle Research (JCR)*. 2020 Jul 16;13(1):46.
10. Maruyama S, Yamazaki T, Sato Y, Suzuki Y, Shimizu S, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, Hirabayashi R, Edama M. Relationship between anterior knee laxity and general joint laxity in the menstrual cycle. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine (JCR)*. 2021 Mar 29;9(3):2325967121993045.
11. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Kageyama I. Morphological characteristics of the plantar calcaneocuboid ligaments. *Journal of Foot and Ankle Research (JCR)*. 2021 Jan 7;14(1):3.
12. Ikezu M, Edama M, Inai T, Matsuzawa K, Kaneko F, Hirabayashi R, Kageyama I. The Effects of Differences in the Morphologies of the Ulnar Collateral Ligament and Common Tendon of the Flexor-Pronator Muscles on Elbow Valgus Braking Function: A Simulation Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health (JCR)*. 2021 Feb 18;18(4):1986.

3 報告書

1. 平林怜. 若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発, 研究成果報告書, 2020-2021, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 平林怜, 江玉睦明, 山田勇輝, 齊藤ありさ, 縄涼平, 大西秀明. 噛みしめは脊髄の介在ニューロンを変調

- させる。第75回日本体力医学会大会 (web), 2020.9.24-9.26.
2. 平林愴, 横田裕丈, 伊藤涉, 三瀬貴生, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 江玉睦明. 噛みしめが及ぼす脊髄機能と運動パフォーマンスへの効果. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2020.11.14-11.30.
 3. 平林愴. 脊髄相反性抑制増強の効果的な介入法. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (web), 2020.12.13-12.18. 【シンポジウム】
 4. 平林愴, 小島翔, 江玉睦明, 大西秀明. 補足運動野への脳刺激が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (web), 2020.12.13-12.18.
 5. 平林愴, 江玉睦明. 噛みしめが運動パフォーマンスに及ぼす影響: 脊髄機能との検証. 第31回日本スポーツ歯科医学会学術大会 (広島市), 2020.12.4-12.5.
 6. 縄涼平, 平林愴, 山田勇輝, 齊藤ありさ, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 前脛骨筋への異なる振動刺激が筋パフォーマンスに及ぼす即時効果の検討. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (web), 2020.12.13-12.18.
 7. 山田勇輝, 平林愴, 齊藤ありさ, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 異なる噛みしめ強度が足関節背屈パフォーマンスにおよぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (web), 2020.12.13-12.18.
 8. 齊藤ありさ, 平林愴, 山田勇輝, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 噛み締め強度の変化がIa相反抑制と脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (web), 2020.12.13-12.18.
 9. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2020.11.14-11.30.
 10. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林愴, 大森豪. 本学アスリートサポート研究センターにおける脳振盪予防プログラムの試み. アスレティックトレーニング学会 (web), 2020.12.
 11. 吉岡乾太, 松澤寛大, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 江玉睦明. 異なる負荷量の肘外反ストレスにおける肘外反不安定性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (web), 2020.12.13-12.18.
 12. 舎川真侑, 丸山紗永, 平田有彩, 横山瑞希, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 松澤寛大, 大槻智史, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性, 反張膝, 全身関節弛緩性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (web), 2020.12.13-12.18.
 13. 松澤寛大, 江玉睦明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 影山幾男. 肘尺側副靭帯の横走線維束と前部線維束の関係. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (web), 2020.12.13-12.18.
 14. 丸山紗永, 山崎朋美, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 松澤寛大, 大槻智史, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の関係. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2020.11.14-11.30.
 15. 松澤寛大, 江玉睦明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 浅指屈筋の各指の筋腹の形態学的特徴. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2020.11.14-11.30.
 16. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2020.11.14-11.30.
 17. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 伊藤涉, 平林愴, 濱野礼奈, 大森豪. 大学女子バレーボール選手の利用可能エネルギー. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (web), 2020.10.31-11.15.
 18. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 平林愴, 中村絵美, 三瀬貴生, 横田裕丈, 大森豪. 大学女子バレーボール選手のエネルギー摂取量と身体活動量に関する報告.

第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2020.11.14-11.30.

19. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学寮に住む大学生女子アスリートの栄養素等摂取量に関する報告. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2020.11.14-11.30.

20. 三瀬貴生, 熊崎昌, 平林愴, 江玉睦明, 伊藤渉, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 横田裕丈, 阿久澤弘, 金岡恒治. 水泳動作中の肩甲骨周囲筋活動にエクササイズ介入が与える即時効果. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会 (web), 2020.11.14-11.30.

5 学会活動

1) 所属学会 日本理学療法士協会, 日本基礎理学療法学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本整形外科スポーツ医学会, 日本体力医学会, 日本スポーツ歯科医学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. Experimental Brain Research, 査読 (EXBR-D-20-00002)
2. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読 (ijerph-1087278)
3. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読 (ijerph-1148272)
4. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読 (ijerph-1225053)

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本基礎理学療法学会, 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, シンポジウム講師, web, 2020.12.13-12.18.
2. 運動指導者講習会, 上肢の機能解剖と上肢のスポーツ障害に対するリハビリテーション, 講師, 三条市体育文化会館, 健康運動士・健康運動実践指導者, web, 2020.2.27.

2) 社会活動への参加協力

1. 北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市, 2020.9.19.
2. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 天皇杯新潟県予選, 新発田市, 2020.8.23.
3. 全日本大学サッカー連盟, メディカルサポート, 第69回全日本大学サッカー選手権大会, 東京, 2021.1.7.

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020-2021年度, 若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発 (研究代表者)

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 新潟医療福祉大学大学院 博士後期課程 学長賞, 2020.3.
2. 博士 (保健学) 2020.3.

3) 学内部活動の実績

1. 男子サッカー部, 第48回北信越大学サッカーリーグ1部, 優勝, 新潟市 (トレーナー)
2. 第69回全日本大学サッカー選手権大会, 出場, 2020.12.14. (トレーナー)
3. 新潟県サッカーリーグ1部, 優勝, 2020. (トレーナー)

8 学内委員会活動 アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト

氏名: 宮口 翔太

1 研究題目 運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明

2 論文

1. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of brain-derived neurotrophic factor genotype on short-latency afferent inhibition and motor cortex metabolites. Brain Science. Vol.11(3).2021.
2. Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, Saito K, Inukai Y, Shirozu H, Onishi H.

The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. *European Journal of Neuroscience*. 2021.

3. Manh V P, Miyaguchi S, Watanabe H, Saito K, Otsuru N, Onishi H. Effect of repetitive passive movement before motor skill training on corticospinal excitability and motor learning depend on BDNF polymorphisms. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2021.
 4. Yokota H, Otsuru N, Saito K, Kojima S, Miyaguchi S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-specific effects of 10-Hz transcranial alternate current stimulation over the left posterior parietal cortex and primary somatosensory area on the tactile two-point discrimination threshold. *Frontiers in Neuroscience*. 2020.
 5. Saito K, Otsuru N, Yokota H, Inukai Y, Miyaguchi S, Kojima S, Onishi H. α -tACS over the somatosensory cortex enhances tactile spatial discrimination in healthy subjects with low alpha activity. *Brain and Behavior*. 2020.
 6. Inukai Y, Miyaguchi S, Kobayashi N, Otsuru N, Onishi H. Noisy galvanic vestibular stimulation effect on center of pressure sway during one-legged standing. *Journal of Clinical Neuroscience*. Vol.82. 173-178.2020.
 7. Inukai Y, Miyaguchi S, Saito M, Otsuru N, Onishi H. Effects of different stimulation conditions on the stimulation effect of noisy galvanic vestibular stimulation. *Frontiers in Human Neuroscience*. Vol.393(1).2020.
 8. Miyaguchi S, Inukai Y, Takahashi R, Miyashita M, Matsumoto Y, Otsuru N, Onishi H. Effects of stimulating the supplementary motor area with a transcranial alternating current for bimanual movement performance. *Behavioural Brain Research*. Vol.393(1).2020.
 9. Hirabayashi R, Edama M, Kojima S, Miyaguchi S, Onishi H. Enhancement of spinal reciprocal inhibition depends on the motion speed and range of repetitive passive movement. *European Journal of Neuroscience*. Vol.52(8). 3929-3943.2020.
 10. Inukai Y, Otsuru N, Saito S, Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H, Nagasaka K, Onishi H. The After-Effect of Noisy Galvanic Vestibular Stimulation on Postural Control in Young People: A Randomized Controlled Trial. *Neuroscience Letters*. 729.2020.
 11. 宮口翔太. 経頭蓋交流電流刺激が運動パフォーマンスに与える効果. *日本基礎理学療法学会雑誌*. 23巻1号. P.8-17. 2021.
 12. Miyaguchi S, Inukai Y, Matsumoto Y, Miyashita M, Takahashi R, Otsuru N, Onishi H. Effects on motor learning of transcranial alternating current stimulation applied over the primary motor cortex and cerebellar hemisphere. *Journal of Clinical Neuroscience*. Vol.78. 296-300.2020.
- 3 学会等研究発表
1. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 長坂和明, 宮口翔太, 横田裕丈, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響. *日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会* (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 2. 大橋佑介, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 座位姿勢における前庭交流電流刺激が立位重心動揺に与える影響. *日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会* (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 3. 富樫亮弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. BDNF遺伝子多型がバランス機能の運動学習に与える影響. *日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会* (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 4. 伊藤祐輝, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 運動練習前後の睡眠が運動スキルの転移および保持に与える影響. *日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会* (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 5. 橋本慈樹, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. バスケットボールシュートスキル学習と練習前後の睡眠の関

- 係. 日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
6. Manh Van Pham, 宮口翔太, 渡邊拓, 長坂和明, 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 他動運動介入による皮質脊髄路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響. 日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 7. 横田裕丈, 大鶴直史, 齊藤慧, 小島翔, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 江玉睦明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別覚閾値に及ぼす領域特異的効果. 日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 8. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 五十嵐一希, 宮口翔太, 大西秀明. COMT遺伝子多型による痛みの注意と失感情の関連. 日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 9. 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋パルス電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 10. 犬飼康人, 斎藤美樹, 宮口翔太, 大西秀明. 異なる条件下での前庭ノイズ電流刺激が刺激後の立位重心動揺に与える影響. 日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
 11. 宮口翔太, 犬飼康人, 高橋諒, 大鶴直史, 大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 日本基礎理学療法学会・第25回日本基礎理学療法学会学術大会 (宮城県・日本), 2020.11.31-12.1.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士学会, 日本基礎理学療法士学会, 日本臨床神経生理学会, 日本股関節学会, 日本理学療法教育学会
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県理学療法士会, 新人研修会下越ブロック, 講師, 新潟市, 2020.7.5.
 2. 新潟県理学療法士会, 新人研修会下越ブロック, 講師, 新潟市, 2020.11.15.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県理学療法士会・県士会会議, 活動計画の検討, 学術委員, 新潟市・県士会事務局, 2020.3.19.
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県理学療法士会 (学術部員), 日本理学療法士協会 認定・専門理学療法士制度委員会 (班員)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科学研究費補助金若手研究, 運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明, 研究代表者
 2. 2019年度, 科学研究費補助金基盤研究 (A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
 3. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 研究分担者
- 7 学内委員会活動 教育開発委員会, 運動機能医科学研究所, SHAINプロジェクト (基礎的研究メンバー)

氏名: 横田 裕丈

- 1 研究題目 経頭蓋交流電流刺激を用いた効果的な知覚機能向上プログラムの考案, 経皮的迷走神経刺激が自律神経活動に及ぼす影響の解明
- 2 論文
 1. Yokota H, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-

specific effects of 10-Hz transcranial alternate current stimulation over the left posterior parietal cortex and primary somatosensory area on the tactile two-point discrimination threshold. *Frontiers in Neuroscience*. 2021; 13:1-8.

2. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Inai T, Sekine C, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Anatomical variations in the insertion of the peroneus longus tendon. *Surgical and Radiologic Anatomy*. 2020;42 (10): 1141-1144.
3. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Morphological features of the lateral plantar ligament of the transverse metatarsal arch. *Clinical Anatomy*. 2020.
4. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Sekine C, Inai T, Kageyama I. Morphological characteristics of the plantar calcaneocuboid ligaments. *Journal of Foot and Ankle Research*. 2020.14 (1) 1-3.
5. Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Yamashiro K, Sato D, Yokota H, Saito K, Inukai Y, Onishi H. Timing of Modulation of Corticospinal Excitability by Heartbeat Differs with Interoceptive Accuracy. *Neuroscience*. 2020; 443 (1) :156-162.
6. Inukai Y, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H, Nagasaka K, Onishi H. The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: A randomized controlled trial. *Neuroscience Lett*. 2020; 729 (11): 135009.
7. Saito K, Otsuru N, Yokota H, Inukai Y, Miyaguchi S, Kojima S, Onishi H. α -tACS over the somatosensory cortex enhances tactile spatial discrimination in healthy subjects with low alpha activity. *Brain and Behavior*: 2021; 11(3).
8. Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, Saito K, Inukai Y, Shirozu H, Onishi H. The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. *Eur J. Neurosci*. 2021;53(10):3433-3446.

3 報告書

1. 横田裕丈. 奨励研究費A, 経皮的迷走神経刺激 (tVNS) が痛覚知覚時の脳活動に及ぼす影響の解明, 研究奨励金実績報告書, 2020-2021, 研究代表者
2. 横田裕丈. 科研費, 若手研究, 脳律動の個人特性に合わせた皮質活動の変調が二点識別覚へ及ぼす影響の解明, 2020-2021, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 横田裕丈, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別覚閾値に及ぼす領域特異的效果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
2. 縄涼平, 平林怜, 山田勇輝, 齊藤ありさ, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 前脛骨筋への異なる振動刺激が筋パフォーマンスに及ぼす即時効果の検討. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
3. 山田勇輝, 平林怜, 齊藤ありさ, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 異なる噛みしめ強度が足関節背屈パフォーマンスにおよぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
4. 齊藤ありさ, 平林怜, 山田勇輝, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 噛み締め強度の変化がIa相反抑制と脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
5. 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 五十嵐一希, 宮口翔太, 大西秀明. COMT遺伝子多型による痛みの注意と失感情の関連. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
6. 佐藤壘, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 痛みへの選択的注意に関連する灰白質構造の特定—脳構造画像解析による検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会

(仙台), 2020.12.13-12.18.

7. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕文, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽聴取によって喚起される情動と灰白質容積との関連—脳構造画像解析を用いた検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
8. 鈴木孝昇, 長坂和明, 渡邊拓, 大鶴直史, 横田裕文, 大西秀明. 瞳孔径と一次運動野興奮性には関連があるか? 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
9. 工藤綾乃, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕文, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 内側前頭前野の灰白質容積はオフセット鎮痛の程度に関連するののか? - Voxel based morphometryを用いた検証-. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
10. 吉岡乾太, 松澤寛大, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕文, 平林怜, 関根千恵, 江玉陸明. 異なる負荷量の肘外反ストレスにおける肘外反不安定性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
11. 舎川真侑, 丸山紗永, 平田有彩, 横山瑞希, 横田裕文, 平林怜, 関根千恵, 松澤寛大, 大槻智史, 江玉陸明. 月経周期における膝前方弛緩性, 反張膝, 全身関節弛緩性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
12. 松澤寛大, 江玉陸明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕文, 平林怜, 関根千恵, 影山幾男. 肘尺側副靭帯の横走線維束と前部線維束の関係. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
13. Manh Van Pham, 宮口翔太, 渡邊拓, 長坂和明, 横田裕文, 小島翔, 齊藤慧, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 他動運動介入による皮質脊髓路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
14. 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 長坂和明, 宮口翔太, 横田裕文, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会 (仙台), 2020.12.13-12.18.
15. 平林怜, 横田裕文, 伊藤渉, 三瀬貴生, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 江玉陸明. 噛みしめが及ぼす脊髄機能と運動パフォーマンスへの効果. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会. 2020.11.14-11.30.
16. 江玉陸明, 稲葉洋美, 星野美美, 平林怜, 横田裕文, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会. 2020.11.14-11.30.
17. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉陸明, 菊元孝則, 伊藤渉, 横田裕文, 平林怜, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会. 2020.11.14-11.30.
18. 丸山紗永, 山崎朋美, 平林怜, 横田裕文, 関根千恵, 松澤寛大, 大槻智史, 大森豪, 江玉陸明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の関係. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会. 2020.11.14-11.30.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本理学療法士協会, 新潟県理学療法士会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床神経生理学学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. FuncPhysio講習会, 第1回Healthy mommy room, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom開催, 2020.6.26.
2. FuncPhysio講習会, 第2回Healthy mommy room, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom開催, 2020.7.24.
3. FuncPhysio講習会, 第3回Healthy mommy room, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom開催, 2020.8.23.

4. FuncPhysio 講習会, 第 4 回 Healthy mommy room, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom 開催, 2020.9.27.
 5. FuncPhysio 講習会, 第 5 回 Healthy mommy room, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom 開催, 2020.10.25.
 6. FuncPhysio 講習会, 第 1 回内蔵モビライゼーション, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom 開催, 2020.6.19.
 7. FuncPhysio 講習会, 第 2 回内蔵モビライゼーション, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom 開催, 2020.7.25.
 8. FuncPhysio 講習会, 第 3 回内蔵モビライゼーション, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom 開催, 2020.9.13.
 9. FuncPhysio 講習会, 第 4 回内蔵モビライゼーション, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom 開催, 2020.10.11.
 10. FuncPhysio 講習会, 第 5 回内蔵モビライゼーション, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom 開催, 2020.11.22.
 11. FuncPhysio 講習会, 第 6 回内蔵モビライゼーション, 運営補助, FuncPhysio (NY), Zoom 開催, 2021.2.21.
- 2) 職能団体（協会、士会等）の委員
NPO 法人 IPA JAPAN, 副代表
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020. 若手研究. 個人の脳律動特性に合わせた経頭蓋交流電流刺激が二点識別閾値に及ぼす影響の解明, 研究代表者.
 2. 2019. 基盤研究 (A) 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出ー, 研究分担者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
 1. 保健学修士・2021.3.15.
 - 3) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部, アスリートサポート, 2020.4-2021.3.
 2. 陸上競技部, 天皇賜盃第 89 回日本学生陸上競技対校選手権大会, 新潟, メディカルトレーナー, 2020.9.17-9.19.
 - 4) 学外兼務講師等
 1. 社会福祉法人 二王子会 特別養護老人ホーム つきおかの里, 理学療法士, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. ICM 国際メディカル 国際メディカル専門学校, 運動学, 2020.12.22-2021.2.16.
- 8 学内委員会活動 国際交流委員会, 運動機能医科学研究所, SHAIN プロジェクト

(2) 作業療法学科

氏名：大山 峰生

- 1 研究題目 手外科のリハビリテーションに関する研究と開発（手外科学），手および手指筋群の機能解析（運動学）
- 2 著書
 1. 大山峰生, 佐藤彰博. ハンドセラピー概論. 認定ハンドセラピスト養成カリキュラム 基礎研修入門セミナーテキスト. 第4版. 大阪：日本ハンドセラピー学会；2020：1-18.
 2. 大山峰生, 佐藤彰博. 手関節・手の機能解剖概説. 認定ハンドセラピスト養成カリキュラム 基礎研修入門セミナーテキスト. 第4版. 大阪：日本ハンドセラピー学会；2020：33-49.
- 3 論文
 1. Matsuzawa S, Oyama M, Odagiri M, Koizumi H, Nakamura Y, Tazawa A, Ikeno E, Fujime C. Extension Function of Proximal Interphalangeal Joint of Middle Finger exerted by 2nd and 3rd Dorsal Interosseous Muscles. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20: 1-11.
- 4 学会等研究発表
 1. 野中信宏, 大山峰生, 田崎和幸, 宮崎洋一, 貝田英二. 重度手根管症候群例に対する母指対立再建術後の運動再学習. 第63回日本手外科学会学術集会（新潟市），2020.6.25-8.17.
 2. 野中信宏, 大山峰生, 岡野昭夫, 藤目智博, 小田桐正博, 松澤翔太, 小泉裕昭, 塩田紀之, 田澤葵, 池野瑛吾. FDSを用いる筋腱移行術後の運動再学習法の検討. 第63回日本手外科学会学術集会（新潟市），2020.6.25-8.17.
 3. 大山峰生. 日本ハンドセラピー学会の将来展望. 第32回日本ハンドセラピー学会学術集会（新潟市），2020.6.28-8.10.
 4. 塩田紀之, 森谷浩治, 松澤翔太, 大山峰生, 坪川直人. 長母指伸筋腱断裂に対する固有示指伸筋腱移行術後の早期運動療法の検討. 第32回日本ハンドセラピー学会学術集会（新潟市），2020.6.28-8.10.
 5. Fujime C, Otaki N, Oyama M. Strength Training for the Infraspinatus by the Shoulder Adduction. 23th International Society of Electrophysiology and Kinesiology Congress. (Nagoya), 2020.7.12-7.14.
 6. Oyama M, Koizumi H, Odagiri M, Matsuzawa S, Nakamura Y, Fujime C. The Supinator and Pronator Muscles Activities at Grounding with the Hand in the Falling Down. 23th International Society of Electrophysiology and Kinesiology Congress. (Nagoya), 2020.7.12-7.14.
 7. 小泉裕昭, 大山峰生, 小田桐正博, 田澤葵, 池野英吾. 円回内筋の機能特性－予備的研究－. 第54回日本作業療法学会（新潟市），2020.9.25-10.25.
 8. 池野瑛吾, 大山峰生, 小泉裕昭, 田澤葵, 小田桐正博, 松澤翔太. 転倒模倣課題による手掌接地時の尺側手根屈筋・橈側手根屈筋の活動特性について. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2020.10.31-11.15.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ハンドセラピー学会（理事長）（将来計画委員会委員長），日本手外科学会，日本肘関節学会，日本体力医学会，日本生体磁気学会，日本臨床神経生理学学会，日本作業療法士協会，日本保健医療福祉連携教育学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第20回新潟医療福祉学会学術集会，大会長，新潟市，2020.10.31-11.15.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本ハンドセラピー学会，機関誌査読委員
 2. 日本ハンドセラピー学会，学会査読委員
 3. 日本作業療法士学会，学会査読委員
 4. 第20回新潟医療福祉学会学術集会，特別講演座長，新潟市，2020.10.31.
- 6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第54回日本作業療法学会，教育講演Ⅲ，上肢の筋活動と臨床応用の可能性，新潟市，2020.9.25-10.25.
 2. 第8回中部日本ハンドセラピー研究会，教育講演，上肢筋の活動特性と筋再教育の可能性，名古屋市，2021.1.30.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 2020年度新潟医療福祉大学作業療法学科主催セミナー，講演座長，新潟市，2021.2.19.
 2. 日本ハンドセラピー学会，触診セミナー，講師指導，愛知県，2020.7.21.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本ハンドセラピー学会（認定資格審査委員長）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学作業療法学専攻，運動器疾患作業療法，2019.4.6.
 2. 新潟リハビリテーション大学作業療法学専攻，運動学実習，2019.6.1.
- 8 学内委員会活動 総務会，外部評価準備委員会（委員長），危機管理委員会，将来計画機構，自己点検・評価委員会，教員選考委員会

氏名：今西 里佳

- 1 研究題目 要介護高齢者の排尿実態研究（泌尿器科学），要介護高齢者の蓄尿障害に対する下部尿路リハビリテーション効果検証研究（泌尿器科学，リハビリテーション科学）
- 2 学会等研究発表
 1. 今西里佳，松本香好美，山田里沙，中村真悠，長谷川春香，横山つかさ，中川晴夫. 女性地域在住高齢者の過活動膀胱と転倒ヒヤリ・ハット経験の実態. 第33回日本老年泌尿器科学会，2020.9.11-9.12.
 2. 今西里佳，外里富佐江，森直樹，松本香好美. 回復期リハビリテーション病棟における尿失禁を有する脳血管障害患者に対する排泄リハビリテーションの実践～PTとOTの比較～. 第54回日本作業療法学会，2020.9.25-10.25（WEB）.
 3. 今西里佳，外里富佐江，大山峰生. 養成校における排泄リハビリテーション教育の実状. 第20回新潟医療福祉学会. WEB開催.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本老年泌尿器科学会（理事），日本老年泌尿器科学会（評議員），新潟医療福祉学会，International Continence Society，日本排尿機能学会，日本睡眠学会，日本作業療法士協会，日本呼吸ケア・リハビリテーション学会，日本転倒予防学会，日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会，日本心臓リハビリテーション学会，日本公衆衛生学会，日本サルコペニア・フレイル学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第54回日本作業療法学会演題査読，演題査読委員
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 第2回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路症状評価法，講師，日本コンチネンス協会，OT・PT，WEB，2020.10.24.
 2. 第2回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，下部尿路リハビリテーション，講師，日本コンチネンス協会，OT・PT，WEB，2020.10.24.
 3. 第2回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，排泄環境整備・排泄動作訓練，講師，日本コンチネンス協会，OT・PT，WEB，2020.10.25.
 4. 第2回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー，事例演習，講師，日本コンチネンス協会，OT・PT，WEB，2020.10.25.

5. 第3回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー, 下部尿路症状評価法, 講師, 日本コンチネンス協会, OT・PT, WEB, 2021.2.20.
 6. 第3回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー, 下部尿路リハビリテーション, 講師, 日本コンチネンス協会, OT・PT, WEB, 2021.2.20.
 7. 第3回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー, 排泄環境整備・排泄動作訓練, 講師, 日本コンチネンス協会, OT・PT, WEB, 2021.2.21.
 8. 第3回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー, 事例演習, 講師, 日本コンチネンス協会, OT・PT, WEB, 2021.2.21.
 9. 新潟県阿賀野川流域健康教室受託事業健康教室, 元気に暮らすために～神経症状を有する方が日常生活で取り組めること～, 講師, 地域在住高齢者, 阿賀町, 2021.3.7.
- 2) 社会活動への参加協力
1. 日本コンチネンス協会, 協会運営, 理事, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 日本老年泌尿器科学会, 学会運営・研究助成審査, 理事, 2020.9.10.
 3. 日本コンチネンス協会第2回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー, 開催運営, 実行委員長, オンライン, 2020.10.24-10.25.
 4. 日本医学会連合 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ・日本老年泌尿器科学会WG会議, WGメンバー, 2020.12.15, 2021.1.25, 2.12.
 5. 日本コンチネンス協会第3回セラピストのための排泄リハビリテーションWEBセミナー, 開催運営, 実行委員長, オンライン, 2021.2.20-2.21.
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 日本コンチネンス協会(理事), 日本コンチネンス協会(教育委員), 日本コンチネンス協会(排泄リハビリテーションセミナー実行委員長), 宮城排尿障害研究会(世話人)
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 平成29年度, 科研費基盤(C), 要介護者の排泄改善に向けた科学的ケア・リハビリテーションプログラムの効果検証, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 群馬大学医学部保健学科(基礎作業療法学), 2020.10-2021.3.
 2. 長野保健医療大学保健科学部作業療法学専攻(作業療法治療学Ⅱ・演習), 2020.11.5.
 3. 長野保健医療大学保健科学部作業療法学専攻(作業療法評価学総論), 2021.11.14.
- 6 学内委員会活動 入試委員会, 国際交流センター運営委員会, 人権委員会調査委員

氏名：能登 真一

- 1 研究題目 健康関連QOL(効用値)の評価方法についての研究, 高次脳機能障害についての研究, 作業療法のアウトカム研究
- 2 著書
 1. 能登真一; 今村徹, 能登真一共編. 評価・治療. 認知症リハビリテーションハンドブック. 東京: 医学書院; 2020: 30-72.
 2. 能登真一; 斉藤秀之, 能登真一共編. 社会保障制度. リハビリテーション管理学. 東京: 医学書院; 2020: 6-27.
 3. 能登真一; 大森みかよ, 能登真一共編. 認知症. OT臨床ハンドブック 第2版. 東京: 三輪書店; 2021: 466-483.
- 3 論文
 1. Noto S, Shiroiwa T, Kobayashi M, Murata T, Ikeda S, Fukuda T. Development of a multiplicative, multi-attribute utility function and eight single-attribute utility functions for the Health Utilities

Index Mark 3 in Japan. J Patient Rep Outcomes. 2020;4:23.

2. Noto S, Takahashi O, Kimura T, Moriwaki K, Masuda K. The relationship between preference-based health-related quality of life and lifestyle behavior: a cross-sectional study on a community sample of adults who had undergone a health check-up. Health Qual Life Outcomes. 2020;18:267.
 3. Hagiwara Y, Shirowa T, Taira N, Kawahara T, Konomura K, Noto S, Fukuda T, Shimozuma K. Mapping EORTC QLQ-C30 and FACT-G onto EQ-5D-5L index for patients with cancer. Health Qual Life Outcomes. 2020 ;18:354.
 4. Tran HTT, Saito S, Noto S, Suzuki K. Quality of Life and Eligibility for Specific Financial Assistance for Medical Expenses: A Cross-Sectional Web-Based Survey among Patients with Inflammatory Bowel Disease in Japan. Gastrointest. Disord. 2020, 2, 12.
 5. Saito S, Tran HTT, Qi R, Suzuki K, Takiguchi T, Ishigami K, Noto S, Ohde S, Takahashi O. Psychological impact of the state of emergency over COVID-19 for non-permanent workers: a Nationwide follow-up study in Japan. BMC Public Health. 2021;21:334.
 6. Shirowa T, Ikeda S, Noto S, Fukuda T, Stolk E. Valuation Survey of EQ-5D-Y Based on the International Common Protocol: Development of a Value Set in Japan. Med Decis Making. 2021: 272989X211001859.
 7. Sumiyoshi T, Watanabe K, Noto S, Sakamoto S, Moriguchi Y, Hammer-Helmich L, Fernandez J. Relationship of Subjective Cognitive Impairment with Psychosocial Function and Relapse of Depressive Symptoms in Patients with Major Depressive Disorder: Analysis of Longitudinal Data from PERFORM-J. Neuropsychiatr Dis Treat. 2021;17:945-955.
 8. Ishihara K, Izawa KP, Noto S, Shimizu I. Physical and Mental Functions of Cardiovascular Disease Patients Decrease during the State of Emergency Initiated by the COVID-19 Pandemic in Japan. Rev Recent Clin Trials. 2021 (In Press)
 9. 泉良太, 能登真一, 佐野哲也, 鈴木達也. 回復期リハビリテーション病棟における健康関連QOLの変化と代理人回答の一致度について—脳卒中患者へのEQ-5D-5Lによる評価—. 日本臨床作業療法研究. 2021; 8: 31-36.
- 4 報告書
1. 能登真一. 科研費基盤研究 (B), 基準的賭け法を用いたQOL値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究
 2. 能登真一. 厚生労働科研費, 厚生労働科学特別研究事業 (政策科学総合研究事業), 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における公的分析と公的意思決定方法に関する研究, 研究分担者
- 5 学会等研究発表
1. Noto S, Shirowa T, Kobayashi M, Murata T, Izumi R, Fukuda T. Construct validity of a new Japanese multiplicative, multi-attribute utility function and eight single-attribute utility functions for the Health Utilities Index Mark 3. ISOQOL 27th Annual Conference (Virtual Event), 19-23 October 2020.
 2. 能登真一, 泉良太, 岩波潤. 日本作業療法学会における一般演題の演題区分ごとの分布. 第54回日本作業療法学会 (バーチャル), 2020.9.25-10.25.
 3. 斎藤剛史, 堂前伸, 吉村翔, 堀田拓, 能登真一. 急性期病院における患者と療法士のQOL評価の違い. 第54回日本作業療法学会 (バーチャル), 2020.9.25-10.25.
 4. 山倉宏美, 橋本由美, 笠井明美, 能登真一. 通所リハビリテーションにおける主体的な目標を引き出すための取り組み. 第54回日本作業療法学会 (バーチャル), 2020.9.25-10.25.
 5. 渡邊貴博, 能登真一, 五十嵐文枝, 棗田学, 木村慎二. リハビリテーション介入による脳腫瘍患者の健康関連QOLとADLへの効果. 第54回日本作業療法学会 (バーチャル), 2020.9.25-10.25.
 6. 泉良太, 佐野哲也, 能登真一. 回復期脳卒中患者における健康関連QOLとADL自立度との関係性について. 第54回日本作業療法学会 (バーチャル), 2020.9.25-10.25.

7. 能登真一. 効用値尺度である Health Utilities Index Mark3 (HUI3) のカナダと日本におけるスコアリングファンクションの比較. 新潟医療福祉学会誌. 2020 ; 20 : 38.

6 学会活動

- 1) 所属学会 日本作業療法士協会 (学会運営委員長), 国際医薬経済・アウトカム研究学会日本部会 (理事), 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 医療経済学会, 日本公衆衛生学会, 作業療法教育研究会, 医療経済研究機構, 新潟県作業療法士会, 日本衛生学会, 日本医療情報学会, 新潟神経心理懇話会 (世話人), 高次神経障害作業療法研究会, International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research (Reviewer), 新潟医療福祉学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, International Society for Quality of Life Research, 日本生命倫理学会, 日本医療・病院管理学会, 日本バスケットボール学会, QOL-PRO 研究会 (理事), 日本脊髄障害医学会, 日本リハビリテーション医学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本作業療法士協会, 第54回日本作業療法学会, 運営委員長, バーチャル, 2019.9.25-10.25.
 2. 新潟医療福祉学会, 第20回学術集会, 実行委員長, バーチャル, 2020.10.31.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本作業療法士協会, 学術誌編集委員
 2. Asian Journal of Occupational Therapy, Reviewer
 3. International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research, Reviewer
 4. Journal of Alzheimer's Disease, Reviewer

7 社会活動

- 1) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
厚生労働省・企画提案書審査委員会 (委員)
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本作業療法士協会 (学会運営委員長, 学術誌編集委員), 国際医薬経済・アウトカム研究学会日本部会 (理事), 新潟神経心理懇話会 (世話人), QOL-PRO 研究会 (理事)

8 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費基盤研究 (B), 基準的賭け法を用いた QOL 値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究, 研究代表者
 2. 2020年度, 科研費基盤研究 (A), レセプトデータを基軸としたデータ駆動型臨床疫学研究の基盤開発, 研究分担者
 3. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり, 研究分担者
 4. 2020年度, 厚生労働科研費, 厚生労働科学特別研究事業 (政策科学総合研究事業), 医薬品・医療機器等の費用対効果評価における公的分析と公的意思決定方法に関する研究, 研究分担者
 5. 2020年度, 株式会社みずほ情報総研受託研究, 声による認知機能の変化をモニタリングするシステムの実用化に向けた実証実験, 研究代表者
 6. 2020年度, クレコンメディカルアセスメント株式会社研究寄付金, 研究代表者

- 9 学内委員会活動 教育開発委員会 (委員長), 医療経済・QOL 研究センター (センター長)

氏名 : 能村 友紀

- 1 研究題目 非侵襲的脳刺激が認知機能に及ぼす影響
- 2 論文

1. 浅尾章彦, 遠藤勇久, 能村友紀: 新潟県内の介護老人保健施設における入所サービス利用者に対するアクティビティを用いたケアの実施状況と作業療法士の関与. 新潟県作業療法士会学術誌. 2021 ; 15 : 11-16.

2. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉, 小林良作. 介護予防における大学との連携事業, 2020年度報告書, 2021.3.31. (研究分担者)
- 3 報告書
 1. 能村友紀. 研究基盤C, 記憶を強化する新たな脳刺激法の開発: 脳律動変調により認知症予備軍の進行を予防する, 研究成果報告書, 2017-2020, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 能村友紀, 浅尾章彦: 記憶パフォーマンスの個人差が経頭蓋交流電流刺激によるエピソード記憶保持に及ぼす影響. 第54回日本作業療法学会 (Online), 2020.9.25-10.25.
 2. 浅尾章彦, 伊藤真央, 能村友紀, 澁谷顕一: スプリント素材を介した反復末梢性磁気刺激が皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響. 第54回日本作業療法学会 (Online), 2020.9.25-10.25.
 3. 安中裕紀, 能村友紀, 森山寛史: 慢性呼吸器疾患患者における在宅酸素療法の自己管理能力調査票の妥当性と信頼性の検証. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (Online), 2020.10.30-11.15.
 4. 安中裕紀, 能村友紀, 長谷川雄司, 森山寛史, 大平徹郎: 慢性呼吸器疾患患者における在宅酸素療法の自己管理能力調査票の検討. 第30回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (京都市, Online), 2021.3.19-3.20.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 新潟県作業療法士会, 日本作業療法士協会, 日本認知症予防学会, 日本神経生理学会, 日本公衆衛生学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 第20回学術集会, 実行委員, Online, 2020.10.30-11.15.
 2. 第17回新潟県作業療法学会, 大会長, 2020.4.1-2021.3.31.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会, 第20回学術集会シンポジウム, 座長, Online, 2020.10.30-11.15.
 2. 新潟医療福祉学会誌, 査読
 3. Journal of Psychiatric Research, 査読
 4. 新潟県作業療法士会学術誌, 査読
 5. 新潟県作業療法士会学術誌, 編集委員
 6. 第54回日本作業療法学会, 演題審査
 7. 第16回新潟県作業療法学会, 演題審査
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. そのき市民学級, 認知症を楽しく予防しましょう, 講師, 新潟市曾野木地区公民館, 2020.12.2.
 2. 現職者選択研修会, 老年期の基礎知識, 講師, 新潟県作業療法士会会員, Online, 2021.2.7.
 3. 臨床実習指導者講習会, 理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度論, 講師, 新潟県作業療法士会会員, Online, 2020.12.26.
 4. 臨床実習指導者講習会, 演習, ファシリテーター, 新潟県作業療法士会会員, Online, 2020.12.27.
 5. 臨床実習指導者講習会, 理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度論, 講師, 新潟県作業療法士会会員, Online, 2021.2.13.
 6. 臨床実習指導者講習会, 演習, ファシリテーター, 新潟県作業療法士会会員, Online, 2021.2.14.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 公益社団法人新潟県作業療法士会 (業務執行理事), 公益社団法人新潟県作業療法士会学術誌編集委員会委員, 公益社団法人新潟県作業療法士会学会運営委員会委員
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費, 研究基盤C, 非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制

プログラムの開発, 研究代表者

8 学内委員会活動 大学院教務委員会(委員長), 入試委員会, 運動機能医科学研究所

氏名: 天野 暁

報告事項なし

氏名: 外川 佑

- 1 研究題目 脳損傷者の自動車運転再開可否判断の基準構築に関する研究, 脳損傷者の運転再開支援に関する研究, 運転再開者の運転状況に関する調査研究, 高齢運転者のメタ認知に関する研究, 運転シミュレータ訓練の有効性に関する研究
- 2 著書
 1. デイビット・W・エビー, リサ・J・モルナー著, 堀川悦男・峯とも子編訳, 河野直子, 飯盛裕子, 岩本邦弘, 野尻紘聖, 佐藤鮎美, 堀江淳, 木口量夫, 清田勝, 外川佑, 鍋田紘美. 第12章 運転からの引退高齢者のモビリティ 運転可否から移動支援まで. 京都大学出版. 2020:195-207.
- 3 報告書
 1. 外川佑, 若手研究, 眼球運動計測をリンクさせた軽度半側空間無視症例の自動車運転訓練シミュレータ開発, 研究成果報告書, 2018-2020(研究代表者)
- 4 学会等研究発表
 1. 【ポスター発表】外川佑, 村山拓也, 山崎佳与, 崎村陽子, 岩城直幸:教習所と連携した評価・支援により, 運転再開へと至ったセカンドオピニオンの症例. 第54回日本作業療法学会(新潟). 2020.9.25-10.25.
 2. 【シンポジウム】企画セミナー04 山田恭平, 外川佑:運転と作業療法特設委員会/運転と作業療法研究会 運転と作業療法特設委員会/運転と作業療法研究会 作業療法士による自動車運転リハビリテーション~評価・訓練の最新知見~. 2020.9.25-10.25.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本作業療法学会, 新潟県作業療法士会, 障害と自動車運転に関する研究会(世話人), 日本神経心理学会, 自動車技術会, 交通心理学会, 高次脳機能障害学会, 日本安全運転・医療研究会(世話人)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 第15回障害と自動車運転に関する研究会Webセミナー 新潟, 2020.10.24 運営スタッフ
 2. 運転と作業療法研究会Webセミナー 2020.3.6 運営スタッフ
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本作業療法学会演題審査委員
 2. 運転と作業療法研究会 学術部 委員長
 3. 障害と自動車運転に関する研究会世話人
 4. 運転と作業療法研究会 世話人
 5. 新潟県作業療法士会 学術誌査読委員
 6. 日本安全運転医療研究会 世話人
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 山形県作業療法士会学術研修部 身体障害領域委員会研修会 「自動車運転支援について」講師, 作業療法士, 山形県 Zoom 2021.1.21.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県作業療法士会 移動支援対策委員会(委員長)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 第28回総合リハビリテーション賞 (2020.9.1)

氏名：浅尾 章彦

1 研究題目 磁気刺激を用いた神経リハビリテーションの開発, 基礎作業学

2 著書

1. 浅尾章彦, 森下和美, 野上雅史, 浅尾千紘;山本伸一編. ポジショニング車いす. 脳卒中×臨床OT:「今」, リハ効果を引き出す具体的実践ポイント. 1版. 東京:株式会社シービーアール;2020:277-283.

3 論文

1. Asao A, Hoshino Y, Nomura T, Shibuya K. Effect of repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery on corticospinal excitability of antagonist muscle. NeuroReport (JCR). 2021; (in press).
2. 野上雅史, 浅尾章彦, 山本伸一. 脳血管障害に対する上肢機能アプローチ—重度運動麻痺患者に対する上肢機能の活動・生活場面への展開. 作業療法ジャーナル. 2021; 55(4): 337-341.
3. 浅尾章彦, 遠藤勇久, 能村友紀. 新潟県内の介護老人保健施設における入所サービス利用者に対するアクティビティを用いたケアの実施状況と作業療法士の関与. 新潟県作業療法士会学術誌. 2021; 15(1), 11-16.
4. Abe G, Oyama H, Liao Z, Honda K, Yashima K, Asao A, Izumi SI. Difference in pain and discomfort of comparable wrist movements induced by magnetic or electrical stimulation for peripheral nerves in dorsal forearm. Medical Devices: Evidence and Research; 2020; 13(1), 439-447.

4 学会等研究発表

1. 浅尾章彦, 能村友紀, 澁谷顕一. 反復末梢性磁気刺激と運動イメージの併用が拮抗筋に対する皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 新潟市 (Web開催), 2020.10.31-11.15.
2. 浅尾章彦, 伊藤真央, 能村友紀, 澁谷顕一. スプリント素材を介した反復末梢性磁気刺激が皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響. 第54回日本作業療法学会, 新潟市 (Web開催), 2020.9.25-10.25.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (理事, 会計幹事), 日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会, 日本臨床神経生理学会, バイオメカニズム学会, 日本作業療法研究学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 新潟医療福祉学会, 第20回学術集会, 実行委員, 新潟市 (Web開催), 2020.10.31-11.15.

6 社会活動

- 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県作業療法士会 (学会運営部員)

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費若手研究, 反復末梢性磁気刺激と運動イメージの併用による脳—脊髄の可塑的变化の解明, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 運動学実習, 2020.12.12.

8 学内委員会活動 広報委員, 学術委員, 人権委員, 個人情報保護委員 (教育責任者)

氏名：北上 守俊

1 研究題目 認知機能や身体機能に障害のある人やシニア層の就労を主とした社会参加に関する研究, 障害福祉サービス事業所におけるリハビリテーション専門職の役割や効果に関する研究

2 論文

1. Kitakami M, Yaeda J: A Systematic Review and Meta-Analysis of Cognitive Functions Predicting

Employment of Individuals with Acquired Brain Injury. Asian Journal of Occupational Therapy, 2020, 16(1): 45-53.

2. 北上守俊, 松林義人, 山村千絵. 地域在住の中高齢者と高齢者の生活充実感に影響を及ぼす要因と健康関連要因の相違 - 新潟県村上市の実態調査から -. 新潟県作業療法士会学術誌, 2021, 15 : 17-25.

3 報告書

1. 八重田淳, 砂見緩子, 山口創生, 小澤温, 小澤明彦, 若林功, 山口明日香, 藤川真由, 北上守俊, 前原和明. 厚生労働科学研究費補助金, 就労継続支援B型事業所における精神障害者等に対する支援の実態と効果的な支援プログラム開発に関する研究, 高次脳機能障害者における就労支援の新たな評価ツールの開発に関する研究, 2020, 研究分担者

4 学会等研究発表

1. 北上守俊, 松林義人, 山村千絵. 地域在住のシニア層における生きがいや社会参加の実態と作業療法士の役割の探索的検討 - 新潟県村上市の調査から -. 第54回日本作業療法学会 (Web開催), 2020.9.25-9.27.
2. 北上守俊, 稲葉健太郎, 高野友美, 峯尾舞, 小泉智枝, 西村仁美. 高次脳機能障害者における Workability Support Scale (WSS) 日本語版の開発 - 内容的妥当性の検討 -. 第20回新潟医療福祉学会 (Web開催), 2020.10.31-11.15.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本作業療法士協会 (学術部), 新潟県作業療法士会 (理事), 日本リハビリテーション連携科学学会, 日本作業療法教育学会, 日本職業リハビリテーション学会 (学会誌編集委員), 新潟県言語聴覚士会, 高次脳機能障害友の会「スワン」, クリニカル・クラークシップに基づく作業療法臨床教育研究会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会, 日本作業療法士協会主催, 作業療法士・理学療法士, 企画運営, 2020.10.10-10.11.
 2. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会, 日本作業療法士協会主催, 作業療法士・理学療法士, 企画運営, 2020.12.26-12.27.
 3. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会, 日本作業療法士協会主催, 作業療法士・理学療法士, 企画運営, 2021.2.13-2.14.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 高次脳機能障害リハビリテーション講習会, コロナ禍の今, 高次脳機能障害のある人のためにできることを考える! 「健康的な生活を維持するための一工夫」, 講師, 高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会, 一般市民・医療福祉専門職等, Web開催, 2020.12.14-12.27.
2. 認知症ケア普及及び虐待防止施策推進研修, 認知症患者, 高次脳機能障害者の支援を考える～疾患の特性を踏まえて～, 講師, 新潟地域振興局健康福祉部, 医療・福祉・行政等, Web開催, 2021.1.20.
3. 新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会, 高次脳機能障害者の支援の実践, 新潟地域振興局健康福祉部, 講師, 医療・福祉・行政等, Web開催, 2020.12.22.
4. 上越圏域高次脳機能障害等支援従事者研修会, 高次脳機能障害者に関する基礎知識とより良い支援のあり方を理解する～認知症との共通点と相違点を理解する～, 講師, 糸魚川地域振興局健康福祉部, 医療福祉専門職・行政等, Web開催, 2020.10.29.
5. 高次脳機能障害者「当事者のつどい」, 助言者, 新潟県精神保健福祉センター, 高次脳機能障害当事者, 新潟, 2020.10.5.
6. 高次脳機能障害者「当事者のつどい」, 助言者, 新潟県精神保健福祉センター, 高次脳機能障害当事者, 新潟, 2020.12.21.
7. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会, 講師, 日本作業療法士協会主催, 作業療法士・理学療法士, Web開催, 2020.10.10-10.11.
8. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会, 講師, 日本作業療法士協会主催, 作業療法士・理学療法士,

Web開催, 2020.12.26-12.27.

9. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会, 講師, 日本作業療法士協会主催, 作業療法士・理学療法士, Web開催, 2021.2.13-2.14.

10. 新潟市地域包括ケア推進モデルハウス作業療法士派遣事業, 地域の茶の間「松浜 ころば家」, 講師, 地域住民, 新潟, 2021.3.15.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会（委員）

3) 職能団体（協会, 士会等）の委員

日本作業療法士協会（学術部）, 新潟県作業療法士会（理事）, 日本職業リハビリテーション学会（学会誌編集委員）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度, 若手研究, 高次脳機能障害者に対する科学的根拠に基づいた就労支援プログラムの開発, 研究代表者

2) 学外兼務講師等

1. 新潟柔整専門学校, 柔整介護実践Ⅱ, 2021.1.9-2.27.

氏名：藤目 智博

1 研究題目 神経因性疼痛の抑制に関する研究, 手関節尺側部痛に関する研究

2 論文

1. 野中信宏, 大山峰生, 岡野昭夫, 藤目智博, 小田桐正博, 小泉裕昭. FDSを用いる筋腱移行術後の運動再学習法の検討. 日手会誌. 2020;37(4), 589-593.

2. Matsuzawa S, Oyama M, Odagiri M, Koizumi H, Nakamura Y, Tazawa A, Ikeno E, Fujime C. Extension Function of Proximal Interphalangeal Joint of Middle Finger exerted by 2nd and 3rd Dorsal Interosseous Muscles. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20: 1-11.

3 学会等研究発表

1. Fujime C, Otaki N, Oyama M. Strength training for the infraspinatus by the shoulder adduction. International Society of electrophysiology and kinesiology congress. (Virtual), 2020.7.12-7.14.

2. 藤目智博, 佐藤梨乃. 温刺激および触刺激が脊髄前角細胞の活動性に及ぼす影響—急性期上腕外側上顆炎例の除痛に向けて—. 第54回日本作業療法学会（オンライン）, 2020.9.25-10.25.

3. 野中信宏, 大山峰生, 岡野昭夫, 藤目智博, 小田桐正博, 松澤翔太, 小泉裕昭, 塩田紀之, 田澤葵, 池野瑛吾. FDSを用いる筋腱移行術後の運動再学習法の検討. 第63回日本手外科学会学術集会（新潟市）, 2020.6.25-8.17.

4. Oyama M, Koizumi H, Odagiri M, Matsuzawa S, Nakamura Y, Fujime C. The Supinator and Pronator Muscles Activities at Grounding with the Hand in the Falling Down. 23th International Society of Electrophysiology and Kinesiology Congress. (Nagoya), 2020.7.12-7.14.

4 学会活動

1) 所属学会 日本ハンドセラピー学会（理事, 広報委員長）, 日本手外科学会, 日本肘関節学会, International Society of Electrophysiology and Kinesiology, International association for the study of pain

2) 学術集会の主催

1. 日本ハンドセラピー学会, 第32回日本ハンドセラピー学会学術集会, 実行委員長, オンライン, 2020.6.28-8.10.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本作業療法士協会, 事例登録審査委員

2. 日本作業療学会, 演題査読委員
3. 日本ハンドセラピィ学会, 演題・論文査読委員
- 5 社会活動
 - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本作業療法士協会, 新潟県作業療法士会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 運動学実習・運動器疾患OT治療学・義肢装具学
- 7 学内委員会活動 国家資格・資格試験対策委員会, 就職センター運営委員会

氏名：間宮 靖幸

- 1 研究題目 レビー小体型認知症(神経心理学), 認知症性疾患(神経心理学), 視覚性注意(行動神経学)
- 2 著書
 1. 今村徹, 間宮靖幸, 能登真一, 佐藤厚, 大森圭貢, 佐々木祥太郎, 一美奈緒子, 山倉宏美, 飯干紀代子, 石井麻衣, 宮北綾子, 村井千賀, 橋本由美, 大柴奈津枝. QOLを高める認知症リハビリテーションハンドブック. 第1版, 東京:医学書院;2020年:2-20, 134-140.
- 3 報告書
 1. 間宮靖幸. 若手研究, DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討, 研究実績報告書, 2020(研究代表者)
- 4 学会等研究発表
 1. 間宮靖幸, 田村大輔. 調理動作における味調整判断 -嗅覚と視覚の関連について-. 新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.31-11.15.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本作業療学会, 高次脳機能障害学会, 日本神経精神医学会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 若手研究, DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討(研究代表者)
- 7 学内委員会活動 FD委員会(授業評価改訂部会長), 学生委員会(学友会顧問), 交通安全委員会(委員), 地域連携推進センター運営委員会(委員)

氏名：渡部 貴史

- 1 研究題目 精神障害作業療法に関する研究
- 2 著書
 1. 渡部貴史, 他;寺山久美子, 中村春基監. レクリエーション 第3版 活動と参加を促すレクリエーション. 東京:三輪書店, 2021:103-107.
- 3 論文
 1. 林敦子, 渡部貴史, 山口裕子, グライナー智恵子. 地域健常高齢者を対象とした二重課題プログラム実施による認知機能と気分の変化—実施者が対面による実施とVTRによる実施の違い—. 日本認知症予防学会誌. 2020;10(1):17-22.
- 4 学会等研究発表
 1. 渡部貴史. 休憩中の活動が作業遂行に与える影響. 第54回日本作業療学会(Web開催), 2020.9.25-10.25.
 2. 渡部貴史, 小林未来. 休憩時の音楽聴取が作業遂行に及ぼす影響. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(Web開催), 2020.10.31-11.15.
 3. 渡部貴史, 富樫奈美. 休憩時の腹式呼吸が作業遂行に及ぼす影響. 第20回新潟医療福祉学会学術集会

(Web開催), 2020.10.31-11.15.

5 学会活動

1) 所属学会 日本作業療法士協会, 日本作業行動学会, 日本芸術療法学会

6 社会活動

1) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県作業療法士会 学術部 学術誌編集委員会

7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 安全衛生委員会, 健康管理運営センター委員会

(3) 言語聴覚学科

氏名：山岸 達弥

- 1 研究題目 活性化モデルによる言語性保続の研究
- 2 学会活動
 1. 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本言語聴覚学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本コミュニケーション障害学会
- 3 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会 (委員長), 総務会, 大学院委員会, 教員再任審査委員会, 表彰審査会, 教員選考委員会, 三位一体促進WG

氏名：今井 信行

- 1 研究題目 高齢者の口腔機能解析, 摂食嚥下障害における評価法・訓練法の開発
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本口腔外科学会, 日本口腔科学会, 日本口蓋裂学会, 日本歯科麻酔学会, 日本小児口腔外科学会, 日本音声言語医学会, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 日本障害者歯科学会, 日本顎顔面補綴学会, 新潟歯学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市歯科医師会北2班定例会, Covid-19への病院での対応について, 講師, 新潟市北区歯科医師, 新潟市, 2020.6.26.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 尾山愛広苑口腔機能維持管理会議, 入所者の口腔機能の問題解決のための助言・指導, 2020.4-2021.3. (月1回)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学歯学部非常勤講師, 顎顔面口腔外科学, 2020.4-2021.3.
 2. 新潟リハビリテーション病院非常勤歯科医師, 歯科・歯科口腔外科, 2020.4-2021.3.

氏名：今村 徹

- 1 研究題目 認知症の臨床における総合的研究, 認知機能障害の臨床における総合的研究
- 2 著書
 1. 今村徹, 能登真一編. QOLを高める認知症リハビリテーションハンドブック. 1班. 東京: 医学書院; 2020.
- 3 論文
 1. 小林健太, 小関翔子, 加藤梓, 佐藤卓也, 今村徹. レビー小体型認知症 (Dementia with Lewy bodies: DLB) とアルツハイマー病における認知機能変動の重症度と関係する要因: Short Fluctuations Questionnaire (SFQ) 得点を用いた検討. 臨床精神医学. 2020; 49(4): 541-547.
 2. Oishi Y, Imamura T, Shimomura T, Suzuki K. Visual texture agnosia influences object identification in dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease. Cortex. 2020; 129(1); 23-32.
 3. 今村徹. 神経心理検査バッテリー: 結果の解釈と落とし穴. 老年精神医学雑誌 (協力学術団体). 2020; 31(6); 561-569.
 4. Oishi Y, Imamura T, Shimomura T, Suzuki K. Vegetable Freshness Perception in Dementia with Lewy Bodies and Alzheimer's Disease. Dementia and Geriatric Cognitive Disorders Extra. 2020; 20; 74-85.
 5. 今村徹. 記憶障害のみかた. 高次脳機能研究 (協力学術団体). 2020; 40(3); 354-362.
 6. 内山信, 今村徹. 失認から見た認知症の鑑別診断. 老年精神医学雑誌 (協力学術団体). 2020; 31(9);

966-972.

7. 大石如香, 菅井務, 今村徹, 鈴木匡子. 場面によって異なる再帰性発話を呈した重度失語例. 神経心理学, 2020;36(4); 208-216.

4 学会等研究発表

1. 小原愛美, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. 行動障害型前頭側頭型認知症患者における初診時の主訴の検討. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山市), 2020.10.1-10.4.
2. 宮島莉緒, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. レビー小体型認知症における接近型closing-in現象: 遂行機能障害との関連の検討. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山市), 2020.10.1-10.4.
3. 岩澤佳乃, 松井智世, 佐藤卓也, 今村徹. Behavioural Assessment of the Dysexecutive Syndrome (BADS) の鍵探し検査において鍵を「発見」して課題を終える反応の検討. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山市), 2020.10.1-10.4.
4. 上之山恵美, 佐藤卓也, 今村徹. 日常生活において出来事全体を忘れるはじめたアルツハイマー病者の臨床像. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山市), 2020.10.1-10.4.
5. 笠原舞結, 佐藤卓也, 今村徹. アルツハイマー病者の嘉永外活動の障害に関係する要因: 認知機能障害の全般重症度を層別して統制した検討. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山市), 2020.10.1-10.4.
6. 長谷川優乃, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. アルツハイマー病者の認知機能検査成績の年次変化率における教育年数の影響. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山市), 2020.10.1-10.4.
7. 伊藤拓海, 内山信, 間宮靖幸, 松井智世, 中川美和, 佐藤卓也, 今村徹. 難聴が認知症患者の臨床像に与える影響: 介護者への構造化インタビューで評価した難聴に基づく検討. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山市), 2020.10.1-10.4.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経心理学会(理事, 機関誌編集委員), 日本高次脳機能障害学会(評議員), 日本神経学会, 日本内科学会, 日本認知症学会, 日本老年精神医学会, 日本神経精神医学会(評議員), 東北神経心理懇話会(世話人), 新潟神経心理懇話会(世話人), 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第44回日本神経心理学会学術集会, プログラム委員, 郡山市, 2020.10.1-10.4.
 2. 第44回日本神経心理学会学術集会, 一般演題座長, 郡山市, 2020.10.1-10.4.
 3. 第44回日本高次脳機能障害学会学術総会, 査読委員, 倉敷市, 2020.11.21-11.22.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. にいがた連携公開講座2020, 認知症を生きる:患者さんとご家族を支えるために, 講師, 新潟県立生涯学習推進センター, 一般県民, 長岡市, 2020.7.22.
2. 村上市介護者のつとめ, 認知症の患者さんとご家族を支えるために, 講師, 村上市介護高齢課, 家族介護者等, 村上市, 2020.11.6.
3. 令和2年度高次脳機能障害支援に係る医療・保健・福祉関係職員研修会, 事例検討助言者, 新潟県高次脳機能障害相談支援センター, 医療, 保健, 福祉関係職員, 新潟市, 2020.12.13.
4. 令和2年度認知症本人・家族支援及び高齢者虐待防止ネットワーク運営推進事業「介護・相談従事者向け認知症ケア研修」, 講師及び事例検討助言者, 新潟県村上地域振興局健康福祉部, 医療, 介護, 保健, 福祉関係職員, 村上市, 2021.1.15.

2) 社会活動への参加協力

1. グループホームおやま, リビングサポートおやま運営推進会議, 有識者委員, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
2. グループホームはやどおり, リビングサポートはやどおり運営推進会議, 有識者委員, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.

3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

氏名：佐藤 克郎

- 1 研究題目 中耳における細菌感染症に関する基礎研究（耳鼻咽喉科学，細菌学，感染症学），頭頸部腫瘍に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，頭頸部外科学），音声障害に関する臨床研究（耳鼻咽喉科学，音声言語医学）
- 2 論文
 1. 佐藤克郎，山本智夏．大学生のイヤホンまたはヘッドホンの使用状況と耳症状および聴力に関する調査．新潟市医師会報，2020;590:2-8.
 2. 田村俊暁，佐藤克郎．舌圧発現時の圧力時間曲線パターンの解析と発声発語機能との関連．言語聴覚研究，2020;17(2):130-136.
 3. 佐藤克郎，小林明日香．新潟市の大学生におけるアレルギー性鼻炎の現状．新潟市医師会報，（印刷中）．
- 3 学会等研究発表
 1. 佐藤克郎，小林明日香．新潟市の大学生におけるアレルギー性鼻炎の現状．第90回日本耳鼻咽喉科学会新潟県地方部会学術講演会（新潟市），2020.12.19.
 2. 田村俊暁，田中康博，渡辺慶大，佐藤克郎．Dysarthria話者の舌圧と年齢に関する予備的検討．第20回新潟医療福祉学会（新潟市），2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会（理事・評議員），日本耳鼻咽喉科学会（認定専門医・新潟県地方部会評議員・新潟県地方部会医事問題委員），日本気管食道科学会（認定専門医），日本頭頸部癌学会，日本頭頸部外科学会，日本音声言語医学会，日本喉頭科学会，日本耳科学会，日本聴覚医学会，耳鼻咽喉科臨床学会
- 5 社会活動
 - 1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. 週刊誌，週刊現代（講談社），医療健康大特集 「のど」から始まった病気はこんなにタチが悪い，2020.4.6.
 2. 週刊誌，週刊現代（講談社），医療健康大特集 気付いたときには遅かった—そうならないために，2020.5.25.
 - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
公益財団法人国際耳鼻咽喉科振興会賛助員（教授職）
- 6 学内委員会活動 学術委員会（副委員長），新潟医療福祉学会誌編集委員（委員長），大学院教務委員会（副委員長），大学院入試広報拡大委員会

氏名：大石 如香

- 1 研究題目 脳血管疾患による失語症および読み書き障害の研究，脳血管疾患や変性性認知症における視覚認知障害および質感認知障害に関する研究
- 2 論文
 1. Oishi Y, Yamakawa T, Nagasawa H, Suzuki K. Visual texture agnosia influences object identification in dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease. Cortex (JCR). 129: 23-32, 2020.
 2. Oishi Y, Yamakawa T, Nagasawa H, Suzuki K. Vegetable freshness perception in dementia with Lewy bodies and Alzheimer's disease. Dementia and Geriatric Cognitive Disorders (JCR). 10: 74-85, 2020.
 3. 大石如香，菅井努，田村俊暁．Foix-Chavany-Marie症候群を呈した頭部外傷例の発話障害の検討．日本音声言語医学，61: 130-139, 2020.
 4. 大石如香，菅井努，今村徹，鈴木匡子．場面によって異なる再帰性発話を呈した重度失語例．神経心理学，36: 208-216, 2020.
- 3 学会等研究発表
 1. 大石如香，菅井努．伝導失語に収束した表記不能型ジャルゴン失語の一例．第20回新潟医療福祉学会学

術総会, 2020.10.31.

2. 鈴木匡子, 大石如香, 伊関千書, 親富祖まりえ, 馬場徹, Miyeong Gang. 脳損傷者・高齢者における質感認知: 視覚性・触覚性質感認知の検討. 文部科学省科学研究費補助金「新学術領域研究(研究領域提案型)」第9回多元質感知領域班会議(東京), 2020.9.24-9.26.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本神経心理学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本音声言語医学会, 日本言語聴覚士協会, 日本ディサースリア臨床研究会, 日本認知神経心理学研究会, 新潟医療福祉学会, 新潟神経心理懇話会, 日本色彩学会, International Colour Vision Society

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本神経心理学会評議員

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟神経心理懇話会世話人

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度 文部科学省研究費補助金 新学術領域研究「多様な質感認知の科学的解明と革新的質感技術の創出」, 信号変調に基づく視聴触覚の質感認識機構, 研究協力者

7 学内委員会活動 教務委員会, 就職センター運営委員会, 科研費対策委員会, 動物実験委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会

氏名: 富澤 晃文

報告事項なし

氏名: 吉岡 豊

1 研究題目 言語発達障害児の語彙力に関する研究, 言語発達障害児の症状に応じた訓練方法に関する研究, 機能性構音障害児に関する研究

2 論文

1. 吉岡豊. 自閉スペクトラム症児17例の呼称課題における誤答分析. 発達障害支援システム学研究. 2020年; 19(2): 115-121.

3 学会等研究発表

1. 吉岡豊. 知的障害児の呼称課題における誤答分析. 第65回日本音声言語医学会総会・学術講演会(名古屋市), 2020.10.10.
2. 吉岡豊. 自閉スペクトラム症児1例における日本語単語獲得-音声ペンを用いた訓練-. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(Web開催), 2020.10.31.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本発達障害支援システム学会, 日本音声言語医学会, 日本聴覚医学会, 日本聴覚言語障害学会, 日本特殊教育学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本神経心理学会, 日本口蓋裂学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 阿賀町役場, 言葉の相談会, 助言者, 阿賀町津川・阿賀町やまぶきの里, 2020.4-2021.3.
2. 新潟県立新潟聾学校, 評議員会, 評議員, 新潟市・新潟聾学校, 2020.4-2021.3.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. FNN「ドキュメンタリー大賞・かか 親と子のかけ橋~小児言語聴覚士の希望と現実~, 2020.5.24. (以降, 全国各地で随時放送)

2. FNN ネット記事「発達障害に不安を抱える親子をサポートする小児言語聴覚士の存在」2020.8.3.
 3. Yahoo ネット記事「コミュニケーションがとれない子どもたちをサポートする小児言語聴覚士が直面する課題」2021.3.20.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 阿賀町役場, 言葉の相談会, 助言者(言語聴覚士), 阿賀町・やまぶきの里, 2020.4-2021.3.
 2. 新潟県立新潟聾学校, 評議員会, 評議員, 新潟市, 2020.4-2021.3.
- 6 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会(副委員長)産官学連携推進センター運営委員会, 言語発達支援センター(センター長)

氏名：石本 豪

- 1 研究題目 児童・青年に対する心理的支援に関する研究, 障害児の親に対する心理的支援に関する研究, 発達障害の大学生に対する就労支援に関する研究
- 2 論文
 1. 石本豪, 対人関係における不安を主訴とした中学生の事例. 新潟市スクールカウンセラー等活用事業事例集. 2020: 29.
- 3 学会等研究発表
 1. 石本豪, 医療系専門職養成課程に在籍する自閉スペクトラム症の大学生の臨床実習前後の変化. 日本コミュニケーション障害学会・第46回学術講演会(web開催), 2020.5.30-5.31.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本学生相談学会, 日本教育心理学会, 日本コミュニケーション障害学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 第18回中野小屋中学校区学校保健委員会, レジリエンスを育てるために, 講師, 中野小屋中学校区三校連絡協議会, 生徒および地域住民, 中野小屋中学校, 2020.10.30.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市教育委員会スクールカウンセラー等活用事業, スクールカウンセラー, 新潟市内小・中学校, 2020.4.1-2021.3.31.
- 6 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 図書館・学習支援センター運営委員会, 言語発達支援センター

氏名：内山 信

- 1 研究題目 レビー小体型認知症の錯視・幻視に関する研究, レビー小体型認知症の記憶障害に関する研究, パーキンソン病の認知機能障害に関する研究, 認知症患者の難聴に関する研究
- 2 論文
 1. 内山信, 今村徹. 失認からみた認知症の鑑別診断. 老年精神医学雑誌(協力学術研究団体). 2020; 31(9): 966-972.
 2. Kanno S, Shinohara M, Kanno K, Gomi Y, Uchiyama M, Nishio Y, Baba T, Hosokai Y, Takeda A, Fukuda H, Mori E, Suzuki K. Neural substrates underlying progressive micrographia in Parkinson's disease. Brain and Behavior (JCR). 2020; 10(8):
- 3 報告書
 1. 内山信. 基盤研究(c), 難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討. 研究成果報告書, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 伊藤拓海, 内山信, 間宮靖幸, 松井智世, 中川美和, 佐藤卓也, 今村徹. 難聴が認知症患者の臨床像に与

える影響 介護者への構造化インタビューで評価した難聴に基づく検討. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山), 2020.10.1-10.2.

2. 長谷川優乃, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. アルツハイマー病患者の認知機能検査成績の年次変化率における教育年数の影響. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山), 2020.10.1-10.2.
3. 宮島莉緒, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. レビー小体型認知症における接近型Closing-in現象 遂行機能障害との関連の検討. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山), 2020.10.1-10.2.
4. 小原愛美, 内山信, 佐藤卓也, 今村徹. 行動障害型前頭側頭型認知症患者における初診時の主訴の検討. 第44回日本神経心理学会学術集会(郡山), 2020.10.1-10.2.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本神経心理学会(評議員), 日本高次脳機能障害学会, 新潟神経心理懇話会(役員)

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度. 基盤研究(c), 難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討, 研究代表者

7 学内委員会活動 教務委員会, 国家試験・資格試験対策委員会

氏名: 栗原 桂

- 1 研究題目 新潟県の新生児聴覚スクリーニング事業について(聴覚障害学), 人工内耳装用児のコミュニケーションの発達(聴覚障害学), 片耳難聴児の支援と教育(聴覚障害学), 難聴児を取り巻く医療と教育の連携について(連携教育), 大学における連携教育の在り方について(連携教育), 医療現場における多職種連携について(連携教育), マイクロエスノグラフィ・ライフヒストリー(研究方法論)

2 論文

1. 栗原桂, 佐藤隆子. 新潟県の難聴通級指導教室, 難聴特別支援学級及び聴覚特別支援学校における片耳難聴児の実態. *Audiology Japan*, 2020;63(6):525-530.

3 報告書

1. 栗原桂. 基盤研究(C)(一般), 新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査. 科学研究費助成事業実施状況報告書(令和2年度), 令和元年度~令和3年度, 栗原桂・泉修司・廣田栄子・石上和男

4 学会等研究発表

1. 栗原桂, 佐藤隆子. 新生児聴覚スクリーニングに対する保護者の思い-新潟県の難聴児の保護者へのアンケート結果から-. 第65回日本聴覚医学会総会・学術講演会(名古屋市), 2020.10.7-10.9.
2. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智. 2019年度連携総合ゼミ実施報告と終了時アンケートによる前年度との比較. 第20回新潟医療福祉大学学術集会(新潟), 2020.10.31.
3. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智, 大松健太郎, 飯村菜穂子, 中村直樹, 貝渕正人. 4年次連携教育「連携総合ゼミ」の新型コロナウイルス感染症の拡大防止下の開催方法. 第20回新潟医療福祉大学学術集会(新潟), 2020.10.31.
4. 伊藤嘉高, 村田憲章, 松井由美子, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智. 連携総合ゼミの学習効果測定とその課題-専門性を横断する問題発見・解決力へ-. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 2020.10.31.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, American Audiology Society, American Cochlear Implant Alliance, 日本言語聴覚士協会(国際部員), 日本教育オーディオロジー研究協議会(北陸地区評議員), きこえエール新潟(理事長), 北陸教育オーディオロジー研究協議会, 日本聴覚医学会, 日本特殊教育学会, 日本音声言語医学会, 日本発達障害学会, 日本コミュニケーション障害学会, ろう教育科学会, 新潟県難聴児をもつ親の会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. NPO法人きこえエール新潟, 第1回勉強会, 「疾病や障害, 発達の遅れの可能性が高い赤ちゃんのご加速への早期からの支援-NICU(新生児集中治療室)心理士の経験から-」. 開催主催, NPO法人きこえエール新潟相談支援課, 対象者(教員, 保健士, 助産師, 行政担当者, 医師), 長岡市, 2020.10.11.

2) 社会活動への参加協力

1. NPO法人「きこえエール新潟」理事長, 2017.11.22(継続)
2. NPO法人きこえエール新潟, 第44回~第53回事業運営委員会(新潟市), 2020.4.18-2021.3.28.
3. NPO法人きこえエール新潟, 理事会, 新潟市, 2020.5.16.
4. NPO法人きこえエール新潟, 通常総会, 新潟市, 2020.6.29.
5. NPO法人きこえエール新潟, エールだより第14号~第16号発行, 新潟市, 2020.7.6-11.30.
6. NPO法人きこえエール新潟, 第1回相談支援員研修会, 長岡市, 2020.10.11.
7. NPO法人きこえエール新潟, 第2回相談支援員研修会, 新潟市(リモート), 2021.3.14.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

一般社団法人言語聴覚士協会国際部員, 日本オーディオロジー研究協議会北陸地区評議員

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 基盤研究(C)(一般), 新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査, 栗原桂・泉修司・廣田栄子・石上和男

2) 学外兼務講師等

1. 新潟大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野客員研究員(小児難聴, 人工内耳), 2014.6(継続)

8 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 入試委員会, 教育開発委員会, 言語発達支援センター

氏名: 渡辺 時生

1 研究題目 吃音・流暢性障害に関する研究(発声発語障害学), 言語発達障害に関する研究(言語発達障害学)

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本言語聴覚学会, 日本音声言語医学会, 日本特殊教育学会, 日本コミュニケーション障害学会, 新潟医療福祉学会, 日本LD学会, 日本吃音・流暢性障害学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 日本学校メンタルヘルス学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 第21回日本言語聴覚学会, 査読委員
2. 日本言語聴覚士協会令和2年度第1回専門講座, 生涯学習部長, オンライン, 2020.10.18.
3. 日本言語聴覚士協会令和2年度第2回専門講座, 生涯学習部長, オンライン, 2020.11.14.
4. 日本言語聴覚士協会令和2年度第3回専門講座, 生涯学習部長, オンライン, 2020.12.13.
5. 日本言語聴覚士協会令和2年度第4回専門講座, 生涯学習部長, オンライン, 2021.1.23.
6. 日本言語聴覚士協会令和2年度第5回専門講座, 生涯学習部長, オンライン, 2021.2.20.

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 令和2年度通級指導担当研修(経験者), 通級児への指導~吃音を中心に~, 講師, 新潟県立教育センター, 小中学校通級指導教室担当教諭, 新潟市, 2020.10.16.

2) 社会活動への参加協力

1. 胎内市健康づくり課, 胎内市ことばとこころの相談室事業委託言語指導, 幼児とその保護者, 胎内市, 2020.4-2021.2.

- 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
言語聴覚士試験委員
- 4) 職能団体（協会，士会等）の委員
一般社団法人日本言語聴覚士協会（常任理事）
- 4 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会，新潟連携教育研究センター運営委員会，広報委員会，言語発達支援センター（副センター長），SHAINプロジェクト

氏名：伊藤 さゆり

- 1 研究題目 本邦における手話の失語症の実態調査および評価方法の検討，進行性失語症例に対する訪問リハビリテーションの検討
- 2 学会等研究発表
 1. 伊藤さゆり，小野塚智子，臼井千恵，武居渡，鈴木匡子．若年聾者におけるMini-Mental State Examination (MMSE) の問題点．第44回日本神経心理学会学術集会（オンライン開催），2020.10.1-10.4.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本言語聴覚士協会，日本高次脳機能障害学会，日本神経心理学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本訪問リハビリテーション協会，新潟医療福祉学会，日本手話学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 東区失語症友の会つくしの会，失語症者支援と学生指導，はなみずきコミュニティハウス，2019.11-
 2. 2020年度 失語症者向け意思疎通支援指導者養成研修 講師 2020.10.18.
 3. 新潟県失語症者向け意思疎通支援者養成事業 推進委員会 2020.4-
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
 1. Neurology and Clinical Neuroscience TOP DOWNLOADED PAPER 2018-2019（2020.4.30.）
- 6 学内委員会活動 国際交流員会

氏名：田村 俊暁

- 1 研究題目 神経筋疾患患者の発声発語障害に関する研究（成人発声発語障害学），神経筋疾患患者の摂食嚥下障害に関する研究（摂食嚥下障害学）
- 2 報告書
 1. 田村俊暁．若手研究，時間的・空間的音響解析法を用いた日本語話者に適した発話評価課題の開発，研究実施状況報告書，2020-2023，研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. 田村俊暁，田中康博，渡辺慶大，佐藤克郎．Dysarthria 話者の舌圧と年齢に関する予備的検討．第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本音声言語医学会，日本ディサースリア臨床研究会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本高次脳機能障害学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 失語症者向け意思疎通支援指導者養成研修，実行委員長，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，言語聴覚士，新潟市，2020.10.17-10.18.
 2. 失語症者向け意思疎通支援指導者養成研修，派遣事業と意思疎通支援者の業務，講師，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，言語聴覚士，新潟市，2020.10.17.

- 2) 社会活動への参加協力
 1. 厚生労働省，失語症者向け意思疎通支援者養成事業，講師および県庁との連絡係，新潟市，2020.4.1-2021.3.31.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
 - 一般社団法人新潟県言語聴覚士会（理事），一般社団法人新潟県言語聴覚士会（財務部長），一般社団法人日本言語聴覚士協会（国際部北信越代表）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，若手研究，時間的・空間的音響解析法を用いた日本語話者に適した発話評価課題の開発，研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. かみやま親子歯科クリニック，言語聴覚士，2020.4-2021.3.
- 7 学内委員会活動 広報委員会，FD委員会

(4) 義肢装具自立支援学科

氏名：東江 由起夫

1 研究題目 1) 3Dデジタル機器を活用した義肢装具士養成教育プログラムの構築および実用化に向けた研究, 2) 客観的機器を用いた義肢装具適合評価研究, 3) 3D Scanner/3D Printerを活用した脳卒中片麻痺者の短下肢装具ならびに下肢切断者の義足ソケットの実用化に向けた研究など.

2 論文

1. 前田雄, 林豊彦, 須田裕紀, 高橋素彦, 郷貴博, 東江由起夫, 相馬俊雄. 下腿義足ソケットの後壁面高さがソケット内接触圧力と歩容に与える効果. バイオメカニズム学会誌. 2020: 44巻 (4): 242-251.
2. Hanafusa A, Mohd Syahmi Jamaludin, Le Van Tuan, Ikebata H, Suzuki R, Kawamura T, Yamamoto S, Agarie Y, Otsuka H, and Ohnishi K. Introduction of Prosthesis and Orthosis Evaluation System that Utilizes Human Models. 11th Asian-Pacific Conference on Medical and Biological Engineering. Proceedings of the Online Conference APCMBE 2020, May 25-27, 2020.
3. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫. 義肢装具分野における3D-Printerの実用化に向けて. リハビリテーション・エンジニアリング. 2020: 35巻 (2): 74-84.
4. 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀. 義肢装具士養成校から見た働き方改革を進める教育. POアカデミージャーナル. 2021. 28巻4号: 197-204.
5. 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄, 勝平純司, 東江由起夫. 福祉の現場から 3D機器を活用した下腿義足ソケットの製作に関する研究. 地域ケアリング. 2020. 22巻 (5): 84-87.

3 学会等研究発表

1. 前田雄, 東江由起夫, 須田裕紀, 郷貴博. 3Dプリンタで造形製作した下肢装具の繰り返し耐久試験による特性比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
2. 東江由起夫, 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀. 3Dプリンタ製SHBの実用化に向けた臨床評価 (第1報). 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
3. 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀, 東江由起夫, 田村真明, 鷲巢貴志, 毛利孝裕. 3Dプリンタ製AFOと従来製AFOの繰り返し耐久試験による特性比較 -第2報-. 第36回日本義肢装具学会学術大会, 2020.10.31-11.1.
4. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫. 3DプリンタAFOの設計に向けたコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置における3DP-AFOとPP-AFOの比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
5. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 3Dプリンタ製AFOの設計に向けた従来PP-AFOコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置による比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
6. 工藤椋太郎, 東江由起夫, 大塚博, 山本紳一郎. ライナー装着時の大腿義足ソケット有限要素解析による動的シミュレーション, 第36回日本義肢装具学会学術大会: 東京大学本郷キャンパス伊藤国際学術研究センター, 2020.10.31.
7. 池端勇人, 花房明彦, 東江由起夫. 短下肢装具設計支援システムの開発—動的有限要素法による歩行立脚時の解析—, 第36回日本義肢装具学会学術大会: 東京大学本郷キャンパス伊藤国際学術研究センター: 2020.10.31.
8. 朝比奈快, 東江由起夫, 大塚博, 山本紳一郎. 機械学習を用いた坐骨収納型大腿義足ソケット形状および断端の定量的解析と評価, 第30回ライフサポート学会 フロンティア講演会: 東京都市大学世田谷キャンパス, 2020.3.10.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本義肢装具士協会 (監事), 日本義肢装具学会, ISPO国際義肢装具協会, 日本リハビリテーション工学協会, 臨床歩行分析研究会, 臨床バイオメカニクス学会, 新潟医療福祉学会, 新潟県難病支援ネットワーク, 日本義肢装具教育者連絡協議会

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 第2回Zoom利用による無料オンラインセミナー，演題2. 客員講師による特別講義①『これからの義肢装具士の役割と学ぶべきこと～DX（デジタルシフト）を加速する～』，（株）ドリーム・ジーピー，2020.5.16.
 2. 2020年度新潟リハビリテーション研究会1月定例勉強会，「医師・療法士・義肢装具士・の申請書の記載（評価）方法」，Zoom，新潟リハビリテーション研究会，2021.1.25.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

義肢装具士試験委員会（厚生労働省主管 テクノエイド協会運営管理）
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員

日本義肢装具士協会（監事），日本義肢装具学会（理事）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，ニッポー株式会社共同研究費，3Dスキャナー・3Dプリンターを活用した義肢装具の実用化に向けた研究，主研究者
 - 2) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 一般社団法人日本義肢装具学会 飯田賞本賞受賞 受賞理由：「永年に亘る義肢装具教育活動業績ならびに，義肢装具の研究・開発活動」，2020.10.31.
 - 3) 学外兼務講師等

新潟大学大学院 自然科学研究科「人間支援科学特別講義Ⅱ」講師 2020.4-7.
- 7 学内委員会活動 総務会，大学委員会（オブザーバー），教員選考委員会，表彰審査会，地域連携推進センター運営委員会（副委員長），Sports & Health 先端科学研究センター運営委員会（副委員長）

氏名：阿部 薫

- 1 研究題目 靴医学を基礎とした一般靴の開発・改良に関する研究 一特に女性用靴・健康増進用靴・高齢者用靴に注目して一
- 2 著書
 1. 阿部薫，第4章 パッキングワーク，シューフィッター養成講座 バチエラーコーステキスト（新版），一般社団法人足と靴と健康協議会，2020，1-20.
- 3 論文
 1. 阿部薫，母趾外転筋と小趾外転筋への加圧による外反母趾および内反小趾改善に関する基礎的研究. 靴の医学. 2020；33(2)：10-15.
 2. 阿部薫，子どもの足の計測 一足の成長と下肢アライメントからの考察一. 靴の医学. 2020；33(2)：99-103.
 3. 東海林藍，蓮野敢，阿部薫，通所型および入所型高齢者施設における利用者の履物調査. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020；5：15-18.（原著論文）
 4. 岡部有純，阿部薫，蓮野敢，東海林藍. ダウン症候群における扁平足研究の実態. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020；5：19-24.
 5. 蓮野敢，阿部薫，東海林藍. 3次元足型計測器を用いたヒール高別の前足部長，踏まず長，足幅の変化の検討. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020；5：25-28.
 6. 東海林藍，阿部薫，蓮野敢. 靴の圧迫による小趾肥厚爪の機序と改善の考察ーフットケアと適切な靴使用によるアプローチ. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020；5：29-32.
 7. 叶野愛羅，阿部薫，蓮野敢，東海林藍. 女子大学生の足型寸法の変遷 - 1987年と2020年の比較 -. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020；5：33-36.
 8. 蓮野敢，阿部薫，田中郁乃，東海林藍. 異なる足趾分割形状靴下による足趾部圧力と歩行への影響. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020；5：37-40.

9. 阿部薫, 吉田桂, 田中葉子, 伊藤菜記, 中林功一, 蓮野敢, 東海林藍. 糖尿病患者の足底胼胝部の圧力低減を目的とした靴下およびインソール使用と胼胝切削処置の組合せ効果. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020; 5: 45-48.
 10. 中林功一, 阿部薫, 北澤友子, 蓮野敢. 小趾回外角度の実態と足部寸法との関連性について. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020; 5: 49-52.
 11. 山内一, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 救急救命活動に使用される靴の違いが身体負担へ与える影響. 日本整形靴技術協会雑誌. 2020; 5: 53-56.
 12. Si-Huei Lee, Bor-Shing Lin, Hsiang-Chen Lee, Xiao-Wei Huang, Ya-Chu Chi, Bor-Shyh Lin, Abe K. Artificial Intelligence-Based Assessment System for Evaluating Suitable Range of Heel Height. IEEE Access (JCR) 2021; 9: 38374-38385.
- 4 学会等研究発表
1. 阿部薫. 婦人靴のファッションと機能の両立に関する実験研究方法. 第34回日本靴医学会学術集会(福島市), 2020.9.11-10.31. (シンポジウム)
 2. 阿部薫. 靴のファッションと機能の両立 —ヒール靴と足部の適合性に関する研究紹介—. 第34回日本靴医学会学術集会(福島市), 2020.9.11-10.31. (特別講演)
 3. 阿部薫, 濱野礼奈, 笹本嘉朝. 大学女子バレーボール選手の競技用シューズへのインソール使用の効果 —パフォーマンステストによる評価—. 第34回日本靴医学会学術集会(福島市), 2020.9.11-10.31.
 4. 東海林藍, 阿部薫, 笹本嘉朝. 適切なサイズの室内履き使用と爪切りによる胼胝の改善. 第34回日本靴医学会学術集会(福島市), 2020.9.11-10.31.
 5. 蓮野敢, 阿部薫, 笹本嘉朝. 3次元足型計測によるヒール高変化時の足趾動態の解析 —足部を直行座標系と仮定した足趾長変化の検討—. 第34回日本靴医学会学術集会(福島市), 2020.9.11-10.31.
 6. 岡部咲樹, 阿部薫, 蓮野敢, 笹本嘉朝. スポーツ障害に対する段階的なインソール調整の有効性 —アキレス腱付着部炎と足底腱膜炎の併発例—. 第34回日本靴医学会学術集会(福島市), 2020.9.11-10.31.
 7. 叶野愛羅, 阿部薫, 蓮野敢, 笹本嘉朝. フットプリントを用いた女子大生の外反母趾・扁平足・足幅の実態調査 —15年間で変化はあるか? 2005年と2020年の比較—. 第34回日本靴医学会学術集会(福島市), 2020.9.11-10.31.
 8. 佐藤未希, 江原義弘, 真柄彰, 阿部薫, 笹本嘉朝, 須田裕紀, 前田雄, 高橋素彦, 郷貴博, 東江由起夫. 新潟医療福祉大学における学生プロフィールの取り組み. 第36回日本義肢装具学会学術大会(東京都文京区), 2020.10.23-11.16.
 9. 東江由起夫, 江原義弘, 真柄彰, 阿部薫, 笹本嘉朝, 須田裕紀, 前田雄, 高橋素彦, 郷貴博, 佐藤未希. 新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科 ISPO P&O (旧 Category I) 養成教育機関の認証取得. 第36回日本義肢装具学会学術大会(東京都文京区), 2020.10.23-11.16.
 10. 阿部薫, 山本正治, 柴山純一, 瀧口徹. 台湾・輔英科技大學との国際交流協定(MOU)締結式典出席報告. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市北区), 2020.10.31-11.15.
 11. 東海林藍, 阿部薫. 介護サービスを受けながら足の爪切りが長期間実施されなかった事例 —誰が観察し爪切りを実施するのか—. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市北区), 2020.10.31-11.15.
 12. 蓮野敢, 阿部薫, 笹本嘉朝. 3次元足型計測によるヒール靴の目の錯覚効果の解析 —生体足部寸法の変化に着目して—. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市北区), 2020.10.31-11.15.
 13. 叶野愛羅, 阿部薫, 岡部有純, 岡部咲樹, 渡辺啓太. 義肢装具自立支援学科主催海外研修 —オーストラリア研修報告—. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市北区), 2020.10.31-11.15.
 14. 阿部薫. 足底挿板のバイオメカニクス. 第45回日本足の外科学会学術集会(協力学術研究団体)(東京都港区), 2020.11.26-12.13. (シンポジウム)
 15. 阿部薫. 糖尿病透析患者の靴型装具の役割. 第1回日本フットケア・足病医学会 年次学術集会(横浜市西区), 2020.12.4-12.5. (シンポジウム)
 16. 東海林藍, 阿部薫. 困難な爪切り事例から見る爪切りの知識と技術取得の必要性—ゾンデ使用を当たり前

の技術に一、第1回日本フットケア・足病医学会 年次学術集会（横浜市西区），2020.12.4-12.5.

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本義肢装具士協会，日本義肢装具学会（評議員），日本靴医学会（評議員）（AWARD選考委員），バイオメカニズム学会，臨床歩行分析研究会，日本フットケア足病医学会，日本足育協会，臨床フットケア研究会（幹事），International Society for Prosthetics and Orthotics, American Academy of Orthotists and Prosthetists, Footwear Biomechanics Group : a technical group of the International Society of Biomechanics.
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本整形靴技術協会，第17回日本整形靴技術協会学術大会，大会長，東京都台東区，2021.2.20-2.21 →延期のため次年度継続.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本整形靴技術協会，学術大会プレ研修会，会長，Web開催，2021.2.21.
 2. 日本整形靴技術協会，編集委員長
 3. 日本靴医学会，第34回日本靴医学会学術集会，シンポジウム座長，福島市，2020.9.11-10.31.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 上級シューフィッター養成講座，機能性靴パッド調整技術1，講師，足と靴と健康協議会，靴業界関係者，東京都墨田区，2020.7.10.
 2. 上級シューフィッター養成講座，機能性靴パッド調整技術2，講師，足と靴と健康協議会，靴業界関係者，東京都墨田区，2020.11.13.
 3. 上級シューフィッター養成講座，機能性靴パッド調整技術3，講師，足と靴と健康協議会，靴業界関係者，東京都墨田区，2021.3.11.
 4. 健康・スポーツ県民講座，足の構造と機能そして足に合うシューズを考える，講師，新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，スポーツ関係者，新潟市，2021.1.24.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. （地方紙）新聞，Biz Link，にいがた経済新聞，転倒予防靴下の共同研究，2020.9.25.
 2. （全国版）雑誌，シューズポスト（ポストイコーポレーション），日本整形靴技術協会 IVO JAPAN 浅草大会プレイベント，2021.1.27.
 3. （外国紙）新聞（台湾），聯合報，長短脚造成膝蓋痠痛，2021.2.5.
 4. （外国版）ホームページ（台湾），聯合新聞網，長短脚造成膝蓋痠痛，2021.2.5.
 5. （外国版）ホームページ（台湾），元氣網，0.5公分之差長短脚造成膝蓋痠痛，2021.2.5.
 6. （地方紙）新聞，伊勢新聞，自分に合う靴で健康づくり，2021.2.26.
 7. （地方紙）新聞，千葉新聞，足裏の加齢変化に注意，2021.2.28.
 8. （地方紙）新聞，高知新聞，健康づくり靴選びから，2021.3.1.
 9. （地方紙）新聞，山口新聞，自分に合う靴で健康に，2021.3.1.
 10. （地方紙）新聞，神戸新聞，自分に合った靴で歩こう，2021.3.3.
 11. （地方紙）新聞，信濃毎日新聞，自分に合う靴で健康づくり，2021.3.9.
 12. （地方紙）新聞，山陰中央新聞，自分に合った靴選びを，2021.3.16.
- 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
日本整形靴技術協会（理事）（副会長）（事務局長），一般社団法人足と靴と健康協議会（理事），台湾足鞋健康協會（榮譽顧問）

7 その他の教育研究活動

- 1) 受賞，学位取得，資格取得
 1. 日本整形靴技術協会 最優秀論文賞（2021.2.20），共同受賞（共著者）
 2. 日本整形靴技術協会 優秀論文賞（2021.2.20），共同受賞（共著者）

- 8 学内委員会活動 大学院委員会，大学院入試広報委員会（委員長），研究プロジェクト演習（UROP）運営委員会（委員長），大学院教育研究環境委員会（副委員長），国際交流センター運営委員会

氏名：江原 義弘

- 1 研究題目 身体運動における発生筋張力，関節間力，消費エネルギーの計算に関する研究
- 2 著書
 1. AKOUETEVI ADUAYOM-AHEGO, Ehara Y, SARAH R. CHANG, GARY GUERRA. Fundamental Biomechanics (Translation). Amazon; 2021.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本義肢装具学会（評議委員），バイオメカニズム学会（評議委員），臨床歩行分析研究会（副会長），日本リハビリテーション医学会，ISPO国際義肢装具士協会（フェロー），日本臨床バイオメカニクス学会，日本靴医学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. Gait & Posture 誌，編集委員
 2. バイオメカニズム学会，歩行データベース構築部会
 3. VICONユーザーカンファレンス Webnar，総合司会，東京，2020.20.10.
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 基礎バイオメカニクスセミナー（初級編），講師，新潟医療福祉大学・臨床歩行分析研究会共催，オンライン，2020.9.26-9.27，10.4.
 2. 表面筋電図を活用するための動作分析セミナー，講師，インターリハ株式会社主催，オンライン，2020.12.26-12.27.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 夏季学生版歩行分析実習オンラインセミナー，2020.8.24-8.26.（指導）
 2. 春季学生版歩行分析実習オンラインセミナー，2021.3.19-3.21.（指導）

氏名：真柄 彰

- 1 研究題目 保健医療福祉連携教育，仮想事例データベースの開発，脊髄損傷データベースの分析，脊髄損傷における深部静脈血栓症の発生要因，脳卒中リハビリテーション
- 2 学会等研究発表
 1. 真柄彰. 脊髄損傷の麻痺域の痛み. 第13回日本運動器疼痛学会教育研修講演（日本整形外科学会教育研修講演）（新潟市），2020.11.30.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本リハビリテーション医学会（代議員），日本整形外科学会，日本義肢装具学会（社員），日本職業災害医学会，日本脊髄障害医学会，日本運動器科学学会（代議員），日本保健医療福祉連携教育学会（監事），新潟医療福祉学会，日本リハビリテーション工学協会，新潟整形外科学会，新潟リハビリテーション研究会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会，プログラム委員，京都市，2020.8.19-8.22.
 2. 日本義肢装具学会誌，査読，2020.5.
- 4 社会活動
 - 1) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟リハビリテーション研究会役員
- 5 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

1. 日本義肢装具学会功労会員 (2020.10.31)

6 学内委員会活動 新潟医療福祉大学診療所長

氏名：笹本 嘉朝

報告事項なし

氏名：須田 裕紀

1 研究題目 下腿義足ソケットのアライメントとソケット内圧力の関係, 能動義手のコントロールケーブルシステムの分析, 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発

2 論文

1. 前田雄, 林豊彦, 須田裕紀, 高橋素彦, 郷貴博, 東江由起夫, 相馬俊雄. 下腿義足ソケットの後壁面高さがソケット内接触圧力と歩容に与える効果. バイオメカニズム学会誌. 2020: 44巻 (4): 242-251.

2. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫. 義肢装具分野における3D-Printerの実用化に向けて. リハビリテーション・エンジニアリング. 2020: 35巻 (2): 74-84.

3. 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀. 義肢装具士養成校から見た働き方改革を進める教育. POアカデミージャーナル. 2021. 28巻4号: 197-204.

4. 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄, 勝平純司, 東江由起夫. 福祉の現場から 3D機器を活用した下腿義足ソケットの製作に関する研究. 地域ケアリング. 2020. 22巻 (5): 84-87.

3 学会等研究発表

1. 前田雄, 東江由起夫, 須田裕紀, 郷貴博. 3Dプリンタで造形製作した下肢装具の繰り返し耐久試験による特性比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.

2. 東江由起夫, 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀. 3Dプリンタ製SHBの実用化に向けた臨床評価 (第1報). 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.

3. 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀, 東江由起夫, 田村真明, 鷲巣貴志, 毛利孝裕. 3Dプリンタ製AFOと従来製AFOの繰り返し耐久試験による特性比較 -第2報-. 第36回日本義肢装具学会学術大会, 2020.10.31-11.1.

4. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫. 3DプリンタAFOの設計に向けたコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置における3DP-AFOとPP-AFOの比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.

5. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 3Dプリンタ製AFOの設計に向けた従来PP-AFOコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置による比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.

4 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本義肢装具士協会 (会員, 副編集委員長), 日本義肢装具学会 (会員), 臨床歩行分析研究会 (会員), 一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 (会員)

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本義肢装具士協会 副編集委員

2. 日本義肢装具学会 義手適合判定検討委員会

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2021.3.31.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
国家検定義肢装具技能検定実技試験 (検定委員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 若手研究, 義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化, 研究代表者
 2. 日社済社会福祉助成, frying-wheelchair-supporters, 研究代表者
 3. R2年度 県民助け合い基金 研究代表者
 4. ニッポー株式会社共同研究 (東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博)
- 2) 学外兼務講師等
1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2016.9-2021.3.
 2. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2016.4-2021.3.

氏名：高橋 素彦

- 1 研究題目 モーションセンサを用いた義足走行の評価システムに関する研究, 小型6軸力覚センサを用いた無拘束な義足歩行・走行計測法の開発, スノーボード用義足部の開発に関する研究, キトサンの抗菌効果の有用性と義肢装具材料への応用
- 2 論文
 1. 高橋素彦, 小野寺良二, 勝平純司, 三村宣治. 下肢切断者に対する動作解析法. 生体の科学. 2020 ; 71 (3) : 232-236.
 2. 高橋素彦, 須田裕紀, 平井瑠奈, 山村安優美, 市川瞳, 廣田茜子, 増田紘之, 伊藤直子. キトサン粉末を含有させた熱硬化性樹脂の抗菌効果の検証. 日本義肢装具学会誌. 2021;37 (4):(2020年度 (2021.1.12) 受理 印刷中)
- 3 学会等研究発表
 1. 桑名朋, 高橋素彦. 下腿義足スノーボードのアライメント設定に関する研究. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟県), 2020.10.31-11.15.
 2. 高橋素彦. 小型6軸力覚センサを用いた下腿義足歩行の力学的評価法の提案. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟県), 2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本機械学会, 日本義肢装具学会, 日本義肢装具士協会, 日本障害者スポーツ学会, 日本臨床バイオメカニクス学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 障害者陸上教室 (NUHW ParaTFC), 指導, 義肢装具自立支援学科, 四肢切断者, 新潟市 (新潟医療福祉大学内陸上競技場), 2020.9.27, 10.27, 11.22.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. WEB, パラサポWEB, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
 2. WEB, マイナビニュース, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
 3. 新聞掲載, 毎日新聞 (全国), 「ひと スポーツ用義足で障害者アスリートを支援」, 2020.7.30.
 4. WEB, NHK NEWS WEB, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 5. WEB, NSTホームページ, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 6. TV, NHK新潟, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 7. TV, NST, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 8. 新聞掲載, 新潟日報, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.10.
 9. WEB, PR TIMES, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.11.
 10. 新聞掲載, 毎日新聞 (新潟), 「義足でダッシュ!パラ陸上楽しむ 新潟医療福祉大学」, 2020.9.28.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 在宅生活を楽しむ会, 総務局長, 東京都, 2019.4.1-2021.3.31.
 2. 新発田市小学校パラスポーツ出前講座, 車椅子バスケ体験・ポッチャ体験・義足展示, 当日運営, 新潟県新発田市, 東豊小学校, 2020.9.7.

3. 新発田市小学校パラスポーツ出前講座, 車椅子バスケ体験・ボッチャ体験・義足展示, 当日運営, 新潟県新発田市, 東豊小学校, 2020.9.7.
 4. 新発田市小学校パラスポーツ出前講座, 車椅子バスケ体験・ボッチャ体験・義足展示, 当日運営, 新潟県新発田市, 東小学校, 菅谷小学校, 2020.9.8.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 小型6軸力覚センサを用いた無拘束な義足歩行・走行の運動学的評価法の開発(研究代表者)
- 7 学内委員会活動 広報委員会, 教育開発委員会, 学術委員会

氏名: 前田 雄

- 1 研究題目 下腿義足ソケット後壁高さがソケット適合と歩行に与える効果(工学), 3D Scan/Printerを用いた義肢装具製作支援システムの開発(義肢装具研究開発)
- 2 論文
 1. 前田雄, 林豊彦, 須田裕紀, 高橋素彦, 郷貴博, 東江由起夫, 相馬俊雄. 下腿義足ソケットの後壁面高さがソケット内接触圧力と歩容に与える効果. バイオメカニズム学会誌. 2020: 44巻(4): 242-251.
 2. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫. 義肢装具分野における3D-Printerの実用化に向けて. リハビリテーション・エンジニアリング. 2020: 35巻(2): 74-84.
 3. 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀. 義肢装具士養成校から見た働き方改革を進める教育. POアカデミージャーナル. 2021. 28巻4号: 197-204.
 4. 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄, 勝平純司, 東江由起夫. 福祉の現場から 3D機器を活用した下腿義足ソケットの製作に関する研究. 地域ケアリング. 2020. 22巻(5): 84-87.
- 3 学会等研究発表
 1. 前田雄, 東江由起夫, 須田裕紀, 郷貴博. 3Dプリンタで造形製作した下肢装具の繰り返し耐久試験による特性比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
 2. 東江由起夫, 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀. 3Dプリンタ製SHBの実用化に向けた臨床評価(第1報). 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
 3. 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀, 東江由起夫, 田村真明, 鷲巢貴志, 毛利孝裕. 3Dプリンタ製AFOと従来製AFOの繰り返し耐久試験による特性比較 -第2報-. 第36回日本義肢装具学会学術大会, 2020.10.31-11.1.
 4. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫. 3DプリンタAFOの設計に向けたコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置における3DP-AFOとPP-AFOの比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
 5. 郷貴博, 東江由起夫, 須田裕紀, 前田雄. 3Dプリンタ製AFOの設計に向けた従来PP-AFOコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置による比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会(会員), 日本義肢装具士協会(会員), 日本義肢装具学会(編集委員長), 臨床歩行分析研究会(会員), 臨床バイオメカニクス学会(会員), 日本シーティング・コンサルタント協会(会員), バイオメカニズム学会(会員)
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 空飛ぶ車いすプロジェクト, 空飛ぶ車いすサークル, 顧問, 2018.4.1-2021.3.31.
 - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
国家検定義肢装具技能検定実技試験(検定委員)
- 6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 日社済社会福祉助成, frying-wheelchair-supporters, 研究代表者
 2. R2年度 県民助け合い基金 研究代表者
 3. ニッポー株式会社共同研究（東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博）
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
博士（工学）（2020.9.23）
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学, 義肢装具学, 2016.9-2021.3.
 2. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2016.4-2021.3.
- 7 学内委員会活動 入試委員会, 広報委員会, 就職センター運営委員会

氏名：郷 貴博

- 1 研究題目 大腿義足歩行に関する研究, 3D機器を用いた下腿義足ソケット設計・評価に関する研究, 3D機器を用いた短下肢装具開発に関する研究
- 2 論文
 1. 前田雄, 林豊彦, 須田裕紀, 高橋素彦, 郷貴博, 東江由起夫, 相馬俊雄. 下腿義足ソケットの後壁面高さがソケット内接触圧力と歩容に与える効果. バイオメカニズム学会誌. 2020; 44(4): 242-251.
 2. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫. 義肢装具分野における3D-Printerの実用化に向けて. Rehabilitation Engineering. 2020; 35(2): 76-84.
 3. 郷貴博, 須田裕紀, 前田雄, 勝平純司, 東江由起夫. 3D機器を活用した下腿義足ソケットの製作に関する研究. 地域ケアリング. 2020; 22(5): 84-87.
- 3 学会等研究発表
 1. 東江由起夫, 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀. 3Dプリンタ製SHBの実用化に向けた臨床評価（第1報）. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2020.10.31-11.15.
 2. 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫. 3DプリンタAFOの設計に向けたコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置における3DP-AFOとPP-AFOの比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2020.10.31-11.15.
 3. 郷貴博, 東江由起夫, 前田雄, 須田裕紀. 3Dプリンタ製AFOの設計に向けた従来PP-AFOコルゲーションの分析 コルゲーション設定位置による比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2020.10.31-11.15.
 4. 前田雄, 東江由起夫, 須田裕紀, 郷貴博. 3Dプリンタで造形製作した下肢装具の繰り返し耐久試験による特性比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2020.10.31-11.15.
 5. 相田健吾, 大山智己, 郷貴博. 短下肢装具採型肢位の違いにおける下腿部の形状変化について. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2020.10.31-11.15.
 6. 佐藤龍一, 郷貴博. 3Dスキャナを用いたライナー式下腿義足ソケットにおける最適形状の検討. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2020.10.31-11.15.
 7. 前田雄, 須田裕紀, 郷貴博, 東江由起夫, 毛利孝裕, 鷲巢貴志. 3Dプリンタ製AFOと従来製AFOの繰り返し耐久試験による特性比較 -第2報-. 第36回日本義肢装具学会学術大会（東京）, 2020.10.31-11.1.
 8. 東江由起夫, 江原義弘, 真柄彰, 阿部薫, 笹本嘉朝, 須田裕紀, 前田雄, 高橋素彦, 郷貴博, 佐藤未希. 新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科ISPO P&O（旧Category I）養成教育機関の認証取得. 第36回日本義肢装具学会学術大会（東京）, 2020.10.31-11.1.
 9. 佐藤未希, 江原義弘, 真柄彰, 阿部薫, 笹本嘉朝, 須田裕紀, 前田雄, 高橋素彦, 郷貴博, 東江由起夫. 新潟医療福祉大学における学生プロファイルの取り組み. 第36回日本義肢装具学会学術大会（東京）, 2020.10.31-11.1.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会, 臨床歩行分析研究会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 高志中等教育学校土曜活用講座, 3Dスキャン! コンピュータ制御! 最先端テクノロジーによる義肢装具の世界, 講師, 新潟市立高志中等教育学校, 中学・高校生, 新潟市, 2020.11.21.
2. 新発田市小学校パラスポーツ出前講座, 講師, 新発田市, 小学生, 新発田市内小学校, 2020.9.7-9.10.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. WEB, パラサポWEB, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
2. WEB, マイナビニュース, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
3. 新聞掲載, 新潟日報, 「新型コロナウイルスの影響による子どもの運動離れ」, 2020.8.25.
4. WEB, NHK NEWS WEB, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
5. WEB, NST ホームページ, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
6. TV, NHK新潟, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
7. TV, NST, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
8. 新聞掲載, 新潟日報, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.10.
9. WEB, PR TIMES, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.11.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室, スポーツ用義足の調整, 指導, 新潟医療福祉大学, 2020.4.1-3.31.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費基盤研究(C), アライメント調整不良が大腿義足歩行に及ぼす影響-ソケット内転角について-, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究(C), 大腿義足歩行・走行時に生じる代償動作改善を目指した装着型機器の開発と評価, 研究分担者
3. 2020年度, ニッポー株式会社共同研究費, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 千葉県立保健医療大学, 義肢装具学, 義肢装具学演習, 2020.4.1-9.30.

7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会

氏名: 佐藤 未希

- 1 研究題目 義足使用者の性差における断端周径変化の研究, スポーツ義足のソケット評価に関する研究, 大腿義足膝継手が歩行に及ぼす影響に関する研究

2 報告書

1. 佐藤未希, 勝平純司, 東江由起夫, 研究基盤(C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化量が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究成果報告書, 2018-2020 (研究代表者)

3 学会等研究発表

1. 佐藤未希, 東江由起夫, 江原義弘, 真柄彰, 阿部薫, 笹本嘉朝, 須田裕紀, 前田雄, 高橋素彦, 郷貴博, 新潟医療福祉大学における学生プロフィールの取り組み, 第36回日本義肢装具学会学術大会(東京), 2020.11.1.
2. 東江由起夫, 江原義弘, 真柄彰, 阿部薫, 笹本嘉朝, 須田裕紀, 前田雄, 高橋素彦, 郷貴博, 佐藤未希, 新潟医療福祉大学義肢装具自立支援学科ISPO P&O(旧Category I)養成教育機関の認証取得に, 第36回日本義肢装具学会学術大会(東京), 2020.11.1.

3. 島津愛有, 鳥越佑香, 土橋茜, 佐藤未希. 日内変動における浮腫みが下肢周径値に与える影響. 第20回新潟医療福祉学会学術大会(新潟市), 2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本義肢装具士協会, 日本義肢装具学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構, 令和2年度 障害者職業生活相談員資格認定講習, 医学的リハビリの立場から見た障害特性, 講師, 新潟テルサ, 2020.10.27.
 2. 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構, 令和2年度 障害者職業生活相談員資格認定講習, 医学的リハビリの立場から見た障害特性, 講師, 新潟テルサ, 2020.12.10.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. WEB, パラサポWEB, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
 2. WEB, マイナビニュース, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
 3. 新聞掲載, 新潟日報, 「新型コロナウイルスの影響による子どもの運動離れ」, 2020.8.25.
 4. WEB, NHK NEWS WEB, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 5. WEB, NST ホームページ, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 6. TV, NHK新潟, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 7. TV, NST, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 8. 新聞掲載, 新潟日報, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.10.
 9. WEB, PR TIMES, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.11.
 10. NTT ホームページ, オリピック聖火ランナーweb動画, 2020.2.12-現在も公開中
 11. 毎日新聞, 義足でダッシュ!パラ陸上楽しむ, 2020.9.28.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟医療福祉大学障がい者陸上教室, スポーツ用義足の調整, 指導, 新潟医療福祉大学, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 株式会社ナブテスコ, 膝継手開発フィールドテスト, 被験者, 新潟医療福祉大学, 2016.12-現在
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究(C), 女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化が義足ソケットに及ぼす影響について, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, FD委員会, 入試委員会

3) 医療技術学部

(1) 臨床技術学科

氏名：中村 藤夫

- 1 研究題目 血液浄化療法におけるバスキュラーアクセスに関する研究, 移植医療における医療系学生の認識に関する研究, 医療現場の感染管理, 新しい医療職種としての臨床技術者の役割に関する研究
- 2 著書
 1. 中村藤夫, 14. 安全対策と事故対策. 公益社団法人 日本臨床工学技士会 専門臨床工学技士テキスト -血液浄化編- (第9版), 2020;改定第9版:220-241.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 一般社団法人 新潟県臨床工学技士会, (社)日本臨床工学技士会, (社)日本透析医学会, 日本集中治療医学会, 日本プロテオーム学会 (JHUPO)
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本臨床工学技士会 JACET Academy 専門委員 (透析関連), 透析技能検定試験制度協議会 試験作成委員, 新潟県臨床工学技士会名誉会員, 豊栄病院 倫理委員会倫理委員

氏名：追手 巍

- 1 研究題目 腎死に至る糸球体硬化への進行機序の解明 (腎臓病学, 薬物治療学), 臨床医学総論の講義法の工夫 (臨床医学総論教育学), 日本語表現法の講義法の工夫 (日本語表現法)
- 2 論文
 1. Fujii Y, Tatsumi E, Nakamura F, Oite T. PaO₂ greater than 300 mmHg promotes an inflammatory response during extracorporeal circulation in a rat extracorporeal membrane oxygenation model. *Journal of Thoracic Disease* 12(3):749-757, 2020.
 2. Ikegami K, Watanabe G, Kumagai J, Fujii Y, Watanabe H, Oite T. The apparition macrophage and Doderlein bacillus is negatively correlated in class I Papanicolaou smear: A morphological examination. *Diagnostic Cytopathology* 1:1-6, 2020.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 世界腎臓学会 (一般会員), 日本腎臓学会功労者, 日本病理学会功労会員, 新潟医療福祉学会理事
 - 2) 学会等でのその他の活動
新潟県検査技師 篠川賞選考委員会委員
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. にいがた市民大学運営委員会委員長
 2. 公益財団法人新潟医学振興会理事会
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 医療法人社団 共生会 理事
 2. 社会医療法人 新潟臨港保健会 評議員
 - 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟大学認定再生医療等委員会 (外部委員), 新潟大学工学部倫理委員会 (外部委員)
 - 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
公益財団法人新潟医学振興会理事長
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校, 学校長 (2020.4.1より)

2. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校, 看護学科病理学, 病態学科目授業

6 学内委員会活動 学術委員会 (委員)

氏名 : 久保野 勝男

1 研究題目 臨床検査の国際標準化に関する研究 (臨床化学), 臨床検査技術の質向上と安全管理システムに関する研究 (医療安全管理学), 脂質代謝と動脈硬化に関する研究 (検査診断学), 臨床検査の精度管理に関する研究 (検査総合管理学)

2 著書

1. 久保野勝男, 第1章. 臨床検査総論Ⅱ. 臨床検査室の第三者認定 (ISO 15189). 臨床検査法提要 (第35版), 62-74, 2020.

3 論文

1. 柴田真由美, 久保野勝男, 他. 臨床検査室における受入不可検体の削減に向けたリスクマネジメント. 生物試料分析, 2020; 43(2):153-160.

2. 高橋一哲, 久保野勝男, 他. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. 生物試料分析, 2021; 44(1,2): 20-25.

3. 井口啓太, 久保野勝男, 他. 臨床検査業務における専門領域以外の検査実施に対する要員教育の検討 ～尿沈渣検査における2種類の教育方法を比較検証して～. 生物試料分析, 2021; 44(1,2): 26-33.

4 学会等研究発表

1. Kubono K. Symposium (External Auality Assurance System), Current Status of External Quality Assurance System in Japan. LMCE2020 & KSLM. Seoul, Korea (Web), Sep.24. 2020.

2. 久保野勝男, 脂質検査項目の意味と数値改善への取り組み. 新潟県健康づくり財団「特定健康診査従事者研修会」. 新潟市 (Web), 2021.3.15-3.24.

5 学会活動

1) 所属学会 生物試料分析科学会 (常任理事, 甲信越支部長), 日本臨床検査医学会, 日本臨床化学会, 医療の質・安全学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 2020年度第2回生物試料分析科学会理事会 開催準備, 庶務委員長, Web, 2020.12.24.

2. 2020年度生物試料分析科学会常任理事会 総会開催準備, 庶務委員長, Web, 2021.3.20.

3. 臨床化学会甲信越支部総会, 生物試料分析化学会甲信越支部総会, 臨床化学会YIA選考会開催運営, Web, 2021.2.14.

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟医療福祉大学大学院 医療技術安全管理学講座 学術・教育・特別講演会, 教育講演, 医療法等改正に伴い教育に求められること. 新潟医療福祉大学, 新潟市, 2019.11.2.

2. 第31回臨床検査精度管理調査結果報告会, 特別講演, 法改正 (臨床検査の精度の確保) によって臨床検査室にもとめられること. 富山県臨床検査技師会, 臨床検査従事者, 富山市, 2019.12.1.

3. 日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会/生物試料分析科学会甲信越支部新潟分科会 第16回研修会合同研修会, Lp(a) : Lipoprotein (a) 今昔物語. 新潟大学医歯学総合病院, 新潟市, 2020.3.30.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

適合性評価分野産業標準作成委員会 (委員長), ISO/TC212国内検討委員会委員, 公益社団法人全国労働衛生団体連合会 臨床検査精度管理委員会委員, 公益財団法人日本適合性認定協会 技術アドバイザー, 公益財団法人日本適合性認定協会 認定審査員

7 学内委員会活動 大学院FD委員会 (委員長)

氏名：小澤口 治樹

- 1 研究題目 各種センサーを用いた生体信号検出装置や環境測定装置の開発，特に放射線センサ，紫外線センサ，においセンサの研究開発
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 電子情報通信学会，新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会（副委員長），社会連携推進センター運営委員会，新潟連携教育研究センター運営委員会，AO室委員

氏名：高野 操

- 1 研究題目 医療関連感染における感染制御に関する研究，物質のバイオフィル形成と微生物抑制に関する研究，感染症の疫学統計解析の研究
- 2 学会活動
 - 1) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟県臨床検査技師会，表彰委員として学術活動の評価を担当
 2. 日本臨床微生物学会にに参加した，2021.1.31，東京，web
- 3 社会活動
 - 1) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟県・新潟市合同精度管理専門員会議（委員），医療関連サービス進歩会（関東甲信越地区委員）
 - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県臨床検査技師会委員，新潟県臨床衛生検査技師会新潟支部委員，新潟化学療法研究会幹事，新潟臨床微生物研究会副幹事長

氏名：長濱 大輔

- 1 研究題目 医療技術安全管理学に関する研究，医療安全管理学に関する研究，尿路系の臨床検査診断学に関する研究，細胞診断学に関する研究
- 2 論文
 1. Fujii Y, Sumikra H, Nagahanma D. Establishment of a Novel Miniature Venovenous Extracorporeal Membrane Oxygenation (V-VECMO) Model in the Rat. *Artificial Organs*. 2020; 00:1-5.
 2. 高橋一哲，久保野勝男，涌井萌香，高岡幸子，長谷川千春，芳賀博子，阿部哲也，井口啓太，藤井豊，池上喜久夫，長濱大輔．自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果．*生物試料分析*．2021; 43 (1・2): 20-25.
 3. 井口啓太，久保野勝男，小林徹，林美佳子，柴田真由美，高橋一哲，阿部拓也，藤井豊，池上喜久夫，長濱大輔．臨床検査業務における専門領域以外の検査実施に対する要員教育の検討～尿沈渣検査における2種類の教育方法を比較検証して～．*生物試料分析*．2021; 43 (1・2): 26-33.
- 3 学会等研究発表
 1. 井口啓太他：尿沈渣検査における要員教育と内部精度管理における効果の検証．第69回日本医学検査学会（Web開催），2020.9.
 2. 高橋一哲他：自動分析における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果．第69回日本医学検査学会（Web開催），2020.9.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本臨床検査医学会，日本臨床細胞学会，医療の質・安全学会，日本臨床検査学教育学会（評議員），日本医療機器学会，日本臨床衛生検査技師会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医学部非常勤講師，2020.4.1-2021.3.31.

2. 大阪大学大学院医学系研究科招へい教授（がん専門医療人材養成プランゲノム世代高度医療人の養成事業），2020.4.1-2021.3.31.

6 学内委員会活動 大学院委員会，大学院入試広報委員会

氏名：丸野 透

- 1 研究題目 IoTに適した高機能医用電気・電子・光学材料とそれを用いたセンシング技術
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 電子情報通信学会（IEICEフェロー）
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 電子情報通信学会有機エレクトロニクス研究専門委員会顧問
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市立高志中等教育学校土曜活用大学（ビジネス）講座講師（2020.12.19）

氏名：川村 宏樹

- 1 研究題目 マクロファージにおけるNF- κ B抑制因子による炎症反応の制御機構，悪性腫瘍治療患者における輸血検査偽陽性に対する新規回避法の確立
- 2 報告書
 1. 川村宏樹，基盤C，成人T細胞白血病の癌関連蛋白USP10によるNF- κ Bを用いたマクロファージの機能制御，研究成果報告書，2020研究代表者）
- 3 学会等研究発表
 1. 川村宏樹，井上遙菜，源間紗奈，酒井苑夏，「生理食塩水のpH変動における輸血検査結果に与える影響」，第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2020.10.31.
 2. 長谷川直緒，石川日菜，鈴木茜，川村宏樹，「間接蛍光抗体法における没食子酸プロピルの退色防止効果と有用性の検討」，第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟），2020.10.31.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本免疫学会，日本寄生虫学会，日本生体防御学会，肝臓研究会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2017年度，科研費基盤研究（C），新規NF- κ B抑制因子による炎症性腸疾患における慢性炎症の制御機構（研究代表者）
- 6 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会（委員長），遺伝子組換え実験安全委員会（副委員長），大学諮問三位一体WG（国試資格員会委員長）

氏名：牧口 智夫

- 1 研究題目 プロテオーム解析におけるフケ混入データの自動抽出・除去プログラムの開発（構造病理学），次亜塩素酸Na活性水の殺菌効果についての研究（臨床工学），微生物検査装置ルミテスターPD-30の透析環境清浄化への応用（臨床工学），Pain Visionを用いた採血穿刺時の痛みの検討（臨床工学）
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床工学会，日本再生医療学会，日本プロテオーム学会，新潟医学会，新潟県臨床工学技士会，新潟医療福祉学会
- 3 学内委員会活動 教育開発委員会（副委員長），研究プロジェクト演習運営委員会委員会（副委員長），入試委員会

氏名：渡邊 博昭

- 1 研究題目 日本人成人女性の骨密度の長期変化
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本不整脈心電学会, 医療の質・安全学会, 日本臨床検査教育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟乳腺エコー研究会, 代表世話人, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 第14回にいがた乳腺エコー研究会, 代表世話人, 新潟県 (Web), 2020.12.13.
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団, 評議委員, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 新潟県検診精度管理調査委員会, 委員, 2020.4.1-2021.3.31.
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器等検診部会委員, 新潟県民医療推進協議会委員
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県臨床検査技師会 (会長), 新潟県臨床検査技師会 (表彰委員長), 新潟県臨床検査技師会 (災害対策委員長), 新潟県臨床検査技師会 (精度保証施設認定委員長), 新潟県臨床検査技師会 (公益委員長)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 基盤研究 (B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校, 病態生理学, 2020.10.29-2021.1.27.
- 5 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員, 就職センター運営委員会

氏名：浅井 孝夫

報告事項なし

氏名：池上 喜久夫

- 1 研究題目 細胞診に関する研究 (病理学), 医療安全管理学に関する研究 (医療安全)
- 2 論文
 1. Ikegami K, Watanabe G, Kumagai J, Fujii Y, Watanabe H, Oite T. The Apparition Macrophage and Doderlein Bacillus is negatively correlated in Class I Papanicolaou Smear, Diagnostioc Cytopathology. 2020; 48(12):1205-1210.
 2. 高橋一哲, 久保野勝男, 涌井萌香, 嵩岡幸子, 長谷川千春, 芳賀博子, 阿部拓也, 井口啓太, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. 生物試料分析. 2021; 44(1.2): 20-25.
 3. 井口啓太, 久保野勝男, 小林徹, 林美佳子, 柴田真由美, 高橋一哲, 阿部拓也, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 臨床検査業務における専門領域以外の検査実施に対する要員教育の検討. 生物試料分析. 2020; 44(1.2): 26-33.
 4. Fujii Y, Abe T, Ikegami K. Diabetic Pathophysiology Enhances Inflammation during Extracorporeal Membrane Oxygenation in a Rat Model. Membrane. 2021; 11(4): 283.
- 3 学会等研究発表
 1. 井口啓太, 柴田真由美, 小池敦, 久保野勝男, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 尿沈渣検査における要員教育と内部精度管理による効果の検証. 69回日本医学検査学会 (仙台市), 2020.4.25.

2. 高橋一哲, 芳賀博子, 久保野勝男, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. 69回日本医学検査学会(仙台市), 2020.4.25.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床検査技師会, 日本病理学会, 日本臨床細胞学会, 医療の質安全学会, 日本臨床検査医学会, 新潟県臨床検査技師会, 新潟県臨床細胞学会, 新潟県細胞検査士会

氏名: 大山 富三

- 1 研究題目 腎臓(糸球体)のポドサイトとPEC細胞の培養細胞の樹立

2 論文

1. Oyama T, Yaoita E, Yoshida Y, Ikarashi A, Fujinaka H. Distinct differences between cultured podocytes and parietal epithelial cells of the Bowman's capsule. Cell and Tissue Research. 2020; 380(3): 581-591.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床工学技士会, 新潟県臨床検査技師会, 新潟県臨床工学技士会, 日本血液学会, 日本検査血液学会, 日本プロテオーム学会, 新潟医療福祉学会

- 4 学内委員会活動 教務委員会, FD委員会

氏名: 小野 等

- 1 研究題目 人工心肺における送血流が血管に与える影響について, 送血カニューレからの送血流型の目視化モデルについて

2 論文

1. 柴田真由美, 久保野勝男, 佐々岡秀之, 小林徹, 井口啓太, 小池敦, 高橋一哲, 小野等, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 臨床検査室における受け入り不可検体の削減に向けたリスクマネジメント

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 東京と臨床工学技士会, 体外循環技術医学会, 新潟医療福祉学会

4 社会活動

- 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
日本臨床工学技士教育施設協議会(試験委員)

5 その他の教育研究活動

- 1) 学外兼務講師等
1. 国際メディカル専門学校臨床工学技士科(生体機能代行装置学・体外循環) 2020.12.

- 6 学内委員会活動 入試委員会

氏名: 高橋 良光

- 1 研究題目 血液浄化用バスキュラーアクセスの開発(医用工学), 超音波診断装置を用いた穿刺成功率の評価(医用工学), 透析用穿刺針の形状解析と定量的評価(医用工学), 国際緊急援助活動に用いる医療機器に必要な点検および管理方法の検討(災害医療), 携帯電話の電波が医療機器の動作に与える影響(医用工学)

2 論文

1. 高橋良光. 血液透析用穿刺針の先端構造の違いがブタ静脈血管に与える影響. アクセス2020. 2020; 89: 193-195.
2. 高橋良光. COVID-19における臨床工学技士養成校の対応~新潟医療福祉大学の場合~, 新潟県臨床工学技士会会誌. 2020; 51: 21-27.

3 報告書

1. 高橋良光. 奨励研究費B, 透析用カテーテルの構造の違いが血栓形成に与える影響~ブタ血液を用いて~, 研究成果報告書, 2020, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 高橋良光. ミャンマー国メディカルエンジニア育成体制強化プロジェクト活動報告. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟・日本), 2020.10.31.
2. 池ノ内孝篤, 高橋良光. 血液浄化用カテーテルの違いは脱血性能に影響を与えるか. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟・日本), 2020.10.31.
3. 高橋良光. 透析用カテーテルの構造の違いが血栓形成に与える影響～ブタ血液を用いて～. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟・日本), 2020.10.31.
4. 高橋良光, 山本卓, 成田一衛, 追手巍. 血液透析用穿刺針の先端構造の違いが血管に与える影響. 第65回日本透析医学会 (大阪・日本), 2020.11.2-11.24.
5. Takahashi Y, Yamamoto S, Narita I, and Oite T. Manual technique for the prevention of hemodialysis catheter suction toward the vessel wall during continuous renal replacement therapy. 第65回日本透析医学会 (大阪・日本), 2020.11.2-11.24.
6. Takahashi Y, Yamamoto S, Narita I, and Oite T. The structure of hemodialysis catheter may alter the actual blood flow rate in hemodialysis therapy in vitro. AKI & CRRT (San Diego・USA), 2021.2.28-3.5.
7. 阿部拓也, 高橋良光. 超音波診断用造影剤Sonazoidが生体へ及ぼす影響－臓器Real time PCRを用いた検討－. 日本臨床化学会, 2021.2.14.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本臨床工学技士会, 日本急性血液浄化学会, 日本呼吸療法医学会, 日本透析医学会, 日本アクセス学会, 新潟医学会, 新潟県臨床工学技士会 (理事), 日本集中治療医学会, Niigata Blood Purification Conference (世話人), 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. Niigata Blood Purification Conference, Niigata Blood Purification Conference2020, 運営・企画・会場設営, 新潟市, 2021.2.7.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県ニーズ説明会, 新潟県医療機器ニーズ説明会, 企画・準備・運営, 新潟県, 一般企業, 新潟市, 2021.3.19.
 2. 未来戦略セミナー, もしもし遠隔ICUです, 準備・運営, 大阪府臨床工学技士会, 医療従事者, WEB, 2020.10.8.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. JAEFCE, 入試委員会 問題検討会議, 問題作成委員長, WEB会議, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. JAEFCE, 入試委員会 模試作成, 試験委員, WEB会議, 2020.4.1-2021.3.31.
 3. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 電波管理のセミナー開催について, 有識者, 書面決議, 2020.11.6.
 4. 信越地域の医療機関における電波利用推進協議会, 活動報告, 有識者, 書面決議, 2021.3.24.
 5. 新潟県医師会, 健康長寿延伸フォーラム, 理事, WEB, 2021.2.22.
 6. 新潟県臨床工学技士会, 理事会会議, 理事, 新潟市・WEB, 2020.4.1-2021.3.31. (7回)
 7. 新潟県臨床工学技士会, 編集委員会会議, 編集委員, 長岡市・WEB, 2020.4.1-2021.3.31. (3回)
 8. 新潟県臨床工学技士会, 広報委員会会議, 広報委員, 新潟市・WEB, 2020.4.1-2021.3.31. (3回)
 9. 新潟県臨床工学技士会, 医工連携委員会会議, 医工連携委員, 新潟市・WEB, 2020.4.1-2021.3.31. (3回)
 10. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム メディカル・サプライ班会議, 班員, WEB, 2020.4.1-2021.3.31. (10回)
 11. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム 中級研修, 企画・運営, WEB, 2020.10.10.

12. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム ロジスティックス合同検証会, 医療機器評価, JICA横浜, 2020.11.19.
13. 独立行政法人国際協力機構, 廃棄物運用検討会, 透析部門管理, WEB, 2020.12.24.
14. 独立行政法人国際協力機構, 医療機器検討会, 機器選定, WEB, 2021.1.5.
15. 独立行政法人国際協力機構, 国際緊急援助隊医療チーム 上級研修, 企画・運営, WEB, 2021.1.24.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム隊員, 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チームメディカルサブライ班班員, 独立行政法人国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム講師, 総務省信越総合通信局信越地域の医療機関における電波利用推進協議会構成員
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県臨床工学技士会(広報委員会委員), 新潟県臨床工学技士会(編集委員会委員), 新潟県臨床工学技士会(呼吸療法委員会委員), 日本臨床工学技士教育施設協議会(試験委員会委員), 日本臨床工学技士教育施設協議会(教科書委員会委員), 本臨床工学技士教育施設協議会(問題作成委員長)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 日本透析医会公募研究助成, 透析用カテーテルの機能不全防止システムの開発, 高橋良光
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 剣道部, 令和二年度北信越学生剣道大会, 団体, 女子Aチーム準優勝, 上越市, 2021.3.21.(コーチ)
 2. 剣道部, 令和二年度北信越学生剣道大会, 団体, 女子Bチームベスト8, 上越市, 2021.3.21.(コーチ)
- 8 学内委員会活動 教育開発委員会, 国際交流センター運営委員会, 入試問題検討部会

氏名: 藤井 豊

- 1 研究題目 体外循環中の生体反応評価, 体外循環デバイスの研究開発
- 2 論文
 1. Fujii Y. Evaluation of inflammation caused by cardiopulmonary bypass in a small animal model. *Biology (Basel)(JCR)*. 2020;9(4).
 2. Fujii Y, Akamatsu N, Yamasaki Y, Miki K, Banno M, Minami K, Inamori S. Development of a pulsatile flow-generating circulatory assist device (K-Beat) for use with veno-arterial extracorporeal membrane oxygenation in a pig model study. *Biology (Basel)(JCR)*. 2020;9(6):E121.
 3. Ikegami K, Watanabe G, Kumagai J, Fujii Y, Watanabe H, Oite T. The apparition macrophage and Doderlein bacillus is negatively correlated in class I Papanicolaou smear: A morphological examination. *Diagn Cytopathol (JCR)*. 2020;48(12):1205-1210.
 4. Fujii Y, Sumikura H, Nagahama D. Establishment of a novel miniature veno-venous extracorporeal membrane oxygenation (V-V ECMO) model in the rat. *Artif Organs(JCR)*. 2021;45(1):63-67.
 5. Pearson J, Thambyah HP, Waddingham MT, Inagaki T, Sukumaran V, Ngo JP, Ow CP, Sonobe T, Chen YC, Edgley AJ, Fujii Y, Du CK, Zhan DY, Umetani K, Kelly D, Tsuchimochi H, Shirai M. Beta-blockade Prevents Coronary Macro and Microvascular Dysfunction Induced by a High Salt Diet and Insulin Resistance in the Goto-Kakizaki Rat. *Clin Sci (Lond)(JCR)*. 2021 Jan 29;135(2):327-346.
- 3 報告書
 1. 藤井豊, 科研費基盤研究(C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする -小動物モデルでの検討-, 研究成果報告書, 2018-2020 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. Nobori Y, Hara S, Fukumoto K, Nakao K, Fujii Y, Ono T, Isoyama T, Nakajima J, Anraku M. Evaluation of pulmonary artery flow with ultrasonic flowmeter for protecting native lungs under pulmonary artery-left atrium ECMO. *ASAIO 65th Annual Conference (オンライン開催)*, 2020.6.10-

6.13.

- 堀田一樹, 藤井豊, 間藤慶也, 池田光功, 梅木沙彩, 森下慎一郎, 椿淳裕. 高酸素血症モデルラットにおける骨格筋の酸素動態. 第75回日本体力医学会 (オンライン開催), 2020.9.24-9.26.
- 加藤大喜, 橋本浩平, 森彰平, 重盛林太郎, 野田祐基, 松平秀樹, 平野純, 藤井豊, 大塚崇. ラット veno-venous extracorporeal membrane oxygenation (VV-ECMO) モデル. 第37回日本呼吸器外科学会学術集会 (オンライン開催), 2020.9.29-10.12.
- 井口啓太, 柴田真由美, 小池敦, 久保野勝男, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 尿沈渣検査における要員教育と内部精度管理による効果の検証. 第69回日本医学検査学会 (オンライン開催), 2020.10.1-10.31.
- 高橋一哲, 涌井萌香, 嵩岡幸子, 芳賀博子, 久保野勝男, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. 第69回日本医学検査学会 (オンライン開催), 2020.10.1-10.31.
- 堀田一樹, 藤井豊, 森下慎一郎, 井上達朗, 椿淳裕. ECMO管理中の骨格筋酸素動態 -リン光クエンチング法を用いた計測-. 第24回 酸素ダイナミクス研究会 (オンライン開催), 2020.10.10.
- 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断用造影剤 Sonazoid が生体へ及ぼす影響 -臓器 Real time PCR を用いた検討-. 第38回日本臨床化学会甲信越支部学会 (オンライン開催), 2021.2.14.

5 学会活動

- 所属学会 日本臨床工学技士会, 日本体外循環技術医学会 (学術委員会 研究推進部会 部会員), 日本人工臓器学会 (評議員, 研究推進部会員), 日本生理学会, 日本集中治療学会, 日本心不全学会, 米人工臓器学会, IEEE, 新潟医療福祉学会
- 学会等でのその他の活動
 - 日本人工臓器学会, プログラム委員, 高知市, 2020.11.12-11.14.

6 社会活動

- 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本臨床工学技士教育施設協議会 (教育委員)

7 その他の教育研究活動

- 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 - 2018年度, 科研費基盤研究 (C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする -小動物モデルでの検討-, 研究代表者
 - 2020年度, AMED 令和2年度「ウイルス等感染症対策技術開発事業」, 「ラットのVV-ECMOモデルを利用したCOVID19によるARDSに対する新たな治療戦略の開発」, 研究分担者
- 学内部活動の実績
 - さーびす ~20歳からの子宮頸がん予防~ (顧問)
- 学外兼務講師等
 - 国立循環器病研究センター研究所人工臓器部, 派遣研究員, 2016.4- (継続)
 - 東京大学呼吸器外科, 客員研究員, 2017.8- (継続)

8 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会, 動物実験委員会 (副委員長)

氏名: 佐々木 一真

- 研究題目 血液透析患者のシャント音に関する研究
- 学会等研究発表
 - 佐々木一真, 新江義正, 奥知子, 山内忍, 本橋由香, 佐藤敏夫, 阿岸鉄三. 粒子画像流速測定法を用いた動静脈吻合モデルの可視化. 第59回日本生体医工学学会大会 (岡山県), 2020.5.25-27.

氏名：森田 邦恵

- 1 研究題目 エクソソーム発現解析によるメラノーマ新規腫瘍マーカーの探索（遺伝子検査学）
- 2 学会等研究発表
 1. 森田邦恵, 山田倫生, 伊藤七海, 大橋歩実, 笹木南菜, 遠山莉奈, 土沼理紗, 南澤みゆき. エクソソーム抽出試薬の比較・検討－CD9リアルタイムPCR法によって－. 第69回 医学検査学会 (Web), 2020.10.1-31.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉大学, 再生医療学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床検査学教育学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 基盤C, ループリックとストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学脳研究所附属動物資源開発分野非常勤研究員, 2020.4.1-2021.3.31.
- 5 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員・連携教育研究部会

氏名：阿部 拓也

- 1 研究題目 超音波診断用造影剤の弊害, 共役リノール酸内服時の生体反応, バスキュラーアクセス再狭窄の要因
- 2 著書
 1. 阿部拓也. 一般社団法人日本臨床工学技士教育施設協議会編 第33回臨床工学技士国家試験問題解説集. 1版. 東京都:へるす出版; 2020: 104-111.
- 3 論文
 1. Fujii Y, Abe T, Ikegami K. Diabetic Pathophysiology Enhances Inflammation during Extracorporeal Membrane Oxygenation in a Rat Model. *Membranes (Basel)*. 2021; 11(4): 283-293.
 2. 高橋一哲, 久保野勝男, 涌井萌香, 嵩岡幸子, 長谷川千春, 芳賀博子, 阿部拓也, 井口啓太, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. *生物試料分析*. 2021; 43 (1・2): 20-25.
 3. 井口啓太, 久保野勝男, 小林徹, 林美佳子, 柴田真由美, 高橋一哲, 阿部拓也, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 臨床検査業務における専門領域以外の検査実施に対する要因教育の検討～尿沈渣検査における2種類の教育方法を比較検証して～. *生物試料分析*. 2021; 43 (1・2): 26-33.
- 4 学会等研究発表
 1. 超音波診断用造影剤Sonazoidが生体へ及ぼす影響－臓器Real time PCRを用いた検討－. 第38回日本臨床化学会甲信越支部学会 (Web), 2021.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 新潟県臨床検査技師会, 日本超音波医学会, 日本超音波検査学会, 日本生理学会, 日本臨床化学会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
日本臨床衛生検査技師学会 支部学術奨励賞 (2020), 日本臨床化学会 Young Investigator Award(YIA) (2021)

氏名：熊谷 順子

報告事項なし

氏名：齋藤 幸

1 研究題目 マッサージ後の唾液アミラーゼ測定値の変化

2 学会活動

1) 所属学会 日本臨床衛生検査技師会, 新潟医療福祉大学学会

(2) 視機能科学科

氏名：前田 史篤

- 1 研究題目 瞳孔視野計による他覚的視野測定法の開発, メラノプシン含有網膜神経節細胞の機能評価, 眼精疲労の他覚評価, スポーツビジョンの実践的研究
- 2 論文
 1. Maeda F, Yaoeda K, Tatara S, Tsukahara Y, Miki A. Evaluation of changes in intraocular pressure with a noncontact tonometer in healthy volunteers. Clin Ophthalmol. 2020; 2020 (14):3635-3640, 2020.
 2. Ubukata H, Toda H, Murata N, Maeda F, Abe H. Student evaluation in orthoptics evaluation of rubric-based assessments from interdisciplinary team of faculty. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20 (2): 73-84.
 3. 岸大介, 正条智広, 岸哲志, 塚原嘉之佑, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤, 田淵仁志. ロービジョンによる歩行困難のシミュレーション体験. 日視会誌. 2020; 49: 57-63.
 4. 多々良俊哉, 前田史篤. スポーツと視機能. 視覚の科学. 2020; 41 (2): 15-18. [総説・解説]
 5. 山下力, 前田史篤. 視路疾患の視野とOCT. 神経眼科. 2020; 37 (2): 429-441. [総説・解説]
 6. 前田史篤, 山下力. 視野にまつわる数字の話. 神経眼科. 2020; 37 (3): 326-329. [総説・解説]
 7. 山下力, 前田史篤. 視野とOCTの対応. 神経眼科. 2020; 37 (4): 188-195. [総説・解説]
 8. 多々良俊哉, 前田史篤, 生方北斗, 菊入昭, 金子弘, 阿部春樹. 特別養護老人ホームに通所している高齢者の視覚関連Quality of life. あたらしい眼科. 2020; 37 (6): 763-767.
- 3 学会等研究発表
 1. 生方北斗, 前田史篤, 戸田春男. 調節刺激下の眼球生体計測値. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市・WEB), 2020.10.31-11.15.
 2. 前田史篤. 両眼視における瞳孔と視力. 第56回日本眼光学学会(横浜市・WEB), 2020.9.5-9.22. 【シンポジウム】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本神経眼科学会(評議員)(編集委員), 日本眼光学学会(編集委員), 日本眼科学会, 日本視野画像学会, 日本視能訓練士協会, 日本弱視斜視学会, 日本小児眼科学会, 日本ロービジョン学会, 日本糖尿病眼学会, 日本近視学会, 日本眼科AI学会, 新潟医療福祉学会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校視能訓練士科, 眼疾病学II, 2020.4.1-9.30.
 2. 福岡国際医療福祉大学視能訓練学科, 視能検査学II, 2020.9.28-2021.3.31.
- 6 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・自己評価委員会, 教員選考・評価委員会, SHAINプロジェクト

氏名：阿部 春樹

報告事項なし

氏名：石井 雅子

- 1 研究題目 視覚障害者のQOL向上に関する研究(ロービジョン医学), 視覚障害児の学習支援(特別支援教育), 視的環境と視覚機能に関する研究(眼科学)
- 2 論文

1. 石井雅子, 間聡美, 末武亜紀, 福地健郎. 2つの視野計による新しい視野障害等級判定—緑内障による検討—. あたらしい眼科: 2021, 97-101.
 2. 旭香代子, 石井雅子, 生方北斗, 眞山徹二, 荒井紳一. 園の眼科健診から受診した幼児の検討. 保育と保健 27: 2021, 37-40.
 3. 旭香代子, 石井雅子, 多々良俊哉, 生方北斗, 野神麗子. 三歳児視覚健診における Spot™ Vision Screener の測定値の再現性. 日視会誌 49: 2020, 211-216.
- 3 学会等研究発表
1. 石井雅子, 佐藤美咲, 若月理咲, 吉田拓斗. 視覚障害シミュレーションによる拡大読書器の読み評価—文字の大きさによる比較—, 第21回日本ロービジョン学会学術総会 (神戸市 (オンライン)), 2020.7.3-7.12.
 2. 石井雅子, 涌井和沙, 冨田梨生, 南谷由美子, 羽入貴子. 小児のデジタルデバイスの使用と眼屈折および視力との関係. 第45回日本小児眼科学会総会 (大阪市 (オンライン)), 2020.7.3-7.16.
 3. 小笹一枝, 石井雅子, 金里紗, 吉原隆介, 白尾裕. 園児の視覚健診—医療機関への受診勧告の検討—. 第76回日本弱視斜視学会総会 (大阪市 (オンライン)), 2020.7.3-7.16.
 4. 石井雅子, 多々良俊哉, 羽入貴子. 幼児のスクリーンタイムが視覚機能に与える影響. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市 (オンライン)), 2021.10.31.
 5. 佐藤美咲, 若月理咲, 石井雅子. 日本, 米国とWHOの視覚障害認定の考察—緑内障性視野障害のシミュレーションによる検討—. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市 (オンライン)), 2021.10.31.
 6. 石井雅子, 山口俊光, 市村美香, 間聡美, 張替涼子, 福地健郎. ビジョンサポート外来でのITサポートの現況. 第127回新潟眼科集談会 (新潟市 (オンライン)), 2020.12.20.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本眼科学会, 日本ロービジョン学会 (理事), 日本視能訓練士協会, 日本緑内障学会, 日本小児眼科学会, 日本弱視斜視学会, 日本学校保健学会, 視覚障害リハビリテーション協会, 新潟県視能訓練士会 (会長), 新潟医学会, 中途視覚障害者の復職を考える会 (タートルの会), JRPS網膜色素変性症協会, 日本特殊教育学会, 日本保育保健協議会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 2020年度視覚障害学習支援セミナー—夏の会—, 実行委員, 新潟 (オンライン), 2020.9.6.
 2. 2020年度新潟県視能訓練士会研修会, 実行委員, 新潟 (オンライン), 2020.10.24-11.5.
 3. 2020年度第13回全国視能訓練士学校協会教員研修会, 実行委員長, 新潟 (オンライン), 2020.12.15-12.26.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本ロービジョン学会誌編集委員
 2. 日本ロービジョン学会会計 (財務) 担当
 3. 2019年度新潟県視能訓練士会研修会, 教育講演座長, 新潟, 2020.10.24-11.5.
 4. 2020年度第13回全国視能訓練士学校協会教員研修会「近未来の視能訓練士」シンポジウム座長, 2020.12.15-12.26.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 目や見え方に関する教育相談会, 講師, 教育講演と個別相談, 新潟県教育庁, 市民, 新潟市, 2020.11.9.
 2. 令和2年度新潟市保健衛生講習会 (オンデマンド型), 講師, 新潟市, 保育・幼児教育担当者, 新潟市 (オンライン), 2020.9.23-9.30.
 3. めがねのまちさばえ眼育講習会, 講師, 鯖江市, 養護教諭, 鯖江市 (オンライン), 2020.8.24-8.31.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 読売新聞, 視力強化 産業発展の礎 めがねまち鯖江眼育プロジェクト, 2021.2.22.

2. 福井テレビ, Live News it, 新潟医療福祉大学と鯖江市の包括連携協定, 2021.3.24.
 3. 産経新聞, 新潟医療福祉大学と鯖江市の包括連携協定, 2021.3.25.
 4. 東洋経済オンライン (WEB), 新潟医療福祉大学と鯖江市の包括連携協定, 2021.3.25.
 5. 時事通信 (WEB), 新潟医療福祉大学と鯖江市の包括連携協定, 2021.3.25.
 6. PR TIMES (WEB), 新潟医療福祉大学と鯖江市の包括連携協定, 2021.3.25.
 7. 福井新聞, 新潟医療福祉大学と鯖江市の包括連携協定, 2021.3.25.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 燕市3歳児健康診査, 健診担当, 燕市, 2020.5.12, 7.7, 2021.3.16.
 2. 10月10日えきなかこども園 目の愛護デー目の健康講座, 指導, 新潟市, 2020.10.10.
 3. 新潟県立新潟盲学校職員オンライン研修-視覚機能評価のポイントアドバイザー-, 新潟市, 2020.9.29, 10.17, 12.22, 2021.1.26, 2.24.
 4. かわだ保育所 目の健康講習, 指導, 鯖江市, 2020.10.29.
 5. 中河保育所 目の健康講習, 指導, 鯖江市, 2020.11.30.
 6. 石田保育所 目の健康講習, 指導, 鯖江市, 2020.12.23.
 7. 神明保育所 目の健康講習, 指導, 鯖江市, 2021.1.21.
 8. 神明幼稚園 目の健康講習, 指導, 鯖江市, 2021.2.15.
- 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
- 新潟県アフターコロナを見据えたイノベーション創出支援事業, 視覚障害者情報支援アプリの開発, 委員, 新潟県視覚障害リハビリテーションネットワーク, 委員
- 5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
- 新潟県視能訓練士会 (会長), 日本視能訓練士協会生涯教育制度基礎教育プログラムⅢ指導者, 全国視能訓練士学校協会教員研修WGメンバー (代表), 視覚障害リハビリテーション協会高齢リハビリテーション分科会委員, 日本ロービジョン学会学会誌編集委員
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, めがねのまちさばえ「眼育」推進事業受託, 代表
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医学部, 眼科臨床実習, 2020.4-2021.3.
- 7 学内委員会活動 就職センター運営委員会, FD委員会, 地域連携推進センター運営委員会

氏名: 金子 弘

- 1 研究題目 快適な眼鏡装用に関する研究
- 2 著書
 1. 金子弘, 眼鏡光学アラカルト. 初版. 新潟医療福祉大学 視機能科学科. 2020. 1-163.
- 3 学会等研究発表
 1. 小幡梨奈, 根本佳奈, 松本知美, 志賀木綿子, 金子弘. 遮光眼鏡が視力およびコントラスト感度に与える影響について. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2020.10.31.
 2. 越山優子, 斎藤涼香, 志賀木綿子, 金子弘. ピンホール径・雲霧量による視力の変化. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2020.10.31.
 3. 白山匠郎, 松田優太, 志賀木綿子, 金子弘. 距離別視力表の作製と矯正度数に及ぼす影響について. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2020.10.31.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本眼光学学会, 日本眼鏡学会, 日本実験力学会, 新潟医療福祉学会 (理事), NPO法人ニューロクリアティブ研究会 (監事), NPO法人心のまなびば (理事)
 - 2) 学会等でのその他の活動

1. 新潟医療福祉学会誌, 和文誌編集委員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校, 生理光学, 物理学, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 川崎医療福祉大学, 生理光学実習, 2020.6.1-7.31.
- 6 学内委員会活動 学術委員会, 広報委員会, 図書館・学習支援委員会

氏名：戸田 春男

- 1 研究題目 齧歯類大脳の信号伝搬, 実習環境の改善, 検査中の自律神経系機能
- 2 論文
 1. Toda H, Shiga Y. HTML5-based interactive web application for student practices -- a Hodgkin and Huxley membrane model simulator --. Niigata Journal of Health and Welfare. 2021; 21: 113-126.
 2. Ubukata H, Toda H, Murata N, Maeda F, Abe H. Student evaluation in orthoptics: evaluation of rubric-based assessments from interdisciplinary team of faculty. Niigata Journal of Health and Welfare. 2021; 21: 73-84.
 3. Murata N, Toda H, Amaki H, Suzuki K, Nagai Y, Omiya Y, Kurashima T, Udagawa S, Ohkubo S. Assessment of objective ocular cyclodeviation under monocular condition and binocular condition using fundus photography. BMJ Open Ophthalmology 2020; 5: e000595.
 4. Toda H. Evaluating low-cost eye movement recording apparatuses for effective student practice. Niigata Journal of Health and Welfare 2020; 20: 21-27.
- 3 報告書
 1. 戸田春男, 森田邦恵, 生方北斗. 奨励研究費B, 2020年度研究奨励金実績報告書, 2020-2020, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 戸田春男. 眼球運動記録実習用低コスト視覚刺激装置の製作. 新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 10.31-11.15 (オンライン)
 2. 生方北斗, 前田史篤, 戸田春男, 阿部春樹. 調節刺激下の眼球生体計測値. 新潟医療福祉学会学術集会(新潟), 10.31-11.15 (オンライン)
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本生理学会(評議員), 日本神経科学学会, 日本神経眼科学会, 日本自律神経学会, Society for Neuroscience
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 基盤研究C, 「ループリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善」, 研究代表者
 2. 2021年度, 基盤研究B, 「弱視発見率の向上に関する研究:視線解析による小児視力の迅速自動測定システムの創生」, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医学部医学科, 生理学・生理学実習, 2019.4.1-2020.3.31.
- 7 学内委員会活動 入試委員会(委員), 就職センター運営委員会(委員), 研究プロジェクト演習運営委員会(委員), 大学院入試広報委員会

氏名：増田 修

- 1 研究題目 セキュリティ文書の偽造防止, 質感知覚, 色覚に関する研究(視覚心理物理学)
- 2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本視覚学会, 映像情報メディア学会, 日本色彩学会, 日本眼光学学会, 日本照明委員会, 視覚科学技術コンソーシアム, Optical Society of America
- 2) 学術集会の主催
 1. Optical Review, 査読
- 3 社会活動
 - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 - 一般社団法人日本照明委員会 第1部会「視覚と色」国内委員
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 科研費基盤研究(C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚の解明(研究代表者)
 2. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚における脳神経メカニズムの解明(研究代表者)
 3. 2019年度, 科研費基盤研究(B), 色覚異常における未知の色差知覚特性に立脚した色変換技術の開発(研究分担者)

氏名: 岸 哲志

- 1 研究題目 視覚障害児・者の歩行訓練, 屋内用視覚障害者誘導路のニーズと可能性について, 岡山県における同行援護の実施状況の調査
- 2 著書
 1. 岸哲志, 高戸仁郎. 弱視教育 58(2). 日本弱視教育研究会; 2020: 16-24.
- 3 論文
 1. 岸大介, 正条智広, 岸哲志, 塚原嘉之佑, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤, 田淵仁志. ロービジョンによる歩行困難のシミュレーション体験. 日視会誌. 2020; 49: 57-63.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本ロービジョン学会, 日本特殊教育学会, 視覚障害リハビリテーション協会
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 岡山県視覚障害者を考える会理事, 理事会, zoom会議, 2020.8.30.
 2. NPO法人岡山県視覚障害者自立支援センター, 講習会, ガイド歩行に関する個別相談と研修, 2020.8.3-8.9.
 3. NPO法人岡山県視覚障害者自立支援センター, 同行援護従事者認定講習会, 2020.12.3-12.4.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 川崎医療福祉大学, ロービジョン学, 2020.7.10, 7.17. オンライン授業
 2. 新見公立大学, 視覚障害者教育概論, 2020.9.5, 9.7, 9.14, 9.15, 9.17, 9.19.

氏名: 村田 憲章

- 1 研究題目 緑内障患者の視覚的QOL維持のための形態・機能解析(眼科学), 視線解析装置の眼科臨床への応用に関する研究(視覚科学)
- 2 論文
 1. Murata N, Toda H, Amaki H, Suzuki K, Nagai Y, Omiya Y, et al. Assessment of objective ocular cyclodeviation under monocular condition and binocular condition using fundus photography. BMJ Open Ophthalmology 5: e000595, 2020.
 2. Ubukata H, Toda H, Murata N, Maeda F, Abe H. Student evaluation in orthoptics: evaluation of

rubric-based assessments from interdisciplinary team of faculty. Niigata Journal of Health and Welfare 2021.(in press)

3 学会等研究発表

1. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 榎原桂, 吉田秀義, 山口智. 2019年度連携総合ゼミ実施報告と終了時アンケートによる前年度との比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.25.
2. 伊藤嘉高, 村田憲章, 松井由美子, 榎原桂, 吉田秀義, 山口智. 連携総合ゼミの学習効果測定とその課題—専門横断的な問題発見・解決力へ—. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.25.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 日本眼科学会, 日本緑内障学会, 日本ロービジョン学会, The Association for Research in Vision and Ophthalmology, 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 第5回視能訓練士画像研究会(CREAS), 開催検討・実行委員・北信越ブロック長, 2020.4-6.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 上越市, 2020.8.18.
2. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 長岡市, 2020.8.19.
3. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2020.8.20.
4. シニアカレッジ新潟, 目の健康維持の秘訣～輝く視界をいつまでも～, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 中高年者, 新潟市, 2020.8.21.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2018年度, 科研費若手研究, 緑内障患者の読書困難に対する新しい視覚的リハビリテーションの模索(研究代表者)

2) 学外兼務講師等

1. 新潟医療技術専門学校, 視能検査学各論, 2020.5.11-7.20.
2. 新潟医療技術専門学校, 視能矯正学各論I, 2020.5.11-7.20.
3. 新潟医療技術専門学校, 視能矯正学総論II, 2020.5.11-7.20.

7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 教育開発運営委員会, SHAINプロジェクト

氏名: 志賀 木綿子

- 1 研究題目 斜視検査の技術向上に関する研究(視覚機能学), 日常視力に関する研究(眼光学)

2 論文

1. Toda H, Shiga Y. HTML5-based interactive web application for student practices: a Hodgkin and Huxley membrane model simulator. Niigata Journal of Health and Welfare. (in press)

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会, 新潟医療福祉学会

4 学内委員会活動 教務委員会

氏名: 多々良 俊哉

- 1 研究題目 小児の屈折異常に関する研究(予防医学)

2 論文

1. Maeda F, Yaoeda K, Tatara S, Tsukahara Y, Miki A. Evaluation of Changes in Intraocular Pressure with a Noncontact Tonometer in Healthy Volunteers. *Clinical Ophthalmology* 14: 3635-3640, 2020.
 2. 多々良俊哉, 前田史篤. スポーツと視機能. *視覚の科学* 41: 15-18, 2020. (総説)
 3. 旭香代子, 石井雅子, 多々良俊哉, 生方北斗, 野神麗子. 三歳児視覚健診における Spot Vision Screener の測定値の再現性. *日本視能訓練士協会誌* 49: 211-216, 2020.
 4. 岸大介, 正条智広, 岸哲志, 塚原嘉之佑, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤, 田淵仁志. ロービジョンによる歩行困難のシミュレーション体験. *日本視能訓練士協会誌* 49: 57-63, 2020.
- 3 報告書
1. 多々良俊哉. 若手研究, 幼児の眼屈折に影響を与える因子の究明, 研究成果報告書, 2019-2020, 研究代表者
 2. 多々良俊哉. 一般財団法人永井エヌ・エス知覚科学振興財団 研究開発助成, 一流のバレーボール選手が感覚的に体得している視線移動の可視化システムの開発, 中間報告書, 2020-2021, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
1. 石井雅子, 多々良俊哉, 羽入貴子. 幼児のスクリーンタイムが視機能に与える影響. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2020.10.31.
 2. 八百枝潔, 前田史篤, 多々良俊哉, 塚原嘉之佑, 三木敦司, 白柏基宏. 接触眼圧計による健常眼における眼圧変動. 第127回新潟眼科集団会 (新潟), 2020.12.20.
- 5 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会 (会員), 日本能訓練士協会 (会員), 日本眼科学会 (会員), 日本弱視斜視学会 (会員), 日本小児眼科学会 (会員), 日本眼科学会 (会員), The Association for Research in Vision and Ophthalmology (Member)
- 6 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. めがねのまちさばえ 養護教諭対象眼育講習会「就学前の幼児の視機能を知る」, 講師, オンライン開催, 2020.7.27-8.3 (配信期間).
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 小冊子, ふれっぶ5月号 (新潟日報), 専門家が解説, 2020.5.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 燕市3歳児健康診査, 健診, 燕市保健センター (燕市), 2020.9.1, 12.1, 2021.1.12.
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 多々良俊哉. 科研費 若手研究, 幼児の眼屈折に影響を与える因子の究明, 2019-2020, 研究代表者
 2. 多々良俊哉. 一般財団法人永井エヌ・エス知覚科学振興財団 研究開発助成, 一流のバレーボール選手が感覚的に体得している視線移動の可視化システムの開発, 2020-2021, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, SHAINプロジェクト

氏名：谷 佳子

報告事項なし

氏名：生方 北斗

- 1 研究題目 眼科検査・訓練の技能評価および視能訓練士教育に関する研究, 眼科健診に関する研究
- 2 論文
 1. 岸大介, 正条智広, 岸哲志, 塚原嘉之佑, 生方北斗, 多々良俊哉, 前田史篤, 田淵仁志. ロービジョンによる歩行困難のシミュレーション体験. *日本視能訓練士協会誌 (協力学術研究団体)*. 2020; 49 (1):

57-63.

2. 旭香代子, 石井雅子, 多々良俊哉, 生方北斗, 野神麗子. 三歳児視覚健診における Spot™ Vision Screener の測定値の再現性. 日本視能訓練士協会誌 (協力学術研究団体). 2020 ; 49 (1) : 211-216.
 3. Ubukata H, Toda H, Murata N, Maeda F, Abe H. Student evaluation in orthoptics evaluation of rubric-based assessments from interdisciplinary team of faculty. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20 (2): 73-84.
 4. 旭香代子, 石井雅子, 生方北斗, 眞山徹二, 荒井紳一, 斎藤栄智翁, 太田正行. 園の眼科健診から受診した幼児の検討. 保育と保健 (協力学術研究団体). 2021 ; 27 (1) : 37-40.
- 3 学会等研究発表
1. 生方北斗, 前田史篤, 戸田春男, 阿部春樹. 調節刺激下の眼球生体計測値. 第20回新潟医療福祉学会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本視能訓練士協会 (会員), 日本眼光学学会 (会員), 日本視野画像学会 (会員), 日本眼鏡学会 (会員), 日本眼鏡技術者協会 (会員), 日本保育保健協議会 (会員), 新潟医療福祉学会 (会員), 新潟県視能訓練士会 (会員)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本学術振興会, 科学研究助成事業, 審査委員候補
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和2年度 新潟市保健衛生講習会, 視力検査の方法と要点, 講師, 新潟市こども未来部, 保育園・認定こども園・地域型保育事業施設・私立幼稚園・認可外保育施設の職員, オンデマンド開催 (新潟市), 2020.9.23-9.30.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費若手研究, Goldmann 視野計を用いた動的視野検査の技能評価システムの開発, 研究代表者
- 7 学内委員会活動 広報委員会, 図書館・学習支援委員会

(3) 救急救命学科

氏名：鈴木 力

- 1 研究題目 上部消化管悪性腫瘍の外科治療, 外科腫瘍学
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本外科学会, 日本消化器外科学会, 日本臨床外科学会, 日本胃癌学会, 日本癌治療学会, 日本食道学会, 国際胃癌学会
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校非常勤講師, 2020.10.1-2021.3.31.
- 4 学内委員会活動 総務会, 将来計画機構, 自己点検・評価委員会, 教員選考委員会

氏名：遠藤 裕

報告事項なし

氏名：川上 一岳

報告事項なし

氏名：竹井 豊

- 1 研究題目 救急隊員の身体負担軽減策の検討, 効果的な救急医療システムに関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 竹井豊, 安田康晴. 豪州の病院前救急医療システムから学ぶ: 救急隊員の身体負担軽減と女性の入職促進策. 第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会(東京都・日本), 2020.8.27-8.28.
 2. 竹井豊, 安達哲浩, 岩崎隆, 長谷川恵, 坂口英児, 友安陽子. 胸骨圧迫の質は何分間維持させることが可能か?. 第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会(東京都・日本), 2020.8.27-8.28.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床救急医学会, 日本蘇生学会, European Resuscitation Council, 新潟医療福祉学会(理事長)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 公益財団法人三井住友海上福祉財団「交通安全等分野」助成金, 「救急隊員を対象とした病院連絡トレーニングツールの開発」, 代表研究者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 広島国際大学, 救急統計学, 2020.8.3-8.5.
- 5 学内委員会活動 学術委員会(委員長), 教務委員会(副委員長), 国際交流センター運営委員会

氏名：松岡 輝彦

報告事項なし

氏名：進藤 弘

報告事項なし

氏名：大松 健太郎

- 1 研究題目 AR(拡張現実)技術を用いた教育プログラムに関する研究(医学教育学), 救急救命士の働き方の多様性に関する研究(医療社会学), 学校管理下の救急事故に関する研究(医療社会学)
- 2 著書

1. 白鹿子, 大松健太郎, 山田美絵子, 多田久剛, 豊田勝義, 久保禎人. IEMA CPR & AED テキスト・ノート G2020改訂版. 神奈川: 国際救命救急協会; 2020: 1-52.
- 3 論文
 1. 竹井豊, 安達哲浩, 長谷川恵, 大松健太郎, 山内一, 神藏貴久. 救急救命士養成施設における学生のバイタルサイン測定の正確性. 日本臨床救急医学会雑誌. 2020; 23(2): 105-109.
- 4 学会等研究発表
 1. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智, 大松健太郎, 飯村菜穂子, 中村直樹, 貝渕正人. 4年次連携教育「連携総合ゼミ」の新型コロナウイルス感染症の拡大防止下の開催方法. 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 千葉, 2020.10.3-10.4.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床救急医学会(評議員), 日本救急医学会, 日本蘇生学会, 日本バーチャルリアリティ学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本臨床救急医学会, 第24回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 公募演題査読委員
 2. 日本臨床救急医学会, 日本臨床救急医学会雑誌, 査読
- 6 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 日本経済新聞, 救急空白地帯, 薄氷の搬送 民間委託の動きも. 2021.2.1.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 一般社団法人国際救命救急協会(副理事長), 一般社団法人国際救命救急協会(編集委員長)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019-2022年度, 科研費若手研究, AR(拡張現実)技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 東京女子医科大学医学部, 東医療センター救急医療科, 2020.4.1-2021.3.31.
- 8 学内委員会活動 入試委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会

氏名: 大和田 均

- 1 研究題目 救急現場滞在時間の短縮に関する研究, 救急隊員の暑熱環境下での活動に関する研究
- 2 論文
 1. 大和田均, 張替喜世一, 吉岡耕一, 中川雄公, 伊藤裕介, 大岡聖門, 原貴大, 匂坂量, 田久浩志, 田中秀治. 心肺停止事案における現場滞在時間短縮の一方策. 日臨救急医会誌(JJSEM). 2020;23:546-50.
- 3 学会等研究発表
 1. 大和田均, 張替喜世一, 吉岡耕一, 田中秀治. ポケットフェイスマスクの有用性. 第23回日本臨床救急医学会学術集会・東京, 2020.8.27-8.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本蘇生学会, 日本臨床救急医学会, 日本災害医学会
- 5 学内委員会活動 教務委員会, FD委員会

氏名: 神藏 貴久

- 1 研究題目 救急医学, 蘇生学, 損害補償
- 2 論文
 1. 竹井豊, 安達哲浩, 長谷川恵, 大松健太郎, 山内一, 神藏貴久. 救急救命士養成施設における学生のバイタルサイン測定の正確性. 日本臨床救急医学会雑誌. 2020; 23(2): 105-109.

3 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年、科学研究費助成事業若手研究、救命のために努力をしてくれた人を救える社会に～損害補償の実態と動向～、研究代表者

氏名：山内 一

1 研究題目 救急救命活動に使用される靴の違いが身体負担へ与える影響、聴診シミュレーターの開発

2 論文

1. 竹井豊, 安達哲浩, 長谷川恵, 大松健太郎, 山内一, 神藏貴久. 救急救命士養成施設における学生のバイタルサイン測定の正確性. 日本臨床救急医学会雑誌, 23(2), 105-109, 2020.6.
2. 山内一, 阿部薫, 蓮野敢, 東海林藍. 救急救命活動に使用される靴の違いが身体負担へ与える影響. 日本整形靴技術協会雑誌, vol.5, 53-56, 2020.11.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本救急医学会, 日本臨床救急医学会, 日本小児救急医学会, 日本病院前救急救命学会 (評議員/理事/将来検討委員/学術誌編集委員副委員長)

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本病院前救急救命学会 (査読委員/学会準機関誌作成委員)

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 普通救命講習, 新潟市消防局認可, 大学生, 新潟県, 2021.1.18.

2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

- 一般社団法人全救急救命士教育施設協議会 (卒後再教育委員会委員) 2018- (継続)

5 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

- 博士 (保健学/2021.3.17)

2) 学外兼務講師等

1. 国際医療看護福祉大学校 (教育課程編成委員), 2014- (継続)

6 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会, 新潟連携教育センター運営委員会, 広報委員会

氏名：安達 哲浩

1 研究題目 多数傷病者発生時の研究 (災害医療), 心肺蘇生法教育の普及効果に関する研究 (救急医療)

2 論文

1. 竹井豊, 安達哲浩, 長谷川恵, 大松健太郎, 山内一, 神藏貴久. 救急救命士養成施設における学生のバイタルサイン測定の正確性. 日本臨床救急医学会雑誌 23(2)105-109 2020.6.

3 学会等研究発表

1. 竹井豊, 安達哲浩, 岩崎隆, 長谷川恵, 坂口英児, 友安陽子. 胸骨圧迫の質は何分間維持させることが可能か?. 第23回日本臨床救急医学会総会・学術集会 (東京・日本), 2020.8.27-8.28.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本災害医学会 (MCLS管理世話人), 日本臨床救急医学会, 東北救急医学会, 新潟医療福祉学会

5 学内委員会活動 広報委員会, 教育開発委員会カリキュラムPDCA部会, 教育開発委員会初年次教育部会

氏名：岩崎 隆

報告事項なし

氏名：田村 一好

報告事項なし

氏名：長谷川 恵

- 1 研究題目 不慮の事故にあった子どもの家族に対する事故予防の救急外来での看護師の関わり
- 2 論文
 1. 竹井豊, 安達哲浩, 長谷川恵, 大松健太郎, 山内一, 神藏貴久. 救急救命士養成施設におけるバイタルサイン測定の正確性. 日本臨床救急医学会雑誌. 2020.6 ; 23(2) : 105-109.
- 3 学会等研究発表
 1. 竹井豊, 安達哲浩, 岩崎隆, 長谷川恵, 坂口英児, 友安陽子. 胸骨圧迫の質は何分間維持させることが可能か?. 日本臨床救急医学会総会・学術集会 (東京都・日本), 2020.8.27-8.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本災害医学会 (世話人), 東北救急医学会 (世話人)
- 5 社会活動
 - 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
JPTEC東北 (世話人), 新潟MCLS (世話人)
- 6 学内委員会活動 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会, 教務委員会

(4) 診療放射線学科

氏名：笠原 敏文

1 研究題目 放射線治療技術の精度に関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 日本放射線技術学会, 日本放射線腫瘍学会, 日本放射線技師教育学会, 新潟医療福祉学会いづれも会員

3 社会活動

1) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益財団法人新潟県健康づくり財団評議員, 公益財団法人新潟県健康づくり財団新潟県がん検診研究会理事, 公益財団法人新潟県健康づくり財団新潟県医療推進協議会理事, 文部科学省補助金事業東北次世代がんプロ養成プラン東北がん評議会評議員

氏名：稲川 正一

1 研究題目 血管系疾患の画像診断に関する研究

2 著書

1. 稲川正一, 木口千尋, 吉村宣彦, 倉部聡; 似鳥俊明, 横山健一編. 椎骨動脈解離 vertebral artery dissection. ここから始める循環器疾患のCT・MRI. 第1版第1刷. 東京: 株式会社学研メディカル秀潤社; 2020: 120-121.

2. 稲川正一, 木口千尋, 吉村宣彦, 森田健一; 似鳥俊明, 横山健一編. 頸動脈狭窄 carotid artery stenosis. ここから始める循環器疾患のCT・MRI. 第1版第1刷. 東京: 株式会社学研メディカル秀潤社; 2020: 122-123.

3. 木口千尋, 稲川正一, 吉村宣彦, 森田健一; 似鳥俊明, 横山健一編. 頸動脈海綿静脈洞瘻 carotid-cavernous fistula. ここから始める循環器疾患のCT・MRI. 第1版第1刷. 東京: 株式会社学研メディカル秀潤社; 2020: 124-125.

4. 木口千尋, 稲川正一, 吉村宣彦, 長谷川仁, 倉部聡; 似鳥俊明, 横山健一編. 鎖骨下動脈盗血症候群 subclavian steal syndrome. ここから始める循環器疾患のCT・MRI. 第1版第1刷. 東京: 株式会社学研メディカル秀潤社; 2020: 126-127.

5. 木口千尋, 稲川正一, 吉村宣彦, 佐藤弘恵, 高尾哲郎; 似鳥俊明, 横山健一編. 巨細胞性動脈炎 giant cell arteritis. ここから始める循環器疾患のCT・MRI. 第1版第1刷. 東京: 株式会社学研メディカル秀潤社; 2020: 128-129.

3 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会(理事)

2) 学会等でのその他の活動

1. 新潟医療福祉学会英文誌編集委員

4 学内委員会活動 学術委員会(委員)

氏名：児玉 直樹

1 研究題目 認知症の早期発見と予防に関する研究, 軽度認知障害から認知症への進行予測に関する研究, 在宅で利用可能な認知症スクリーニングシステムの開発

2 論文

1. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype on Short-Latency Afferent Inhibition and Motor Cortex Metabolites. Brain sciences (JCR), 2021; 11(3): 395.

2. Yamanaka R, Wakasawa S, Yamashiro K, Kodama N, Sato D. Effect of Resistance Training of Psoas Major in Combination With Regular Running Training on Performance in Long-Distance Runners.

International journal of sports physiology and performance (JCR), 2021; 16(6): 906-909.

3. 櫻井典子, 高橋真悟, 高橋大志, 児玉直樹. 胸部X線画像のTemporal Subtraction処理における病変検出能向上のためのBone Suppression処理の有用性. 日本診療放射線技師会誌 (協力学術研究団体), 2020; 67(6): 573-579.
 4. 児玉直樹. 認知症への進行予防とリハビリテーションの最前線. 認知症ケア, 2020; 20(2): 40-45.
 5. 児玉直樹. タスク・シフト/シェアに対する日本診療放射線技師会の対応. INNERVISION, 2020; 35(12): 49-50.
 6. Kodama N. Future roles of radiological technologists and medical Artificial Intelligence. Journal of International Society of Radiographer and Radiological Technologists, 2020; 2020 Special Edition: 12-13.
 7. 小杉尚子, 児玉直樹, 清水幸子, 数井裕光. 遠隔音楽療法. 老年精神医学雑誌 (協力学術研究団体), 2020; 31(4): 300-307.
 8. 高橋大志, 高橋真悟, 児玉直樹, 松尾仁司. 入浴時ヒートショック危険度判定システムの試作と基礎的評価. 地域ケアリング, 2020; 22(5): 57-61.
 9. 児玉直樹. 認知症の早期発見と予防. 新潟医療福祉学会誌, 2020; 20(3): 44-53.
 10. 追手巍, 竹井豊, 瀧口徹, 児玉直樹, 金子弘. 保健・医療・福祉・スポーツ等多部門専門学会誌の国際化への現状と課題. 新潟医療福祉学会誌, 2020; 20(2): 25-31.
 11. 児玉直樹. タスク・シフト/シェアおよび学校養成施設カリキュラムの改正に伴う教育と研修. 日本診療放射線技師会誌 (協力学術研究団体), 2021; 68(3): 269-278.
- 3 報告書
1. 児玉直樹, 浦上克哉, 中村匡秀, 小杉尚子, 佐藤厚. 基盤研究C, 地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価, 研究成果報告書, 2020-2023, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
1. Kodama N. Current Status and Issues of Japanese Radiological Technologists during the pandemic COVID-19. The 6th Vietnam-Myanmar-Philippine Conference of radiological Technologists (Vietnam), 2020.5.16. 【シンポジウム】
 2. Kodama N. Role of Japanese Radiological Technologists during the COVID-19 pandemic. International Society of Radiographer and Radiological Technologist Symposium (UK), 2020.5.31. 【シンポジウム】
 3. Kodama N. Radiography profession performance and future challenges in Japan. European Congress of radiology 2020 Summer Edition (Vienna), 2020.7.15-7.20.
 4. Kodama N. Education system and career structure of radiological technologists in Japan. European Congress of radiology 2020 Highlight Week (Vienna), 2020.10.28-10.30. 【シンポジウム】
 5. Kodama N. Radiological Technologists and medical AI. International Society of Radiographer and Radiological Technologist World Radiography Day Forum (UK), 2020.11.8. 【シンポジウム】
 6. 児玉直樹. JART国際委員会のこれまでとこれから. 第36回日本診療放射線技師学術大会 (仙台市), 2021.1.8-1.30. 【シンポジウム】
 7. 児玉直樹. タスク・シフト/シェアおよび教育カリキュラムの改正に伴う講習会. 第36回日本診療放射線技師学術大会 (仙台市), 2021.1.8-1.30. 【シンポジウム】
 8. 児玉直樹. 医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアと診療放射線技師の業務拡大. 第34回埼玉県診療放射線技師学術大会 (さいたま市), 2021.3.14. 【特別講演】
 9. 児玉直樹. 認知症に関する施策と令和3年度介護報酬改定. 第10回日本認知症予防学会学術講演会 (東京都), 2021.2.21. 【教育講演】
 10. 児玉直樹. タスク・シフト/シェア推進に伴う既有資格者に対する告示研修. 新潟県診療放射線技師会下越地区会 (新潟市), 2021.2.12.

11. 児玉直樹. タスク・シフト／シェア推進に伴う既有資格者に対する告示研修. 新潟県診療放射線技師会 上越・佐渡地区会 (佐渡市), 2021.3.13.
12. 児玉直樹, 関本竜吉, 佐伯幸郎, 中村匡秀, 佐藤厚, 田中克明, 掛晃幸. 描画遂行過程の可視化による認知症スクリーニングの可能性. 第35回日本老年精神医学会学術大会 (米子市), 2020.12.20-12.22.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技師教育学会 (副会長), 日本認知症予防学会 (理事, 認知症予防専門士制度委員会委員長, 試験委員会委員長), 日本老年精神医学会, 日本認知症学会, 日本遠隔医療学会 (運営委員), 電子情報通信学会, 電気学会, 日本放射線技術学会, 日本データベース学会, ITヘルスケア学会, 日本老年社会学会, 新潟医療福祉学会, 新潟医用画像情報研究会 (世話人), 日本認知症予防学会新潟県支部 (世話人)
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本診療放射線技師会, 第36回日本診療放射線技師学術大会, プログラム委員, 実行委員, 仙台市, 2021.1.8-1.31.
 2. 日本認知症予防学会, 第10回日本認知症予防学会学術講演会, 実行委員長, 東京都, 2021.2.23.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 編集委員長
 2. 電気学会, IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering, Reviewer
 3. 日本認知症予防学会, 日本認知症予防学会誌, 査読委員
 4. 日本診療放射線技師会, 日本診療放射線技師会誌, 査読委員
 5. 日本診療放射線技師会, Journal of JART English Edition, Reviewer
 6. 日本臨床衛生検査技師会, 認定認知症領域検査技師制度試験WG, 試験委員
 7. 世界放射線技師会 (ISRRT), Artificial Intelligence Working Group, 専門委員
 8. 日本データベース学会, 第13回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM2021), 座長, 郡山市, 2021.3.2.
 9. 世界磁気共鳴医学会, SMRT International Clinical Session, 座長, Sydney (Virtual), 2020.8.13.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市民病院院内勉強会, 日本診療放射線技師会の方向性, 講師, 新潟市民病院診療放射線部, 診療放射線技師, 新潟市, 2020.7.8.
 2. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症の早期発見と予防, 講師, 三井住友海上あいおい生命, 三井住友海上あいおい生命社員, 大阪市, 2020.10.22.
 3. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症の早期発見と予防, 講師, 三井住友海上あいおい生命, 三井住友海上あいおい生命社員, 名古屋市, 2020.10.23.
 4. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症の早期発見と予防, 講師, 三井住友海上あいおい生命, 三井住友海上あいおい生命社員, 金沢市, 2020.11.6.
 5. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症の早期発見と予防, 講師, 三井住友海上あいおい生命, 三井住友海上あいおい生命社員, 水戸市, 2020.11.11.
 6. 倫理講習会, 生命倫理, 講師, 日本診療放射線技師会医の倫理委員会, 倫理委員, 東京都, 2020.11.24.
 7. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症の早期発見と予防, 講師, 三井住友海上あいおい生命, 三井住友海上あいおい生命社員, 東京都, 2021.1.14.
 8. 認知症予防フレンド養成講座, 認知症の早期発見と予防, 講師, 三井住友海上あいおい生命, 三井住友海上あいおい生命社員, 静岡市, 2021.1.21.
- 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本診療放射線技師会 (副会長, 国際委員会委員長, 診療放射線技師国家試験問題評価委員会委員, 医の倫理委員会委員, 学術教育委員会委員, 会員情報システム委員会委員, 臨床実習指導教育委員会委員, 新

養成カリキュラム教育検討委員会委員, Radiological Technologists Practitioner教育検討委員会委員, 認定資格委員会委員, 国際認定資格委員会委員, 教育委員会委員), 新潟県診療放射線技師会(理事, 表彰委員会委員), 世界放射線技師会(Regional Coordinator for Professional Practice), 国際専門放射線技師認定機構(理事), 世界診療放射線技師教育財団(Ambassador)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, コニカミノルタ共同研究, Bone Suppression処理の評価及びアジアにおける医療用画像関連AI(Artificial Intelligence)の調査研究, 研究代表者
2. 2020-2022年度, 基盤研究(C), 地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価, 研究代表者
3. 2019-2022年度, 基盤研究(A), 在宅高齢者・認知症当事者の「こころ」の外化に基づく自助・互助支援システムの開発, 研究分担者
4. 2019-2023年度, 基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者
5. 2019-2022年度, 基盤研究(B), 高解像度3DMRIによる耳音響認証のバイオメトリクス起源の解明, 研究分担者
6. 2019-2021年度, 基盤研究(C), 血管機能定量化による入浴時ヒートショックの危険度判定システムの構築と評価, 研究分担者
7. 2020-2022年度, 基盤研究(C), 変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚における脳神経メカニズムの解明, 研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科, 画像処理特論演習, 2020.10.1-2021.3.31.
2. 北里大学保健衛生専門学院臨床工学専攻科, 生体物性工学, 医学総論II, 2020.4.1-9.30.

8 学内委員会活動 学長補佐, 産官学連携推進センター運営委員会(委員長), 科研費対策委員会(委員), 倫理委員会(委員), 運動機能医科学研究所(所員), 新潟QOLサポートコンソーシアム(委員), SHAINプロジェクト(委員)

氏名: 宮地 幸久

- 1 研究題目 放射線被ばくの生物学, 循環器奇形の発生学
- 2 学会等研究発表

1. Miyachi Y. H+/K+ATPase inhibition causes left-right aortic arch inversion in mouse development. 第43回日本分子生物学会(web開催), 2020.12.2-12.4.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線影響学会, 日本分子生物学会, 日本心臓核医学会
- 4 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会, 動物実験委員会

氏名: 山口 弘次郎

- 1 研究題目 認知症の時系列観察を可能にするMRI性能維持評価システムの構築, MRIパルスシーケンス開発を可能にする数値シミュレーションシステムの開発, 訪問看護での画像観察を可能にする画像ネットワークシステムの開発

2 論文

1. 白椿雅唯, 山口弘次郎. MRI数値シミュレーションによるNEMA基準スライス厚測定法の確立. 新潟医療福祉学会学術誌. 2020; 20(1): 125.
2. 相馬明朱夏, 山口弘次郎. MRIの講義内容を直感的に理解できる講義コンテンツの構築 - MRI数値シミュレーションによる画像評価システムについて. 新潟医療福祉学会学術誌. 2020; 20(1): 126.

3 学会等研究発表

1. 白椿雅唯, 山口弘次郎. MRI 数値シミュレーションによる NEMA 基準スライス厚測定法の確立. 第 20 回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2020.10.31-11.15.
2. 相馬明朱夏, 山口弘次郎. MRI の講義内容を直感的に理解できる講義コンテンツの構築 - MRI 数値シミュレーションによる画像評価システムについて. 第 20 回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2020.10.31-11.15.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療放射線技師学会, 日本放射線技術学会, 日本磁気共鳴学会, 日本医学物理学会, 医用画像情報学会

氏名 : 安達 登志樹

- 1 研究題目 正規化画素値によるデジタル胸部 X 線画像解析, x 線被ばくに関する研究, 学術情報ネットワーク (SINET) を利用した仮想画像医学教室の研究
- 2 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 全国労働衛生団体連合会 胸部 X 線検査専門委員会 委員

氏名 : 大徳 尚司

- 1 研究題目 動脈硬化に関する研究 (予防医学)
- 2 学会等研究発表
 1. 坪内啓正, 山村修, 大徳尚司, 坂倉正樹, 江端清和, 甲斐豊, 橋本洋一郎. 熊本地震急性期の被災地と対照地における深部静脈血栓症検出率と寄与因子の比較検討, 日本放射線技師会, 仙台市, 2021.1.8.
 2. 黒田周也, 山村修, 坪内啓正, 大西秀典, 大徳尚司, 廣部健, 丹羽昭乃, 橋本洋一郎, 甲斐豊. 高齢者 (70 歳以上) における熊本地震 (急性期) 避難所と対照地の深部静脈血栓症検出率の比較検討, 日本脳神経超音波学会, 福岡市, 2020.12.8.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本放射線技師会, 日本超音波医学会, 日本消化器がん検診学会, 日本超音波検査学会, 日本心エコー学会, 日本脳神経超音波学会, 日本脈管学会, 日本心血管インターベンション治療学会, 日本高血圧学会, 日本カプセル内視鏡学会, 日本集団災害医学会, 日本心血管脳卒中学会, 日本脳ドック学会, 日本 ACLS 協会, 日本災害医療教育研修協会, 日本動脈硬化学会, 新潟医療福祉学会, 日本禁煙学会, 日本静脈学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本超音波医学会, 超音波検査委のスキルアップ講習会, 認定超音波検査士, 2020 年度 1 年間 (週 1 回)
 2. 日本消化器がん検診学会, 上部消化管撮影スキルアップ講習会, 認定胃がん専門技師, 2020 年度 1 年間 (週 1 回)
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学健康長寿学とよさか中高年教養大学講師予定依頼が COVID19 の影響でキャンセル
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟大学, 中越地震フォロー検診, (地域住民の深部静脈血栓症 (DVT) の評価, 超音波検査担当, 小千谷市そなえ館, 2020.10.13.
 2. 新潟大学, 中越地震フォロー検診, (地域住民の深部静脈血栓症 (DVT) の評価, 超音波検査担当, 十日町地域地場産業振興センター, 2020.11.29.
 3. 日本禁煙学会, 喫煙者への禁煙指導, 認定禁煙指導士, 北区地区及び企業・大学内, 2020 年度活動期

間は1年間

- 3) 職能団体（協会、士会等）の委員
日本ACLS協会, Lead Instructor
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019, 共同研究, 弾性ストッキングによる下肢血流の評価, 代表者大徳尚司
 2. 2020, 日本禁煙学会研究助成金, 喫煙による上肢・下肢への影響, 代表者大徳尚司
- 6 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会, 地域連携推進センター運営委員会ワーキンググループ

氏名：前島 偉

- 1 研究題目 放射線治療（陽子線治療）における呼吸管理の研究, 放射線治療計画装置におけるAI治療支援装置の開発
- 2 学会等研究発表
 1. Maeshima I, Saitou H, Sano N, Onishi H, Araya M, Sugama Y, Nakano T. Fundamental verification of new respiratory gating device for clinical implementation in proton beam therapy wobblers method, PTCOG 2020.9 (Taiwan online)
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会, 長野県診療放射線技師会（副会長）, 日本放射線腫瘍学会, 日本医学物理学会, 日本粒子線臨床研究会, 長野県放射線治療技術研究会, 日本粒子線治療技術研究会, ESTRO (European Society for Radiotherapy and Oncology), ASTRO (American Society for Radiotherapy and Oncology), PTCOG (Particle Therapy Co-Operative Group)
 - 2) 学術集会の主催
 1. 長野県放射線治療技術研究会, 研究会, 代表世話人, web研究会, 2020.12.12.
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 粒子線スキヤニングQAガイドライン作成WG, 著者, web会議, 2020.6.27.
 2. 長野県診療放射線技師会, 副会長, 総会, 理事会, web会議, 2020.5.24, 8.1, 10.29, 2021.1.27, 3.27 計5回
 3. 長野県放射線治療技術研究会, 一般演題座長, 代表世話人, web研究会, 2020.12.12.
 4. 長野県診療放射線技師会創立70周年記念誌実行委員会, 冊子の構成製作, 実行委員, web, 2020.10.8.
 - 2) 職能団体（協会、士会等）の委員
長野県診療放射線技師会（副会長）
- 5 学内委員会活動 入試委員会

氏名：吉田 秀義

- 1 研究題目 医用放射線利用における患者被ばくと術者被ばくの研究（放射線影響）, 放射線被ばくにおけるリスクコミュニケーションに関する共同研究（環境放射線；健康影響）
- 2 論文
 1. 新田見耕太, 千田浩一, 竹井泰孝, 小林育夫, 吉田秀義, 手術室におけるモバイルCアームX線装置使用時の空間線量測定. 日本インターベンショナルラジオロジー学会雑誌 2020; 35(2). 140-144.
- 3 学会等研究発表
 1. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智. 2019年度連携総合ゼミ実施報告と終了時アンケートによる前年度との比較. 新潟医療福祉学会誌, 20(1), 113-113.
 2. 伊藤嘉高, 村田憲章, 松井由美子, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智. 連携総合ゼミの学習効果測定とその課題：専門性を横断する問題発見・解決力へ. 新潟医療福祉学会誌, 20(1), 111-111.

3. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智, 大松健太郎, 飯村菜穂子, 中村直樹. 4年次連携教育「連携総合ゼミ」の新型コロナウイルス感染症の拡大防止下の開催方法. 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会. 2020.10.3-10.10. オンライン開催
4. *後藤淳, 高橋剛, 近藤達1, 吉田秀義. 福島における放射性物質分布調査(3)道路上で測定した線量率と放射性セシウム沈着量の関係. 日本原子力学会2020年秋の大会. 2020.9.17. (オンライン開催)
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本放射線技術学会, 日本原子力学会, 日本心血管インターベンション治療学会, 全国循環器撮影研究会, オートプシーイメージング学会, 日本アイソトープ協会
- 5 社会活動
 - 1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
被ばく理解のための, 個人被ばく線量を簡易推定してそのデータを管理するアプリの開発, および得られたデータの分析とその結果の公表
環境省 平成31年放射線健康管理・健康不安対策事業(放射線の健康影響に係る研究調査事業)報告書, テーマ(3)リスクコミュニケーション及び情報発信に関する研究 2020.12. (研究協力者)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新発田北蒲原看護学院, 放射線検査, 2020.10.9, 10.16, 10.23, 10.30.
- 7 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会, ポートフォリオWG

氏名：関本 道治

- 1 研究題目 医療放射線線量評価に関する研究(放射線計測学), 環境放射線の研究(放射線計測学), 放射線機器管理に関する研究(放射線機器学, 放射線管理学), 多職種連携医療専門職教育の研究(医学教育)
- 2 著書
 1. 関本道治; 小山修司, 加藤洋共編. 放射線計測学. 改訂3版. 東京: オーム社; 2020: 118-120, 137-181, 183-188, 229-240.
- 3 論文
 1. 関本道治. 核医学検査における放射能測定. 日本放射線技術学会計測部会誌. 2020; 28(2): 26-29.
- 4 学会等研究発表
 1. Sekimoto M, Oribe Y, Suzuki K, Katoh Y, Koyama S. Study of the ionization chamber survey meter calibration using a medical X-ray equipment. the 76th Annual Meeting of the Japanese Society of Radiological Technology (YOKOHAMA・JAPAN), 2020.4.15-4.30.
 2. 関本道治. 被ばく線量の記録と管理に関わる線量測定～核医学～. 第76回日本放射線技術学会総合学術大会(横浜), 2020.4.15-4.30. 【シンポジウム】
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本診療放射線技師会, 日本放射線技術学会(専門部会委員, 診断領域線量標準センター委員), 日本核医学技術学会(電子情報委員), The Asian Society of Nuclear Medicine Technology (HP management), 日本核医学専門技師認定機構(教育委員), 日本診療放射線学教育学会, 新潟県診療放射線技師会, 日本放射線技術学会東北支部, 日本放射線技術学会東京支部(専門委員会委員), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本放射線技術学会東京支部, 第74回東京支部春期学術大会, 実行委員, 東京都世田谷区, 2019.10.2-2020.5.16.
 2. 日本核医学専門技師認定機構, 第13回専門技師研修セミナー(WEB), 実行委員, WEB, 2020.8.1-9.1.
 3. 日本放射線技術学会, 第76回総会学術大会, 演題審査委員, 横浜市, 2019.10.28-12.1.

- 3) 学会等でのその他の活動
 1. The Journal of Applied Clinical Medical Physics, reviewer
 2. The Asian Society of Nuclear Medicine Technology, HP management
 3. 日本放射線技術学会, 演題審査委員
- 6 社会活動
 - 1) 職能団体（協会, 士会等）の委員
 - 日本核医学専門技師認定機構（教育委員）, 日本工業標準調査委員会（原案作成分科会委員）
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
 - 優秀Cypos賞（2020.6.14）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 首都大学東京大学院人間健康科学研究科, 放射線医学物理学特論（WEB）, 2020.4.1-8.31.
 2. 首都大学東京大学院人間健康科学研究科, 放射線医学物理学特論演習（WEB）, 2020.10.1-2021.1.31.
 3. 筑波大学大学院人間総合科学研究科, 医学セミナー（WEB）, 2020.11.20.
- 8 学内委員会活動 入試委員会（委員）, 調査委員会（委員）

氏名：橋本 薫

- 1 研究題目 根拠に基づいた認知症ケアのための医療と介護の連携手法に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本医療情報学会, 日本認知症ケア学会, 日本認知症予防学会, 日本放射線技術学会, 日本医用画像管理学会, 日本放射線技師教育学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 小・中／高校生向け「医療・介護の出前学習」講師, 新潟市, 新潟西高校, 2020.7.10.
 2. 認知症ケア専門士のケアカフェ, 新型コロナウィルスと認知症ケア, オンライン, 2021.2.13.
 - 2) 職能団体（協会, 士会等）の委員
 - 新潟県診療放射線技師会（理事）, 新潟県認知症ケア専門士会（役員）
- 4 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会, 教育開発委員会

氏名：長谷川 晃

- 1 研究題目 虚血性心疾患画像診断支援のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発
- 2 著書
 1. 戸森聖治, 角谷倫之, 八坂耕一郎, 西尾瑞穂, 周向荣, 長谷川晃, 李鎔範, 竹内悠, 市川勝弘, 大西佑弥, 寺本篤司, 植田大樹, 竹永智美, 橋本二三生, 三澤将史, 鈴木藍雅, 日朝祐太, 有地淑子, 坂本真樹, 小貫真希, 瀬々潤, 平原大助, 畑中裕司, 福岡大輔, 原武史, 鈴木博文, 浜本隆二, 黒田知宏, 佐藤真一, 永田雅和, 山本修司, 橋本正弘; 藤田広志編. 学ぶ! 究める! 医療AI ディープラーニングの基礎から研究最前線まで. 東京: 株式会社インナービジョン; 2020: 80-83.
- 3 論文
 1. 長谷川晃. Deep learningによるCCTA解析支援システム開発の現状. Precision Medicine. 2020; 3(5): 83-86.
 2. 長谷川晃, 吉田皓文, 二木来菜, 李鎔範. 冠動脈CTにおける石灰化とステントの自動分類のためのDCNN構造最適化. 新潟医療福祉会誌. 2020; 20(2): 9-15.
 3. 長谷川晃. 若手研究 (B), 心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発, 実施状況報告書, 2017-2021, 研究代表者
 4. 長谷川晃. 若手研究, 虚血性心疾患CADシステム開発のための深層畳み込みニューラルネットワークの

開発, 実施状況報告書, 2020-2022, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 吉田皓文, 李鎔範, 吉村宣彦, 倉元達矢, 長谷川晃, 金沢勉. Automated whole-heart segmentation using U-Net in pediatric cardiac CT. 第39回日本医用画像工学会大会 (オンライン開催), 2020.9.17-9.19.
2. 長谷川晃, 吉田皓文, 市川勝弘. 頭部CT撮影における6種類の逐次近似画像再構成法の性能比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (Webおよび誌上での開催), 2020.10.31-11.15.
3. 長谷川晃, 吉田皓文, 李鎔範. CCTA画像の自動分類を目的としたDCNNのwide化による性能比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (Webおよび誌上での開催), 2020.10.31-11.15.
4. 吉田皓文, 李鎔範, 吉村宣彦, 金沢勉, 長谷川晃, 籾内彩瑛. U-Netによる小児心臓CTを用いた全心臓領域分割. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (Webおよび誌上での開催), 2020.10.31-11.15.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本放射線技術学会 (中部支部CT研究会世話人), 日本診療放射線技師会, 医用画像情報学会, 日本CT技術学会, 富山県CT研究会 (世話人), 日本医用画像工学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 富山県CT研究会, 令和2年度ボトムアップセミナー, 世話人, (オンライン), 2020.10.22.
 2. 富山県CT研究会, 令和2年度スキルアップセミナー, 世話人, (オンライン), 2020.12.12.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本放射線技術学会, 第76回総会学術大会, 座長, (オンライン), 2020.5.15-6.14.
 2. 日本放射線技術学会雑誌, 査読
 3. 富山県CT研究会, 令和2年度スキルアップセミナー, 一般演題座長, (オンライン), 2020.12.12.

6 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2017年度, 若手研究 (B), 心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発, 研究代表者
 2. 2020年度, 若手研究, 虚血性心疾患CADシステム開発のための深層畳み込みニューラルネットワークの開発, 研究代表者
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟医療技術専門学校臨床検査学科2年, 画像検査学, 2020.10.1-2021.3.31.

7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名: 大野 健

1 研究題目 磁気共鳴を用いた脳機能の解明

2 論文

1. Igarashi H, Ueki S, Kitaura H, Kera T, Ohno K, Ohkubo M, Terumitsu-Tsujita M, Kakita A, Ingrid L Kwee. Longitudinal GluCEST MRI Changes and Cerebral Blood Flow in 5xFAD Mice. Contrast Media & Molecular Imaging (JCR). 2020; 8831936. doi: 10.1155/2020/8831936.
2. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype on Short-Latency Afferent Inhibition and Motor Cortex Metabolites. Brain Sciences (JCR). 2021; 11(3): 395. doi: 10.3390/brainsci11030395.

3 学会等研究発表

1. 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹. fMRIを用いた情動反応を調節する脳活動領域の特定. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2020.7.30-8.26.
2. 櫻井典子, 大野健, 児玉直樹. fMRIによるASMR視聴で誘発されるリラックス状態の脳機能解明. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2020.7.30-8.26.

3. 渡邊拓, 小島翔, 長坂和明, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大鶴直史, 大西秀明. 健常者の脳灰白質容積の変動性について. 第50回日本臨床神経生理学会学術大会(京都), 2020.7.30-8.26.
 4. 後藤淳, 高橋剛, 近藤達也, 西方真弓, 大野健, 吉田秀義. 歩行ASURAの開発. 第8回「原発事故被災地域における放射線量マッピングシステムの技術開発・運用とデータ解析に関する研究会」(福島), 2020.11.30-12.1.
 5. 長坂和明, 小島翔, 大鶴直史, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 触覚刺激パターンの違いが脳領域間の機能的結合性に与える影響—MRIを用いたfunctional connectivityの評価—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(Web開催), 2020.12.12-12.18.
 6. 工藤綾乃, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 内側前頭前野の灰白質容積はオフセット鎮痛の程度に関連するののか?—Voxel based morphometryを用いた検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(Web開催), 2020.12.12-12.18.
 7. 佐藤暎, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 痛みへの選択的注意に関連する灰白質構造の特定—脳構造画像解析による検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(Web開催), 2020.12.12-12.18.
 8. 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽聴取によって喚起される情動と灰白質容積との関連—脳構造画像解析を用いた検証—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会(Web開催), 2020.12.12-12.18.
 9. 櫻井典子, 大野健, 児玉直樹. 機能的MRIにおけるASMRが脳機能に与える影響. 第36回日本診療放射線技師学術大会(web開催), 2021.1.8-1.31.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本医学物理学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本磁気共鳴医学会, 日本脳循環代謝学会, 新潟医療福祉学会
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 若手研究, 化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グリシン動態モニタリング法の開発, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 安全衛生委員会, 健康管理センター運営委員会

氏名: 織部 祐介

- 1 研究題目 小児疾患の放射線被ばくに関する研究(医療技術評価学), 公衆放射線被ばくに関する研究(医学物理学), MRI高速撮像法に関する研究(医学物理学)
- 2 論文
 1. Oribe Y, Yabe H, Tanaka H, Matsuura Y, Umezumi M. Simple Evaluation Method for Radiation Dose Monitoring using Fluoroscopic Dose Rate in Cardiac Catheterization for Pediatric Congenital Heart Disease (小児先天性心疾患における心臓カテーテル検査の透視線量率を用いた放射線線量記録の簡易評価方法). 日本小児放射線学会雑誌(協力学術研究団体). 2021; 37(1): 75-84.
 2. 松浦由佳, 織部祐介, 北村貴明, 上田克彦, 梅津光生. 米国の放射線技師に関する資格制度および教育の現状. 診療放射線学教育. 2020; 8: 41-47.
 3. 織部祐介. 放射線検査における小児患者の被ばく線量解析の活用. Precision Medicine. 2020; 3(10): 49-53.
- 3 報告書
 1. 織部祐介. 科研費若手研究, 小児循環器疾患の臨床試験における患者の放射線被ばく線量解析, 実施状況報告書, 令和元年度~令和3年度, 研究代表者
 2. 山城秀昭, 三浦富智, 織部祐介, 中田章史, 篠田壽. 科研費国際共同研究加速基金, インドの高自然放射線地域における被ばく線量測定と生殖機能評価, 実施状況報告書, 令和元年度~令和4年度, 研究分担者

3. 高橋剛, 後藤淳, 近藤達也, 須川賢洋, 狩野直樹, 吉田浩子, 大野健, 織部祐介, 吉田秀義, 黒田佑次郎. 環境省 平成31年度 放射線健康管理・健康不安対策事業 (放射線の健康影響に係る研究調査事業), 被ばく理解のための, 個人被ばく線量を推定してそのデータを管理するアプリの開発, および得られたデータの分析とその結果の公表, 報告書, 平成31年度, 研究協力者
- 4 学会等研究発表
 1. 関本道治, 織部祐介, 鈴木克直, 加藤洋, 小山修司. 医療用X線装置を用いた電離箱式サーベイメータ校正の検討. 日本放射線技術学会第76回総会学術大会 (横浜). 2020.4.9-4.12. (口述). Web開催
 2. 織部祐介. 日本と海外における診療放射線技師の職業意識. 第36回日本診療放射線技師学術大会 (宮城). 2021.1.8-1.31. (口述). Web開催【シンポジウム】
 3. 織部祐介. 小児心臓カテーテル検査における放射線量の管理指標に関する検討. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市). 2020.10.31-11.15. (ポスター)
 4. 松浦由佳, 織部祐介, 北村貴明, 上田克彦, 梅津光生. 米国における放射線技師の資格試験制度. 第14回日本診療放射線学教育学会学術集会 (群馬). 2020.9.14-10.6. (ポスター). Web開催
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本医学物理学会, レギュラトリーサイエンス学会, 日本放射線技術学会, 日本超音波検査学会, 日本放射線腫瘍学会, 新潟医療福祉学会, 日本小児放射線学会, 日本先天性心疾患インターベンション学会, 日本診療放射線技師会 (国際委員), 日本医学物理士会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本診療放射線技師会第36回学術大会, JART委員会企画シンポジウム, シンポジスト, 宮城県 (Web開催), 2021.1.8-1.30.
 2. 日本放射線技術学会第76回総会学術大会, International Session 1, 座長, 横浜, 2020.4.9. (Web開催)
 3. 新潟医療福祉学会, 英文誌査読, 2020.6.19 依頼
- 6 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本診療放射線技師会国際委員会, 第1回委員会, 委員, Web開催, 2020.9.19.
 2. 日本診療放射線技師会国際委員会, 第2回委員会, 委員, Web開催, 2020.11.21.
 3. 日本診療放射線技師会国際委員会, 第3回委員会, 委員, Web開催, 2021.2.10.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本診療放射線技師会 (国際委員)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 令和元年度, 科研費若手研究, 小児循環器疾患の臨床試験における患者の放射線被ばく線量解析, 研究代表者
 2. 令和元年度, 科研費国際共同加速強化B, インドの高自然放射線地域における被ばく線量測定と生殖機能評価, 研究分担者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得
博士 (生命医科学) / 早稲田大学・東京女子医科大学 (2021.3.15), 日本放射線技術学会専門部会推薦優秀CyPos賞 (2020.6)・共同受賞
- 8 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会 (部会長), 教務委員会

氏名：櫻井 典子

- 1 研究題目 画像診断部門におけるコンピュータ支援診断システム (CAD) の研究, 非侵襲脳機能計測による脳内メカニズムの研究
- 2 論文

1. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, and Onishi H. Influence of Brain-Derived Neurotrophic Factor Genotype on Short-Latency Afferent Inhibition and Motor Cortex Metabolites. *Brain Science*. Vol.11, 395, 2021.
2. 櫻井典子, 高橋真悟, 高橋大志, 児玉直樹. 胸部X線画像のTemporal Subtraction処理における病変検出能向上のためのBone Suppression処理の有用性. *日本診療放射線技師会誌*, Vol.67, No.812, p.21-27, 2020.
- 3 学会等研究発表
 1. 櫻井典子, 大野健, 児玉直樹. 機能的MRIによるASMR視聴で誘発されるリラックス状態の脳機能解明. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.31-11.15.
 2. 櫻井典子, 大野健, 児玉直樹. 機能的MRIにおけるASMRが脳機能に与える影響. 第36回 日本診療放射線技師学術大会(仙台市), 2021.1.8-1.21.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療放射線技師会, 新潟県診療放射線技師会, 日本放射線技師教育学会
- 5 学内委員会活動 広報委員会

氏名：吉田 皓文

- 1 研究題目 深層学習を用いた小児心臓の自動認識法の研究
- 2 論文
 1. 長谷川晃, 吉田皓文, 二木来菜, 李鎔範. 冠動脈CTにおける石灰化とステントの自動分類のためのDCNN構造最適化. *新潟医療福祉学会誌*, 2020; 20(2):9-15.
- 3 学会等研究発表
 1. Yoshida A, Lee Y, Yoshimura N, Kuramoto T, Hasegawa A, Kanazawa T. Automated whole heart segmentation using U-Net in pediatric cardiac CT. 第39回日本医用画像工学会(山形市, オンライン), 2020.9.17-9.19.
 2. 吉田皓文, 李鎔範, 吉村宣彦, 金沢勉, 長谷川晃, 簾内彩瑛. U-Netによる小児心臓CTを用いた全心臓領域分割. 第20回 新潟医療福祉学会学術集会(新潟市, オンライン), 2020.10.31-11.15.
 3. 長谷川晃, 吉田皓文, 李鎔範. CCTA画像の自動分析を目的としたDCNNのwide化による性能比較. 第20回 新潟医療福祉学会学術集会(新潟市, オンライン), 2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本医用画像工学会, 日本医用画像情報学会, 日本医学物理学会, 日本放射線技術学会, 日本診療放射線技師会
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科学研究費 基盤研究B, 長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討, 研究分担者
 - 2) 受賞, 学位取得, 資格取得

新潟大学大学院保健学研究科研究奨励金事業「優秀賞」(2021.3.22).
- 6 学内委員会活動 FD委員会

4) 健康科学部

(1) 健康栄養学科

氏名：齋藤 トシ子

1 研究題目 加齢性疾患・フレイル予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究10年後追跡

2 著書

1. 齋藤トシ子, 川野因, 小林麻貴編. サクセス管理栄養士・栄養士養成講座 栄養教育論. 7版. 東京：第一出版；2021：26-32, 36-38, 47-79.
2. 武見ゆかり, 足達淑子, 木村典代, 林英美, 齋藤トシ子, 他10名編. 健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論. 5版. 東京：南江堂；2021：95-103.

3 論文

1. Platonova K, Kitamura K, Watanabe Y, Takachi R, Saito T, Kabasawa K, Takahashi A, Kobayashi R, Oshiki R, Solovev A, Iki M, Tsugane S, Sasaki A, Yamazaki O, Watanabe K, Nakamura K. Dietary calcium and vitamin K are associated with osteoporotic fracture risk in middle-aged and elderly Japanese women, but not men: the Murakami Cohort Study. *British Journal of Nutrition (JCR)*. 2021;125:319-328.
2. Nakamura K, Kitamura K, Watanabe Y, Kabasawa K, Takahashi A, Hinata A, Saito T, Kobayashi R, Oshiki R, Takachi R, Tsugane S, Iki M, Sasaki A, Yamazaki O, Watanabe K. Body mass index and risk of recurrent falls in communitydwelling Japanese aged 40-74 years: The Murakami cohort study. *Geriatrics & Gerontology International (JCR)*. 2021;21:498-505.
3. Iwasaki M, Sato M, Yoshihara A, Saito T, Kitamura K, Ansai T, Nakamura K. A 5-year longitudinal association between dietary fermented soya bean (natto) intake and tooth loss through bone mineral density in postmenopausal women: The Yokogoshi cohort study. *Gerodontology (JCR)*. (in press)

4 学会等研究発表

1. 齋藤公二, 今里志穂梨, 山崎ちえり, 長井花葉子, 齋藤トシ子. 小学生への「防災食育」に関する効果の検討～オリジナル防災食育トランプの活用～. 第67回日本栄養改善学会 (誌上開催), 2020.9.2-9.4.
2. Inaba H, Костромина С.А.к.м.н., Kaiwa M, Sakauchi G, Saito T, Рзянкина М.Ф. д.м.н., Жмеренецкий К.В.д.м.н., Ishigami K. Дальневосточный государственный медицинский университет, Хабаровск, Российская Федерация (web), 2020.10.8.
3. 竹内瑞希, 藤原和哉, 治田麻理子, 武田安永, 堀川千嘉, 齋藤トシ子, 加藤光敏, 加藤則子, 横山宏樹, 栗原義夫, 岩崎皓一, 宮澤一裕, 山崎勝也, 前川聡, 曾根博仁. 2型糖尿病患者における野菜と果物の摂取と肥満との関連. 第63回日本糖尿病学会年次学術集会 (Web開催), 2020.10.5-10.16.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会 (評議員, 関東・甲信越支部幹事), 日本栄養・食糧学会, 日本公衆衛生学会, 日本衛生学会, 日本健康教育学会, 日本栄養学教育学会 (理事), 日本骨粗鬆症学会, 日本病態栄養学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健福祉連携教育学会, 新潟栄養・食生活学会 (幹事)

2) 学会等でのその他の活動

1. 栄養学学術連合, 栄養サミット2021コミットメント検討, タスクフォース

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 長岡市, 知って得する健康講演会「ヘルシーエイジングと食事」, 講師, オンデマンド配信, 2021.1.16.
2. 日本栄養士会生涯教育基本研修, 根拠に基づいた栄養管理【日本人の食事摂取基準 (2020年版)】, 講師, オンデマンド配信, 2021.2-
3. 新潟県栄養士会生涯教育研修会, 日本人の食事摂取基準 (2020年版) 改定のポイントと活用について,

講師，対面 & web 開催，2021.2.20.

4. 長野県栄養士会生涯教育研修会，「日本人の食事摂取基準 2020 年版について」，講師，長野県栄養士会，web 開催，2021.2.27.

2) TV 出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. 雑誌，学校給食の専門誌学校の食事（学校食事研究会），新潟医療福祉大学と新潟市立木崎小学校との連携による「弁当の日」の発展的取組，2020.12.1.
2. 雑誌，栄養新潟，特別寄稿「管理栄養士・栄養士が輝くために」，2021.vol.53.

3) 社会活動への参加協力

1. 令和 2 年度 第 1 回学校評議員会・梨の花部会，評議員，新潟市，2020.10.21.
2. 新潟市立木崎小学校との連携，子どもが作る弁当の日，ゼミ学生指導，新潟市，2020.9-12.（3 回）

4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

国民健康・栄養調査企画解析検討会（構成員）

5) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益社団法人日本栄養士会（副会長），アジア栄養士会議：Asian Congress of Dietetics；ACD2022（組織委員会副委員長，プログラム編成部長）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020 年度，科学研究費補助金基盤研究（C），加齢性疾患・生活習慣病予防を目的としたビタミン D 大規模コホート研究 10 年後追跡，研究代表者

8 学内委員会活動 総務会，将来計画機構運営委員会，自己点検・評価委員会，教員選考・評価委員会，地域連携推進センター運営委員会

氏名：遠藤 和男

1 研究題目 医療福祉分野における統計学の応用についての研究（保健統計学），胆道がんの成因に関する疫学的研究（予防医学），健康学習・健康教育の評価に関する研究（公衆衛生学）

2 論文

1. Nishino K, Koga H, Koga Y, Tanaka M, Nawata A, Endoh K, Arakawa M, Omori G. Association of isometric quadriceps strength with stride and knee kinematics during gait in community dwelling adults with normal knee or early radiographic knee osteoarthritis. Clin Biomech. 2021.105325. Epub 2021 Mar 17.

3 学会等研究発表

1. 渡邊博史，遠藤和男ほか. 変形性膝関節症 X 線定量評価に基づく進行度予測のための疫学要因の検討. 第 47 回日本臨床バイオメカニクス学会（新潟市），2020.11.6-11.7.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本保健医療福祉連携教育学会（理事），日本衛生学会（評議員），日本産業衛生学会（評議員），日本病態栄養学会（評議員），日本公衆衛生学会，日本疫学会，日本医学教育学会，日本健康教育学会，新潟医学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟県環境影響評価審査会（会長），新潟県生活習慣病対策協議会循環器等検診部会（委員），新潟県脳卒中情報システム委員会（委員），データ管理取扱委員会（がん登録情報について，委員），新潟県教育庁安全衛生委員会（委員・産業医），新潟産業保健推進センター（独法）相談員会議（委員）

6 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会（学校医），安全衛生委員会（産業医），連携教育推進委員会（委員）

氏名：永井 徹

- 1 研究題目 地域在住高齢者の栄養支援に関する研究，回復期リハビリテーション患者の栄養アセスメントに関する研究
- 2 著書
 1. 桑原節子，永井徹，石長考二郎，落合由美，恩田理恵，片桐義範，竹内真理，田中寛，調所勝弘，長谷川輝美；桑原節子，永井徹，編集．ステップアップ臨床栄養学実習－栄養診断に基づく栄養・食事計画－．東京：建帛社；2020：12-18，105-110.
- 3 論文
 1. Nunokawa K, Tokairin N, Homma K, Nagai T. Effects of Food Odors on Subjective Degree of Appetite Among Patients Undergoing Convalescent Rehabilitation. Topic in Clinical Nutrition. In Press.
 2. 岩森大，坂井邦彦，齋藤泰晴，永井徹．地域高齢者へのフレイル・サルコペニア予防に向けたとろみ調整食品の利用．アグリバイオ Vol.4 (14)，1308-1313，2020.
 3. 佐藤成登志，古西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，野村友紀，永井徹，増田紘之，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉．介護予防における大学との連携事業2020年度報告書，2020.4-2021.3，分担者
 4. 永井徹，高橋忍，坂井邦彦，齋藤泰晴．匂いと舌の側面からアプローチする在宅高齢者栄養支援モデルの開発．公益財団法人勇美記念財団在宅医療助成研究成果報告書，2019-2020，代表者
- 4 学会等研究発表
 1. Takano K, Sato N, Konishi I, Kanda M, Suzuki Y, Nomura T, Nagai T, Masuda H, Sato D, Takiguchi T, Kinoshita N, Uchiyama W, Ishigami K. Intervention study on frailty of the elderly in Japanese local communities. Scientific Conference 《Current problems of public health and healthcare of the Far East of Russia and the countries of the Asia-Pacific region, 14 October, 2020.
 2. 永井徹．健康寿命延伸に対する取り組み－栄養の視点から－．第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2020.10.31．【シンポジウム】
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本臨床栄養代謝学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本病態栄養学会，日本栄養改善学会
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. そのき市民学級，フレイル予防講座「栄養と運動でフレイル予防」，講師，新潟市曾野木地区公民館，地域高齢者，新潟市，2020.11.4.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会，事務局長，新潟市，2020.4.1-2021.3.31.
 - 3) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県栄養士会理事，新潟県栄養士会研究教育事業部長
- 7 学内委員会活動 就職センター運営委員会（委員長），栄養科学研究センター，ロコモティブ症候群予防研究センター（新潟県介護予防栄養関連）

氏名：森泉 哲也

- 1 研究題目 幼・小・中・高等学校における食育の教育課程作成及び具体的な指導法等に関する研究（健康教育）
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. 教員免許更新オンライン講習, 「食に関する指導の手引」を読み解く, 講師, 新潟医療福祉大学, 栄養教諭・教諭, 新潟医療福祉大学, 2020.10.24.
 2. 食育指導者養成オンライン研修, 食育を効果的に推進するためのカリキュラム・マネジメントの進め方, 講師, 独立行政法人教職員支援機構, 指導主事・栄養教諭・栄養職員・管理職・教諭, つくば中央研修センター, 2020.10-12.
 3. 教職実践演習特別講義, 学習指導案作成の基本, 講師, 新潟県立大学, 学生(3年生)・教職担当教員, 新潟市, 2020.11.24.
 4. 初等教育オンライン研究会, SDGsを踏まえた第4次食育推進基本計画の重点課題, 食育分科会指導者, 新潟大学教育学部附属新潟小学校, 教諭・栄養教諭, 新潟市, 2021.2.6.
 5. とさわ会健康教育サークル自主研修, チーム学校で取り組む食育のPDCA, 講師, 栄養教諭, 新潟市江南区文化会館, 2021.2.20.
 6. 香川県栄養教諭・学校栄養職員オンライン研修会, 食に関する指導の全体計画の作成, 講師, 栄養教諭・学校栄養職員, 高松市, 2021.2.27.
- 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
 文部科学省中学生用食育教材作成委員会座長, 文部科学省文部科学大臣表彰学校給食表彰審査会委員長, 独立行政法人教職員支援機構食育指導者養成研修カリキュラム検討委員, 新潟市教育委員会新潟市立荻川小学校評議員
- 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
 特定非営利活動法人21世紀構想研究会学校給食甲子園実行委員
- 4 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会(養成部会長)

氏名: 八坂 敏一

- 1 研究題目 痛み・痒みに関わる脊髄後角局所神経回路に関する研究, 味覚と口腔内一般感覚に関する研究
- 2 論文
 1. Nakagawa T, Yasaka T, Nakashima N, Takeya M, Oshita K, Tsuda M, Yamaura K, Takano M. Expression of the pacemaker channel HCN4 in excitatory interneurons in the dorsal horn of the murine spinal cord. *Molecular Brain (JCR)*. 2020; 13: 127. DOI: <https://doi.org/10.1186/s13041-020-00666-6>.
 2. Tashima R, Koga K, Yoshikawa Y, Sekine M, Watanabe M, Tozaki-Saitoh H, Furue H, Yasaka T, Tsuda M. A subset of spinal dorsal horn interneurons crucial for gating touch-evoked pain-like behavior. *Proceedings of the National Academy of Sciences (JCR)*. 2021; 118: e2021220118. DOI: <https://doi.org/10.1073/pnas.2021220118> (Corresponding Author).
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生理学会(評議員), 日本神経科学会, 日本疼痛学会, 日本運動器疼痛学会, 日本薬理学会, Society for Neuroscience, International Association for the Study of Pain
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. Scientific Reports (Nature 姉妹紙) Editorial Board Member
 2. Frontiers in Neuroanatomy Editorial Board Member
 3. Frontiers in Pain Research / Pain Research Methods Editorial Board Member
- 4 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. マイナビニュース, 九大など, 触覚が痛覚と混信して脳に届かないようにする抑制性神経を特定, 2021.1.14, <https://news.mynavi.jp/article/20210114-1642177/>
 2. 科学新聞, 「触っただけで痛み」アロディニアはNPY神経細胞の活動低下が原因, 2021.1.22, <https://sci-news.co.jp/topics/4301/>

3. 日本の研究.com, 触っただけで痛みがでるのはなぜ? ~厄介な痛みに重要な神経細胞を特定~, 2021.1.12, <https://research-er.jp/articles/view/95584>.
 4. 新潟日報 紙面及びウェブページ, 『異痛症』の原因神経細胞を特定 新潟医福大教授ら 治療へ一歩, 2021.1.26, <https://www.niigata-nippo.co.jp/life/medical/news/20210126595216.html>
 5. ユサコ株式会社ホームページ及びFacebook, 触刺激で誘発される疼痛様行動に重要な脊髄後角介在神経サブセット, 2021.1.25, <https://www.usaco.co.jp/article/detail.html?itemid=1395&dispmid=610>, <https://www.facebook.com/USACOCorporation>
- 5 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), ミクログリアはニューロンに接触して何をしているのか?—疼痛モデルによる解析—, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究 (S), 神経障害性疼痛に直結する神経回路動作異常メカニズムの解明と創薬への応用, 研究分担者
 3. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 神経節マクロファージとニューロンとのコンタクトは神経因性疼痛のスイッチとなるか?, 研究分担者
- 6 学内委員会活動 科研費対策委員会, 入試委員会

氏名：稲葉 洋美

- 1 研究題目 共食に関する研究, 高校生の食と健康に関する研究, スポーツ栄養
- 2 論文
 1. Natsui S, Sato M, Yokoyama T, Inaba H, Kuboyama N, Shibuya K. Effects of chewing frequency on cerebral blood flow and cognitive function. Journal of Behavioral Brain Science, 2020, 10, 287-295.
 2. Santa R, Miyamaoto M, Hosono N, Hoshi M, Homma C, Goto A, Sato N, Suzuki K, Inaba H, Shibuya K. Mastication of hard gumi can alter the gustatory threshold for sodium chloride. Journal of Nutritional Science and Vitaminology. 66: 587-590, 2020.
 3. Edama M, Inaba H, Hoshino F, Natsui S, Maruyama S, Omori G. The relationship between the female athlete triad and injury rates in collegiate female athletes. PeerJ. 2021.
- 3 学会等研究発表
 1. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定クラブ女子選手における月経状況と栄養素等摂取状況に関する報告. 第67回日本栄養改善学会. 2020.9, 誌上開催
 2. 稲葉洋美, 渡辺優奈, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 岩森大. メディア授業におけるグループディスカッションの特徴と課題, 第9回日本栄養学教育学会, 2020.9, 誌上開催
 3. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 伊藤渉, 平林怜, 濱野礼奈, 大森豪. 大学女子バレーボール選手の利用可能エネルギー, 第20回新潟医療福祉学会. 2020.11, 誌上開催
 4. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 江玉睦明, 大森豪. 大学女子バレーボール選手のエネルギー摂取量と身体活動量に関する報告, 第31回臨床スポーツ医学会 2020.11, 誌上開催
 5. Inaba-Hattori H, Svetlana A. Kostromina, Kaiwa M, Sakauchi G, Saito T, Marina F. Rizankina, Ishigami K. Weight perception and health behavior of Japanese and Russian adolescents First Far East International Medical Congress, 2-17 October, 2020, Cisco-System 【招待講演】
 6. 星野美美, 稲葉洋美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化部女子選手の睡眠と食事状況に関する調査報告, 第67回日本栄養改善学会. 2020.9, 誌上開催
 7. 岩森大, 稲葉洋美, 寺尾幸子. 調理の理解と実践に関するオンライン型授業の導入法, 第9回 日本栄養学教育学会. 2020.9, 誌上開催

8. 夏井紗野, 佐藤愛, 横山和美, 稲葉洋美, 久保山直己, 澁谷顕一. 咀嚼頻度の違いが脳血流と認知機能に及ぼす影響について. 第20回新潟医療福祉学会. 2020.11, 誌上開催
9. 星野美美, 真島一郎, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学生男子アスリートの睡眠状況ならびに栄養素等摂取状況に関する横断調査. 第20回新潟医療福祉学会. 2020.11, 誌上開催
10. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学寮に住む大学生女子アスリートの栄養素等摂取量に関する報告. 第31回臨床スポーツ医学会, 2020.11, 誌上開催
11. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.11, 誌上開催
12. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤涉, 平林怜, 大森豪. 大学寮に住む大学生女子アスリートの栄養素等摂取量に関する報告. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.11, 誌上開催, 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.11, 誌上開催
13. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.11, 誌上開催
14. 三瀬貴生, 阿久澤弘, 熊崎昌, 江玉睦明, 菊元孝則, 平林怜, 伊藤涉, 横田裕丈, 稲葉洋美, 大森豪, 金岡恒治. 水泳動作中の肩甲骨周囲筋活動にエクササイズ介入が与える即時効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.11, 誌上開催

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本家政学会, 日本食生活学会, 日本栄養・食糧学会, 日本栄養学教育学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会

2) 学会等でのその他の活動

1. ロシア極東医科大学短期留学 (2020.3.1-3.15)

5 社会活動

1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟バイオリサーチパーク 食品ヒト試験審査委員

6 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 放送大学, 食と健康, 2020.12.19-12.20.

7 学内委員会活動 広報委員会, 大学院拡大広報委員会, SHAINプロジェクト, アスリートサポート研究センター, 栄養科学研究センター (センター長)

氏名: 澁谷 顕一

1 研究題目 筋出力時の脳活動に関する研究 (運動生理学), 咀嚼による認知機能の改善に関する研究 (認知科学)

2 論文

1. Natsui S, Sato M, Yokoyama T, Inaba H, Kuboyama N, Shibuya K. Effects of chewing frequency on cerebral blood flow and cognitive function. Journal of Behavioral Brain Science (その他) DOI:10.4236/jbbs.2020.107081.
2. Santa R, Miyamaoto M, Hosono N, Hoshi M, Homma C, Goto A, Sato N, Suzuki K, Inaba H, Shibuya K. Mastication of hard gumi can alter the gustatory threshold for sodium chloride. Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JCR) 66:587-590, 2020.
3. Shibuya K, Miyamoto M, Santa R, Homma C, Hosono S, Sato N. The effect of an image of watchful eyes on the evaluation of the appearance of food. PeerJ (JCR) DOI:10.7717/peerj.9804.
4. Miyamoto M, Hanatani Y, Shibuya K. Dietary intake and Menstrual cycle changes in international

level young athletes. The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness (JCR) (in press).

5. Asao A, Hoshino Y, Nomura T, Shibuya K. Effect of repetitive peripheral magnetic stimulation combined with motor imagery on the corticospinal excitability of antagonist muscles. Neuroreports (JCR) (in press).

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本生理人類学会, 日本人類動態学会

4 社会活動

- 1) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
スポーツ庁J-Starプロジェクト評価責任者

- 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益財団法人日本オリンピック委員会(強化スタッフ), 公益財団法人日本オリンピック委員会エリートアカデミー(サポートスタッフ), 公益社団法人日本ボート協会強化委員会(委員), 公益社団法人日本ボート協会タレント発掘委員会(スタッフ), 公益社団法人日本ボート協会医科学委員会(スタッフ)

- 5 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会, 図書館・学習支援委員会

氏名: 鈴木 一恵

- 1 研究題目 地域の減塩活動に関する研究(公衆栄養学), 災害食に関する研究(公衆栄養学)

2 論文

1. 小島美世, 小川佳子, 中川圭子, 草野亮子, 関芳美, 波田野智穂, 磯部澄枝, 枡倉恵理, 石田絵美, 山崎理, 堀井淳一, 井上陽子, 鈴木一恵, 田邊直仁, 村山伸子. 新潟県における成果の見える減塩対策—「いがた減塩ルネサンス運動」10年間の取組とその成果—. 栄養学雑誌. 2020; 78 (5): 232-242.
2. 土田直美, 波多野誠, 磯部澄江, 鈴木一恵, 瀧口徹, 石上和男. 災害食関連企業におけるBCPの策定状況と策定に関連する要因. 新潟医療福祉学会誌. 2021; 21 (2). (in press)

3 学会等研究発表

1. 田邊直仁, 村山伸子, 小島美世, 小川佳子, 中川圭子, 鈴木一恵. 新潟県における収縮期血圧平均値の変動に対する各影響要因の変動の寄与度の推計—健康日本21(第二次)における推定の応用—. 第56回日本循環器病予防学会誌(誌上開催), 2020.11.
2. 鈴木一恵, 石川紗和, 伊藤澪奈, 渡辺優奈. N大学1年生の朝食欠食に関連する生活背景. 第20回新潟医療福祉大学学術集会(誌上開催), 2020.10.31.
3. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術向上を目的とした実技試験と教育法の検討. 第9回日本栄養学教育学会(誌上開催), 2020.9.1.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本栄養改善学会(評議員), 日本循環器病予防学会, 日本公衆衛生学会, 日本災害食学会, 新潟医療福祉学会, 新潟栄養・食生活学会

5 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等

1. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講習会, 朝ごはんの大切さ, 講師, 五泉市健康福祉課, 五泉高校学生, 五泉市, 2020.10.16.
2. 高校生に対するヘルシーガイドブックを活用した朝食講習会, 朝ごはんの大切さ, 講師, 五泉市健康福祉課, 五泉高校学生, 五泉市, 2020.10.19.
3. 燕市保健推進委員研修会, 糖尿病予防は食生活から, 講師, 燕市健康づくり課, 燕市保健推進委員, 燕市, 2020.12.11.
4. 食生活改善推進委員協議会魚沼支部研修会, 新しい生活様式を实践する食推活動の展開, 講師, 新潟県魚沼健康福祉部, 支部会員, 魚沼市, 2020.11.9.
5. 三条地域昼食充実プロジェクト検討会, 働く世代の健康づくり支援と食環境整備, 講師, 新潟県三条

健康福祉環境部，管内健康づくり関係者，三条市，2021.2.26.

2) 社会活動への参加協力

1. (一社)健康ビジネス協議会，おもいやり災害食認定制度事業審査委員会，委員，新潟市，2020.8.1-2021.3.31.

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

五泉市食育推進委員会（食育推進事業アドバイザー），五泉市食育推進検討委員会（食育推進事業アドバイザー），柏崎市地産地消推進会議（副議長），柏崎市食育推進会議（副議長），新潟県健康に配慮した中食検討会議（検討委員），出雲崎町栄養業務食検討会（検討委員）

6 学内委員会活動 国家試験対策委員会

氏名：田村 典子

- 1 研究題目 血小板血栓の形成メカニズムに関する研究，抗血小板血栓効果のある食品の探索
- 2 論文
 1. Kawamura Y, Tamura N, Goto S, Goto S. Computer Simulation of Platelet Adhesion around Stent Struts in the Presence and Absence of Tissue Defects around Them. J Interv Cardiol, doi:10.1155/2021/8880988.
- 3 学会等研究発表
 1. 田村典子. 食後血糖の上昇による，血流条件下コラーゲン上の血小板血栓形成への影響. 第20回 新潟医療福祉学会学術集会 2020.10.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本血栓止血学会（代議員），日本バイオレオロジー学会，日本機能性食品医用学会
- 5 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会，教育開発委員会，遺伝子組換え実験安全委員会，栄養科学研究センター

氏名：蘆田 一郎

- 1 研究題目 高齢者ソフト食の評価システムに資する筋電図パラメータおよび官能評価に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本味と匂学会（会員），日本生理学会（会員），日本官能評価学会（会員），新潟医療福祉学会（評議員）
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 放送大学，脱初心者のためのパソコン実践，2020.12.（2日間；計8時限）
- 4 学内委員会活動 学術委員会（委員），大学院FD委員会（副委員長），アドミッション・オフィス（室員）

氏名：石澤 幸江

- 1 研究題目 大学生の食事摂取状況と自覚的康度との関連に関する研究，高齢者施設における「嚥下調整食の調理法と作業効率の関係」費用対効果の検証
- 2 論文
 1. 寺尾幸子，星野美美，竹内瑞希，永井徹，鈴木一恵，石澤幸江，岩森大. 学生の包丁技術向上を目的とした実技試験と教育法の検討. 第9回日本栄養学教育学会（誌上開催）. 2020.9.1.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本給食経営管理学会，日本栄養改善学会，日本病態栄養学会，日本摂食嚥下リハビリテーション学会，日本サルコペニア・フレイル学会，新潟栄養・食生活学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. 令和2年度新潟県食生活改善推進協議会 十日町支部研修会 「時間栄養学で食生活を見直そう」 食生活推進委員 2020.11.13.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会 地域ケア個別会議 フォローアップ研修会企画会議 アドバイザー 新潟市 ユニゾンプラザ 2020.12.11.
 2. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会 地域ケア個別会議 フォローアップ研修会 オブザーバー 新潟市 ユニゾンプラザ 2021.3.6.
- 3) 職能団体（協会、士会等）の委員

公益社団法人新潟県栄養士会 代表理事 副会長, 新潟骨を守る会 幹事, 新潟栄養・食生活学会 幹事
- 5 学内委員会活動 教務委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会

氏名：岩森 大

- 1 研究題目 高齢者の食事形態と食品のテクスチャに関する研究
- 2 論文
 1. 岩森大, 坂井邦彦, 齋藤泰晴, 永井徹. とろみ調整食品の活用と地域への啓発活動. 地域ケアリング Vol.22 (10), 37-42, 2020.
 2. 岩森大, 坂井邦彦, 齋藤泰晴, 永井徹. 地域高齢者へのフレイル・サルコペニア予防に向けたとろみ調整食品の利用. アグリバイオ Vol.4 (14), 1308-1313, 2020.
- 3 報告書
 1. 岩森大, 宮岡洋三, 宮岡里美, 永井徹. 科研基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2020, 研究代表者
- 4 学会等研究発表
 1. 岩森大, 稲葉洋美, 寺尾幸子. 調理の理解と実践に関するオンライン型授業の導入法. 第9回 日本栄養学教育学会. 2020.9.1.
 2. 稲葉洋美, 渡辺優奈, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 岩森大. メディア授業におけるグループディスカッションの特徴と課題. 第9回 日本栄養学教育学会. 2020.9.
 3. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術向上を目的とした実技試験と教育法の検討. 第9回 日本栄養学教育学会 (誌上開催). 2020.9.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本調理科学会 (総務), 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 日本官能評価学会, 日本口腔リハビリテーション学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 新潟歯学会, 新潟栄養食生活学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本調理科学会, 査読
 2. An Interdisciplinary Journal, 査読
- 6 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. にいがた摂食嚥下サポート研修会, 地域高齢者向け講演会, 運営委員, 新潟 (通年)
 2. 新潟高齢者の栄養と摂食を支える会, 運営委員 (通年)
 - 2) 職能団体（協会、士会等）の委員

新潟県栄養士会 (広報委員)
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 科研基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 研究代表者
- 8 学内委員会活動 学生委員会 (副委員長), 交通安全委員会 (副委員長), 教育開発委員会 (カリキュラム検

討部会長), 栄養科学研究センター (副センター長)

氏名：川上 心也

- 1 研究題目 哺乳動物卵母細胞の成熟機序に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 川上心也, エネルギー摂取量の違いによるラット卵母細胞の脂質含量の変化. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2020.10.31-11.15.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本卵子学会, 北信越畜産学会, 新潟医療福祉学会
- 4 学内委員会活動 広報委員会, 人権委員会, 個人情報保護委員会 (副委員長)

氏名：山崎 貴子

- 1 研究題目 調理加工・保存等における食品成分およびテクスチャーの変化
- 2 学会等研究発表
 1. 山崎貴子, 北区特産物さつまいもの品種によるマルトース生成量の相違 - β -アミラーゼの熱耐性の点から -. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2020.10.31-11.15.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本調理科学会, 日本栄養改善学会, 日本食生活学会, 日本家政学会, 日本栄養食糧学会, 新潟医療福祉学会
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
第20回新潟医療福祉学会学術集会奨励賞 (2020.10.31)
- 5 学内委員会活動 教務委員会

氏名：寺尾 幸子

- 1 研究題目 学生の包丁技術向上を目的とした教育に関する検討
- 2 学会等研究発表
 1. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術向上を目的とした実技試験と教育法の検討. 第9回日本栄養学教育学会 (誌上開催), 2020.9.1.
 2. 岩森大, 稲葉洋美, 寺尾幸子. 調理の理解と実践に関するオンライン型授業の導入法. 日本栄養学教育学会 (誌上開催), 2020.9.1.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本病態栄養学会, 日本栄養改善学会, 日本調理科学会, 日本栄養学教育学会, 日本栄養士会, 調理技術教育学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 介護予防における大学との連携事業, 新潟版介護予防支援プラットフォームビデオ媒体作成, ビデオ媒体撮影協力, 新潟医療福祉大学, 2020.4-2021.3.
- 5 学内委員会活動 入試委員会

氏名：星野 美美

- 1 研究題目 女性アスリートの生活習慣 (食習慣, 睡眠) の実態とそれらがコンディションやパフォーマンスに与える影響について
- 2 論文
 1. Edama M, Inaba H, Hoshino F, Natsui S, Maruyama S, Omori G. The relationship between the female

athlete triad and injury rates in collegiate female athletes. PeerJ. Accepted 20 February 2021.
Published 6 April 2021.

3 学会等研究発表

1. 寺尾幸子, 星野美美, 竹内瑞希, 永井徹, 鈴木一恵, 石澤幸江, 岩森大. 学生の包丁技術向上を目的とした実技試験と教育法の検討. 第9回日本栄養学教育学会 (誌上開催), 2020.9.1.
2. 星野美美, 稲葉洋美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化部女子選手の睡眠と食事状況に関する調査報告. 第67回 日本栄養改善学会 (札幌) (誌上開催), 2020.9.2-9.4.
3. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定クラブ女子選手における月経状況と栄養素等摂取状況に関する報告. 第67回日本栄養改善学会 (札幌) (誌上開催), 2020.9.2-9.4.
4. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学寮に住む大学生女子アスリートの栄養素等摂取量に関する報告. 第31回日本スポーツ医学会学術集会 (WEB開催), 2020.10.17-10.18.
5. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 江玉睦明, 大森豪. 大学女子バレーボール選手のエネルギー摂取量と身体活動量に関する報告. 第31回日本スポーツ医学会学術集会 (WEB開催), 2020.10.17-10.18.
6. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 平林怜, 横田裕丈, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本スポーツ医学会学術集会 (WEB開催), 2020.10.17-10.18.
7. 星野美美, 真島一郎, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪. 大学生男子アスリートの睡眠状況ならびに栄養素等摂取状況に関する横断調査. 第20回新潟医療福祉学会 (誌上開催), 2020.10.31.
8. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 伊藤渉, 平林怜, 濱野礼奈, 大森豪. 大学女子バレーボール選手の利用可能エネルギー. 第20回新潟医療福祉学会 (誌上開催), 2020.10.31.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本栄養食糧学会, 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会, 日本給食経営管理学会, 日本臨床スポーツ医学会

5 社会活動

- 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
公益社団法人新潟県栄養士会・研究教育事業部 (幹事・事務局)

6 学内委員会活動 広報委員会, FD委員会, FD委員会授業評価改訂部会

氏名: 増田 紘之

- 1 研究題目 運動中の活動筋疲労について, トレーニングによる骨格筋代謝適応について (運動生理生化学)
- 2 報告書
 1. 増田紘之. 科学研究費基金若手研究 (B), 運動が骨格筋の血糖取り込みを高める機序 - ヘキソキナーゼとミトコンドリアに着目して -, 研究成果報告書, 2017-2019, 研究代表者
- 3 学会等研究発表
 1. Takano K, Sato N, Konishi I, Kanda M, Suzuki Y, Nomura T, Nagai T, Masuda H, Sato D, Takiguchi T, Kinoshita N, Uchiyama W, Ishigami K. Intervention study on frailty of the elderly in Japanese local communities. First Far Eastern International Medical Congress. 2-17 Oct, 2020.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. 新潟版 介護予防支援プラットフォーム, 撮影, 中高年者, 新潟医療福祉大学, 2020.4.1-2021.3.31.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 中央大学保健体育研究所 ヒューマンパフォーマンス研究班 (客員研究員), 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 中央大学保健体育研究所 スポーツ医学研究班 (客員研究員), 2020.4.1-2021.3.31.
- 7 学内委員会活動 動物実験委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, ロコモティブ症候群予防研究センター, 栄養科学研究センター

氏名：渡辺 優奈

- 1 研究題目 妊婦を対象とした腸内細菌叢と身体状況, 栄養・食生活状況に関する研究, 妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量に関する研究
- 2 論文
 1. 牧野令子, 稲村雪子, 入山八江, 渡辺優奈, 川村美和子, 久志田順子. 在宅高齢者における訪問栄養指導と実施効果. 2021;21:25-39.
- 3 学会等研究発表
 1. 渡辺優奈, 善方裕美, 藤浪未沙, 井畑穰, 安藤希, 小谷野豊, 佐藤嘉純, 松本美保, 石川大仁, 細谷吉勝, 善方菊夫, 小松令以子. 妊娠初期の妊婦における排便状況と食品摂取パターンとの関連. 第67回日本栄養改善学会学術総会 (誌上開催), 2020.9.2-9.4.
 2. 稲葉洋美, 渡辺優奈, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 岩森大. メディア授業におけるグループディスカッションの特徴と課題. 第9回日本栄養学教育学会学術総会 (誌上開催), 2020.9.1.
 3. 渡辺優奈, 善方裕美, 藤浪未沙, 井畑穰, 安藤希, 小谷野豊, 佐藤嘉純, 松本美保, 石川大仁, 細谷吉勝, 善方菊夫, 小松令以子. 妊娠初期の鉄欠乏と腸内細菌叢との関連. 第35回日本女性医学学会学術集会 (会場 (東京)・オンラインハイブリット開催), 2020.11.21-11.22.
 4. 鈴木一恵, 石川紗和, 伊藤滯奈, 渡辺優奈. N大学1年生の朝食欠食に関連する生活背景. 第20回新潟医療福祉大学学術集会 (誌上開催), 2020.10.31.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本栄養改善学会, 日本栄養学教育学会, 日本栄養・食糧学会, 日本女性医学学会, 日本栄養士会, 新潟県栄養士会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本栄養改善学会関東・甲信越支部, 第3回実践栄養学研究セミナー, チューター, オンライン開催, 2021.3.20.
 2. PLOS ONE, Reviewer
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県栄養士会, 生涯学習研究会に関する拡大検討会, アドバイザー, 新潟医療福祉大学, 2020.11.4.
 2. 新潟県栄養士会, 2020年度第1回研修部会議, 講師, 新潟医療福祉大学, 2020.11.26.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費若手研究, 妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量の関係解明～鉄代謝調節因子「ヘプシジン」に着目して～, 研究代表者
 2. 2020年度, 株式会社ナチュラルサイエンス共同研究費, 妊婦を対象とした腸内細菌叢と身体状況, 栄養・食生活状況に関する研究, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学教育学部, 栄養学 (食品学を含む), 2020.10.1-2021.3.31.
- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会

氏名：竹内 瑞希

1 研究題目 研透析患者の栄養管理，栄養教育に関する研究，栄養に関する知識Databaseの活用について

2 論文

1. Horikawa C, Hatta M, Morikawa Y S, Takeda Y, Takeuchi M, Fujihara K, Kato N, Yokoyama H, Kurihara Y, Iwasaki K, Tanaka S, Maegawa H, Sone H. Family Support for Medical Nutritional Therapy and Dietary Intake among Japanese with Type 2 Diabetes (JDDM 56). *Nutrients*. 2020; 12(9): 2649.

3 学会等研究発表

1. 竹内瑞希，藤原和哉，治田麻理子，武田安永，堀川千嘉，斎藤トシ子，加藤光敏，加藤則子，横山宏樹，栗原義夫，岩崎皓一，宮澤一裕，山崎勝也，前川聡，曾根博仁. 2型糖尿病患者における野菜と果物の摂取と肥満との関連. 第63回日本糖尿病学会年次学術集会 (Web開催)，2020.10.5-10.16.
2. 山田貴穂，武田安永，池田和泉，竹内瑞希，國米純也，中湊大成，滝澤祥子，村井幸二郎，竹内亮，今西明，安楽匠，岸裕太郎，小松健，佐藤隆明，矢口雄大，山田万祐子，川田亮，金子正儀，鈴木浩史，松林泰弘，藤原和哉，岩永みどり，鈴木亜希子，羽入修，曾根博仁. 指先穿刺による血糖およびHbA1c迅速測定をもちいた糖尿病啓発の取り組み. 第63回日本糖尿病学会年次学術集会 (Web開催)，2020.10.5-10.16.
3. 寺尾幸子，星野美美，竹内瑞希，永井徹，鈴木一恵，石澤幸江，岩森大. 学生の包丁技術向上を目的とした実技試験と教育法の検討. 第9回日本栄養学教育学会 (誌上開催)，2020.9.1.
4. Hatta M, Fujihara K, Ikeda I, Takeuchi M, Nedachi R, Morikawa Y S, Horikawa C, Kato M, Kato N, Maegawa H, Sone H. Dietary patterns significantly associated with obesity in Japanese with type 2 diabetes; JDDM. 2020 by the American Diabetes Association (Web), 2020.6.12-6.16.
5. Morikawa Y S., Fujihara K, Nedachi R, Ikeda I, Takeda Y, Takeuchi M, Hatta M, Ishiguro H, Yamada T, Sone H. Physical fitness (PF), weight status, and metabolic risk in Japanese adolescent. 2020 by the American Diabetes Association (Web), 2020.6.12-6.16.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本病態栄養学会，日本静脈経腸栄養学会，日本栄養改善学会，新潟栄養・食生活学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 燕市食生活改善推進委員協議会研修会，地域に広めよう 血管を守る食事術，講師，燕市健康福祉部健康づくり課 (燕市保健センター)，燕市食生活改善推進委員，燕市，2020.12.8.
2. 子ども体験事業，キッチン科学だ！，講師，新潟市中央公民館 (クロスパル新潟)，小学3年生～6年生，新潟市，2021.3.27.

6 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会 (委員)

(2) 健康スポーツ学科

氏名：西原 康行

1 研究題目 Embodied Knowledge, Human Resource Management

2 著書

1. 西原康行. 改訂 図で学ぶスポーツマネジメント論. 神奈川：現代図書；2020：1-172.
2. 西原康行. スポーツ推進委員の資質向上と人材発掘. みんなのスポーツ. 東京：日本体育社；2020：15-18.

3 論文

1. Ubukata K, Nishihara Y. Situated cognition among American football coaches in Japan: Effects of the ongoing method on their coaching cognition. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20-1: 12-20.
2. Nishihara Y. A discussion and review of research on embodied knowledge: focusing on body interactions and body techniques. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20-2: 45-60.
3. 鶴瀬亮一, 石田航, 生田孝至, 内山渉, 西原康行. Virtual Reality 視界動画を用いた大学野球選手育成の試み. 新潟医療福祉学会誌, 2021；20-3, 54-59.
4. 西原康行. 総合型地域スポーツクラブスタッフ研修における学びの検討：組織課題研修と自己課題研修の比較. スポーツ産業学研究 (協力学術団体), 2021；31-1：41-52.
5. 高橋孝輔, 西原康行. スポーツ庁委託事業：大学スポーツ振興の推進事業成果報告書. 2020：1-28.
6. 渡邊優子, 西原康行. スポーツ庁委託事業：運動部活動改革プラン事業報告書. 2021：1-57.

4 学会等研究発表

1. Nishihara Y. Changes in physical education teachers' situation awareness by using VR videos. 25th annual Congress of the European College of Sports Science (Spain 【Webinar】), 2020.10.28-10.30.
2. Nishihara Y. Physical education teachers' situation awareness by using VR videos: Comparison of skilled teachers and novice teachers. 19th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria 【Webinar】), 2020.8.25-8.28.
3. 西原康行. 視線計測法を用いた保育者の観察力の共有化のこころみ. 第73回日本保育学会 (奈良女子大学 【紙面討議】), 2020.5.16-5.17. 【シンポジウム：指定討論者】

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育・スポーツ・健康学会, 日本体育・スポーツ経営学会, 日本スポーツ教育学会, 日本スポーツ産業学会, 新潟医療福祉学会, 日本教育工学会, 日本教育実践学会, Federation International d Education Physique (FIEP), North American Society for Sport Management (NASSM), European College of Sports Science (ECSS), International Association for Development of the Information Society (IADIA)
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本体育・スポーツ・健康学会 評議員
 2. 体育学研究 査読委員
 3. 大学体育スポーツ教育学研究 編集委員
 4. 大学体育スポーツ教育学研究 査読委員
 5. スポーツ産業学研究 査読委員
 6. Educational Technology Research, Peer Reviewer
 7. ECNSI Journal of Education, Editorial Board

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県教育庁, 学校と地域の協働による部活動, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 新潟市, 2020.4.10.

2. 新潟県教育庁, 学校と地域の協働による部活動, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 燕市, 2020.5.12.
 3. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2020.6.20-6.21.
 4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2020.6.27-6.28.
 5. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2020.10.24-10.25.
 6. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2020.12.5-12.6.
 7. 新潟市ロータリークラブ, 定例研修会, 講師, 新潟市ロータリークラブ, 新潟市, 2020.12.18.
 8. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市 (新潟県教育庁), 2020.11.20.
 9. 新潟県村上市教育委員会, コーチの役割, 講師, 村上市 (新潟県教育庁), 2020.1.14.
 10. 新潟県弥彦村教育委員会, コーチの資質, 講師, 弥彦村, 2020.11.28.
 11. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市 (新潟県教育庁), 2021.1.23.
 12. 新潟県燕市教育委員会, コーチの役割, 講師, 燕市 (新潟県教育庁), 2021.1.23.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. Teny, 夕方ワイド新潟一番, 東京五輪・パラリンピック延期による新潟への影響, 2020.4.1.
 2. UX, スーパーJにいがた, 東京オリンピック, 合宿地の今, 2020.4.24.
 3. Teny, 夕方ワイド新潟一番, 東京五輪延期のこれから, 2020.7.30.
 4. 信越放送 (SBC), ネットワークトゥデイ, 東京五輪を考える: 長野オリンピックの経験から, 2020.5.3.
 5. UX, スーパーJにいがた, アスリートのメッセージを読み解く, 2020.10.28.
 6. 新潟日報【囲み記事】, 再考 スポーツのチカラ, 2020.6.1.
 7. 新潟日報【囲み記事】, スポーツ×発信力: 共感, 2020.11.15.
 8. F-lab (研究で選ぶ大学進学情報誌), 世界を変える大学の研究, 熟達者の暗黙知をVRで顕在化してノービスの学びを促す, 2021.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 3. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 4. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 6. 総合型地域スポーツクラブ「ウェルネス村上」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
- 4) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
- スポーツ庁クラブネットワークアクション推進委員会 (副委員長), スポーツ庁全国高等学校総合体育大会【インターハイ】実行委員会 (監査役), 新潟県スポーツ推進審議会 (会長), 新潟県スポーツ推進プラン実行会議 (委員長), 新潟県部活動改革委員会 (委員長), 新潟県オリンピックアスリート支援検討委員会 (委員), 新潟県スポーツ協会 (評議員), 新潟文化・スポーツコミッション (委員長), 新潟市スポーツ推進審議会 (会長), 新潟市スポーツ推進計画策定会議 (委員長), 新潟シティマラソン事業者選定委員会 (委員長), 新潟市公共体育施設指定管理者選定委員会 (委員長), 燕市部活動のあり方委員会 (委員長), 村上市部活動のあり方委員会 (委員長)
- 5) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県スポーツ協会（評議員）、全国体育系大学連絡会（研究幹事）

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度、科研費基盤研究（C）、保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発、研究分担者
2. 2018年度、科研費基盤研究（B）、授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築、研究分担者
3. 2019年度、科研費基盤研究（B）、VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発、研究代表者

2) 学内部活動の実績

1. 女子バスケットボール部、部長、2020.4.1-2021.3.31.

3) 学外兼務講師等

1. 事業創造大学院大学、産業特論Ⅳ [スポーツビジネス論]、2020.10.1-2021.3.31.
2. 新潟大学、スポーツ経営学、2020.10.1-2021.3.31.
3. 日本スポーツ協会、上級指導者・上級コーチ養成講師（スポーツマネジメント）、2020.4.1-2021.3.31.
4. 日本体育施設協会、体育施設管理士養成講師（スポーツ施設のマネジメント）、2020.4.1-2021.3.31.
5. 日本スポーツ協会、上級指導者・上級コーチ養成講師（コーチング）、2020.4.1-2021.3.31.

8 学内委員会活動 総務会、将来計画機構、自己点検・評価委員会、教員選考・評価委員会、Sports&Health先端科学研究運営委員会（委員長）、シチズンシップ教育研究センター（センター長）、身体教育研究センター（センター長）

氏名：大森 豪

1 研究題目 変形性膝関節症の病態解明に関する疫学研究（予防医学）、変形性膝関節症に対する筋力訓練の効果に関する研究（臨床医学）、膝関節の3次元歩行運動解析（生体工学）、成長期骨折発生に関する疫学研究（公衆衛生学、予防医学）、膝前十字靭帯発生メカニズムに関する運動学的研究（生体工学、臨床医学）、スポーツにおける疲労骨折発生予防の調査研究（予防医学、臨床医学）、健康スポーツ用装具の開発（臨床医学、スポーツ医学）

2 著書

1. 大森豪；松本秀男，熊井司，西良浩一，菅谷啓之，吉矢晉一編．高齢者アスリートに対する治療のポイント．スポーツ整形外科学．1版．東京．文光堂；2020；86-89.

3 論文

1. Yamada K, Yoichi M Ito, Akagi M, Chosa E, Fuji T, Hirano K, Ikeda S, Ishibashi H, Ishibashi Y, Ishijima M, Itoi E, Iwasaki N, Izumida R, Kadoya K, Kamimura M, Kanaji A, Kato H, Kishida S, Mashima N, Matsuda S, Matsui Y, Matsunaga T, Miyakoshi N, Mizuta H, Nakamura Y, Nakata K, Omori G, Osuka K, Uchio Y, Ryu K, Sasaki N, Sato K, Senda M, Sudo A, Takahira N, Tsumura H, Yamaguchi S, Yamamoto N, Nakamura K, Ohe T. Reference value for the locomotive syndrome risk test quantifying mobility of 8681 adults aged 20-89 years: A cross sectional nationwide study in Japan. J Orthop Sci 2020; 25: 1084-1092. (原著論文)
2. Mochizuki T, Omori G, Nishino K, Tanaka M, Tanifuji O, Koga H, Mori T, Koga Y, Kawashima H. The medial inclination of proximal tibia is associated with the external knee adduction moment in advanced knee osteoarthritis. Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2020 Nov; oline ahead of print. DOI 10.1007/s00167-020-06323-8. (原著論文)
3. Mori T, Mochizuki T, Koga Y, Kobayashi K, Katsumi R, Sakamoto M, Omori G, Tanabe Y. New evaluation indices for rotational knee angles in standing anteroposterior knee radiographs. Biomed Mater Eng, 2020; Dec 31. doi: 10.3233/BME-201138. Online ahead of print. PMID: 33427727. (原著論文)

文)

4. Nishino K, Yamamoto N, Tanaka M, Ohishi T, Tanaka Y, Okamura N, Sekine H, Arakawa M, Omori G. Effect of Throwing Kinematics and Kinetics on Different Ranges of Long Toss in Youth Baseball Players. ISEA Proceedings 2020; 49: 118. <https://doi.org/10.3390/proceedings2020049118>. (国際学会抄録ですが論文扱いとなっています)
5. Ikenaga M, Okuma N, Nishiyama H, Chiba S, Nishino K, Omori G, Nunome H. Influence of Ball Impact Location on Racquet Kinematics, Forearm Muscle Activation and Shot Accuracy during the Forehand Groundstrokes in Tennis. ISEA Proceedings 2020; 49: 89. <https://doi.org/10.3390/proceedings2020049089>. (国際学会抄録ですが論文扱いとなっています)
6. 古賀寛, 大森豪. 早期変形性膝関節症における装具療法. 整・災外. 2021; 64: 301-306. (原著論文)
7. 鈴木秀知, 西野勝敏, 田中正栄, 大森豪. 非接触型前十字靭帯損傷予防 - 股関節周囲筋群と膝関節運動の関係に注目して -. Strength & Conditioning Journal (NSCA Japan) 2020 June; 27: 2-12. (原著論文)
8. 藤原靖, 森清友亮, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治, 望月友晴, 大森豪, 湊泉, 古賀良生. 吹き流し膝における下肢機能軸と荷重方向の評価. 臨床バイオメカニクス 2020; 41: 109-114. (原著論文)
9. 森清友亮, 田中正栄, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治, 望月友晴, 古賀寛, 大森豪, 湊泉, 藤原靖, 古賀良生. Windswept deformityを呈する変形性膝関節症における下肢アライメントと腸脛靭帯緊張の評価. 臨床バイオメカニクス 2020; 41: 115-120. (原著論文)
10. 森隆裕, 古賀良生, 望月友晴, 古賀寛, 小林公一, 大森豪, 田邊裕治. 変形性膝関節症初期変化のX線前後評価画像についての定量的縦断検討. 臨床バイオメカニクス 2020; 41: 121-126. (原著論文)

4 報告書

1. 基盤研究C (課題番号19K09610). 変形性膝関節症の病態解明—長期疫学および新しい運動学的アプローチ. 2019年度 外部資金獲得奨励金実績報告書. 2018年~2021年. 大森豪 (代表) 古賀寛, 田邊雄治, 小林公一, 坂本信.

5 学会等研究発表

1. 大森豪. 成長期スポーツ診療の注意点. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催) 【教育研修講演】
2. 菊元孝則, 久保雅義, 大森豪. 慢性足関節不安定症が片脚着地動作時の膝関節に与える影響. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催) 【シンポジウム】
3. 三瀬貴生, 熊崎昌, 平林怜, 江玉陸明, 伊藤涉, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 横田裕文, 阿久澤弘, 金岡恒治. 水泳動作中の肩甲骨周囲筋活動にエクササイズ介入が与える即時効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)
4. 富山泰之, 大森豪, 山本智章, 菊池達哉. 膝蓋骨疲労骨折に治療経験と再発症例についての検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)
5. 平林怜, 横田裕文, 伊藤涉, 三瀬貴生, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 江玉陸明. 噛みしめが及ぼす脊髄機能と運動パフォーマンスへの効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)
6. 江玉陸明, 稲葉洋美, 星野美美, 横田裕文, 平林怜, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリート三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)
7. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉陸明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕文, 平林怜, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)
8. 松澤寛大, 江玉陸明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕文, 平林怜, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 浅指屈筋の各指の筋腹の形態学的特徴. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)

9. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学寮に住む大学生女子アスリートの栄養素等摂取量に関する報告. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)
10. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井沙野, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 中村絵美, 三瀬貴生, 横田裕文, 大森豪. 大学女子バレーボール選手のエネルギー摂取量と身体活動量に関する報告. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)
11. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 久保雅義. ランニング中のショパール関節およびリスフラン関節モーメントの定量化の試み. 第31回日本臨床スポーツ医学会 (宮崎市), 2020.11.4-11.30. (オンライン開催)
12. 富山泰之, 望月友晴, 古賀寛, 大森豪, 古賀良生, 谷藤理, 西野勝敏, 川島寛之. 変形性膝関節症の発症と大腿骨遠位骨皮質幅の関係-松代膝検診の縦断研究の結果から-. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
13. 嶋俊郎, 望月友晴, 大森豪, 古賀良生, 古賀寛, 谷藤理, 川島寛之. スラストに影響を与える因子-脛骨近位関節面傾斜はスラスト現象に寄与する-. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
14. 渡邊博史, 田中正栄, 西野勝敏, 梨本智史, 古賀良生, 大森豪, 遠藤和男, 古賀寛, 望月友晴, 森隆弘, 坂上勇太, 蕪木武史, 杉戸裕一, 飯田晋. 変形性膝関節症X線定量評価による進行度予測に影響する疫学要因の検討. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
15. 森隆弘, 坂上勇太, 森清友亮, 古賀良生, 望月友晴, 古賀寛, 大森豪, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治. 膝前後X線画像による変形性膝関節症の進行度の定量評価-I 評価法の開発と妥当性の検討. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
16. 森隆弘, 坂上勇太, 森清友亮, 古賀良生, 望月友晴, 古賀寛, 大森豪, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治. 膝前後X線画像による変形性膝関節症の進行度の定量評価-II 疫学調査への応用と縦断解析. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
17. 佐藤直樹, 小林公一, 渡邊聡, 大森豪, 坂本信, 古賀良生, 田邊裕治. ACL損傷前後における付着間距離の変化. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
18. 平野健流, 林豊彦, 渡邊聡, 古賀良生, 大森豪, 田邊裕治, 小林公一. 円盤状半月が大腿骨顆部冠状面形状に与える影響. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
19. 森清友亮, 石井義人, 森隆弘, 古賀良生, 望月友晴, 大森豪, 小林公一, 坂本信, 田邊裕治. 荷重-非荷重における大腿骨脛骨位置変化解析. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
20. 鈴木秀知, 西野勝敏, 田中正栄, 大森豪. 前十字靭帯再建術後に競技復帰した女子スポーツ選手の内側方向への片脚着地動作時の膝関節の生体力学的分析: 患健差の検討. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
21. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪. ランニングに生ずる足関節・ショパール関節・リスフラン関節モーメントの定量化. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
22. 伊藤裕矢, 佐藤卓, 小林公一, 田邊裕治, 大森豪. 1方向スロットラジオグラフィによるイメージマッチング精度. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
23. 鈴木亮平, 望月友晴, 笹川圭右, 大森豪, 田邊裕治. 有限要素解析による形状最適化手法を用いた大腿骨皮質骨幅変化の解析. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
24. 小林公一, 坂本信, 田邊裕治, 佐藤卓, 渡邊聡, 大森豪, 古賀良生. 運動パターンと摺動面滑り量. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7. 【シンポジウム】
25. 望月友晴, 古賀良生, 谷藤理, 森隆弘, 古賀寛, 佐藤卓, 大森豪. 長期疫学調査X線検討による早期膝OAの発生機序. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7. 【シンポジウム】
26. 田中正栄, 西野勝敏, 山本智章, 大森豪, 古賀良生. 少年野球の遠投について動作分析による投球側上肢に与える影響の検討. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7. 【シンポジウム】

6 学会活動

1) 所属学会 日本整形外科学会, 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (評議員), 日本臨床スポーツ医学会 (理事), 日本整形外科スポーツ医学会 (評議員), 日本臨床バイオメカニクス学会 (評議員), 日本人工関節学会 (評議員), 日本運動器科学会 (評議員), ISAKOS (国際関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会), 東北整形災害外科学会, 膝OAと運動・装具療法研究会 (代表世話人), 日本運動器 shock wave 研究会 (幹事), スポーツ傷害フォーラム (幹事), 膝フォーラム (世話人), TKAフォーラム (幹事), 新潟スポーツ傷害フォーラム (代表世話人), 日本 Knee Osteotomy and Preservation 学会 (代表世話人), 関節鏡手術セミナー (代表世話人), 新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

1. 関節鏡手術セミナー, 第20回関節鏡手術セミナー, 会長, 新潟市 (オンライン開催), 2020.8.22.
2. 日本臨床バイオメカニクス学会, 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 in Niigata, 会長, 新潟市 (ハイブリッド・オンライン開催), 2020.11.6-11.7.
3. 膝OAと運動・装具療法研究会, 第15回膝OAと運動・装具療法セミナー, 会長, 東京都 (オンライン開催), 2021.1.29.
4. 新潟県スポーツドクター協会, スポーツ医学再研修会, 会長, 新潟市 (ハイブリッド・オンライン開催), 2021.3.27.

3) 学会等でのその他の活動

1. 日本臨床バイオメカニクス学会, 将来構想委員会委員長, 学会誌査読委員
2. 日本臨床スポーツ医学会, 教育研修委員会委員長, 学会誌査読委員
3. 日本整形外科学会英文誌 (J orthop Sci) 査読委員
4. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 機能評価委員会委員長, 広報委員会委員, 学会誌査読委員
5. 日本整形外科学会, 変形性膝関節症ガイドライン作成委員会委員
6. 日本整形外科スポーツ医学会, 学会誌査読委員
7. 日本運動器 shock wave 研究会, 監事
8. 日本人工関節学会, 専門医制度認定委員会委員
9. 日本運動器科学会, 学会誌査読委員
10. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会および日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 第12回+第46回学術集会教育研修講演, 座長, 札幌市 (オンライン開催), 2020.12.17-12.19.
11. 日本整形外科学会, 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 座長, 東京都 (オンライン開催), 2020.10.15-10.16.

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 女性のヘルスケア研修会. 講演タイトル:ロコモティブシンドロームとフレイル. 役割:講師. 主催者:日本巨星医学学会. 対象者:産婦人科医師. 東京都 (オンライン開催). 2020.6.23.
2. 新潟市中体連部活指導者研修会・新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー. 講演タイトル:成長期のスポーツ外傷・障害. 役割:セミナー講師. 主催者:新潟県スポーツドクター協会. 対象者:体育教員および部活指導者. 新潟市. 2020.9.18.
3. 新潟県養護教員12年研修会. 講演タイトル:成長期のスポーツ外傷・障害. 役割:研修会講師. 主催者:新潟県教育委員会. 対象者:新潟県養護教員. 新潟市. 2020.10.1.
4. 2020年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成研修会. 講演タイトル:中高年者とスポーツ (整形外科系). 役割:研修会講師. 主催者:日本スポーツ協会. 対象者:スポーツドクター希望医師 歯科医師. 東京都 (オンライン開催). 2020.10.10.
5. スポーツ・ヘルスケア産業創出に係るシンポジウム. 講演タイトル:産学連携の事例とアスリートサポート研究センターの可能性. 役割:講演者 (シンポジスト). 主催者:新潟医療福祉大学. 対象者:一般者. 新潟市 (オンライン開催). 2022.2.6.
6. スポーツ傷害予防フェスタ in NUHW. 講演タイトル:小学生の身体とミニバスケットボールのけが.

役割：講演者。主催者：新潟医療福祉大学。対象者：小学生，ミニバス指導者，保護者。新潟市（Web講義）。2021.2.6.

7. 燕市介護予防活動啓発講演会。講演タイトル：年齢を重ねると膝や腰が痛くなる理由－いつまでも元気でいるためのアドバイザー。役割：講演者。主催者：燕市社会福祉協議会。対象者：一般者。燕市。2021.3.10.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟県スポーツ推進審議会（委員）

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県サッカー協会（医学委員長），北信越サッカー協会（医学委員），新潟県スポーツドクター協会（会長），新潟県医師会（健康スポーツ委員会・委員），新潟市スポーツ協会（理事），新潟県スポーツ協会（AT部会顧問）

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度，科研基盤研究（C），変形性膝関節症の病態解明－長期疫学調査及び新しい運動学的アプローチ，研究代表者，継続
2. 2019年度，科研基盤研究（B），下肢関節力学モデルの構築に関する研究，分担研究者，継続

2) 学内部活動の実績

1. 女子サッカー部，なでしこチャレンジリーグにおけるチーム医事サポート，新潟市，2020.8.22，9.5，9.12，10.25，11.1（会場ドクターと兼任）

9 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会（委員），安全衛生委員会（委員），アスリートサポート研究センター（センター長），Sports & Health先端研究センター（委員）

氏名：神田 勝夫

報告事項なし

氏名：佐藤 和也

1 研究題目 野球のコーチング

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会，新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 職業倫理に関する講義について，講師，新潟県警察学校，初任科第388期生，新潟県警察学校講堂，2020.7.22.
2. 令和2年度スポーツ庁「部活動改革プラン」，指導者の心得，講師，NPO法人希楽々，村上市情報センター視聴覚ホール，2020.10.30.
3. 南魚沼市指導者講習会，講師，株式会社ベースボール・マガジン社，南魚沼市小中学校野球指導者，大原運動公園ペーマガSTADIUM，2020.11.3.
4. 長岡野球協会野球教室・講習会，講師，長岡野球協会，野球未経験の小学1～4年生・長岡市学童野球チーム指導者，長岡市ニュータウン運動公園，2020.11.14.
5. 令和2年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ3級養成講習会，講師，公益財団法人全日本軟式野球連盟，オンライン，2020.11.28.
6. 令和2年度中越地区社会体育総合研修会兼二市三刈羽ブロック社会体育研修会，指導の心得，講師，出雲崎町教育委員会，出雲崎町中央公民館講堂，2020.11.28.
7. 令和2年度日本スポーツ協会公認コーチ養成講習会，講師，新潟県野球連盟，HARD OFF ECO スタジアム新潟，2020.12.5.

8. 令和2年度長岡地域定住自立圏『スポーツ振興事業』「野球指導者講習会」, 講師, 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会, 小千谷市, 2020.12.12-12.13.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. UX新潟テレビ21, SJにいがた・ガッツリート, 「新型コロナウイルスの影響による春季高校野球大会中止について」, 2020.4.6.
 2. 新聞, スポーツニッポン新聞社新潟県版, 新潟医療福祉大 佐藤和也総監督が提言 高校野球「県高野連の主体性を高く評価」, 2020.4.19.
 3. 新聞, 日刊スポーツ新聞社全国版, 〈高校野球NOW〉新潟明訓率いた佐藤氏「選手がやり切った感覚に」, 2020.5.2.
 4. 新聞, 日刊スポーツ新聞社, 新潟特集 コロナで揺れる最後の夏 指導員は3年生にどう寄り添うか, 2020.5.3.
 5. UX新潟テレビ21, SJにいがた, 「夏の甲子園大会中止」を受けて, 2020.5.21.
 6. 新聞, スポーツニッポン新聞社新潟県版, 夏の甲子園大会中止 私はこう考える 佐藤総監督「監督たちが熱い思いを行動で示せ」2020.5.23.
 7. ラジオ, NHK新潟放送局, にいがたゆうどきラジオ, 新潟野球の動き, 指導法について, 2020.6.26.
 8. UX新潟テレビ21, ブログ「佐藤和也総監督のまなざし」, 2020.7.1-8.6.
 9. 雑誌, スタンダードvol10, 私の高校野球, 2020.7.5.
 10. UX新潟テレビ21, ナマトク, 高校野球 独自大会開幕まであと5日, 2020.7.14.
 11. 新聞, スポーツニッポン新聞社新潟県版, コラム「和也スコープ」, 2020.8.5-8.7.
 12. スポーツニッポン新聞社新潟県版, 今日県高校野球特別番組, 2020.8.22.
 13. UX新潟テレビ21, この夏を忘れない～白球に乗せた球児たちの夢～, 2020.8.22.
 14. ラジオ, FM NIIGATA, JIN'S RADIO SHOW, 2020.8.26.
 15. 全日本軟式野球連盟, 中学校部活動 軟式野球指導の手引き, 2020.10.1.
 16. 新聞, 新潟日報, スポーツ×発信力4 新潟の理念 全国へ波及, 2020.11.18.
 17. 新聞, スポーツニッポン新聞社全国版, "モデル、新潟明訓率いた元監督が語る水島先生, 2020.12.2.
 18. 新聞, 朝日新聞新潟県版, 「ドカベン」の水島新司さん引退, 2020.12.2.
 19. 新聞, 日刊スポーツ新聞社全国版, 監督室に全巻 水島さん引退, 2020.12.2.
 20. 雑誌, 週刊ベースボール, 野球浪漫2020 漆原大済ここからが勝負, 2020.12.14.
 21. 新聞, 日刊スポーツ新聞社, 新潟特集 新潟医療福祉大硬式野球部 佐藤和也総監督 鷗瀬監督に聞く, 2021.3.11.
 22. 新聞, 新潟日報, 今日でさよなら 小針球場, 2021.3.12.
 23. 雑誌, 週刊ベースボール, 2021ドラフト候補 桐敷拓馬, 2021.3.15.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
UX新潟テレビ21 スポーツコメンテーター, スポーツコーチーズネット長岡 アドバイザー, 新潟県野球協議会理事, 新潟県野球連盟副会長, 新潟市野球連盟副会長

氏名: 佐藤 大輔

- 1 研究題目 神経可塑性と運動学習・記憶に関する研究
- 2 論文
 1. Ikarashi K, Iguchi K, Yamazaki Y, Yamashiro K, Baba Y, Sato D. Influence of menstrual cycle phases on neural excitability in the primary somatosensory cortex and ankle joint position sense. *Women's Health Reports*. 2020;1(1):167-178.
 2. 白井直人, 山代幸哉, 小島将, 佐藤大輔. サッカーにおけるヘディングの累積曝露と慢性外傷性脳症に関する最近の知見. *体力科学 (協力学術団体)*. 2020;69(5):361-370.
 3. Yamanaka R*, Wakasawa S*, Yamashiro K, Kodama N, Sato D. Effect of resistance training of psoas

major on performance in long-distance runners. International Journal of Sports Physiology and Performance (JCR). 2020;16(6):906-909.

4. Sato D, Yamazaki Y, Onishi H, Baba Y, Ikarashi K, Maruyama A. Elite competitive swimmers exhibit higher motor cortical inhibition and superior sensorimotor skills in a water environment. Behavioural Brain Research (JCR). 2020;395:112835.
5. Ikarashi K, Sato D, Iguchi K, Baba Y, Yamashiro K. Menstrual cycle modulates motor learning and memory consolidation in humans. Brain Sciences. 2020;10(10):696.
6. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance?. Sports Biomechanics (JCR). 2021;:44208.
7. Yamashiro K, Yamazaki Y, Shiiya K, Ikarashi K, Baba Y, Onishi H, Sato D. Modality-specific improvements in sensory processing among baseball players. Scientific Reports (JCR). 2021;11:2248.
8. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of brain-derived neurotrophic factor genotype on short-latency afferent inhibition and motor cortex metabolites. Brain Sciences (JCR). 2021;11(3):395.

3 学会活動

1) 所属学会 日本臨床神経生理学学会, 日本体力医学会, 日本介護福祉・健康づくり学会 (学術委員), 日本体育学会 (編集委員), Society for Neuroscience, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. Brain sciences 査読委員
2. Frontier in Psychology 査読委員
3. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 査読委員
4. Scientific Reports 査読委員
5. 日本介護予防・健康づくり学会誌 査読委員

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2020年度からだを使ってあそぼうリモート教室, 体力測定, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 2020.8.1-8.29. (全4回)
2. 2020年度からだを使ってあそぼうリモート教室, エクササイズ動画配信, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 2020.9.1-11.30.
3. 2020年度からだを使ってあそぼうリモート教室, 体力測定, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 2020.11.14-11.28. (全2回)
4. 令和2年度 健康づくりのための室内運動指導者研修会, 私たちの生活活動(運動)と脳に関すること, 講義・実技指導, 新潟県, 県・市町村の健康づくりに関わる者, 2020.10.9.
5. 2020年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明, 実施代表者, 新発田市稲荷岡一地区高齢者, 2020.12.8.
6. 2020年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明, 実施代表者, 新発田市石喜地区高齢者, 2020.12.10.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報(朝刊), 小中学校の水泳授業中止に関するコメント, 2020.6.9.
2. 新潟日報モア, 小中学校の水泳授業中止に関するコメント, 2020.6.9.
3. 新潟日報(朝刊), 障害児向けのオンライン運動プログラム紹介, 2020.10.26.
4. PR TIMES, 月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見!, 2020.11.5.
5. BIGLOBE ニュース, 月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見!, 2020.11.5.
6. Sports mania, 月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見!, 2020.11.5.

7. WMR Tokyo, 月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見!, 2020.11.5.
8. Exciteニュース, 月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見!, 2020.11.5.
9. 医療ニュース速報, 月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見!, 2020.11.5.
10. JIJI.COM, 月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見!, 2020.11.5.
11. 新潟日報(朝刊), 女性選手の習得能力, 月経周期で違い, 2020.12.4.
12. 新潟日報モア, 女性選手の習得能力, 月経周期で違い, 2020.12.4.
- 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟地方裁判所委員会(委員)
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県水泳連盟指導者委員会(委員)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究(B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), 水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発, 研究代表者
 3. 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 研究分担者
 4. 2018年度, 科研費基盤研究(B), 神経シナプス可塑性の反応variabilityが運動学習の個人差を規定するか?, 研究分担者
 5. 2019年度, 科研費基盤研究(C), ヒトは水中環境で自身の身体動作をどの程度再現できるのか?単関節動作による検討, 研究分担者
- 6 学内委員会活動 総務会, 大学院委員会, 科研費対策委員会(委員長), 運動機能医科学研究所

氏名: 佐藤 敏郎

- 1 研究題目 中高年者の運動による健康づくり, 大学生の体力水準と学業成績と生活状況との関係, 高齢者における転倒予防, 習慣的運動実施による健康状態・体力水準の変化
- 2 論文
 1. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 下門洋文, 吉松梓, 鵜瀬亮一, 高田大輔. 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 大学体育スポーツ学研究; 2021; 8: 179.
- 3 学会等研究発表
 1. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 下門洋文, 吉松梓, 鵜瀬亮一, 高田大輔. 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(オンライン), 2021.2.22.
 2. 佐藤敏郎. 大学野球選手の足裏形態と足部調査およびポジションとの関係. 日本体育測定評価学会第20回大会(オンライン), 2021.2.28.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育測定評価学会(理事, 倫理委員長), 日本教育医学会(理事), 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本生理人類学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本体育測定評価学会, 第20回大会, 実行委員, オンライン, 2021.2.28.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 第9回大学体育スポーツ研究フォーラム, 座長, オンライン, 2021.2.22.
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 健康サポートのための多職種連携研修会, 日本健康運動指導士会新潟県支部の取り組みの紹介, 講師,

- 新潟県薬剤師会，薬剤師，新潟市，2020.10.25.
2. 輝けセカンドライフ，ステイホーム，運動と筋トレでパワーアップ，講師，新潟市鳥屋野地区公民館，新潟市民，新潟市，2020.10.14.
 3. 筋力トレーニング推進事業，ちょこちょこ筋トレ講習会プラス有酸素運動，講師，三条市福祉保健部，三条市民，三条市，2020.10.16・12.4.
 4. 筋力トレーニング推進事業，ちょこちょこ筋トレ講習会74歳以下体験コース，講師，三条市福祉保健部，三条市民，三条市，2019.12.5・2021.1.23.
 5. 筋力トレーニング推進事業，ちょこちょこ筋トレ講習会60歳以上フレイル予防コース，講師，三条市福祉保健部，三条市民，三条市，2019.12.4.
 6. 知る・学ぶ「福祉・介護・健康」in新潟，世代間交流事業，健康・体力測定コーナー，新潟県社会福祉協議会，一般市民，新潟市，2020.11.8.
 7. 筋力トレーニング推進事業，身体機能測定，講師，三条市福祉保健部，株式会社高儀社員，三条市，2020.10.22.
 8. 筋力トレーニング推進事業，身体機能測定，講師，三条市福祉保健部，株式会社高儀社員，三条市，2020.11.12.
 9. 健康サポートのための多職種連携研修会，日本健康運動指導士会新潟県支部の取り組みの紹介，講師，新潟県薬剤師会，薬剤師，新潟市，2021.2.23.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. BSNテレビ，ゆうなび，外出自粛中でもできる簡単エクササイズ，2020.4.23.
 2. BSN新潟放送ホームページ，インフォメーション，外出自粛中でもできる簡単エクササイズ，2020.4.
 3. BSNテレビ，にいがたケンジュプロジェクト，「新しい生活様式の中でも健康への意識を忘れずに」啓発CM，放映期間：2か月間：2020.5-6.
 4. BSNラジオ，にいがたケンジュプロジェクト・ケンジュがダイジ，9月の健康増進普及月間，および新しい生活様式の中での運動，2020.9.14.
 5. BSNテレビ，ゆうなび，にいがたケンジュプロジェクト生涯スポーツ（シニアになってもスポーツを楽しもう），2020.9.25.
 6. 新聞，新潟日報，にいがたケンジュプロジェクト目指せケンジュ日本一，2021.3.25.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 公益財団法人新潟県健康づくり財団，定期評議員会，評議員，新潟県医師会館・新潟市，2020.6.29.
 2. ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議，健康立県プロモーション事業，委員，新潟市，2020.11.27.
 3. 日本健康運動指導士会新潟県支部，2020年度第1回研修会，企画運営，新潟日报社メディアシップ・新潟市，2020.11.15.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟県ヘルスプロモーションプロジェクト推進会議委員
- 5) 職能団体（協会，士会等）の委員
日本健康運動指導士会新潟県支部（支部長），新潟県フライングディスク協会（会長），公益財団法人新潟県健康づくり財団（評議員），新潟骨を守る会（監事），北信越大学バレーボール連盟（理事），関甲新学生野球連盟（理事）
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，科研費基盤研究（C），運動競技選手の浮き趾を含む足裏形態，履物，関節痛との関係，研究代表者
- 7 学内委員会活動 危機管理対策委員会，外部評価準備委員会，将来計画機構，自己点検・評価委員会，学生懲戒諮問委員会（委員長），学生委員会（学生部長・委員長），交通安全委員会（委員長），SHAINプロジェ

クト, 英語等海外留学奨学生選考委員会,

氏名：下山 好充

- 1 研究題目 水泳競技におけるパフォーマンス向上に関する研究
- 2 論文
 1. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports Biomechanics. 2021; 1-12.
 2. Ikeda Y, Ichikawa H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal of Sports Science. 2021; 1-7.
- 3 学会等研究発表
 1. 三瀬貴生, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充, 阿久澤弘, 金岡恒治. 競泳選手における肩関節不安定性保有率の年代間比較. 日本アスレティックトレーニング学会 (オンライン), 2020.12.5-12.31.
 2. 市川浩, 下山好充, 栗木明裕, 永野康治. クロール泳フラッターキック中の膝関節過伸展が足関節速度および加速度に及ぼす影響. 日本臨床バイオメカニクス学会 (オンライン),
 3. 市川浩, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 下肢関節角度変化の位相差がクロール泳フラッターキックの足関節速度および加速度に及ぼす影響. 日本バイオメカニクス学会大会 (オンライン),
 4. 市川浩, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 大学生と中高生競泳選手間のフラッターキック動作の比較. 日本水泳・水中運動学会年次大会 (オンライン),
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体力医学会, トレーニング科学会, 日本水泳水中運動学会, 日本コーチング学会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2020年度ユニバーシアード候補研修事業, トップレベルの選手のコーチングおよびトレーニング科学, 講演, 公益財団法人日本水泳連盟, ユニバーシアード候補選手, オンライン, 2020.12.16.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報, 新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛をしている本学水泳部について紹介され, 下山 好充 監督が選手たちの様子について語ったことなどが写真とともに掲載された. 2020.4.23.
 2. テレビ, BSNテレビ, 「ゆうなび」にて, 新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛をしている本学水泳部について紹介され, 下山 好充 監督が選手たちの様子について語ったことなどが5分程度放映された. 2020.4.27.
 3. 新聞, 新潟日報, 新型コロナウイルスの影響を受けている各競技の五輪代表選考会や県内選手について紹介され, 水泳部の水沼 尚輝 選手 (本学職員) や佐藤 綾 選手 (同) の氏名が写真とともに掲載された. 2020.4.30.
 4. テレビ, UXテレビ, 夕方ニュース「スーパーJにいがた」内の自宅でできるトレーニングを紹介する「うちトレ」にて, 水泳部の水沼 尚輝 選手 (本学職員) のトレーニング法が紹介され, トレーニングを実演している様子などが2分程度放映された. 2020.5.15.
 5. 新聞, 信濃毎日新聞, アスリートから新型コロナウイルスの影響で苦難に直面する人たちへエールを送る特集「いま, 伝えたい」欄にて水泳部の佐藤 綾 選手 (本学職員) が紹介され, 過去の苦難や今後の抱負についてのコメントが写真とともに掲載された. 2020.5.18.
 6. WEB, 新潟日報スポーツモア, 県内アスリートのメッセージやストーリーを集めた動画を紹介する企画「Sports×Stories」にて水沼 尚輝 選手 (本学職員) が紹介され, 水沼選手の言葉や写真などが掲載された. 2020.5.28.

7. テレビ, UXテレビ, 夕方ニューススーパーJの「ガッツリート」内にて, 新型コロナウイルス感染拡大による練習休止以来, 水泳部の練習を再開した水沼 尚輝 選手(本学職員)について紹介され, インタビューや練習の様子などが6分程度放映された. 2020.6.15.
8. WEB, 新潟日報スポーツモア, 新型コロナウイルス感染拡大の影響による活動自粛期間が明け, 練習を再開した水泳部社会人選手について紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員), 佐藤 綾 選手(同), 松井 浩亮 選手(同)のコメントが写真とともに掲載された. 2020.6.16.
9. 新聞, 新潟日報, 新型コロナウイルス感染拡大の影響による活動自粛期間が明け, 練習を再開した水泳部社会人選手について紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員), 佐藤 綾 選手(同), 松井 浩亮 選手(同)のコメントが写真とともに掲載された. 2020.6.16.
10. WEB, 新潟県ホームページ, 新型コロナウイルス感染拡大により, 活動の場を失ったスポーツに親しむすべての県民を応援するため, アスリートからの応援メッセージが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員), 佐藤 綾 選手(同), 松井 浩亮 選手(同)のメッセージ動画が掲載された. 2020.6.19.
11. WEB, 日刊スポーツ, 昨年の全国高校総体で5冠を果たし, 今春, 本学に入学した大内 紗雪 選手(健スポ1年)について紹介され, 今後の抱負やプロフィールについて写真とともに掲載された. 2020.6.24.
12. 新聞, 日刊スポーツ(新潟県版), 昨年の全国高校総体で5冠を果たし, 今春, 本学に入学した大内 紗雪 選手(健スポ1年)について紹介され, 今後の抱負やプロフィールについて写真とともに掲載された. 2020.6.25.
13. テレビ, TENYテレビ, 「夕方ワイド新潟一番」内にて, 延期となった東京五輪へのアスリートの心境が紹介され, 水泳部の水沼 尚輝 選手(本学職員)や佐藤 綾 選手(同)のインタビューや練習の様子などが4分程度放映された. 2020.7.24.
14. テレビ, TENYテレビ, 「夕方ワイド新潟一番」内にて, 「#負けないニイガタ 新潟医療福祉大学水泳部のコロナに負けない練習」というテーマで水泳部が特集され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)や佐藤 綾 選手(同)などのインタビューや練習の様子などが10分程度放映された. 2020.7.30.
15. テレビ, テレビ信州, 来年の東京五輪を目指す長野県出身選手を紹介する特集にて, 佐藤 綾 選手(本学職員)について紹介され, 練習風景やインタビューの様子などが8分程度放映された. 2020.7.29.
16. 新聞, 新潟日報, 競泳2020サマーチャレンジが開催されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100mバタフライで自己新記録で優勝, 松井 浩亮 選手(同)が50m自由形で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された. 2020.7.29.
17. テレビ, TENYテレビ, 「#負けない!ニイガタ 24時間テレビ直前スペシャル」にて水泳部が特集され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)や佐藤 綾 選手(同)などのインタビューや練習の様子などが5分程度放映された. 2020.8.21.
18. テレビ, TENYテレビ, 来年の東京オリンピックを目指す佐藤 綾 選手(本学職員)と松井 浩亮 選手(同)について特集され, 大会の様子やインタビューなどが10分程度放映された. 2020.8.27.
19. 新聞, 新潟日報, 競泳の国際リーグに参加する「東京フロッグキングス」のメンバーが発表されたことが紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)や松井 浩亮 選手(同)などの氏名が掲載された. 2020.9.10.
20. 新聞, 新潟日報, 東京五輪への期待がかかる県勢を紹介する特集「原点ここに」にて, 水沼 尚輝 選手(本学職員)について紹介され, 下山 好充 監督のコメントや水沼選手の経歴などが写真とともに掲載された. 2020.9.18.
21. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権が行われることが紹介され, 期待の県勢選手として田中 優弥 選手(健スポ4年)や深澤 舞 選手(同)の氏名や写真が掲載された. 2020.9.29.
22. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が50m自由形で22秒28で2位に入賞したことが掲載された. 2020.10.2.
23. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)

- が100mバタフライで51秒76で優勝したことがコメントともに掲載された。2020.10.3.
24. 新聞, 日本経済新聞(全国紙), 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された。2020.10.3.
 25. WEB, 神奈川新聞, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された。2020.10.3.
 26. WEB, 日刊スポーツ, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された。2020.10.3.
 27. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手(健スポ4年)が100m平泳ぎで1分7秒61で2位に入賞したことが掲載された。2020.10.3.
 28. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手(健スポ4年)が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが写真とともに掲載された。2020.10.4.
 29. WEB, 共同通信(全国紙), 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手(健スポ4年)が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが掲載された。2020.10.4.
 30. WEB, 東京新聞, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手(健スポ4年)が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが掲載された。2020.10.4.
 31. WEB, 日刊スポーツ, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手(健スポ4年)が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが掲載された。2020.10.4.
 32. 新聞, 朝日新聞(全国紙), 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された。2020.10.4.
 33. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された。2020.10.4.
 34. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手(健スポ4年)が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが写真とともに掲載された。2020.10.5.
 35. 新聞, 日刊スポーツ(新潟県版), 競泳 日本学生選手権 最終日 [女子平泳ぎ200m決勝] 第1位 深澤 舞 選手(健スポ4年), 2020.10.5.
 36. テレビ, NHK新潟テレビ, 来年の東京オリンピックを目指す水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 練習の様子やインタビューなどが9分程度放映された。2020.10.6.
 37. テレビ, UXテレビ, 「スーパーJにいがた」にてインカレで100mバタフライで優勝した田中 優弥 選手(健スポ4年)が紹介され, 試合の様子などが1分半程度放映された。2020.10.13.
 38. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳の短水路日本選手権第1日の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が男子50mバタフライで優勝した川本 武史 選手と予選で競り合ったことが掲載された。2020.10.17.
 39. WEB, 日刊スポーツ, 競泳の短水路日本選手権第1日の結果が紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が男子50mバタフライで優勝した川本 武史 選手と予選で競り合ったことが掲載された。2020.10.17.
 40. 新聞, 新潟日報, 競泳の短水路日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手(本学職員)や津田 萌咲 選手(健スポ2年)が優勝したことなどが写真とともに掲載された。2020.10.18.
 41. 新聞, 新潟日報, 競泳の短水路日本選手権の結果が紹介され, 男子100mバタフライで水沼 尚輝 選手(本学職員)や田中 優弥 選手(健スポ4年)が入賞したことなどが掲載された。2020.10.19.
 42. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳国際リーグ 予選リーグ第3戦の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が50mバタフライで5位に入賞したことなどが掲載された。2020.10.27.
 43. WEB, BBM Sports, 競泳国際リーグ 予選リーグ第3戦の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が50mバタフライで5位に入賞したことなどが掲載された。2020.10.27.
 44. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳国際リーグ 予選リーグ第8戦の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手(本学職員)が50m自由形で4位, 水沼 尚輝 選手(同)が100mバタフライで4位に入賞したことなどが掲載された。2020.11.7.

45. WEB, BBM Sports, 競泳国際リーグ 予選リーグ第8戦の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で4位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで4位に入賞したことなどが掲載された. 2020.11.7.
46. 新聞, 新潟日報. 東京五輪に向けて調子が高まっている田中 優弥 選手 (健スポ4年) について紹介され, コメントや写真などが紹介された. 2020.11.14.
47. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳国際リーグ 予選リーグ準決勝第1戦の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で3位, 50mバタフライで4位に入賞したことなどが掲載された. 2020.11.16.
48. WEB, BBM Sports, 競泳国際リーグ 予選リーグ準決勝第1戦の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で3位, 50mバタフライで4位に入賞したことなどが掲載された. 2020.11.16.
49. 新聞, 新潟日報. 県勢の出場が見込まれる各競技の東京五輪の選考会について紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) の氏名が掲載された. 2020.11.18.
50. テレビ, UXテレビ, 「スーパーJにいがた」にて競泳国際リーグで活躍を見せた水沼 尚輝 選手 (本学職員) や佐藤 綾 選手 (同) ら3選手が紹介され, 試合の様子などが4分半程度放映された. 2020.11.23.
51. スイミングマガジン12月号 (全国紙), 第96回日本学生選手権水泳競技大会の優勝者について紹介され, 100mバタフライで優勝した田中 優弥 選手 (健スポ4年) と200m平泳ぎで優勝した深澤 舞 選手 (同) のコメントや写真などが掲載された. 2020.11.11.
52. 新聞, 新潟日報. 競泳 日本選手権が開催されることが紹介され, 新潟県期待の選手として水沼 尚輝 選手 (本学職員) や田中 優弥 選手 (健スポ4年) の氏名や写真などが掲載された. 2020.12.2.
53. テレビ, NHK総合テレビ, 競泳 日本選手権水泳競技大会の男子100m自由形決勝の様子が生中継され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が4位に入賞する様子が放映された. 2020.12.4.
54. テレビ, NHK総合テレビ, 競泳 日本選手権水泳競技大会の女子100m自由形決勝の様子が生中継され, 佐藤 綾 選手 (本学職員) が5位に入賞する様子が放映された. 2020.12.5.
55. テレビ, NHK総合テレビ, 競泳 日本選手権水泳競技大会の男子100mバタフライ決勝の様子などが生中継され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が2位, 田中 優弥 選手 (健スポ4年) が4位に入賞する様子が放映された. 2020.12.6.
56. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が男子100m自由形で予選を1位通過したことが掲載された. 2020.12.6.
57. WEB, デイリー, 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が男子100m自由形で予選を1位通過したことが掲載された. 2020.12.6.
58. WEB, livedoor, 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が男子100m自由形で予選を1位通過したことが掲載された. 2020.12.6.
59. 新聞, 新潟日報. 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 佐藤 綾 選手 (本学職員) が女子100m自由形で5位に入賞したことがコメントや写真とともに掲載された. 2020.12.6.
60. 新聞, 朝日新聞 (全国紙). 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で2位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで2位に入賞したことなどが掲載された. 2020.12.7.
61. テレビ, UXテレビ, 「スーパーJにいがた」にて日本選手権で活躍を見せた水沼 尚輝 選手 (本学職員) や松井 浩亮 選手 (同) ら3選手が紹介され, インタビューなどが3分半程度放映された. 2020.12.7.
62. 新聞, 新潟日報. 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で2位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで2位に入賞したことがコメントや写真とともに掲載された. 2020.12.7.
63. 新聞, 日刊スポーツ (新潟県版). 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で2位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで2位に入賞したことなどが掲載された.

2020.12.7.

64. スイミングマガジン1月号(全国紙), ISL・国際競泳リーグ2020に参戦した東京フロッグキングスのメンバーについて紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員), 松井 浩亮 選手(同), 佐藤 綾 選手(同)の氏名が掲載された。2020.12.11.
65. 新聞, 新潟日報. 第44回新潟日報スポーツ賞の受賞者について紹介され, 津田 萌咲 選手(健スポ2年)の経歴や写真などが掲載された。2020.12.13.
66. 新聞, 新潟日報. 第44回新潟日報スポーツ賞の表彰式について紹介され, 津田 萌咲 選手(健スポ2年)のコメントや写真などが掲載された。2020.12.19.
67. 新聞, 新潟日報, 水泳部の2020年シーズンの振り返りについて紹介され, 下山 好充 監督のコメントや写真などが掲載された。2020.12.27.
68. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳の平井 伯昌 日本代表コーチについて特集され, 競泳国際リーグに帯同したスタッフとして下山 好充 監督の氏名が掲載された。2020.12.28.
69. WEB, AERA dot. 競泳の平井 伯昌 日本代表コーチについて特集され, 競泳国際リーグに帯同したスタッフとして下山 好充 監督の氏名が掲載された。2020.12.28.
70. テレビ, NHK新潟テレビ, 「ニュース610」にて, 競泳で東京五輪への選手輩出を目指す下山 好充 監督の指導法について特集され, 練習やインタビューの様子などが10分程度放映された。2021.1.15.
71. 新聞, スポニチ(新潟県版), 競泳で東京五輪を目指す本学選手の特集「五輪を目指す医福大スイマー」欄にて水沼 尚輝 選手(本学職員)について紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.1.15.
72. 新聞, スポニチ(新潟県版), 競泳で東京五輪を目指す本学選手の特集「五輪を目指す医福大スイマー」欄にて佐藤 綾 選手(本学職員)について紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.1.16.
73. 新聞, スポニチ(新潟県版), 競泳で東京五輪を目指す本学選手の特集「五輪を目指す医福大スイマー」欄にて松井 浩亮 選手(本学職員)について紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.1.18.
74. 新聞, スポニチ(新潟県版), 競泳で東京五輪を目指す本学選手の特集「五輪を目指す医福大スイマー」欄にて田中 優弥 選手(健スポ4年)と深澤 舞 選手(同)について紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.1.20.
75. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100mバタフライで51秒84で優勝したことが掲載された。2021.1.24.
76. WEB, 共同通信, 競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100mバタフライで51秒84で優勝したことが掲載された。2021.1.24.
77. WEB, 東京新聞, 競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100mバタフライで51秒84で優勝したことが掲載された。2021.1.24.
78. WEB, サンケイスポーツ, 競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100mバタフライで51秒84で優勝したことが掲載された。2021.1.24.
79. 新聞, 新潟日報, 競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100mバタフライで51秒84で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された。2021.1.25.
80. テレビ, BSNテレビ, 「ゆうなび」にて, 競泳で東京五輪を目指す水沼 尚輝 選手(本学職員)ら5名の選手について特集され, 練習やインタビューの様子などが10分程度放映された。2021.1.25.
81. テレビ, TENYテレビ, 「夕方ワイド 新潟一番」にて, 競泳で東京五輪を目指す水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 練習やインタビューの様子などが8分程度放映された。2021.1.26.
82. テレビ, UXテレビ, 「夕方ワイド 新潟一番」にて, 競泳で東京五輪を目指す水沼 尚輝 選手(本学職員)について特集され, 練習やインタビューの様子などが8分程度放映された。2021.2.1.
83. 新聞, 新潟日報, 競泳ジャパンオープン2020が開催されることが紹介され, 新潟県期待の選手として水沼 尚輝 選手(本学職員)や松井 浩亮 選手(同)の氏名や写真などが掲載された。2021.2.3.
84. テレビ, NHK新潟テレビ, 「ニュース610」内にて, 競泳のジャパンオープン2020の結果について紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が50mバタフライで優勝したことが3分程度紹介された。

2021.2.4.

85. 新聞, 朝日新聞 (全国紙), 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 50m バタフライで田中 優弥 選手 (健スポ4年) が優勝したことが掲載された. 2021.2.5.
86. 新聞, 日刊スポーツ (全国紙), 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 50m バタフライで田中 優弥 選手 (健スポ4年) が優勝したことが掲載された. 2021.2.5.
87. 新聞, 新潟日報, 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 50m バタフライで田中 優弥 選手 (健スポ4年) が優勝したことが掲載された. 2021.2.5.
88. WEB, YAHOO!ニュース, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その1が紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.2.6.
89. WEB, 4years, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その1が紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.2.6.
90. WEB, YAHOO!ニュース, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その2が紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.2.7.
91. WEB, 4years, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その2が紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.2.7.
92. WEB, YAHOO!ニュース, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その3が紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.2.8.
93. WEB, 4years, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その3が紹介され, コメントや写真などが掲載された. 2021.2.8.
94. 新聞, 新潟日報, 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 100m自由形で佐藤 綾 選手 (本学職員) が3位に入賞したことなどが掲載された. 2021.2.7.
95. 新聞, スポニチ (全国紙), 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 100m バタフライで水沼 尚輝 選手 (本学職員) が2位に入賞したことが掲載された. 2021.2.8.
96. テレビ, TENYテレビ, 「NNNストレイトニュース」内にて, 競泳のジャパンオープン2020の結果について紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が100m バタフライで2位に入賞したことが1分程度紹介された. 2021.2.8.
97. 新聞, 新潟日報, 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 100m バタフライで水沼 尚輝 選手 (本学職員) が2位, 100m自由形で松井 浩亮 選手 (同) が2位に入賞したことなどが写真とともに掲載された. 2021.2.8.
98. WEB, 桐生タイムス, ジャパンオープン2020で50m バタフライで優勝した田中 優弥 選手 (健スポ4年) について紹介され, 経歴やコメントなどが写真とともに掲載された. 2021.2.15.
99. WEB, YAHOO!ニュース, 20日に行われた競泳の東京都オープンの結果について紹介され, 100m バタフライで水沼 尚輝 選手 (本学職員) が51秒54で優勝したことが掲載された. 2021.2.20.
100. WEB, 共同通信, 20日に行われた競泳の東京都オープンの結果について紹介され, 100m バタフライで水沼 尚輝 選手 (本学職員) が51秒54で優勝したことが掲載された. 2021.2.20.
101. WEB, YAHOO!ニュース, 新潟県室内水泳選手権 最終日の結果について紹介され, 50m バタフライで津田 萌咲 選手 (健スポ2年) が25秒52で新潟県新記録で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された. 2021.2.22.
102. WEB, 日刊スポーツ, 新潟県室内水泳選手権 最終日の結果について紹介され, 50m バタフライで津田 萌咲 選手 (健スポ2年) が25秒52で新潟県新記録で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された. 2021.2.22.
103. 新聞, スポニチ (新潟県版), 新潟県室内水泳選手権 最終日の結果について紹介され, 50m バタフライで津田 萌咲 選手 (健スポ2年) が25秒52で新潟県新記録で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された. 2021.2.22.
104. 新聞, 日刊スポーツ (新潟県版), 新潟県室内水泳選手権 最終日の結果について紹介され, 50m バタ

フライで津田 萌咲 選手（健スポ2年）が25秒52で新潟県新記録で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された。2021.2.22.

105.新聞, 日本経済新聞（全国紙）, 熱視線（上）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.2.

106.新聞, 日本経済新聞（全国紙）, 熱視線（中）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.3.

107.新聞, 日本経済新聞（全国紙）, 熱視線（下）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.4.

108.WEB, 日経速報ニュース, 熱視線（上）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.6.

109.WEB, 日経速報ニュース, 熱視線（中）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.6.

110.WEB, 日経速報ニュース, 熱視線（下）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.6.

111.新聞, 新潟日報, 競泳 中村真衣カップの結果について紹介され, 100m自由形で松井 浩亮 選手（本学職員）が大会新で優勝したことなどがコメントとともに掲載された。2021.3.7.

112.新聞, 新潟日報, 競泳 中村真衣カップの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手（本学職員）が優勝したことなどがコメントとともに掲載された。2021.3.8.

113.テレビ, NHK新潟テレビ, 競泳 中村真衣カップの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手（本学職員）が優勝したことなどがコメントとともに1分半程度放映された。2021.3.8.

114.テレビ, UXテレビ, 競泳 中村真衣カップの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手（本学職員）が優勝したことなどがコメントとともに1分半程度放映された。2021.3.8.

115.WEB, YAHOO!ニュース, 4月の日本選手権に向け, 水泳部が公開練習を行ったことについて紹介され, 水沼 尚輝 選手（本学職員）のコメントや写真などが掲載された。2021.3.12.

116.WEB, 日刊スポーツ, 4月の日本選手権に向け, 水泳部が公開練習を行ったことについて紹介され, 水沼 尚輝 選手（本学職員）のコメントや写真などが掲載された。2021.3.12.

117.新聞, 新潟日報, 4月の日本選手権に向け, 水泳部が公開練習を行ったことについて紹介され, 水沼 尚輝 選手（本学職員）のコメントや写真などが掲載された。2021.3.12.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟, オリンピック強化指定選手強化合宿, オリンピック強化スタッフ, コーチ, 東京, 2020.12.7-12.20.

2. 日本水泳連盟, オリンピック強化指定選手強化合宿, オリンピック強化スタッフ, コーチ, 東京, 2021.2.8-2.21.

4) 職能団体（協会, 士会等）の委員

公益財団法人日本水泳連盟競泳委員, 公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ（コーチングスタッフ）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 平成30年度, 科学研究費補助金基盤研究（C）, 水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強

度トレーニングの開発, 研究代表者

2. 平成29年度, 科学研究費補助金基盤研究(C), 競泳競技における高強度インターバルトレーニングの負荷特性の究明, 分担代表者

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ優勝, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
2. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ2位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
3. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m自由形6位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
4. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mメドレーリレー6位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
5. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー4位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
6. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100mバタフライ7位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
7. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子50m自由形6位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
8. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 男子50m自由形2位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
9. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ優勝, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
10. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
11. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
12. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
13. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
14. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
15. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
16. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m自由形2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
17. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m平泳ぎ5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
18. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
19. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ7位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
20. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
21. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形2位, 東京都, 2020.10.17-

10.8. (コーチ)

22. 水泳部, 第62回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形7位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
 23. 水泳部, 第62回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m自由形3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
 24. 水泳部, 第62回 日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
 25. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 男子50m自由形2位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
 26. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 男子100m自由形4位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
 27. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
 28. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ4位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
 29. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 女子100m自由形5位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
 30. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ3位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
 31. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 女子200m平泳ぎ5位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 32. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子50mバタフライ優勝, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 33. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子50mバタフライ2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 34. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 35. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子100mバタフライ6位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 36. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子100m自由形4位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 37. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子50m自由形2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 38. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 女子50mバタフライ7位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 39. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 女子50m背泳ぎ6位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
 40. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 女子100m自由形3位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
- 7 学内委員会活動 アクアヘルス推進プロジェクト研究センター(センター長), Sports&Health先端科学研究センター運営委員会

氏名: 埜 晴雄

- 1 研究題目 心不全におけるサルコペニアの研究(内科学), サルコペニアや運動による骨格筋の変化の研究(医学), 貧血や鉄代謝の研究(医学)
- 2 学会等研究発表
 1. 阿部拓也, 藤井豊, 埜晴雄, 高橋良光, 渡邊博昭, 久保野勝男, 長濱大輔. 超音波診断用造影剤 Sonazoidが生体へ及ぼす影響-臓器Real time PCRを用いた検討-. 第38回日本臨床化学会甲信越支部学会, 2021.2.14.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本内科学会, 日本循環器学会, 日本心不全学会(代議員), 日本心臓病学会(FJCC), 国際心臓研究会, 日本遺伝子診療学会, 新潟医学会, 新潟医療福祉学会, 日本臨床スポーツ医学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー 新潟市中体連部活動指導者エキスパート養成講座, 新潟市中学校体育連盟, 新潟市中学校保健体育, 部活動指導者, 新潟市, 2020.9.18.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 基盤研究c, サルコペニアと運動による骨格筋内マイオネクチン発現変化が鉄代謝に与え

- る影響の検証, 研究代表者
- 2. 2020年度, 基盤研究c, 組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討, 研究分担者
- 2) 学外兼務講師等
 - 1. 新潟大学医歯学総合病院 特任教授, 循環器内科診療, 2020.4-2021.3.
 - 2. 新潟薬科大学 非常勤講師, 循環器内科学, 2020.5.27.
- 6 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会 (委員長), 安全衛生委員会, 危機管理対策委員会, 遺伝子組換え実験安全委員会

氏名: 森 光雄

- 1 研究題目 体育授業と教師, 運動部活動とスポーツ教育
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 - 1. 信越大学バレーボール連盟会長, 信越大学バレーボール大会会長 (本年度は春季, 秋季大会ともに新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止)
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
 - 五泉市立村松桜中学校学校評議員会 (委員)
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 - 公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部新潟教弘友の会 (運営委員), 公益財団法人新潟教育会 (教育アドバイザー)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 - 1. (強化指定クラブ) 女子バレーボール部 (部長), 北信越大学バレーボール選手権大会ブロック優勝, 全日本大学女子バレーボール選手権出場
- 5 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (副委員長)

氏名: 山崎 史恵

- 1 研究題目 アスリートの心理サポートおよび競技パフォーマンス向上に関する研究 (臨床スポーツ心理学, スポーツカウンセリング, メンタルトレーニング)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育学会 (領域横断部会・スポーツ文化研究会), 日本スポーツ心理学会 (理事), 日本臨床心理身体運動学会 (理事), 日本スポーツ精神医学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 新潟県体育学会 (理事)
 - 2) 学会等でのその他の活動
 - 1. 日本スポーツ心理学会, 編集委員長, 2019.11.17-現在.
 - 2. 日本体育・スポーツ・健康学会, 応用 (領域横断) 研究部会 (スポーツ文化研究部会) 委員, 2020.8.7-現在.
 - 3. 日本臨床心理身体運動学会, 倫理渉外委員, 2019.11.29-現在.
 - 4. 日本スポーツ心理学会, 日本臨床心理身体運動学会, 新潟県体育学会, 理事, 2020.4.1-2021.3.31.
- 3 社会活動
 - 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 - 1. 新聞, 新潟日報, 運動と心の健康, 2020.5.6.
 - 2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県体育協会，スポーツ選手のためのメンタル支援事業，新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，相談員，新市，2020.4.1-2021.3.31.
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度，科研費基盤研究（C），アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した判断基準構築，山代幸哉・佐藤大輔・大森豪・山崎史恵，研究分担者.
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科（スタディ・スキルズ）2020.4.1-2020.5.31.
- 5 学内委員会活動 スポーツカウンセリング研究センター（センター長）

氏名：脇野 哲郎

- 1 研究題目 教員養成段階学生における実践的指導力の育成（体育科教育学），体づくり運動の授業改善（体育科教育学），現代の課題に応える学校体育経営（体育経営学）
- 2 報告書
 1. 森泉哲也，脇野哲郎，佐藤裕紀，小野まどか，増田明美，波多幸江，教職課程アンケート集計結果，新潟医療福祉大学教職支援センター年報，2020；4：61-63.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会，日本体育科教育学会，日本保健科教育学会，新潟医療福祉学会，新潟県体育学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市・新潟県小学校教育研究会体育科研究会，指導者，新潟県教育委員会，佐渡市立真野小学校，教職員，佐渡市，2020.9.17.
 2. 新潟市・新潟県小学校教育研究会体育科研究会，指導者，新潟県教育委員会，佐渡市立真野小学校，教職員，佐渡市，2020.11.17.
 3. 新潟県中学校教育研究会保健体育研究中間発表会，マット運動の課題解決型授業づくりのポイント，指導者，村上市立荒川中学校，教職員，村上市，2020.11.5.
 4. 令和元・2年度県中教研指定研究会，将来への夢や希望をもち生き方を考えるキャリア教育の在り方，指導者，新潟県教育委員会，新潟市立東石山中学校，教職員，新潟市，2020.11.20.
 - 2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
 新潟県運動好き向上委員会委員長，新潟市がん教育推進委員，胎内市いじめ問題対策委員会委員，聖籠町幼児教育推進体制の充実・活用強化事業有識者会議委員，教育公益財団法人新潟教育会理事，新潟市立葛塚小学校・浜浦小学校・亀田小学校・濁川小学校・濁川中学校・南浜小学校 学校評議員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学教育学部，保健体育科教育法Ⅳ，2020.11.19-12.17.
 2. アップルスポーツカレッジ，スポーツ経営学，2020.4.24-6.5.
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会，国家試験・資格試験対策委員会

氏名：秋山 隆之

- 1 研究題目 サッカーにおける各種制約が状況判断能力に及ぼす影響に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会，日本フットボール学会，新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力

1. 日本女子サッカーリーグ, 2020 プレナスチャレンジリーグ実行委員, 新潟市他, 2020.8.22-11.22.
2. 北信越フットボールリーグ, 2020北信越フットボールリーグ運営委員, 新潟市他, 2020.7.19-9.27.
3. 新潟県女子国体選抜主務, 新潟市他, 2020.7.4-9.2.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
新潟県三条市スポーツ推進審議会委員
- 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員
一般社団法人日本女子サッカーリーグ（実行委員）, 一般社団法人全日本大学女子サッカー連盟（評議員）,
一般社団法人新潟県サッカー協会女子委員会（大学連盟代表委員）, 一般社団法人新潟県サッカー協会社会
人サッカー連盟（理事）, 一般社団法人新潟県サッカー協会資格規律フェアプレー委員会（大学連盟代表委
員）
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 男子サッカー, 天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権大会, 新発田市他, 2回戦敗退,
2020.9.23-10.28. (部長)
 2. 男子サッカー, #atarimaeni CUP, 1回戦敗退, 龍ヶ崎市, 2021.1.7. (部長)
 3. 女子サッカー, 2020 プレナスチャレンジリーグ, EAST 6位, 新潟市他, 2020.8.22-11.22. (部長)
 4. 女子サッカー, 皇后杯JFA第42回全日本女子サッカー選手権大会, 1回戦敗退, 真岡市, 2020.11.29.
(部長)
 5. 女子サッカー, 第29回全日本大学女子サッカー選手権大会, ベスト8, 三木市, 2020.12.24-12.28. (部
長)
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 三条看護・医療・歯科衛生専門学校看護学科・歯科衛生士学科, 保健体育, 2020.10.1-2021.3.31.
- 5 学内委員会活動 FD委員会

氏名：池田 祐介

- 1 研究題目 研究題目 競泳のスタート動作に関する研究, 円盤投げの投てき動作に関する研究, ウエイトリ
フティングの拳上動作に関する研究 (スポーツバイオメカニクス)
- 2 論文
 1. Ikeda Y, Ichikawa H, Shimojo H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick
movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal Sports
Sciences. (in press)
 2. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip
and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports Biomech. (in
press)
- 3 報告書
 1. 池田祐介. 若手研究 (B), 競泳トラックスタートのための専門的筋力トレーニング法の開発, 研究成果
報告書, 研究代表者
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本トレーニング科学会, 日
本水泳・水中運動学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. トレーニング科学 査読
 2. International Journal of Sport and Health Science 査読
 3. 新潟医療福祉学会誌 査読
 4. Peer Journal 査読

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, 第2回ボート競技検証・評価会議, 外部有識者オンライン開催, 2021.3.5.

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト(ボート競技)(外部有識者)

3) 公開講座・講演会等

1. 新潟県消防学校「体育理論」講師 2020.9.25.新潟県新潟市

4) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 日本経済新聞(夕刊), 熱視線, 水泳部の取り組みについて, 2021.3.1.
2. テレビ, UX新潟テレビ21, オリンピックに向けてのサポートにてついで・研究内容について, 2021.3.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究(C)水中ドルフィンキックのための専門的技術トレーニング法の開発(研究代表者)

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ優勝, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
2. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ2位, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
3. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m自由形6位, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
4. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mメドレーリレー6位, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
5. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー4位, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
6. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子100mバタフライ7位, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
7. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 女子50m自由形6位, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
8. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 男子50m自由形2位, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
9. 水泳部, 第96回日本学生選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ優勝, 東京都, 2020.10.1-10.4.(トレーニングコーチ)
10. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18.(トレーニングコーチ)
11. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m自由形5位, 東京都, 2020.10.17-10.18.(トレーニングコーチ)
12. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ2位, 東京都, 2020.10.17-10.18.(トレーニングコーチ)
13. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18.(トレーニングコーチ)
14. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2020.10.17-10.18.(トレーニングコーチ)

15. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
16. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子100m自由形2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
17. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 男子50m平泳ぎ5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
18. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
19. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50mバタフライ7位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
20. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
21. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
22. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子50m自由形7位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
23. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m自由形3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
24. 水泳部, 第62回日本選手権(25m)水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (トレーニングコーチ)
25. 水泳部, 第96回日本選手権水泳競技大会, 男子50m自由形2位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (トレーニングコーチ)
26. 水泳部, 第96回日本選手権水泳競技大会, 男子100m自由形4位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (トレーニングコーチ)
27. 水泳部, 第96回日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (トレーニングコーチ)
28. 水泳部, 第96回日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ4位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (トレーニングコーチ)
29. 水泳部, 第96回日本選手権水泳競技大会, 女子100m自由形5位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (トレーニングコーチ)
30. 水泳部, 第96回日本選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ3位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (トレーニングコーチ)
31. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 女子200m平泳ぎ5位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)
32. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子50mバタフライ優勝, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)
33. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子50mバタフライ2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)
34. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)
35. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子100mバタフライ6位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)
36. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子100m自由形4位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)
37. 水泳部, ジャパンオープン2020(50m), 男子50m自由形2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニング)

グコーチ)

38. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 女子50mバタフライ7位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)

39. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 女子50m背泳ぎ6位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)

40. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 女子100m自由形3位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (トレーニングコーチ)

7 学内委員会活動 学術委員会, SHAINプロジェクト

氏名: 泉田 俊幸

報告事項なし

氏名: 越中 敬一

1 研究題目 身体のエネルギー代謝調節機構の解明

2 論文

1. 日本新薬株式会社 2020年度共同研究報告書

3 学会等研究発表

1. 佐藤晶子, 佐藤眞治, 越中敬一. 短期的なチアミン欠乏食の摂取が骨格筋のミトコンドリア量に及ぼす影響. 第75回日本体力医学会大会 (鹿児島・日本), 2020.9.24.

2. 越中敬一, 本田明日香, 川中健太郎, 佐藤晶子. 卵タンパク質の摂取がクレンブテロール誘発の筋肥大効果に与える影響. 第75回日本体力医学会大会 (鹿児島・日本), 2020.9.24.

3. 本田明日香, 佐藤晶子, 増田敏之, 越中敬一. 低GIな糖質の摂取によって生じる自然な摂食量の減少が骨格筋のトレーニング効果に与える影響. 第75回日本体力医学会大会 (鹿児島・日本), 2020.9.24.

4 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 運動生理学会, 日本体力医学会 (評議員)

2) 学会等でのその他の活動

1. Nutrients, 査読

2. Nutrients, 査読

3. Metabolites, 査読

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討, 研究代表者

6 学内委員会活動 動物実験委員会 (委員長), SHAINプロジェクト

氏名: 佐近 慎平

1 研究題目 幼児期の身体教育に関する研究, 保育者の身体教育指導方法に関する研究, パラスポーツ・パラリンピック教育に関する研究

2 論文

1. 金子勝司, 高橋晶太, 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明. コロナ禍における子どもの学習・運動に関する保護者の意識調査-幼少期の子どもを抱える保護者に対するインタビュー調査を通して-. 別冊・総合人間科学. 2021; 3: 3-14.

2. 金子勝司, 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明. コロナ禍における大学教育の取り組みについて-実技授業の実施に着目して-. 別冊・総合人間科学. 2021; 3109-3122.

3. 佐近慎平, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 小池和幸, 仲野隆士. 初等教育における主体的・

能動的な学びによるオリンピック・パラリンピック教育の開発—レクリエーション指導／支援技術を活用したパラリンピック教育—。自由時間研究。2021；46：31-41。

4. 中曽根裕, 佐近慎平, 金子勝司, 本田理沙, 小田幹雄, 橋浦孝明, 菅原一昭, 仲野隆士. 保育者の運動あそび時の関わりについての検討—レクリエーション資格を有する保育者に着目して—. 自由時間研究. 2021；46：70-78.
 5. 本多理紗, 金子勝司, 中曽根裕, 橋浦孝明, 蔵満保幸, 新井貢, 佐近慎平. ネットワーク構築につながる健康体操教室の継続要因について—長期継続している中高年者に着目して—. 自由時間研究. 2021；46：42-52.
 6. 佐近慎平. 令和2年度新潟県村上市幼児の体力向上事業調査報告書. 2021：1-31.
 7. 佐近慎平. 令和2年度新潟県新発田市「パラスポーツ出前講座」報告書. 2021：1-30.
 8. 新潟県教育委員会, 佐近慎平, 秋和真澄, 三津輪宏之, 加納雅義, 飯塚進, 北原利章, 佐藤研一郎, 小田俊裕, 小山史. 令和2年度新潟県オリンピック・パラリンピック教育実践報告. 2021：1-28.
- 3 学会等研究発表
1. 佐近慎平, 西原康行, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 小池和幸, 仲野隆士レクリエーション指導／支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. 令和2年度日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議全国オンライン集会, 2020.11.14.
 2. 佐近慎平, 西原康行. 保育士志望学生の事例動画省察の構造に関する研究. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 日本教育工学会, 日本保育学会, 日本体育・スポーツ・健康学会, 新潟県体育学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議全国オンライン集会, 特任幹事, オンライン, 2020.11.14.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県教育庁教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員会地域セミナー, オリンピック・パラリンピック教育について, 講師, 新潟県教育庁教育委員会, 新潟県庁, 2020.8.18.
 2. 新潟市北区基幹保育園研修会, 楽しさが先導する幼児の体育・運動遊び, 講師, 新潟市北区役所健康福祉課, 新潟市北区保育者, 豊栄地区公民館, 2020.10.31.
 3. 新潟市東区基幹保育園研修会, 楽しさが先導する幼児の体育・運動遊び, 講師, 新潟市東区役所健康福祉課, 新潟市東区保育者, 新潟市東区役所, 2020.11.12.
 4. 新潟県放課後児童支援員研修, 子どもの発達理解, 講師, 新潟県, 新潟県民, 上越市, 2020.11.17.
 5. 新潟県放課後児童支援員研修, 児童期(6～12歳)の生活と発達, 講師, 新潟県, 新潟県民, 上越市, 2020.11.17.
 6. 新潟県放課後児童支援員研修, 子どもの発達理解, 講師, 新潟県, 新潟県民, 長岡市, 2020.11.24.
 7. 新潟県放課後児童支援員研修, 児童期(6～12歳)の生活と発達, 講師, 新潟県, 新潟県民, 長岡市, 2020.11.24.
 8. 新潟県放課後児童支援員研修, 障害のある子どもの理解, 講師, 新潟県, 新潟県民, 長岡市, 2020.12.8.
 9. 新潟県放課後児童支援員研修, 障害のある子どもの育成支援, 講師, 新潟県, 新潟県民, 長岡市, 2020.12.8.
 10. 新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業, モデル研修会, 講師, 新潟県・新潟県スポーツ協会, 新潟県民, 2020.12.22.
 11. 新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業, 普及啓発セミナー, 講師, 新潟県・新潟県スポーツ協会,

新潟県民, 2020.12.22.

12. 新潟市中央区基幹保育園研修会, 楽しさが先導する体の動きづくり, 講師, 新潟市中央区役所健康福祉課, 新潟市中央区保育者, オンライン, 2021.1.21.
 13. 新潟県教育庁教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員会地域セミナー, 新潟県のパラリンピック教育について, 講師, 新潟県教育庁教育委員会, オンライン, 2021.2.22.
 14. 新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業, 専門人材養成研修, 講師, 新潟県・新潟県スポーツ協会, 新潟県民, 2021.3.2.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. TV出演, NHK新潟, 「にいがたニュース610」・室内で簡単に楽しくできる運動, 2020.4.2.
 2. WEB, パラサポWEB, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
 3. WEB, マイナビニュース, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
 4. 新聞掲載, 新潟日報, 「新型コロナウイルスの影響による子どもの運動離れ」, 2020.8.25.
 5. WEB, NHK NEWS WEB, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 6. WEB, NSTホームページ, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 7. TV, NHK新潟, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 8. TV, NST, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 9. 新聞掲載, 新潟日報, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.10.
 10. 新聞掲載, 産経新聞, 【新潟医療福祉大学】パラスポーツの普及を目指した新発田市との連携事業 小学生対象の「パラスポーツ出前講座」を実施しました!, 2020.9.11.
 11. WEB, PR TIMES, 【新潟医療福祉大学】パラスポーツの普及を目指した新発田市との連携事業 小学生対象の「パラスポーツ出前講座」を実施しました!
 12. WEB, BtoBプラットフォーム業界ch, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.11.
 13. WEB, 財経新聞, 【新潟医療福祉大学】パラスポーツの普及を目指した新発田市との連携事業 小学生対象の「パラスポーツ出前講座」を実施しました!, 2020.9.11.
 14. WEB, 教育課程新聞, 教育委員会／新潟医療福祉大学との連携事業を実施 小学生がパラスポーツを体験【新潟県新発田市】 2020.10.5.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立瀬浪保育園, 2020.8.4.
 2. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立猿沢保育園, 2020.8.4.
 3. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立山居町保育園, 2020.8.6.
 4. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立向ヶ丘保育園, 2020.8.7.
 5. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立館越保育園, 2020.8.17.
 6. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市山北そらいろ保育園, 2020.8.18.
 7. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立高南保育園, 2020.8.20.
 8. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立第一保育園, 2020.8.21.
 9. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立みのり瀬浪保育園, 2020.8.24.

10. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立岩船保育園, 2020.8.25.
 11. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立金屋保育園, 2020.8.26.
 12. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立第二保育園, 2020.8.27.
 13. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立東豊小学校, 2020.9.7.
 14. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立東小学校, 2020.9.8.
 15. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立菅谷小学校, 2020.9.7.
 16. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立二葉小学校, 2020.9.9.
 17. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立七葉小学校, 2020.9.10.
 18. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立荒橋小学校, 2020.9.10.
 19. 加茂市立須田小学校パラスポーツ体験講座, パラリンピック教育, 講師, 新潟県教育庁教育委員会・加茂市教育委員会, 加茂市立須田小学校児童, 2020.12.15.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
 新潟県教育庁教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員会（委員長）
 新潟県県民生活・環境部スポーツ課幼児期からの運動習慣アップ支援事業（アドバイザー）
- 5) 職能団体（協会, 士会等）の委員
 公益財団法人日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議特任幹事
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成, 初等教育における主体的・能動的な学びによるオリンピック・パラリンピック教育の開発, 研究代表者.
 2. 2020年度, 公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成, 高齢者へのレクリエーション指導／支援技術教育を用いた体育教員志望学生の運動指導力量形成の検証, 研究分担者.
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 国際こども・福祉カレッジこども福祉教育学科・児童教育学科, こどもと体育, 2020.4.1-2021.3.31.
- 7 学内委員会活動 入試委員会（副委員長）, 身体教育研究センター（副センター長）, Sports&Health先端科学研究センター運営委員会, 人権委員会調査委員

氏名：色摩 正雄

報告事項なし

氏名：杉崎 弘周

- 1 研究題目 学校保健, 保健科教育
- 2 著書

1. 森昭三, 佐伯年詩雄, 阿江美恵子, 植田誠治, 大橋美勝, 岡崎勝博, 尾縣貢, 賀川昌明, 笠原賀子, 菊幸一, 木塚朝博, 鬼頭英明, 厨義弘, 黒木俊秀, 近藤真庸, 佐見由紀子, 下村義夫, 新宮領毅, 杉崎弘周, 助友裕子, 照屋博行, 戸野塚厚子, 中村和彦, 西岡伸紀, 廣橋義敬, 藤沢謙一郎, 藤田紀昭, 松田恵示,

松本格之祐, 三木四郎, 武藤芳照, 物部博文, 山梨八重子. 文部科学省検定済教科書 中学保健体育. 東京: 学研教育みらい; 2020: 執筆箇所非公表

2. 石井里佳, 石坂友司, 井戸晶子, 稲葉佳奈子, 入谷仁士, 上野佳代, 岡山陸美, 木越清信, 黒川修行, 小浜明, 近藤真庸, 坂田利弘, 佐見由紀子, 下村義男, 杉崎弘周, 助友裕子, 曾武川隆, 高橋岳, 高本恵美, 千葉久美子, 戸野塚厚子, 鳥羽ちとせ, 藤田大輔, 眞鍋芳明, 丸山久志, 物部博文, 山内康彦, 山梨八重子. 中学保健体育の研究 朱書き編. 東京: 学研教育みらい; 2020: 160-163.
3. 石井里佳, 石坂友司, 井戸晶子, 稲葉佳奈子, 入谷仁士, 上野佳代, 岡山陸美, 木越清信, 黒川修行, 小浜明, 近藤真庸, 坂田利弘, 佐見由紀子, 下村義男, 杉崎弘周, 助友裕子, 曾武川隆, 高橋岳, 高本恵美, 千葉久美子, 戸野塚厚子, 鳥羽ちとせ, 藤田大輔, 眞鍋芳明, 丸山久志, 物部博文, 山内康彦, 山梨八重子 (五十音順). 中学保健体育の研究 研究編3年. 東京: 学研教育みらい; 2020: 54-65.
4. 今村修, 野津有司, 上地勝, 植田誠治, 横嶋剛, 物部博文, 長岡知, 今関豊一, 七木田文彦, 山本浩二, 野村良和, 岡出美則, 森良一, 岡崎勝博, 荒井信成, 藤原昌太, 西岡伸紀, 伊佐野龍司, 助友裕子, 木原慎介, 片岡千恵, 岩田英樹, 久保元芳, 小浜明, 徐広孝, 杉崎弘周, 佐見由紀子, 赤田信一, 菅沼徳夫, 山合洋人, 渡部基 (執筆順), 山田浩平. 保健科教育学の探求, 東京: 大修館書店; 2020: 258-265.

3 論文

1. 杉崎弘周. がん教育をテーマとした中学校での実践 (1). 体育科教育. 2020; 68 (8): 68-71.
2. 杉崎弘周. 子供の実態に関する研究を踏まえたがん教育. 初等教育資料. 2020; 996 (8): 76-79.
3. 杉崎弘周. 曾武川隆. がん教育をテーマとした中学校での実践 (2). 体育科教育. 2020; 68 (9): 60-63.
4. 物部博文, 杉崎弘周. 知ろう考えよう新型コロナウイルス感染症を想定した新しい生活様式. 体育・保健体育ジャーナル. 2020; 臨時増刊号: 1-4.
5. 物部博文, 杉崎弘周. 保健の授業や指導を生かした感染症予防や新しい生活様式についての指導①. 体育・保健体育ジャーナル. 2020; 9: 1-4.
6. 杉崎弘周. 保健の授業や指導を生かした感染症予防や新しい生活様式についての指導②. 体育・保健体育ジャーナル. 2020; 10: 1-4.
7. 井出孝介, 藤原昌太, 杉崎弘周, 上地勝, 今村修, 物部博文. 職場のストレスによって休職・離職に陥った小学校教員の事例研究. 横浜国立大学教育学部紀要 I 教育科学. 2021; 219-233.
8. 佐野史織, 郡司菜津美, 井出孝介, 沢田真喜子, 杉崎弘周, 有元典文, 物部博文. 学校における保健・安全に関連した指導での外部講師活用に伴う課題. 横浜国立大学教育学部紀要 I 教育科学. 2021; 1-17.
9. 物部博文, 杉崎弘周, 上地勝, 藤原昌太, 山田浩平, 沢田真喜子, 森良一, 横嶋剛, 植田誠治. 校長からみた児童生徒の保健・安全への教員の対応場面での課題と教員養成段階における学修の必要性—小学校・中学校・高等学校長を対象とした全国調査—. 学校保健研究 (協力学術団体). 2021. 62(6) 398-410.

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本学校保健学会 (代議員), 日本保健科教育学会 (理事), 日本体育学会, 日本教育保健学会 (理事, 副編集委員長), 新潟県体育学会 (理事), 日本小児科学会, 新潟医学会, American School Health Association
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本保健科教育学会, 第5回研究大会, 実行委員, オンライン開催, 2020.12.20.
 2. 新潟県体育学会, 令和2年度学会, 実行委員, オンライン開催, 2020.10.24.
- 3) 学会等でのその他の活動
 1. 保健科教育研究, 査読
 2. 体育学研究, 査読
 3. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読

4. 日本教育保健学会年報, 編集担当
 5. 新潟県体育学会, 会報にいがた, 編集担当
 6. 新潟県体育学会, 令和2年度学会, 一般研究発表座長, オンライン, 2020.10.24.
 7. 日本教育保健学会, 第18回年次大会, 一般研究発表座長, オンライン, 2021.3.6.
- 5 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. がん教育公開授業, 助言者, 新潟県教育委員会, 学校教員, 聖籠町, 2020.12.10.
 2. がん教育公開授業, 助言者, 新潟県教育委員会, 学校教員, 聖籠町, 2020.12.17.
 3. 新潟県がん検診セミナー, 講師, 新潟県健康対策課, 受講者, オンライン, 2021.2.19.
 4. がん教育総合支援事業検討会, 助言者, 北海道教育委員会, 学校教員・指導主事, オンライン, 2021.2.25.
 5. がん教育教員研修, 講師, 新潟県教育委員会, 学校教員, オンライン, 2021.3.
 - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
 新発田市立第一中学校(学校評議員), 胎内市立乙中学校コミュニティスクール推進準備委員会(委員), 新潟県がん教育推進協議会(委員), 富山県中学校教育研究会(授業力向上アドバイザー)
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費基盤研究(B), インクルーシブながん教育推進のための総合的研究, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学医学部, 公衆衛生学(学校保健), 2020年度前期
 2. 新潟大学教育学部, 体育科教育法(保健), 2020年度前期・後期
 3. 豊岡短期大学, 指導法「健康」, 2020年度集中講義
- 7 学内委員会活動 広報委員会(委員長), 研究奨励金委員会

氏名: 山代 幸哉

- 1 研究題目 アスリートの脳に生じる可塑的変化の可視化, 慢性痛のアスリートの神経活動の特徴の解明
- 2 論文
 1. [Yamashiro K](#), Yamazaki Y, Siiya K, Ikarashi K, Baba Y, Otsuru N, Onishi H, Sato D. Modality-specific improvements in sensory processing among baseball players. Scientific Reports. 2021.
 2. Sato D, Yamazaki Y, [Yamashiro K](#), Onishi H, Baba Y, Ikarashi K, Maruyama A. Elite competitive swimmers exhibit higher motor cortical inhibition and superior sensorimotor skills in a water environment Behavioral Brain Research, 2020.
 3. Ikarashi K, Sato D, Iguchi K, Baba Y, [Yamashiro K](#). Menstrual cycle modulates motor learning and memory consolidation in humans. Brain Sciences, 2020.
 4. Yamanaka R, Wakasawa S, [Yamashiro K](#), Kodama N, Sato D. Effect of Resistance Training of Psoas Major in Combination With Regular Running Training on Performance in Long-Distance Runners International Journal of Sports Physiology and Performance.
 5. 白井直人, [山代幸哉](#), 小島将, 佐藤大輔. サッカーにおけるヘディングの累積曝露と慢性外傷性脳症に関する最近の知見. 体力科学69巻5号
- 3 報告書
 1. [山代幸哉](#), 基盤研究C, アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築, 2019-2021, 代表
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本生体磁気学会(評議員), 日本臨床神経生理学学会, 日本体力医学会, 日本体育学会
- 5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, スポーツニッポン, スポニチ新潟, 9.13.
 2. 新聞, 新潟日報, 新潟医療福祉大学女子1600mR7位, 9.15.
 3. 新聞, 新潟日報, 日本選手権陸上展望, 9.28.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟陸上競技協会, 東京オリンピック代表選手育成プロジェクト, 2017-2020.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究(C), アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築(研究代表者)
 2. 2019年度 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー(研究分担者)
 3. 2018年度, 科研費基盤研究(B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発(研究分担者)
 4. 2019年度, 科研費基盤研究(B), 神経シナプス可塑性の反応variabilityが運動学習の個人差を規定するか?(研究分担者)
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 第89回全日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子1600mR(7位入賞), 新潟, 2020.9.13.(コーチ)
- 7 学内委員会活動 大学院研究環境委員会(委員長), アドミッションオフィス室員, 運動機能医科学研究所

氏名: 吉田 重和

- 1 研究題目 オランダの公教育制度に関する質的研究(比較・国際教育学), オルタナティブ教育に関する国際比較研究(比較・国際教育学), シティズンシップ教育に関する国際比較研究(比較・国際教育学), 教員養成・教員研修に関する質的研究(教師教育), 健康スポーツ学分野における初年次教育の在り方に関する実践的研究(初年次教育)
- 2 論文
 1. 吉田重和. 教育プログラム図開発試論—ISCEDを活用した接続状況図示の試み. 新潟医療福祉学会誌. 2020; 20(1): 112.
 2. 原京香, 吉田重和. 女性アスリートと指導者の性別に関する基礎的研究—文献研究を通じて. 新潟医療福祉学会誌. 2020; 20(1): 86.
 3. 吉田重和, 高田大輔. 非教員養成系大学における教員養成理念の受容実態—教職課程学生の目指す教師像を軸として. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2020; 4: 9-13.
- 3 学会等研究発表
 1. 吉田重和. 教育プログラム図開発試論—ISCEDを活用した接続状況図示の試み. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.31-11.15.
 2. 原京香, 吉田重和. 女性アスリートと指導者の性別に関する基礎的研究—文献研究を通じて. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.31-11.15.
 3. 吉田重和. 本学における自己点検・自己評価活動について. 2020年度第2回関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 北部地域協議会, 2021.2.26.【教育講演(オンライン)】
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本比較教育学会, 日本国際教育学会, 新潟医療福祉学会, 世界比較教育学会, アジア比較教育学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会, Niigata Journal of Health and Welfare 査読
- 5 社会活動

- 1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, 新潟日報, 未来の教員育成へ連携 県内私大6校 県教委と意見交換, 2020.11.25.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟市立南浜小学校, 教職ボランティアコーディネーター, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 文部科学教育通信, 「世界の大学」執筆担当, 2020.4.1-2021.3.31.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科学研究費補助金基盤研究 (C), 比較教育研究における ISCED 活用の可能性—日蘭の職業教育プログラムを事例として, 研究代表者
 2. 2019年度, 科学研究費補助金基盤研究 (B), 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 軟式野球部 (部長)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟薬科大学応用生命科学部 (教育制度・行政), 2020.9.1-2021.3.31.
 2. 新潟県立吉田病院附属看護専門学校 (教育学), 2020.9.1-2021.3.31.
- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (委員長・教職課程長・教職支援センター長), シティズンシップ教育実践研究センター

氏名：若月 弘久

- 1 研究題目 中学校生徒指導上の成果と課題, 指導法に関する研究
- 2 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2021年度教員免許状更新講習講師「中学生の体力の現状と課題」(主催：一般社団法人新潟県レクリエーション協会) ①2020.8.5.天寿園 ②2020.11.21.柏崎総体
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 豊栄バスケットボール協会 U10, U12, U15クラブチーム「Team Kita」アドバイザー (原則：毎週水曜日)
 - 3) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

北信越大学バスケットボール連盟 (理事) 新潟県バスケットボール協会成年男子監督
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得

JBA 公認C級ライセンス取得 (2019.2)
 - 2) 学内部活動の実績
 1. 男子バスケットボール部 2020年度第72回全日本大学選手権北信越選手権3位
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 2021年度 教員免許状更新講習講師 (主催：一般社団法人新潟県レクリエーション協会)
- 4 学内委員会活動 教育開発委員会

氏名：市川 浩

- 1 研究題目 スポーツにおける身体運動計測手法の開発, 運動情報のフィードバック効果, スポーツトレーニング・コーチングへの情報通信技術の応用
- 2 論文
 1. 永野康治, 笹木正悟, 市川浩, バスケットボール競技中における前十字靭帯損傷好発動作の抽出, 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会誌 (協力学術団体), 2020; 45: 655-659.

2. [Ichikawa H](#), Shimojo H, Baba Y, Mise T, Nara R, Shimoyama Y. The Difference of Propulsive Force between Water Surface and Underwater Conditions in Flutter Kick Swimming. *Proceedings*. 2020; 49(1): 167.
3. Nagano Y, Sasaki S, Shimada Y, Kose Y, [Ichikawa H](#). Detection of High-impact Movements in a Volleyball Match: A Cross-Sectional Study. *Exercise Medicine*. 2020; 4: 3.
4. 田場昭一郎, [市川造](#), 栗木明裕, 森誠護, 松波勝, 競泳の水中レジスタンストレーニングに関する一考察: クロール泳動作中の各ストローク局面の上肢筋群の筋放電分析に着目して, *福岡大学スポーツ科学研究*, 2011; 51(1): 1-12.
5. 笹木正悟, 永野康治, [市川造](#), ジュニア女子バドミントン選手の片脚着地特性と発育に伴う体格変化による影響-片脚ドロップ着地テストと試合中の体幹加速度に着目した短期縦断検討-, *日本臨床スポーツ医学会誌 (協力学術団体)*, 2021; 29(1): 38-47.
6. Koyama T, Rikukawa A, Nagano Y, Sasaki S, [Ichikawa H](#), Hirose N. Acceleration Profile of High-Intensity Movements in Basketball Games. *Journal of Strength and Conditioning Research(JCR)*. 2020; : Online ahead of print.
7. Nagano Y, Sasaki S, Higashihara A, [Ichikawa H](#). Movements with greater trunk accelerations and their properties during badminton games. *Sports biomechanics(JCR)*. 2020; 19(3): 342-352.
8. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, [Ichikawa H](#), Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance?. *Sports Biomechanics(JCR)*. 2021; : Online ahead of print, 1-12.
9. Ikeda Y, [Ichikawa H](#), Shimojo H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. *Journal of Sports Sciences(JCR)*. 2021; : Online ahead of print, 1-7.
10. Nagano Y, Sasaki S, Shimada Y, Koyama T, [Ichikawa H](#). High-Impact Details of Play and Movements in Female Basketball Game. *Sports Medicine International Open*. 2021; 5(1): E22-E27.

3 学会等研究発表

1. [市川造](#), 下山好充, 栗木明裕, 永野康治, クロール泳フラッターキック中の膝関節過伸展が足関節速度および加速度に及ぼす影響. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
2. 永野康治, 笹木正悟, [市川造](#), 須甲理生, 女子サッカー選手における高衝撃特性について-体幹加速度を用いた試合・練習およびリバウンドジャンプにおける検討-. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会 (新潟市), 2020.11.6-11.7.
3. [Ichikawa H](#), Shimojo H, Baba Y, Mise T, Nara R, Shimoyama Y. The Difference of Propulsive Force between Water Surface and Underwater Conditions in Flutter Kick Swimming. *The 13th Conference on the International Sports Engineering Association (Tokyo, online)*, 2020.6.22-6.26.
4. [市川造](#), 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 下肢関節角度変化の位相差がクロール泳フラッターキックの足関節速度および加速度に及ぼす影響. 第26回日本バイオメカニクス学会大会 (オンライン開催), 2020.9.18-9.20.
5. [市川造](#), 田坂英都, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 大学生と中高生競泳選手間のフラッターキック動作の比較. *日本水泳・水中運動学会2020年次大会 (オンライン開催)*, 2020.11.14-11.15.
6. 笹木正悟, 菅沼勇作, 永野康治, 小山孟志, [市川造](#). 小学生サッカー選手の試合中に生じる体幹加速度の評価-成長期のスポーツ障害予防に向けたパイロットスタディー-. *日本フットボール学会18th Congress (オンライン開催)*, 2021.3.6-3.8.
7. 永尾雄一, 三浦智和, 福井邦宗, 加藤恭章, 森直樹, 窪康之, 北村勝朗, [市川造](#). JISSが提供する映像システムの効果検証-コーチ・スタッフを対象とした探索的調査-. *令和2年度九州スポーツ心理学会第34回大会 (オンライン開催)*, 2021.3.6-3.14.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本バイオメカニクス学会, 日本機械学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本スポーツ産業学会, 日本水泳・水中運動学会 (運営委員総務, 事務局長), 新潟県体育学会 (監事), 新潟医療福祉学会
- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度第1回運営委員会, 総務, オンライン開催, 2020.6.9.
 2. 新潟県体育学会, 令和2年度新潟県体育学会第1回理事会・評議員会, 監事, オンライン開催, 2020.7.10.
 3. 新潟県体育学会, 令和2年度新潟県体育学会会計監査, 監事, オンライン開催, 2020.9.2-9.8.
 4. 新潟県体育学会, 令和2年度新潟県体育学会第2回理事会・評議員会, 監事, オンライン開催, 2020.9.11.
 5. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度総会, 事務局, オンライン開催, 2020.11.15.
 6. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度第2回運営委員会, 総務, オンライン開催, 2021.3.2.
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳第96回日本選手権科学サポート, レース分析, 東京アクアティクスセンター, 2020.12.3-12.6.
 2. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳ジャパンオープン2020科学サポート, レース分析, 東京アクアティクスセンター, 2021.2.4-2.7.
 3. スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, 第2回ボート競技検証・評価会議, 外部有識者, オンライン開催, 2021.3.5.
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト (ボート競技) (外部有識者)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 基盤研究 (C), スポーツ活動中の衝撃負荷から児童期の傷害発生機序を探る, 研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 会津大学, 体育実技3, 2020.4.7-9.30.
- 7 学内委員会活動 教育開発委員会

氏名：伊藤 篤司

- 1 研究題目 VRを使って熟達者と若手審判員の違いを共同研究, バスケットボールの審判教育システムの発展的構築に向けた研究, 女子大学生の体組成データから効果的練習方法の共同研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本バスケットボール学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. スポーツ傷害予防フェスタ inNUHW, オンデマンド型実技指導 (Youtube配信), 新潟市北区, 中学生と関係者, 2021.2.6.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 第72回全日本大学バスケットボール選手権出場に伴いチーム紹介, 日刊スポーツ (新潟県版), 2020.12.4.
 2. 第72回全日本大学バスケットボール選手権出場に伴いチーム紹介, スポニチ (新潟県版), 2020.12.4.
 3. 第72回全日本大学バスケットボール選手権出場に伴いチーム紹介, 新潟日報, 2020.12.6.
 4. 第72回全日本大学バスケットボール選手権試合結果掲載, 朝日新聞 (全国紙), 2020.12.9.

5. 第72回全日本大学バスケットボール選手権試合結果掲載, 新潟日報, 2020.12.9.
 6. 第72回全日本大学バスケットボール選手権試合結果掲載, 日刊スポーツ (新潟県版), 2020.12.9.
 7. 第72回全日本大学バスケットボール選手権大会一回戦放送, バスケットLIVE (2020.12.8)
- 4 その他の教育研究活動
- 1) 学内部活動の実績
 1. 女子バスケットボール部, 第72回全日本大学バスケットボール選手権大会出場, 東京, 2020.12.8. (監督)

氏名：杵淵 洋美

- 1 研究題目 ドイツ・デンマークにおける職業教育訓練に関する研究 (比較・国際教育学), 資格枠組みに関する研究 (比較・国際教育学), 介護福祉分野における教育プログラム開発
- 2 論文
 1. 杵淵洋美, ドイツにおける職業教育の動向－コンピテンスと資格枠組みに着目して－, 敬心・研究ジャーナル. 2020; 4(2):27-38.
- 3 報告書
 1. 菊地克彦, 杵淵洋美, 星野光彦, 八尾勝, 坂田祐一, 川延宗之. 文部科学省委託研究 専修学校リカレント教育総合推進プロジェクト eラーニングの積極活用等による学び直し講座開設等, 介護福祉事業の管理者養成に向けたeラーニング活用によるモジュール型学修システム構築プロジェクト, 介護福祉事業の管理者養成に向けたeラーニング活用によるモジュール型学修システム構築プロジェクト成果報告書, 2018年度～2020年度, 小林光俊・菊地克彦, 杵淵洋美ら
- 4 学会等研究発表
 1. 杵淵洋美. 新型コロナウイルス禍における各国の対応措置から考える学習権の保障. 関東教育学会・第68回大会 (紙面開催), 2020.11.29.
 2. 菊地克彦, 杵淵洋美, 乾喜一郎, 三尾忠男, 小川全夫, 川延宗之. 介護福祉事業の管理者養成に向けたeラーニング活用によるモジュール型学修システム構築プロジェクト成果報告会・文部科学省委託事業成果報告会 (オンライン開催), 2021.2.8.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本比較教育学会, 関東教育学会, 日本福祉教育・ボランティア学習学会, 新潟医療福祉学会
- 6 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (委員), 学術委員会・学会誌編集委員会 (委員)

氏名：熊崎 昌

- 1 研究題目 ラグビー競技者における脳振盪の発生状況や機能評価に関する研究 (スポーツ科学)
- 2 報告書
 1. 熊崎昌, 科研費若手研究 (B), 衝突系スポーツ活動による脳振盪のスクリーニング指標の開発と競技復帰への応用, 研究成果報告書, 2017-2019 (研究代表者)
- 3 学会等研究発表
 1. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉陸明, 菊元孝則, 伊藤渉, 横田裕丈, 平林怜, 大森豪. 本学アスリートサポート研究センターにおける脳振盪予防プログラムの試み. 第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 (オンライン), 2020.12.5-12.31.
 2. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉陸明, 菊元孝則, 伊藤渉, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (オンライン), 2020.11.4-11.30.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会 (編集委員)

- 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本アスレティックトレーニング学会, 査読
 2. 日本アスレティックトレーニング学会, 編集委員, 2020年度
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

令和元年度新潟県弓道連盟強化部事業に係る講演会, 傷害予防のためのセルフコンディショニングと体幹トレーニング, 講師, 新潟県弓道連盟, 国体強化選手, 県内指導者, 新潟県新津市, 2020.12.20.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟工業高校ラグビー部, 第99回全国高校ラグビー大会における大会帯同, トレーナー, 大阪府・近鉄花園ラグビー場, 2020.12.27-12.30.
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県スポーツ協会アスレティックトレーナー部会(幹事)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費若手研究, 衝突系スポーツ活動中における頭部衝撃の量的可視化と客観的指標の開発(研究代表者)
- 7 学内委員会活動 教務委員会, アスリートサポート研究センター, 運動機能医科学研究所, SHAIN プロジェクト

氏名: 小林 志郎

- 1 研究題目 陸上競技投擲種目の競技力向上に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本陸上競技学会, 日本コーチング学会, 陸上競技研究
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 三重わかとこ国体に向けた強化練習会, コーチ, 三重陸上競技協会, 三重県国体候補選手, 三重県伊勢市, 2020.3.20.
 - 2) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟陸上競技協会(理事), 北信越学生陸上競技連盟(評議員), 新潟県実業団陸上競技連盟(理事)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 陸上競技部, 天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会, 男子走高跳, 3位, デンカビッグスワンスタジアム, 2020.9.11-9.13. (監督・コーチ)
 2. 陸上競技部, 天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会, 男子走高跳, 3位, デンカビッグスワンスタジアム, 2020.9.11-9.13. (監督・コーチ)
 3. 陸上競技部, 天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子走高跳, 3位, デンカビッグスワンスタジアム, 2020.9.11-9.13. (監督・コーチ)
 4. 陸上競技部, 天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子やり投, 8位, デンカビッグスワンスタジアム, 2020.9.11-9.13. (監督・コーチ)
 5. 陸上競技部, 天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会, 女子4×400mR, 7位, デンカビッグスワンスタジアム, 2020.9.11-9.13. (監督)
 6. 陸上競技部, 全国高等学校陸上競技大会2020兼U20全国陸上競技大会, 男子円盤投, 優勝, 広島広域公園陸上競技場, 2020.10.23-10.25. (監督・コーチ)
 7. 陸上競技部, 全国高等学校陸上競技大会2020兼U20全国陸上競技大会, 女子やり投, 3位, 広島広域公園陸上競技場, 2020.10.23-10.25. (監督・コーチ)

8. 陸上競技部, 全国高等学校陸上競技大会2020兼U20全国陸上競技大会, 女子走高跳, 6位, 広島広域公園陸上競技場, 2020.10.23-10.25. (監督・コーチ)
 9. 陸上競技部, 第42回北日本学生陸上競技対校選手権大会, 男子総合の部, 優勝, 北上総合運動公園陸上競技場, 2020.10.17-10.19. (監督)
- 2) 学外兼務講師等
1. 新潟大学, 陸上競技授業実践実習, 2020.4.8-9.30.
- 5 学内委員会活動 就職センター運営委員会

氏名：佐藤 晶子

- 1 研究題目 短期的なチアミン (ビタミンB₁) の摂取制限がエネルギー代謝に及ぼす影響
- 2 学会等研究発表
 1. 佐藤晶子, 佐藤眞治, 越中敬一. 短期的なチアミン (ビタミンB₁) 欠乏食の摂取が骨格筋のミトコンドリア量に及ぼす影響, 第75回日本体力医学会大会 (オンライン), 2020.9.26.
 2. 越中敬一, 本田明日香, 川中健太郎, 佐藤晶子. 卵タンパク質の摂取がクレンブテロール誘発の筋肥大効果に与える影響, 第75回日本体力医学会大会 (オンライン), 2020.9.26.
 3. 本田明日香, 佐藤晶子, 増田紘之, 越中敬一. 低GIな糖質の摂取によって生じる自然な摂食量の減少が骨格筋のトレーニング効果に与える影響, 第75回日本体力医学会大会 (オンライン), 2020.9.26.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本栄養改善学会, 日本スポーツ栄養学会 (評議員), 日本体力医学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. The 8th Asian Congress of Dietitians 2022, プログラム委員会ポスター検討グループリーダー, 横浜市, 2022.8.19-8.21・2020.6-
- 4 社会活動
 - 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

公益社団法人全日本アーチェリー連盟強化部科学委員, 日本オリンピック委員会強化スタッフ (医・科学スタッフ)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 科研費基盤研究 (C), 短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響, 研究代表者
- 6 学内委員会活動 教務委員会, アクアヘルス推進プロジェクト研究センター, SHAINプロジェクト, JICA 草の根支援事業 (ハイズオン氏の住民に対する地域連携訪問サービスのモデルづくり)

氏名：佐藤 裕紀

- 1 研究題目 デンマークの生涯学習政策に関する研究 (比較・国際教育学), 生涯学習における学習成果の認証に関する研究 (生涯学習), 地域づくりにおける子どもと若者の参画に関する研究
- 2 著書
 1. 佐藤裕紀; 北欧教育研究会編著, 林寛平, 本所恵, 中田麗子, 佐藤裕紀編著. 北欧の教育最前線—市民社会を作る子育てと学び: 東京: 明石書店; 2021: 31-34.
 2. 佐藤裕紀; 北欧教育研究会編著, 林寛平, 本所恵, 中田麗子, 佐藤裕紀編著. 北欧の教育最前線—市民社会を作る子育てと学び: 東京: 明石書店; 2021: 35-38.
 3. 佐藤裕紀, 矢野拓洋; 北欧教育研究会編著, 林寛平, 本所恵, 中田麗子, 佐藤裕紀編著. 北欧の教育最前線—市民社会を作る子育てと学び: 東京: 明石書店; 2021: 39-42.
 4. 佐藤裕紀, 中田麗子; 北欧教育研究会編著, 林寛平, 本所恵, 中田麗子, 佐藤裕紀編著. 北欧の教育最前線—市民社会を作る子育てと学び: 東京: 明石書店; 2021: 43-46.

5. 佐藤裕紀：森田稔，鴨川明子，市川桂編著；若手研究者必携 比較教育学のアカデミック・キャリアー比較教育学を学ぶ人の多様な生き方・働き方：東京：東信堂；2021：53-63.

3 論文

1. 佐藤裕紀. 特別活動の指導法に関する実践研究－話し合いの力量形成に焦点を当てて. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2020：4：1-8.
2. 川口弘泰, 佐藤裕紀. 地域に愛着と誇りをもち, 主体的に課題解決に取り組む児童の育成－子どもの主体性の度合いを測る『参加の梯子』の枠組みを用いて. 教育研究論文集（公益財団法人新潟教育会）. 2021：25：100-107.
3. 佐藤裕紀. 各国の教科書制度・デンマーク王国. 海外教科書制度調査研究報告書（公益財団法人教科書研究センター）. 2020：291-298.
4. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 ICTで休校問題は解決するか?. 教育新聞. 2020. (参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20200418/>)
5. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線 担い手不足の学校理事会. 教育新聞. 2020. (参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20191026/>)
6. 佐藤裕紀. 北欧の教育最前線『ゲッター』と地域スポーツクラブ. 教育新聞. 2020. (参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20200919/>)
7. 佐藤裕紀. 針具有佳. 北欧の教育最前線 皇太子妃も取り組むデンマークのいじめ対策. 教育新聞. 2020. (参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20201114/>)

4 学会等研究発表

1. 五十嵐紀子, 佐藤裕紀, 杉本洋, 原口彩子. 当事者活動における苦悩のマネジメント－運営側の視点に着目して. 日本保健医療社会学会第46回大会（大阪（オンライン）・日本）, 2020.9.5-9.6.
2. 五十嵐紀子, 杉本洋, 原口彩子, 佐藤裕紀. 当事者活動から見る支援の在り方：核となる対話の力. 第12回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会（広島・日本）, 2020.9.26-9.27.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本生涯教育学会（常任理事）, 日本ヒューマンライブラリー学会（理事）, 日本比較教育学会, 日本国際教育学会, 日本教育政策学会, 日本学習社会学会, 関東教育学会, アジア比較教育学会, 異文化間教育学会, 新潟医療福祉学会
- 2) 学術集会の主催
 1. 日本生涯教育学会, 第41回大会, 実行委員長, 東京, 2020.11.13-11.14.

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 下越地区連絡会, With コロナの時代に新しい生活様式を守って生活する中, 心身の健康とコミュニティをどのように確保するか, 講師・パネルディスカッションコメンテーター, 新潟県消費者協会, 下越地区会員, 新潟市, 2020.10.30.
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 一般社団法人IFAS, デンマーク・コーポラティブ・ラーニングトリップでの参加者の事前学習会, 講師, 東京（オンライン）, 2020.6.28.
- 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員
新潟県生涯学習協会未来創造委員会（委員）, ときわ会生涯学習を進めるグループ新しい風（スーパーバイザー）

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費基盤研究（B）, 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者

- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟県立大学, 特別活動の研究, 2020.10.1-12.3.
 2. 新潟県立吉田病院付属看護専門学校, 教育学, 2020.9.3-9.9.
- 8 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (委員), 教務委員会 (委員), シティズンシップ教育実践研究センター (研究員)

氏名：下門 洋文

- 1 研究題目 水中環境におけるヒトの動作解析とそれによって起きる泳者周りの流れの可視化, 大学生の体力に関する疫学研究, 運動中のヒトが抱く身体感覚
- 2 論文
 1. Ikeda Y, Ichikawa H, Shimojo H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal of sports sciences (JCR). 2021; 17: 1-7.
 2. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports biomechanics (JCR). 2021; 14: 1-12.
 3. Kobayashi-Yamakawa K, Homoto K, Shimojo H, Sengoku Y, Takagi H. Changes of kinematics during underwater undulatory swimming with increaseing swimming velocity. ISBS Proceedings Archive. 2020; 38(1): Article 42.
 4. Ichikawa H, Shimojo H, Baba Y, Mise T, Nara R, Shimoyama Y. The Difference of Propulsive Force between Water Surface and Underwater Conditions in Flutter Kick Swimming. Proceedings. 2020; 49(1): 167.
 5. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 下門洋文, 吉松梓, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 大学体育スポーツ学研究. 2021 ; 8 : 179.
- 3 学会等研究発表
 1. Kobayashi-Yamakawa K, Homoto K, Shimojo H, Sengoku Y, Takagi H. CHANGES OF KINEMATICS DURING UNDERWATER UNDULATORY SWIMMING WITH INCREASING SWIMMING VELOCITY. 38th International Society of Biomechanics in Sport Conference (Online), Physical conference cancelled, Online Activities: 20-24 July, 2020.
 2. 市川浩, 田坂英郁, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 大学生と中高生競泳選手間のフラッターキック動作の比較. 日本水泳・水中運動学会 2020年次大会 (Online), 14-15 Nov, 2020.
 3. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 下門洋文, 吉松梓, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (オンライン), 2021.2.22.
 4. Ichikawa H, Shimojo H, Baba Y, Mise T, Nara R, Shimoyama Y. The Difference of Propulsive Force between Water Surface and Underwater Conditions in Flutter Kick Swimming. 13th conference of the International Sports Engineering Association (Online), 22-26 June 2020.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本運動疫学会, 可視化情報学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度日本水泳・水中運動学会年次大会, 学会事務局, オンライン開催, 2020.11.14-11.15.
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 日本水泳・水中運動学会, 運営委員会, 総務, オンライン, 2020.6.9, 2021.3.2.
 2. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度日本水泳水中運動学会年次大会, 座長, オンライン開催,

2020.11.14.

3. JOURNAL OF SPORTS SCIENCE AND MEDICINE 査読

4. Journal of Biomechanics 査読

5. 介護予防・健康づくり研究 査読

6. 新潟医療福祉学会 査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 知る・学ぶ「福祉・介護・健康」・出張体力測定, 自分のカラダを知ろう～体脂肪率と体力チェック～, 新潟日報社, 市民, 新潟市, 2020.11.8.

2. 公益財団法人健康・体力づくり事業財団, 健康運動実践指導者実技試験審査員, 新潟市, 専門学校生, 2020.11.29.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科学研究費 若手研究, 泳技能学習によるヒトの流体-神経適応過程の解明, 研究代表者

2. 2020年度, 科学研究費 基盤研究 (B), 水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明, 研究分担者

7 学内委員会活動 広報委員会, 産官学連携推進センター運営委員会, 運動機能医科学研究所 (広報担当)

氏名：武田 丈太郎

報告事項なし

氏名：馬場 康博

1 研究題目 慣性センサを利用したオープンウォータースイミング評価法の開発に関する研究 (コーチング学)

2 論文

1. Sato D, Yamazaki Y, Yamashiro K, Onishi H, Baba Y, Ikarashi K, Maruyama A. Elite competitive swimmers exhibit higher motor cortical inhibition and superior sensorimotor skills in a water environment. Behavioural Brain Research. 2020;395(112835):1-11.

2. Ikarashi K, Sato D, Iguchi K, Baba Y, Yamashiro K. Menstrual Cycle Modulates Motor Learning and Memory Consolidation in Humans. Brain Science. 2020;10(10):696.

3. Ikarashi K, Iguchi K, Yamazaki Y, Yamashiro K, Baba Y, Sato D. Influence of Menstrual Cycle Phases on Neural Excitability in the Primary Somatosensory Cortex and Ankle Joint Position Sense. Journal of Women's Health. 2020;1(1):167-178.

4. Yamashiro K, Yamazaki Y, Siiya K, Ikarashi K, Baba Y, Otsuru N, Onishi H, Sato D. Modality-specific improvements in sensory processing among baseball players. Scientific Reports. 2021;11(1):2248.

5. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports Biomechanics. 2021:1-12.

6. Ikeda Y, Ichikawa H, Shimojo H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal of Sports Sciences. 2021.1-7.

7. Ichikawa H, Shimojo H, Baba Y, Mise T, Nara R, Shimoyama Y. The Difference of Propulsive Force between Water Surface and Underwater Conditions in Flutter Kick Swimming. Proceedings.

3 報告書

1. 馬場康博, 下山好充, 市川浩, 佐藤大輔. 若手研究 (B), 研究成果報告書, オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の開発と実用化, 2018-2020 (研究代表者)

4 学会等研究発表

1. 三瀬貴生, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充, 阿久澤弘, 金岡恒治. 競泳選手における肩関節不安定性保有率の年代間比較. 第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 (東京; Web開催), 2020.12.5-12.31.
2. 市川浩, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 下肢関節角度変化の位相差がクロール泳フラッターキックの足関節速度および加速度に及ぼす影響. 第26回日本バイオメカニクス学会 (東京; Web開催), 2020.9.18-9.20.
3. 五十嵐小雪, 馬場康博, 山代幸哉, 佐藤大輔. 月経周期が運動学習能に及ぼす位影響. 日本体力医学会 (鹿屋市; Web開催), 2020.9.24-9.26.

5 学会活動

- 1) 所属学会 European College of Sport Science, Sports Medicine Australia, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本コーチング学会, 日本水泳・水中運動学会, 日本バイオメカニクス学会, 新潟医療福祉学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本水泳連盟・オープンウォータースイミングナショナルチーム, OWS ナショナルチーム合宿, コーチ, 福岡市・地行浜, 2020.10.30-11.1.
2. スポーツ庁ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, ボート競技, 外部有識者, 第2回検証・評価会議, 2021.3.5.
3. 新潟県水泳連盟・オープンウォータースイミング, 2020年度新潟県水泳連盟OWS委員会, 委員長, Web開催, 2021.2.22.

7 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 全米選手権 日本代表 桑添陸, 男子10km (中止), フォートマイヤーズ, 2020.4.3-4.5. (コーチ)
2. 水泳部, ワールドシリーズ セチュバル大会 日本代表 桑添陸, 男子10km (中止), ポルトガル, 2020.6.13. (コーチ)

8 学内委員会活動 入試委員会

氏名：濱野 礼奈

1 研究題目 バレーボールの指導法 (コーチング学)

2 学会等研究発表

1. 阿部薫, 濱野礼奈, 笹本嘉朝. 大学女子バレーボール選手の競技用シューズへのインソール使用の効果—パフォーマンステストによる評価—. 第34回日本靴医学会 (web開催), 2020.9.11-9.12.
2. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 伊藤渉, 平林怜, 濱野礼奈, 大森豪. 大学女子バレーボール選手の利用可能エネルギー. 第20回新潟医療福祉学会 (web開催), 2020.10.31-11.15.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本バレーボール学会, 日本コーチング学会, 日本体力医学会, 日本臨床スポーツ医学会, 日本体育学会, 日本運動生理学会, 日本靴医学会, 新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. ヤングクラブチーム (チームK) バレーボール指導, 2019- (継続)
2. 長岡商業高校バレーボール指導, 2019- (継続)
3. JOC新潟県選抜バレーボール指導, 2014- (継続)
4. 長岡市バレーボール協会バレーボール教室, 指導, 女子バレーボール部, 中学生, 2020.7.25.

5. 新潟県小学生バレーボール連盟ジュニアバレーボール教室, 指導, 女子バレーボール部, 小学生, 2020.11.7.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新聞, スポーツニッポン, 医福大4年生今年唯一の晴れ舞台で16強へ, 2020.11.27.
 2. 新聞, 日刊スポーツ, 新潟医療福祉大主将としてチームけん引山本最後の大会目標は「16強」, 2020.11.28.
 3. 新聞, スポーツニッポン, 鈴木沙彩V1へアタック, 2021.2.5.
 4. 新聞, 日刊スポーツ, 鈴木沙彩が浜松加入 新潟医福大3年連続Vリーガー, 2021.2.11.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 第41回北信越国民体育大会, バレーボール競技成年女子新潟県監督, 中止.
 2. 北信越大学バレーボール連盟, 西日本女子学連選抜対抗戦, 北信越選抜監督, 選手, 学生スタッフ, web開催, 2020.12-2021.2.
- 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県バレーボール協会(常任理事), 北信越大学バレーボール連盟(副会長), 信越大学バレーボール連盟(理事長), 新潟県大学バレーボール連盟(理事長)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学内部活動の実績
 1. 女子バレーボール, 令和2年度全日本バレーボール大学男子・女子選手権大会北信越学連推薦チーム決定トーナメント戦, 優勝, 富山市, 2020.10.31-11.1(監督)
 2. 女子バレーボール, 第67回全日本バレーボール大学女子選手権大会(全日本インカレ), 出場, 東京都, 2019.11.25-12.2(監督)
 3. 女子バレーボール, Vリーグ選手輩出(プレス浜松:鈴木沙彩)
- 6 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会

氏名: 三瀬 貴生

- 1 研究題目 アスリートの外傷・障害予防に関する研究, トレーナー教育及び運動指導における安全対策に関する研究
- 2 論文
 1. 渡辺輝也, 松尾信之助, 三瀬貴生, ハードル走の学習過程で発生した非接触型膝前十字靭帯損傷再受傷症例-専門実技ハードルにおけるハードル走の指導のあり方についての事例的検討-. 日本陸上競技学会誌(協力学術研究団体), 2021; 19(5): 51-57.
 2. Ichikawa H, Shimojo H, Baba Y, Mise T, Nara R, Shimoyama Y. The Difference of Propulsive Force between Water Surface and Underwater Conditions in Flutter Kick Swimming. Proceedings. 2020; 49(1): 167.
- 3 学会等研究発表
 1. 三瀬貴生, 熊崎昌, 平林怜, 江玉陸明, 伊藤渉, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 阿久澤弘, 金岡恒治. 水泳動作中の肩甲骨周囲筋活動にエクササイズ介入が与える即時効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会(宮崎;オンライン), 2020.11.1-11.30.
 2. 三瀬貴生, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充, 阿久澤弘, 金岡恒治. 競泳選手における肩関節不安定性保有率の年代間比較. 第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会(東京;オンライン), 2020.12.1-12.31.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本臨床スポーツ医学会, 日本アスレティックトレーニング学会, 日本柔道整復接骨医学会, 日本体育学会, 日本水泳・水中運動学会(事務局), 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動

1. 日本アスレティックトレーニング学会誌（協力学術研究団体），査読
2. 日本水泳・水中運動学会，事務局，会計

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会第5期講習会，泳動作のアスレティックリハビリテーション，講師，日本スポーツ協会，受講者，オンライン，2020.11.30-12.20.
2. 日本水泳トレーナー会議 中部・北信越，東北・北海道合同ブロック研修会，ジュニア競泳選手のコンディショニング-肩障害に着目して-，講師，日本水泳ドクター会議・トレーナー会議，ドクター・トレーナー，新潟リハビリテーション病院（オンライン），2021.2.13.

2) 社会活動への参加協力

1. 株式会社アクアシガータ，アクシーひがしスイミングスクールに対するトレーナーサポート，新潟市，2020.4.1-2021.3.31.
2. 京都踏水会，強化選手コースに対するトレーナーサポート，オンライン，2020.7.25.
3. 森ノ宮医療学園校友会，代議員，大阪市，2020.4.1-2021.3.31.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ（医・科学スタッフ／水泳競技）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度-2022年度，科学研究費助成事業 若手研究，「泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用」，三瀬貴生

2) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校 臨床工学技士科，体育実習，2020.10.1-2021.1.31.

7 学内委員会活動 図書館・学習支援委員会，アスリートサポート研究センター，運動機能医科学研究所

氏名：吉松 梓

- 1 研究題目 多様なニーズを抱えるの児童・生徒への自然体験活動に関する研究（野外教育学・臨床心理学），大学教育における野外活動関連科目の授業研究（野外教育学・大学体育学）

2 論文

1. 佐藤敏郎，武田丈太郎，下門洋文，吉松梓，鶴瀬亮一，高田大輔. 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 大学体育スポーツ学研究. 2021；8：179.

3 学会等研究発表

1. 吉松梓. 児童・生徒の身体的自己概念と自己成長性との因果モデルの検討. 第20回 新潟医療福祉学会学術集会（Webおよび誌上），2020.10.31-11.15.
2. 吉松梓. 坂本昭裕，高瀬宏樹，日々野功宜. 長期冒険キャンプが青年期前期のボディイメージに及ぼす影響. 日本野外教育学会 第23回大会（誌上），2020.11.
3. 吉松梓. 竹内靖子，中丸信吾，針ヶ谷雅子，古谷洋祐，野口和行. 2020にじっこキャンプの報告. 特別な支援や配慮を必要とする人たちを対象とした自然体験活動の実践 -新しい生活様式をふまえて-. 2020年度日本野外教育学会オンライン研究会（Web），2020.11.8.
4. 千足耕一，松本秀夫，吉松梓. 査読・投稿を考える. 日本野外教育学会第3回研究集会（Web），2021.1.24. 【シンポジウム】
5. 佐藤敏郎，武田丈太郎，下門洋文，吉松梓，鶴瀬亮一，高田大輔. 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 第9回大学体育スポーツ研究フォーラム（Web），2021.2.22.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本野外教育学会，日本体育学会，日本スポーツ心理学会，日本臨床心理身体運動学会，日本心理臨床学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2020にじっこキャンプ, 実施代表者, Nijicco新潟にじっこキャンプの会, ひとり親家庭の小学生, 五頭連邦少年自然の家(阿賀野市)・海辺の森キャンプ場(新潟市), 2020.8.7-8.8(1泊2日)・10.11(日帰り), 計3日間.
2. 令和3年度教員免許状更新講習(選択18時間), 教科指導や学級経営に生かす体験活動の指導, 自然体験活動の教育効果とプロセス, 講師, 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立磐梯青少年交流の家, 教員, 国立磐梯青少年交流の家(猪苗代町), 2020.8.18.

2) 社会活動への参加協力

1. スペシャルニーズ・キャンプ・ネットワーク実行委員会, WEB講演会「バリアフリー化が困難な大自然への挑戦『大自然を車椅子ユーザーとその家族や友人と一緒に楽しむ』産学官が協働した環境づくり」, 実行委員, Web, 2020.4.23.
2. スペシャルニーズ・キャンプ・ネットワーク実行委員会, WEB講演会「馬の力に頼ったセラピーで七感を育む」, 実行委員, Web, 2020.5.6.

3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金審査委員会(専門委員), 新潟市海辺の森交流拡大委員会(アドバイザー)

4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

公益社団法人日本キャンプ協会(公1事業運営委員), 公益社団法人日本キャンプ協会(キャンプ白書2021編集委員)

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2015年度, 科研費若手研究(B), 発達に困難を抱える児童・生徒への自然体験療法-身体の感覚と不器用さに着目して-, 研究代表者
2. 2020年度, 科研費基盤研究(C), 多様なニーズを対象とした自然体験活動の効果の可視化とモデルプログラムの開発, 研究代表者
3. 2020年度, 子どもゆめ基金助成金, 2020にじっこキャンプ, 代表者

2) 受賞, 学位取得, 資格取得

新潟医療福祉学会賞会頭賞(2020.10.31)

7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名: 上田 純平

- 1 研究題目 児童青年を対象とした心の健康教育の開発・実践, ト라우マに対するメンタルヘルスリテラシーに関する研究, 心理アセスメント尺度に関する研究

2 論文

1. 上田純平. 健康スポーツ学科における介護等体験実習の実践報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2020; 4: 24-26.
2. 瀧井美緒, 上田純平. 子育て支援者を対象としたトラウマティックストレス理解のための心理教育の実践. 岩手県立大学社会福祉学部紀要. 2021; 23: 73-78.

3 学会等研究発表

1. 瀧井美緒, 上田純平. 子育て支援者に対するトラウマ理解のための研修会の実践報告. 日本トラウマティックストレス学会第18回学術大会(オンライン開催), 2020.9.
2. 上田純平, 瀧井美緒. 教員免許状取得を目指す学生における不登校のしろうと理論-AIテキストマイニングによる予備的検討-. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(オンライン開催), 2020.10.
3. 山本悦史, 上田純平, 本間崇教. 価値共創の時代を見据えたプロスポーツ経営に関する一考察: 新潟県を

活動拠点とする3つのクラブの観戦者調査を踏まえて、第20回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン開催）、2020.10.

4. 瀧井美緒, 上田純平. 外傷後ストレスに対する認識尺度の因子的妥当性の検討. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン開催）、2020.10.
5. 瀧井美緒, 上田純平. ト라우マのしろうと理論－女子大学生を対象とした計量テキスト分析による検討一. 日本認知療法・認知行動療法学会第20回大会（オンライン開催）、2020.10.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本認知・行動療法学会, 日本認知療法・認知行動療法学会, 日本うつ病学会, 日本不安症学会, 日本トラウマティック・ストレス学会, 日本ストレスマネジメント学会, 新潟県公認心理師会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. ストレスマネジメント研究, 査読

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

新潟県公立学校スクールカウンセラー

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

新潟医療福祉学会, 第20回学術集会, 奨励賞（連名）（2020.10）

2) 学外兼務講師等

1. 関西福祉大学, 青年期の発達心理, 2020.8.24-8.26.
2. 新潟県立吉田看護専門学校, 教育学, 2020.9.2.

7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会（委員）

氏名：鵜瀬 亮一

1 研究題目 野球競技のコーチング, 熟達指導者研究

2 論文

1. 鵜瀬亮一, 内山渉, 西原康行ら. VR視界動画を用いた大学野球選手育成の試み, 新潟医療福祉学会誌, 2021; 第20巻（3号）: 54-59.

3 報告書

1. 鵜瀬亮一. 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究成果報告書, 令和2年度-令和4年度, 研究代表者

4 学会等研究発表

1. 鵜瀬亮一, 大矢真史, 内山渉, 西原康行. 野球の投手指導における熟達指導者と未熟達指導者の状況認知. 第20回新潟医療福祉学会, 2020.10.31-11.15.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本教育工学会, 日本野球科学研究会, 新潟医療福祉学会

6 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 南魚沼市指導者講習会, 小中学生指導法について, 講師, ベースボールマガジン社, 市内指導者20名, ベーマガスタジアム, 2020.11.3.
2. 長岡市未経験者野球教室, 未経験者に対する野球遊び教室, 講師, 長岡市スポーツ協会, 小学生53名, 長岡ニュータウン公園, 2020.11.14.
3. 長岡市指導者講習会, ジュニアのための投球指導, 講師, 長岡市スポーツ協会, 市内指導者22名, 長岡ニュータウン公園, 2020.11.14.
4. 新潟県軟式野球連盟指導者講習会, 講師, ウォーミングアップから守備基礎, 新潟県軟式野球連盟,

県内指導者25名, ハードオフエコスタジアム, 2020.12.5.

5. 令和2年度長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業 新潟医療福祉大学野球教室, 講師, ウォーミングアップから打撃まで, 小千谷市, 中学1・2年生63名, 東小千谷体育館, 2020.12.12.
6. 令和2年度長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業 新潟医療福祉大学野球教室, 講師, ウォーミングアップから打撃まで, 小千谷市, 小学生4-6年生73名, 東小千谷体育館, 2020.12.13.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 雑誌, 大学野球 春季リーグ戦展望号(ベースボールマガジン社) 新監督特集, 2020.4.2.
2. 新聞, 新潟日報朝刊, 活動自粛続く県内スポーツ界, 2020.5.15.
3. 新聞, 新潟日報朝刊, 医福大野球部活動再開, 2020.5.27.
4. 新聞, スポーツニッポン, 医福大野球部53日ぶり球音戻る, 2020.5.27.
5. 新聞, スポーツニッポン, エキシビジョントーナメント開幕記事, 2020.8.14.
6. 新聞, スポーツニッポン, エキシビジョントーナメント開幕記事, 2020.8.15.
7. 新聞, スポーツニッポン, 4年生メモリアルマッチ記事, 2020.8.20.
8. 新聞, 毎日新聞, 事故契機に「野球」復帰, 2020.8.27.
9. 新聞, 日刊スポーツ, 秋季リーグ開幕記事, 2020.9.4.
10. 書籍, インプレス, 松坂世代, それから 終章
11. 新聞, 新潟日報, 秋季リーグ開幕記事, 2020.9.5.
12. 新聞, 新潟日報, 秋季リーグ新潟開催記事, 2020.9.21.
13. 新聞, スポーツニッポン, 秋季リーグ決勝R関連記事, 2020.9.30.
14. 新聞, スポーツニッポン, 秋季リーグ決勝R関連記事, 2020.10.2.
15. BSNテレビ, ゆうなび, ドラフト前特集, 2020.10.12.
16. 新聞, 新潟日報, 就任1年目総括記事, 2020.11.27.
17. 新聞, スポーツニッポン, 就任1年目総括記事, 2020.12.9.
18. 新聞, スポーツニッポン, 社会人野球関連記事, 2020.12.12.
19. 新聞, 日刊スポーツ, 社会人野球関連記事, 2020.1.28.
20. 雑誌, 週刊ベースボール3月15日号, ドラフト関連記事, 2020.3.3.

3) 職能団体(協会, 士会等)の委員

関甲新学生野球連盟(理事)

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2020年度, 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究代表者

氏名: 小林 真里奈

1 研究題目 バスケットボール競技の競技動作に関する研究, バスケットボール競技のコーチングについての研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本バスケットボール学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第1回部活動指導者講習会, スポーツ障害の防止と成長期スポーツ選手のセルフチェック等(スポーツ傷害フォーラム), 講師, 新潟市中体連, 部活動指導者, 新潟市, 2020.9.18.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, スポーツニッポン, 女子バスケ部ACにはOG小林氏, 2020.4.20.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟市立松浜中学校, バスケットボール競技の技術指導, 講師, 新潟市, 2020.9.11.

2. 新潟市立松浜中学校, バスケットボール競技の技術指導, 講師, 新潟市, 2020.11.9.
 3. 新発田中央高等学校, バスケットボール競技の技術指導, 講師, 新発田市, 2021.3.23.
- 4 その他の教育研究活動
- 1) 学内部活動の実績
 1. 女子バスケットボール部, 第72回全日本大学選手権(インカレ)出場, 東京, 2020.12.8. (コーチ)

氏名：高田 大輔

- 1 研究題目 体育授業における指導スタイルに関する研究, 教職志望学生における実践的指導力の育成に関する研究, 大学体育における車椅子バスケットボールの教育的効果の検討
- 2 論文
 1. 吉田重和, 高田大輔, 教員養成理念の受容実態に関する事例検討－「教職実践演習」における課題分析を手がかりに－. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報, 2020; 4: 9-13.
 2. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 下門洋文, 吉松梓, 鶴瀬亮一, 高田大輔, 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 大学体育スポーツ学研究; 2021: 179.
- 3 学会等研究発表
 1. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 下門洋文, 吉松梓, 鶴瀬亮一, 高田大輔, 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム(オンライン), 2021.2.22.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会, 日本教育工学会, 体育授業研究会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 大学体育スポーツ学研究(第18号), 査読
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 長岡市立大河津小学校校内授業研修会, ゲーム, ボール運動における教材・教具づくりのポイント, 講師(講義・指導講評), 長岡市立大河津小学校, 小学校教員, 新潟市, 2020.10.30.
 2. 指導者プログラム実践研修会(スポーツ庁「部活動改革プラン」事業委託), スポーツの種目特性: 種目特性と指導(教材・教具づくり)のポイント, 講師(講義), NPO法人希楽々, 部活動指導者, 外部指導者, 保護者等, 村上市, 2020.11.13.
 3. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校高学年における跳び箱運動の授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2020.12.7.
 4. 沼垂小学校校内研修会, よく考える子の育成－主体的な思考を促す課題を工夫し, かかわり合いを通して自分の考えをもたせる授業づくり－, 講師(講義・指導講評), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2020.12.21.
 5. 沼垂小学校授業研究指導案検討会, 小学校低学年における投動作の習得と「投の運動遊び」の授業づくり・教材づくりについて, 講師(講義), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2021.1.14.
 6. 沼垂小学校校内研修会, 児童が課題と向き合い, 関わり合い・思考を促す授業づくり, 講師(講義・指導講評), 新潟市立沼垂小学校, 小学校教員, 新潟市, 2021.1.29.
 7. 燕市スポーツ協会指導者育成プログラムスポーツ指導者向け講習会, 第2部スポーツ教育法:①スポーツ特性論, ②スポーツの指導計画, 内容, 評価の立て方, 講師(講義), 燕市教育委員会, 小学校教員, スポーツ少年団指導者, 各種協会会員等, 燕市, 2021.3.27.
 - 2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
 - 新潟市立沼垂小学校・体育研究推進委員(研究サポート)
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等

1. 国際メディカル専門学校看護学科, 体育, 2020.9.1-2021.3.19.
- 7 学内委員会活動 教職支援センター運営委員会 (企画・研究部会部会長), 身体教育研究センター

氏名：中島 郁子

- 1 研究題目 アスリートのスポーツカウンセリング事例 (臨床スポーツ心理学), 剣道と人間形成 (臨床スポーツ心理学), 剣道競技者の風景構成法 (臨床心理学)
- 2 学会等研究発表
 1. 中島郁子. 「エースが本番で力を発揮できない」と言われた大学生女子チームとのかかわり. 第274回 溪蓀塾心理教育相談室事例研究会【公財】日本臨床心理士資格認定協会定例型継続研修会410002【オンライン形式】, 2020.10.3.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本臨床心理身体運動学会 (理事・研修委員), 日本スポーツ心理学会, 日本箱庭療法学会, 日本遊戯療法学会, 日本武道学会, 日本体育学会, 日本心理学会, 日本スポーツ精神医学会, 身体運動文化学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本臨床心理身体運動学会, 理事・研修委員, 2019.11-現在
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 柏崎市スポーツ協会ジュニア育成指導者研修事業, ジュニア期の心の発達, 講師, 柏崎市スポーツ協会, スポーツ指導者, 柏崎市, 2020.11.4.
 2. グランセナ新潟フットボールクラブU-14, スポーツ心理学ワークショップ, 講師, グランセナ新潟フットボールクラブ, 新潟市, U-14の選手およびスタッフ, 2021.2.28.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. ラジオ, FM NIIGATA, THE DREAMER'S with Standard新潟, 2020.7.8.
 2. 新聞, 読売新聞 (全国版), 2021.3.14.
 3. 月刊誌, 剣道時代4月号, 第59回全日本女子剣道選手権大会出場者, 2021.2.25. 発売
 4. 月刊誌, 剣道日本4月号, 第59回全日本女子剣道選手権大会出場予定選手一覧, 2021.2.25. 発売
 5. 新潟県剣道連盟会報, kenren107, 全日本女子選手権大会への想い, 2021.3.1.
 6. 月刊誌, 剣道時代5月号, 皇后杯授与第59回全日本女子剣道選手権大会速報, 2021.3.25. 発売
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県社会福祉協議会, 知る・学ぶ「福祉・介護・健康」in 新潟, 「健康・体力測定コーナー」企画及び当日の運営, ユニゾンプラザ2階, 2020.11.8.
 2. 令和2年度新潟県中学校体育連盟秋季地区大会, 審判員, 新潟市, 2020.9.6.
 3. 令和2年度新潟市中学校新人大会, 審判員, 新潟市, 2020.10.7.
 4. 令和2年度新潟県高等学校体育連盟秋季地区大会, 審判員, 新潟市, 2020.11.14.
 5. 令和2年度新潟県高等学校剣道BSN杯, 審判員, 新潟市, 2021.1.9-1.10.
 6. 令和2年度北信越学生剣道大会, 審判員, 新潟市, 2021.3.21.
 7. 令和2年度北信越学生剣道大会, 大会参与, 新潟市, 2021.3.21.
 8. 新潟県臨床心理士会多重債務者相談会, 臨床心理士相談員, 加茂市役所, 2020.12.2.
 - 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本スポーツ振興センタースポーツ指導における暴力行為等に関する第三者相談・調査委員会, 特別委員
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 国際メディカル専門学校鍼灸学科 (コミュニケーション技法) 2020.5.1-2021.3.31.
 2. 国際メディカル専門学校鍼灸学科 (心理学) 2020.9.1-2021.1.31.

6 学内委員会活動 スポーツカウンセリング研究センター（相談員）

氏名：奈良 梨央

1 研究題目 背泳ぎスタートに関する研究

2 論文

1. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports Biomechanics. 2021; 1-12.
2. Ikeda Y, Ichikawa H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. Journal of Sports Science. 2021; 1-7.

3 学会等研究発表

1. 三瀬貴生, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充, 阿久澤弘, 金岡恒治. 競泳選手における肩関節不安定性保有率の年代間比較. 日本アスレティックトレーニング学会（オンライン）, 2020.12.5-12.31.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 日本水泳水中運動学会, 日本コーチング学会, 新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新聞, 新潟日報. スポーツWomen, 2021.2.17.
2. テレビ, UX新潟テレビ21. オリンピックに向けてのサポートにてついて・研究内容について, 2021.3.

2) 社会活動への参加協力

1. 日本水泳連盟, オリンピック強化指定選手強化合宿, コーチ, 東京・JISS, 2020.12.7-12.20.
2. 日本水泳連盟, オリンピック強化指定選手強化合宿, コーチ, 東京・JISS, 2021.2.8-2.21.

6 その他の教育研究活動

1) 受賞, 学位取得, 資格取得

博士・保健学（2021.3）

2) 学内部活動の実績

1. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ優勝, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
2. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ2位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
3. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子200m自由形6位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
4. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mメドレーリレー6位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
5. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子4×100mフリーリレー4位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
6. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子100mバタフライ7位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
7. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 女子50m自由形6位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
8. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子50m自由形2位, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)
9. 水泳部, 第96回 日本学生選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ優勝, 東京都, 2020.10.1-10.4. (コーチ)

10. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50m自由形優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
11. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50m自由形5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
12. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50mバタフライ2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
13. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
14. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
15. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
16. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子100m自由形2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
17. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 男子50m平泳ぎ5位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
18. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50mバタフライ優勝, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
19. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50mバタフライ7位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
20. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100mバタフライ3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
21. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m自由形2位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
22. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子50m自由形7位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
23. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100m自由形3位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
24. 水泳部, 第62回 日本選手権 (25m) 水泳競技大会, 女子100m平泳ぎ4位, 東京都, 2020.10.17-10.18. (コーチ)
25. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 男子50m自由形2位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
26. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 男子100m自由形4位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
27. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
28. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 男子100mバタフライ4位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
29. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 女子100m自由形5位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
30. 水泳部, 第96回 日本選手権水泳競技大会, 女子200m平泳ぎ3位, 東京都, 2020.12.3-12.6. (コーチ)
31. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 女子200m平泳ぎ5位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
32. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 男子50mバタフライ優勝, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
33. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 男子50mバタフライ2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
34. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 男子100mバタフライ2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
35. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 男子100mバタフライ6位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
36. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 男子100m自由形4位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
37. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 男子50m自由形2位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)

- 38. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 女子50m バタフライ7位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
- 39. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 女子50m 背泳ぎ6位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)
- 40. 水泳部, ジャパンオープン2020 (50m), 女子100m 自由形3位, 東京都, 2021.2.4-2.7. (コーチ)

氏名：針谷 美智子

- 1 研究題目 小学校体育授業における鉄棒運動の縦断的研究, 小学校体育授業における運動技能水準下位児童に関する事例的研究
- 2 論文
 - 1. 針谷美智子. 教員採用試験へ向けた体育実技対策に関する実践報告. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2020 ; 4 : 30-33.
 - 2. 脇野哲郎, 佐藤裕紀, 針谷美智子, 森光雄, 吉田重和, 杉崎弘周, 高田大輔, 杵渕洋美, 上田純平. 2021~2022年度教育実習ハンドブック. 新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科教職課程. 2021.
- 3 学会等研究発表
 - 1. 針谷美智子. 小学校体育授業における鉄棒運動の縦断的研究-小学校6年生を対象とした基礎的な動きと回転技の達成度調査-. 日本体育科教育学会第25回WEB研究発表大会, 2020.10.16-10.31.
 - 2. 針谷美智子. 小学校体育授業における鉄棒運動の縦断的研究-小学校6年生を対象とした回転技の達成度調査-. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (web 及び誌上発表), 2020.10.31-11.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本体育学会, 日本体育科教育学会, 日本スポーツ教育学会, 体育授業研究会, 新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 - 1. 第74回全日本体操個人総合選手権, 審判, 群馬県高崎アリーナ, 2020.12.10-12.12.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 - 1. 2019年度, 若手研究, 小学校児童の逆上がり及び後方支持回転動作を改善するための学習指導方略の開発, 研究代表者

氏名：藤本 知臣

- 1 研究題目 運動中体温低下時の体温調節反応と調節メカニズム, 温度変化に対する感覚の受容メカニズム, 高体温誘発性疲労のメカニズムと対処法
- 2 論文
 - 1. Dobashi K, Fujii N, Ichinose M, Fujimoto T, Nishiyasu T. Voluntary hypocapnic hyperventilation lasting 5 min and 20 min similarly reduce aerobic metabolism without affecting power outputs during Wingate anaerobic test. Eur J Sport Sci. 2020 Sep 17;1-8. doi: 10.1080/17461391.2020.1812728. Online ahead of print. (JCR)
 - 2. Arnold JT, Lloyd AB, Bailey SJ, Fujimoto T, Matsutake R, Takayanagi M, Nishiyasu T, Fujii N. The nitric oxide dependence of cutaneous microvascular function to independent and combined hypoxic cold exposure. J Appl Physiol. Oct 1;129(4):947-956. 2020 (JCR)
 - 3. Fujii N, Fujimoto T, Cao Y, Dobashi K, Matsutake R, Amano T, Watanabe K, Nishiyasu T. Caffeine exacerbates hyperventilation and reductions in cerebral blood flow in physically fit males exercising in the heat. Med Sci Sports Exerc. 53(4):845-852, 2021. (JCR)
- 3 学会等研究発表
 - 1. Josh T Arnold, Alex B Lloyd, Stephen J Bailey, Fujimoto T, Matsutake R, Takayanagi M, Nishiyasu T,

Fujii N. Cutaneous microvascular response to independent and combined hypoxic cold exposure: The role of nitric oxide pathways. virtual 8th International Conference on the Physiology and Pharmacology of Temperature Regulation (vPPTR). 2020.10.26-29. (online poster)

2. Fujimoto T, Dobashi K, Matsutake R, Fujiit N, Nishiyasu T. Hypocapnia attenuates local skin thermal sensation in normothermic humans. ARIHHP フォーラム 2021“パラリピックバリューがつなぐスポーツと社会”. 茨城. 2021.3.15. (online poster)

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体力医学会, American Physiological Society, 新潟医療福祉学会

5 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

1. 2019年度, 科研費研究スタート支援, 運動時低体温症の発生メカニズムの解明－運動時温度感覚に着目して－, 研究代表者
2. 2020年度, 科研費若手研究, 低温環境下におけるふるえ発生メカニズムの解明－皮膚温度受容器の役割に着目して－, 研究代表者
3. 2020年度, ARIHHP 共同利用・共同研究公募事業, 動脈血中二酸化炭素分圧および脳血流量の低下が高体温時の温度感覚および熱的快適性に及ぼす影響, 研究代表者

氏名：山本 悦史

- 1 研究題目 プロスポーツ経営におけるマーケティング・ジレンマに関する研究 (スポーツ経営学), ソーシャルガバナンスの形成過程におけるスポーツ組織の役割に関する研究 (スポーツ社会学)

2 論文

1. 山本悦史・武田丈太郎. 体育スポーツ系学科におけるインターンシップ実習の再設計：医療福祉系大学健康スポーツ学科の事例分析を通じた検討. 大学体育スポーツ学研究 (協力学術研究団体). 2021年；第18号：132-141.

3 学会等研究発表

1. 本間崇教, 山本悦史. スポーツ観戦者の地域意識：新潟県内のプロスポーツを事例として. 新潟県体育学会令和2年度大会 (オンライン), 2020.10.24.
2. 山本悦史, 本間崇教, 上田純平. 価値共創の時代を見据えたプロスポーツ経営に関する一考察－新潟県を活動拠点とする3つのクラブの観戦者調査を踏まえて－. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟市), 2020.10.31-11.15.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本体育学会, 組織学会, 日本スポーツマネジメント学会, 日本スポーツ産業学会, 日本体育・スポーツ経営学会, 新潟医療福祉学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 体育経営管理論集, 査読委員
2. 体育・スポーツ経営学研究, 査読委員
3. スポーツマネジメント研究, 査読委員

5 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟アルビレックスBC, ホームゲーム観戦者調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, 長岡市・悠久山球場, 2020.10.4.
2. アルビレックス新潟レディース, ホームゲーム観戦者調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, デンカビッグスワンスタジアム, 2020.11.14.
3. 新潟アルビレックスBB, 市場調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, 長岡市・ながおか市民センター, 2020.11.23.

4. 新潟アルビレックスBB, ホームゲーム観戦者調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, 長岡市・アオーレ長岡, 2020.12.26.
 5. 新潟アルビレックスBB, 後援会員調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, オンライン, 2021.1.1-1.31.
 6. 新潟アルビレックスBC, 後援会員調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, オンライン, 2021.1.5-1.31.
- 6 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 科研費若手研究, 組織能力に応じたプロスポーツ事業創造モデルの検討, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. アップルスポーツカレッジ, スポーツ産業論, 2020.4.1-2021.3.31.
- 7 学内委員会活動 就職センター運営委員会, シティズンシップ教育実践研究センター

氏名：若井 由梨

- 1 研究題目 ダンス指導における「動きとイメージ」を促す指導言語, 教育現場におけるダンス指導の困難さ
- 2 学会等研究発表
 1. 若井由梨, ダンス授業指導法の獲得経験とその効果－現職教員への調査をもとに－, 新潟医療福祉学会 (新潟市), 2020.10.24.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 体育スポーツ健康学会, 新潟体育学会, 日本スポーツ教育学会, 体育科教育学会, コーチング学会, 舞踊学会, 舞踊教育学会, 日本女子体育連盟, 新潟医療福祉学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県女子体育連盟, 理事会 (オンライン会議), 総会と特別企画に向けた会議, 事務局, 2.4, 2.14.
 2. 新潟県女子体育連盟総会および特別企画, 事務局, 3.21.
 - 2) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 日本女子体育連盟 (特別会員), 新潟県女子体育連盟 (理事長兼事務局)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2019年度, 若手研究, :「『イメージや動きの言語化』を促すダンス指導プログラムの考案」, 研究代表者
 - 2) 学内部活動の実績
 1. ダンス部, 秋田モダンダンスコンクール, シニアソロ部門1名, 群舞部門, 秋田市, 2020.12.12-12.13. (監督)
 - 3) 学外兼務講師等
 1. 豊岡短期大学, 子どもリズム表現, 通信教育, 2020.7.29-7.31, 2021.2.3-2.4.

5) 看護学部

(1) 看護学科

氏名：塚本 康子

- 1 研究題目 出生前診断を受ける意思決定, 終末期の療養の選択, 子宮頸がん予防プログラム
- 2 論文
 1. 下山博子, 塚本康子. 就労妊婦のマタニティハラスメントに関する看護職者のケアの実態と役割意識. 母性衛生. 2020; 61巻1号: 123-132.
- 3 報告書
 1. 塚本康子. 科研費基盤研究◎, 子宮頸がん予防に関する母親の意思決定を支援するサポート・プログラム, 研究成果報告書, 2016~2019年度, 研究代表者 塚本康子・研究分担者 下山博子 増田明美 小山歌子.
- 4 学会等研究発表
 1. 塚本康子, 下山博子, 佐藤郁美. 親子で学ぶ「いのちとからだセミナー」の効果-「がん教育」につなげる健康教育プログラム, 第61回日本母性衛生学会(浜松市), 2020.10.9-10.10.
 2. 佐藤郁美, 塚本康子. 父親の周産期うつ傾向と仕事・家庭に対する認識との関連, 第61回日本母性衛生学会(浜松市), 2020.10.9-10.10.
 3. 笠間未緒, 塚本康子, 佐藤郁美, 若月亜希子. 化学療法を受けるがん患者の意思決定への看護支援に関する文献検討, 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.31-11.15.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本生命倫理学会, 日本母性衛生学会, 日本母性看護学会, 日本家族看護学会, 日本がん看護学会, 日本助産学会, 日本生殖看護学会, 新潟医療福祉学会, 日本在宅看護学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本助産学会査読委員
 2. 新潟医療福祉学会査読委員
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 静岡県立大学大学院特別講演, がんサバイバーシップとセルフヘルプ・グループ, 講師, 静岡県立大学看護学部, 大学院生・学部生, 静岡市, 2021.3.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 認定NPO法人オレンジティ, 患者会活動, 理事, 静岡市, 2020.5.9, 5.6(総会), 7.4, 8.1, 9.5, 10.3, 11.7, 2021.1.9, 2.6, 3.6.
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟県地域保健医療計画・看護職員確保ワーキンググループ・委員, 新潟県立大学・専門性の高い看護職員の育成検討会・委員
 - 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
一般社団法人日本看護系大学協議会社員, 一般社団法人日本私立看護系大学協会社員
- 7 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2018-2020年度, 科学研究費基盤研究c, 助産師のワークエンゲージメントを基盤にした妊娠中期中絶ケアの教育モデルの開発, 研究代表者 下山博子・研究分担者 塚本康子.
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 姫路大学, 大学院博士課程・がん看護論, 2021.2.
- 8 学内委員会活動 総務会, 倫理委員会

氏名：松井 由美子

- 1 研究題目 教材開発研究, 連携教育に関する研究, 母子保健研究, 国際保健活動関連研究, シミュレーション教育研究
- 2 学会等研究発表
 1. 安藤萌, 松井由美子, 坪川麻樹子. 小児の医療的ケアにおける訪問看護に関する文献検討. 日本小児看護学会第30回学術集会 (オンライン), 2020.9.19-9.30.
 2. 伊藤嘉高, 村田憲章, 松井由美子, 栞原桂, 吉田秀義, 山口智. 連携総合ゼミの学習効果測定とその課題 - 専門性を横断する問題発見・解決力へ -. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン), 2020.
 3. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栞原桂, 吉田秀義, 山口智. 2019年度連携総合ゼミ実施報告と終了時アンケートによる前年度との比較. 新潟医療福祉学会誌.
 4. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栞原桂, 飯村菜穂子, 中村直樹, 貝渕正人. 4年次連携教育「連携総合ゼミ」の新型コロナウイルス感染症の拡大防止下の開催方法. 日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 (オンライン), 2020.
 5. Matsui Y, Shibayama J, Murata N, Ito H, Yamaguchi S, Kuwabara K. 2020IHC International Healthcare Conference. November 24, 2020. Impressions and expectations of overseas students participating in the IPE Seminar in Niigata University of Health and Welfare-From the free description of the seminar. 2020IHC International Healthcare Conference. November 24, 2020.
 6. Matsui S, Ito H, Matsui Y, Takiguchi T, Shibayama J. The Long term Care Insurance system for the elderly in Japan. 2020IHC International Healthcare Conference. November 24, 2020.
 7. 松井由美子, 坪川麻樹子, 安藤萌. 高性能シミュレーションによる医療的ケア講習会の定例開催のための要因. 第40回日本看護科学学会 (オンライン), 2020.12.1-12.25. オンデマンド配信, ZOOM・LIVE配信: 2020.12.12-12.13.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本保健医療福祉連携教育学会 (理事)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020年, JICA草の根協力支援型, ハイズオン市の住民に対する地域連携訪問サービスのモデルづくり, 松井由美子, 久保雅義, 大野あかね, 嵐田浩吉, Tran Thi Thanh Huyen. 古西勇, 佐藤晶子, 宇田優子, 佐々木沙織, 土田千歳.
- 5 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会 (委員長)

氏名：宇田 優子

- 1 研究題目 難病患者の災害への備え行動促進に関する要因など災害看護学, 地域包括ケアシステム構築に関する公衆衛生看護及び地域看護活動の課題と検討
- 2 著書
 1. 藤谷克己, 瀧口徹, 宇田優子他; 藤谷克己, 瀧口徹編. アクティブ公衆衛生学ラーニング. 1版. 新潟: ウィネット; 2020: 252-258.
- 3 論文
 1. 三澤寿美, 河原宣子, 立垣祐子, 太田晴美, 宇田優子, 窪田直美. 令和2年7月豪雨先遣隊派遣本部調整役として. 日本災害看護学会誌. 2020; 22 (2): 122-124.
 2. 酒井彰久, 窪田直美, 河原宣子, 立垣祐子, 太田晴美, 宇田優子, 三澤寿美. COVID-19災害プロジェクト CPVID-19から見たこれからの避難・避難所のあり方. 日本災害看護学会誌. 2020; 22 (2): 104-107.
 3. 石塚敏子, 宇田優子, 稲垣千文, 三澤寿美. 在宅パーキンソン病者の災害に対する備えとその経緯. 日本災害看護学会誌. 2020; 21 (3): 25-36.

4. 宇田優子. 新潟市北区南浜地区総合防災訓練参加による学生の体験. 新潟県看護協会保健師活動実践集. 2020: 29号. 52-53.
- 4 報告書
 1. 宇田優子, 三澤寿美, 石塚敏子, 稲垣千文. 日本学術振興会科学研究費助成事業－在宅療養者の災害対処行動とあきらめの気持ち・対処行動の理論モデル構築－. 実績報告書. 2020: 1-11.
- 5 学会等研究発表
 1. 石塚敏子, 宇田優子. 水害を体験したパーキンソン病者の行動と備え－令和元年台風19号の1事例－. 第25回日本難病看護学会学術集会 (東京都), 2020.11.20-11.21.
 2. 宇田優子, 三澤寿美. パーキンソン病患者の介護者の水害体験－令和元年東日本台風被災者へのインタビュー調査から－. 第22回日本災害看護学会学術集会 (広島), 2020.9.28-10.11.
 3. 宇田優子. 老年的超越理論の研究動向に関する文献検討. 第9回日本公衆衛生看護学会学術集会 (東京), 2020.12.25-2021.1.24.
 4. 小山歌子, 和田直子, 宇田優子. 豪雪地帯・無医地区の高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築. 第9回日本公衆衛生看護学会学術集会 (東京), 2020.12.25-2021.1.24.
 5. 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文. 診療所看護師の災害の備え支援に関する実態－難病指定診療所の全国調査－. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟), 2020.10.31-11.15.
 6. 宇田優子, 稲垣千文. 診療所看護職の地域連携・個別看護相談の実態－難病指定医療機関の全国調査－. 第79回日本公衆衛生学会学術集会 (京都), 2020.10.20-10.22.
- 6 学会活動
 - 1) 所属学会 日本災害看護学会 (ネットワーク活動委員会委員, 2021.2.13.から代議員兼任), 日本難病看護学会, 日本公衆衛生学会, 日本地域看護学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本災害看護学会第23回年次大会企画委員 (2021.9.開催予定)
 - 3) 学会等でのその他の活動
 1. 全国保健師教育機関協議会「保健師教育」査読委員
 2. 新潟県看護系大学等実習連絡協議会, 会長, 協議会の準備・運営, 新潟, 2020.8.20, オンライン
- 7 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 令和2年度第2回新潟県難病医療ネットワーク医療従事者研修会, 講師, 新潟大学医歯学総合病院, 新潟県内の難病患者支援関係者, オンライン, 2020.12.2.
 2. 令和2年度住民とともに作る健康なまちづくり研修会, 企画と講師及びシンポジウム進行, 新潟県国民健康保険団体連合会, 新潟県内の行政及び住民団体, 連合会内で動画収録, 2020.12.8.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策保健所支援チームの登録, 2020.7.22-
 - 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
 新潟市老人福祉センター横雲荘指定管理者申請者評価委員, 新潟市医療計画三分野合同会議委員, 新潟県国民保護協議会委員
 - 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
 全国保健師教育機関協議会の社員, 日本私立看護系大学協議会の正会員, 新潟県大学災害支援連携協議会メンバー, 新潟県看護系大学等実習連絡協議会会長 (2020年度), 全国パーキンソン病友の会新潟県支部会員, 日本ALS協会新潟県支部会員
- 8 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020-2023年度, 基盤C, 外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象

－，研究代表者

- 9 学内委員会活動 大学院委員会，大学院教育環境委員会，科研費対策委員会，研究奨励金委員会，教務委員会，安全衛生委員会（委員長）

氏名：貝瀬 友子

報告事項なし

氏名：小山 歌子

- 1 研究題目 高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築に関する研究，健康推進員等地区組織活動に関する研究，公衆衛生看護活動に関する研究
- 2 論文
 1. 小山歌子，若狭一美，渡部和子，和田直子，宇田優子．特別豪雪地帯・無医地区で高齢者の在宅看取りを可能にする条件－看取り家族の語りから－．新潟医療福祉学会誌，2021；21（2）アクセプト．
- 3 学会等研究発表
 1. 小山歌子，若狭一美，渡部和子，和田直子，宇田優子．高齢者の在宅看取りにおける医師・看護師の対応が家族に及ぼす影響－豪雪地帯・無医地区の看取り家族の語りから－．第9回日本公衆衛生看護学会学術集会，2021.1.9.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本公衆衛生学会，日本公衆衛生看護学会，老年社会科学会，日本健康学会，新潟医療福祉学会
- 5 社会活動
 - 1) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟市介護保険事業等運営委員会委員（副委員長），聖籠町健康づくり推進協議会（委員長）
 - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟県看護協会訪問看護推進協議会（副委員長）
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2017年度，科学研究費補助金基盤研究（C），豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築，研究代表者（継続）
 2. 2016年度，科学研究費補助金基盤研究（C），子宮頸がん予防に関する母親の意思決定を支援するサポート・プログラムの構築，研究分担者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 長岡崇徳大学，公衆衛生看護学概論，2020.10.1-2021.3.31.長岡崇徳大学，チーム医療論，2020.7.13.

氏名：波多 幸江

報告事項なし

氏名：渡邊 千春

- 1 研究題目 がんサバイバー，生活調整
- 2 学会等研究発表
 1. 大川梓沙，渡邊千春，積極的治療の適応ではないギアチェンジの段階にある進行がん患者の家族の思い，第20回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン），2020.10.31-11.15.
 2. 田村維規，渡邊千春，全身麻酔で手術を受ける患者への不安軽減の方法についての文献検討，第20回新潟医療福祉学会学術集会（オンライン），2020.10.31-11.15.
- 3 学会活動

- 1) 所属学会 日本がん看護学会（代議員，査読委員），日本緩和医療学会，日本看護研究学会，中部M-GTA研究会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. ELNEC-J看護師教育プログラム，講師・ファシリテーター，新潟県立がんセンター新潟病院（主催および会場名），2020.11.21-11.22.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度，基盤研究C，通院治療を継続する高齢独居がんサバイバーが持つ生活調整力の解明，研究代表者
- 6 学内委員会活動 新潟連携教育研究センター運営委員会，大学院入試広報委員会

氏名：下山 博子

- 1 研究題目 看護職のワーク・エンゲイジメントに関する研究，就労妊婦への看護ケアに関する研究
- 2 論文
 1. 下山博子，塚本康子．就労妊婦のマタニティハラスメントに関する看護職者のケアの実態と役割意識．母性衛生．2020；61（1）：123-132.
- 3 報告書
 1. 塚本康子，増田明美，下山博子，浅島宏美，小山歌子．基盤研究C，子宮頸がん予防に関する母親の意思決定を支援するサポート・プログラムの構築，研究成果報告書，2016-2019，研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. 塚本康子，下山博子，佐藤郁美．親子で学ぶ「いのちとからだセミナー」の効果「がん教育」につなげる健康教育プログラム．第61回日本母性衛生学会学術集会（静岡・WEB開催），2020.10.9-10.10.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本助産学会，日本母性衛生学会，日本母性看護学会，日本看護科学学会，日本看護学教育学会，日本家族看護学会，日本健康教育学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 新潟医療福祉学会誌，査読
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度，科研基盤研究（C），助産師のワーク・エンゲイジメントを基盤にした妊娠中期中絶ケア教育モデルの開発，研究代表者
- 7 学内委員会活動 教務委員会，アクアヘルス推進プロジェクト研究センター

氏名：杉本 洋

- 1 研究題目 当事者活動の検討，「健康」の社会的・文化人類学的検討，地域精神保健，ヘルスコミュニケーション，産業保健
- 2 論文
 1. 杉本洋．当事者活動にみる多様性と創造性－メンタルヘルスに関連したパフォーマンス活動からの検討．日本保健医療行動科学会雑誌．2021；35(2)：48-56.
 2. 杉本洋．「むきあう」なかで創造される「健康」．共創学会第4回年次大会予稿集．2020：9-12.
- 3 学会等研究発表
 1. 杉本洋．当事者によるパフォーマンス活動から考える公衆衛生施策への提言－ヘルスプロモーション，オープンダイアログ，ハームリダクションといった流れから．日本文化人類学会第54回研究大会（オンライン開催），2020.5.30.

2. 杉本洋. 当事者活動における苦悩のマネジメント－運営側の視点に着目して. ラウンドテーブルディスカッション, 杉本洋 (企画), 五十嵐紀子 (話題提供), 原口彩子 (話題提供), 佐藤裕紀 (話題提供). 第46回日本保健医療社会学会大会 (オンライン開催), 2020.9.6.
 3. 五十嵐紀子, 杉本洋, 原口彩子, 佐藤裕紀. 当事者活動から見る支援の在り方－核となる対話の力. 第12回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (オンライン開催), 2020.9.26-9.27.
 4. Sugimoto H. The culture in performance groups related to mental illness. Transcultural Nursing Society Conference in Japan 2020 (Online). 2020.7.12.
 5. Sugimoto H. Diversity and process in performance activities related to mental illness. 9th International Health Humanities Conference (Online). 2020.10.23-11.25.
 6. Sugimoto H. Toward health anthropology: Consideration from the theory of health and practices of performance activities related to mental illness. 9th International Health Humanities Conference (Online). 2020.10.23-11.25.
 7. 杉本洋. 当事者活動における共感の生成プロセス. 第26回日本精神保健社会学会学術大会 (オンライン開催), 2020.11.23.
 8. Wada N, Sugimoto H. Decision-making by mothers using a compatible support system of raising children and work. 9th International Health Humanities Conference (Online). 2020.10.23-11.25.
 9. 和田直子, 杉本洋. 子育てと仕事の両立支援の現状と支援を行う産業看護職に求められる資質能力. 第20回新潟医療福祉学会 (オンライン開催), 2020.10.31-11.5.
 10. 杉本洋. 「むきあう」なかで創造される「健康」(再掲). 第3回共創学会年次大会 (オンライン開催), 2020.12.5.
 11. 和田直子, 杉本洋. 1970年代後半から1980年代に子育てと仕事を両立してきた母親の実践の特徴. 第13回文化看護学会 (オンライン開催), 2021.3.13-3.18.
 12. 杉本洋. 多組織が関係する当事者活動を通じた文化生成. 第13回文化看護学会 (オンライン開催), 2021.3.13-3.18.
- 4 学会活動
- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本保健医療行動科学学会, 日本精神保健社会学会, 共創学会, 日本文化人類学会, 日本保健医療社会学会, 日本健康教育学会, 文化看護学会, 日本ヘルスプロモーション学会, アートミーツケア学会, 日本仏教看護・ビハーラ学会
- 5 社会活動
- 1) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
新潟県看護協会新潟東支部役員 (保健師職能代表者)
- 6 学内委員会活動 FD委員会 (副委員長), 入試委員会

氏名：手島 美子

- 1 研究題目 終末期がん患者・家族の看護に関する研究, がん看護に携わる看護師に関する研究, 看護師の傾聴に関する研究, 終末期がん患者のせん妄に対する看護師の認識に関する研究, 看護学生が感受するがん患者のspiritualityに関する研究
- 2 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟医療福祉大学同窓会連携研修会2020記念講演会, 緩和ケア臨床の発展と課題, 講師, 2020.12.26.

氏名：長谷川 隆雄

報告事項なし

氏名：山口 典子

- 1 研究題目 ART（生殖補助医療）における諸問題に関する研究，男女の妊孕性に関する研究，女性のライフステージ各期における諸問題に対する予防行動に関する研究，新型NIPTに関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 山口典子，中村康香，武石陽子，川尻舞衣子，跡上富美，吉沢豊予子．MD・TESE・TESEを受ける無精子症の男性のテストステロンとBMIの関連性．第65回日本生殖医学会学術講演会（東京＋オンライン），2020.12.3-12.4.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本看護科学学会，日本母性衛生学会，日本生殖医学会，日本女性医学学会，日本生殖心理学会，日本がん・生殖医療学会，日本母性看護学会，日本思春期学会，日本助産学会，日本生殖看護学会，日本不妊カウンセリング学会，日本遺伝看護学会，北日本看護学会，新潟母性衛生学会，新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 2020年度日本母性看護学会誌，査読委員
 2. 2020年度新潟医療福祉学会誌，和文誌編集委員
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 不妊カウンセラー相談活動，2020.4-2021.3.
 - 2) 職能団体（協会，士会等）の委員
新潟市助産師会（教育委員）2020.8-2021.3.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度，科研費基盤研究（C），男性の妊孕性に関するリテラシーと血中ホルモン測定による妊孕力の実態（研究代表者）
 2. 2017年度，科研費基盤研究（C），未婚男性における妊孕性の認識構造と「男性の妊孕性に対する自己認識尺度」の開発（研究代表者）
- 6 学内委員会活動 学術委員会，新潟医療福祉学会誌編集委員，新潟医療福祉学会評議員，地域連携推進センター運営委員会

氏名：石塚 敏子

- 1 研究題目 災害看護，シミュレーショントレーニング，看護学実習，反省的实践，看護技術教育
- 2 論文
 1. 石塚敏子，宇田優子，稲垣千文，三澤寿美．在宅パーキンソン病者の災害に対する備えとその経緯（2014-2019年度科学研究費基盤研究（C）），日本災害看護学会誌，2020；21（3）；30-41.
 2. 宇田優子，稲垣千文，石塚敏子，三澤寿美，瀧口徹．外来部門での災害の備え指導は可能か－神経内科外来への全国調査結果－（2019-2023年度科学研究費基盤研究（C））日本難病看護学会誌，2020；24（3）；261-269.
- 3 報告書
 1. 宇田優子，三澤寿美，石塚敏子，稲垣千文．日本学術振興会科学研究費助成事業－在宅療養者の災害対処行動とあきらめの気持ち・対処行動の理論モデル構築－．実績報告書．2020；1-11．（分担）
- 4 学会等研究発表
 1. 宇田優子，石塚敏子，稲垣千文．診療看護師の災害備え支援に関する実態－難病指定診療所の全国調査－，第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2020.10.
 2. 石塚敏子，宇田優子，水害を体験したパーキンソン病者の行動と備え－令和元年台風19号により被災した1事例－，日本難病看護学会学術集会（東京都），2020.11.
 3. 石塚敏子，山田葉子，今井雄二，長谷川隆雄，シミュレーショントレーニングの評価－実施グループと見

学グループの比較, 日本看護科学学会 (東京都), 2020.12.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本看護学教育学会, 日本看護研究学会, 日本看護技術学会, 日本災害看護学会, 日本看護シミュレーション学会, 日本難病看護学会, 日本看護学会, 新潟医療福祉学会

6 社会活動

- 1) 公開講座・講演会等
 1. 全国パーキンソン病友の会新潟県支部会員
- 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県看護系大学等災害支援連携協議会委員

7 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 1. 2020-2023年度科研費基盤研究 (C) 外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発 - 神経難病患者対象 -, 研究分担者

8 学内委員会活動 教育開発委員

氏名：稲垣 千文

- 1 研究題目 在宅看護に関する研究, 災害に関する研究
- 2 論文
 1. 石塚敏子, 宇田優子, 稲垣千文, 三澤寿美. 在宅パーキンソン病者の災害に対する備えとその経緯. 日本災害看護学会誌. 2020; 21 (3): 30-41.
- 3 報告書
 1. 宇田優子, 三澤寿美, 石塚敏子, 稲垣千文. 日本学術振興会科学研究費助成事業 - 在宅療養者の災害対応行動とあきらめの気持ち・対応行動の理論モデル構築 -. 実績報告書. 2020; 1-11, 研究分担者
- 4 学会等研究発表
 1. 宇田優子, 石塚敏子, 稲垣千文. 診療所看護師の災害の備え支援に関する実態 難病指定診療所の全国調査. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (オンライン), 2020.10.31-11.15.
 2. 宇田優子, 稲垣千文. 診療所看護職の地域連携・個別看護相談の実態 難病指定医療機関の全国調査. 第79回日本公衆衛生学会総会 (オンライン), 2020.10.20-10.22.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本緩和医療学会, 日本がん看護学会, 日本看護科学学会, 日本公衆衛生看護学会, 日本災害看護学会, 日本公衆衛生学会, 新潟慢性看護研究会
- 6 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県看護協会・訪問看護推進課, 訪問看護実態調査, 分析支援, 新潟市, 2020.11.3-2021.2.13. (全3回)
- 7 学内委員会活動 学生委員会, 交通安全委員会

氏名：紅林 佑介

報告事項なし

氏名：高橋 智美

- 1 研究題目 認知症高齢者の暴力リスクマネジメントに関する研究 (高齢者看護学, 看護管理学), 退院支援に関する研究 (看護管理学), QOLに関する研究 (看護管理学), 看護記録に関する研究 (看護管理学)
- 2 論文
 1. 高橋智美. 根拠があいまいな看護記録の見直しポイント~5つの視点の活用で苦手克服, 臨床看護記録,

2021 : 30(4) : 41-45.

3 報告書

1. 若い世代から広げる認知症理解の輪～地域包括ケアシステムを支える都市部での互助の強化を目指して～
Orange EducationNUHW活動報告書, 2021 (全頁数18頁. 編集者:高橋智美(責任者), 花矢鮎美, 田中和美, 渡辺綾子, 佐味秋佳(執筆者:高橋智美 1～7頁, 9～18頁, 花矢鮎美, 新保怜奈, 福田真純, 佐味秋佳).

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本看護管理学会, 日本看護診断学会, 日本家族看護学会, 日本老年看護学会, 日本認知症ケア学会, 医療の質と安全学会, 日本看護学会, 日本農村医学会, 国立医療学会, 新潟医療福祉学会, 看護質的統合合法(KJ法)研究会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 介護老人保健施設五頭の里“平成31年度未終了分看護研究指導, 指導, あがの市民病院, 看護師・介護士, 阿賀野市, 2020.4.1-2021.3.31.
2. JA豊栄病院“令和2年度看護研究”指導, 指導, JA豊栄病院, 看護師, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
3. 医療法人泰庸会新潟脳外科病院看護部記録研修会, 講師, 新潟脳外科病院, 看護師長・記録委員, 新潟市, 2020.10.28, 11.13, 2021.2.15, 3.15.
4. 新潟市立南浜中学校認知症サポーター養成講座, 講師, 新潟市立南浜中学校, 中学生・教職員, 新潟市, 2020.12.9.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市立南浜中学校認知症サポーター養成講座, 講師, 2020.11.20, 12.9.

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2019年度, 若手研究, EDVRA-S:認知症高齢者暴力リスクアセスメントスコアシート一簡易版の開発, 研究代表者

7 学内委員会活動 図書館・学習支援委員

氏名: 坪川 麻樹子

報告事項なし

氏名: 中澤 紀代子

- 1 研究題目 母性看護学・助産学に関する研究, 助産師教育に関する研究, シミュレーション教育に関する研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本母性衛生学会, 日本助産学会, 日本母性看護学会, 日本看護科学学会, 日本シミュレーション医療教育学会, 日本看護シミュレーションラーニング学会, 日本遺伝看護学会

3 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

1. 2017年度, 科学研究費助成金事業 基盤C, 助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発, 研究代表者
2. 2019年度, 科学研究費助成金事業 基盤B, 看護と工学の協働による次世代型助産実践能力育成プログラムの開発, 研究分担者

氏名: 和田 直子

- 1 研究題目 産業看護職の資質能力に関する研究, 子育てと仕事の両立支援に関する研究

2 学会等研究発表

1. 和田直子. 子育てと仕事を両立している母親の産業看護職に対する期待. 第79回日本公衆衛生学会総会, オンライン, 2020.10.20-10.22.
2. Naoko W, Sugimoto H. Decision-making by mothers using a compatible support system of raising children and work. IHHC-2020, 2020.10.23-10.26.
3. 和田直子, 杉本洋. 子育てと仕事の両立支援の現状と支援を行う産業看護職に求められる資質能力. 第20回新潟医療福祉学会, オンライン, 2020.10.31-11.15.
4. 穂苅美弥, 和田直子. 患児の付き添い家族が期待する看護と実際の看護援助に関する文献研究. 第20回新潟医療福祉学会, オンライン, 2020.10.31-11.15.
5. 和田直子, 杉本洋. 1970年代後半から1980年代に子育てと仕事を両立してきた母親の実践の特徴. 第13回文化看護学会, オンライン, 2021.3.13-3.27.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本産業衛生学会, 日本産業衛生学会産業看護部会, 日本産業看護学会, 日本公衆衛生学会, 日本公衆衛生看護学会, 新潟県産業看護部会, 新潟医療福祉学会, 文化看護学会

4 その他の教育研究活動

- 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度-科学研究費, 子育てと仕事の両立で母親が発揮する調整力の解明-新たな支援モデルの提唱に向けて, 代表
 2. 2017年度-科学研究費, 豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築, 分担
- 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟地域産業保健センター 登録保健師
 2. 日本産業看護学会 産業看護学体系化WGメンバー
- 5 学内委員会活動 健康管理センター運営委員会

氏名: 阿部 文絵

- 1 研究題目 サブサハラ以南における母子保健
- 2 学会等研究発表
 1. 阿部文絵, 古西勇. グローバルヘルス合同大会2020(大阪), 2020.11.1-11.3.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 国際医療保険学会, 日本渡航医学会
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. JICA新潟デスク, 出前講座講師, 新潟青陵大学, 2020.12.4.
 2. JICA新潟デスク, 出前講座講師, 加茂暁星高等学校, 2021.3.3.

氏名: 荒木 恵子

報告事項なし

氏名: 安藤 萌

- 1 研究題目 小児がん患児の終末期看護の研究(小児看護学), 摂食障害患者への関わりに関する研究(小児看護学)
- 2 学会等研究発表
 1. 安藤萌, 松井由美子, 坪川麻樹子. 小児の医療的ケアにおける訪問看護に関する文献検討. 日本小児看護学会第30回学術集会(オンライン), 2020.9.19-9.30.

3 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本小児看護学会, 日本医学看護学教育学会, 新潟小児看護研究会 (役員)

4 学内委員会活動 広報委員会

氏名：今井 雄二

1 研究題目 笑いに関する研究

2 学会等研究発表

1. 石塚敏子, 山田葉子, 土田千歳, 今井雄二, 長谷川隆雄: シミュレーショントレーニングの評価～実施グループと見学グループとの比較～, 看護科学学会, 2020.

氏名：佐々木 沙織

1 研究題目 家庭内暴力に対する認識の特徴と暴力防止プログラム開発に関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 日本公衆衛生看護学会 (正会員), 新潟医療福祉学会

氏名：山田 葉子

報告事項なし

氏名：岩野 千尋

1 研究題目 熟練訪問看護師の訪問対象者に対する「なんとなく変」の気づきと臨床判断, 豪雪災害時の訪問看護活動における課題

2 学会活動

1) 所属学会 日本看護科学学会, 日本在宅看護学会, 新潟医療福祉学会

氏名：佐藤 郁美

1 研究題目 周産期メンタルヘルス, 父親のうつ

2 学会等研究発表

1. 佐藤郁美, 塚本康子. 父親の周産期うつ傾向と夫婦関係満足度の関連. 第61回日本母性衛生学会総会・学術集会 (静岡オンライン), 2020.10.9-10.10.
2. 塚本康子, 下山博子, 佐藤郁美. 親子で学ぶ「いのちとからだのセミナー」の効果「がん教育」につなげる健康教育プログラム. 第61回日本母性衛生学会総会・学術集会 (静岡オンライン), 2020.10.9-10.10.
3. 笠間未緒, 塚本康子, 佐藤郁美, 若月亜希子. 化学療法を受けるがん患者の意思決定への看護支援に関する文献検討. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (新潟オンライン), 2020.10.31-11.15.

3 学会活動

1) 所属学会 日本助産学会, 日本周産期メンタルヘルス学会, 日本母性衛生学会, 日本看護科学学会, 新潟医療福祉学会

氏名：志田 佑佳子

1 研究題目 ウィメンズヘルスに関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本助産学会, 日本思春期学会

氏名：真保 加奈子

1 研究題目 20代女性が望む妊娠をする／しないための月経セルフマネジメント

2 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 東北次世代がんプロフェッショナル養成プラン，令和2年度がんプロセミナー&がん看護実践強化コース，グループワークサブファシリテーター，2021.3.6.

氏名：田中 和美

報告事項なし

氏名：土田 千歳

- 1 研究題目 ドミニカ共和国における COVID-19 感染拡大の研究，ドミニカ共和国の母子保健とリプロダクティブヘルスについての研究
- 2 学会等研究発表
 1. 土田千歳，狩俣美紀，古西勇，滝口徹. ドミニカ共和国32自治区における1COVID-19感染拡大の現状と感染者の致死率の要因分析. グローバルヘルス合同大会2020（オンライン），2020.11.1-11.3.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本国際保健医療学会，日本看護科学学会，新潟医療福祉学会

氏名：若月 亜希子

報告事項なし

6) 社会福祉学部

(1) 社会福祉学科

氏名：丸田 秋男

- 1 研究題目 自治体における地域福祉政策の検証, 児童相談所におけるソーシャルワーク機能の検証, 学校ソーシャルワークに関する実践的研究
- 2 著書
 1. 丸田秋男他; 医療情報科学研究所編. 現代社会と福祉. 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度. クエストionsバンク社会福祉士国家試験問題解説2021. 東京: メディックメディア; 2020: 82-119, 528-556.
 2. 丸田秋男他; 医療情報科学研究所編. 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度. 社会福祉士国家試験のためのレビューブック2021. 東京: メディックメディア; 2020: 848-926.
 3. 丸田秋男他. 新潟医療福祉大学社会福祉学部ブックレット第7号. 新潟: アサヒ印刷クリエイティブ; 2021.3.
- 3 報告書
 1. 丸田秋男他. 令和2年度新潟水俣病関連情報発信事業報告書, 2021.3, 全体統括
- 4 学会等研究発表
 1. 小池由佳, 丸田秋男他. 新潟市における子育てソーシャルサポートに関する実証的研究. 新潟市医師会地域医療研究助成発表会(新潟市), 2021.1.30.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本地域政策学会(理事), 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本学校ソーシャルワーク学会, 日本子ども家庭福祉学会, 新潟医療福祉学会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本ケアマネジメント学会, ケアマネジメント事典編集委員
 2. 日本学校ソーシャルワーク学会, 査読委員
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟ファミリー・サポート・センター会員研修, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 会員等, 新潟市, 2020.6.10, 10.6, 2021.2.16.
 2. 社会貢献事業・社会福祉士国家試験対策講座, 講師, 新潟県社会福祉士会, 施設職員等, 新潟市, 2020.7.25, 9.19.
 3. 新潟市若者支援者養成講座, 講師, 新潟市教育委員会, 市民, 新潟市, 2020.10.4.
 4. 新潟市子育て学習出前講座, 講師, 新潟市教育委員会, 保護者等, 新潟市, 2020.10.23(小林小学校), 2020.10.30(濁川小学校), 2020.11.6(亀田小学校).
 5. 新潟市医師会地域医療研究助成発表会, 座長, 新潟市医師会, 医師会員・一般市民等, 新潟市, 2021.1.30.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報, 市2期総合戦略 人口減対策さらに注力 1月策定へ初会合, 2020.4.2.
 - 3) 社会活動への参加協力
 1. 長岡市教育委員会, 少年サポートチーム専門員
 2. 新潟市教育委員会, スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー
 3. 新発田市教育委員会, スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー
 4. 新潟市教育委員会, 松浜小学校地域ふれあいスクール運営委員会委員
 5. 新潟市立南浜中学校, 学校評議員
 6. 社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会, 評議員
 7. 社会福祉法人新潟太陽福祉会, 理事

8. 社会福祉法人フレンドランド福祉会, 理事
 9. 社会福祉法人中越福祉会, 評議員
 10. 社会福祉法人愛宕福祉会, 評議員
 11. 社会福祉法人皆幸希福祉会, 評議員
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員
- 新潟県生涯学習審議会（会長）、新潟県水俣病施策推進審議会（委員長）、新潟県自立支援協議会（会長）、新潟県福祉サービス第三者評価事業推進委員会（委員長）、新潟県社会福祉審議会児童措置部（会長）、新潟県高齢者保健福祉推進協議会（会長）、新潟県介護給付適正化計画検討委員会（委員長）、新潟水俣病施策推進審議会専門委員会（座長）、新潟県小児医療あり方検討会（副座長）、新潟県魚沼基幹病院指定管理者評価・審査委員会（委員長）、新潟県燕労災病院指定管理者評価・審査委員会（委員長）、新潟県立環境と人間のふれあい館運営委員会（委員長）、新潟県コロニーにいがた白岩の里あり方検討委員会（委員長）、新潟市まち・ひと・しごと創生会議（座長）、新潟市社会福祉審議会（委員長）、新潟市地域福祉計画策定・推進委員会委員、新潟市再犯防止分科会（会長）、新潟市地域医療推進会議（副委員長）、新潟市在宅医療連携拠点整備運営委員会（委員長）、新潟市介護人材確保対策協議会（委員長）、新潟県社会福祉協議会第三者委員、新潟市ファミリー・サポート・センター運営委員会（委員長）、新潟市社会福祉協議会子育てなんでも相談センターきらきら運営委員会（委員長）、新潟市社会福祉協議会苦情解決委員会委員、新潟市医師会地域医療研究助成審査委員会（副委員長）、長岡市指定管理者選考委員会（委員長）、長岡市ながおかヘルシープラン21総合アドバイザー、三条市自立支援協議会（会長）、柏崎市地域福祉計画推進会議（アドバイザー）、柏崎市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画策定委員会（アドバイザー）、阿賀野市自立支援協議会（会長）、五泉市子ども・子育て会議（委員長）、新発田市いじめ等に関する再調査委員、新潟市北区高齢者ケア会議委員
- 7 学内委員会活動 総務会、危機管理委員会、将来計画機構、教員選考・評価委員会

氏名：渡邊 敏文

- 1 研究題目 地域保健福祉における住民参加、介護福祉士養成教育における倫理教育
- 2 著書
 1. 星紀恵子, 渡邊敏文, 山崎美夏. 響きあう介護. 新潟：ウイザップ；2020.
- 3 報告書
 1. 丸田秋男, 渡邊敏文, 寺田貴美代, 青木茂, 中井良育, 渡邊恵司, 佐久間由紀, 大坪美香. 分担, 2020年度新潟水俣病関連情報発信事業報告書（DVD）, 2021.3.
 2. 渡邊敏文, 佐久間由紀, 松永繁. 分担, 令和2年度北区区づくり事業大学生による家庭介護セミナー事業実施報告書, 2021.3.
- 4 学会等研究発表
 1. 青木茂, 丸田秋男, 渡邊敏文, 熊澤利和. 地域福祉計画策定の意義と今後の展望—日本地域政策学会地域福祉計画部会の実証的研究プロセス— 日本地域政策学会2020年度第19回全国研究大会, 個別発表, Web開催（日本地域政策学会ホームページ上）, 2020.6.27.
- 5 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会（新潟地方委員）, 日本地域政策学会（常任理事, 研究推進委員長, 学術専攻委員会副委員長, 甲信越・北陸支部事務局長）, 日本介護福祉教育学会, 日本介護福祉学会, 日本在宅ケア学会, 日本精神保健福祉学会, 日本保健医療社会学会, 日本保健福祉学会, 日本保健医療福祉連携教育学会, 日本ケアマネジマント学会, 日本社会福祉士会, 日本介護福祉士会, 日本精神保健福祉士協会, 日本介護支援専門員協会, 新潟医療福祉学会, 北新潟地域づくり学会（はまなす学会）（副会長）, 新潟地域福祉実践研究会（会長）
- 6 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. 社会福祉職員スタートアップ研修（Web開催，オンデマンド型），利用者本位のサービス提供を実現するために，講師，社会福祉法人新潟県社会福祉協議会，2020.12.14-2021.1.13.
 2. 第33回社会福祉士国家試験対策講座，高齢者に対する支援と介護保険制度，講師，新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会，新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2020.8.29.
 3. 福祉用具専門相談員指定講習会，介護保険制度等の考え方と仕組み，講師，公益社団法人新潟県介護福祉士会，新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2020.9.20.
 4. 新潟県視能訓練士会教育研修会（Web開催，オンデマンド型），医療職が知っておくべき地域保健福祉，講師，新潟県視能訓練士会，2020.10.24-10.31.
 5. 新型コロナウイルス感染症拡大下における地域福祉活動オンライン実践報告会（オンライン研修），新しい生活様式に基づいた地域のつながりを切らさない福祉活動の推進について，新潟県社会福祉協議会，2020.10.1.
 6. 福祉用具専門相談員指定講習会，介護保険制度等の考え方と仕組み，講師，公益社団法人新潟県介護福祉士会，新潟市・新潟ユニゾンプラザ，2020.10.10.
 7. 新潟水俣病ケアガイド研修，対象者の支援と個別性の理解，講師，新潟県福祉保健部生活衛生課，新潟県阿賀町・阿賀町公民館講堂，2020.10.12.
 8. 新潟水俣病ケアガイド研修，対象者の支援と個別性の理解，講師，新潟市保健衛生部保健衛生総務課，新潟市・新潟市総合保健医療センター講堂，2020.10.19.
 9. 介護職員初任者研修，「多様なサービスの理解」「介護職の仕事内容や働く現場の理解」「介護・福祉サービスの理解と医療との連携」，講師，国際調理師専門学校，新潟市，2020.10.31.
 10. 社会参画を目指すための講座，人生100年 仕事後の生き方を考える～仕事一辺倒からシフトする～，講師，新潟市市民生活部男女共同参画課，新潟市万代市民会館・大研修室，2020.11.29.
- 2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
1. 新聞，新潟日報，介護報酬 特例で上乗せ請求可 事業所，利用者戸惑い，2020.7.4.
 2. テレビ，NHKニュース（県内放送），介護報酬上乗せ請求，2020.7.6.
 3. 全国社会福祉協議会広報紙，View No.216（全国社会福祉協議会）新連載 第1回 わがまち活動強化方策紹介，2020.7.17.
 4. 新潟水俣病患者向け広報紙，通信，健康講座「普段の生活から健康に」，2020.7.14.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟市地域包括支援センターくずつか，くずつか圏域ケア会議「認知症高齢者が自分らしく暮らせるために，地域のできることにについて考えよう！」，アドバイザー，新潟市，2020.10.30.
 2. 新潟市地域包括支援センター上土地亀，上土地亀圏域ケア会議「認知症になっても安心して住める街」，アドバイザー，新潟市，2020.11.2.
 3. 新潟市地域包括支援センターくずつか・新潟市地域包括支援センター上土地亀，令和2年度サービス開発事例検討会，アドバイザー，新潟市，2020.11.13.
 4. 一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会（長岡市豊田・柿地区民生委員児童委員協議会），民児協アドバイザー派遣事業，講義「町内会等の連携の仕方について～民児協の視点から～」・活動強化方策の作成アドバイス，新潟県長岡市豊田コミュニティセンター，2020.11.27.
 5. 新潟市地域包括支援センター上土地亀，上土地亀圏域事例研究会，アドバイザー，新潟市，2021.2.24.
- 4) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
- 新潟市在宅医療・介護連携推進協議会会長，五泉市高齢者保健福祉市民会議委員，新潟県介護人材確保対策会議委員，新潟市介護人材確保対策協議会委員，新潟市北区南浜地区青少年育成協議会（理事），新潟市障がい支援区分認定等審査会審査委員，新潟市指定管理者第三者評価会議委員，新潟市北区支え合いのしくみづくり会議委員（協議体構成員），新潟市北区高齢者ケア会議構成委員，新潟市北区社会福祉協議会（監事），日本年金機構・新潟県地域年金事業運営調整会議（座長），日本ソーシャルワーク教育学校連盟関東甲信越ブロック新潟県委員・新潟県社会福祉現場実習等養成校連絡会会員，日本介護福祉士養成施設協会

関東信越ブロック協議会リカレント教育分科会新潟県代表, 日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会新潟県部会事務局・国家試験対策班委員, 新潟市共同募金委員会北区分会(監査人), 新潟県農福連携推進連絡会議幹事, 新潟県優良農業経営体等表彰事業選考委員会委員農福連携の部 審査委員, 新潟県福祉サービス運営適正化委員会委員(利用援助調査委員会委員, 苦情解決小委員会委員), 新潟県ひとり親家庭等支援計画策定委員会委員長, 新潟市立松浜小学校学校評議委員, 新潟県老人福祉施設協議会理事

7 その他の教育研究活動

1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容

- 2020年度, 新潟水俣病患者の介護予防プログラム作成に関する研究事業(共同研究), 研究代表者: 渡邊敏文, 研究分担者丸田秋男・佐久間由紀・大坪美香
- 2020年度, 新潟水俣病関連情報発信事業(共同研究), 研究代表者: 渡邊敏文, 研究分担者: 丸田秋男・寺田貴美代・青木茂・中井良育・渡邊恵司・佐久間由紀・大坪美香
- 2020年度, 大学生による家庭介護セミナー事業(共同研究), 研究代表者: 渡邊敏文, 研究分担者: 丸田秋男・佐久間由紀・松永繁
- 2020年度, 新潟県の人口減少問題を考える大学生集会事業(共同研究), 研究代表者: 丸田秋男, 研究分担者: 渡邊敏文・青木茂・渡邊豊
- 2020年度, 民児協アドバイザー派遣事業(共同研究), 研究代表者: 渡邊敏文, 研究分担者: 丸田秋男・佐藤洋・青木茂・渡邊豊・中井良育
- 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会業務, 研究代表者: 丸田秋男, 研究分担者: 渡邊敏文・青柳親房・鈴木昭・河野聖夫・佐藤洋・青木茂・渡邊豊・中井良育
- 阿賀野川流域健康教室委託事業, 研究代表者: 丸田秋男, 研究分担者: 渡邊敏文・佐久間由紀・大坪美香

2) 学外兼務講師等

- 事業創造大学院大学事業創造研究科事業創造専攻, 非常勤講師, 福祉ビジネス特論, 2020.10-2021.3.
- 新潟県立大学人間生活学部こども学科(社会福祉のニーズと政策), 2020.4-9.

8 学内委員会活動 大学院委員会, 地域連携推進センター運営委員会(委員長, センター長), SHAINプロジェクト

氏名: 青柳 親房

1 研究題目 高齢者介護における地域包括ケアシステム推進等の事例研究, 年金を中心とする社会保障政策の総合的展開に関する研究

2 学会活動

- 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本年金学会, 日本介護経営学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

- 立命館大学大学院特殊講義, 介護経営1 社会保障政策, 講師, 大阪市(zoom対応), 2020.4.11.
- 新潟シニア・カレッジ講演, 生きがいさがしと地域づくり, 講師, 新潟県社会福祉協議会(zoom対応), 2020.9.15, 9.16.

2) 社会活動への参加協力

- 社会福祉法人太陽の里, 理事, 三重県松阪市
- 社会福祉法人青山里会, 評議員, 三重県四日市市

3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

全国健康保険協会新潟支部評議員(議長), 新潟県地域包括ケアシステム推進会議委員(議長), 新潟市北区地域福祉計画・地域福祉活動推進委員(議長)

4 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 拓殖大学大学院地方政治行政研究科, 社会保障政策論, 2020.4-9.
2. 拓殖大学政経学部・商学部, 高齢化社会と福祉, 2020.10-2021.3.

氏名：河野 聖夫

- 1 研究題目 対人援助スーパービジョン, スーパービジョン実践者(指導者)の育成プログラム, 対人援助における臨床像の形成と言語化の枠組み(スーパービジョンと臨床像), 医療ソーシャルワーカーのキャリア形成教育
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本ケアマネジメント学会, 日本医療社会事業学会(日本医療社会福祉協会), 大正大学社会福祉学会, 山梨社会福祉実践学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 社会医療法人加納岩総合病院医療福祉相談課, 課内研修スーパービジョン, 山梨市, 2020.7.10, 7.30, 8.21, 8.28, 11.11.
 2. 社会福祉士受験対策講座, 相談援助の基盤と専門職, 講義, 講師, 新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業, 社会福祉士国家試験受験予定者等, 新潟市(オンライン), 2020.7.25.
 3. 相談援助職者養成一般研修, 地域貢献事業・講師, 企画・指導, 小布施町地域包括支援センター, 役場職員, 介護支援専門員, 地域包括支援センター職員, 町内福祉専門職等, 小布施町, 2020.7.31, 10.29.
 4. 長野県キャリア形成訪問指導事業(特定非営利活動法人ろっきーず受託事業), 講師, 長野市地域包括支援センター篠ノ井総合病院, 地域包括支援センター職員, 介護支援専門員, 長野市(オンライン), 2020.8.11, 9.1.
 5. ケアマネジメント研修会(飯綱町地域包括支援センター), 事例検討・事例演習, 講師, 飯綱町, 2020.8.29, 12.18.
 6. えひめKUMAの会グループスーパービジョン, 講師, 久万高原町(オンライン), 2020.9.13.
 7. 須坂市介護支援専門員研修会, スーパービジョン研修, 講義・事例演習, 講師, 須坂市地域包括支援センター地域支援係, 地域包括支援センター職員, 介護支援専門員, 須坂市(オンライン), 2020.10.29, 12.15.
 8. 社会福祉士受験対策講座, 相談援助の理論と方法, 講義, 講師, 新潟医療福祉大学・敬和学園大学・新潟県社会福祉士会新潟県地域貢献事業, 社会福祉士国家試験受験予定者等, 新潟市(オンライン), 2020.10.10.
 9. 対人援助技術勉強会, フォローアップ, 講師, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 協会員受講修了者, 新潟市, 2020.10.30.
 10. 介護老人保健施設支援相談員研修, ソーシャルワークの新たな展開～テレワークとオンライン面接, 講義・演習, 講師, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 支援相談員, 新潟市(オンライン), 2020.11.13.
 11. (株)はあとふるあたご職場研修, スーパービジョン・事例演習, スーパーバイザー, はあとふるあたご人事部, 新潟市(オンライン), 2020.11.16, 2021.3.16.
 12. 新潟市地域包括支援センター阿賀北(新潟市北区)困難事例検討会, 何かひっかかりのある事例検討, 事例検討, 講師・助言者, 地域包括支援センター職員, 介護支援専門員, 新潟市, 2020.12.4.
 13. 医療ソーシャルワーカー新人研修/スーパービジョン研修, 講義・グループスーパービジョン, 講師・スーパーバイザー, 新潟県医療ソーシャルワーカー協会, 医療ソーシャルワーカー, 新潟市, 2020.12.5, 12.6.
 14. 千葉県主任介護支援専門員研修, 対人援助者監督指導, 講義・演習, 講師, 千葉県介護支援専門員協

議会, 千葉市 (オンライン), 2020.12.13, 12.14, 2021.1.23, 1.26.

15. 千葉県介護支援専門員協議会, 主任介護支援専門員研修ファシリテーター講習, 指導者, 千葉市 (オンライン), 2020.1.9.

16. 山梨県医療社会事業協会中堅者研修, ソーシャルワーカーの人材育成システムを学ぶ, 講義, 講師, 協会員, 医療ソーシャルワーカー, 甲府市 (オンライン), 2021.2.13.

2) 社会活動への参加協力

1. スーパービジョン実践研究会, スーパーバイザー養成講座・伝承, 指導者, 新潟市, 2020.4-2021.3.

2. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会, 司会者, 2020.8-2021.3.

3. 特定非営利活動法人ろっきーず, 統括講師・運営顧問, オンライン, 2020.4-2021.3.

4. 小布施町地域包括支援センター, スーパービジョン, スーパーバイザー, 小布施町, 2020.4-2021.3.

5. 新潟県医療ソーシャルワーカー協会 (スーパービジョンの会 season4), スーパービジョン研究会, 指導者, 新潟市, 2020.4-2021.3.

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟市北区, 豊栄さわやか老人福祉センター及び北区豊栄健康センター指定管理者申請者評価会議 (座長)

4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員

新潟県医療ソーシャルワーカー協会研修部会 (アドバイザー), 非営利活動法人ろっきーず (長野県認定) (理事)

4 学内委員会活動 人権委員会 (委員長), 個人情報保護委員会, 大学院FD委員会

氏名: 佐藤 洋

1 研究題目 市町村保健師が行う子ども虐待事例の支援プロセスに関する研究, ひきこもりの家族支援に関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 日本子ども虐待防止学会 (会員), 中部M-GTA研究会 (会員)

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2020年度社会福祉士国家試験受験対策講座, 障害者に対する支援と障害者自立支援制度, 講師, 新潟県社会福祉協議会, 受講申込者, Web開催, 2020.7.25.

2. 新潟市若者支援者養成講座, 講座No.3, 自殺予防について, 講師, 新潟市教育委員会, 市民, 新潟市万代市民会館, 2020.10.3.

3. 令和2年度新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会, 司会, 新潟市 (委託事業), 介護事業に従事する専門職等, 各区役所等, 2020.10.1-2021.3.31.

4. 刈羽村民生委員児童委員協議会定例会, 刈羽村民児協活動強化方策の作成について, 講師, 新潟県民生委員児童委員協議会, 民生委員児童委員, 刈羽村役場, 2021.1.22.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟県子どもの貧困対策推進計画検討委員会 (委員), 柏崎市障害者福祉推進会議 (障害者・障害福祉・障害児福祉各計画策定アドバイザー)

4 学内委員会活動 教務委員会

氏名: 鈴木 昭

1 研究題目 子ども虐待防止に関する研究, 障害者福祉に関する研究, ソーシャルワークに関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本子ども虐待防止学会, 日本社会福祉学会, 日本地域政策学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県社会福祉協議会 シニアカレッジ, 生きがい探しと地域づくり ～自分をいかし 共生社会をめざす～ 長岡会場 2020.8.18. 上越会場 2020.8.17.
2. 令和2年度 新潟県社会福祉研修センター スーパービジョン研修 I スーパービジョンの基礎的理解 II スーパービジョンの実践と展開 2020.10. オンライン
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等委員
新潟市社会福祉審議会委員 新潟市社会福祉審議会養護部会長
新潟市旧満日小学校プロポーザル提案選定委員会委員 2020年度
- 3) 学外兼務講師等
 1. 新潟リハビリテーション大学 社会保障論, 福祉財政論 2021年度後期

氏名：武井 恒美

- 1 研究題目 児童虐待防止における機関連携に関する研究, 障害児者の地域生活支援に関する研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 新潟県社会福祉士会, 日本地域政策学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 第33回社会福祉士国家試験受験対策講座（新たな福祉社会を担う社会福祉士の育成支援事業）講師「就労支援サービス」担当 新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会, 社会福祉士受験予定者 新潟ユニゾンプラザ 2020.8.29.
 2. 第33回社会福祉士国家試験受験対策講座（新たな福祉社会を担う社会福祉士の育成支援事業）講師「低所得者対策と生活保護制度」担当 新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会, 社会福祉士受験予定者 新潟ユニゾンプラザ 2020.10.10.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 社会福祉法人新潟県身体障害者団体連合会, 監事（2015.3-）
 2. NPO法人eばしょ結屋, 第三者委員（2017.4-）
 - 3) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民検討委員会会長, 上越市いじめ問題再調査委員会副会長, 聖籠町子ども・子育て会議会長, 柏崎市福祉有償運送協議会会長

氏名：寺田 貴美代

- 1 研究題目 外国人DV被害者とその子どもたちに対する包括的支援体制の構築
- 2 報告書
 1. 寺田貴美代, 研究基盤（C）, 多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発, 2020年度科学研究費補助金研究成果報告書, 2020.4.1-2021.3.31.（研究代表者）
 2. 寺田貴美代, 研究基盤（C）, DV被害を受けた外国人女性とその子どもへの多文化ソーシャルワーク実践モデルの構築, 2016年度～2019年度 科学研究費補助金研究成果報告書, 2016.4.1-2020.3.31.（研究代表者）
- 3 学会等研究発表
 1. 寺田貴美代, 外国人DV被害者とその子どもたちに対する包括的支援体制の構築. 新潟医療福祉学会・第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市・日本）, 2020.10.30-11.15.
 2. 田村康平, 寺田貴美代, DV加害者に対する更生プログラムの現状と課題. 新潟医療福祉学会・第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市・日本）, 2020.10.30-11.15.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会学会, 日本社会福祉学会, 福祉社会学会, 日本地域福祉学会
 - 2) 学術集会の主催

1. 福祉社会学会第18回大会, 大会準備, オンライン, 2020.11.15.
- 3) 学会等の役職
 - 福祉社会学会理事
- 4) 学会等でのその他の活動
 1. 日本社会福祉学会, 査読委員
- 5 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県オンライン人権講演会, すべての人にやさしい社会へ, 参加協力, 新潟県福祉保健課, オンライン, 2021.1.23.
 2. 新潟水俣病情報発信事業, 「4大学合同フォーラム」, 参加協力, 新潟市, 2020.3.6.
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金(科学研究費等)の受入研究費の内容
 1. 2020年度, 基盤C, 外国人DV被害者とその子どもたちに対する包括的支援体制の構築, 研究代表者
 2. 2020年度, 新潟県新潟水俣病関連情報発信事業, 研究分担者
- 7 学内委員会活動 入試委員会, 研究奨励金委員会, 大学院教育研究環境委員会, アドミッション・オフィス

氏名：藤沢 直子

- 1 研究題目 児童虐待防止に関する研究, 地域における子ども家庭支援に関する研究(児童家庭福祉学)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本子ども虐待防止学会, 日本地域政策学会, 新潟医療福祉学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 新人・後輩職員の育成・指導研修, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 福祉関係職員, 新潟市, 2020.9.16.
 2. 社会福祉施設職員「接遇」研修(リーダーコース), 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 福祉関係職員, 新潟市, 2020.9.17.
 3. 職員研修「児童虐待について知る」, 講師, 社会福祉法人弘法児童福祉会幼保連携型こやす認定こども園, 保育教諭等, 新潟市, 2020.11.21.
 4. 心配ごと相談所相談員研修会「相談員の心構え よく聴くということ」, 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会, 新潟市中心心配ごと相談所相談員, 新潟市, 2021.2.17.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 社会福祉法人新潟いのちの電話, 評議員・苦情解決第三者委員・電話相談継続研修講師・インターネット相談スーパーバイザー, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 社会福祉法人新潟市社会福祉協議会, ころろといのちのホットラインフォローアップ研修講師, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 3. 社会福祉法人新潟太陽福祉会, 評議員・苦情解決第三者委員, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員

新潟少年鑑別所視察委員会(委員), 新潟県配偶者暴力防止・被害者支援基本計画改定検討会議(委員長), 新潟市北区自治協議会(委員), 新潟市立豊栄図書館協議会(委員), 新潟市豊栄地区公民館運営審議会(委員), 聖籠町いじめ防止等対策委員会(委員)
 - 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員

新潟県臨床心理士会(監事)
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 新潟大学, 関係行政論, 2020.10.1-2021.3.31.

氏名：横山 豊治

- 1 研究題目 社会福祉専門職の力量形成と生涯研修に関する研究, ソーシャルワーカー像の明確化と伝達可能性に関する研究
- 2 著書
 1. 横山豊治; 日本医療ソーシャルワーク研究会編. 第I章 社会保障のしくみ. 2020年度版医療福祉総合ガイドブック. 東京: 医学書院; 2020: 6-8.
 2. 横山豊治; 宮崎正宇・大月和彦・櫻井慶一編. 第2章 社会的養護の国際的発展とわが国の特徴. 新保育ライブラリ 社会的養護I. 京都: 北大路書房; 2020: 19-33.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会福祉学会, 日本ソーシャルワーク学会, 新潟医療福祉学会, 日本社会福祉教育学会(査読委員), 日本医療ソーシャルワーク学会(研究委員), M-GTA研究会(監事), にいがた生活保障研究会(共同代表)
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 2020年度社会福祉士受験対策講座, 現代社会と福祉, 講師, 新潟県社会福祉士会・新潟医療福祉大学他, 社会福祉士資格取得を目指す市民, 新潟市, 2020.8.29.
 2. 2020年度社会福祉士実習指導者講習会, 実習指導概論, 講師・運営委員, 新潟県社会福祉士会, 実習指導者になることを希望する社会福祉士, 三条市, 2021.2.13-2.14.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 社会福祉法人桜井の里福祉会, 理事. 弥彦村, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 社会福祉法人自立生活福祉会, 評議員, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 3. 社会福祉法人健悠会 苦情解決第三者委員. 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 - 3) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
新潟県社会福祉協議会(研修事業運営委員会委員長)
 - 4) 職能団体(協会, 士会等)の委員
公益社団法人新潟県社会福祉士会(人材育成・スーパービジョン支援班運営委員)
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 国際こども・福祉カレッジ 社会福祉学科非常勤講師(社会保障) 2020.4.1-8.31.
 2. 新潟県消防学校 第30期・第31期救急科 非常勤講師(わが国の社会保障・社会福祉), 2020.11.13, 2021.2.26.
- 6 学内委員会活動 大学院委員会, 国家試験・資格試験対策委員会, 研究奨励金委員会

氏名：青木 茂

- 1 研究題目 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定プロセスに関する研究, 社会福祉協議会の組織・運営に関する研究, 民生委員・児童委員活動に関する研究, コミュニティソーシャルワーク機能に関する研究, 福祉教育・ボランティア学習に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 青木茂, 丸田秋男, 渡邊敏文, 熊澤利和. 地域福祉計画策定の意義と今後の展開～日本地域政策学会地域福祉計画部会の実証的研究プロセス～, 日本地域政策学会第19回全国研究大会(Web開催), 2020.6.27-6.28.
 2. 青木茂, 住民主体による支え合いの仕組みづくりに関する一考察～新潟市北区太田ちいきコミュニティ協議会の実践事例から～, 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市北区・紙上開催), 2020.10.31-11.15.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会福祉学会, 日本地域福祉学会, 日本地域政策学会(北陸・甲信越支部事務局次長), 日

本福祉教育・ボランティア学習学会，日本福祉文化学会，新潟医療福祉学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟市地域包括支援センター新任職員研修，地域包括支援センターに求められる役割と機能，講師，新潟市社会福祉協議会，地域包括支援センター職員，新潟市中央区（オンデマンド），2020.6.22.
2. 新潟市西区いきいき支え合いプラン研修会，地域福祉計画・地域福祉活動計画について，講師，新潟市西区社会福祉協議会，西区住民，新潟市西区，2020.7.20.
3. 新潟市民生委員児童委員協議会連合会会長・副会長研修会，民生委員児童委員活動を円滑に進めるために，講師，新潟市民生委員児童委員協議会連合会，民生委員・児童委員，新潟市中央区，2020.9.25.
4. 新潟県民生委員児童委員協議会会長研修，新しい生活様式を踏まえた民生委員・児童委員活動と活動強化方策，講師，新潟県民生委員児童委員協議会，民生委員・児童委員，2020.10.16.（長岡市），2020.11.13.（新潟市）
5. 新たな福祉社会を担う社会福祉士の養成支援事業，地域福祉の理論と方法，講師，新潟県社会福祉士会，社会福祉士試験受験予定者，新潟市中央区，2020.11.1.
6. 新潟市西区支え合いの仕組みづくり研修会，パネルディスカッション，コーディネーター，新潟市西区社会福祉協議会，西区住民，新潟市西区，2020.11.14.
7. 令和2年度福祉教育推進セミナー，福祉教育とは，講師・グループワークファシリテーター，新潟県社会福祉協議会，新潟県内社会福祉協議会職員，2020.11.20.（基礎コース：長岡市），2020.11.27.（実践コース：新潟市）
8. 小針小学校区コミュニティ協議会自治会長研修，地域がめざす支えあい活動，講師・パネリスト，新潟市小針小学校コミュニティ協議会，自治会長，2020.12.13.
9. 南区支え合いの仕組みづくりフォーラム，コロナ禍における福祉活動のあり方，講師・コーディネーター，新潟市南区社会福祉協議会，南区住民，新潟市南区，2021.1.23.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市東区社会福祉協議会，理事，新潟市東区，2019.6.1-2021.5.31.
2. 聖籠町社会福祉協議会第2次地域福祉活動計画策定委員会，委員長，北蒲原郡聖籠町，2020.3.1-2021.6.31.
3. 聖籠町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会，委員長，北蒲原郡聖籠町，2017.2.20-現在
4. 聖籠町社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会，委員長，北蒲原郡聖籠町，2018.7.1-現在
5. 田上町社会福祉協議会第2次地域福祉活動計画策定委員会，委員長，南蒲原郡田上町，2020.8.28-2021.3.31.
6. 田上町社会福祉協議会地域福祉推進部会・介護福祉部会，アドバイザー，南蒲原郡田上町，2018.6.1-現在
7. 地域包括支援センター上土地亀サービス開発部会，アドバイザー，新潟市北区，2012.7.1-現在

3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市南区高齢者ケア会議（委員長），田上町生活支援体制整備推進協議体（委員長）

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度，新潟県民生委員児童委員協議会アドバイザー派遣事業，丸田秋男・渡邊敏文・青木茂 ほか
2. 2020年度，新潟県新潟地域振興局「新潟県の人口減少を考える新潟医療福祉大学生集会」，丸田秋男・渡邊敏文・青木茂・渡邊豊
3. 2020年度，新潟市地域包括ケア推進課「新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会」，丸田秋男・渡邊敏文・青木茂 ほか

6 学内委員会活動 倫理委員会，学術委員会，就職センター運営委員会

氏名：五十嵐 紀子

- 1 研究題目 介護職のメディア表象に関する研究，ヘルスコミュニケーション教育における病の語り，当事者活動の組織マネジメントに関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 杉本洋，五十嵐紀子，原口彩子，佐藤裕紀. 当事者活動における苦悩のマネジメント：運営側の視点に着目して. 第46回日本保健医療社会学会大会，オンライン開催，2020.9.5-9.6.
 2. 石橋嘉一，中川孝子，三上ふみ子，豊増桂子，五十嵐紀子，川本弥希. コミュニケーション教育の長期的学習成果の質的研究：看護学実習後のインタビュー調査，日本教育工学会2020年秋季全国大会，オンライン開催，2021.9.12-9.13.
 3. 五十嵐紀子，杉本洋，原口彩子，佐藤裕紀. 当事者活動から見る支援の在り方：核となる対話の力. 第12回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会，オンライン開催，2020.9.26-9.27.
 4. 曾澤まりえ，関久美子，小林葉子，五十嵐紀子，川内規会. コミュニケーション能力をめぐって. 日本コミュニケーション学会2020年度東北支部定例研究会，オンライン開催，2021.3.14. 【シンポジウム】
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本コミュニケーション学会（副東北支部長），日本ヘルスコミュニケーション学会（代議員），日本介護福祉教育学会，仏教看護・ビハラー学会，日本保健医療社会学会，Japan-US Communication Association，新潟医療福祉学会
 - 2) 学術集会の主催
 1. 日本コミュニケーション学会，第21回東北支部研究大会，運営委員，オンライン開催，2020.11.14.
- 4 社会活動
 - 1) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等
 1. テレビ，NST Newsタッチ，リレーフォーライフのオンライン開催の紹介，2020.9.22.
 2. 新潟の介護がよくわかる 介護施設・サービス・高齢者向け住宅総合ガイド 2020年版，介護専門家コラム：なりたいたい人になるために，2020.9.30.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟はっぴー乳ライフ，ピンクリボン委員，新潟市（オンライン），2020.10.18.
 2. 日本対がん協会，リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた副実行委員長，新潟市（オンライン），2020.9.21-9.22.
 3. 新潟市動物愛護協会，ねこ委員会委員，新潟市，年間を通じた活動
 - 3) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員
新潟市「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会」（委員長），新潟市環境審議会（委員），新潟市国民健康保険運営協議会（委員），新潟県乳がん検討委員会（企画委員）
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 学外兼務講師等
 1. 長岡崇徳大学，コミュニケーション論，2020.10.1-2021.3.31.
 2. 新潟食料農業大学，コミュニケーション論，2020.9.1-2021.3.31.
 3. 青森中央学院大学，対人コミュニケーション論，2020.12.18.
- 6 学内委員会活動 シティズンシップ教育実践研究センター（研究員）

氏名：スーマ マーク

報告事項なし

氏名：松本 京介

- 1 研究題目 夢の心理学的研究（臨床心理学），心理臨床における非言語的アプローチ（心理劇・音楽表現）の理論的研究（臨床心理学），喪の作業（臨床心理学），臨床心理的地域援助（臨床心理学）

2 学会活動

- 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 日本心理劇学会, 日本精神衛生学会, 日本質的心理学会, 新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. スーパービジョン研修, 対人援助を行うコーディネーターの資質向上のための個人スーパービジョン, 講師, 新潟市社会福祉協議会, 新潟市社会福祉協議会職員, 新潟ユニオンプラザ, 2020.6.18, 8.25, 10.8, 2021.1.28, 2.9, 3.18. (全6回)
2. 第33回社会福祉士国家試験対策講座, 心理学理論と心理的支援, 講師, 新潟医療福祉大学・新潟県社会福祉士会, 市民, 新潟ユニオンプラザ, 2020.11.1.
3. 精神保健福祉講座, ストレスの理解とその対処法, 講師, 燕市健康福祉部社会福祉課, 市民, 燕市中央公民館, 2020.11.14.
4. 新潟県児童厚生員等基礎研修会, 子どものこころの発達 (児童の発達理論), 講師, 新潟県児童館・児童クラブ連絡協議会, 児童厚生施設職員・放課後児童クラブ支援員等, 柏崎市文化会館アルフォーレマルチホール, 2021.3.11.

2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員

新潟市精神保健福祉審議会 (委員)

- 4 学内委員会活動 科研費対策委員会, 地域連携推進センター運営委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会, 大学院入試広報委員会

氏名: 渡邊 豊

- 1 研究題目 共に生きる地域社会づくりに関する研究, 社会福祉協議会に関する研究, 権利擁護事業に関する研究, 災害福祉に関する研究, 社会福祉法人の地域貢献に関する研究, ボランティア活動に関する研究

2 論文

1. 渡邊豊, 関矢秀幸. 特集 拝見! ブロック活動 北陸・沖縄ブロック編-新潟福祉文化を考える会 活動の過去と未来. 日本福祉文化学会『福祉文化研究』Vol30, 2021.3.31. 9-26.

3 学会等研究発表

1. 日本福祉文化学会全国大会沖縄大会研究報告②, 座長, 日本福祉文化学会, 2021.2.13.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本福祉文化学会 (総務委員), 日本地域福祉学会, 日本社会事業大学社会福祉学会, 新潟医療福祉学会,

2) 学会等でのその他の活動

1. 日本福祉文化学会, 全国大会沖縄大会, 実行委員, 沖縄県, 2021.2.27.

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 江南区ボランティア・市民活動センター運営委員会, 福祉教育とボランティア活動について, 講師, 新潟市江南区社会福祉協議会, ボランティア・市民活動団体等, 新潟市, 2020.9.17.
2. 江南区ボランティア研修会, アドバイザー, 新潟市江南区社会福祉協議会, ボランティア・市民活動団体等, 新潟市, 2021.3.11.
3. 多機関連携研修会, 多機関協働を新たな地域のカタチに~チームアプローチへのコツ~, 講師, 佐渡市社会福祉協議会, 福祉関係機関・団体, 佐渡市, 2020.10.9.
4. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会 (西蒲区), 司会, 地域包括支援センター, 新潟市, 2020.10.15, 12.14, 2021.2.17.
5. 長岡市寺泊地区民生委員児童委員協議会研修会, 災害時の対応 (要援護者, 高齢者, 自治会) について, 講師, 民生委員, 長岡市, 2020.10.26.

6. 長岡市寺泊地区民生委員児童委員協議会研修会, 寺泊地区民児協版活動強化方策の作成に向けて, 講師, 民生委員, 長岡市, 2020.12.2.
 7. 長岡市日越・大寺川地区民生委員児童委員協議会研修会, 不登校児(小学校)とその親との関わり方について, 講師, 民生委員, 長岡市, 2021.1.25.
 8. 長岡市日越・大寺川地区民生委員児童委員協議会研修会, 活動へのヒント, 講師, 民生委員, 長岡市, 2021.2.22.
 9. 村上市朝日地区民生委員児童委員協議会研修会, 朝日地区民児協版活動強化方策の作成について, 講師, 民生委員, 長岡市, 2020.12.16.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. 新潟県社会福祉士会「事務局だより」第3号「新潟県のコロナ感染症発生時の職員等応援体制作り団体説明会に参加しました」2020.9.30.
 2. 長岡市民生委員児童委員協議会「民児協だよりながおか」第35号「地区・委員会の活動紹介 寺泊地区」
- 3) 社会活動への参加協力
1. 日本福祉文化学会総会, 総務委員, 大阪府, 2020.11.28.
 2. 日本福祉文化学会理事会, 総務委員, 大阪府, 2021.3.13.
 3. 日本福祉文化学会新潟県支部事業推進会議, 総務委員, 長岡市, 2020.10.31.
 4. 日本社会福祉士会関東甲信越ブロック災害連携会議, 新潟県社会福祉士会理事, 千葉県, 2020.7.25, 11.4.
 5. 都道府県社会福祉士会災害担当者会議, 新潟県社会福祉士会理事, 千葉県, 2020.10.24.
 6. 新潟県社会福祉士会総会, 理事, 新潟市, 2020.6.13.
 7. 新潟県社会福祉士会理事会, 理事, 新潟市, 2020.5.15, 11.20, 2021.2.26.
 8. 新潟県社会福祉士会内部役員会, 理事, 新潟市, 2020.4.24, 10.23, 2021.2.5.
 9. 新潟県社会福祉士会総会時全体研修, 理事, 新潟市, 2020.6.13.
 10. 新潟県社会福祉士会新人研修, 理事, 新潟市, 2020.6.28.
 11. 新潟県社会福祉士会企画部災害支援班運営会議, 理事, 新潟市, 2020, 7.4, 12.6.
 12. 新潟県社会福祉士会研修の在り方に関する検討会, 理事, 新潟市, 2020.10.4.
 13. 新潟県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理連絡調整会議, 委員, 新潟市, 2020.5.14.
 14. 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会幹事会, 幹事, 新潟市, 2020.4.21.
 15. 新潟ボランティア連絡会役員会, 副会長, 新潟市, 2021.3.19.
 16. 新潟市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会, 委員, 新潟市, 2021.1.29, 3.19.
 17. 村上市社会福祉協議会法人後見運営委員会, 委員, 村上市, 2021.2.25.
 18. 苦情解決に係る懇談会, 苦情解決第三者委員, のぞみの家, 新発田市, 2021.3.3.
- 4) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の委員
- 新潟県社会福祉協議会(第三者委員), 新潟県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理連絡調整会議(委員), 新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会(幹事), 新潟市福祉有償運送運営協議会(委員), 新潟市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会(委員), 村上市社会福祉協議会法人後見運営委員会(委員)
- 5) 職能団体(協会, 士会等)の委員
- 新潟県社会福祉士会(理事), 新潟ボランティア連絡会(副会長)
- 6 学内委員会活動 入試委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会, 大学院入試・広報委員会

氏名：中井 良育

- 1 研究題目 医療・保健・福祉分野に従事する対人援助職の人材確保・定着策, 介護予防に対する効果的な支援のあり方
- 2 論文

1. 宮崎則男, 玉木尚子, 渡辺陽一, 中井良育, 本宮亨. 介護事業所の「魅力ある職場づくり」のための雇用管理改善への取り組み事例集 (令和2年度新潟労働局委託事業 介護分野における人材確保のための雇用管理改善推進事業). 2021年:1-20頁.
- 3 学会等研究発表
 1. 中井良育, 吉田輝美. 介護施設従事者等の職場ハラスメントが職場環境に与える影響に関する考察, 日本介護福祉学会大会 (Web開催), 2020.10.
 2. 丸田秋男, 渡邊敏文, 河野聖夫, 佐藤洋, 鈴木昭, 青木茂, 渡邊豊, 中井良育. 新潟市多職種合同介護予防ケアプラン検討会・中間報告 (新潟市), 新潟市, 2021.3.
- 4 学会活動
 - 1) 所属学会 日本社会福祉学会 (会員), 日本地域政策学会 (会員), 新潟医療福祉学会 (会員), 日本介護福祉士学会 (会員)
- 5 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 社会福祉士国家試験受験対策講座, 社会調査の基礎, 講師, 公益財団法人新潟社会福祉士会, 2019年度 (第32回) 社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2020.9.19.
 2. 社会福祉士国家試験受験対策講座, 社会理論と社会システム, 講師, 公益財団法人新潟社会福祉士会, 2019年度 (第32回) 社会福祉士国家試験受験予定者, 新潟ユニゾンプラザ, 2020.11.1.
 3. 民児協アドバイザー派遣事業, 8050問題を抱える家族への支援について, 講師, 一般社団法人新潟県民生委員児童委員協議会, 佐渡市役所羽生支所, 2020.11.20.
 4. 社会福祉施設職場研修担当職員研修, これからの福祉人材育成と推進方法等, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 新潟ユニゾンプラザ, 2020.11.24.
 5. 令和2年若手社協職員の集い, 「社会調査の概要, 意義, 留意点」・「Google Formsの活用方法とデータ集計」, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 2021.1.25.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 雑誌, 老施協 (公益財団法人全国老人福祉施設協議会), 連載 図解 福祉のかたち, 2020.9.15.
 - 3) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の委員
公益財団法人介護労働安定センター新潟支部・雇用管理改善企画委員
 - 4) 職能団体 (協会, 士会等) の委員
日本社会福祉士会 (会員)
- 6 学内委員会活動 広報委員会, 大学院教務拡大委員会

氏名：原口 彩子

- 1 研究題目 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 精神障害者の農業起業の可能性
- 2 学会等研究発表
 1. 五十嵐紀子, 佐藤裕紀, 杉本洋, 原口彩子. 当事者活動における苦悩のマネジメント—運営側の視点に着目して. 日本保健医療社会学会第46回大会 (大阪 (オンライン)・日本), 2020.9.5-9.6.全員が筆頭
 2. 五十嵐紀子, 杉本洋, 原口彩子, 佐藤裕紀. 当事者活動から見る支援の在り方:核となる対話の力. 第12回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会 (広島・日本), 2020.9.26-9.27.全員が筆頭
 3. 湯本文子, 原口彩子. 自分に似た雑草を語ることの自己理解に対する効果. 人間・植物関係学会2020年度オンライン研究発表会, 2021.2.20.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本心理臨床学会, 人間・植物関係学会, 新潟医療福祉学会, 日本保健医療社会学会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等

1. 市民講座（共同募金助成事業）、心を支えることとは、講師、傾聴サロン「にこっと」、新潟市北区、豊栄地区公民館、2020.9.19.
2. 市民講座（共同募金助成事業）、死を考えるひとの心の情景を学ぶ、講師、傾聴サロン「にこっと」、北区社会福祉協議会、北区健康福祉課、新潟市北区葛塚コミュニティ、2021.3.6、3.13.
- 2) TV出演、ラジオ出演、新聞掲載、一般雑誌掲載等
 1. 新潟日報、心支える「傾聴」学ぶ、2021.3.30.
- 3) 社会活動への参加協力
 1. 聖籠町子ども家庭相談ネットワーク会議、事例から学ぶ～生きづらさを抱えている児童・生徒への支援～、講師、新潟県聖籠町聖籠町役場、2021.2.22.
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2020年度、科研費基盤研究（C）、「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討、研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 発達クリニックぱすてる、臨床心理士、2020.4.1-2021.3.31.
- 6 学内委員会活動 教務委員会、図書館・学習支援委員会、大学院教務委員会、シティズンシップ教育実践研究センター（Citizenship education practical research center）

氏名：今井 理恵

- 1 研究題目 ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発（英語教育学）、応用言語学の新しい成果を活かす学校英語教育の研究（英語教育学および応用言語学）、内外の応用言語学研究で新しく提案される概念や枠組みを、日本語を母語とする学習者に対する学校英語教育においてどのように活用できるかを探る研究（英語教育学および第二言語習得理論）、日本人学習者のための批判的思考力測定テストの開発（外国語教育）
- 2 著書
 1. 飯野厚、田嶋美砂子、稲垣善律、今井理恵、大畑甲太、加藤淳、将司敬子、外山徹、藤井彰子、藤吉大介、和田俊彦、Brian Wistner. 文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 MY WAY English Communication I. 東京：三省堂；2021：1-174.（印刷中）
- 3 論文
 1. 今井理恵. 高校英語の授業におけるジャンル準拠リーディング指導の可能性：教科書に所収されたテキストのジャンルとテキストタイプの調査を通して. 現代社会文化研究（新潟大学大学院現代社会文化研究科）. 2021；72号：11-28.（原著論文）
 2. 峯島道夫、今井理恵. 批判的な読みの出来る学習者はできない学習者と何が違うのか. 中部地区英語教育学会紀要（中部地区英語教育学会）. 2021；50号：89-96.（原著論文）
 3. Mineshima M and Imai R. Development of a Critical Thinking Test: Wuth the Eight Elements of Thought as a Framework. Journal of International Studies and Regional Development (Association of International Studies and Regional Development). 2021; 12: 51-61.（原著論文）
- 4 学会等研究発表
 1. Mineshima M & Imai R. How to Make Evaluative Questions More Critical. Presentation. JALT 2020, 46th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials Exhibition. (Online conference), 2020.11.16-11.23. (Presentation) 【国際学会、筆頭】
 2. 今井理恵、松沢伸二、峯島道夫. ジャンルの目的に正対する発問課題の検討—高校英語におけるジャンル準拠リーディング指導のために—. 関東甲信越英語教育学会第44回オンライン研究大会（オンライン）, 2020.12.12-12.13.（口頭発表）
 3. 今井理恵. ジャンル準拠リーディング指導による授業改善—新学習指導要領を具現化する. 関東甲信越英

語教育学会春季研修会（オンライン），2021.3.20.【招待講演】

5 学会活動

- 1) 所属学会 中部英語教育学会，関東甲信越英語学会，全国英語教育学会，日本教科教育学会，The Japan Association for Language Teaching (JALT)，The Japan Association of College English Teachers (JACET)，英語教育研究連盟（全英連），新潟大学教育学部英語教育学会，Association of International Studies and Regional Development (AISRD)，Humanistic English Education Study Group (HEESG)，コミュニケーションティーチング研究会，新潟医療福祉学会

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度，科学研究費補助金基盤研究（C），ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発，研究代表（継続）
2. 2017年度，科学研究費補助金基盤研究（C），日本人英語学習者のための批判的思考力測定テストの開発，研究分担者（継続）
3. 2020年度，科学研究費補助金基盤研究（C），英語コミュニケーション能力と人間性を高める英語授業の活動・タスク・授業モデル開発，研究分担者（新規）

2) 学外兼務講師等

1. 新潟県立大学，教職実践演習特別講義，11.2，11.9.

7 学内委員会活動 国際交流専門委員会，AO入試室員

氏名：國兼 明嗣

1 研究題目 罪を犯した障害者・高齢者への効果的支援

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本地域政策学会，日本司法福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 公益社団法人新潟県社会福祉士会 社会貢献事業 新たな福祉社会を担う社会福祉士の育成支援事業 2020年度社会福祉士国家試験対策講座2020.10.10. 新潟ユニゾンプラザ
2. 出張講義 日本文理高校 2020.11.12.

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県社会福祉士会「生活支援班会議」，2020.5.16，5.30，11.29，2021.3.13.
2. 新潟県社会福祉士会生活支援班研修企画運営「with コロナ時代の生活支援を公的扶助から考える」，2020.6.27.
3. 新潟県社会福祉士会研修企画・実施「子どもを地域で守る仕組みづくりや制度や実践事例に関する講座」，2021.3.20.
4. 新潟県社会福祉士会「役員会議」，2020.4.14，4.24，6.13，8.28，10.23，12.20，2021.2.5.

3) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟県社会福祉士会（理事）

氏名：佐久間 由紀

1 研究題目 介護職員の人材確保，離職，定着に関する研究

2 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 新潟県社会福祉協議会「社会福祉職員スタートアップ研修」講師，新潟市，新潟ユニゾンプラザ（11

月Web開催)

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟市北区「大学生による家庭介護セミナー」運営, 新潟市北区豊栄健康センター2020.10.24, 老人憩の家阿賀浜荘2020.11, DVD作成
2. 新潟水俣病情報関連発信事業「健康教室, 4大学フォーラム, 聞き取り調査, 患者さん宅への訪問, 語り部口演, 現地学習代替プログラム, DVD作成」
3. 阿賀野川流域における健康教室委託事業「健康教室」, 準備運営, 2021.2.27五泉市, 3.7阿賀町, 3.14阿賀野市

氏名：渡邊 恵司

- 1 研究題目 精神科病院からの地域移行支援・地域定着支援に関する研究, ピアサポーターとの協働に関する研究
- 2 学会等研究発表
 1. 渡邊恵司, 精神科病院へのピアサポーターの介入効果－長期入院患者アンケートからの一考察－, 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市北区), 2020.10.31.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本地域政策学会, 日本病院・地域精神医学会, 日本精神障害者リハビリテーション学会, 日本精神保健福祉士協会, 新潟県精神保健福祉士協会
- 4 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会等
 1. 社会福祉職員スタートアップ研修, 「社会福祉のあゆみと社会福祉政策の動向－福祉従事者が大切にしなければいけないことの再考－」, 講師, 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会, 新潟市
 2. 第33回社会福祉士国家試験受験対策講座, 「福祉行財政と福祉計画」, 講師, 新潟医療福祉大学・公益社団法人新潟県社会福祉士会, 新潟市, 2020.9.19.
 3. 基幹研修Ⅱ, 「精神保健福祉士の専門性Ⅱ」, 新潟県精神保健福祉士協会, 新潟市, 2020.11.28.
 - 2) 社会活動への参加協力
 1. 新潟県水俣病情報発信事業, 聞き取り調査への事前研修会, 新潟県立環境と人間のふれあい館, 2020.2.25.
 2. 新潟県水俣病情報発信事業, 4大学フォーラム, オンライン開催, 2021.3.6.
 3. 新潟県水俣病情報発信事業, 新潟水俣病に関する聞き取り調査, オンライン開催, 2021.3.12.
 4. 2020年度新潟医療福祉大学と北区との意見交換会, 実行委員, 2021.3.
 5. NPO法人新潟市精神障害者自助グループココカラ, 理事, 新潟市
 - 3) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県精神保健福祉士協会(代議員)
- 5 学内委員会活動 地域連携推進センター運営委員会, 学生委員会, 交通安全委員会

氏名：荒川 大靖

- 1 研究題目 児童厚生員の質的向上に向けた研究(社会福祉), 児童期のトータルサポート体制の構築に関する研究(社会福祉)
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本地域政策学会, 日本ソーシャルワーク学会, 日本こども学会
- 3 社会活動
 - 1) 職能団体(協会, 士会等)の委員
新潟県社会福祉士会
- 4 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

学生ボランティアセンター，学内外連絡調整

5 学内委員会活動 教育開発委員会，教務委員会

氏名：大坪 美香

1 研究題目 高齢者福祉施設における地域支援に関する研究（社会福祉学），地域福祉政策に関する研究（社会福祉学）

2 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本地域政策学会，子ども家庭福祉学会

3 社会活動

1) 社会活動への参加協力

1. 新潟市保健衛生課総務課新潟水俣病健康福祉係，健康教室，下山コミュニティセンター，2020.10.30.
2. 新潟県阿賀野川流域健康教室受託事業，健康教室，五泉市総合会館中ホール，2021.2.27.
3. 新潟県，新潟市，4大学フォーラム，ZOOMによるオンライン開催及びライブビューイング，2021.3.6.
4. 新潟県阿賀野川流域健康教室受託事業，健康教室，津川総合福祉保健センター，2021.3.7.
5. 新潟県阿賀野川流域健康教室受託事業，健康教室，安田交流センター風とぴあ，2021.3.14.

4 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

1. 新潟市委託事業北区学習習慣支援プログラム，学習支援サポーター運営補助，新潟市北区，2020.4-2021.3.

5 学内委員会活動 学生委員，交通安全委員会

氏名：松永 繁

1 研究題目 介護福祉職の実践共同体をととした学習に関する研究

2 論文

1. 黒木豊域，中島たまみ，松永繁．職業教育現場における学生の学習スキル向上支援の取り組み ―学習スキル講座を効果的に用いて―．敬心・研究ジャーナル．2020;4(1):31-36.
2. 松永繁．介護過程におけるアセスメントに関する一考察 ―理論と手法の体系的整理の検討―．敬心・研究ジャーナル．2020;4(1):103-108.
3. 松永繁．介護福祉教育における多文化理解を目的とした授業の試み．日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌．2020;18(1):59-65.
4. 松永繁．社会福祉士及び介護福祉士国家試験における学習支援の検討．敬心・研究ジャーナル．2020;4(2):103-107.

3 学会等研究発表

1. 松永繁．介護福祉職の実践共同体を通じた変容的学習に関する研究．日本介護福祉学会．第28回 日本介護福祉学会（日本福祉大学）2020.10.
2. 松永繁．特別養護老人ホームで介護に従事する介護福祉職の協働するちからに関する調査研究．新潟医療福祉学会．第20回 新潟医療福祉学会学術集会（新潟医療福祉大学）2020.10.

4 学会活動

1) 所属学会 日本介護学会，日本介護福祉学会，日本介護福祉教育学会，日本社会福祉学会，日本ヒューマンケア・ネットワーク学会，新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 家庭介護セミナー，2020.10-11.

2. 葛塚中学校における授業, 2020.10.
- 2) 公的機関（官公庁等）の審議会, 委員会等の委員
東京都昭島市保健福祉センター運営協議会（委員）2020.8.
- 3) 職能団体（協会, 士会等）の委員
日本介護福祉士会, 東京都介護福祉士会（理事）, 新潟県介護福祉士会
- 6 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞, 学位取得, 資格取得
博士（社会福祉学）（2021.3）
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 日本社会事業大学通信教育科, 相談援助の理論と方法・社会福祉援助技術論 I, 2020.4-2021.3.
 2. 職業教育研究開発センター, 2020.4-2021.3.

氏名：山口 智

報告事項なし

氏名：山崎 美夏

- 1 研究題目 女性介護職の労働環境に関する研究, 介護福祉士養成教育, 介護福祉教育学
- 2 著書
 1. 星紀恵子, 渡邊敏文, 山崎美夏, 響きあう介護. 新潟：株式会社ウイザップ；2021.3.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本介護福祉学会, 日本生活支援学会, 日本介護福祉教育学会

7) 医療経営管理学部

(1) 医療情報管理学科

氏名：福島 正巳

報告事項なし

氏名：柴山 純一

1 研究題目 病院の経営診断・改善手法の研究，早期治療体制を目指した病院の部門別業務体制と経済性の評価，病院部門効率化方策の研究

2 著書

1. 加見谷将人，柴山純一，中田精三，宇佐美光司，粕田晴之，酒井順哉，松田和久，北野達也，小泉和夫，石黒克典．医療機器安全実践必携ガイド（第4版）医療概論編．東京：エム・イー振興協会；2020.

3 論文

1. Shibayama J, Takano K, Kinoshita N, Ishigami K, Takiguchi T, M.F. Rzyankina, A.B. Petrenko, T.A. Ilyenko, N.V. Voronina, A.L. Dorofeev, Z.M. Van, K.V. Zhmerenetsky, Current status and issues of medical demand in Japan, BULLETIN of public health and healthcare Russian Far East (e-journal). Vol.39, 2020 No.2: 2020.8 (査読あり)
2. Takano K, Kinoshita N, Ishigami K, Takiguchi T, Shibayama J, K.V. Zhmerenetsky, N.V. Voronina, M.F. Rzyankina, Yu.G. Kowalski, E.N. Sazonova, Yu.V. Yankovskaya, A.S. Sharov, T.B. Agievich, O.I. Markina, Z.M. Van, A.L. Dorofeev, Comparative study of life functions of older people and supply of them with essential micro and macro elements in separate regions of Japan and Russia, Far Eastern Medical Journal. 2021;2021(1)5-12, 2021.3 (査読あり)

4 学会等研究発表

1. Shibayama J, Matsui S, Ito H, Matsui Y, Takiguchi T. The Long-term Care Insurance system for the elderly in Japan, 2020 International Healthcare Conference, (Kaohsiung) 2020.11.
2. Matsui Y, Shibayama J, Murata N, Ito H, Yamaguchi S, Kuwabara K. Impressions and expectations of overseas students participating in the ipe seminar in Niigata University of health and welfare -from the free description of the seminar, 2020 International Healthcare Conference, (Kaohsiung) 2020.11.
3. Namizuka A, Awashima M, Takano K, Minagawa R, Maeta R, Inagaki C, Kobayashi F, Nishikawa K, Suzuki K, Kinoshita N, Moriwaki K, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Geographical epidemiological characteristics of changes in the incidence of covid-19 infections in 1,740 municipalities in Japan, I-st Far East International Medical Congress, (Khabarovsk) 2020.10.
4. 阿部薫，山本正治，柴山純一，瀧口徹，林維政．台湾・輔英科技大學との国際交流協定（MOU）締結式典出席報告，第20回新潟医療福祉学会学術集会，（新潟市）2020.10.

5 学会活動

- 1) 所属学会 日本手術医学会（評議員），日本医療機器学会，日本診療情報管理学会，日本医療・病院管理学会，日本医療情報学会，日本医療マネジメント学会，医療の質・安全学会，病院経営管理士会，新潟医療福祉学会

2) 学術集会の主催

第42回日本手術医学会総会 プログラム委員

- 6 学内委員会活動 総務会，将来計画機構，自己点検・評価委員会，教員選考・評価委員会，FD委員会，大学院FD委員会，就職センター運営委員会（10月～），図書館・学習支援委員会（10月～）

氏名：石上 和男

- 1 研究題目 保健・医療・福祉の政策評価（行政における政策，介護予防事業，特定健診・特定保健指導，が

2 論文

1. 土田直美, 波多野誠, 石上和男. 災害食JAS認証制度に対する企業の意識と考へ - 災害食関連企業へのアンケート調査から - . 日本災害食学会誌. 2020; 7(1): 1-8.
2. 石上和男, 高野晃輔, 皆川璃子, 遠藤和男, 佐藤純子, 金谷光子. 「実家の茶の間・紫竹」における参加者とのつながりの構造要因. 新潟市医師会報, 2021; 600号: 1-5.
3. Saito S, Huyen Thi Thanh Tran, Ruan Qi, Suzuki K, Takiguchi T, Ishigami K, Noto S, Ohde S, Takahashi O. Psychological impact of the state of emergency over COVID-19 for nonpermanent workers, a Nationwide followup study in Japan. BMC Public Health. 2021; 21: 334.
4. Kinoshita N, Namizuka A, Inagaki C, Takano K, Nishikawa K, Awashima M, Nagai T, Watarai Y, Tsuchida N, Hamano R, Sato T, Uda Y, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Verification of the geographical convenience of intensive care homes for the elderly in Niigata Prefecture from the viewpoint of the community-based integrated care system. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 19(2): 122-134.
5. Shibayama J, Takano K, Kinoshita N, Ishigami K, Takiguchi T, M.F. Rziankina, A.B. Petrenko, T.A. Plienko, N.B. Voronina, A.L. Drofeev, K.V. Zhemerrerenetsky. Спрос на медицинское обслуживание в Японии: текущая ситуация и проблемы 2020; Journal of Far East State Medical University.
6. 石上和男, 小林清吾, 深田孝宏, 荒川浩久. 座談会フッ化物洗口50年学校などの施設で行うフッ化物洗口を振り返り, 今後を語る. 歯界展望, 2020; 136(3): 607-615.

3 報告書

1. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2020年度報告書.
2. NPO法人日本フッ化物むし歯予防協会発行. フッ化物洗口50年のあゆみ

4 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本口腔衛生学会, 甲信越北陸口腔保健研究会, 新潟歯学会, 日本災害食学会, 老年歯科医学会, 日本診療情報管理学会, 日本公衆衛生学会, 日本地理学会
- 2) 学会等でのその他の活動

1. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 福祉にいがた オアシス 21 No94 10-11 2020.8. 新型コロナで順延の令和2年度講義 待望の開校! 2年生ら再会を喜ぶ
2. 郷土の文化に親しむ会講演会, 新型コロナウイルス感染症について, ホテル日航, 2020.7.25.
3. 新潟市民生委員児童委員協議会連合会講演会, 健康寿命延伸のために何をなすべきか, ユニゾンプラザ, 2020.10.28.
4. シニアカレッジ新潟最終講義, 私が病気になって思ったこと, 長岡会場 11.9, 新潟会場 11.12, 上越会場 11.26.
5. 令和2年度シニアカレッジ新潟 同窓生の活躍事例集の作成

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. TV, NHKニュース, 新潟県高齢者大学の卒業式に当たって, 2020.10.28.

3) 社会活動への参加協力

1. シニアカレッジ新潟学長 2020.4.1-2021.3.31.
2. 南浜住民福祉大学学長 2020.4.1-2021.3.31.
3. NPO法人聞こえエール新潟 監事

4) 公的機関（官公庁等）の審議会、委員会等の委員

新潟県社会福祉協議会理事，シニアカレッジ新潟学長，シニアカレッジ新潟運営委員会委員長，新潟県100歳記念品選定委員会委員長，南浜住民福祉大学学長，新潟市北区海辺の森交流人口拡大検討委員会委員

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度～2020年度 科研費基盤研究C，新潟県の新生児聴覚スクリーニングrefer児の追跡調査，研究代表者・榎原桂，研究分担者・石上和男
2. 2018年度，2019年度，2020年度，介護予防における大学との連携事業（新潟県からの受託事業），研究代表者・佐藤成登志，研究分担者・石上和男
3. 2019年度，新潟市医師会地域医療助成，「実家の茶の間・紫竹」におけるつながりの構造要因の検討，研究代表者・石上和男
4. 2019年度，佐渡圏域における精神保健医療福祉データ分析（新潟県からの受託事業），研究代表者・石上和男

2) 学外兼務講師等

1. 新潟県立看護大学非常勤講師
2. ロシア極東医科大学連携教授，ロシア極東医科大学学会誌編集委員

7 学内委員会活動 国際交流委員会委員（オブザーバー），教員業績評価プロジェクトチーム

氏名：佐藤 弘

1 研究題目 漢方医学の現代医学・医療における役割

2 学会等研究発表

1. 佐藤弘，私が研修医に伝えたいこと．東京都鍼灸師会主催 東京都福祉保健局委託講座（中期）（東京）2020.11.1.

3 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，日本東洋医医学会（監事），日本内科学会，日本消化器病学会，日本肝臓学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 出張講義『古くて新しい医学－漢方医学とは－』講師 佐渡中等教育学校 ZOOM講義 2020.8.20.

2) 社会活動への参加協力

1. 東洋美食薬膳協会 特別家庭漢方講座 中医学と漢方の違いと免疫力について 講演会 東京 2020.6.30.
2. 東洋美食薬膳協会 特別家庭漢方講座 ストレスと漢方 講演会 東京 2020.9.26.
3. 東洋美食薬膳協会 特別家庭漢方講座 花粉症と漢方 講演会 東京 2021.2.13.

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

1. 東京女子医科大学，東洋医学系講義 治療総論，2010.10.21.

氏名：鈴木 健司

1 研究題目 炎症性腸疾患の難病医療費助成制度に関する HRQOLの調査

2 論文

1. Tran HTT, Saito S, Noto S, Suzuki K. Quality of life and eligibility for specific financial assistance for medical expenses: A cross-sectional web-based survey among patients with inflammatory bowel disease in Japan. *Gastrointest Disord.* 2020;2:123-133.

3 学会活動

- 1) 所属学会 日本消化器病学会（評議員），日本消化器内視鏡学会，日本内科学会，日本消化器免疫学会（評議員），アメリカ消化器病学会（上級会員）

氏名：瀧口 徹

- 1 研究題目 I. 地理疫学研究 1) 新型コロナウイルス感染症の全国自治体感染パターン分析 2) 高齢者医療費の全国都道府県単位，市区町村単位の偏在性分析 II. 新型コロナウイルス感染症治療機関（病院）の医療従事者に対する地域住民の偏見・差別もしくは激励等の意識に関する研究

2 著書

1. 監修：藤谷克己，瀧口徹，著者：藤谷克己，瀧口徹，石上和男，宇田裕子，平田幸夫，川原一郎，西川薫，鈴木一恵，稲毛映子，木下直彦，淡島正浩，伊藤慎也，坂井さなえ，淡島正浩，貞廣彩子，可知悠子. アクティブ公衆衛生学ラーニング 医療関係全職国家試験（資格試験）難問化対応，初版，1-21,229-258, 269294WeNet 2020.

3 論文

1. Kinoshita N, Hada R, Watanabe S, Suzuki A, Tajiri M, Yamagishi M, Kanno S, Itagaki T, Namizuka A, Awashima M, Kobayashi F, Watarai Y, Takiguchi T. Analyzing the causes of the uneven geographical distribution of per-capita medical care expenditures for elderly persons aged 75 years or older between western and eastern Japanese prefectures. Niigata Journal of Health and Welfare, 2020; 20(2):61-72.
2. 淡島正浩，板垣匠，菅野涼夏，木下直彦，瀧口徹. 一人平均後期高齢者医療費の二次医療圏における地域偏在と医療・社会経済・生活習慣指標との関連. 新潟医療福祉学会誌 2020;20(2):16-24.
3. 宇田裕子，稲垣千文，石塚敏子，三澤寿美，瀧口徹. 外来看護部門で災害の備え指導は可能か - 神経内科外来への全国調査結果 -，日本難病看護学会誌，2020; 324(3) : 261-269.

4 報告書

1. 小林量作，佐藤成登志，古西勇，神田賢，能村友紀，永井徹，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉. 研究成果報告書，2018-2020. 介護予防における大学との連携事業「平成30年（2018）年度報告書，研究分担者
2. 佐藤成登志，小西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，能村友紀，永井徹，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉. 新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センター編，介護予防における大学との研究事業（2019年度報告書）. 2020.3. 研究分担者
3. 渡辺敏彦，久保雅義，増田修，嵐田幸吉，大野あかね，福島正巳，柴山純一，瀧口徹，石上和男，木下直彦，波多野誠，高野晃輔，斎藤トシ子，稲葉洋美，西原康行，秋山隆之. ロシア・ハバロフスク極東医科大学との交流事業 - 経過報告（2006-2019） - 2020.3.（報告書），研究分担者
4. 追手巍，竹井豊，瀧口徹，児玉直樹，金子弘. [報告書] 新潟医療福祉大学学術委員会主催ミニ・ワークショップ 保健・医療・福祉・スポーツ等多部門専門学会誌の国際化への現状と課題， - 新潟医療福祉学会誌のPubMedへの道 - . 新潟医療福祉学会誌 20(2):25-31, 2020. 研究分担者

5 学会等研究発表

1. 日影誓太，大滝莉菜，小林葉月，佐藤海斗，伴田峻哉，渡辺大輔，渡辺夏樹，波塚飛鳥，小林房代，瀧口徹：全国勤労者の居住している1741市町村の生活，居住環境の特性は何か？. 第20回新潟医療福祉学会（新潟市），2020.10.31.
2. 玉田千歳，狩俣美紀，古西勇，瀧口徹. ドミニカ共和国32自治体におけるCOVID-19感染拡大の現状と感染者の致死率の要因分析，グローバルヘルス合同大会（大阪市），2020.11.1-11.3.
3. 狩俣美紀，狩俣美紀，古西勇，瀧口徹. タイの僧侶の食生活や喫煙はsocial determinants of healthに変質してきたのか？. グローバルヘルス合同大会2020（大阪市），2020.11.1-11.3.

6 学会活動

1) 所属学会 新潟医療福祉学会（理事），日本公衆衛生学会，日本口腔衛生学会（名誉会員），日本診療情報管理学会，日本老年医学会，日本老年歯科学会，日本国際医療保健学会，日本公衆衛生看護学会，日本災害看護学会，日本精神看護学会

2) 学会等でのその他の活動

1. 新潟医療福祉学会，ミニワークショップ，総司会，新潟市，2020.3.5.

7 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 大学院生対象統計講座 その1：分布と尺度の基礎，E-Canpusによる解説mp4，講師，新潟医療福祉大学 大学院教務委員会，大学院修士課程院生（1，2年生），新潟市，2020.11.1-2021.3.31.

2. 大学院生対象統計講座 その2：検定の基礎（ a と $1-\beta$ ），E-Canpusによる解説mp4，講師，新潟医療福祉大学 大学院教務委員会，大学院修士課程院生（1，2年生），新潟市，2020.11.1-2021.3.31.

3. 大学院生対象統計講座 その3：表のトレンド検定，E-Canpusによる解説mp4，講師，新潟医療福祉大学 大学院教務委員会，大学院修士課程院生（1，2年生），新潟市，2020.11.1-2021.3.31.

4. 大学院生対象統計講座 その4：質問票の妥当性と信頼性，E-Canpusによる解説mp4，講師，新潟医療福祉大学 大学院教務委員会，大学院修士課程院生（1，2年生），新潟市，2020.11.1-2021.3.31.

5. 大学院生対象統計講座 その5：共分散と相関+曲線回帰，E-Canpusによる解説mp4，講師，新潟医療福祉大学 大学院教務委員会，大学院修士課程院生（1，2年生），新潟市，2020.11.1-2021.3.31.

6. 大学院生対象統計講座 その6：データクリーニング，E-Canpusによる解説mp4，講師，新潟医療福祉大学 大学院教務委員会，大学院修士課程院生（1，2年生），新潟市，2020.11.1-2021.3.31.

7. 大学院教員対象統計講座 その1（テーマ1：トレンド分析I：CAT-test，MH-test，拡張M-test，テーマ2：トレンド分析II：2つの回帰直線の差の検定，テーマ3：トレンド分析III：最適曲線回帰式をAICを用いて判定），講師，大学院FD委員会，新潟市，2020.11.17.

8. 大学院教員対象統計講座 その2（テーマ4：トレンド分析IV：地理疫学 地域集積性（regional clustering），講師，大学院FD委員会，新潟市，2020.11.27.

9. 大学院教員対象統計講座 その3（テーマ5：テキストマイニング：KH Coderを用いた自由記載アンケートの質的分析法，講師，大学院FD委員会，新潟市，2020.12.4.

2) 職能団体（協会，士会等）の委員

社会福祉法人 鴻鵠の会（理事）

8 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2020年度，基盤研究（C），歯の保存状況と生命予後に関する地域住民を対象とした30年コホート研究，研究分担者

2) 学外兼務講師等

1. 神奈川歯科大学（客員教授），医学統計演習，2020.4-2021.3.31.

2. 新潟看護大学（非常委員講師），保健医療福祉政策論（Zoomによるメディア授業），2020.6.5，6.26，7.10.

9 学内委員会活動 学術委員会（理事）

氏名：東條 猛

1 研究題目 共同研究「関節リウマチ治療における新たな試み」

2 学会等研究発表

1. 和田庸子，東條猛，霜鳥孝，「血清反応陰性超高齢発症関節リウマチに対するステロイドとバリシチニブ

氏名：西尾 正輝

- 1 研究題目 ディサースリアの基礎研究および治療技法の開発，摂食・嚥下障害の基礎研究及び治療技法の開発
- 2 論文
 1. 西尾正輝：ディサースリアの治療の重要論文を読む：診断の時代 特集にあたって. ディサースリア臨床研究, 10：66-67, 2020.
 2. 西尾正輝：コロナ禍での私の言語臨床：新しい臨床様式を求めて. ディサースリア臨床研究, 10：2-3, 2020.
- 3 学会活動
 - 1) 所属学会 日本音声言語医学会（評議員・査読委員），日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員・査読委員），日本言語聴覚士協会，日本ディサースリア臨床研究会（会長・理事・学術部部長・編集委員長），International Association of Logopedics and Phoniatrics（IALP），Academic Society for Quality of Life（Director of the Review Board Committee），日本コミュニケーション障害学会，新潟医療福祉学会，日本スピリチュアルケア学会，日本回想療法学会，日本嚥下障害臨床研究会
 - 2) 学会等でのその他の活動
 1. 日本音声言語医学会誌，査読
 2. 日本ディサースリア臨床研究会誌，査読
 3. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会誌，査読
 4. Academic Society for Quality of Life：Director of the Review Board Committee
 5. Journal of Communication Disorders：Editor for the Editorial System
 6. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会，e-ラーニング講師
 7. 日本言語聴覚士協会生涯学習システム専門基礎認定講師
 8. 新潟脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会顧問
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞，学位取得，資格取得
ディサースリア・スーパー認定セラピスト，日本ディサースリア臨床研究会，2020.4.27.

氏名：井上 弘樹

- 1 研究題目 医療の判断と意思決定に関する研究（医学統計学・計算数学・保健経済学），健康影響ならびに医療の質の評価と仮説探索ならびに仮説検証に関する研究（疫学），薬剤有害事象のシグナル検出に関する研究（薬剤疫学），医療情報のデータマネージメントに関する研究（医療情報学），ベイズ統計学的手法を視覚化した医学判断ツールの開発（医学統計学・医学判断学）
- 2 論文
 1. Inoue H, Uchiyama H. Development of J-Assist, a statistical analysis support tool for Julia. Niigata Journal of Health and Welfare. 2021;21(1). (in press)
 2. Uchiyama H, TAYLOR M, Inoue H. Self-Assessed Reading Comprehension in English Among Adults in Japan: Implications of Lifestyle and Information Technology. JAILA JOURNAL. 2021;7:2-13.
 3. 井上弘樹, 内山八郎. 保健医療福祉における意思決定支援のための, Python3を用いたマルチプラットフォームに対応したベイズ推測動的視覚化ツール「B.T.V.T.I.」の構築. 新潟医療福祉学会誌. 2021；第21巻2号（印刷中）
- 3 学会等研究発表
 1. 井上弘樹. Matplotlibを用いた医学判断ツール作成の試み. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市），2020.10.31.

2. Uchiyama H, Inoue H, Mark Taylor. Reflections on Secondary Data Analysis: A Method to Extrapolate Social Tendencies. 日本国際教養学会第9回全国大会（オンライン開催），2020.3.13.

4 学会活動

- 1) 所属学会 日本ソフトウェア科学会，日本臨床検査医学会，日本薬剤疫学会，日本疫学会，International Society for Pharmacoeconomics and Outcomes Research，日本内科学会，日本消化器内視鏡学会，日本消化器病学会，日本公衆衛生学会，日本社会薬学会，日本医療情報学会，日本国際教養学会，新潟医療福祉学会

5 その他の教育研究活動

- 1) 受賞，学位取得，資格取得

日本内科学会認定内科医・認定番号23722（2020.4.1）

- 6 学内委員会活動 入試委員会，健康管理センター運営委員会，安全衛生委員会，ハラスメント調査委員会

氏名：木下 直彦

- 1 研究題目 コンピュータサイエンスに関する研究，バイオインフォマティクスに関する研究，地理疫学に関する研究

2 著書

監修：藤谷克己，瀧口徹，著者：藤谷克己，瀧口徹，石上和男，宇田裕子，平田幸夫，川原一郎，西川薫，鈴木一恵，稲毛映子，木下直彦，淡島正浩，伊藤慎也，坂井さなえ，淡島正浩，貞廣彩子，可知悠子. アクティブ公衆衛生学ラーニング 医療関係全職国家試験（資格試験）難問化対応. 初版. 新潟. ウイネット；2020：259-267，269-294.

3 論文

1. Kinoshita N, Hada R, Watanabe S, Suzuki A, Tajiri M, Yamagishi M, Kanno S, Itagaki T, Namizuka A, Awashima M, Kobayashi F, Watarai Y, Takiguchi T. Analyzing the causes of the uneven geographical distribution of per-capita medical care expenditures for elderly persons aged 75 years or older between western and eastern Japanese prefectures. Niigata Journal of Health and Welfare, 2020; 20(2):61-72.
2. 淡島正浩，板垣匠，菅野涼夏，木下直彦，瀧口徹. 一人平均後期高齢者医療費の二次医療圏における地域偏在と医療・社会経済・生活習慣指標との関連. 新潟医療福祉会誌2020;20(2):16-24.

4 報告書

1. 佐藤成登志，小西勇，神田賢，鈴木祐介，小林量作，能村友紀，永井徹，佐藤大輔，石上和男，瀧口徹，木下直彦，高野晃輔，内山渉，新潟医療福祉大学ロコモティブ症候群予防研究センター編，介護予防における大学との研究事業（2020年度報告書）. 2021.3. 研究分担者

5 学会活動

- 1) 所属学会 新潟医療福祉学会，情報処理学会，日本バイオインフォマティクス学会，日本プロテオーム学会，HUPO（Human Proteome Organization），日本診療情報管理学会，日本老年歯科学会，日本災害看護学会

6 社会活動

- 1) 職能団体（協会，士会等）の委員

新潟市医師会SWAN ネット運営部会（オブザーバ），にいがたデジタルコンテンツ推進協議会（幹事）

7 その他の教育研究活動

- 1) 学外兼務講師等

1. 新潟大学生体液バイオマーカーセンター研究員，2015.3-（継続）

氏名：寺島 和浩

- 1 研究題目 3次元運動解析のための解析システムの開発，情報リテラシー教育に関する研究

2 学会活動

1) 所属学会 日本機械学会, バイオメカニズム学会, 日本臨床バイオメカニクス学会, 日本生体医工学会, 日本ロボット学会, 電子情報通信学会, 日本生活支援工学会, 新潟医療福祉学会

3 学内委員会活動 人権委員会, 個人情報保護委員会(委員長), AO入試室

氏名: 伊藤 嘉高

1 研究題目 アクターネットワーク理論と医療社会学

2 著書

1. 伊藤嘉高, 淡島正浩. 2020・21年度版診療報酬請求ハンドブック. 新潟: ウィザップ; 2020: 1-100.
2. 伊藤嘉高; 横浜国立大学都市科学部編. 都市科学事典. 横浜: 六花出版; 2021: 128-129, 978-979.

3 論文

1. 伊藤嘉高. アリは老いたるモグラを助けるか: アクターネットワーク理論で〈資本〉を発見する. 季刊 iichiko. 2020; 147: 83-95.
2. 伊藤嘉高. 批判はなぜ力を失ったのか: 〈厳然たる事実〉から〈議論を呼ぶ事実〉へ. ECRIT-O. 2020; 12: 198-230. (ブリュノ・ラトゥールの翻訳)
3. Nakanishi T, Ito H. Situation of empathy among preclinical medical student in Faculty of Medicine, Yamagata University - A longitudinal study. Yamagata medical journal. 2021; 39 (1): 16-24.
4. 伊藤嘉高. アクターネットワーク理論と人間科学—媒介子としての身体を記述する. 社会学年誌. 2021; 62: 7-22.

4 報告書

1. 伊藤嘉高. 若手 (B), 地域居住の時代においてサービス付き高齢者住宅入居がもたらす社会的諸関係の変容, 「地域居住の時代においてサービス付き高齢者住宅入居がもたらす社会的諸関係の変容」報告書, 2015.4-2020.3, 研究代表者

5 学会等研究発表

1. 伊藤嘉高. 文化的実践をつなぐアクターネットワーク理論. 認知科学会第37回大会(岐阜市), 2020.9.17. 【特別講演】
2. 伊藤嘉高, 村田憲章, 松井由美子, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智. 連携総合ゼミの学習効果測定とその課題: 専門性を横断する問題発見・解決力へ. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.31.
3. 松井由美子, 村田憲章, 伊藤嘉高, 栗原桂, 吉田秀義, 山口智. 2019年度連携総合ゼミ実施報告と終了時アンケートによる前年度との比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.31.
4. 前田理歩, 伊藤嘉高, 瀧口徹, 柴山純一. 大学進学時の自己決定を支える情報をいかに提供すべきか: 2020年度新入生意識調査から. 第20回新潟医療福祉学会学術集会(新潟市), 2020.10.31.
5. 伊藤嘉高, 石井亜美. ドクターヘリ用ランデブーポイントの配置に関するGISシミュレーション: 新潟県内消防本部等へのインタビュー調査を踏まえて. 日本都市学会2020年度大会(神戸市), 2020.11.1.
6. Shibayama J, Matsui S, Ito H, Matsui Y, Takiguchi T. The Long-term Care Insurance system for the elderly in Japan. 2020 International Healthcare Conference (Fooyin University) (Kaohsiung), 2020.11.24.
7. Matsui Y, Shibayama J, Murata N, Ito H, Yamaguchi S, Kuwabara K. Impressions and expectations of overseas students participating in the ipe seminar in Niigata University of health and welfare -from the free description of the seminar, 2020 International Healthcare Conference, (Kaohsiung) 2020.11.24.

6 学会活動

1) 所属学会 日本医療・病院管理学会, 日本医療マネジメント学会, 日本保健医療社会学会, 日本社会学会, 科学社会学会, 地域社会学会, 日本都市学会, 東北社会学会, 東北社会学研究会, 東北都市学会

2) 学会等でのその他の活動

1. Niigata Journal of Health and Welfare, 査読.
- 7 社会活動
 - 1) 社会活動への参加協力
 1. 政策研究ネットワーク山形, 企業家, 政治家, 行政職員, 法曹, マスコミ, 市民団体, 地縁組織などのメンバーたちが自由に集まり政策提言, 代表
- 8 学内委員会活動 広報委員会, 新潟連携教育研究センター運営委員会, 科研費対策委員会

氏名：坂井 さなえ

- 1 研究題目 診療情報（録）管理士の学術活動についての研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 日本診療情報管理学会, 日本診療情報管理士学会
- 3 学内委員会活動 国家試験・資格試験対策委員会

氏名：多湖 雅博

報告事項なし

氏名：谷 賢太郎

- 1 研究題目 視覚障がい者向けの救急救命支援アプリケーションの開発, 災害避難シミュレーション, 視覚障がい者向け入力デバイスの開発
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会 新潟医療福祉学会, 電子情報通信学会, 大学連携新潟協議会ビッグデータ・オープンデータ活用研究会
- 3 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 1. 2018年度, 科研費若手研究, 視覚障がい者を対象とした心肺蘇生法支援及び教育を行う Web アプリ開発, 研究代表者
 - 2) 学外兼務講師等
 1. 新潟国際情報大学（情報処理演習1）, 2020.4.1-9.31.
 2. 新潟国際情報大学（情報処理演習2）, 2020.10.1-2021.3.31.

氏名：近藤 正紀

報告事項なし

氏名：波多野 誠

- 1 研究題目 障害者福祉に関する研究, 災害食に関する研究, Na/Kに関する研究, 大学生アルバイトに関する研究
- 2 論文
 1. 土田直美, 波多野誠, 磯部澄枝, 鈴木一恵, 瀧口徹, 石上和男. 災害食関連企業におけるBCPの策定状況と策定に関連する要因. 新潟医療福祉学会誌 (in press)

氏名：前田 理歩

- 1 研究題目 新型コロナウイルスがもたらしたメディア授業が大学生の学習意欲に及ぼした影響比較
- 2 著書
 1. 瀧口徹, 木下直彦, 藤谷克己, 石上和男, 柴山純一, 鈴木健司, 森脇健介, 西川薫, 淡島正浩, 坂井さなえ, 深井獲博, 平田幸夫, 波塚飛鳥, 高野晃輔, 伊藤嘉高, 前田理歩. アクティブ「公衆衛生」ラーニン

グ国家試験（資格対策）問題集、初版、ウィーネット、2021年（印刷中）

3 論文

1. 前田理歩、診療情報管理士になるためのABC、月刊／保険診療、2021年6月号（印刷中）

4 学会等研究発表

1. Namizuka A, Awashima M, Takano K, Minagawa R, Maeta R, Inagaki C, Kobayashi F, Nishikawa K, Suzuki K, Kinoshita N, Moriwaki K, Shibayama J, Ishigami K, Takiguchi T, Geographical epidemiological characteristics of changes in the incidence of covid-19 infections in 1,740 municipalities in Japan, I-st Far East International Medical Congress, (Khabarovsk) 2020.10.
2. 前田理歩、伊藤嘉高、瀧口徹、柴山純一、大学進学時の自己決定を支える情報をいかに提供すべきかー2020年度新入生意識調査からー、新潟医療福祉学会、2020.

5 学会活動

- 1) 所属学会 診療情報管理学会、新潟医療福祉学会

6 その他の教育研究活動

- 1) 受賞、学位取得、資格取得
がん登録初級者認定試験、2020.11.1.

7 学内委員会活動 広報委員会

氏名：高野 晃輔

- 1 研究題目 フレイルに関する国際共同研究、地域包括ケアシステムに関する研究、各種調査質問紙票におけるテキスト分析

2 論文

1. Д.Сибаяма. К.Такано. Н.Киносита. К.Исигами. Т.Такигучи. К.В.Жмеренецкий. М.Ф.Рзянкина. А.Б.Петренко. Т.А.Ильенко. Н.В.Воронина. А.Л.Дорофеев. З.М.Ван. Спрос на медицинское обслуживание в Японии: текущая ситуация и проблемы. ВЕСТНИК общественного здоровья и здравоохранения Дальнего Востока России. 2020;(2)
2. 石上和男, 高野晃輔, 皆川璃子, 遠藤和男, 佐藤純子, 金谷光子. 「実家の茶の間・紫竹」における参加者とのつながりの構造要因. 新潟市医師会報. 2021;(600)
3. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2020年度報告書. 2020;

3 学会等研究発表

1. Takano K, Sato N, Konishi I, Kanda M, Suzuki Y, Nomura T, Nagai T, Masuda H, Sato D, Takiguchi T, Kinoshita N, Uchiyama W, Ishigami K. Intervention study on frailty of the elderly in Japanese local communities. The I Far East International Medical Congress (Khabarovsk). 2020.10.14.
2. Namizuka A, Takano K, Minagawa R, Maeta R, Kinoshita N, Sibayama J, Ishigami K, Takiguchi T. Geographic epidemiological study on covid-19 transmission patterns of 1,719 municipalities in Japan (2020.4.1-8.31). The I Far East International Medical Congress (Khabarovsk).2020.10.14.
3. 高野晃輔, 石上和男, 佐藤純子. 「実家の茶の間・紫竹」参加者の意識からみたコミュニティの構造要因の検討. 第79回日本公衆衛生学会総会（オンライン）. 2020.10.20.
4. 高野晃輔, 齋藤慎吾, 高橋七星, 木村真友, 田所麻希, 永峯璃子, 安達美和, 渡邊美樹, 福島正巳. 佐渡市と新潟市北区における地域包括ケアシステム提供体制の地域格差－医療・介護福祉施設配置の視点から－. 第20回新潟医療福祉学会学術集会. 2020.10.31.

4 学会活動

- 1) 所属学会 言語処理学会、情報処理学会、日本公衆衛生学会、日本診療情報管理学会、日本精神保健看護学会、日本病院・地域精神医学会、新潟医療福祉学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2020年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業，体力測定，測定者，新潟市北区南浜高齢者，新潟市北区南浜，2020.10.25.
2. 2020年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業，体力測定，測定者，新潟市北区南浜高齢者，新潟市北区南浜，2020.10.27.
3. 2020年度新潟県内「通いの場」における介護予防プログラムの開発・効果検証事業，体力測定，測定者，新潟市北区白勢町高齢者，白勢町，2020.3.23.

2) 公的機関（官公庁等）の審議会，委員会等の委員

新潟市北区・海辺の森交流拡大委員会（アドバイザー）

6 その他の教育研究活動

1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容

1. 2018年度～2020年度，新潟県受託事業，介護予防における大学との連携事業，ロコモティブ症候群予防研究センター（研究分担者）

7 学内委員会活動 国際交流センター運営委員会，教育開発委員会

8) プロジェクト研究センター

(1) アクアヘルス推進プロジェクト研究センター (Aqua-Health Promotion Project Research Center)

①研究テーマ

1. 個人的特性に応じたオーダーメイド水中運動プログラムの開発
2. 水泳のトレーニングに関する研究
3. 「泳げる」ヒトの脳内表象から新たな水泳教育プログラムを開発する

②センター名簿

センター長	：下山好充	健康スポーツ学科	教授
副センター長	：佐藤大輔	健康スポーツ学科	教授
研究員	：西原康行	健康スポーツ学科	教授
研究員	：佐藤晶子	健康スポーツ学科	講師
研究員	：下山博子	看護学科	講師
研究員	：市川 浩	健康スポーツ学科	講師
研究員	：馬場康博	健康スポーツ学科	助教

③主な活動内容

1. 著書

1. 西原康行. 改訂 図で学ぶスポーツマネジメント論. 神奈川：現代図書；2020：1-172.
2. 西原康行. スポーツ推進委員の資質向上と人材発掘. みんなのスポーツ. 東京：日本体育社；2020：15-18.

2. 論文

1. Ikarashi K, Iguchi K, Yamazaki Y, Yamashiro K, Baba Y, Sato D. Influence of menstrual cycle phases on neural excitability in the primary somatosensory cortex and ankle joint position sense. *Women's Health Reports*. 2020;1(1):167-178.
2. 白井直人, 山代幸哉, 小島将, 佐藤大輔. サッカーにおけるヘディングの累積曝露と慢性外傷性脳症に関する最近の知見. *体力科学 (協力学術団体)*. 2020;69(5):361-370.
3. Yamanaka R*, Wakasawa S*, Yamashiro K, Kodama N, Sato D. Effect of resistance training of psoas major on performance in long-distance runners. *International Journal of Sports Physiology and Performance (JCR)*. 2020;16(6):906-909.
4. Sato D, Yamazaki Y, Onishi H, Baba Y, Ikarashi K, Maruyama A. Elite competitive swimmers exhibit higher motor cortical inhibition and superior sensorimotor skills in a water environment. *Behavioural Brain Research (JCR)*. 2020;395:112835.
5. Ikarashi K, Sato D, Iguchi K, Baba Y, Yamashiro K. Menstrual cycle modulates motor learning and memory consolidation in humans. *Brain Sciences*. 2020;10(10):696.
6. Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance?. *Sports Biomechanics (JCR)*. 2021;:44208.
7. Yamashiro K, Yamazaki Y, Shiiya K, Ikarashi K, Baba Y, Onishi H, Sato D. Modality-specific improvements in sensory processing among baseball players. *Scientific Reports (JCR)*. 2021;11:2248.
8. Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of brain-derived neurotrophic factor genotype on short-latency afferent inhibition and motor cortex metabolites. *Brain Sciences (JCR)*. 2021;11(3):395.
9. Ikeda Y, Ichikawa H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. *Journal of Sports Science*. 2021; 1-7.

10. Ubukata K, [Nishihara Y](#). Situated cognition among American football coaches in Japan: Effects of the ongoing method on their coaching cognition. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2020; 20-1: 12-20.
 11. [Nishihara Y](#). A discussion and review of research on embodied knowledge: focusing on body interactions and body techniques. *Niigata Journal of Health and Welfare*. 2020; 20-2: 45-60.
 12. 鵜瀬亮一, 石田航, 生田孝至, 内山渉, [西原康行](#). Virtual Reality 視界動画を用いた大学野球選手育成の試み. *新潟医療福祉学会誌*, 2021; 20-3: 54-59.
 13. [西原康行](#). 総合型地域スポーツクラブスタッフ研修における学びの検討: 組織課題研修と自己課題研修の比較. *スポーツ産業学研究 (協力学術団体)*, 2021; 31-1: 41-52.
 14. 高橋孝輔, [西原康行](#). スポーツ庁委託事業: 大学スポーツ振興の推進事業成果報告書. 2020: 1-28.
 15. 渡邊優子, [西原康行](#). スポーツ庁委託事業: 運動部活動改革プラン事業報告書. 2021: 1-57.
 16. 永野康治, 笹木正悟, [市川浩](#). バスケットボール競技中における前十字靭帯損傷好発動作の抽出. *日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会誌 (協力学術団体)*. 2020; 45: 655-659.
 17. [Ichikawa H](#), Shimojo H, Baba Y, Mise T, Nara R, [Shimoyama Y](#). The Difference of Propulsive Force between Water Surface and Underwater Conditions in Flutter Kick Swimming. *Proceedings of The 13th Conference on the International Sports Engineering Association*. 2020; 49(1): 167.
 18. Nagano Y, Sasaki S, Shimada Y, Kose Y, [Ichikawa H](#). Detection of High-impact Movements in a Volleyball Match: A Cross-Sectional Study. *Exercise Medicine*. 2020; 4: 3.
 19. 田場昭一郎, [市川浩](#), 栗木明裕, 森誠護, 松波勝. 競泳の水中レジスタンストレーニングに関する一考察: クロール泳動作中の各ストローク局面の上肢筋群の筋放電分析に着目して. *福岡大学スポーツ科学研究*. 2011; 51(1): 1-12.
 20. 笹木正悟, 永野康治, [市川浩](#). ジュニア女子バドミントン選手の片脚着地特性と発育に伴う体格変化による影響-片脚ドロップ着地テストと試合中の体幹加速度に着目した短期縦断検討-. *日本臨床スポーツ医学会誌 (協力学術団体)*. 2021; 29(1): 38-47.
 21. Koyama T, Rikukawa A, Nagano Y, Sasaki S, [Ichikawa H](#), Hirose N. Acceleration Profile of High-Intensity Movements in Basketball Games. *Journal of Strength and Conditioning Research (JCR)*. 2020; : Online ahead of print.
 22. Nagano Y, Sasaki S, Higashihara A, [Ichikawa H](#). Movements with greater trunk accelerations and their properties during badminton games. *Sports biomechanics (JCR)*. 2020; 19(3): 342-352.
 23. Nagano Y, Sasaki S, Shimada Y, Koyama T, [Ichikawa H](#). High-Impact Details of Play and Movements in Female Basketball Game. *Sports Medicine International Open*. 2021; 5(1): E22-E27.
3. 学会等研究発表
1. [Nishihara Y](#). Changes in physical education teachers' situation awareness by using VR videos. 25th annual Congress of the European College of Sports Science (Spain **【Webinar】**). 2020.10.28-10.30.
 2. [Nishihara Y](#). Physical education teachers' situation awareness by using VR videos: Comparison of skilled teachers and novice teachers. 19th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria **【Webinar】**). 2020.8.25-8.28.
 3. [西原康行](#). 視線計測法を用いた保育者の観察力の共有化のころみ. 第73回日本保育学会 (奈良女子大学 **【紙面討議】**). 2020.5.16-5.17. **【シンポジウム: 指定討論者】**
 4. 三瀬貴生, 馬場康博, 奈良梨央, [下山好充](#), 阿久澤弘, 金岡恒治. 競泳選手における肩関節不安定性保有率の年代間比較. *日本アスレティックトレーニング学会 (オンライン)*, 2020.12.5-12.31.
 5. [市川浩](#), [下山好充](#), 栗木明裕, 永野康治. クロール泳フラッターキック中の膝関節過伸展が足関節速

- 度および加速度に及ぼす影響. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会(新潟市), 2020.11.6-11.7.
6. 永野康治, 笹木正悟, 市川浩, 須甲理生. 女子サッカー選手における高衝撃特性について-体幹加速度を用いた試合・練習およびリバウンドジャンプにおける検討-. 第47回日本臨床バイオメカニクス学会(新潟市), 2020.11.6-11.7.
 7. Ichikawa H, Shimojo H, Baba Y, Mise T, Nara R, Shimoyama Y. The Difference of Propulsive Force between Water Surface and Underwater Conditions in Flutter Kick Swimming. The 13th Conference on the International Sports Engineering Association (Tokyo, online), 2020.6.22-6.26.
 8. 市川浩, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 下肢関節角度変化の位相差がクロール泳フラッターキックの足関節速度および加速度に及ぼす影響. 第26回日本バイオメカニクス学会大会(オンライン開催), 2020.9.18-9.20.
 9. 市川浩, 田坂英郁, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 大学生と中高生競泳選手間のフラッターキック動作の比較. 日本水泳・水中運動学会2020年次大会(オンライン開催), 2020.11.14-11.15.
 10. 笹木正悟, 菅沼勇作, 永野康治, 小山孟志, 市川浩. 小学生サッカー選手の試合中に生じる体幹加速度の評価-成長期のスポーツ障害予防に向けたパイロットスタディー. 日本フットボール学会18th Congress(オンライン開催), 2021.3.6-3.8.
 11. 永尾雄一, 三浦智和, 福井邦宗, 加藤恭章, 森直樹, 窪康之, 北村勝朗, 市川浩. JISSが提供する映像システムの効果検証-コーチ・スタッフを対象とした探索的調査-. 令和2年度九州スポーツ心理学学会第34回大会(オンライン開催), 2021.3.6-3.14.
 12. 佐藤晶子, 佐藤眞治, 越中敬一. 短期的なチアミン(ビタミンB1)欠乏食の摂取が骨格筋のミトコンドリア量に及ぼす影響. 第75回日本体力医学会大会(オンライン), 2020.9.26.
 13. 越中敬一, 本田明日香, 川中健太郎, 佐藤晶子. 卵タンパク質の摂取がクレンプテロール誘発の筋肥大効果に与える影響. 第75回日本体力医学会大会(オンライン), 2020.9.26.
 14. 本田明日香, 佐藤晶子, 増田紘之, 越中敬一. 低GIな糖質の摂取によって生じる自然な摂食量の減少が骨格筋のトレーニング効果に与える影響. 第75回日本体力医学会大会(オンライン), 2020.9.26.
4. 学会活動
1. Brain sciences 査読委員
 2. Frontier in Psychology 査読委員
 3. The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 査読委員
 4. Scientific Reports 査読委員
 5. 日本介護予防・健康づくり学会誌 査読委員
 6. 日本体育・スポーツ・健康学会 評議員
 7. 体育学研究 査読委員
 8. 大学体育スポーツ教育学研究 編集委員
 9. 大学体育スポーツ教育学研究 査読委員
 10. スポーツ産業学研究 査読委員
 11. Educational Technology Research, Peer Reviewer
 12. ECNSI Journal of Education, Editorial Board
 13. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度第1回運営委員会, 総務, オンライン開催, 2020.6.9.
 14. 新潟県体育学会, 令和2年度新潟県体育学会第1回理事会・評議員会, 監事, オンライン開催, 2020.7.10.
 15. 新潟県体育学会, 令和2年度新潟県体育学会会計監査, 監事, オンライン開催, 2020.9.2-9.8.
 16. 新潟県体育学会, 令和2年度新潟県体育学会第2回理事会・評議員会, 監事, オンライン開催, 2020.9.11.

17. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度総会, 事務局, オンライン開催, 2020.11.15.
18. 日本水泳・水中運動学会, 2020年度第2回運営委員会, 総務, オンライン開催, 2021.3.2.
19. The 8th Asian Congress of Dietitians 2022, プログラム委員会ポスター検討グループリーダー, 横浜市, 2022.8.19-8.21・2020.6.

5. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 2020年度からだを使ってあそぼうリモート教室, 体力測定, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 2020.8.1-8.29. (全4回)
2. 2020年度からだを使ってあそぼうリモート教室, エクササイズ動画配信, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 2020.9.1-11.30.
3. 2020年度からだを使ってあそぼうリモート教室, 体力測定, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 2020.11.14-11.28. (全2回)
4. 令和2年度 健康づくりのための室内運動指導者研修会, 私たちの生活活動(運動)と脳に関すること, 講義・実技指導, 新潟県, 県・市町村の健康づくりに関わる者, 2020.10.9.
5. 2020年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明, 実施代表者, 新発田市稲荷岡一地区高齢者, 2020.12.8.
6. 2020年度新潟県内「通いの場」における介護予防のプログラム開発・効果検証事業, 体力測定結果説明, 実施代表者, 新発田市石喜地区高齢者, 2020.12.10.
7. 新潟県教育庁, 学校と地域の協働による部活動, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 新潟市, 2020.4.10.
8. 新潟県教育庁, 学校と地域の協働による部活動, 講師, 新潟県教育庁(スポーツ庁事業), 燕市, 2020.5.12.
9. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2020.6.20-6.21.
10. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2020.6.27-6.28.
11. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2020.10.24-10.25.
12. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会(スポーツ庁), Zoom, 2020.12.5-12.6.
13. 新潟市ロータリークラブ, 定例研修会, 講師, 新潟市ロータリークラブ, 新潟市, 2020.12.18.
14. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市(新潟県教育庁), 2020.11.20.
15. 新潟県村上市教育委員会, コーチの役割, 講師, 村上市(新潟県教育庁), 2020.1.14.
16. 新潟県弥彦村教育委員会, コーチの資質, 講師, 弥彦村, 2020.11.28.
17. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市(新潟県教育庁), 2021.1.23.
18. 新潟県燕市教育委員会, コーチの役割, 講師, 燕市(新潟県教育庁), 2021.1.23.
19. 2020年度ユニバーシアード候補研修事業, トップレベルの選手のコーチングおよびトレーニング科学, 講演, 公益財団法人日本水泳連盟, ユニバーシアード候補選手, オンライン, 2020.12.16.
20. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳第96回日本選手権科学サポート, レース分析, 東京アクアティクスセンター, 2020.12.3-12.6.
21. 日本水泳連盟・科学委員会, 競泳ジャパンオープン2020科学サポート, レース分析, 東京アクアティクスセンター, 2021.2.4-2.7.
22. スポーツ庁・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト, 第2回ボート競技検証・評価会議, 外部有識者, オンライン開催, 2021.3.5.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. 新潟日報（朝刊），小中学校の水泳授業中止に関するコメント，2020.6.9.
2. 新潟日報モア，小中学校の水泳授業中止に関するコメント，2020.6.9.
3. 新潟日報（朝刊），障害児向けのオンライン運動プログラム紹介，2020.10.26.
4. PR TIMES，月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見！，2020.11.5.
5. BIGLOBE ニュース，月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見！，2020.11.5.
6. Sports mania，月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見！，2020.11.5.
7. WMR Tokyo，月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見！，2020.11.5.
8. Excite ニュース，月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見！，2020.11.5.
9. 医療ニュース速報，月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見！，2020.11.5.
10. JIJI.COM，月経周期が女性の運動学習能力を変化させることを発見！，2020.11.5.
11. 新潟日報（朝刊），女性選手の習得能力，月経周期で違い，2020.12.4.
12. 新潟日報モア，女性選手の習得能力，月経周期で違い，2020.12.4.
13. Teny，夕方ワイド新潟一番，東京五輪・パラリンピック延期による新潟への影響，2020.4.1.
14. UX，スーパーJにいがた，東京オリンピック，合宿地の今，2020.4.24.
15. Teny，夕方ワイド新潟一番，東京五輪延期のこれから，2020.7.30.
16. 信越放送（SBC），ネットワークトゥデイ，東京五輪を考える：長野オリンピックの経験から，2020.5.3.
17. UX，スーパーJにいがた，アスリートのメッセージを読み解く，2020.10.28.
18. 新潟日報【囲み記事】，再考 スポーツのチカラ，2020.6.1.
19. 新潟日報【囲み記事】，スポーツ×発信力：共感，2020.11.15.
20. F-lab（研究で選ぶ大学進学情報誌），世界を変える大学の研究，熟達者の暗黙知をVRで顕在化してノービスの学びを促す，2021.
21. 新聞，新潟日報，新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛をしている本学水泳部について紹介され，下山 好充 監督が選手たちの様子について語ったことなどが写真とともに掲載された。2020.4.23.
22. テレビ，BSNテレビ，「ゆうなび」にて，新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛をしている本学水泳部について紹介され，下山 好充 監督が選手たちの様子について語ったことなどが5分程度放映された。2020.4.27.
23. 新聞，新潟日報，新型コロナウイルスの影響を受けている各競技の五輪代表選考会や県内選手について紹介され，水泳部の水沼 尚輝 選手（本学職員）や佐藤 綾 選手（同）の氏名が写真とともに掲載された。2020.4.30.
24. テレビ，UXテレビ，夕方ニュース「スーパーJにいがた」内の自宅でできるトレーニングを紹介する「うちトレ」にて，水泳部の水沼 尚輝 選手（本学職員）のトレーニング法が紹介され，トレーニングを実演している様子などが2分程度放映された。2020.5.15.
25. 新聞，信濃毎日新聞，アスリートから新型コロナウイルスの影響で苦難に直面する人たちへエールを送る特集「いま，伝えたい」欄にて水泳部の佐藤 綾 選手（本学職員）が紹介され，過去の苦難や今後の抱負についてのコメントが写真とともに掲載された。2020.5.18.
26. WEB，新潟日報スポーツモア，県内アスリートのメッセージやストーリーを集めた動画を紹介する企画「Sports × Stories」にて水沼 尚輝 選手（本学職員）が紹介され，水沼選手の言葉や写真などが掲載された。2020.5.28.
27. テレビ，UXテレビ，夕方ニューススーパーJの「ガッツリート」内にて，新型コロナウイルス感染拡大による練習休止以来，水泳部の練習を再開した水沼 尚輝 選手（本学職員）について紹介され，インタビューや練習の様子などが6分程度放映された。2020.6.15.
28. WEB，新潟日報スポーツモア，新型コロナウイルス感染拡大の影響による活動自粛期間が明け，練習を再開した水泳部社会人選手について紹介され，水沼 尚輝 選手（本学職員），佐藤 綾 選手

- (同)、松井 浩亮 選手 (同) のコメントが写真とともに掲載された。2020.6.16.
29. 新聞, 新潟日報, 新型コロナウイルス感染拡大の影響による活動自粛期間が明け、練習を再開した水泳部社会人選手について紹介され、水沼 尚輝 選手 (本学職員)、佐藤 綾 選手 (同)、松井 浩亮 選手 (同) のコメントが写真とともに掲載された。2020.6.16.
 30. WEB, 新潟県ホームページ, 新型コロナウイルス感染拡大により、活動の場を失ったスポーツに親しむすべての県民を応援するため、アスリートからの応援メッセージが紹介され、水沼 尚輝 選手 (本学職員)、佐藤 綾 選手 (同)、松井 浩亮 選手 (同) のメッセージ動画が掲載された。2020.6.19.
 31. WEB, 日刊スポーツ, 昨年の全国高校総体で5冠を果たし、今春、本学に入学した大内 紗雪 選手 (健スポ1年) について紹介され、今後の抱負やプロフィールについて写真とともに掲載された。2020.6.24.
 32. 新聞, 日刊スポーツ (新潟県版), 昨年の全国高校総体で5冠を果たし、今春、本学に入学した大内 紗雪 選手 (健スポ1年) について紹介され、今後の抱負やプロフィールについて写真とともに掲載された。2020.6.25.
 33. 33 テレビ, TENYテレビ, 「夕方ワイド新潟一番」内にて、延期となった東京五輪へのアスリートの心境が紹介され、水泳部の水沼 尚輝 選手 (本学職員) や佐藤 綾 選手 (同) のインタビューや練習の様子などが4分程度放映された。2020.7.24.
 34. テレビ, TENYテレビ, 「夕方ワイド新潟一番」内にて、「#負けないニイガタ 新潟医療福祉大学水泳部のコロナに負けない練習」というテーマで水泳部が特集され、水沼 尚輝 選手 (本学職員) や佐藤 綾 選手 (同) などのインタビューや練習の様子などが10分程度放映された。2020.7.30.
 35. テレビ, テレビ信州, 来年の東京五輪を目指す長野県出身選手を紹介する特集にて、佐藤 綾 選手 (本学職員) について紹介され、練習風景やインタビューの様子などが8分程度放映された。2020.7.29.
 36. 新聞, 新潟日報, 競泳2020サマーチャレンジが開催されたことが紹介され、水沼 尚輝 選手 (本学職員) が100m バタフライで自己新記録で優勝、松井 浩亮 選手 (同) が50m 自由形で優勝したことなどがコメントや写真とともに掲載された。2020.7.29.
 37. テレビ, TENYテレビ, 「#負けない!ニイガタ 24時間テレビ直前スペシャル」にて水泳部が特集され、水沼 尚輝 選手 (本学職員) や佐藤 綾 選手 (同) などのインタビューや練習の様子などが5分程度放映された。2020.8.21.
 38. テレビ, TENYテレビ, 来年の東京オリンピックを目指す佐藤 綾 選手 (本学職員) と松井 浩亮 選手 (同) について特集され、大会の様子やインタビューなどが10分程度放映された。2020.8.27.
 39. 新聞, 新潟日報, 競泳の国際リーグに参加する「東京フロッグキングス」のメンバーが発表されたことが紹介され、水沼 尚輝 選手 (本学職員) や松井 浩亮 選手 (同) などの氏名が掲載された。2020.9.10.
 40. 新聞, 新潟日報, 東京五輪への期待がかかる県勢を紹介する特集「原点ここに」にて、水沼 尚輝 選手 (本学職員) について紹介され、下山 好充 監督のコメントや水沼選手の経歴などが写真とともに掲載された。2020.9.18.
 41. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権が行われることが紹介され、期待の県勢選手として田中 優弥 選手 (健スポ4年) や深澤 舞 選手 (同) の氏名や写真が掲載された。2020.9.29.
 42. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され、田中 優弥 選手 (健スポ4年) が50m 自由形で22秒28で2位に入賞したことが掲載された。2020.10.2.
 43. WEB, YAHOO! ニュース, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され、田中 優弥 選手 (健スポ4年) が100m バタフライで51秒76で優勝したことがコメントとともに掲載された。2020.10.3.
 44. 新聞, 日本経済新聞 (全国紙), 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され、田中 優弥 選手 (健スポ4年) が100m バタフライで51秒76で優勝したことが掲載された。2020.10.3.

45. WEB, 神奈川新聞, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手 (健スポ4年) が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された. 2020.10.3.
46. WEB, 日刊スポーツ, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手 (健スポ4年) が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された. 2020.10.3.
47. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手 (健スポ4年) が100m平泳ぎで1分7秒61で2位に入賞したことが掲載された. 2020.10.3.
48. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手 (健スポ4年) が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが写真とともに掲載された. 2020.10.4.
49. WEB, 共同通信 (全国紙), 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手 (健スポ4年) が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが掲載された. 2020.10.4.
50. WEB, 東京新聞, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手 (健スポ4年) が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが掲載された. 2020.10.4.
51. WEB, 日刊スポーツ, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手 (健スポ4年) が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが掲載された. 2020.10.4.
52. 新聞, 朝日新聞 (全国紙), 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手 (健スポ4年) が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された. 2020.10.4.
53. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 田中 優弥 選手 (健スポ4年) が100mバタフライで51秒76で優勝したことが掲載された. 2020.10.4.
54. 新聞, 新潟日報, 競泳の日本学生選手権の結果が紹介され, 深澤 舞 選手 (健スポ4年) が200m平泳ぎで2分25秒75で優勝したことが写真とともに掲載された. 2020.10.5.
55. 新聞, 日刊スポーツ (新潟県版), 競泳 日本学生選手権 最終日 [女子平泳ぎ200m決勝] 第1位 深澤 舞 選手 (健スポ4年), 2020.10.5.
56. テレビ, NHK新潟テレビ, 来年の東京オリンピックを目指す水沼 尚輝 選手 (本学職員) について特集され, 練習の様子やインタビューなどが9分程度放映された. 2020.10.6.
57. テレビ, UXテレビ, 「スーパーJにいがた」にてインカレで100mバタフライで優勝した田中 優弥 選手 (健スポ4年) が紹介され, 試合の様子などが1分半程度放映された. 2020.10.13.
58. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳の短水路日本選手権第1日の結果が紹介され, 田中 優弥 選手 (健スポ4年) が男子50mバタフライで優勝した川本 武史 選手と予選で競り合ったことが掲載された. 2020.10.17.
59. WEB, 日刊スポーツ, 競泳の短水路日本選手権第1日の結果が紹介され, 田中 優弥 選手 (健スポ4年) が男子50mバタフライで優勝した川本 武史 選手と予選で競り合ったことが掲載された. 2020.10.17.
60. 新聞, 新潟日報, 競泳の短水路日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) や津田 萌咲 選手 (健スポ2年) が優勝したことなどが写真とともに掲載された. 2020.10.18.
61. 新聞, 新潟日報, 競泳の短水路日本選手権の結果が紹介され, 男子100mバタフライで水沼 尚輝 選手 (本学職員) や田中 優弥 選手 (健スポ4年) が入賞したことなどが掲載された. 2020.10.19.
62. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳国際リーグ 予選リーグ第3戦の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が50mバタフライで5位に入賞したことなどが掲載された. 2020.10.27.
63. WEB, BBM Sports, 競泳国際リーグ 予選リーグ第3戦の結果が紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が50mバタフライで5位に入賞したことなどが掲載された. 2020.10.27.
64. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳国際リーグ 予選リーグ第8戦の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で4位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで4位に入賞したことなどが掲載された. 2020.11.7.
65. WEB, BBM Sports, 競泳国際リーグ 予選リーグ第8戦の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で4位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで4位に入賞したことなど

- が掲載された。2020.11.7.
66. 新聞, 新潟日報. 東京五輪に向けて調子が高まっている田中 優弥 選手 (健スポ4年) について紹介され, コメントや写真などが紹介された。2020.11.14.
 67. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳国際リーグ 予選リーグ準決勝第1戦の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で3位, 50mバタフライで4位に入賞したことなどが掲載された。2020.11.16.
 68. WEB, BBM Sports, 競泳国際リーグ 予選リーグ準決勝第1戦の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で3位, 50mバタフライで4位に入賞したことなどが掲載された。2020.11.16.
 69. 新聞, 新潟日報. 県勢の出場が見込まれる各競技の東京五輪の選考会について紹介され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) の氏名が掲載された。2020.11.18.
 70. テレビ, UXテレビ, 「スーパーJにいがた」にて競泳国際リーグで活躍を見せた水沼 尚輝 選手 (本学職員) や佐藤 綾 選手 (同) ら3選手が紹介され, 試合の様子などが4分半程度放映された。2020.11.23.
 71. スイミングマガジン12月号 (全国紙), 第96回日本学生選手権水泳競技大会の優勝者について紹介され, 100mバタフライで優勝した田中 優弥 選手 (健スポ4年) と200m平泳ぎで優勝した深澤 舞 選手 (同) のコメントや写真などが掲載された。2020.11.11.
 72. 新聞, 新潟日報. 競泳 日本選手権が開催されることが紹介され, 新潟県期待の選手として水沼 尚輝 選手 (本学職員) や田中 優弥 選手 (健スポ4年) の氏名や写真などが掲載された。2020.12.2.
 73. テレビ, NHK総合テレビ, 競泳 日本選手権水泳競技大会の男子100m自由形決勝の様子が生中継され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が4位に入賞する様子が放映された。2020.12.4.
 74. テレビ, NHK総合テレビ, 競泳 日本選手権水泳競技大会の女子100m自由形決勝の様子が生中継され, 佐藤 綾 選手 (本学職員) が5位に入賞する様子が放映された。2020.12.5.
 75. テレビ, NHK総合テレビ, 競泳 日本選手権水泳競技大会の男子100mバタフライ決勝の様子などが生中継され, 水沼 尚輝 選手 (本学職員) が2位, 田中 優弥 選手 (健スポ4年) が4位に入賞する様子が放映された。2020.12.6.
 76. WEB, YAHOO!ニュース, 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が男子100m自由形で予選を1位通過したことが掲載された。2020.12.6.
 77. WEB, デイリー, 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が男子100m自由形で予選を1位通過したことが掲載された。2020.12.6.
 78. WEB, livedoor, 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が男子100m自由形で予選を1位通過したことが掲載された。2020.12.6.
 79. 新聞, 新潟日報. 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 佐藤 綾 選手 (本学職員) が女子100m自由形で5位に入賞したことがコメントや写真とともに掲載された。2020.12.6.
 80. 新聞, 朝日新聞 (全国紙). 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で2位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで2位に入賞したことなどが掲載された。2020.12.7.
 81. テレビ, UXテレビ, 「スーパーJにいがた」にて日本選手権で活躍を見せた水沼 尚輝 選手 (本学職員) や松井 浩亮 選手 (同) ら3選手が紹介され, インタビューなどが3分半程度放映された。2020.12.7.
 82. 新聞, 新潟日報. 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で2位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで2位に入賞したことがコメントや写真とともに掲載された。2020.12.7.
 83. 新聞, 日刊スポーツ (新潟県版). 競泳 日本選手権の結果が紹介され, 松井 浩亮 選手 (本学職員) が50m自由形で2位, 水沼 尚輝 選手 (同) が100mバタフライで2位に入賞したことなどが掲載

- された。2020.12.7.
84. スイミングマガジン1月号（全国紙）、ISL・国際競泳リーグ2020に参戦した東京フロッグキングスのメンバーについて紹介され、水沼 尚輝 選手（本学職員）、松井 浩亮 選手（同）、佐藤 綾 選手（同）の氏名が掲載された。2020.12.11.
 85. 新聞、新潟日報。第44回新潟日報スポーツ賞の受賞者について紹介され、津田 萌咲 選手（健スポ2年）の経歴や写真などが掲載された。2020.12.13.
 86. 新聞、新潟日報。第44回新潟日報スポーツ賞の表彰式について紹介され、津田 萌咲 選手（健スポ2年）のコメントや写真などが掲載された。2020.12.19.
 87. 新聞、新潟日報。水泳部の2020年シーズンの振り返りについて紹介され、下山 好充 監督のコメントや写真などが掲載された。2020.12.27.
 88. WEB、YAHOO!ニュース、競泳の平井 伯昌 日本代表コーチについて特集され、競泳国際リーグに帯同したスタッフとして下山 好充 監督の氏名が掲載された。2020.12.28.
 89. WEB、AERA dot. 競泳の平井 伯昌 日本代表コーチについて特集され、競泳国際リーグに帯同したスタッフとして下山 好充 監督の氏名が掲載された。2020.12.28.
 90. テレビ、NHK新潟テレビ、「ニュース610」にて、競泳で東京五輪への選手輩出を目指す下山 好充 監督の指導法について特集され、練習やインタビューの様子などが10分程度放映された。2021.1.15.
 91. 新聞、スポニチ（新潟県版）、競泳で東京五輪を目指す本学選手の特集「五輪を目指す医福大スイマー」欄にて水沼 尚輝 選手（本学職員）について紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.1.15.
 92. 新聞、スポニチ（新潟県版）、競泳で東京五輪を目指す本学選手の特集「五輪を目指す医福大スイマー」欄にて佐藤 綾 選手（本学職員）について紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.1.16.
 93. 新聞、スポニチ（新潟県版）、競泳で東京五輪を目指す本学選手の特集「五輪を目指す医福大スイマー」欄にて松井 浩亮 選手（本学職員）について紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.1.18.
 94. 新聞、スポニチ（新潟県版）、競泳で東京五輪を目指す本学選手の特集「五輪を目指す医福大スイマー」欄にて田中 優弥 選手（健スポ4年）と深澤 舞 選手（同）について紹介され、コメントや写真などが掲載された。2021.1.20.
 95. WEB、YAHOO!ニュース、競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され、水沼 尚輝 選手（本学職員）が100m バタフライで51秒84で優勝したことが掲載された。2021.1.24.
 96. WEB、共同通信、競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され、水沼 尚輝 選手（本学職員）が100m バタフライで51秒84で優勝したことが掲載された。2021.1.24.
 97. WEB、東京新聞、競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され、水沼 尚輝 選手（本学職員）が100m バタフライで51秒84で優勝したことが掲載された。2021.1.24.
 98. WEB、サンケイスポーツ、競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され、水沼 尚輝 選手（本学職員）が100m バタフライで51秒84で優勝したことが掲載された。2021.1.24.
 99. 新聞、新潟日報、競泳 北島康介杯最終日の結果が紹介され、水沼 尚輝 選手（本学職員）が100m バタフライで51秒84で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された。2021.1.25.
 100. テレビ、BSNテレビ、「ゆうなび」にて、競泳で東京五輪を目指す水沼 尚輝 選手（本学職員）ら5名の選手について特集され、練習やインタビューの様子などが10分程度放映された。2021.1.25.
 101. テレビ、TENYテレビ、「夕方ワイド新潟一番」にて、競泳で東京五輪を目指す水沼 尚輝 選手（本学職員）について特集され、練習やインタビューの様子などが8分程度放映された。2021.1.26.
 102. テレビ、UXテレビ、「夕方ワイド新潟一番」にて、競泳で東京五輪を目指す水沼 尚輝 選手（本学職員）について特集され、練習やインタビューの様子などが8分程度放映された。2021.2.1.

- 103.新聞, 新潟日報, 競泳ジャパンオープン2020が開催されることが紹介され, 新潟県期待の選手として水沼 尚輝 選手(本学職員)や松井 浩亮 選手(同)の氏名や写真などが掲載された。2021.2.3.
- 104.テレビ, NHK新潟テレビ, 「ニュース610」内にて, 競泳のジャパンオープン2020の結果について紹介され, 田中 優弥 選手(健スポ4年)が50mバタフライで優勝したことが3分程度紹介された。2021.2.4.
- 105.新聞, 朝日新聞(全国紙), 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 50mバタフライで田中 優弥 選手(健スポ4年)が優勝したことが掲載された。2021.2.5.
- 106.新聞, 日刊スポーツ(全国紙), 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 50mバタフライで田中 優弥 選手(健スポ4年)が優勝したことが掲載された。2021.2.5.
- 107.新聞, 新潟日報, 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 50mバタフライで田中 優弥 選手(健スポ4年)が優勝したことが掲載された。2021.2.5.
- 108.WEB, YAHOO!ニュース, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その1が紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.2.6.
- 109.WEB, 4years, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その1が紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.2.6.
- 110.WEB, YAHOO!ニュース, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その2が紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.2.7.
- 111.WEB, 4years, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その2が紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.2.7.
- 112.WEB, YAHOO!ニュース, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その3が紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.2.8.
- 113.WEB, 4years, 水泳部の創部から現在に至る下山 好充 監督の選手の育成方法に関する特集その3が紹介され, コメントや写真などが掲載された。2021.2.8.
- 114.新聞, 新潟日報, 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 100m自由形で佐藤 綾 選手(本学職員)が3位に入賞したことなどが掲載された。2021.2.7.
- 115.新聞, スポニチ(全国紙), 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手(本学職員)が2位に入賞したことが掲載された。2021.2.8.
- 116.テレビ, TENYテレビ, 「NNNストレイトニュース」内にて, 競泳のジャパンオープン2020の結果について紹介され, 水沼 尚輝 選手(本学職員)が100mバタフライで2位に入賞したことが1分程度紹介された。2021.2.8.
- 117.新聞, 新潟日報, 競泳ジャパンオープンの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手(本学職員)が2位, 100m自由形で松井 浩亮 選手(同)が2位に入賞したことなどが写真とともに掲載された。2021.2.8.
- 118.WEB, 桐生タイムス, ジャパンオープン2020で50mバタフライで優勝した田中 優弥 選手(健スポ4年)について紹介され, 経歴やコメントなどが写真とともに掲載された。2021.2.15.
- 119.WEB, YAHOO!ニュース, 20日に行われた競泳の東京都オープンの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手(本学職員)が51秒54で優勝したことが掲載された。2021.2.20.
- 120.WEB, 共同通信, 20日に行われた競泳の東京都オープンの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手(本学職員)が51秒54で優勝したことが掲載された。2021.2.20.
- 121.WEB, YAHOO!ニュース, 新潟県室内水泳選手権 最終日の結果について紹介され, 50mバタフライで津田 萌咲 選手(健スポ2年)が25秒52で新潟県新記録で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された。2021.2.22.
- 122.WEB, 日刊スポーツ, 新潟県室内水泳選手権 最終日の結果について紹介され, 50mバタフライで

- 津田 萌咲 選手（健スポ2年）が25秒52で新潟県新記録で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された。2021.2.22.
- 123.新聞, スポニチ（新潟県版）, 新潟県室内水泳選手権 最終日の結果について紹介され, 50m バタフライで津田 萌咲 選手（健スポ2年）が25秒52で新潟県新記録で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された。2021.2.22.
- 124.新聞, 日刊スポーツ（新潟県版）, 新潟県室内水泳選手権 最終日の結果について紹介され, 50m バタフライで津田 萌咲 選手（健スポ2年）が25秒52で新潟県新記録で優勝したことがコメントや写真とともに掲載された。2021.2.22.
- 125.新聞, 日本経済新聞（全国紙）, 熱視線（上）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.2.
- 126.新聞, 日本経済新聞（全国紙）, 熱視線（中）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.3.
- 127.新聞, 日本経済新聞（全国紙）, 熱視線（下）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.4.
- 128.WEB, 日経速報ニュース, 熱視線（上）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.6.
- 129.WEB, 日経速報ニュース, 熱視線（中）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.6.
- 130.WEB, 日経速報ニュース, 熱視線（下）競泳界で旋風を巻き起こしている本学水泳部の下山 好充 監督について特集され, 水泳部の創部から現在に至る苦労や育成方法についてコメントや写真などが掲載された。2021.3.6.
- 131.新聞, 新潟日報, 競泳 中村真衣カップの結果について紹介され, 100m自由形で松井 浩亮 選手（本学職員）が大会新で優勝したことなどがコメントとともに掲載された。2021.3.7.
- 132.新聞, 新潟日報, 競泳 中村真衣カップの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手（本学職員）が優勝したことなどがコメントとともに掲載された。2021.3.8.
- 133.テレビ, NHK新潟テレビ, 競泳 中村真衣カップの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手（本学職員）が優勝したことなどがコメントとともに1分半程度放映された。2021.3.8.
- 134.テレビ, UXテレビ, 競泳 中村真衣カップの結果について紹介され, 100mバタフライで水沼 尚輝 選手（本学職員）が優勝したことなどがコメントとともに1分半程度放映された。2021.3.8.
- 135.WEB, YAHOO!ニュース, 4月の日本選手権に向け, 水泳部が公開練習を行ったことについて紹介され, 水沼 尚輝 選手（本学職員）のコメントや写真などが掲載された。2021.3.12.
- 136.WEB, 日刊スポーツ, 4月の日本選手権に向け, 水泳部が公開練習を行ったことについて紹介され, 水沼 尚輝 選手（本学職員）のコメントや写真などが掲載された。2021.3.12.
- 137.新聞, 新潟日報, 4月の日本選手権に向け, 水泳部が公開練習を行ったことについて紹介され, 水沼 尚輝 選手（本学職員）のコメントや写真などが掲載された。2021.3.12.
- 3) 社会活動への参加協力
1. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 3. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.

4. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 5. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 6. 総合型地域スポーツクラブ「ウェルネス村上」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
 7. 日本水泳連盟, オリンピック強化指定選手強化合宿, オリンピック強化スタッフ, コーチ, 東京, 2020.12.7-12.20.
 8. 日本水泳連盟, オリンピック強化指定選手強化合宿, オリンピック強化スタッフ, コーチ, 東京, 2021.2.8-2.21.
6. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 研究代表者
 2. 2019年度, 科研費挑戦的研究（萌芽）, 水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発, 研究代表者
 3. 2019年度, 科研費基盤研究（A）, 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出を目指してー, 研究分担者
 4. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 神経シナプス可塑性の反応variabilityが運動学習の個人差を規定するか?, 研究分担者
 5. 2019年度, 科研費基盤研究（C）, ヒトは水中環境で自身の身体動作をどの程度再現できるのか? 単関節動作による検討, 研究分担者
 6. 2018年度, 科研費基盤研究（C）, 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 研究分担者
 7. 2018年度, 科研費基盤研究（B）, 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 研究分担者
 8. 2019年度, 科研費基盤研究（B）, VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究代表者
 9. 平成30年度, 科学研究費補助金基盤研究（C）, 水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強度トレーニングの開発, 研究代表者
 10. 平成29年度, 科学研究費補助金基盤研究（C）, 競泳競技における高強度インターバルトレーニングの負荷特性の究明, 分担代表者
 11. 2020年度, 基盤研究（C）, スポーツ活動中の衝撃負荷から児童期の傷害発生機序を探る, 研究分担者
 12. 2019年度, 科研費基盤研究（C）, 短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響, 研究代表者

（2）言語発達支援センター（Language Development Center）

①研究テーマ

1. 言語発達障害児の語彙力に関する研究
2. 言語発達障害児の症状に応じた訓練方法に関する研究
3. 小児および成人に対する心理的支援に関する研究

②センター名簿

センター長 : 吉岡 豊, 言語聴覚学科 准教授
 副センター長 : 山岸達弥, 言語聴覚学科 教授
 研究員 : 石本 豪, 言語聴覚学科 講師
 研究員 : 栞原 桂, 言語聴覚学科 講師

③主な活動内容

1. 論文

1. 石本豪, 中学校における友人関係を主訴とした相談事例. 新潟市スクールカウンセラー等活用事業事例集. 2020: 29.
2. 吉岡豊. 自閉スペクトラム症児17例の呼称課題における誤答分析. 発達障害支援システム学研究. 2020; 19(2): 115-121.

2. 学会等研究発表

1. 石本豪. 医療系専門職養成課程に在籍する自閉スペクトラム症の大学生の臨床実習前後の変化. 第46回日本コミュニケーション障害学会学術講演会 (web開催), 2020.5.30-5.31.
2. 吉岡豊. 知的障害児の呼称課題における誤答分析. 第65回日本音声言語医学会総会・学術講演会 (名古屋市), 2020.10.10.
3. 吉岡豊. 自閉スペクトラム症児1例における日本語単語獲得-音声ペンを用いた訓練-. 第20回新潟医療福祉学会学術集会 (web開催), 2020.10.31.

3. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 第18回中野小屋中学校区学校保健委員会, レジリエンスを育てるために, 講師, 中野小屋中学校区三校連絡協議会, 児童・生徒・保護者, 中野小屋中学校, 2020.10.30.

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

1. FNN「ドキュメンタリー大賞・かか 親と子のかけ橋～小児言語聴覚士の希望と現実～」, 2020.5.24. (以降, 全国各地で随時放送)
2. FNN ネット記事「発達障害に不安を抱える親子をサポートする小児言語聴覚士の存在」, 2020.8.3.
3. Yahoo ネット記事「コミュニケーションがとれない子どもたちをサポートする小児言語聴覚士が直面する課題」, 2021.3.20.

3) 社会活動への参加協力

1. 新潟市教育委員会・スクールカウンセラー等活用事業, スクールカウンセラー, 新潟市内小・中学校, 2020.4.1-2021.3.31.
2. 阿賀町役場, 言葉の相談会, 助言者, 阿賀町津川・阿賀町やまぶきの里, 2020.4-2021.3.
3. 新潟県立新潟聾学校, 評議員会, 評議員, 新潟市・新潟聾学校, 2020.4-2021.3.

(3) 医療経済・QOL研究センター (Center for Health Economics & QOL Research)

①研究テーマ

1. 国内の薬剤, 医療技術に関する費用対効果の研究
2. 費用効用分析に用いるモデリングの研究
3. 種々の疾患や健康状態に対する健康関連QOL, とくに効用値の測定
4. 国内における費用効果比や効用値に関するデータベースの構築

②センター名簿

センター長: 能登真一 作業療法学科

客員研究員: 森脇健介 立命館大学 総合科学技術研究機構 医療経済評価・意思決定支援ユニット (CHEERS) 准教授

客員研究員: 泉 良太 聖隷クリストファー大学 作業療法学科 教授

客員研究員: 齋藤翔太 聖路加国際大学 臨床疫学HTAセンター 特任講師

③主な活動内容

1. 論文

1. Noto S, Shiroiwa T, Kobayashi M, Murata T, Ikeda S, Fukuda T. Development of a multiplicative,

- multi-attribute utility function and eight single-attribute utility functions for the Health Utilities Index Mark 3 in Japan. *J Patient Rep Outcomes*. 2020;4:23.
2. Noto S, Takahashi O, Kimura T, Moriwaki K, Masuda K. The relationship between preference-based health-related quality of life and lifestyle behavior: a cross-sectional study on a community sample of adults who had undergone a health check-up. *Health Qual Life Outcomes*. 2020;18:267.
 3. Hagiwara Y, Shiroiwa T, Taira N, Kawahara T, Konomura K, Noto S, Fukuda T, Shimozuma K. Mapping EORTC QLQ-C30 and FACT-G onto EQ-5D-5L index for patients with cancer. *Health Qual Life Outcomes*. 2020 ;18:354.
 4. Tran HTT, Saito S, Noto S, Suzuki K. Quality of Life and Eligibility for Specific Financial Assistance for Medical Expenses: A Cross-Sectional Web-Based Survey among Patients with Inflammatory Bowel Disease in Japan. *Gastrointest. Disord*. 2020, 2, 12.
 5. Saito S, Tran HTT, Qi R, Suzuki K, Takiguchi T, Ishigami K, Noto S, Ohde S, Takahashi O. Psychological impact of the state of emergency over COVID-19 for non-permanent workers: a Nationwide follow-up study in Japan. *BMC Public Health*. 2021;21:334.
 6. Shiroiwa T, Ikeda S, Noto S, Fukuda T, Stolk E. Valuation Survey of EQ-5D-Y Based on the International Common Protocol: Development of a Value Set in Japan. *Med Decis Making*. 2021: 272989X211001859.
 7. Sumiyoshi T, Watanabe K, Noto S, Sakamoto S, Moriguchi Y, Hammer-Helmich L, Fernandez J. Relationship of Subjective Cognitive Impairment with Psychosocial Function and Relapse of Depressive Symptoms in Patients with Major Depressive Disorder: Analysis of Longitudinal Data from PERFORM-J. *Neuropsychiatr Dis Treat*. 2021;17:945-955.
 8. Ishihara K, Izawa KP, Noto S, Shimizu I. Physical and Mental Functions of Cardiovascular Disease Patients Decrease during the State of Emergency Initiated by the COVID-19 Pandemic in Japan. *Rev Recent Clin Trials*. 2021 (In Press).
 9. Moriwaki K, Uechi S, Fujiwara T, Hagino Y, Shimozuma K. Economic Evaluation of First-Line Pertuzumab Therapy in Patients with HER2-Positive Metastatic Breast Cancer in Japan. *Pharmacoeconomics Open*. 2021.
 10. Kinoshita T, Moriwaki K, Hanaki N, Kitamura T, Yamakawa K, Fukuda T, Hunink MGM, Fujimi S. Cost-effectiveness of a hybrid emergency room system for severe trauma: a health technology assessment from the perspective of the third-party payer in Japan. *World J Emerg Surg*. 2021; 16: 2.
 11. Hashimoto M, Aogaki K, Numata C, Moriwaki K, Matsuda Y, Ishii R, Tanaka I, Okamoto Y. Factors influencing the prescribed dose of opioid analgesics in cancer patients. *J Opioid Manag*. 2020;16:247-252.
 12. Fukuda H, Sato D, Moriwaki K, Ishida H. Differences in healthcare expenditure estimates according to statistical approach: A nationwide claims database study on patients with hepatocellular carcinoma. *PLoS One*. 2020;15:e0237316.
 13. 泉良太, 能登真一, 佐野哲也, 鈴木達也. 回復期リハビリテーション病棟における健康関連QOLの変化と代理人回答の一致度について—脳卒中患者へのEQ-5D-5Lによる評価—. *日本臨床作業療法研究*. 2021; 8: 31-36.
2. 学会等研究発表
1. Noto S, Shiroiwa T, Kobayashi M, Murata T, Izumi R, Fukuda T. Construct validity of a new Japanese multiplicative, multi-attribute utility function and eight single-attribute utility functions for the Health Utilities Index Mark 3. ISOQOL 27th Annual Conference (Virtual Event). 19-23 October 2020.

3. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

1. 2020年度，科研費基盤研究（B），基準的賭け法を用いたQOL値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究，研究代表者
2. 2020年度，科研費基盤研究（A），レセプトデータを基軸としたデータ駆動型臨床疫学研究の基盤開発，研究分担者
3. 2020年度，科研費基盤研究（B），粒子線治療の費用対効果評価のための標準的な手法とデータに関する研究，研究代表者
4. 2020年度，科研費基盤研究（C），リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり，研究代表者
5. 2020年度，科研費基盤研究（B），費用対効果を含む多様な価値基準を統合した新たな医療政策意思決定支援システムの開発，研究分担者
6. 2020年度，科研費基盤研究（B），脳卒中中のLearning Healthcare Systemに関する研究，研究分担者
7. 2020年度，科研費基盤研究（C），患者特性に基づく脂質低下療法の費用対効果に関する研究，研究分担者
8. 2020年度，科研費基盤研究（C），二次性MRに対するカテーテル修復術のレスポンス同定と費用対効果分析，研究分担者
9. 2020年度，科研費基盤研究（C），難病法改正による炎症性腸疾患治療法選択の変化と医療費構造の解明，研究代表者
10. 2020年度，科研費基盤研究（C），侵襲的治療による患者QOL改善を予測する統計学的モデル構築－全国調査，研究分担者
11. 2020年度，科研費基盤研究（C），経済評価に利用可能な日本人肥満者の効用値インデックスの作成，研究分担者
12. 2020年度，科研費挑戦的研究（萌芽），費用対効果分析の実用上の問題点に対する統計学理論による解決策の検討，研究分担者
13. 2020年度，厚生労働科研費，厚生労働科学特別研究事業（政策科学総合研究事業），医薬品・医療機器等の費用対効果評価における公的分析と公的意思決定方法に関する研究，研究分担者

(4) ロコモティブ症候群予防研究センター（Research Center for Locomotive Syndrome Prevention）

①研究テーマ

1. 県内市町村，新潟市北区住民へのロコモ予防に貢献するために支援システムの研究，実践を行う。
2. 運動器慢性疼痛における諸因子の調査研究を行う。
3. 産業保健における運動器慢性疼痛予防についての支援システムの研究・実践を行う。

②センター名簿

センター長	：佐藤成登志	理学療法学科	教授
副センター長	：山本智章	新潟リハビリテーション病院	院長
研究員	：古西 勇	理学療法学科	教授
研究員	：神田 賢	理学療法学科	助教
研究員	：鈴木祐介	理学療法学科	助教
研究員	：立石 学	新発田リハビリテーション病院	技士長
研究員	：高野義隆	新潟リハビリテーション病院	部長
研究員	：ロコモ班	新潟リハビリテーション病院（金子巧・津村諒・内藤翼）	メディカルフィットネスロコパーク（佐野佐枝子）
客員研究員	：小林量作	新潟リハビリテーション大学	
客員研究員	：北村拓也	新潟リハビリテーション大学	

1. 論文

1. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者に対する運動療法効果. *Journal of Spine Research*. 2020 ; 11 (6) : 923-930.
2. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保雅義. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の血液循環動態の経時的変化について. *Journal of Spine Research*. 2020 ; 11 (6) : 902-907.
3. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志, 古西勇, 鈴木祐介, 渡辺慶, 久保雅義. 若年女性の慢性肩こり有訴が頸部に影響を及ぼす因子. *理学療法科学*. 2020 ; 35(4) : 483-487.
4. 若菜翔哉, 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志. 若年者および高齢者女性における体幹筋と大腰筋の筋厚および筋輝度の比較. *理学療法科学*. 2020 ; 35(2) : 245-249.
5. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志. 座位体幹伸展動作が腰部多裂筋の血液循環動態に及ぼす影響. *地域ケアリング* 10. 2020 ; 22(11) : 72-76.
6. 神田賢, 北村拓也, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢が腰部多裂筋の血液循環動態に及ぼす影響－腰痛の有無での比較. *地域ケアリング* 1. 2021 ; 23(1) : 77-81.
7. 佐藤成登志. 地域高齢者に対する介護予防と健康寿命延伸への課題と取り組み. *新潟医療福祉会誌*. 2020 ; 20 (3) : 69-74.
8. 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 小林量作, 能村友紀, 永井徹, 増田紘之, 佐藤大輔, 石上和男, 瀧口徹, 木下直彦, 高野晃輔, 内山渉. 介護予防における大学との連携事業2020年度報告書. 2020. 代表.
9. 佐藤成登志. 日本脊椎脊髄病学会プロジェクト委員会腰曲がり研究保存療法ワーキング. 腰曲がりに対する運動療法のエビデンス創出に関する研究 運動療法手帳・手引書. 2020. 分担.
10. Kanda M, Kitamura T, Sato N. Cervicothoracic spinal alignment and neck flexor muscle endurance in young and older adult females with and without neck and shoulder pain (Katakori in Japanese). *J of physical therapy science* (in press).
11. 神田賢, 北村拓也, 鈴木祐介, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化－腰痛の有無での比較－. *Journal of Spine Research*. (印刷中)
12. Tashiro Y, Suzuki Y, Nakayama Y, Sonoda T, Yokota Y, Kawagoe M, Tsuboyama T, Aoyama T. The effect of Capacitive and Resistive electric transfer on non-specific chronic low back pain. *Electromagnetic biology and medicine*. 2020 Oct 1;39(4):437-444.
13. Shimoura K, Nishida Y, Abiko S, Suzuki Y, Hala Zeidan, Kajiwara Y, Harada K, Tatsumi M, Nakai K, Bito T, Yoshimi S, Kawabe R, Yokota J, Aoyama T. Immediate effect of neuromuscular electrical stimulation on the abductor hallucis muscle: A randomized controlled trial. *Electromagnetic biology and medicine*. 2020 Oct 1;39(4):257-261.
14. Tashiro Y, Nishida Y, Yamaoka A, Suzuki Y, Horii T, Arai H, Yamaguchi Y, Wada N, Yokota I, Aoyama T. Validation of the Developed Eating Activities Questionnaire in Working People with Disabilities: A Cross-Sectional Study. 2020 Volume 16 Issue 1 Pages 87-93.
15. 深澤完太, 北村拓也. 腰部不安定性と慢性腰痛・QOLの関係～可動性を定量化した調査～. *PTジャーナル*. 2020 ; 54 (9) : 1111-1115, 2020.

2. 報告書

1. 神田賢, 佐藤成登志, 北村拓也. 基盤研究 (C), 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 研究成果報告書, 2019-2021, 研究代表者
2. 佐藤成登志, 神田賢, 北村拓也. 基盤研究 (C), 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 研究成果報告書, 2020-2022, 研究代表者

3. 学会等研究発表

1. 北村拓也, 神田賢, 佐藤成登志, 山本智章, 渡辺慶. 慢性腰痛を有する高齢脊柱変形患者の姿勢と身体機能. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市), 2020.11.28-12.25.

2. 佐藤成登志, 健康寿命の延伸に対する取り組み—20年のあゆみとこれから—. 第20回新潟医療福祉学会学術集会シンポジウム (新潟市Web), 2020.10.31-11.15.
 3. 津布子夏実, 佐藤成登志, 神田賢. 前屈時痛を有する非特異的腰痛患者と健常成人との比較—股関節の回旋可動域制限に着目して—. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市Web), 2020.11.28-12.25.
 4. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 異なる座位姿勢における腰部多裂筋の組織血液循環動態の経時的変化—腰痛の有無での比較. 第28回日本腰痛学会 (札幌市Web), 2020.10.30-11.29.
 5. 神田賢, 北村拓也, 渡辺慶, 佐藤成登志. 若年女性における肩こりの有無と頭頸部の位置が頸部筋群の筋血流動態におよぼす影響. 第13回日本運動器疼痛学会 (新潟市Web), 2020.11.28-12.25.
4. 学会活動
1. 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 準備委員会, 学会長, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31.
 2. 日本理学療法士学会 認定理学療法士, 査読
 3. Clinical Epidemiology, 査読
 4. Clinical Rheumatology, 査読
 5. The Knee, 査読
5. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 講師. 厚生労働省慢性疼痛事業; 第1回新潟県慢性疼痛研修会. 2020.9.6. (於 新潟大学医歯学総合病院+Zoom) テーマ「慢性疼痛に対する運動療法を知ろう」
 2. 講師. 厚生労働省慢性疼痛事業; 第2回新潟県慢性疼痛研修会. 2021.2.21. (於 新潟大学医歯学総合病院+Zoom) テーマ「痛みの多面的評価 (ICD-11を含む)を知ろう」
 3. サポーター研修会, コロナ予防, 講師, 新潟市秋葉区, 住民, 新潟市, 2020.9.11.
 4. フレイル予防教室, フレイルについて, 講師, 新潟市秋葉区, 住民, 新潟市, 2020.10.4.
 5. 日本医師会認定産業医研修会, 職業性腰痛の特徴とその予防法, 講師, 上越市医師会, 産業医, 上越市, 2020.10.7.
 6. きらっと輝く生きがい研修会, 足腰丈夫に健康長寿～姿勢改善で膝痛・腰痛予防～, 講師, 柏崎市老人クラブ連合会, 住民, 柏崎市, 2020.11.13.
 7. 日本医師会認定産業医研修会, 職業性腰痛の特徴とその予防法, 講師, 長岡市医師会, 産業医, 長岡市, 2020.12.5.
 8. 管理者ネットワーク研修会, 管理者ネットワークの背景と必要性, 講師, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 長岡市 (Web), 2021.2.27.
 9. 第1回助言者研修会, 地域ケア個別会議における助言者について, 主催・運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟県 (Web), 2020.6.27.
 10. 第2回助言者研修会, 地域ケア個別会議における助言者について, 主催・運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟県 (Web), 2020.7.18.
 11. 第3回助言者研修会, 地域ケア個別会議における助言者について, 主催・運営, 新潟県理学療法士会, 理学療法士, 新潟県 (Web), 2020.8.23.
 12. 助言者フォローアップ研修会, 地域ケア個別会議における助言者について, 主催・運営・ファシリテーター, 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会, 6専門職, 新潟県 (Web), 2021.2.14.
 13. 臨床実習指導者研修会, 講師, 日本理学療法士協会, 理学療法士, 村上市, 2021.3.6-3.7.
 14. 五泉市教育委員会スポーツ推進課生涯スポーツ振興係肩こり・腰痛解消エクササイズ研修会, 講師, 五泉市, 住民, 五泉市, 2020.12.5.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. 村上新聞:「教授 (せんせい) ブログ」原稿掲載, 第1822, 2020.6.28.
 2. 統合医療でがんに克つ:「ネガティブな感情は白血病細胞を喜ばせてしまう」原稿掲載, vol.152(2), 44-47, 2021.

3. 新聞, 日本農業新聞, 自立支援自ら動く環境づくり, 科学的な視点を, 2021.1.27.

3) 社会活動への参加協力

1. 令和2年度厚生労働省 慢性疼痛診療体制構築モデル事業 新潟県WG委員兼コーディネーター
2. 臨床実習指導者講習会 世話人
3. (公社)日本理学療法士協会・拡大組織運営委員会, 組織運営, 県代表, web, 2020.4-2021.3. (2回)
4. (公社)日本理学療法士協会・代議員総会, 総会, 県代表代議員, web, 2020.6.6.
5. (公社)日本理学療法士協会・理事会, 組織運営, 県代表, web, 2020.4-2021.3. (2回)
6. (公社)日本理学療法士協会・倫理委員会, 倫理協議, 県代表, 東京, 2020.4-2021.3. (3回)
7. (公社)新潟県理学療法士会・総会, 会長, 新潟, 2020.10.18.
8. (公社)新潟県理学療法士会・理事会, 会長, 新潟, 2020.4-2021.3. (6回)
9. 関東甲信越ブロック協議会・士会長会議, 県代表, web, 2020.4-2021.3. (2回)
10. 新潟県リハビリテーション専門職協議会・代表者会議, 会長, 新潟, 2020.4-2021.3. (6回)
11. 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会・関連会議, 会長, 新潟, 2020.4-2021.3. (6回)
12. 第8期新潟県高齢者保健福祉計画・新潟県高齢者保健福祉推進協議会委員会(新潟県リハビリテーション専門職代表・委員)

6. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2017年度, 科研費若手B, 非特異的腰痛疾患における体幹前傾位保持時間が身体に及ぼす影響について, 北村拓也, 研究代表者
2. 2019年度(継続), 科研費基盤C, 骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立, 神田賢, 研究代表者
3. 2020年度, 県委託事業, 介護予防における大学との連携事業, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 研究代表者
4. 2020年度, 科研費若手研究, 早期変形性膝関節症の新規抽出アプローチの開発-関節加速度を用いて-, 鈴木祐介, 研究代表者
5. 2020年度, 新潟市秋葉区委託事業, 地域ぐるみでフレイル予防事業, 佐藤成登志, 古西勇, 神田賢, 鈴木祐介, 研究代表者
6. 2020年度, 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 佐藤成登志, 研究代表者
7. 2020年度, 科研費基盤C, 看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証, 北村拓也, 研究分担者

(5) シティズンシップ教育実践研究センター (Citizenship Education Practical Research Center)

①研究テーマ

1. QOLサポーター育成に必要なシティズンシップ教育プログラムの開発, 実践
2. 地域資源を活用したシティズンシップ教育プログラムの開発, 実践
3. 上記教育プログラムの開発, 実践に伴う調査

②センター名簿

センター長	：西原康行	健康スポーツ学科	教授
研究員	：吉田重和	健康スポーツ学科	准教授
研究員	：武田丈太郎	健康スポーツ学科	講師
研究員	：佐藤裕紀	健康スポーツ学科	講師
研究員	：山本悦史	健康スポーツ学科	助教
研究員	：五十嵐紀子	社会福祉学科	准教授
研究員	：原口彩子	社会福祉学科	講師

研究員 杉本 洋 看護学科 准教授

③主な活動内容

1. 著書

1. 佐藤裕紀；北欧教育研究会編著，林寛平，本所恵，中田麗子，佐藤裕紀編著．北欧の教育最前線—市民社会を作る子育てと学び：東京：明石書店；2021：31-34.
2. 佐藤裕紀；北欧教育研究会編著，林寛平，本所恵，中田麗子，佐藤裕紀編著．北欧の教育最前線—市民社会を作る子育てと学び：東京：明石書店；2021：35-38.
3. 佐藤裕紀，矢野拓洋；北欧教育研究会編著，林寛平，本所恵，中田麗子，佐藤裕紀編著．北欧の教育最前線—市民社会を作る子育てと学び：東京：明石書店；2021：39-42.
4. 佐藤裕紀，中田麗子；北欧教育研究会編著，林寛平，本所恵，中田麗子，佐藤裕紀編著．北欧の教育最前線—市民社会を作る子育てと学び：東京：明石書店；2021：43-46.
5. 佐藤裕紀；森田稔，鴨川明子，市川桂編著；若手研究者必携 比較教育学のアカデミック・キャリアー 比較教育学を学ぶ人の多様な生き方・働き方：東京：東信堂；2021：53-63.
6. 西原康行．改訂 図で学ぶスポーツマネジメント論．神奈川：現代図書；2020：1-172.
7. 西原康行．スポーツ推進委員の資質向上と人材発掘．みんなのスポーツ．東京：日本体育社；2020：15-18.

2. 論文

1. 佐藤裕紀．特別活動の指導法に関する実践研究—話し合いの力量形成に焦点を当てて．新潟医療福祉大学教職支援センター年報．2020；4：1-8.
2. 川口弘泰，佐藤裕紀．地域に愛着と誇りをもち，主体的に課題解決に取り組む児童の育成—子どもの主体性の度合いを測る『参加の梯子』の枠組みを用いて．教育研究論文集（公益財団法人新潟教育会）．2021；25：100-107.
3. 佐藤裕紀．各国の教科書制度・デンマーク王国．海外教科書制度調査研究報告書（公益財団法人教科書研究センター）．2020；291-298.
4. 佐藤裕紀．北欧の教育最前線 ICTで休校問題は解決するか？．教育新聞．2020．（参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20200418/>）
5. 佐藤裕紀．北欧の教育最前線 担い手不足の学校理事会．教育新聞．2020．（参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20191026/>）
6. 佐藤裕紀．北欧の教育最前線『ゲッター』と地域スポーツクラブ．教育新聞．2020．（参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20200919/>）
7. 佐藤裕紀．北欧の教育最前線 皇太子妃も取り組むデンマークのいじめ対策．教育新聞．2020．（参考URL:<https://www.kyobun.co.jp/close-up/cu20201114/>）
8. Ubukata K, Nishihara Y. Situated cognition among American football coaches in Japan: Effects of the ongoing method on their coaching cognition. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20-1: 12-20.
9. Nishihara Y. A discussion and review of research on embodied knowledge: focusing on body interactions and body techniques. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20-2: 45-60.
10. 鵜瀬亮一，石田航，生田孝至，内山渉，西原康行．Virtual Reality 視界動画を用いた大学野球選手育成の試み．新潟医療福祉学会誌，2021；20-3，54-59.
11. 西原康行．総合型地域スポーツクラブスタッフ研修における学びの検討：組織課題研修と自己課題研修の比較．スポーツ産業学研究（協力学術団体），2021；31-1：41-52.
12. 高橋孝輔，西原康行．スポーツ庁委託事業：大学スポーツ振興の推進事業成果報告書．2020：1-28.
13. 渡邊優子，西原康行．スポーツ庁委託事業：運動部活動改革プラン事業報告書．2021：1-57.
14. 山本悦史，武田丈太郎．体育スポーツ系学科におけるインターンシップ実習の再設計：医療福祉系大学健康スポーツ学科の事例分析を通じた検討．大学体育スポーツ学研究（協力学術研究団体）．2021

年；第18号：132-141.

15. 吉田重和. 各国の教科書制度・オランダ王国. 海外教科書制度調査研究報告書（公益財団法人教科書研究センター）. 2020；271-276.
16. 杉本洋. 当事者活動にみる多様性と創造性—メンタルヘルスに関連したパフォーマンス活動からの検討. 日本保健医療行動科学会雑誌. 2021；35(2): 48-56.
17. 吉田重和, 高田大輔. 非教員養成系大学における教員養成理念の受容実態—教職課程学生の目指す教師像を軸として. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2020；4：9-13.

3. 学会等研究発表

1. 五十嵐紀子, 佐藤裕紀, 杉本洋, 原口彩子. 当事者活動における苦悩のマネジメント—運営側の視点に着目して. 日本保健医療社会学会第46回大会（大阪（オンライン）・日本）, 2020.9.5-9.6.全員が筆頭
2. 五十嵐紀子, 杉本洋, 原口彩子, 佐藤裕紀. 当事者活動から見る支援の在り方：核となる対話の力. 第12回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会（広島・日本）, 2020.9.26-9.27.全員が筆頭
3. Nishihara Y. Changes in physical education teachers' situation awareness by using VR videos. 25th annual Congress of the European College of Sports Science (Spain 【Webinar】). 2020.10.28-10.30.
4. Nishihara Y. Physical education teachers' situation awareness by using VR videos: Comparison of skilled teachers and novice teachers. 19th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria 【Webinar】). 2020.8.25-28.
5. 西原康行. 視線計測法を用いた保育者の観察力の共有化のこころみ. 第73回日本保育学会（奈良女子大学【紙面討議】）, 2020.5.16-5.17. 【シンポジウム：指定討論者】
6. 石橋嘉一, 中川孝子, 三上ふみ子, 豊増桂子, 五十嵐紀子, 川本弥希. コミュニケーション教育の長期的学習成果の質的研究：看護学実習後のインタビュー調査, 日本教育工学会2020年秋季全国大会, オンライン開催, 2021.9.12-9.13.
7. 曾澤まりえ, 関久美子, 小林葉子, 五十嵐紀子, 川内規会. コミュニケーション能力をめぐって. 日本コミュニケーション学会2020年度東北支部定例研究会, オンライン開催, 2021.3.14. 【シンポジウム】
8. 湯本文子, 原口彩子. 自分に似た雑草を語ることの自己理解に対する効果. 人間・植物関係学会2020年度オンライン研究発表会, 2021.2.20.
9. 杉本洋. 当事者によるパフォーマンス活動から考える公衆衛生施策への提言—ヘルスプロモーション, オープンダイアログ, ハームリダクションといった流れから. 日本文化人類学会第54回研究大会（オンライン開催）, 2020.5.30.
10. Sugimoto H. The culture in performance groups related to mental illness. Transcultural Nursing Society Conference in Japan 2020 (Online). 2020.7.12.
11. Sugimoto H. Diversity and process in performance activities related to mental illness. 9th International Health Humanities Conference (Online). 2020.10.23-11.25.
12. Sugimoto H. Toward health anthropology: Consideration from the theory of health and practices of performance activities related to mental illness. 9th International Health Humanities Conference (Online). 2020.10.23-11.25.
13. 杉本洋. 当事者活動における共感の生成プロセス. 第26回日本精神保健社会学会学術大会（オンライン開催）, 2020.11.23.
14. 杉本洋. 「むきあう」なかで創造される「健康」(再掲). 第3回共創学会年次大会（オンライン開催）, 2020.12.5.
15. 杉本洋. 多組織が関係する当事者活動を通じた文化生成. 第13回文化看護学会（オンライン開催）, 2021.3.13-18.

16. 本間崇教, 山本悦史. スポーツ観戦者の地域意識：新潟県内のプロスポーツを事例として. 新潟県体育学会令和2年度大会（オンライン）, 2020.10.24.
 17. 山本悦史, 上田純平, 本間崇教. 価値共創の時代を見据えたプロスポーツ経営に関する一考察－新潟県を活動拠点とする3つのクラブの観戦者調査を踏まえて－. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）. 2020.10.31-11.15.
 18. 原京香, 吉田重和. 女性アスリートと指導者の性別に関する基礎的研究－文献研究を通じて. 第20回新潟医療福祉学会学術集会（新潟市）, 2020.10.31-11.15.
4. 学会活動
1. 日本生涯教育学会, 第41回大会, 実行委員長, 東京, 2020.11.13-11.14.
 2. 日本スポーツクラブミーティング2020研究集会, 大会実行委員長, 金沢市（On line）, 2020.11.28-11.29.
 3. 第6回日本スポーツコーチサミット, 実行委員長, Webinar, 2020.12.5-12.6.
5. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 下越地区連絡会, Withコロナの時代に新しい生活様式を守って生活する中, 心身の健康とコミュニティをどのように確保するか, 講師・パネルディスカッションコメンテーター, 新潟県消費者協会, 下越地区会員, 新潟市, 2020.10.30.
 2. 新潟県教育庁, 学校と地域の協働による部活動, 講師, 新潟県教育庁（スポーツ庁事業）, 新潟市, 2020.4.10.
 3. 新潟県教育庁, 学校と地域の協働による部活動, 講師, 新潟県教育庁（スポーツ庁事業）, 燕市, 2020.5.12.
 4. 長野県広域スポーツセンター研修会, スポーツ推進委員の役割, 講師, 長野県教育委員会（スポーツ庁事業）, Zoom, 2020.5.23.
 5. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会（スポーツ庁）, Zoom, 2020.6.20-6.21.
 6. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会（スポーツ庁）, Zoom, 2020.6.27-6.28.
 7. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会（スポーツ庁）, Zoom, 2020.10.24-10.25.
 8. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会（スポーツ庁）, Zoom, 2020.12.5-12.6.
 9. 新潟市ロータリークラブ, 定例研修会, 講師, 新潟市ロータリークラブ, 新潟市, 2020.12.18.
 10. 新潟県村上市教育委員会, コーチの資質, 講師, 村上市（新潟県教育庁）, 2020.11.20.
 11. 新潟県村上市教育委員会, コーチの役割, 講師, 村上市（新潟県教育庁）, 2020.1.14.
 12. 新潟県弥彦村教育委員会, コーチの資質, 講師, 弥彦村, 2020.11.28.
 13. 新潟県燕市教育委員会, コーチの資質, 講師, 燕市（新潟県教育庁）, 2021.1.23.
 14. 新潟県燕市教育委員会, コーチの役割, 講師, 燕市（新潟県教育庁）, 2021.1.23.
 15. 市民講座（共同募金助成事業）, 心を支えることとは, 講師, 傾聴サロン「にこっと」, 新潟市北区, 豊栄地区公民館, 2020.9.19.
 16. 市民講座（共同募金助成事業）, 死を考えるひとの心の情景を学ぶ, 講師, 傾聴サロン「にこっと」, 北区社会福祉協議会, 北区健康福祉課, 新潟市北区葛塚コミュニティ, 2021.3.6, 3.13.
 - 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 1. テレビ, NST Newsタッチ, リレーフォーライフのオンライン開催の紹介, 2020.9.22.
 2. 新潟の介護がよくわかる 介護施設・サービス・高齢者向け住宅総合ガイド 2020年版, 介護専門家コラム：なりたいたい人になるために, 2020.9.30.

3. 新聞, 新潟日報, 未来の教員育成へ連携 県内私大6校 県教委と意見交換, 2020.11.25.

3) 社会活動への参加協力

1. 一般社団法人IFAS, デンマーク・コーポラティブ・ラーニングトリップでの参加者の事前学習会, 講師, 東京 (オンライン), 2020.6.28.
2. 新潟県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
3. 長野県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
4. 富山県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
5. 石川県広域スポーツセンター, 指導助言, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
6. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
7. 総合型地域スポーツクラブ「ウェルネス村上」, 地域と学校の融合, アドバイザー, 2020.4.1-2021.3.31.
8. 新潟はっぴー乳ライフ, ピンクリボン委員, 新潟市 (オンライン), 2020.10.18.
9. 日本対がん協会, リレー・フォー・ライフ・ジャパンにいがた副実行委員長, 新潟市 (オンライン), 2020.9.21-9.22.
10. 新潟市動物愛護協会, ねこ委員会委員, 新潟市, 年間を通じた活動
11. 新潟アルビレックスBC, ホームゲーム観戦者調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, 長岡市・悠久山球場, 2020.10.4.
12. アルビレックス新潟レディース, ホームゲーム観戦者調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, デンカビッグスワンスタジアム, 2020.11.14.
13. 新潟アルビレックスBB, 市場調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, 長岡市・ながおか市民センター, 2020.11.23.
14. 新潟アルビレックスBB, ホームゲーム観戦者調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, 長岡市・アオーレ長岡, 2020.12.26.
15. 新潟アルビレックスBB, 後援会員調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, オンライン, 2021.1.1-1.31.
16. 新潟アルビレックスBC, 後援会員調査, 調査協力, 調査設計・調査実施・データ分析・報告書作成, オンライン, 2021.1.5-1.31.

6. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

1. 2018年度, 科研費若手研究, デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究, 研究代表者
2. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), 初任者教員の育成と支援に関する国際比較研究, 研究分担者
3. 2018年度, 科研費基盤研究 (C), 保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発, 研究分担者
4. 2018年度, 科研費基盤研究 (B), 授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築, 研究分担者
5. 2019年度, 科研費基盤研究 (B), VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発, 研究代表者
6. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 「心の支えイメージマップ」の自殺予防に対する有効性と学校教育導入の検討, 研究代表者
7. 2020年度, 科研費若手研究, 組織能力に応じたプロスポーツ事業創造モデルの検討, 研究代表者
8. 2020年度, 科研費基盤研究 (C), 比較教育研究におけるISCED活用の可能性—日蘭の職業教育プログラムを事例として, 研究代表者

(6) スポーツカウンセリング研究センター (Sports Counseling Research Center)

①研究テーマ

1. 競技力向上につながる心理的サポートの実践および研究
2. 専門家養成としての大学院生の実践的教育システムの構築
3. スポーツカウンセリングにおける来談ニーズおよび来談傾向の調査

②センター名簿

センター長：山崎史恵，教授

研究員：中島郁子，助教

研究員：齋藤大将，大学院修了生，新潟県健康づくりスポーツ医科学センター契約研究員

③主な活動内容

1. 学会等研究発表

1. 「エースが本番で力を発揮できない」と言われた大学生女子チームとのかかわり，第274回溪蓼塾心理教育相談室事例研究会，オンライン形式，2020.10.3.

2. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

1. 柏崎市スポーツ協会ジュニア育成指導者研修事業，ジュニア期の心の発達，講師，柏崎市スポーツ協会，スポーツ指導者，柏崎市，2020.11.4.

2) TV出演，ラジオ出演，新聞掲載，一般雑誌掲載等

1. ラジオ，FM NIIGATA，THE DREAMER'S with Standard新潟，2020.7.8.
2. 新聞，新潟日報，運動と心の健康，2020.5.6.

3) 社会活動への参加協力

1. 日本スポーツ心理学会，編集委員長，2019.11.17-現在.
2. 日本体育・スポーツ・健康学会，応用（領域横断）研究部会（スポーツ文化研究部会）委員，2020.8.7-現在.
3. 日本臨床心理身体運動学会 研修委員，2019.11.29-現在.
4. 日本臨床心理身体運動学会，倫理渉外委員，2019.11.29-現在.
5. 日本スポーツ心理学会，日本臨床心理身体運動学会，新潟県体育学会，理事，2020.4.1-2021.3.31.
6. 日本スポーツ振興センタースポーツ指導における暴力行為等に関する第三者相談・調査委員会，特別委員.
7. 新潟県体育協会，スポーツ選手のためのメンタル支援事業，新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター，相談員，新市，2020.4.1-2021.3.31.

3. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況

1. 2019年度，科研費基盤研究（C），アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した判断基準構築，山代幸哉・佐藤大輔・大森豪・山崎史恵，研究分担者.

4. その他の活動

1) スポーツカウンセリング来談受付業務（第3研究・実習棟J302相談室）

感染症防止の入構制限のため，定期的な相談室開設（通常月・火・木・金）は行わなかった.

2) 競技関係者を対象としたスポーツカウンセリング活動

本学アスリートに限り，相談の要望があった場合に対応した.

2020年度の来談者数は本学強化クラブ選手5名（前年度継続0名，新規5名），年間のべ面接数として，26回の相談面接（1回60分）を実施した.

(7) アスリートサポート研究センター (Athlete Support Research Center)

①研究テーマ

1. 本学強化クラブにおける外傷・障害状況調査とデータベース構築

2. 本学女子強化クラブ選手の障害, 栄養, 睡眠状況調査とサポート体制の構築
3. 第5中足骨骨折予防のための超音波検診
4. 脳震盪の病態解明と発症予防に関する研究
5. 前十靭帯発症予防の積極的介入研究

②センター名簿

センター長	：大森 豪	健康スポーツ学科	教授
副センター長	：江玉睦明	理学療法学科	教授
研究員	：稲葉洋美	健康栄養学科	教授
研究員	：菊元孝則	理学療法学科	講師
研究員	：熊崎 昌	健康スポーツ学科	講師
研究員	：三瀬貴生	健康スポーツ学科	講師
研究員	：松浦由生子	健康スポーツ学科	講師
研究員	：伊藤 涉	理学療法学科	助教
研究員	：平林 怜	理学療法学科	助教
研究員	：横田裕丈	理学療法学科	助教
研究員	：関根千恵	理学療法学科	助教

③主な活動内容

1. 著書

1. 大森豪；松本秀男, 熊井司, 西良浩一, 菅谷啓之, 吉矢晉一編. 高齢者アスリートに対する治療のポイント. スポーツ整形外科. 1版. 東京. 文光堂；2020：86-89.
2. 伊藤涉, 小林匠. 軟部組織損傷・障害の病態とリハビリテーションー組織特性に基づくアプローチ法の構築. 1版. 東京:メジカルビュー社；2020：455-469.

2. 論文

1. Yamada K, Yoichi M Ito, Akagi M, Chosa E, Fuji T, Hirano K, Ikeda S, Ishibashi H, Ishibashi Y, Ishijima Y, Itoi E, Iwasaki N, Izumida R, Kadoya K, Kamimura M, Kanaji A, Kato H, Kishida S, Mashima N, Matsuda S, Matsui Y, Matsunaga T, Miyakoshi N, Mizuta H, Nakamura Y, Nakata K, Omori G, Osuka K, Uchio Y, Ryu K, Sasaki N, Sato K, Senda M, Sudo A, Takahira N, Tsumura H, Yamaguchi S, Yamamoto N, Nakamura K, Ohe T. Reference value for the locomotive syndrome risk test quantifying mobility of 8681 adults aged 20-89 years; A cross sectional nationwide study in Japan. *J Orthop Sci* 2020; 25: 1084-1092. (原著論文)
2. Nishino K, Yamamoto N, Tanaka M, Ohishi T, Tanaka Y, Okamura N, Sekine H, Arakawa M, Omori G. Effect of Throwing Kinematics and Kinetics on Different Ranges of Long Toss in Youth Baseball Players. *ISEA Proseedings 2020*; 49: 118. <https://doi.org/10.3390/proceedings2020049118>. (国際学会抄録ですが論文扱いとなっています)
3. Ikenaga M, Okuma N, Nishiyama H, Chiba S, Nishino K, Omori G, Nunome H. Influence of Ball Impact Location on Racquet Kinematics, Forearm Muscle Activation and Shot Accuracy during the Forehand Groundstrokes in Tennis. *ISEA Proceedings 2020*; 49: 89. <https://doi.org/10.3390/proceedings2020049089>. (国際学会抄録ですが論文扱いとなっています)
4. Edama M, Inaba H, Hoshino F, Natsui S, Maruyama S, Omori G. The relationship between the female athlete triad and injury rates in collegiate female athletes. *PeerJ*. 2021.
5. 渡辺輝也, 松尾信之助, 三瀬貴生. ハードル走の学習過程で発生した非接触型膝前十字靭帯損傷再受傷症例ー専門実技ハードルにおけるハードル走の指導のあり方についての事例的検討ー. 日本陸上競技学会誌 (協力学術研究団体), 2021; 19 (5) : 51-57.
6. Yokota H, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Inukai Y, Nagasaka K, Onishi H. Region-specific effects of 10-Hz transcranial alternate current stimulation over the left posterior parietal

cortex and primary somatosensory area on the tactile two-point discrimination threshold. 2021; 13: 1-8.

7. Edama M, Takabayashi T, Hirabayashi R, Yokota H, Inai T, Sekine C, Matsuzawa K, Otsuki T, Maruyama S, Kageyama I. Anatomical variations in the insertion of the peroneus longus tendon. *Surgical and Radiologic Anatomy*. 2020; 42 (10): 1141-1144.

3. 報告書

1. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト（女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究）」, 2020年度, 江玉睦明, 稲葉洋美, 大森豪

4. 学会等研究発表

1. 大森豪. 成長期スポーツ診療の注意点. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）【教育研修講演】
2. 菊元孝則, 久保雅義, 大森豪. 慢性足関節不安定症が片脚着地動作時の膝関節に与える影響. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）【シンポジウム】
3. 三瀬貴生, 熊崎昌, 平林愴, 江玉睦明, 伊藤渉, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 横田裕文, 阿久澤弘, 金岡恒治. 水泳動作中の肩甲骨周囲筋活動にエクササイズ介入が与える即時効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
4. 富山泰之, 大森豪, 山本智章, 菊池達哉. 膝蓋骨疲労骨折に治療経験と再発症例についての検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
5. 平林愴, 横田裕文, 伊藤渉, 三瀬貴生, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 江玉睦明. 噛みしめが及ぼす脊髄機能と運動パフォーマンスへの効果. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
6. 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 横田裕文, 平林愴, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤渉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリート三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
7. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 横田裕文, 平林愴, 関根千恵, 稲葉洋美, 大森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
8. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉睦明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林愴, 大森豪. 大学寮に住む大学生女子アスリートの栄養素等摂取量に関する報告. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
9. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林愴, 中村絵美, 三瀬貴生, 横田裕文, 大森豪. 大学女子バレーボール選手のエネルギー摂取量と身体活動量に関する報告. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
10. 高林知也, 江玉睦明, 大森豪, 久保雅義. ランニング中のショパール関節およびリスフラン関節モーメントの定量化の試み. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
11. 松澤寛大, 江玉睦明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕文, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男. 浅指屈筋の各指の筋腹の形態学的特徴. 第31回日本臨床スポーツ医学会（宮崎市）, 2020.11.4-11.30.（オンライン開催）
12. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定クラブ女子選手における月経状況と栄養素等摂取状況に関する報告. 第67回日本栄養改善学会, 2020.9, 誌上開催
13. 稲葉洋美, 江玉睦明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕文, 関根千恵, 伊藤渉, 平林愴, 濱野礼奈, 大森豪. 大学女子バレーボール選手の利用可能エネルギー. 第20回新潟医療福祉学会, 2020.11, 誌上開催

14. 星野美美, 稲葉洋美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪, 大学強化部女子選手の睡眠と食事状況に関する調査報告, 第67回日本栄養改善学会, 2020.9, 誌上開催
 15. 星野美美, 真島一郎, 稲葉洋美, 江玉睦明, 大森豪, 大学生男子アスリートの睡眠状況ならびに栄養素等摂取状況に関する横断調査, 第20回新潟医療福祉学会, 2020.11, 誌上開催
 16. 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤渉, 横田裕丈, 平林愴, 大森豪, 本学アスリートサポート研究センターにおける脳振盪予防プログラムの試み, アスレティックトレーニング学会, 2020.12.
 17. 三瀬貴生, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充, 阿久澤弘, 金岡恒治, 競泳選手における肩関節不安定性保有率の年代間比較, 第9回日本アスレティックトレーニング学会学術大会(東京;オンライン), 2020.12.1-12.31.
 18. 吉岡乾太, 松澤寛大, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 江玉睦明, 異なる負荷量の肘外反ストレスにおける肘外反不安定性の変化, 第25回日本基礎理学療法学会学術集会(仙台), 2020.12.13-12.18.
 19. 松澤寛大, 江玉睦明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 影山幾男, 肘尺側副靭帯の横走線維束と前部線維束の関係, 第25回日本基礎理学療法学会学術集会(仙台), 2020.12.13-12.18.
 20. 平林愴, 江玉睦明, 噛みしめが運動パフォーマンスに及ぼす影響: 脊髄機能との検証, 第31回日本スポーツ歯科医学会学術大会(広島市), 2020.12.4-12.5.
 21. 縄涼平, 平林愴, 山田勇輝, 齊藤ありさ, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明, 前脛骨筋への異なる振動刺激が筋パフォーマンスに及ぼす即時効果の検討, 第25回日本基礎理学療法学会学術集会(web), 2020.12.13-12.18.
 22. 山田勇輝, 平林愴, 齊藤ありさ, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明, 異なる噛みしめ強度が足関節背屈パフォーマンスにおよぼす影響, 第25回日本基礎理学療法学会学術集会(web), 2020.12.13-12.18.
 23. 齊藤ありさ, 平林愴, 山田勇輝, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明, 噛み締め強度の変化がIa相反抑制と脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響, 第25回日本基礎理学療法学会学術集会(web), 2020.12.13-12.18.
5. 学会活動
1. 関節鏡手術セミナー, 第20回関節鏡手術セミナー, 会長, 新潟市(オンライン開催), 2020.8.22, 大森豪
 2. 日本臨床バイオメカニクス学会, 第47回日本臨床バイオメカニクス学会in Niigata, 会長, 新潟市(ハイブリッド・オンライン開催), 2020.11.6-11.7, 大森豪
 3. 膝OAと運動・装具療法研究会, 第15回膝OAと運動・装具療法セミナー, 会長, 東京都(オンライン開催), 2021.1.29, 大森豪
 4. 新潟県スポーツドクター協会, スポーツ医学再研修会, 会長, 新潟市(ハイブリッド・オンライン開催), 2021.3.27, 大森豪
 5. 日本臨床バイオメカニクス学会, 将来構想委員会委員長, 学会誌査読委員, 大森豪
 6. 日本臨床スポーツ医学会, 教育研修委員会委員長, 学会誌査読委員, 大森豪
 7. 日本整形外科学会英文誌(J orthop Sci)査読委員, 大森豪
 8. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 機能評価委員会委員長, 広報委員会委員, 学会誌査読委員, 大森豪
 9. 日本整形外科学会, 変形性膝関節症ガイドライン作成委員会委員, 大森豪
 10. 日本整形外科学会スポーツ医学会, 学会誌査読委員, 大森豪
 11. 日本運動器shock wave研究会, 監事, 大森豪
 12. 日本人工関節学会, 専門医制度認定委員会委員, 大森豪
 13. 日本運動器科学会, 学会誌査読委員, 大森豪

14. 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会および日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 第12回+第46回学術集会教育研修講演, 座長, 札幌市(オンライン開催), 2020.12.17-12.19, 大森豪
 15. 日本整形外科学会, 第35回日本整形外科学会基礎学術集会, 座長, 東京都(オンライン開催), 2020.10.15-10.16, 大森豪
 16. 日本アスレティックトレーニング学会, 日本アスレティックトレーニング学会誌, 査読, 伊藤渉
 17. 新潟医療福祉学会, Niigata Journal of Health and Welfare, 査読, 伊藤渉
 18. 日本理学療法士協会, ガイドライン・用語策定委員会, 足関節・足部機能障害理学療法ガイドラインシステムティックレビュー班班員, 伊藤渉
 19. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会. スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会第38回研修会, 一般演題座長・表彰審査委員, オンライン開催, 2021.2.28, 伊藤渉
 20. 日本アスレティックトレーニング学会誌, 査読, 三瀬貴生
 21. 日本水泳・水中運動学会, 事務局, 会計, 三瀬貴生
 22. Experimental Brain Research, 査読, 平林怜
 23. International Journal of Environmental Research and Public Health, 査読, 平林怜
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟市中体連部活指導者研修会・新潟スポーツ傷害フォーラム指導者セミナー. 講演タイトル: 成長期のスポーツ外傷・障害. 役割: セミナー講師. 主催者: 新潟県スポーツドクター協会. 対象者: 体育教員および部活指導者. 新潟市. 2020.9.18, 大森豪
 2. 新潟県養護教員12年研修会. 講演タイトル: 成長期のスポーツ外傷・障害. 役割: 研修会講師. 主催者: 新潟県教育委員会. 対象者: 新潟県養護教員. 新潟市. 2020.10.1, 大森豪
 3. 2020年度日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成研修会. 講演タイトル: 中高年者とスポーツ(整形外科系). 役割: 研修会講師. 主催者: 日本スポーツ協会. 対象者: スポーツドクター希望医師歯科医師. 東京都(オンライン開催). 2020.10.10, 大森豪
 4. スポーツ・ヘルスケア産業創出に係るシンポジウム. 講演タイトル: 産学連携の事例とアスリートサポート研究センターの可能性. 役割: 講演者(シンポジスト). 主催者: 新潟医療福祉大学. 対象者: 一般者. 新潟市(オンライン開催). 2022.2.6, 大森豪
 5. スポーツ傷害予防フェスタ in NUHW. 講演タイトル: 小学生の身体とミニバスケットボールのけが. 役割: 講演者. 主催者: 新潟医療福祉大学. 対象者: 小学生, ミニバス指導者, 保護者. 新潟市(Web講義). 2021.2.6, 大森豪
 6. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技 3期生拠点活動 第1回合宿, トレーニング講師, 長岡市, 2020.10.23-10.25, 伊藤渉
 7. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技 3期生拠点活動 第2回合宿, トレーニング講師, 長岡市, 2020.11.6-11.7, 伊藤渉
 8. ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト, 水泳飛込競技 3期生拠点活動 第2回合宿, トレーニング講師, 長岡市, 2020.12.18-12.20, 伊藤渉
 9. 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会第5期講習会, 泳動作のアスレティックリハビリテーション, 講師, 日本スポーツ協会, 受講者, オンライン, 2020.11.30-12.20, 三瀬貴生
 10. 日本水泳トレーナー会議 中部・北信越, 東北・北海道合同ブロック研修会, ジュニア競泳選手のコンディショニングー肩障害に着目してー, 講師, 日本水泳ドクター会議・トレーナー会議, ドクター・トレーナー, 新潟リハビリテーション病院(オンライン), 2021.2.13, 三瀬貴生
 11. 日本基礎理学療法学会, 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, シンポジウム講師, web, 2020.12.13-12.18, 平林怜
 12. 運動指導者講習会, 上肢の機能解剖と上肢のスポーツ障害に対するリハビリテーション, 講師, 三

条市体育文化会館, 健康運動士・健康運動実践指導者, web, 2020.2.27, 平林怜

2) 社会活動への参加協力

1. 新潟県スポーツ推進審議会 (委員), 大森豪
2. 新潟バイオリサーチパーク 食品ヒト試験審査委員, 稲葉洋美
3. NPO 法人IPA JAPAN, 副代表, 横田裕丈

7. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト (女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究)」, 江玉睦明 (代表者), 大森豪, 稲葉洋美 (研究分担者)

8. その他の活動

1. 秋季大学北信越バレーボール選手権大会, メディカルサポート, 富山県富山市, 2020.11.1, 江玉睦明
2. 全日本インカレ, メディカルサポート, 東京都, 2020.11.30-12.2, 江玉睦明
3. なでしこチャレンジリーグ医事支援, 新潟市, 2020.7-9, 大森豪
4. 新潟医療福祉大学女子バレーボール部選手, 個別栄養指導, 15回 (2020.6.9, 6.19, 6.30, 7.6, 7.14, 7.21, 8.27, 9.10, 9.24, 10.16, 11.16, 12.17, 2021.1.6, 2.23, 3.18), 稲葉洋美
5. 新潟医療福祉大学女子バスケットボール部, 個別栄養指導, 3名, 2020.9.8, 稲葉洋美
6. 新潟県ラグビーフットボール協会, 第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会新潟県大会 第1回戦, 大会救護, 鳥屋野球技場, 2020.9.12, 伊藤渉
7. 新潟県ラグビーフットボール協会, 第100回全国高等学校ラグビーフットボール大会新潟県大会 第2回戦, 大会救護, 長岡NT球技場, 2020.9.19, 伊藤渉
8. 株式会社アクアシガータ, アクシーひがしスイミングスクールに対するトレーナーサポート, 新潟市, 2020.4.1-2021.3.31, 三瀬貴生
9. 京都踏水会, 強化選手コースに対するトレーナーサポート, オンライン, 2020.7.25, 三瀬貴生
10. 陸上競技部, アスリートサポート, 2020.4-2021.3, 横田裕丈
11. 陸上競技部, 天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会, 新潟, メディカルトレーナー, 2020.9.17-9.19, 横田裕丈
12. 北信越大学サッカー連盟, メディカルサポート, 北信越大学サッカーリーグ1部, 新潟市, 2020.9.19, 平林怜
13. 公益財団法人日本サッカー協会, メディカルサポート, 天皇杯新潟県予選, 新発田市, 2020.8.23, 平林怜
14. 全日本大学サッカー連盟, メディカルサポート, 第69回全日本大学サッカー選手権大会, 東京, 2021.1.7, 平林怜

(8) 身体教育研究センター (Physical Education Research Center)

①研究テーマ

1. 幼児・学童・青年の体力・運動能力向上, スポーツの知識・技術向上の研究
2. 幼児・学童・青年の体力・運動能力向上, スポーツの知識・技術向上のための指導者の教授方法の研究

②センター名簿

センター長 : 西原康行
副センター長 : 佐近慎平
研究員 : 杉崎弘周
研究員 : 鶴瀬亮一
研究員 : 高田大輔

③主な活動内容

1. 著書

1. 西原康行. 改訂 図で学ぶスポーツマネジメント論. 神奈川：現代図書；2020：1-172.
 2. 西原康行. スポーツ推進委員の資質向上と人材発掘. みんなのスポーツ. 東京：日本体育社；2020：15-18.
 3. 森昭三, 佐伯年詩雄, 阿江美恵子, 植田誠治, 大橋美勝, 岡崎勝博, 尾縣貢, 賀川昌明, 笠原賀子, 菊幸一, 木塚朝博, 鬼頭英明, 厨義弘, 黒木俊秀, 近藤真庸, 佐見由紀子, 下村義夫, 新宮領毅, 杉崎弘周, 助友裕子, 照屋博行, 戸野塚厚子, 中村和彦, 西岡伸紀, 廣橋義敬, 藤沢謙一郎, 藤田紀昭, 松田恵示, 松本格之祐, 三木四郎, 武藤芳照, 物部博文, 山梨八重子. 文部科学省検定済教科書 中学保健体育. 東京：学研教育みらい；2020：執筆箇所非公表
 4. 石井里佳, 石坂友司, 井戸晶子, 稲葉佳奈子, 入谷仁士, 上野佳代, 岡山睦美, 木越清信, 黒川修行, 小浜明, 近藤真庸, 坂田利弘, 佐見由紀子, 下村義男, 杉崎弘周, 助友裕子, 曾武川隆, 高橋岳, 高本恵美, 千葉久美子, 戸野塚厚子, 鳥羽ちとせ, 藤田大輔, 眞鍋芳明, 丸山久志, 物部博文, 山内康彦, 山梨八重子. 中学保健体育の研究 朱書き編. 東京：学研教育みらい；2020：160-163.
 5. 石井里佳, 石坂友司, 井戸晶子, 稲葉佳奈子, 入谷仁士, 上野佳代, 岡山睦美, 木越清信, 黒川修行, 小浜明, 近藤真庸, 坂田利弘, 佐見由紀子, 下村義男, 杉崎弘周, 助友裕子, 曾武川隆, 高橋岳, 高本恵美, 千葉久美子, 戸野塚厚子, 鳥羽ちとせ, 藤田大輔, 眞鍋芳明, 丸山久志, 物部博文, 山内康彦, 山梨八重子 (五十音順). 中学保健体育の研究 研究編3年. 東京：学研教育みらい；2020：54-65.
 6. 今村修, 野津有司, 上地勝, 植田誠治, 横嶋剛, 物部博文, 長岡知, 今関豊一, 七木田文彦, 山本浩二, 野村良和, 岡出美則, 森良一, 岡崎勝博, 荒井信成, 藤原昌太, 西岡伸紀, 伊佐野龍司, 助友裕子, 木原慎介, 片岡千恵, 岩田英樹, 久保元芳, 小浜明, 徐広孝, 杉崎弘周, 佐見由紀子, 赤田信一, 菅沼徳夫, 山合洋人, 渡部基, 山田浩平 (執筆順). 保健科教育学の探求, 東京：大修館書店；2020：258-265.
2. 論文
1. Ubukata K, Nishihara Y. Situated cognition among American football coaches in Japan: Effects of the ongoing method on their coaching cognition. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20-1: 12-20.
 2. Nishihara Y. A discussion and review of research on embodied knowledge: focusing on body interactions and body techniques. Niigata Journal of Health and Welfare. 2020; 20-2: 45-60.
 3. 西原康行. 総合型地域スポーツクラブスタッフ研修における学びの検討：組織課題研修と自己課題研修の比較. スポーツ産業学研究 (協力学術団体), 2021：31-1：41-52.
 4. 物部博文, 杉崎弘周, 上地勝, 藤原昌大, 山田浩平, 沢田真喜子, 森良一, 横嶋剛, 植田誠治. 校長からみた児童生徒の保健・安全への教員の対応場面での課題と教員養成段階における学修の必要性—小学校・中学校・高等学校長を対象とした全国調査—. 学校保健研究 (協力学術団体). 2021. 62(6) 398-410.
 5. 杉崎弘周. がん教育をテーマとした中学校での実践 (1). 体育科教育. 2020；68 (8)：68-71.
 6. 杉崎弘周. 子供の実態に関する研究を踏まえたがん教育. 初等教育資料. 2020；996 (8)：76-79.
 7. 杉崎弘周. 曾武川隆. がん教育をテーマとした中学校での実践 (2). 体育科教育. 2020；68 (9)：60-63.
 8. 物部博文, 杉崎弘周. 知ろう考えよう新型コロナウイルス感染症を想定した新しい生活様式. 体育・保健体育ジャーナル. 2020；臨時増刊号：1-4.
 9. 物部博文, 杉崎弘周. 保健の授業や指導を生かした感染症予防や新しい生活様式についての指導①. 体育・保健体育ジャーナル. 2020；9：1-4.
 10. 杉崎弘周. 保健の授業や指導を生かした感染症予防や新しい生活様式についての指導②. 体育・保健体育ジャーナル. 2020；10：1-4.
 11. 井出孝介, 藤原昌太, 杉崎弘周, 上地勝, 今村修, 物部博文. 職場のストレスによって休職・離職に

陥った小学校教員の事例研究. 横浜国立大学教育学部紀要 I 教育科学. 2021 ; 219-233.

12. 佐野史織, 郡司菜津美, 井出孝介, 沢田真喜子, 杉崎弘周, 有元典文, 物部博文. 学校における保健・安全に関連した指導での外部講師活用に伴う課題. 横浜国立大学教育学部紀要 I 教育科学. 2021 ; 1-17.
 13. 金子勝司, 高橋晶太, 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明. コロナ禍における子どもの学習・運動に関する保護者の意識調査 - 幼少期の子どもを抱える保護者に対するインタビュー調査を通して. 別冊・総合人間科学. 2021 ; 3 : 3-14.
 14. 金子勝司, 佐近慎平, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明. コロナ禍における大学教育の取り組みについて - 実技授業の実施に着目して -. 別冊・総合人間科学. 2021 ; 3109-122.
 15. 佐近慎平, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 小池和幸, 仲野隆士. 初等教育における主体的・能動的な学びによるオリンピック・パラリンピック教育の開発—レクリエーション指導/支援技術を活用したパラリンピック教育—. 自由時間研究. 2021 ; 46 : 31-41.
 16. 中曽根裕, 佐近慎平, 金子勝司, 本田理沙, 小田幹雄, 橋浦孝明, 菅原一昭, 仲野隆士. 保育者の運動あそび時の関わりについての検討—レクリエーション資格を有する保育者に着目して—. 自由時間研究. 2021 ; 46 : 70-78.
 17. 本多理紗, 金子勝司, 中曽根裕, 橋浦孝明, 蔵満保幸, 新井貢, 佐近慎平. ネットワーク構築につながる健康体操教室の継続要因について—長期継続している中高年者に着目して—. 自由時間研究. 2021 ; 46 : 42-52.
 18. 鵜瀬亮一, 石田航, 生田孝至, 内山渉, 西原康行. Virtual Reality 視界動画を用いた大学野球選手育成の試み. 新潟医療福祉学会誌, 2021 ; 20-3, 54-59.
 19. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 下門洋文, 吉松梓, 鵜瀬亮一, 高田大輔. 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 大学体育スポーツ学研究 ; 2021 : 179.
 20. 吉田重和, 高田大輔. 教員養成理念の受容実態に関する事例検討—「教職実践演習」における課題分析を手がかりに—. 新潟医療福祉大学教職支援センター年報. 2020 ; 4 : 9-13.
 21. 高橋孝輔, 西原康行. スポーツ庁委託事業：大学スポーツ振興の推進事業成果報告書. 2020 : 1-28.
 22. 渡邊優子, 西原康行. スポーツ庁委託事業：運動部活動改革プラン事業報告書. 2021 : 1-57.
 23. 佐近慎平. 令和2年度新潟県村上市幼児の体力向上事業調査報告書. 2021 : 1-31.
 24. 佐近慎平. 令和2年度新潟県新発田市「パラスポーツ出前講座」報告書. 2021 : 1-30.
 25. 新潟県教育委員会, 佐近慎平, 秋和真澄, 三津輪宏之, 加納雅義, 飯塚進, 北原利章, 佐藤研一郎, 小田俊裕, 小山史. 令和2年度新潟県オリンピック・パラリンピック教育実践報告. 2021 : 1-28.
3. 報告書
 1. 鵜瀬亮一. 若手研究, VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み, 研究成果報告書, 令和2年度—令和4年度, 研究代表者
 4. 学会等研究発表
 1. Nishihara Y. Changes in physical education teachers' situation awareness by using VR videos. 25th annual Congress of the European College of Sports Science (Spain 【Webinar】). 2020.10.28-10.30.
 2. Nishihara Y. Physical education teachers' situation awareness by using VR videos: Comparison of skilled teachers and novice teachers. 19th International Conference "Education, Research and development". (Bulgaria 【Webinar】). 2020.8.25-8.28.
 3. 鵜瀬亮一, 大矢真史, 内山渉, 西原康行. 野球の投手指導における熟達指導者と未熟達指導者の状況認知. 第20回新潟医療福祉学会. 2020.10.31-11.15.
 4. 佐近慎平, 西原康行, 金子勝司, 中曽根裕, 本多理紗, 橋浦孝明, 小池和幸, 仲野隆士. レクリエーション指導/支援技術教育を用いた保育士志望学生の保育力量形成の検証. 令和2年度日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議全国オンライン集会, 2020.11.14.

5. 佐近慎平, 西原康行. 保育士志望学生の事例動画省察の構造に関する研究. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31-11.15.
 6. 佐藤敏郎, 武田丈太郎, 下門洋文, 吉松梓, 鶴瀬亮一, 高田大輔. 大学生における体力・学業と生活状況との関係の性差. 第8回大学体育スポーツ研究フォーラム (オンライン), 2021.2.22.
5. 学会活動
1. 西原康行. 視線計測法を用いた保育者の観察力の共有化のころみ. 第73回日本保育学会 (奈良女子大学【紙面討議】), 2020.5.16-5.17. 【シンポジウム: 指定討論者】
 2. 日本保健科教育学会, 第5回研究大会, 実行委員, オンライン開催, 2020.12.20.
 3. 日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議全国オンライン集会, 特任幹事, オンライン, 2020.11.14.
 4. 新潟県体育学会, 令和2年度学会, 実行委員, オンライン開催, 2020.10.24.
 5. 大学体育スポーツ教育学研究 査読委員
 6. スポーツ産業学研究 査読委員
 7. 体育学研究 査読委員
 8. 大学体育スポーツ学研究 (第18号), 査読員
 9. Educational Technology Research, Peer Reviewer
 10. ECNSI Journal of Education, Editorial Board
 11. 日本体育・スポーツ・健康学会 評議員
 12. 大学体育スポーツ教育学研究 編集委員
6. 社会活動
- 1) 公開講座・講演会等
 1. 新潟県教育庁, 学校と地域の協働による部活動, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 新潟市, 2020.4.10.
 2. 新潟県教育庁, 学校と地域の協働による部活動, 講師, 新潟県教育庁 (スポーツ庁事業), 燕市, 2020.5.12.
 3. 本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2020.6.20-6.21.
 4. 日本スポーツ協会, 上級コーチ養成研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2020.6.27-6.28.
 5. 新潟県教育庁教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員会地域セミナー, オリンピック・パラリンピック教育について, 講師, 新潟県教育庁教育委員会, 新潟県庁, 2020.8.18.
 6. 新潟市北区基幹保育園研修会, 楽しさが先導する幼児の体育・運動遊び, 講師, 新潟市北区役所健康福祉課, 新潟市北区保育者, 豊栄地区公民館, 2020.10.31.
 7. 日本スポーツ協会, 共通Ⅲコーチ研修会, 講師, 日本スポーツ協会 (スポーツ庁), Zoom, 2020.10.24-10.25.
 8. 長岡市立大河津小学校校内授業研修会, ゲーム, ボール運動における教材・教具づくりのポイント, 講師 (講義・指導講評), 長岡市立大河津小学校, 小学校教員, 新潟市, 2020.10.30.
 9. 南魚沼市指導者講習会, 小中学生指導法について, 講師, ベースボールマガジン社, 市内指導者20名, ベーマガスタジアム, 2020.11.3.
 10. 新潟市東区基幹保育園研修会, 楽しさが先導する幼児の体育・運動遊び, 講師, 新潟市東区役所健康福祉課, 新潟市東区保育者, 新潟市東区役所, 2020.11.12.
 11. 指導者プログラム実践研修会 (スポーツ庁「部活動改革プラン」事業委託), スポーツの種目特性: 種目特性と指導 (教材・教具づくり) のポイント, 講師 (講義), NPO法人希楽々, 部活動指導者, 外部指導者, 保護者等, 村上市, 2020.11.13.
 12. 長岡市未経験者野球教室, 未経験者に対する野球遊び教室, 講師, 長岡市スポーツ協会, 小学生

- 53名，長岡ニュータウン公園，2020.11.14.
13. 長岡市指導者講習会，ジュニアのための投球指導，講師，長岡市スポーツ協会，市内指導者22名，長岡ニュータウン公園，2020.11.14.
 14. 新潟県放課後児童支援員研修，子どもの発達理解，講師，新潟県，新潟県民，上越市，2020.11.17.
 15. 新潟県放課後児童支援員研修，児童期（6～12歳）の生活と発達，講師，新潟県，新潟県民，上越市，2020.11.17.
 16. 新潟県村上市教育委員会，コーチの資質，講師，村上市（新潟県教育庁），2020.11.20.
 17. 新潟県放課後児童支援員研修，子どもの発達理解，講師，新潟県，新潟県民，長岡市，2020.11.24.
 18. 新潟県放課後児童支援員研修，児童期（6～12歳）の生活と発達，講師，新潟県，新潟県民，長岡市，2020.11.24.
 19. 新潟県弥彦村教育委員会，コーチの資質，講師，弥彦村，2020.11.28.
 20. 日本スポーツ協会，共通Ⅲコーチ研修会，講師，日本スポーツ協会（スポーツ庁），Zoom，2020.12.5-12.6.
 21. 新潟県軟式野球連盟指導者講習会，講師，ウォーミングアップから守備基礎，新潟県軟式野球連盟，県内指導者25名，ハードオフエコスタジアム，2020.12.5.
 22. 沼垂小学校授業研究指導案検討会，小学校高学年における跳び箱運動の授業づくり・教材づくりについて，講師（講義），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2020.12.7.
 23. 新潟県放課後児童支援員研修，障害のある子どもの理解，講師，新潟県，新潟県民，長岡市，2020.12.8.
 24. 新潟県放課後児童支援員研修，障害のある子どもの育成支援，講師，新潟県，新潟県民，長岡市，2020.12.8.
 25. 令和2年度長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業 新潟医療福祉大学野球教室，講師，ウォーミングアップから打撃まで，小千谷市，中学1・2年生63名，東小千谷体育館，2020.12.12.
 26. 令和2年度長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業 新潟医療福祉大学野球教室，講師，ウォーミングアップから打撃まで，小千谷市，小学生4～6年生73名，東小千谷体育館，2020.12.13.
 27. 新潟市ロータリークラブ，定例研修会，講師，新潟市ロータリークラブ，新潟市，2020.12.18.
 28. 沼垂小学校校内研修会，よく考える子の育成－主体的な思考を促す課題を工夫し，かかわり合いを通して自分の考えをもたせる授業づくり－，講師（講義・指導講評），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2020.12.21.
 29. 新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業，モデル研修会，講師，新潟県・新潟県スポーツ協会，新潟県民，2020.12.22.
 30. 新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業，普及啓発セミナー，講師，新潟県・新潟県スポーツ協会，新潟県民，2020.12.22.
 31. 新潟県村上市教育委員会，コーチの役割，講師，村上市（新潟県教育庁），2020.1.14.
 32. 沼垂小学校授業研究指導案検討会，小学校低学年における投動作の習得と「投の運動遊び」の授業づくり・教材づくりについて，講師（講義），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2021.1.14.
 33. 新潟県燕市教育委員会，コーチの資質，講師，燕市（新潟県教育庁），2021.1.23.
 34. 新潟県燕市教育委員会，コーチの役割，講師，燕市（新潟県教育庁），2021.1.23.
 35. 新潟市中央区基幹保育園研修会，楽しさが先導する体の動きづくり，講師，新潟市中央区役所健康福祉課，新潟市中央区保育者，オンライン，2021.1.21.
 36. 沼垂小学校校内研修会，児童が課題と向き合い，関わり合い・思考を促す授業づくり，講師（講義・指導講評），新潟市立沼垂小学校，小学校教員，新潟市，2021.1.29.
 37. 新潟県教育庁教育委員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員会地域セミナー，新潟県のパラリンピック教育について，講師，新潟県教育庁教育委員会，オンライン，2021.2.22.

38. 新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業, 専門人材養成研修, 講師, 新潟県・新潟県スポーツ協会, 新潟県民, 2021.3.2.
 39. 燕市スポーツ協会指導者育成プログラムスポーツ指導者向け講習会, 第2部スポーツ教育法: ①スポーツ特性論, ②スポーツの指導計画, 内容, 評価の立て方, 講師(講義), 燕市教育委員会, 小学校教員, スポーツ少年団指導者, 各種協会会員等, 燕市, 2021.3.27.
- 2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
1. Teny, 夕方ワイド新潟一番, 東京五輪・パラリンピック延期による新潟への影響, 2020.4.1.
 2. TV出演, NHK新潟, 「にいがたニュース610」・室内で簡単に楽しくできる運動, 2020.4.2.
 3. 雑誌, 大学野球 春季リーグ戦展望号(ベースボールマガジン社)新監督特集, 2020.4.2.
 4. UX, スーパーJにいがた, 東京オリンピック, 合宿地の今, 2020.4.24.
 5. 信越放送(SBC), ネットワークトゥデイ, 東京五輪を考える: 長野オリンピックの経験から, 2020.5.3.
 6. 新聞, 新潟日報朝刊, 活動自粛続く県内スポーツ界, 2020.5.15.
 7. 新聞, 新潟日報朝刊, 医福大野球部活動再開, 2020.5.27.
 8. 新聞, スポーツニッポン, 医福大野球部53日ぶり球音戻る, 2020.5.27.
 9. 新潟日報【囲み記事】, 再考 スポーツのチカラ, 2020.6.1.
 10. WEB, パラサポWEB, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
 11. WEB, マイナビニュース, 「パラスポーツに力を入れる4大学」, 2020.6.8.
 12. Teny, 夕方ワイド新潟一番, 東京五輪延期のこれから, 2020.7.30.
 13. 新聞掲載, 新潟日報, 「新型コロナウイルスの影響による子どもの運動離れ」, 2020.8.25.
 14. 新聞, スポーツニッポン, エキシビジョントーナメント開幕記事, 2020.8.14.
 15. 新聞, スポーツニッポン, エキシビジョントーナメント開幕記事, 2020.8.15.
 16. 新聞, スポーツニッポン, 4年生メモリアルマッチ記事, 2020.8.20.
 17. 新聞, 毎日新聞, 事故契機に「野球」復帰, 2020.8.27.
 18. 新聞, 日刊スポーツ, 秋季リーグ開幕記事, 2020.9.4.
 19. 新聞, 新潟日報, 秋季リーグ開幕記事, 2020.9.5.
 20. WEB, NHK NEWS WEB, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 21. WEB, NSTホームページ, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 22. TV, NHK新潟, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 23. TV, NST, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.7.
 24. 新聞掲載, 新潟日報, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.10.
 25. 新聞掲載, 産経新聞, 【新潟医療福祉大学】パラスポーツの普及を目指した新発田市との連携事業 小学生対象の「パラスポーツ出前講座」を実施しました!, 2020.9.11.
 26. WEB, BtoBプラットフォーム業界ch, 「新発田市の小学校で車いすバスケの体験授業」, 2020.9.11.
 27. WEB, 財経新聞, 【新潟医療福祉大学】パラスポーツの普及を目指した新発田市との連携事業 小学生対象の「パラスポーツ出前講座」を実施しました!, 2020.9.11.
 28. 新聞, 新潟日報, 秋季リーグ新潟開催記事, 2020.9.21.
 29. 新聞, スポーツニッポン, 秋季リーグ決勝R関連記事, 2020.9.30.
 30. 新聞, スポーツニッポン, 秋季リーグ決勝R関連記事, 2020.10.2.
 31. WEB, 教育課程新聞, 教育委員会/新潟医療福祉大学との連携事業を実施 小学生がパラスポーツを体験【新潟県新発田市】, 2020.10.5.
 32. BSNテレビ, ゆうなび, ドラフト前特集, 2020.10.12.
 33. UX, スーパーJにいがた, アスリートのメッセージを読み解く, 2020.10.28.
 34. 新潟日報【囲み記事】, スポーツ×発信力: 共感, 2020.11.15.
 35. 新聞, 新潟日報, 就任1年目総括記事, 2020.11.27.

36. 新聞, スポーツニッポン, 就任1年目総括記事, 2020.12.9.
 37. 新聞, スポーツニッポン, 社会人野球関連記事, 2020.12.12.
 38. 新聞, 日刊スポーツ, 社会人野球関連記事, 2020.1.28.
 39. 雑誌, 週刊ベースボール3月15日号, ドラフト関連記事, 2020.3.3.
 40. F-lab (研究で選ぶ大学進学情報誌), 世界を変える大学の研究, 熟達者の暗黙知をVRで顕在化してノービスの学びを促す, 2021.
 41. WEB, PR TIMES, 【新潟医療福祉大学】パラスポーツの普及を目指した新発田市との連携事業小学生対象の「パラスポーツ出前講座」を実施しました!
 42. 書籍, インプレス, 松坂世代, それから 終章
- 3) 社会活動への参加協力
1. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立瀬浪保育園, 2020.8.4.
 2. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立猿沢保育園, 2020.8.4.
 3. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立山居町保育園, 2020.8.6.
 4. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立向ヶ丘保育園, 2020.8.7.
 5. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立館越保育園, 2020.8.17.
 6. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市山北そらいろ保育園, 2020.8.18.
 7. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立高南保育園, 2020.8.20.
 8. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立第一保育園, 2020.8.21.
 9. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立みのり瀬浪保育園, 2020.8.24.
 10. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立岩船保育園, 2020.8.25.
 11. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立金屋保育園, 2020.8.26.
 12. 村上市幼児の体力向上事業公開講座, 体育・運動遊び指導, 講師, 村上市, 村上市幼児・保育者, 村上市立第二保育園, 2020.8.27.
 13. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立東豊小学校, 2020.9.7.
 14. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立東小学校, 2020.9.8.
 15. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立菅谷小学校, 2020.9.7.
 16. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立二葉小学校, 2020.9.9.
 17. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校教諭, 新発田市立七葉小学校, 2020.9.10.
 18. 新発田市パラスポーツ出前講座, パラリンピック教育, 講師, 新発田市, 新発田市小学生・小学校

教諭，新発田市立荒橋小学校，2020.9.10.

19. 加茂市立須田小学校パラスポーツ体験講座，パラリンピック教育，講師，新潟県教育庁教育委員会・加茂市教育委員会，加茂市立須田小学校児童，2020.12.15.
 20. 新潟県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2020.4.1-2021.3.31.
 21. 長野県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2020.4.1-2021.3.31.
 22. 富山県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2020.4.1-2021.3.31.
 23. 石川県広域スポーツセンター，指導助言，アドバイザー，2020.4.1-2021.3.31.
 24. 総合型地域スポーツクラブ「NPO法人希楽々」，地域と学校の融合，アドバイザー，2020.4.1-2021.3.31.
 25. 総合型地域スポーツクラブ「ウェルネス村上」，地域と学校の融合，アドバイザー，2020.4.1-2021.3.31.
 26. 新発田市立第一中学校（学校評議員）
 27. 胎内市立乙中学校コミュニティスクール推進準備委員会（委員）
 28. 新潟県がん教育推進協議会（委員）
 29. 富山県中学校教育研究会（授業力向上アドバイザー）
 30. 新潟県教育庁教育員会オリンピック・パラリンピック教育推進委員会（委員長）
 31. 新潟県県民生活・環境部スポーツ課幼児期からの運動習慣アップ支援事業（アドバイザー）
 32. 公益財団法人日本レクリエーション協会課程認定校研究連絡会議特任幹事
 33. 関甲新学生野球連盟（理事）
7. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2018年度，科研費基盤研究（B），授業認知の位相転換に基づく授業技術の向上を支援するVR映像プラットフォームの構築，研究分担者
 2. 2018年度，科研費基盤研究（B），インクルーシブながん教育推進のための総合的研究，研究代表者
 3. 2018年度，科研費基盤研究（C），保育場面における保育者の観察力量を高める方法の開発，研究分担者
 4. 2019年度，科研費基盤研究（B），VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発，研究代表者
 5. 2020年度，若手研究，VR技術を用いた大学野球選手および指導者育成の試み，研究代表者
 6. 2020年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，初等教育における主体的・能動的な学びによるオリンピック・パラリンピック教育の開発，研究代表者.
 7. 2020年度，公益財団法人日本レクリエーション協会研究助成，高齢者へのレクリエーション指導／支援技術教育を用いた体育教員志望学生の運動指導力量形成の検証，研究分担者.
 8. 2020年度，村上市幼児の体力向上事業研究委託，村上市幼児の体力向上事業，研究代表者.

（9）栄養科学研究センター

①研究テーマ

1. 全世代を対象とした栄養ケア・サポートに関する研究

②センター名簿

センター長　：稲葉洋美　教授
副センター長：岩森　大　講師
研究員　　：永井　徹　教授
研究員　　：澁谷顕一　准教授
研究員　　：田村典子　准教授
研究員　　：増田紘之　助教

客員研究員 : 佐藤直人 助手 山形県立米沢栄養大学

客員研究員 : 海和美咲 助手 相模女子大学

③主な活動内容

1. 論文

1. Natsui S, Sato M, Yokoyama T, Inaba H, Kuboyama N, Shibuya K. Effects of chewing frequency on cerebral blood flow and cognitive function. *Journal of Behavioral Brain Science*. DOI:10.4236/jbbs.2020.107081.
2. Santa R, Miyamaoto M, Hosono N, Hoshi M, Homma C, Goto A, Sato N, Suzuki K, Inaba H, Shibuya K. Mastication of hard gumi can alter the gustatory threshold for sodium chloride. *Journal of Nutritional Science and Vitaminology*. 66:587-590, 2020.
3. Edama M, Inaba H, Hoshino F, Natsui S, Maruyama S, Omori G. The relationship between the female athlete triad and injury rates in collegiate female athletes. In Press.
4. Inaba H, Marina F, Rziankina, Svetlana A, Kostromina, Sakauchi G, Ito R, Kaiwa M, Natsui S, Ishii N, Saito T, Konstantin V, Zhmerenetsky, Ishigami K. Weight perception and diet behavior of Japanese and Russian adolescent girls. *Health*, 13, 405-415, 2021.
5. Nunokawa K, Tokairin N, Homma K, Nagai T. Effects of Food Odors on Subjective Degree of Appetite Among Patients Undergoing Convalescent Rehabilitation. *Topics in Clinical Nutrition*. In Press.
6. 岩森大, 坂井邦彦, 齋藤泰晴, 永井徹. とろみ調整食品の活用と地域への啓発活動. *地域ケアリング* Vol.22 (10), 37-42, 2020.
7. 岩森大, 坂井邦彦, 齋藤泰晴, 永井徹. 地域高齢者へのフレイル・サルコペニア予防に向けたとろみ調整食品の利用. *アグリバイオ* Vol.4 (14), 74-79, 2020.
8. Kawamura Y, Tamura N, Goto S, Goto S. Computer Simulation of Platelet Adhesion around Stent Struts in the Presence and Absence of Tissue Defects around Them. *Journal of Interventional Cardiology*. 2021 Feb 12;2021:8880988. doi: 10.1155/2021/8880988. eCollection 2021. PMID: 33628146.
9. Shibuya K, Miyamoto M, Santa R, Homma C, Hosono S, Sato N. The effect of an image of watchful eyes on the evaluation of the appearance of food. *PeerJ*. DOI:10.7717/peerj.9804.
10. Miyamoto M, Hanatani Y, Shibuya K. Dietary intake and Menstrual cycle changes in international level young athletes. *The Journal of Sports Medicine and Physical Fitness*. 2021 Jun; 61(6): 851-856.

2. 報告書

1. 岩森大, 宮岡洋三, 宮岡里美, 永井徹. 科研基盤研究 (C), とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 科学研究費助成事業実施報告書, 2020, 研究代表者
2. 増田紘之. 科学研究費基金若手研究 (B), 運動が骨格筋の血糖取り込みを高める機序－ヘキソキナーゼとミトコンドリアに着目して－, 研究成果報告書, 2020, 研究代表者

3. 学会等研究発表

1. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定クラブ女子選手における月経状況と栄養素等摂取状況に関する報告. 第67回日本栄養改善学会, 2020.9.
2. 海和美咲, 澁谷顕一, 稲葉洋美. 疑似的共食がおいしさに与える影響. 第67回日本栄養改善学会学術総会, 2020.9.
3. 星野美美, 稲葉洋美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化部女子選手の睡眠と食事状況に関する調査報告. 第67回日本栄養改善学会, 2020.9.
4. 岩森大, 稲葉洋美, 寺尾幸子. 調理の理解と実践に関するオンライン型授業の導入法. 第9回 日本栄養学教育学会, 2020.9.

5. 稲葉洋美, 渡辺優奈, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 岩森大. メディア授業におけるグループディスカッションの特徴と課題. 第9回 日本栄養学教育学会, 2020.9.
 6. 夏井紗野, 佐藤愛, 横山和美, 稲葉洋美, 久保山直己, 澁谷顕一. 咀嚼頻度の違いが脳血流と認知機能に及ぼす影響について. 第20回 新潟医療福祉学会, 2020.11.
 7. 星野美美, 真島一郎, 稲葉洋美, 江玉陸明, 大森豪. 大学生男子アスリートの睡眠状況ならびに栄養素等摂取状況に関する横断調査. 第20回 新潟医療福祉学会, 2020.11.
 8. 稲葉洋美, 江玉陸明, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 菊元孝則, 熊崎昌, 三瀬貴生, 横田裕丈, 関根千恵, 伊藤渉, 平林怜, 濱野礼奈, 大森豪. 大学女子バレーボール選手の利用可能エネルギー. 第20回 新潟医療福祉学会, 2020.11.
 9. 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 江玉陸明, 大森豪. 大学女子バレーボール選手のエネルギー摂取量と身体活動量に関する報告. 第31回 臨床スポーツ医学会, 2020.11.
 10. 星野美美, 稲葉洋美, 江玉陸明, 菊元孝則, 熊崎昌, 伊藤渉, 平林怜, 大森豪. 大学寮に住む大学生女子アスリートの栄養素等摂取量に関する報告. 第31回 臨床スポーツ医学会, 2020.11.
 11. Inaba-Hattori H, Svetlana A. Kostromina, Kaiwa M, Sakauchi G, Saito T, Marina F. Rizankina, Ishigami K. Weight perception and health behavior of Japanese and Russian adolescents. First Far East International Medical Congress, 2-17 October, 2020.
 12. 田村典子. 食後血糖の上昇による, 血流条件下コラーゲン上の血小板血栓形成への影響. 第20回新潟医療福祉学会総会, 2020.10.
 13. 浅尾章彦, 能村友紀, 澁谷顕一. 反復末梢性磁気刺激と運動イメージ併用が拮抗筋に対する皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響. 第20回新潟医療福祉学会, 2020.11.
 14. 浅尾章彦, 伊藤真央, 能村友紀, 澁谷顕一. スプリント素材を介した反復末梢性磁気刺激が皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響. 第54回日本作業療法士学会, 2020.9-10.
 15. Takano K, Sato N, Konishi I, Kanda M, Suzuki Y, Nomura T, Nagai T, Masuda H, Sato D, Takiguchi T, Kinoshita N, Uchiyama W, Ishigami K. Intervention study on frailty of the elderly in Japanese local communities. First Far Eastern International Medical Congress. 2-17 Oct, 2020.
4. 外部資金（科学研究費等）の獲得状況
1. 2020年度, 科研費若手研究, 疑似的他者の存在によるおいしさと脳活動の変化についての研究, 海和美咲, 研究代表者
 2. 2019年度, 科学研究費補助金 基盤研究（C）とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究, 岩森大（研究代表者）, 永井徹（研究分担者）

(10) 脳卒中リハビリテーション研究センター（Stroke rehabilitation research center）

①研究テーマ

1. 慢性期脳卒中患者の歩行障害に関わる因子の解明と有効な理学療法プログラムの開発

②センター名簿

センター長	： 犬飼康人	理学療法学科	講師
副センター長	： 小股 整	新潟リハビリテーション病院	医師
研究員	： 椿 淳裕	理学療法学科	教授
研究員	： 大西秀明	理学療法学科	教授
客員研究員	： 中尾真理	新潟リハビリテーション病院	医師
客員研究員	： 渡邊慎平	新潟リハビリテーション病院	理学療法士
客員研究員	： 諏訪貴大	新潟リハビリテーション病院	理学療法士

③主な活動内容

1. 論文

1. Inukai Y, Miyaguchi S, Kobayashi N, Otsuru N, Onishi H. Noisy galvanic vestibular stimulation effect on center of pressure sway during one-legged standing. J Clin Neurosci. 2020 Dec;82(Pt A):173-178.
2. Inukai Y, Miyaguchi S, Saito M, Otsuru N, Onishi H. Effects of Different Stimulation Conditions on the Stimulation Effect of Noisy Galvanic Vestibular Stimulation. Front Hum Neurosci. 2020 Sep 24;14:581405.
3. Inukai Y, Otsuru N, Saito K, Miyaguchi S, Kojima S, Yokota H, Nagasaka K, Onishi H. The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: A randomized controlled trial. Neurosci Lett. 2020 Jun 11;729:135009.

2. 学会等研究発表

1. 日本理学療法士協会, 理学療法学, 査読
2. 日本理学療法士協会, 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 演題査読
3. 日本理学療法士協会, 第18回日本神経理学療法学会学術大会, 演題査読

3. 学会活動

1. 犬飼康人. 第50回日本臨床神経生理学会学術大会, シンポジスト, 京都 (オンライン), 2020.11.26-11.28.
2. 大西秀明. 第50回日本臨床神経生理学会学術大会, 座長, 京都 (オンライン), 2020.11.26-11.28.

4. 外部資金 (科学研究費等) の獲得状況

1. 2019年度, 科研費基盤研究 (A), 知覚学習イノベーション-次世代感覚運動学習法の創出を目指して-, 大西秀明, 研究代表者
2. 2020年度, 科研費基盤研究 (B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 椿淳裕, 研究代表者
3. 2020年度, 科研費若手研究, 小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響, 犬飼康人, 研究代表者

9) 運動機能医科学研究所

①研究テーマ

1. 感覚運動機能連関の神経基盤の解明
2. 運動制御および感覚運動学習過程に関する研究
3. 慢性疼痛の生理・病態・心理・治療に関する研究
4. 運動刺激による神経-筋-骨格系の機能的変化に関する研究
5. 運動と呼吸循環応答および脳循環応答に関する研究
6. 運動機能障害に対するリハビリテーションに関する研究と開発
7. 身体運動分析及び行動分析に関する研究
8. アスリート脳に関する研究
9. 健康増進のための運動プログラムの開発

②研究員

所長	：大西秀明	リハビリテーション学部理学療法学科	教授（運営委員・研究員）
副所長	：佐藤大輔	健康科学部健康スポーツ学科	教授（運営委員・研究員）
所員	：久保雅義	リハビリテーション学部理学療法学科	教授（運営委員・研究員）
所員	：椿 淳裕	リハビリテーション学部理学療法学科	教授（運営委員・研究員）
所員	：大山峰生	リハビリテーション学部作業療法学科	教授（運営委員・研究員）
所員	：山本智章	新潟リハビリテーション病院	院長（運営委員・研究員）
所員	：能村友紀	リハビリテーション学部作業療法学科	教授（研究員）
所員	：田口 徹	リハビリテーション学部理学療法学科	教授（研究員）
所員	：相馬俊雄	リハビリテーション学部理学療法学科	教授（研究員）
所員	：江玉陸明	リハビリテーション学部理学療法学科	教授（研究員）
所員	：児玉直樹	医療技術学部診療放射線学科	教授（研究員）
所員	：森下慎一郎	リハビリテーション学部理学療法学科	准教授（研究員）
所員	：大鶴直史	リハビリテーション学部理学療法学科	准教授（研究員）
所員	：山代幸哉	健康科学部健康スポーツ学科	准教授（研究員）
所員	：菊元孝則	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：中村雅俊	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：高橋英明	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：犬飼康人	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：堀田一樹	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：須田裕紀	リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科	講師（研究員）
所員	：藤井 豊	医療技術学部臨床技術学科	講師（研究員）
所員	：下門洋文	健康科学部健康スポーツ学科	講師（研究員）
所員	：熊崎 昌	健康科学部健康スポーツ学科	講師（研究員）
所員	：三瀬貴生	健康科学部健康スポーツ学科	講師（研究員）
所員	：齊藤 慧	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：玉越敬悟	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：小島 翔	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：井上達朗	リハビリテーション学部理学療法学科	講師（研究員）
所員	：伊藤 涉	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員）
所員	：高林知也	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員）
所員	：宮口翔太	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員）
所員	：横田裕丈	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員/D1/大西）
所員	：太田大樹	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員）

所員	：鈴木祐介	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員）
所員	：浅尾章彦	リハビリテーション学部作業療法学科	助教（研究員）
所員	：平林 怜	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員／D2／江玉）
所員	：長坂和明	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員）
所員	：関根千恵	リハビリテーション学部理学療法学科	助教（研究員）
所員	：藤本知臣	健康科学部健康スポーツ学科	助教（研究員）
大学院生	：早尾啓志	医療福祉学専攻	D3／大西
大学院生	：徳永由太	医療福祉学専攻	D3／久保
大学院生	：秦偉 翔	医療福祉学専攻	D2／椿
大学院生	：小島 将	理学療法学分野	D1／椿
大学院生	：高 翔	理学療法学分野	M2／椿
大学院生	：清野涼介	理学療法学分野	M2／中村（雅）
大学院生	：佐藤 成	理学療法学分野	M2／中村（雅）
大学院生	：松澤寛大	理学療法学分野	M2／江玉
大学院生	：渡邊 拓	理学療法学分野	M2／大西
大学院生	：五十嵐小雪	健康スポーツ学分野	M2／佐藤
大学院生	：渡部貴也	理学療法学分野	M2／久保
大学院生	：瞿 丹妮	理学療法学分野	M1／椿
大学院生	：丸山紗永	理学療法学分野	M1／江玉
大学院生	：Le Cong3 Dat	理学療法学分野	M1／佐藤
大学院生	：八幡 薫	理学療法学分野	M1／中村
大学院生	：五十嵐眸実	理学療法学分野	M1／大鶴
大学院生	：川上沙輝	理学療法学分野	M1／犬飼
大学院生	：大槻智史	理学療法学分野	M1／大鶴

③主な活動内容

1. 著書

1. 堀田一樹. 準備運動・自重を用いたレジスタンストレーニングの例「心不全の運動療法」. 東京：地域におけるかかりつけ医と多職種のための心不全診療ガイドブック；2020：ライフサイエンス出版.
2. 伊藤涉, 小林匠. 軟部組織損傷・障害の病態とリハビリテーション. 東京：メジカルビュー社；2020：1-672.
3. 大西秀明. リハビリテーション管理学. 東京：羊土社；2020：1-239.
4. 田口徹, 田口敏彦, 飯田宏樹, 牛田享宏. 疼痛医学. 東京：医学書院；2020：1-400.
5. 浅尾章彦, 森下和美, 野上雅史, 浅尾千紘. 脳卒中×臨床OT：「今」, リハ効果を引き出す具体的実践ポイント. 第1版. 東京：シービーアール；2020：1-312.

2. 論文

1) 国際誌

- (1) Ikarashi K, Iguchi K, Yamazaki Y, Yamashiro K, Baba Y, Sato D. Influence of menstrual cycle phases on neural excitability in the primary somatosensory cortex and ankle joint position sense. Women's Health Reports. 2020; 1: 167-178.
- (2) Sato D, Yamazaki Y, Onishi H, Baba Y, Ikarashi K, Maruyama A. Elite competitive swimmers exhibit higher motor cortical inhibition and superior sensorimotor skills in a water environment. Behavioural Brain Research. 2020; 395: 112835.
- (3) Ikarashi K, Sato D, Iguchi K, Baba Y, Yamashiro K. Menstrual cycle modulates motor learning and memory consolidation in humans. Brain Sciences. 2020; 10(10): 696.
- (4) Miyaguchi S, Inukai Y, Matsumoto Y, Miyashita M, Takahashi R, Otsuru N, Onishi H. Effects

- on motor learning of transcranial alternating current stimulation applied over the primary motor cortex and cerebellar hemisphere. *Journal of Clinical Neuroscience*. 2020; 78: 296-300.
- (5) [Miyaguchi S](#), [Inukai Y](#), Takahashi R, Miyashita M, Matsumoto Y, [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Effects of stimulating the supplementary motor area with a transcranial alternating current for bimanual movement performance. *Behavioural Brain Research*. 2020; 393: 112801.
 - (6) [Fuji Y](#). Evaluation of Inflammation Caused by Cardiopulmonary Bypass in a Small Animal Model. *Biology (Basel)*. 2020; 9(4): 81.
 - (7) [Fuji Y](#), Akamatsu N, Yamasaki Y, Miki K, Banno M, Minami K, Inamori S. Development of a Pulsatile Flow-Generating Circulatory Assist Device (K-Beat) For Use with Veno-Arterial Extracorporeal Membrane Oxygenation in a Pig Model Study. *Biology (Basel)*. 2020; 9(6): 121.
 - (8) [Takabayashi T](#), [Edama M](#), [Inai T](#), [Nakamura E](#), [Kubo M](#). Effect of gender and load conditions on foot arch height index and flexibility in Japanese youths. *Journal of Foot and Ankle Surgery*. 2020; 59(6), 1144-1147.
 - (9) [Takabayashi T](#), [Edama M](#), [Inai T](#), [Kubo M](#). Differences in rearfoot, midfoot, and forefoot kinematics of normal foot and flatfoot during. *Journal of Orthopaedic Research*. 2021; 39(3): 565-571.
 - (10) [Takabayashi T](#), [Edama M](#), [Inai T](#), [Kubo M](#). Shank and rearfoot coordination and its variability during running in flatfoot. *Journal of Biomechanics*. (in press)
 - (11) [Edama M](#), [Takabayashi T](#), [Hirabayashi R](#), [Yokota H](#), [Inai T](#), [Sekine C](#), [Matsuzawa K](#), [Otsuki T](#), [Maruyama S](#), Kageyama I. Anatomical variations in the insertion of the peroneus longus tendon. *Surgical and Radiologic Anatomy*. 2020; 42(10): 1141-1144.
 - (12) [Edama M](#), [Takabayashi T](#), [Hirabayashi R](#), [Yokota H](#), [Sekine C](#), [Inai T](#), [Matsuzawa K](#), [Otsuki T](#), [Maruyama S](#), Kageyama I. Morphological features of the lateral plantar ligament of the transverse metatarsal arch. *Clinical Anatomy*. 2020: 1-7.
 - (13) [Ikezu M](#), [Edama M](#), [Matsuzawa K](#), [Kaneko F](#), Shimizu S, [Hirabayashi R](#), Kageyama I. Morphological features of the ulnar collateral ligament of the elbow and common tendon of flexor-pronator muscles. *The Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. 2020; 21: 8(9).
 - (14) [Kaneko F](#), [Edama M](#), [Ikezu M](#), [Matsuzawa K](#), [Hirabayashi R](#), Kageyama I. Anatomical characteristics of tissues attached to the fifth metatarsal bone. *The Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. 2020; 18: 8(9).
 - (15) [Matsuzawa K](#), [Edama M](#), [Ikezu M](#), [Kaneko F](#), [Hirabayashi R](#), Kageyama I. The origin structure of each finger in the flexor digitorum superficialis muscle. *Surgical and Radiologic Anatomy*. (in press)
 - (16) [Suzuki Y](#), [Edama M](#), [Kaneko F](#), [Ikezu M](#), [Matsuzawa K](#), [Hirabayashi R](#), Kageyama I. Morphological characteristics of the Lisfranc ligament. *Journal of Foot and Ankle Research*. 2020; 13(1): 46.
 - (17) [Maruyama S](#), Yamazaki T, Sato Y, Suzuki Y, Shimizu S, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, [Hirabayashi R](#), [Edama M](#). Relationship between anterior knee laxity and general joint laxity in the menstrual cycle. *The Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. (in press)
 - (18) [Edama M](#), [Takabayashi T](#), [Hirabayashi R](#), [Yokota H](#), [Sekine C](#), Inai T, Kageyama I. Morphological characteristics of the plantar calcaneocuboid ligaments. *Journal of Foot and Ankle Research*. 2020; 14(1): 3.
 - (19) [Hirabayashi R](#), [Kojima S](#), [Edama M](#), [Onishi H](#). Activation of the supplementary motor areas enhances spinal reciprocal inhibition in healthy individuals. *Brain Science*. 2020; 10(9): 587.
 - (20) [Hirabayashi R](#), [Edama M](#), [Kojima S](#), [Miyaguchi S](#), [Onishi H](#). Enhancement of spinal reciprocal

- inhibition depends on the movement speed and range of repetitive passive movement. *European Journal of Neuroscience*. 2020; 52(8): 3929-3943.
- (21) [Otsuru N](#), [Miyaguchi S](#), [Kojima S](#), [Yamashiro K](#), [Sato D](#), [Yokota H](#), [Saito K](#), [Inukai Y](#), [Onishi H](#). Timing of Modulation of Corticospinal Excitability by Heartbeat Differs with Interoceptive Accuracy. *Neuroscience*. 2020; 433(1): 156-162.
 - (22) [Inukai Y](#), [Otsuru N](#), [Saito K](#), [Miyaguchi S](#), [Kojima S](#), [Yokota H](#), [Nagasaka K](#), [Onishi H](#). The after-effect of noisy galvanic vestibular stimulation on postural control in young people: A randomized controlled trial. *Neuroscience Letters*. 2020; 729(11): 135009.
 - (23) [Inukai Y](#), [Miyaguchi S](#), [Saito M](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Effects of Different Stimulation Conditions on the Stimulation Effect of Noisy Galvanic Vestibular Stimulation. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2020; 14(404).
 - (24) [Inukai Y](#), [Miyaguchi S](#), [Kobayashi N](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Noisy galvanic vestibular stimulation effect on center of pressure sway during one-legged standing. *Journal of Clinical Neuroscience*. 2020; 82: 173-178.
 - (25) [Inoue T](#), [Maeda K](#), [Shimizu A](#), [Nagano A](#), [Ueshima J](#), [Sato K](#), [Murotani K](#). Calf circumference value for sarcopenia screening among older adults with stroke. *Archives of Gerontology and Geriatrics*. 2020; 93: 104290.
 - (26) [Inoue T](#), [Maeda K](#), [Shimizu A](#), [Nagano A](#), [Ueshima J](#), [Sato K](#), [Murotani K](#), [Tsubaki A](#). Undernutrition, Sarcopenia, and Frailty in Fragility Hip Fracture: Advanced Strategies for Improving Clinical Outcomes. *Nutrients*. 2020; 12(12).
 - (27) [Sato S](#), [Kiyono R](#), [Takahashi N](#), [Yoshida T](#), [Takeuchi K](#), [Nakamura M](#). The acute and prolonged effects of 20-s static stretching on muscle strength and shear elastic modulus. *PLoS One*. 2020; 15(2): e0228583.
 - (28) [Nakamura M](#), [Sato S](#), [Hiraizumi K](#), [Kiyono R](#), [Fukaya T](#), [Nishishiata S](#). Effects of static stretching programs performed at different volume-equated weekly frequencies on passive properties of muscle-tendon unit. *Journal of Biomechanics*. 2020; 16(103): 109670.
 - (29) [Kiyono R](#), [Onuma R](#), [Yasaka K](#), [Sato S](#), [Yahata K](#), [Nakamura M](#). Effects of 5-weeks foam rolling intervention on range of motion and muscle stiffness. *The Journal of Strength and Conditioning Research*. (in press)
 - (30) [Sato S](#), [Hiraizumi K](#), [Kiyono R](#), [Fukaya T](#), [Nishishita S](#), [Nunes JP](#), [Nakamura M](#). The effects of static stretching programs on muscle strength and muscle architecture of the medial gastrocnemius. *PLoS One*. 2020; 9: e9235679.
 - (31) [Nakamura M](#), [Kiyono R](#), [Sato S](#), [Yahata K](#), [Morishita S](#). One-repetition maximum can be estimated with a handheld dynamometer and circumference in community-dwelling older adults. *The Journal of Physical Therapy Science*. 2020; 32(10): 669-673.
 - (32) [Kiyono R](#), [Sato S](#), [Inaba K](#), [Yahata K](#), [Nakamura M](#). Time course of changes in range of motion, muscle shear elastic modulus, spinal excitability, and muscle temperature during superficial icing. *Sport Sciences for Health*. 2021; 17: 341-346.
 - (33) [Nakamura M](#), [Onuma R](#), [Kiyono R](#), [Yasaka K](#), [Sato S](#), [Yahata K](#), [Fukaya T](#), [Konrad A](#). The acute and prolonged effects of different durations of foam rolling on range of motion, muscle stiffness, and muscle strength. *Journal of Sports Science and Medicine*. 2020; 20(1): 62-68.
 - (34) [Nakamura M](#), [Sato S](#), [Murakami Y](#), [Kiyono R](#), [Yahata K](#), [Sanuki F](#), [Yoshida R](#), [Fukaya T](#), [Takeuchi K](#). The comparison of different stretching intensities on the range of motion and muscle stiffness of the quadriceps muscles. *Frontiers in Physiology*. 2020; 13(11): 628870.
 - (35) [Nakamura M](#), [Yasaka K](#), [Kiyono R](#), [Onuma R](#), [Yahata K](#), [Sato S](#), [Murakami Y](#), [Konrad A](#). The

- acute effect of foam rolling on eccentrically-induced muscle damage. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2020; 18(1): 75.
- (36) Saito K, Otsuru N, Yokota H, Inukai Y, Miyaguchi S, Kojima S, Onishi H. α -tACS over the somatosensory cortex enhances tactile spatial discrimination in healthy subjects with low alpha activity. *Brain and Behavior*. 2021; 11(3): e02019.
- (37) Tamakoshi K, Hayao K, Takahashi H. Early Exercise after Intracerebral Hemorrhage Inhibits Inflammation and Promotes Neuroprotection in the Sensorimotor Cortex in Rats. *Neuroscience*. 2020; 438(1): 86-99.
- (38) Morishita S, Tsubaki A, Hotta K, Inoue T, Qin W, Kojima S, Fu JB, Onishi H. Face pain scale and borg scale compared to physiological parameters during cardiopulmonary exercise testing. *The Journal of sports medicine and physical fitness*. 2020.
- (39) Morishita S, Nakano J, Fu JB, Tsuji T. Physical exercise is safe and feasible in thrombocytopenic patients with hematologic malignancies: a narrative review. *Hematology (Amsterdam, Netherlands)*. 2020; 25: 95-100.
- (40) Watanabe H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. The Repetitive Mechanical Tactile Stimulus Intervention Effects Depend on Input Methods. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2020; 28(14): 393.
- (41) Inai T, Takabayashi T, Edama M, Kubo M. Algorithm to compute muscle excitation patterns that accurately track kinematics using a hybrid of numerical integration and optimization. *Journal of Biomechanics*. 2020; 23(107): 109836.
- (42) Inai T, Takabayashi T, Watanabe S, Ikezu M, Kaneko F, Matsuzawa K, Edama M. A new method for estimating three-dimensional movement of the patella using a surface mapping method and computed tomograph. *Heliyon*. 2020; 6(8): e04729.
- (43) Yamanaka R, Wakasawa S, Yamashiro K, Kodama N, Sato D. Effect of resistance training of psoas major on performance in long-distance runners. *International Journal of Sports Physiology and Performance*. 2020; 16(6): 906-909.
- (44) Gotoh M, Nagasaka K, Nakata M, Takashima I, Yamamoto S. Brain temperature alters contributions of excitatory and inhibitory inputs to evoked field potentials in the rat frontal cortex. *Frontiers in Cellular Neuroscience*. 2020; 14: 593027.
- (45) Dobashi K, Fujii N, Ichinose M, Fujimoto T, Nishiyasu T. Voluntary hypocapnic hyperventilation lasting 5 min and 20 min similarly reduce aerobic metabolism without affecting power outputs during Wingate anaerobic test. *European Journal of Sport Science*. 2020; 17: 1-8.
- (46) Arnold JT, Lloyd AB, Bailey SJ, Fujimoto T, Matsutake R, Takayanagi M, Nishiyasu T, Fujii N. The nitric oxide dependence of cutaneous microvascular function to independent and combined hypoxic cold exposure. *Journal of Applied Physiology*. 2020; 129(4): 947-956.
- (47) Fujii N, Fujimoto T, Cao Y, Dobashi K, Matsutake R, Amano T, Watanabe K, Nishiyasu T. Caffeine Exacerbates Hyperventilation and Reductions in Cerebral Blood Flow in Physically Fit Males Exercising in the Heat. *Medicine & Science in Sports & Exercise*. 2020; 53(4): 845-852.
- (48) Ikegami K, Watanabe G, Kumagai J, Fujii Y, Watanabe H, Oite T. The apparition macrophage and Doderlein bacillus is negatively correlated in class I Papanicolaou smear: A morphological examination. 2020; 48(12): 1205-1210.
- (49) Otsuka R, Oyanagi K, Hokari M, Shinoda T, Harada J, Shimogai T, Takahashi Y, Kitai T, Iwata K, Tsubaki A. Preoperative physical performance-related postoperative delirium in

- patients after cardiovascular surgery. *Archives of Gerontology and Geriatrics*. 2020; 91: 104172.
- (50) Abe T, Iwata K, Yoshimura Y, Shinoda T, Inagaki Y, Ohya S, Yamada K, Oyanagi K, Maekawa Y, Honda A, Kohara N, [Tsubaki A](#). Low muscle mass is associated with walking function in patients with acute ischemic stroke. *Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases*. 2020; 29(11): 105259.
 - (51) Shirai N, [Tsubaki A](#), [Morishita S](#), Honma D, Sobe S, Ikarashi K, Suzuki A, Murayama S. The Association between time spent in performing physical activity and physical function in outpatients with type 2 diabetes who may have diabetic neuropathy. *Diabetes & Metabolic Syndrome: Clinical Research & Reviews*. 2020; 14(6): 2111-2116.
 - (52) Kobayashi T, [Takabayashi T](#), [Kudo S](#), [Edama M](#). The prevalence of chronic ankle instability and its relationship to foot arch characteristics in female collegiate athletes. *Physical Therapy in Sport*. 2020; 46: 162-168.
 - (53) Takeuchi K, [Nakamura M](#). Influence of high intensity 20-second static stretching on the flexibility and strength of hamstrings. *Journal of Sports Science and Medicine*. 2020; 1.19(2): 429-435.
 - (54) Nunes JP, Jacinto JL, Ribeiro AS, Mayhew JL, [Nakamura M](#), Capel DMG, Santos LR, Santos L, Cyrino ES, Aguiar AF. Placing Greater Torque at Shorter or Longer Muscle Lengths? Effects of Cable vs. Barbell Preacher Curl Training on Muscular Strength and Hypertrophy in young adults. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2020; 17(16): 5859.
 - (55) Yoshimura M, Hojo T, Yamamoto H, Tachibana M, [Nakamura M](#), Tsutsumi H, Fukuoka Y. Application of carbon dioxide to the skin and muscle oxygenation of human lower-limb muscle sites during cold water immersion. *PeerJ*. 2020; 8: e9785.
 - (56) Takeuchi K, [Nakamura M](#). The optimal duration of high-intensity static stretching in hamstrings. *PLoS One*. 2020; 15(10): e0240181.
 - (57) Fukaya T, [Nakamura M](#), [Sato S](#), [Kiyono R](#), [Yahata K](#), [Inaba K](#), Nishishita S, [Onishi H](#). The Relationship between Stretching Intensity and Changes in Passive Properties of Gastrocnemius Muscle-Tendon Unit after Static stretching. *Sports*. 2020; 8(11): 140.
 - (58) Fukaya T, [Kiyono R](#), [Sato S](#), [Yahata K](#), Yasaka K, Onuma R, [Nakamura M](#). Effects of static stretching with high intensity and short duration or low intensity and long duration on range of motion and muscle stiffness. *Frontiers in Physiology, section Exercise Physiology*. 2020; 11: 601912.
 - (59) Takeuchi K, [Nakamura M](#). Influence of aerobic exercise after static stretching on flexibility and strength in plantar flexor muscles. *Frontiers in Physiology, section Exercise Physiology*. 2020; 11: 612967.
 - (60) Tashiro Y, [Suzuki Y](#), Nakayama Y, Sonoda T, Yokota Y, Kawagoe M, Tsuboyama T, Aoyama T. The effect of Capacitive and Resistive electric transfer on non-specific chronic low back pain. *Electromagnetic biology and medicine*. 2020; 39(4): 437-444.
 - (61) Shimoura K, Nishida Y, Abiko S, [Suzuki Y](#), Zeidan H, Kajiwara Y, Harada K, Tatsumi M, Nakai K, Bito T, Yoshimi S, Kawabe R, Yokota J, Aoyama T. Immediate effect of neuromuscular electrical stimulation on the abductor hallucis muscle: A randomized controlled trial. *Electromagnetic biology and medicine*. 2020; 39(4): 257-261.
 - (62) Kato M, Nihei FN, [Hotta K](#), Tsukamoto T, Kurita Y, Kubo A, Takagi H. The Efficacy of Stretching Exercises on Arterial Stiffness in Middle-Aged and Older Adults: A Meta-Analysis

- of Randomized and Non-Randomized Controlled Trials. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2020; 17(16): 5643.
- (63) Nagano A, Maeda K, Koike M, Murotani K, Ueshima J, Shimizu A, [Inoue T](#), Sato K, Suenaga M, Shida Y, Mori N. Effects of Physical Rehabilitation and Nutritional Intake Management on Improvement in Tongue Strength in Sarcopenic Patients. *Nutrients*. 2020; 12(10): 3104.
- (64) Shimizu A, Maeda K, Honda T, Ishida Y, Ueshima J, Nagami S, Nagano A, [Inoue T](#), Murotani K, Kayashita J, Fujishima I, Mori N. Comparison between the Global Leadership Initiative on Malnutrition and the European Society for Clinical Nutrition and Metabolism definitions for the prevalence of malnutrition in geriatric rehabilitation care. *Geriatrics & Gerontology International*. 2020; 20(12): 1221-1227.
- (65) Sato K, Maeda K, Ogawa T, Shimizu A, Nagami S, Nagano A, Murotani K, [Inoue T](#), Suenaga M. The functional assessment for control of trunk (FACT): An assessment tool for trunk function in stroke patients. *NeuroRehabilitation*. 2020; 48(1): 59-66.
- (66) Okumura M, Inoue T, Melinda G, Saito T, Fukuta A, Makiura D, [Inoue J](#), Sakai Y, Ono R. Social frailty as a risk factor for new-onset depressive symptoms at one year post-surgery in older patients with gastrointestinal cancer. *Journal of Geriatric Oncology*. 2020; 11(5): 904-907.
- (67) Yoshimura M, Hojo T, Yamamoto H, Tachibana M, [Nakamura M](#), Fukuoka Y. Effects of artificial CO₂-rich cold-water immersion on repeated-cycling work efficiency. *Research in Sports Medicine*. 2020; 10: 1-12.
- (68) Abe G, Oyama H, Liao Z, Honda K, Yashima K, [Asao A](#), Izumi SI. Difference in Pain and Discomfort of Comparable Wrist Movements Induced by Magnetic or Electrical Stimulation for Peripheral Nerves in the Dorsal Forearm. *Medical Devices (Auckl)*. 2020; 13: 439-447.
- (69) [Fujii Y](#), Sumikura H, Nagahama D. Establishment of a novel miniature veno-venous extracorporeal membrane oxygenation (V-V ECMO) model in the rat. *Artificial Organs*. 2021; 45(1): 63-67.
- (70) [Manh V P](#), [Miyaguchi S](#), [Watanabe H](#), [Saito K](#), [Otsuru N](#), [Onishi H](#). Effect of repetitive passive movement before motor skill training on corticospinal excitability and motor learning depend on BDNF polymorphisms. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2021; 15: 621358.
- (71) [Nakamura M](#), [Kiyono R](#), [Sato S](#), [Yahata K](#), [Fukaya T](#), Nishishita S, Konrad A. The associations between rapid strength development and muscle stiffness in older population. *Healthcare*. 2021; 9(1): 80.
- (72) [Yahata K](#), Konrad A, [Sato S](#), [Kiyono R](#), Yoshida R, [Fukaya T](#), Nunes JP, [Nakamura M](#). Effects of a high-volume static stretching programme on plantarflexor muscle strength and architecture. *European Journal of Applied Physiology*. 2021; 121(4): 1159-1166.
- (73) [Inoue T](#), Maeda K, Shimizu A, Nagano A, Ueshima J, Sato K, Murotani K, [Hotta K](#), [Morishita S](#), [Tsubaki A](#). Related factors and clinical outcomes of osteosarcopenia: A Narrative Review. *Nutrients*. (in press)
- (74) [Yokota H](#), [Otsuru N](#), [Saito K](#), [Miyaguchi S](#), [Kojima S](#), [Inukai Y](#), [Nagasaka K](#), [Onishi H](#). Region-specific effects of 10-Hz transcranial alternate current stimulation over the left posterior parietal cortex and primary somatosensory area on the tactile two-point discrimination threshold. *Frontiers in Neuroscience*. 2021; 13(2).
- (75) [Inoue T](#), Wakabayashi H, Maeda K, R Momosaki. Body mass index affects postoperative daily activities of older patients after gastrectomy. *European Geriatric Medicine*. (in press)
- (76) [Watabe T](#), [Takabayashi T](#), [Tokunaga Y](#), Yoshida T, [Kubo M](#). Copers adopt an altered movement pattern compared to individuals with chronic ankle instability and control groups in

- unexpected single-leg landing and cutting task. *Journal of Electromyography and Kinesiology*. 2021; 57: 102529.
- (77) Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Yoshida R, Fukaya T, Konrad A. Comparison of the acute effects of hold-relax and static stretching among older adults. *Biology (Basel)*. 2021; 10(126).
- (78) Qin W, Kojima S, Yamazaki Y, Morishita S, Hotta K, Inoue T, Tsubaki A. Relationship between the difference in oxygenated hemoglobin concentration changes in the left and right prefrontal cortex and cognitive function during moderate-intensity aerobic exercise. *Applied Sciences*. (in press)
- (79) Watabe T, Takabayashi T, Tokunaga Y, Kubo M. Individuals with chronic ankle instability exhibit altered ankle kinematics and neuromuscular control compared to copers during inversion single-leg landing. *Physical Therapy in Sport*. (in press)
- (80) Ikezu M, Edama M, Inai T, Matsuzawa K, Kaneko F, Hirabayashi R, Kageyama I. The Effects of Differences in the Morphologies of the Ulnar Collateral Ligament and Common Tendon of the Flexor-Pronator Muscles on Elbow Valgus Braking Function: A Simulation Study. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2021; 18(4).
- (81) Edama M, Inaba H, Hoshino F, Natsui S, Maruyama S, Omori G. The relationship between the female athlete triad and injury rates in collegiate female athletes. *PeerJ*. 2021; 9: e11092.
- (82) Matsuzawa K, Edama M, Ikezu M, Otsuki T, Maruyama S, Sato N. Contributions of the third and fourth digits and the second and fifth digits of the flexor digitorum superficialis muscle to elbow valgus stability. *The Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. (in press)
- (83) Yamazaki T, Maruyama S, Sato Y, Suzuki Y, Shimizu S, Kaneko F, Ikezu M, Matsuzawa K, Edama M. A preliminary study exploring the change in ankle joint laxity and general joint laxity during the menstrual cycle in cis women. *Journal of Foot and Ankle Research*. 2021; 14(1): 21.
- (84) Yamashiro K, Yamazaki Y, Siiya K, Ikarashi K, Baba Y, Otsuru N, Onishi H, Sato D. Modality-specific improvements in sensory processing among baseball players. *Scientific Reports*. 2021; 11(1): 2248.
- (85) Sekine C, Matsunaga N, Okubo Y, Hangai M, Kaneoka K. Lumbar intervertebral disc degeneration does not affect muscle synergy for rowing activities. *Applied Bionics and Biomechanics*. 2021; 2021: 6651671.
- (86) Tamakoshi K, Maeda M, Nakamura S, Murohashi N. Very early exercise rehabilitation after intracerebral hemorrhage promotes inflammation in the brain. *Neurorehabilitation and Neural Repair*. (in press)
- (87) Nakamura M, Sato S, Kiyono R, Yahata K, Yoshida R, Fukaya T, Nishishita S, Konrad A. Association between the range of motion and passive property of the gastrocnemius muscle-tendon unit in older population. *Healthcare (Basel)*. (in press)
- (88) Nakamura M, Yahata K, Sato S, Kiyono R, Yoshida R, Fukaya T, Nunes JP, Konrad A. Training and detraining effects following a static stretching program on medial gastrocnemius passive properties. *Frontiers in Physiology*. 2021; 12: 656579.
- (89) Kojima S, Otsuru N, Miyaguchi S, Yokota H, Nagasaka K, Saito K, Inukai Y, Shirozu H, Onishi H. The intervention of mechanical tactile stimulation modulates somatosensory evoked magnetic fields and cortical oscillations. *European Journal of Neuroscience*. (in press)
- (90) Nagasaka K, Nemoto K, Takashima I, Bando D, Matsuda K, Higo N. Structural plastic changes of cortical gray matter revealed by voxel-based morphometry and histological analysis in a

- monkey model of central post-stroke pain. *Cerebral Cortex*. (in press)
- (91) Inoue T, Wakabayashi H, Iida Y, Takahashi K, Miyazaki S. On “Nutrition in Physical Therapist Practice: Tools and Strategies to Act Now.” Berner P, Bezner JR, Morris D, Lein DH. *Phys Ther*. 2021; <https://doi.org/10.1093/ptj/pzab061> and “Nutrition in Physical Therapist Practice: Setting the Stage for Taking Action.” Berner P, Bezner JR, Morris D, Lein DH. *Phys Ther*. 2021; <https://doi.org/10.1093/ptj/pzab062>. *Physical Therapy*. pzab124.
 - (92) Sasaki R, Otsuru N, Miyaguchi S, Kojima S, Watanabe H, Ohno K, Sakurai N, Kodama N, Sato D, Onishi H. Influence of brain-derived neurotrophic factor genotype on short-latency afferent inhibition and motor cortex metabolites. *Brain sciences*. 2021; 11: 395.
 - (93) Dezawa S, Nagasaka K, Watanabe Y, Takashima I. Lesions of the nucleus basalis magnocellularis (Meynert) induce enhanced somatosensory responses and tactile hypersensitivity in rats. *Experimental Neurology*. 2021; 335(113493).
 - (94) Umehara J, Nakamura M, Saeki J, Tanaka H, Yanase K, Fujita K, Yamagata M, Ichihashi N. Acute and prolonged effects of stretching on shear modulus of the pectoralis minor muscle. *Journal of Sports Science and Medicine*. 2021; 20(1):17-25.
 - (95) Takeuchi K, Takemura M, Nakamura M, Tsukuda F, Miyakawa S. The effects of using a combination of static stretching and aerobic exercise on muscle tendon unit stiffness and strength in ankle plantar-flexor muscles. *European Journal of Sport Science*. 2021; 18: 1-17.
 - (96) Murase S, Kobayashi K, Nasu T, Kihara C, Taguchi T, Mizumura K. Synergistic interaction of nerve growth factor and glial cell-line derived neurotrophic factor in muscular mechanical hyperalgesia in rats. *The Journal of Physiology*. 2021; 599(6): 1783-1798.
 - (97) Miyahara K, Nishimaru H, Matsumoto J, Setogawa T, Taguchi T, Ono T, Nishijo H. Involvement of parvalbumin-positive neurons in the development of hyperalgesia in a mouse model of fibromyalgia. *Frontiers in Pain Research*. 2021; 2: 627860.
 - (98) Nashimoto S, Morishita S, Hotta K, Iida S, Tsubaki A. Relationship between the face scale for rating of perceived exertion and physiological parameters in older adults and patients with atrial fibrillation. *Physiological Reports*. 2021; 9(5): e14759.
 - (99) Ikeda Y, Ichikawa H, Shimojo H, Nara R, Baba Y, Shimoyama Y. Relationship between dolphin kick movement in humans and velocity during undulatory underwater swimming. *Journal of Sports Sciences*. 2021; 17: 1-7.
 - (100) Pearson J, Thambyah HP, Waddingham MT, Inagaki T, Sukumaran V, Ngo JP, Ow CP, Sonobe T, Chen YC, Edgley AJ, Fujii Y, Du CK, Zhan DY, Umetani K, Kelly D, Tsuchimochi H, Shirai M. β -blockade prevents coronary macro- and microvascular dysfunction induced by a high salt diet and insulin resistance in the Goto-Kakizaki rat. *Clinical Science*. 2021; 135(2): 327-346.
 - (101) Konrad A, Mocnik R, Nakamura M, Sudi K and Tilp M. The Impact of a Single Stretching Session on Running Performance and Running Economy: A Scoping Review. *Frontiers in Physiology*. 2021; 20(11): 630282.
 - (102) Konrad A, Mocnik R, Titze S, Nakamura M, Tilp M. The Influence of Stretching the Hip Flexor Muscles on Performance Parameters. A Systematic Review with Meta-Analysis. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 2021; 18(4): 1936.
 - (103) Hoshi H, Kojima S, Otsuru N, Onishi H. Corticospinal excitability of untrained side depends on the type of motor task and degree of improvement in motor function. *Brain and Cognition*. 2021; 148: 105691.
 - (104) Nara R, Ikeda Y, Shimojo H, Sato D, Ichikawa H, Baba Y, Shimoyama Y. Does different timing

of hip and knee joint extension during take-off affect backstroke start performance? Sports Biomechanics. 2021; 14: 1-12.

2) 国内誌

- (1) 渡部貴也, 高林知也, 久保雅義. 慢性足関節不安定症の有無が片脚着地からの切り返し動作時の足部機能に及ぼす影響. バイオメカニクス学会誌 (協力学術研究団体). 2020; 44 (3): 171-178.
- (2) 中村雅俊, 楊玲, 清野涼介, 佐藤成, 森下勝行. 1MHzと3MHzの連続モード超音波が健常者の僧帽筋上部線維の弾性率に及ぼす影響-エラストグラフィ機能を用いた検討-. 物理療法科学 (In-press).
- (3) 浅尾章彦, 遠藤勇久, 能村友紀. 新潟県内の介護老人保健施設における入所サービス利用者に対するアクティビティを用いたケアの実施状況と作業療法士の関与. 新潟県作業療法士会学術誌. 2021; 15 (1): 11-16.
- (4) 臼井直人, 山代幸哉, 小島将, 佐藤大輔. サッカーにおけるヘディングの累積曝露と慢性外傷性脳症に関する最近の知見. 体力科学 (協力学術研究団体). 2020; 69 (6): 361-370.
- (5) 太田隆之, 山本竜也, 藤井杏美, 本寺哲一, 迫力太郎, 長坂和明, 小笹佳史. 陳旧性右被殻出血を有する視床出血例における臨床所見と脳画像の継時的な評価. Journal of Rehabilitation Neurosciences. 2020; 2042-48.
- (6) 高橋治憲, 堀田一樹, 橋本和哉, 金井梨里, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健常成人の大腿動脈血流量は上肢クランク運動中に増加する. 日本基礎理学療法学雑誌 (協力学術研究団体). 2020; 23 (1): 61-70.
- (7) 浅見崇之, 堀田一樹, 石井佑典, 酒井渉, 小島将, 森下慎一郎, 椿淳裕. 片脚ペダリング運動中の非運動脚の母趾皮膚における温度と血流変化. 理学療法科学 (協力学術研究団体). 2020; 35 (5): 693-698.
- (8) 前田雄, 林豊彦, 須田裕紀, 高橋素彦, 郷貴博, 東江由起夫, 相馬俊雄. 下腿義足ソケットの後壁面高さがソケット内接触圧力と歩容に与える効果. バイオメカニクス学会誌 (協力学術研究団体). 2020; 44 (4): 242-251.

3. 報告書

- (1) 佐藤大輔, 小島翔, 山代幸哉, 大鶴直史, 丸山敦夫, 大西秀明. 基盤研究 (B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発, 報告書, 2018-2020, 研究代表者.
- (2) 山本智章, 奥谷謙吾, 田卷弘之, 桐本光, 石道峰典, 大西秀明. 基盤研究 (B), 骨機械感受性を調節する骨細胞ネットワークとその神経性調節, 報告書, 2017-2020, 研究代表者.
- (3) 森下慎一郎, 椿淳裕. 基盤研究 (C), がん患者に対する運動と栄養をあわせた戦略的リハビリテーションプログラムの開発, 報告書, 2018-2020, 研究代表者.
- (4) 藤井豊. 基盤研究 (C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする -小動物モデルでの検討-, 報告書, 2018-2020, 研究代表者.
- (5) 堀田一樹. 若手研究, 体外循環モデルラットの骨格筋における酸素・循環動態の解明, 報告書, 2019-2020, 研究代表者.
- (6) 伊藤渉. 若手研究, 「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発, 報告書, 2018-2020, 研究代表者.
- (7) 宮口翔太. 運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明, 報告書, 2019-2020, 研究代表者.
- (8) 小島翔. 若手研究, 触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響, 報告書, 2019-2020, 研究代表者.
- (9) 高橋英明. 若手研究, 軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明, 報告書, 2018-2020, 研究代表者.

- (10) 藤本知臣. 研究スタート支援, 運動時低体温症の発生メカニズムの解明－運動時温度感覚に着目して－, 報告書, 2019-2020, 研究代表者.

4. 学会等研究発表

1) 国際学会・共同

- (1) Nobori Y, Hara S, Fukumoto K, Nakao K, Fujii Y, Ono T, Isoyama T, Nakajima J, Anraku M. Evaluation of pulmonary artery flow with ultrasonic flowmeter for protecting native lungs under pulmonary artery-left atrium ECMO. ASAIO 65th Annual Conference (Chicago). 2020.6.10-6.13.
- (2) Yamakawa K, Homoto K, Shimojo H, Sengoku Y, Takagi H. CHANGES OF KINEMATICS DURING UNDERWATER UNDULATORY SWIMMING WITH INCREASING SWIMMING VELOCITY. 38th International Society of Biomechanics in Sport Conferenc. 2002.7.22-7.24.
- (3) Arnold J, Lloyd A, Bailey S, Fujimoto T, Matsutake R, Takayanagi M, Nishiyasu T, Fujii N. Cutaneous microvascular response to independent and combined hypoxic cold exposure: The role of nitric oxide pathways. Physiology & Pharmacology of Temperature Regulation. Virtual. 2020.9.5-9.6.

2) 国内学会・筆頭

- (1) 椿淳裕. オープンナリサーチミーティングを通じた, 基礎と臨床の親和. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.13.
- (2) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 大森豪, 久保雅義. ランニング中のショパール関節およびリスフラン関節モーメントの定量化の試み第31回臨床スポーツ医学会学術大会, 2020.11.14-11.30.
- (3) 高林知也, 江玉睦明. ランニング中に足部内で生じる力学的負荷の性差. 第45回日本足の外科学会学術集会, 2020.11.26-11.27.
- (4) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の下腿と後足部の coordination variability に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.14.
- (5) 高林知也, 江玉睦明, 稲井卓真, 久保雅義. 正常足と扁平足の足部アライメントの違いがランニング中の後足部, 中足部, 前足部キネマティクスに与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.15.
- (6) 高林知也, 江玉睦明. 正常足と扁平足におけるランニング時の後足部と下腿間の運動連鎖の違い. 第12回JOSKAS, 2020.12.17-12.19.
- (7) 徳永由太, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. ランニング動作中の股関節運動におけるハムストリングス機能の解明. 第20回新潟医療福祉学会, 2020.10.31.
- (8) 渡部貴也, 高林知也, 徳永由太, 久保雅義. 非予測的なカッピング動作における慢性足関節不安定症群とcoper群の下肢キネマティクスと足部の筋活動の比較. 第20回新潟医療福祉学会, 2020.10.31.
- (9) 徳永由太, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. 筋骨格モデル解析によるランバート・パラドックス現象の再考. 第41回SOBIMバイオメカニズム学会, 2020.12.5-12.6.
- (10) 渡部貴也, 高林知也, 徳永由太, 久保雅義. 片脚着地における慢性足関節不安定症者とcoperの足関節キネマティクスと足部の筋活動. 第41回SOBIMバイオメカニズム学会, 2020.12.5-12.7.
- (11) 渡部貴也, 高林知也, 徳永由太, 久保雅義. 慢性足関節不安定症群は非予測的な着地において足関節の安定性が低下する. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.15.
- (12) Tokunaga Y, Takabayashi T, Watabe T, Kubo M. The trunk flexed posture enhanced the capability generating fore-aft ground reaction force. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.16.
- (13) 中村雅俊, 佐藤成, 清野涼介, 八幡薫, 吉田麗玖. 地域在住高齢者に対するストレッチング介入

- 効果の比較スタティックストレッチングとホールドリラックスストレッチングの比較。第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (14) 清野涼介, 大沼れみ, 矢坂晃樹, 佐藤成, 八幡薫, 中村雅俊. 5週間のfoam rollingが関節可動域と筋硬度に与える効果の検討. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (15) 佐藤成, 吉田麗玖, 清野涼介, 八幡薫, 矢坂晃樹, 野坂和則, 中村雅俊. 片側の漸増負荷レジスタンストレーニングによるcross-transfer効果の検討 -伸張性収縮と短縮性収縮の比較-. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (16) 八幡薫, 池津大高, 清野涼介, 佐藤成, 矢坂晃樹, 樋口涼香, 吉田麗玖, 中村雅俊. セット間ストレッチングはトレーニングの筋肥大効果を阻害しない. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (17) 平林愴, 江玉睦明, 山田勇輝, 齊藤ありさ, 縄涼平, 大西秀明. 噛みしめは脊髄の介在ニューロンを変調させる. 第75回日本体力医学会大会, 2020.9.24-9.26.
- (18) 平林愴, 横田裕丈, 伊藤涉, 三瀬貴生, 熊崎昌, 菊元孝則, 稲葉洋美, 大森豪, 江玉睦明. 噛みしめが及ぼす脊髄機能と運動パフォーマンスへの効果. 第31回臨床スポーツ医学会学術大会, 2020.11.14-11.30.
- (19) 平林愴. 脊髄相反性抑制増強の効果的な介入法. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (20) 平林愴, 小島翔, 江玉睦明, 大西秀明. 補足運動野への脳刺激が脊髄相反性抑制に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (21) 平林愴, 江玉睦明. 噛みしめが運動パフォーマンスに及ぼす影響: 脊髄機能との検証. 第31回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 2020.12.4-12.5.
- (22) 縄涼平, 平林愴, 山田勇輝, 齊藤ありさ, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 前脛骨筋への異なる振動刺激が筋パフォーマンスに及ぼす即時効果の検討. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (23) 山田勇輝, 平林愴, 齊藤ありさ, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 異なる噛みしめ強度が足関節背屈パフォーマンスにおよぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (24) 齊藤ありさ, 平林愴, 山田勇輝, 縄涼平, 横田裕丈, 関根千恵, 江玉睦明. 噛み締め強度の変化がIa相反抑制と脊髄前角細胞の興奮性に及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (25) 小島翔. 機械的触覚刺激介入が体性感覚誘発磁界に及ぼす影響. 第35回日本生体磁気学会大会, 2020.7.3-7.4.
- (26) 小島翔. 新型コロナウイルス感染対策に伴う大学教育の対応. 第14回全国大学理学療法教育学会大会, 2020.11.18.
- (27) 関根千恵, 松永直人, 大久保雄, 半谷美夏, 金岡恒治. ローイング動作時の筋シナジーの腰椎椎間板変性の有無による比較. 第31回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2020.11.14-11.30.
- (28) 須田裕紀, 前田雄, 郷貴博, 東江由起夫, 田村真明, 毛利孝裕, 鷺巣貴志, 石谷拓也. 3DP-AFOの設計に向けたコルゲーションの分析~コルゲーション設定位置における3DP-AFOとPP-AFOの比較~. 第36回日本義肢装具学会学術大会, 2020.10.30-11.1.
- (29) 太田大樹, 田口徹. 遅発性筋痛におけるTRPV2チャンネルの関与: コンディショナルノックアウトマウスを用いた行動学的解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (30) 太田大樹, 田口徹. 異なる病態モデルラットにおける骨格筋神経線維の電気生理学的特性の比較. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (31) 太田大樹, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 片野坂友紀, 田口徹, 水村和枝. マウス遅発性筋痛モデルにおける機械感受性TRPチャンネルの関与. 第13回日本運動器疼痛学会,

2020.11.28-12.25.

- (32) 太田大樹, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 片野坂友紀, 田口徹, 水村和枝. 遅発性筋痛の分子機構: TRPA1およびTRPV2ノックアウトマウスを用いた解析. 第42回日本疼痛学会, 2020.12.4-12.5.
- (33) 太田大樹, 片野坂公明, 村瀬詩織, 加塩麻紀子, 富永真琴, 片野坂友紀, 田口徹, 水村和枝. マウス遅発性筋痛モデルにおけるTRPチャンネルの関与. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12-12.18.
- (34) Taguchi T, Katanosaka Y, Katanosaka K. Decreased mechanical response of cutaneous nociceptors in TRPV2-deficient mice. 43rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, 2020.7.29-8.1.
- (35) 田口徹, Ulrich Hoheisel, Siegfried Mense. 腰痛の知覚に関わる神経解剖学的知見. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (36) 田口徹, 歌大介, 坪島功幸, 西条寿夫. 線維筋痛症治療薬の脊髄作用機序. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (37) 田口徹, 坪島功幸. 筋筋膜のバイオメカニクス機能の実証. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (38) 田口徹. 中心核線維の発現に筋損傷は必要か?. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (39) 田口徹, 太田大樹. モデルラットを用いた不活動性疼痛機構の電気生理学的解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (40) 田口徹, 太田大樹. 機械痛覚に関わる神経・分子機構の探索. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (41) 堀田一樹, 藤井豊, 間藤慶也, 池田光功, 梅木沙彩, 森下慎一郎, 椿淳裕. 吸入気酸素濃度の増加がラット骨格筋間質の酸素分圧に与える影響. 第75回日本体力医学会, 2020.9.24-9.26.
- (42) 堀田一樹, 藤井豊, 森下慎一郎, 井上達朗, 椿淳裕. ECMO管理中の骨格筋酸素動態-リン光クエンチング法を用いた計測-. 第24回酸素ダイナミクス研究会, 2020.10.10.
- (43) 五十嵐小雪, 山代幸哉, 馬場康博, 佐藤大輔. 月経周期が運動学習能に及ぼす影響. 第75回日本体力医学会, 2020.9.24-9.26.
- (44) 大鶴直史. 痛みを様々な視点から考える. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (45) 大鶴直史, 木村慎二, 岩崎円, 細井昌子, 大西秀明. 認知行動療法と運動療法の併用効果. 第13回日本運動器疼痛学会, 2020.11.28-11.29.
- (46) 大西秀明. 理学療法による神経調整の基礎. 第4回日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会, 2020.11.20-11.22.
- (47) 渡邊拓, 小島翔, 長坂和明, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大鶴直史, 大西秀明. 健常者の脳灰白質容積の変動性について. 第50回日本臨床神経生理学会学術大会, 2020.11.26-11.28.
- (48) 宮口翔太, 犬飼康人, 高橋諒, 大鶴直史, 大西秀明. 補足運動野への経頭蓋交流電流刺激が両手運動課題の成績に与える効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (49) Manh Van Pham, 宮口翔太, 渡邊拓, 長坂和明, 横田裕丈, 小島翔, 齊藤慧, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 他動運動介入による皮質脊髄路の興奮性変化が運動学習能力に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (50) 渡邊拓, 小島翔, 齊藤慧, 長坂和明, 宮口翔太, 横田裕丈, 犬飼康人, 大鶴直史, 大西秀明. 刺激様式の異なる反復的機械的触覚刺激がPaired-pulse depressionに及ぼす影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (51) 五十嵐眸実, 大鶴直史, 横田裕丈, 長坂和明, 五十嵐一希, 宮口翔太, 大西秀明. COMT遺伝子多型による痛みの注意と失感情の関連. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-

12.18.

- (52) 井上達朗, 前田圭介, 清水昭雄, 永野彩乃, 上島順子, 佐藤圭佑, 室谷健太. 高齢脳卒中患者におけるAWGS 2019推奨の下腿周径カットオフ値の妥当性の検討. 第10回日本リハビリテーション栄養学会, 2020.12.12-12.13.
- (53) 井上達朗, 若林秀隆, 前田圭介, 百崎良. 高齢胃がん患者における術前Body Mass Indexが術後日常生活動作能力, 合併症及び在院日数に与える影響. 第10回日本リハビリテーション栄養学会, 2020.12.12-12.13.
- (54) 井上達朗, 小川真人, 八木拓磨, 藤川孝, 櫻井進一, 白土健吾, 小林光, 白井信行, 前川健一郎. リハ栄養領域におけるエビデンス創出を目的とした「リハ栄養ラボ」の発足及び活動について. 第10回日本リハビリテーション栄養学会, 2020.12.12-12.13.
- (55) 齊藤慧, 大鶴直史, 犬飼康人, 小島翔, 宮口翔太, 長坂和明, 大西秀明. 後頭頂皮質への経頭蓋パルス電流刺激が触覚方位弁別能力にもたらす効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (56) 横田裕丈, 大鶴直史, 小島翔, 齊藤慧, 宮口翔太, 犬飼康人, 長坂和明, 大西秀明. 左後頭頂皮質および一次体性感覚野に対する10 Hz経頭蓋交流電流刺激が二点識別閾値に及ぼす領域特異的効果. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (57) 玉越敬悟, 前田まどか, 中村慎之介, 室橋七衣. 脳出血モデルラットにおける超早期リハビリテーションは炎症促進因子の増加および神経細胞死を促進する. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (58) 小島将, 白井直人, 椿淳裕, 松沢良太, 繁竹真人, 中田純一郎, 稲津昭仁, 上畑昭美, 鈴木裕介. 腹部CTを用いた血液透析患者の生命予後予測: 骨格筋密度に着目した検討. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.3.20-3.21.
- (59) 田口徹, 片野坂友紀, 片野坂公明. 皮膚の機械痛覚におけるTRPV2の関与: 単一神経記録法による電気生理学的解析. 第42回日本疼痛学会, 2020.12.4-12.5.
- (60) 田口徹, Ulrich Hoheisel, Treede Rolf-Detlef, Siegfried Mense. 腰部筋と下肢筋の痛覚受容に差異を生み出す神経解剖学的知見. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (61) 田口徹. 筋膜痛の末梢神経および脊髄機構. 日本ペインクリニック学会第1回東京・南関東支部学術集会, 2021.1.30.
- (62) 田口徹, 太田大樹. 動物モデルから探る骨格筋痛のメカニズム. 第50回日本慢性疼痛学会, 2021.3.19-3.20.
- (63) 江玉睦明, 稲葉洋美, 星野美美, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 菊元孝則, 伊藤涉, 熊崎昌, 三瀬貴生, 大森豪. 大学強化クラブ女性アスリートにおける女性アスリートの三主徴のリスクスコアと傷害発生との関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.10.17-10.18.
- (64) 江玉睦明, 高林知也. Lateral Lisfranc Ligamentの形態学的特徴. 第45回日本足の外科学会学術集会. 2020.11.26-11.27.
- (65) 江玉睦明, 高林知也, 松澤寛大. ヒラメ筋の形態学的特徴. 第12回JOSKAS, 2020.12.17-12.19.
- (66) 長坂和明, 小島翔, 大鶴直史, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 触覚刺激パターンの違いが脳領域間の機能的結合性に与える影響—MRIを用いたfunctional connectivityの評価—. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12-12.13.
- (67) 松澤寛大, 江玉睦明. 浅指屈筋における各指の起始部構造について. 第12回JOSKAS, 2020.12.17-12.19.
- (68) 丸山紗永, 山崎朋美, 平林愴, 横田裕丈, 関根千恵, 松澤寛大, 大槻智史, 大森豪, 江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性と全身関節弛緩性の関係. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.10.17-10.18.
- (69) 松澤寛大, 江玉睦明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 大森豪, 影山幾男.

浅指屈筋の各指の筋腹の形態学的特徴. 第31回日本臨床スポーツ医学会, 2020.10.17-10.18.

- (70) 松澤寛大, 江玉睦明, 佐藤昇. 浅指屈筋の3・4指と2・5指の肘外反制動機能. 第126回日本解剖学会, 2021.3.28-3.30.
- (71) 松澤寛大, 江玉睦明, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林怜, 関根千恵, 影山幾男. 肘尺側側副靭帯の横走線維束と前部線維束の関係. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (72) 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 変形性股関節症の進行を遅延させるためのバイオメカニクス研究. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.17.
- (73) 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. 歩幅とケイデンスが立脚期の股関節内・外転モーメントインパルスに与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (74) 稲井卓真, 高林知也, 江玉睦明, 久保雅義. T字杖の使用は立脚期の股関節屈曲・伸展モーメントインパルスに影響を与えるか?. 第9回日本支援工理学療法学会学術大会, 2020.11.7-11.8.
- (75) 椿淳裕, 森下慎一郎, 堀田一樹, 井上達朗, 白井信行, 梨本智史, 長濱秀明. 新潟内部障害リサーチミーティングの活動-位置づけと今後-. 第20回新潟医療福祉学会, 2020.10.31.

3) 国内学会・共同

- (1) 高橋一哲, 涌井萌香, 嵩岡幸子, 芳賀博子, 久保野勝男, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 自動分析装置における分注検体のサンプル詰まりエラー低減効果. 第69回日本医学検査学会(幕張), 2020.9.5-9.6.
- (2) 井口啓太, 柴田真由美, 小池敦, 久保野勝男, 藤井豊, 池上喜久夫, 長濱大輔. 尿沈渣検査における要員教育と内部精度管理による効果の検証. 第69回日本医学検査学会(幕張), 2020.9.5-9.6.
- (3) 加藤大喜, 橋本浩平, 森彰平, 重盛林太郎, 野田祐基, 松平秀樹, 平野純, 藤井豊, 大塚崇. ラット veno-venous extracorporeal membrane oxygenation (VV-ECMO) モデル. 第37回日本呼吸器外科学会学術集会(東京), 2020.9.29-9.30.
- (4) 市川浩, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 下肢関節角度変化の位相差がクロール泳フラッターキックの足関節速度および加速度に及ぼす影響. 第26回日本バイオメカニクス学会(福岡), 2020.9.18-9.20.
- (5) 市川浩, 田坂英郁, 下門洋文, 馬場康博, 奈良梨央, 下山好充. 大学生と中高生競泳選手間のフラッターキック動作の比較. 日本水泳・水中運動学会2020年次大会(愛知), 2020.11.14-11.15.
- (6) 武田智徳, 鈴木真弓, 椿淳裕, 津島正明, 桑原陽子, 下斗米佳奈実, 稲葉望文, 澤田凱志, 水村翔, 国府田剛, 森まゆか, 金井利沙, 寺崎義貴, 池田礼史, 加藤律史, 内田龍制, 牧田茂. 心臓デバイス植込み側上肢に対する上肢機能練習の有無と合併症の発生頻度の比較. 第26回日本心臓リハビリテーション学会, 2020.7.18-7.19.
- (7) 梨本智史, 井上雅之, 杉戸裕一, 奥口貴子, 阿部健介, 坂内将貴, 飯田晋, 富井亜佐子, 眞田明子, 岡田慎輔, 杉浦広隆, 樋口浩太郎, 堀田一樹, 椿淳裕. 外来心臓リハビリテーションによる身体活動量の変化に季節が与える影響. 第26回日本心臓リハビリテーション学会, 2020.7.18-7.19.
- (8) 市川美華, 堀田一樹, 児玉直樹, 櫻井典子, 森下慎一郎, 井上達朗, 椿淳裕. 動脈スピラベリリングを用いたグリッパ運動中の前腕血流マッピング. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12-12.13.
- (9) 一杉直樹, 堀田一樹, 大須賀睦, 堀くるみ, 井上達朗, 森下慎一郎, 椿淳裕. 健常若年者における他動的ストレッチ中の腓腹筋酸素利用. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12-12.13.
- (10) 大須賀睦, 堀田一樹, 一杉直樹, 堀くるみ, 椿淳裕, 森下慎一郎, 井上達朗. 駆血中の骨格筋酸素動態に影響する因子. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12-12.13.
- (11) 渡邊貴博, 高林知也, 渡部貴也, 久保雅義. 慢性足関節不安定症群とcoper群におけるランニング時の後足部と前足部間の運動連鎖の違い. 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020.12.12-

12.14.

- (12) 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀, 東江由起夫, 田村真明, 鷺巢貴志, 毛利孝裕. 3Dプリンタ製AFOと従来製AFOの繰り返し耐久試験による特性比較. 第36回日本義肢装具学会学術大会, 2020.10.30-11.1.
- (13) 東江由起夫, 前田雄, 郷貴博, 須田裕紀, 毛利孝裕, 鷺巢貴志, 田村真明. 3Dプリンタ製AFOの実用化に向けた臨床評価報告. 第36回日本義肢装具学会学術大会, 2020.10.30-11.1.
- (14) 竹部陽菜, 太田大樹, 田口徹. 長期ギブス固定による後肢不動化モデルラットの脊髄後角におけるミクログリアの活性化. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (15) 鷺澤玲央, 太田大樹, 田口徹. 運動後に生じる筋機械痛覚過敏におけるTRPV2チャンネルの関与: モデルラットを用いた行動薬理学解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (16) 井上創太, 太田大樹, 田口徹. 社会的敗北ストレスによる痛み関連行動の増大とその脊髄機構の解明. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (17) 菊地貴矢, 太田大樹, 平澤孝枝, 田口徹. 骨格筋神経における非活動性侵害受容器の組織学的発現解析. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (18) 齋藤めるも, 鈴木遥香, 五十嵐咲野, 波間真輝, 木嶋勇仁, 坂井琢真, 堀田一樹. 難消化性デキストリンを含むお茶は健常若年者の食後の血糖値上昇を抑制するか?. 第20回新潟医療福祉学会学術集会, 2020.10.31.
- (19) 橋本慈樹, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. バasketボールシュートスキル学習と練習前後の睡眠の関係. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (20) 伊藤祐輝, 宮口翔太, 犬飼康人, 大西秀明. 運動練習前後の睡眠が運動スキルの転移および保持に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (21) 富樫亮弥, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. BDNF遺伝子多型がバランス機能の運動学習に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (22) 大橋佑介, 犬飼康人, 宮口翔太, 大西秀明. 座位姿勢における前庭交流電流刺激が立位重心動揺に与える影響. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (23) 小林光, 井上達朗, 小川真人. Global Leadership Initiative on Malnutrition (GLIM) criteriaの臨床的有用性と機能障害との関連:ナラティブ・レビュー. 第10回日本リハビリテーション栄養学会, 2020.12.12-12.13.
- (24) 阿部晃平, 齊藤慧, 小林拓夢, 田中日菜, 小島翔, 大西秀明. 健常若年者におけるペグボード遂行能力と触覚方位弁別能力の関係. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (25) 佐藤暎, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 痛みへの選択的注意に関連する灰白質構造の特定一脳構造画像解析による検証一. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (26) 大倉百合絵, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 音楽聴取によって喚起される情動と灰白質容積との関連一脳構造画像解析を用いた検証一. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (27) 鈴木孝昇, 長坂和明, 渡邊拓, 大鶴直史, 横田裕丈, 大西秀明. 瞳孔径と一次運動野興奮性には関連があるか?. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (28) 工藤綾乃, 長坂和明, 大鶴直史, 横田裕丈, 大野健, 櫻井典子, 児玉直樹, 大西秀明. 内側前頭前野の灰白質容積はオフセット鎮痛の程度に関連するののか? - Voxel based morphometryを用いた検証一. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (29) 大柳春菜, 白井直人, 齊藤正和, 椿淳裕, 小島将, 久留秀樹, 稲津昭仁, 上畑昭美. 血液透析患者における心拍数を用いた有酸素運動の処方:最大心拍数予測式の開発とその妥当性. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会, 2021.3.20-3.21.
- (30) 白井信行, 山本卓, 大澤豊, 椿淳裕, 森下慎一郎, 佐藤陽一, 成田一衛. 外来維持血液透析患者

における透析日と非透析日の強度別身体活動量の比較. 第11回日本腎臓リハビリテーション学会
学術集会, 2021.3.20-3.21.

- (31) 星野美美, 稲葉洋美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化部女子選手
の睡眠と食事状況に関する調査報告. 第67回日本栄養改善学会, 2020.9.2-9.4.
- (32) 稲葉洋美, 星野美美, 海和美咲, 夏井紗野, 石井なるみ, 江玉睦明, 大森豪. 大学強化指定クラ
ブ女子選手における月経状況と栄養素等摂取状況に関する報告. 第67回日本栄養改善学会,
2020.9.2-9.4.
- (33) 青柳努, 工藤慎太郎, 小林匠, 江玉睦明, 兼岩淳平, 平田正純, 林英俊. 踵腓靭帯損傷が距骨下
関節内反不安定性に与える影響の検討. 第45回日本足の外科学会学術集会, 2020.11.26-11.27.
- (34) 工藤慎太郎, 小林匠, 高林知也, 江玉睦明. 超音波画像診断装置を用いた距骨下関節不安定性の
評価方法の検討 - 徒手的な内反負荷の妥当性の検証 -. 第45回日本足の外科学会学術集会,
2020.11.26-11.27.
- (35) 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林愴, 大森豪. 本学アスリート
サポート研究センターにおける脳振盪予防プログラムの試み. アスレティックトレーニング学会,
2020.12.
- (36) 吉岡乾太, 松澤寛大, 大槻智史, 丸山紗永, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 江玉睦明. 異なる負
荷量の肘外反ストレスにおける肘外反不安定性の変化. 第25回日本基礎理学療法学会学術集会,
2020.12.13-12.18.
- (37) 舍川真侑, 丸山紗永, 平田有彩, 横山瑞希, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 松澤寛大, 大槻智史,
江玉睦明. 月経周期における膝前方弛緩性, 反張膝, 全身関節弛緩性の変化. 第25回日本基礎理
学療法学会学術集会, 2020.12.13-12.18.
- (38) 熊崎昌, 三瀬貴生, 江玉睦明, 菊元孝則, 伊藤涉, 横田裕丈, 平林愴, 関根千恵, 稲葉洋美, 大
森豪. 大学男女バスケットボール選手におけるSCATベースラインスコアの検討. 第31回日本臨
床スポーツ医学会, 2020.10.17-10.18.

5. 学会活動

- (1) 体育学研究, 編集委員.
- (2) 日本介護予防・健康づくり学会誌, 学術委員.
- (3) Brain sciences, 査読委員.
- (4) Frontier in Psychology, 査読委員.
- (5) The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, 査読委員.
- (6) Scientific Reports, 査読委員.
- (7) 日本介護予防・健康づくり学会誌, 査読委員.
- (8) 脳機能とリハビリテーション研究会, 理事.
- (9) Journal of Rehabilitation Neurosciences, 編集委員.
- (10) 日本生体磁気学会, 評議員.
- (11) BMC Neuroscience, 査読.
- (12) 第58回日本人工臓器学会, プログラム委員.
- (13) 日本人工臓器学会, 選出評議員.
- (14) 日本人工臓器学会, 研究推進委員会委員.
- (15) 日本体外循環医学会学術委員会, 研究推進部会部会員.
- (16) Journal of Biomechanics, 査読委員.
- (17) Frontiers in Sports and Active Living, 査読委員.
- (18) Journal of Sports Science and Medicine, 査読委員.
- (19) Frontier in Human Neuroscience, Review editor.
- (20) Frontier in Psychology, 査読委員.

- (21) Journal of Cognitive Enhancement, 査読委員.
- (22) Experimental Brain Research, 査読委員.
- (23) 理学療法学, 査読委員.
- (24) Physical Therapy Research, 査読委員.
- (25) Niigata Journal of Health and Welfare, 査読委員.
- (26) 日本理学療法士協会, 委員.
- (27) 日本理学療法士協会, 心血管システムティックレビュー班班員.
- (28) 日本呼吸理学療法学会, 部員.
- (29) 日本理学療法士協会, 班員.
- (30) Sports Biomechanics, 査読.
- (31) 日本義肢装具士協会, 査読.
- (32) 日本義肢装具士協会, 編集委員.
- (33) 日本義肢装具学会, 委員.
- (34) Medicines, 査読.
- (35) Journal of Musculoskeletal Disorders and Treatment, 査読.
- (36) Molecules, 査読.
- (37) Journal of Neuroinflammation, 査読.
- (38) Acupuncture in Medicine, 査読.
- (39) Current Pharmaceutical Biotechnology, 査読.
- (40) Journal of Pain Research, 査読.
- (41) Animals, 査読.
- (42) Current Rheumatology Reviews, 査読.
- (43) 日本生理学会, 評議員.
- (44) 日本疼痛学会, 代議員.
- (45) 日本基礎理学療法学会, 査読委員.
- (46) 第5回日本心血管管理学療法学会, 部長.
- (47) 日本理学療法士協会, ガイドライン作成班班員.
- (48) 「地域におけるかかりつけ医等を中心とした心不全の診療提供体制構築のための研究」研究班, 研究協力者.
- (49) Frontiers in Human Neuroscience, Review editor.
- (50) Frontiers in Physiology, Review editor.
- (51) 日本生体磁気学会, 評議員.
- (52) 日本ペインリハビリテーション学会, 代議員.
- (53) Medical Science Monitor, 査読.
- (54) 日本理学療法士協会, ガイドライン作成班班員.
- (55) 日本理学療法士協会, 査読委員.
- (56) Scientific Reports, 査読.
- (57) 日本臨床栄養代謝学会, 学術評議委員, 関東甲信越支部世話人.
- (58) 日本リハビリテーション栄養学会, 理学療法士部会.
- (59) 日本リハビリテーション栄養学会.
- (60) The Journal of Nutrition, Health & Aging, 査読委員.
- (61) Nutrients, 査読.
- (62) Health care, 査読.
- (63) Aging Clinical and Experimental Research, 査読.
- (64) Archives of Gerontology and Geriatrics, 査読.

- (65) リハビリテーション栄養, 査読.
- (66) 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 部長.
- (67) International Journal of Environmental Research and Public Health, Topic Editor.
- (68) 第40回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 表彰委員長.
- (69) Journal of Personalized Medicine, 査読.
- (70) Philippine Journal of Allied Health Sciences, International reviewer.
- (71) World Journal of Surgical Oncology, 査読委員.
- (72) 日本理学療法士協会 栄養・嚥下理学療法部門, 運営幹事.
- (73) 介護予防・健康づくり研究.
- (74) American Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, 査読.
- (75) Behavioural Brain Research, 査読.
- (76) Scientific Reports, 査読.
- (77) Journal of Integrative Neuroscience, 査読.
- (78) Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases, 査読.
- (79) Neurochemical Research, 査読.
- (80) International Journal of Developmental Neuroscience, 査読.
- (81) Drug Design, Development and Therapy, 査読.
- (82) 第25回日本基礎理学療法学会学術集会, 演題査読.
- (83) Current Diabetes Reviews, 査読.
- (84) 第25回日本基礎理学療法学会学術大会, 査読.
- (85) 第7回日本スポーツ理学療法学会学術大会, 査読.
- (86) Peer J, 査読.
- (87) 理学療法学, 査読委員.
- (88) Anatomical science internationa, 査読.
- (89) Journal of anatomy, 査読.
- (90) Journal of Clinical Medicine, Topic Editors.
- (91) Journal of foot and Ankle research, 査読.
- (92) 日本理学療法士協会, 足関節・足部機能障害理学療法ガイドラインシステムティックレビュー班
班員.
- (93) 日本アスレティックトレーニング学会誌, 査読.
- (94) Niigata Journal of Health and Welfare, 査読.
- (95) スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会第38回研修会, 一般演題座長・表彰審査委員.
- (96) スポーツ選手のためのリハビリテーション研究会第38回研修会, 準備委員.
- (97) 日本スポーツ理学療法学会第8回学術大会, 準備委員.

6. 社会活動

1) 公開講座・講演会等

- (1) からだを使ってあそぼうリモート教室, 体力測定, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 新潟市, 2020.8.1-8.29 (全4回).
- (2) からだを使ってあそぼうリモート教室, エクササイズ動画配信, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 新潟市, 2020.9.1-11.30.
- (3) からだを使ってあそぼうリモート教室, 体力測定, 新潟県障害者スポーツ協会, 知的障害児, 新潟市, 2020.11.14-11.28 (全2回).
- (4) 令和2年度 健康づくりのための室内運動指導者研修会, 私たちの生活活動(運動)と脳に関すること, 講義・実技指導, 新潟県, 県・市町村の健康づくりに関わる者, 新潟市, 2020.10.9.
- (5) 学びほぐしタイム, 実践 脳研究, 講義・リモート実験, 長野県坂城町立坂城中学校, 中学生・

- 中学校教員・一般参加者，坂城町，2020.11.25.
- (6) 知る・学ぶ「福祉・介護・健康」，体力測定，新潟日報社，市民，新潟市，2020.11.8.
 - (7) 自分の体と向き合う付き合う，講義，新潟市社会福祉協議会，登録した高齢者，新潟市，2020.9.1.
 - (8) 足部の評価方法と足部内のバイオメカニクス，講演，アルクラボ，理学療法士，Web，2020.8.2.
 - (9) 拘縮を防ぐポジショニング，講義・実技，二王子会とっさか，介護士・看護師，胎内市，2020.11.17.
 - (10) 日本健康運動指導士会新潟県支部研修会，循環器疾患を有する高齢者に対する運動指導の注意点，講義，日本健康運動指導士会新潟県支部，健康運動指導士，新潟市，2020.11.15.
 - (11) トキめき会，体力測定，新潟医療福祉大学，慶應義塾大学，北里大学，佐渡市在住者，佐渡市，2020.10.23-10.25，2021.1.8-1.11，2021.3.12-3.14（全24回）.
 - (12) にいがたヘルスケアICTフォーラム「新潟がリードするこれからのヘルスケアICT」，トキめき会－あなたの若さ度チェックしてみませんか？，講演，新潟県，メディア，一般市民，新潟市，2021.1.22.
 - (13) 新潟内部障害リサーチミーティング，骨格筋の微小循環-Regulation of Skeletal Muscle Microcirculation-，講演，新潟内部障害リサーチミーティング，医療従事者，Web，2020.11.17.
 - (14) 循環器疾患の理学療法の基礎，理学療法士が知っておくべき循環器の解剖生理，講義，新潟県理学療法士協会，理学療法士，Web，2021.2.3-2.16.
 - (15) 第13回日本運動器疼痛学会，「患者はその時何を考えていたか？」慢性疼痛患者へのインタビュー，講演，日本運動器疼痛学会，医療従事者，新潟市，2020.11.30-12.25.
 - (16) 甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 理学療法学科 講演会，サルコペニアとフレイルの最近の動向－臨床での評価と対策－，講演，甲南女子大学，医療従事者，Web，2020.12.10.
 - (17) 新潟内部障害リサーチミーティング，今からできる臨床研究の進め方－リハと栄養を中心に－，講演，新潟内部障害リサーチミーティング，医療従事者，Web，2020.11.19.
 - (18) 診療参加型臨床実習について，講演，新潟脳外科病院，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，新潟市，2020.10.1.
 - (19) 末梢電気刺激療法の効果とその使い方，講演・実技指導，新潟脳外科病院，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，新潟市，2020.10.7.
 - (20) 第4回栄養・嚥下理学療法部門研究会，教育講演，日本理学療法士協会 栄養・嚥下理学療法部門，理学療法士，東京都（Web），2021.2.14.
 - (21) シーティング，講義・実技，二王子会とっさか，作業療法士・介護士・看護師，胎内市，2021.1.19.
 - (22) 上肢の機能解剖，上肢のスポーツ障害に対するリハビリテーション，講演，一般社団法人 三条まちづくり会社，運動指導者，web，2021.2.27.
 - (23) 理学療法士講習会：循環器疾患の理学療法の基礎，運動時のバイタルサインをどう読み解くか，講演，新潟県理学療法士会，理学療法士，Web，2021.2.23.
 - (24) 理学療法士講習会：循環器疾患の理学療法の基礎，最新トピックス－栄養障害と筋萎縮－，講演，新潟県理学療法士会，理学療法士，Web，2021.2.23.
 - (25) 第45回日本足の外科学会シンポジウム，アスリートの足疾患に対する集学的治療－診断からリコンディショニングまで－，シンポジウム，日本足の外科学会，医師，理学療法士，Web，2021.11.27.
 - (26) 第25回日本基礎理学療法学会 シンポジウム1，運動器理学療法における基礎と臨床の接点，シンポジウム，日本理学療法士協会，理学療法士，Web，2020.12.12.
 - (27) 解剖学的視点からみたスポーツ障害～筋構造・筋腱移行部・腱付着部の新しい知見～，講演，アスレティックトレーナー長崎県協議会，理学療法士・AT，Web，2021.1.28.

(28) 医療法人アレックス職員研修会, 解剖学的見地から考えるアキレス腱障害患者の治療戦略, 講演, 医療法人アレックス, 理学療法士, Web, 2021.1.30.

7. 外部資金(科学研究費等)の獲得状況

- (1) 2019年度, 科研費基盤研究(A), 知覚学習イノベーションー次世代感覚運動学習法の創出ー, 大西秀明. 研究代表者.
- (2) 2018年度, 科研費基盤研究(B), 大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデレーションの開発, 佐藤大輔. 研究代表者.
- (3) 2017年度, 科研費基盤研究(B), 骨機械感受性を調節する骨細胞ネットワークとその神経性調節, 山本智章. 研究代表者.
- (4) 2019年度, 科研費基盤研究(B), 遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証, 田口徹. 研究代表者.
- (5) 2019年度, 科研費基盤研究(B), 慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略, 大鶴直史. 研究代表者.
- (6) 2020年度, 科研費基盤研究(B), 酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証, 椿淳裕. 研究代表者.
- (7) 2018年度, 科研費基盤研究(C), がん患者に対する運動と栄養をあわせた戦略的リハビリテーションプログラムの開発, 森下慎一郎. 研究代表者.
- (8) 2019年度, 科研費基盤研究(C), アスリートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築, 山代幸哉. 研究代表者.
- (9) 2018年度, 科研費基盤研究(C), 重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にするー小動物モデルでの検討ー, 藤井豊. 研究代表者.
- (10) 2019年度, 科研費基盤研究(C), アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明ー予防法の開発に向けてー, 江玉睦明. 研究代表者.
- (11) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 遅発性筋痛における機械感受性イオンチャネルの役割の解明, 太田大樹. 研究代表者.
- (12) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発, 齊藤慧. 研究代表者.
- (13) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 脳卒中超急性期リハビリテーションの効果検証と新たな治療戦略の開発, 玉越敬悟. 研究代表者.
- (14) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制プログラムの開発, 能村友紀. 研究代表者.
- (15) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価, 児玉直樹. 研究代表者.
- (16) 2020年度, 科研費基盤研究(C), 脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明, 相馬俊雄. 研究代表者.
- (17) 2019年度, 科研費若手研究, 体外循環モデルラットの骨格筋における酸素・循環動態の解明, 堀田一樹. 研究代表者.
- (18) 2018年度, 科研費若手研究, 「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発, 伊藤渉. 研究代表者.
- (19) 2019年度, 科研費若手研究, 泳技能学習によるヒトの流体ー神経適応過程の解明, 下門洋文. 研究代表者.
- (20) 2019年度, 科研費若手研究, 運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明, 宮口翔太. 研究代表者.
- (21) 2019年度, 科研費若手研究, 触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響, 小島翔. 研究代表者.

- (22) 2019年度, 科研費若手研究, ストレッチングによる筋スティフネス減少メカニズムの解明, 中村雅俊. 研究代表者.
- (23) 2018年度, 科研費若手研究, 軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明, 高橋英明. 研究代表者.
- (24) 2019年度, 科研費若手研究, 義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化, 須田裕紀. 研究代表者.
- (25) 2020年度, 科研費若手研究, 泳動作中の肩峰下空間距離を推定する手法の開発と肩障害の発生要因解明への応用, 三瀬貴生. 研究代表者.
- (26) 2020年度, 科研費若手研究, 脳律動の個人特性に合わせた皮質活動の変調が二点識別覚へ及ぼす影響の解明, 横田裕丈. 研究代表者.
- (27) 2020年度, 科研費若手研究, 反復他動運動に着目した効果的な相反性抑制増強法の開発, 平林怜. 研究代表者.
- (28) 2020年度, 科研費若手研究, 早期変形性膝関節症の新規抽出アプローチの開発 – 関節加速度を用いて –, 鈴木祐介. 研究代表者.
- (29) 2020年度, 科研費若手研究, 膝前十字靭帯再建術後の反対側における衝撃吸収パターンの解明, 菊元孝則. 研究代表者.
- (30) 2020年度, 科研費若手研究, 不活動性膝関節痛の末梢神経・分子機構解明, 濱上陽平. 研究代表者.
- (31) 2020年度, 科研費若手研究, RigidとFlexibleな扁平足における足部内の動きと力学的負荷の解明, 高林知也. 研究代表者.
- (32) 2020年度, 科研費若手研究, 島皮質の活動をリモート制御する大脳皮質電気刺激法の確立, 長坂和明. 研究代表者.
- (33) 2020年度, 科研費若手研究, 小脳および前庭器官への電流刺激が小脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与える影響, 犬飼康人. 研究代表者.
- (34) 2020年度, 科研費若手研究, 反復末梢性磁気刺激と運動イメージの併用による脳-脊髄の可塑的变化の解明, 浅尾章彦. 研究代表者.
- (35) 2020年度, 科研費挑戦的研究(開拓), 小脳の構造・機能・ネットワーク解析による「研ぎ澄まされた感覚」の可視化, 大西秀明. 研究代表者.
- (36) 2018年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), バーチャルリアリティとロボティクスを応用した心拍駆動型身体認知変容システムの開発, 大鶴直史. 研究代表者.
- (37) 2019年度, 科研費挑戦的研究(萌芽), 水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発, 佐藤大輔. 研究代表者.
- (38) 2019年度, 科研費研究スタート支援, 運動時低体温症の発生メカニズムの解明 – 運動時温度感覚に着目して –, 藤本知臣. 研究代表者.
- (39) 2020年度, 科研費若手研究, 低温環境下におけるふるえ発生メカニズムの解明 – 皮膚温度受容器の役割に着目して –, 藤本知臣. 研究代表者.
- (40) 2019年度, 科研費基盤研究(A), 在宅高齢者・認知症当事者の「こころ」の外化に基づく自助・互助支援システムの開発, 児玉直樹. 研究分担者.
- (41) 2019年度, 科研費基盤研究(C), 新規in vivoパッチクランプ法を用いた慢性筋痛の脊髄機構解明と治療薬の探索, 田口徹. 研究分担者.
- (42) 2016年度, AMED-CREST, 機械受容応答を支える膜・糖鎖環境の解明と筋疾患治療への展開, 田口徹. 研究分担者.
- (43) 2019年度, Pfizer Independent Grants for Learning & Change (IGLC); Supporting Educational Programs for Radical Reform of Pain Treatment in Japan, 田口徹. 研究代表者.
- (44) 2020年度, スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト, 月経周期における

コンディション不良に対する運動器機能と中枢神経機能からアプローチする新たなトレーニング法・傷害予防法の開発, 江玉陸明. 研究代表者.

- (45) 2020年度, 国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター (RISTEX), 個別化したデータに基づく健康寿命延伸を実現するモデルの構築～いのち輝く社会を目指して～, 堀田一樹. 研究分担者.
- (46) 2020年度, 理学療法に関わる研究助成金, 脳梗塞後と脳出血後における理学療法効果の比較検証による脳卒中病型別理学療法の開発, 玉越敬悟. 研究代表者.
- (47) 2020年度, 厚生労働科学研究費・障害者政策総合研究事業事業「障害者の支援機器開発に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル構築に資する研究」, 大西秀明. 研究分担者

10) 学内における研究助成金の採択状況

(1) 研究奨励金 採択一覧表

①スタートアップ・チャレンジ研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	関根千恵	理学療法学科	競技スポーツ選手における仙腸関節部痛の発生機序解明
2	阿部拓也	臨床技術学科	超音波診断用造影剤の弊害を探る
3	天野 暁	作業療法学科	日本語版 Action Research Arm Test における階層性に基づく評価実施短縮の是非
4	小林真里奈	健康スポーツ学科	次動作の移行に最も有効な基本姿勢（パワーポジション）の定量的評価と検証
5	安藤 萌	看護学科	小児がん拠点病院の看護師が捉える終末期看護の困難と看護の標準化
6	寺尾幸子	健康栄養学科	動画媒体による遠隔包丁技術教育の効果に関する検討
7	岩野千尋	看護学科	新任訪問看護師が的確な判断能力や実践力を獲得していく過程－教育プログラムの検討をめざす－

②奨励研究費 (A)

	研究者	所属学科	研究課題
1	大西秀明	理学療法学科	小脳の機能・構造・ネットワーク解析による“触られ心地”の可視化
2	大鶴直史	理学療法学科	一次体性感覚野の興奮性を増大させる心拍駆動型脳刺激法の開発
3	山代幸哉	健康スポーツ学科	目の開閉が感覚機能向上に及ぼす効果の解明
4	椿 淳裕	理学療法学科	酸素化ヘモグロビンをバイオマーカーとした血圧低下時の大脳皮質神経活動の描出と循環調節に関与する皮質領域の同定
5	田口 徹	理学療法学科	骨格筋の力学的適応を支える分子基盤の解明
6	宮口翔太	理学療法学科	大脳皮質デフォルトモードネットワークの強化による新たな運動学習プログラムの考案
7	江玉陸明	理学療法学科	アキレス腱障害の新たな予防法の考案～アキレス腱の捻れ構造と力学的特性に着目して～
8	長谷川晃	診療放射線学科	ディープラーニング（ResNet）による CCTA 画像を用いた冠動脈プラーク組織性状の自動分類
9	佐藤大輔	健康スポーツ学科	超人たちの究極の共助における線条体の役割を探る
10	藤本知臣	健康スポーツ学科	寒冷順化による温度感覚の適応とそのメカニズムの解明－皮膚温度感覚受容器の働きに着目して－
11	藤井 豊	臨床技術学科	重症肺炎に対する迅速導入可能な ECMO システム開発に向けた基礎研究
12	平林 怜	理学療法学科	脳刺激と反復他動運動の併用による効果的な相反性抑制増強法の開発
13	相馬俊雄	理学療法学科	脳卒中片麻痺者の体幹ベルト付下肢装具歩行における下肢筋緊張の抑制機構の解明
14	長坂和明	理学療法学科	高性能光計測システムを用いた脳内アセチルコリン神経による体性感覚調節機構の解明
15	斎藤トシ子	健康栄養学科	ビタミンDコホート研究の10年後フォローアップ：生活習慣の長期縦断調査
16	犬飼康人	理学療法学科	前庭器官へのノイズ電流刺激が歩行機能に与える効果の検証
17	堀田一樹	理学療法学科	骨格筋における血流と酸素のゆらぎの解析
18	小島 翔	理学療法学科	新たな治療戦略に向けた経頭蓋直流電流刺激効果と脳構造との関連の解明
19	伊藤 涉	理学療法学科	AIを用いたマーカーレス動作解析システムの臨床応用－膝前十字靭帯再損傷のリスク評価法の確立に向けて－
20	須田裕紀	義肢装具自立支援学科	3Dプリンタを用いた短下肢装具の機能特性の評価と臨床応用
21	菊元孝則	理学療法学科	定量的評価による慢性足関節不安定性が着地動作時の足底圧分布に与える影響
22	横田裕丈	理学療法学科	経皮的迷走神経刺激（tVNS）が痛覚知覚時の脳活動に及ぼす影響の解明
23	澤田純明	理学療法学科	脆弱化した骨組織片の組織形態学的人獣鑑別

	研究者	所属学科	研究課題
24	市川 浩	健康スポーツ学科	超高速推進中におけるクロール泳キックの推進力発揮の可視化

③奨励研究費 (B)

	研究者	所属学科	研究課題
1	鈴木祐介	理学療法学科	変形性膝関節症患者における股関節外転筋の筋力発揮率が階段昇降動作に及ぼす影響の解明
2	神田 賢	理学療法学科	不良姿勢での遠隔授業参加が身体・心理面におよぼす影響－適切な環境設定への提言－
3	森下慎一郎	理学療法学科	予防的弾性着衣が乳がん術後患者のリンパ浮腫とQOLに与える影響
4	高橋良光	臨床技術学科	透析用カテーテルの構造の違いが血栓形成に与える影響～ブタ血液を用いて～
5	北上守俊	作業療法学科	高次脳機能障害者に対する認知リハビリテーションと職業リハビリテーションを併用した新たな就労支援プログラムの開発
6	太田大樹	理学療法学科	線維筋痛症における機械感受性イオンチャネルの役割－本質的な病態解明に向けた複合的アプローチ
7	佐藤未希	義肢装具自立支援学科	走行時の筋変化に対応する、走行用義足ソケットの検討
8	村田憲章	視機能科学科	アイトラッカーを用いた客観的な偏心視の獲得訓練法の確立
9	下門洋文	健康スポーツ学科	トップスイマーが発揮する推進力の大きさを水の流れから推定する
10	児玉直樹	診療放射線学科	身体的フレイル及び認知的フレイルにおける脳機能メカニズムの解明
11	大石如香	言語聴覚学科	脳損傷患者における単語検索障害に関する認知神経心理学的検討
12	浅尾章彦	作業療法学科	反復末梢性磁気刺激とスプリント装具を併用した新たな神経リハビリテーションの開発
13	能村友紀	作業療法学科	経頭蓋交流電流刺激の周波数帯域の違いがエピソード記憶に及ぼす影響
14	鷗瀬亮一	健康スポーツ学科	VR技術とアイトラッキングシステムを用いた現役野球指導者育成の試み
15	佐藤敏郎	健康スポーツ学科	運動競技選手における簡便で合理的な浮き趾測定法の検討
16	萩原康雄	理学療法学科	江戸時代の身分差が頭蓋の筋付着部形態に与える影響を解明する
17	前田 雄	義肢装具自立支援学科	新しい下腿義足ソケット形状の考案に関する研究
18	生方北斗	視機能科学科	メディアを介したGoldmann視野計検査の遠隔指導の試み
19	戸田春男	視機能科学科	「声かけ」がもたらす臨床検査時のストレス軽減効果の定量化
20	増田紘之	健康栄養学科	運動が骨格筋の血糖利用を高める機序－ヘキソキナーゼとミトコンドリアのカップリングに着目して－
21	越中敬一	健康スポーツ学科	食欲の抑制効果を有する栄養素の摂取が骨格筋の運動適応に与える影響
22	高橋英明	理学療法学科	ラット坐骨神経切除後におけるEnthesisのコラーゲン変化と血管新生の関係性
23	外川 佑	作業療法学科	回復期脳卒中患者における脳卒中後うつ状態と「意味のある作業」の満足度の関連：自己効力感の媒介効果の検討
24	大野 健	診療放射線学科	定量的MR解析を用いた不安症の病態生理を反映した生物学的指標(MRバイオマーカー)の開発
25	池田祐介	健康スポーツ学科	円盤投における投てき動作の動作解析と選手による投てき動作に対する主観的評価
26	松井由美子	看護学科	高性能モデルを使用したシミュレーションによる医療的ケア講習会の定例開催に向けた小児の専門職を対象とした研修内容に関する調査研究
27	岩森 大	健康栄養学科	外出自粛下における高齢者のテイクアウトメニュー構築に向けた体系的な研究
28	川上心也	健康栄養学科	母体の栄養状態が卵子の成熟に及ぼす影響
29	織部祐介	診療放射線学科	仕掛学による行動心理を活用した放射線被ばく低減～放射線をどこまで減らすことができるか～
30	竹内瑞希	健康栄養学科	透析患者の食塩管理に適した出汁の抽出条件の検討

	研究者	所属学科	研究課題
31	佐伯史子	理学療法学科	江戸時代人骨の身長とプロポーションを解剖学的方法に基づき復元する
32	三瀬貴生	健康スポーツ学科	競泳ストローク動作における筋パワーを計測する手法と新たな疲労介入モデルの開発
33	追手 巍	臨床技術学科	腎糸球体メサンギウム合胞体機能破綻と腎糸球体硬化症の進行・単離腎かん流法を用いたコネクシン機能の ex vivo 解析
34	浅井孝夫	臨床技術学科	薬物代謝型 Cytochrome P450 遺伝子多型と胆嚢がん発生との関連
35	関本道治	診療放射線学科	在宅および災害時診療における X線撮影時の管理区域に関する検討

④人文社会関連分野研究費

	研究者	所属学科	研究課題
1	宇田優子	看護学科	在宅療養者の災害対処行動 - 台風洪水の場合 -
2	高田大輔	健康スポーツ学科	小学校低学年における器械・器具を使つての運動遊びの学習指導に関する研究：児童の基礎感覚づくりと言語活動に着目して
3	山口 智	社会福祉学科	地域共生社会に向けた「再帰性」概念の模索

(2) 学長裁量研究費 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題
1	大西秀明	理学療法学科	東アジアの狩猟採集／農耕転換期における健康水準の変動を解明する
2	松井由美子	看護学科	ベトナムにおける多職種間連携に関する国際支援
3	東江由起夫	義肢装具自立支援学科	アジアにおける義肢装具等の教育・研究・臨床向上推進に関する研究
4	丸田秋男	社会福祉学科	同窓会組織に関する整備等
5	吉田皓文	診療放射線学科	若手研究 A評価

(3) 研究科長裁量研究費 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題
1	大西秀明	理学療法学科	機械的触覚刺激介入の刺激パターンの違いが感覚機能と大脳皮質灰白質容積に及ぼす影響
2	大西秀明	理学療法学科	Homeostatic plasticity を利用した他動運動後の運動学習能力の変化の解明
3	佐藤大輔	健康スポーツ学科	月経周期による行動抑制機能の変化 - 月経前症候群に着目して -
4	江玉睦明	理学療法学科	浅指屈筋の肘外反制動機能の解明～解剖学的・生体力学的解析を用いた研究～
5	久保雅義	理学療法学科	ランニング動作の股関節運動に対するハムストリングスの力学的寄与の解明
6	久保雅義	理学療法学科	慢性足関節不安定症群と coper 群における非予測的なカッピング動作中に生じる足関節再捻挫発生機序の解明
7	佐藤成登志	理学療法学科	屈曲型腰痛と伸展型腰痛における股関節可動域と筋柔軟性および脊柱可動域の関連
8	奈良貴史	理学療法学科	長岡藩主牧野家と岩槻藩主大岡家の血縁関係にみられる貴族的形質について

(4) 外部資金獲得奨励金 採択一覧表

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
1	浅尾章彦	作業療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
2	池田祐介	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
3	伊藤 涉	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
4	犬飼康人	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
5	岩森 大	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
6	鶴瀬亮一	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
7	宇田優子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
8	内山 信	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
9	生方北斗	視機能科学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
10	太田大樹	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
11	大野 健	診療放射線学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
12	大松健太郎	救急救命学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
13	神藏貴久	救急救命学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
14	神田 賢	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
15	菊元孝則	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
16	北上守俊	作業療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
17	熊崎 昌	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
18	紅林佑介	看護学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
19	栗原 桂	言語聴覚学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
20	郷 貴博	義肢装具自立支援学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
21	小島 翔	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
22	齊藤 慧	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
23	斎藤トシ子	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
24	佐藤晶子	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
25	佐藤敏郎	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
26	佐藤未希	義肢装具自立支援学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
27	下門洋文	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
28	下山好充	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
29	鈴木祐介	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
30	須田裕紀	義肢装具自立支援学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
31	相馬俊雄	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
32	外川 佑	作業療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
33	高橋英明	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
34	高橋素彦	義肢装具自立支援学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
35	高橋良光	臨床技術学科	研究助成金	日本透析医会
36	高林知也	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
37	多々良俊哉	視機能科学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
38	田村俊暁	言語聴覚学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
39	坪川麻樹子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
40	寺田貴美代	社会福祉学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
41	戸田春男	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
42	奈良梨央	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
43	能村友紀	作業療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
44	萩原康雄	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
45	長谷川晃	診療放射線学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
46	塙 晴雄	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
47	針谷美智子	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
48	平林 怜	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
49	藤井 豊	臨床技術学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
50	堀田一樹	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
51	前田史篤	視機能科学科	受託研究契約	(株)ライト製作所
52	間宮靖幸	作業療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
53	三瀬貴生	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
54	宮口翔太	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
55	村田憲章	視機能科学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
56	森下慎一郎	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
57	山口典子	看護学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
58	山代幸哉	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
59	山本悦史	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
60	横田裕丈	理学療法学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
61	吉松 梓	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
62	若井由梨	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
63	阿部 薫	義肢装具自立支援 学科	共同研究契約	株式会社山忠
			業務委託契約	株式会社ワコール
64	江玉睦明	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			令和2年度「女性アスリートの育 成・支援プロジェクト」研究代 表者	スポーツ庁
65	大鶴直史	理学療法学科	科研費挑戦的研究(萌芽) 研究 代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
66	大西秀明	理学療法学科	科研費基盤研究 (A) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
67	大森 豪	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			共同研究契約	ヨネックス(株)
68	織部祐介	診療放射線学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
			国際共同研究加速基金 研究分担 者	日本学術振興会
69	越中敬一	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			共同研究契約	日本新薬(株)
70	児玉直樹	診療放射線学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
			共同研究契約	コニカミノルタ(株)
71	佐宗亜衣子	理学療法学科	科研費研究活動スタート支援 研 究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
72	佐藤大輔	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究(萌芽) 研究 代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
73	佐藤成登志	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
			委託事業契約	新潟県
74	佐藤裕紀	健康スポーツ学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
75	澤田純明	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費挑戦的研究(萌芽) 研究 分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
76	杉崎弘周	健康スポーツ学科	科研費挑戦的研究(萌芽) 研究 分担者	日本学術振興会
			厚労科研費 研究分担者	日本学術振興会
77	田口 徹	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			研究助成金	ファイザー(株)
			AMED - CREST 研究分担者	日本医療研究開発機構

	研究者	所属学科	研究課題	資金獲得先
78	玉越敬悟	理学療法学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			研究助成金	日本理学療法士学会
			研究助成金	日本理学療法士学会
79	椿 淳裕	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			共同研究契約	(株)地球快適化インスティテュート
80	中村雅俊	理学療法学科	科研費若手研究	日本学術振興会
			受託研究契約	(株)テクノリンク
			受託研究契約	(株)テクノリンク
			受託研究契約	(株)インディバ・ジャパン
81	奈良貴史	理学療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			受託研究契約	(株)パスコ
			受託研究契約	(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
			受託研究契約	(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団
82	西原康行	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
83	能登真一	作業療法学科	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (A) 研究分担者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (C) 研究分担者	日本学術振興会
			寄附金	クレコメディカルアセスメント(株)
			共同研究契約	みずほ情報総研(株)
84	藤本知臣	健康スポーツ学科	科研費研究活動スタート支援 研究代表者	日本学術振興会
			科研費若手研究 研究分担者	日本学術振興会
85	増田 修	視機能科学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
86	八坂敏一	健康栄養学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (S) 研究分担者	日本学術振興会
87	山本智章	新潟リハビリテーション病院	科研費基盤研究 (B) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
88	吉田重和	健康スポーツ学科	科研費基盤研究 (C) 研究代表者	日本学術振興会
			科研費基盤研究 (B) 研究分担者	日本学術振興会
89	渡邊敏文	社会福祉学科	受託事業契約	新潟県
			受託事業契約	新潟市
			受託事業契約	新潟市
90	渡辺優奈	健康栄養学科	科研費若手研究 研究代表者	日本学術振興会
			共同研究契約	(株)ナチュラルサイエンス

11) 外部資金の獲得状況

(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費助成事業 採択一覧表

(円)

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
1	2015	2019	基盤研究 (B)	澤田純明	東南アジア大陸部における家畜化プロセスの総合的解明	15,860,000
2	2015	2019	若手研究 (B)	吉松 梓	発達に困難を抱える児童・生徒への自然体験療法－身体感覚と不器用さに着目して－	3,770,000
3	2017	2020	基盤研究 (B)	山本智章	骨機械感受性を調節する骨細胞ネットワークとその神経性調節	17,030,000
4	2017	2019	基盤研究 (C)	増田 修	変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質感知覚の解明	4,680,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
5	2017	2019	基盤研究 (C)	今西里佳	要介護者の排泄改善に向けた科学的ケア・リハビリテーションプログラムの効果検証	4,550,000
6	2017	2019	基盤研究 (C)	川村宏樹	新規NF- κ B抑制因子による炎症性腸疾患における慢性炎症の制御機構	4,810,000
7	2017	2019	基盤研究 (C)	山口典子	未婚男性における妊孕性の認識構造と「男性の妊孕性に対する自己認識尺度」の開発	4,550,000
8	2017	2020	基盤研究 (C)	坪川麻樹子	てんかんの手術を受ける患児へのカスタマイズ可能な看護介入プログラムの開発	4,030,000
9	2017	2019	基盤研究 (C)	小山歌子	特別豪雪地帯の無医地区において高齢者を在宅で看取るケアシステムの構築	3,640,000
10	2017	2019	基盤研究 (C)	中澤紀代子	助産師基礎教育から臨床への連動を意識した分娩後出血に関する教育プログラムの開発	4,160,000
11	2017	2019	若手研究 (B)	奈良梨央	背泳ぎスタート技術向上を促すフィードバックシステムの開発とトレーニングへの応用	4,160,000
12	2017	2019	若手研究 (B)	中島郁子	剣道の稽古・修行で果たされる「人間形成」について一風景構成法を手掛かりとして一	3,380,000
13	2017	2019	若手研究 (B)	増田紘之	運動が骨格筋の血糖利用を高める機序－ヘキソキナーゼとミトコンドリアに着目して－	4,030,000
14	2017	2019	若手研究 (B)	長谷川晃	心臓カテーテル撮影における動画倍速駆動処理技術の開発	4,160,000
15	2018	2021	基盤研究 (B)	杉崎弘周	インクルーシブながん教育実現のための総合的研究	17,160,000
16	2018	2020	基盤研究 (B)	能登真一	基準的賭け法を用いたQOL値評価とスコアリングアルゴリズムの開発に関する研究	15,990,000
17	2018	2020	基盤研究 (B)	佐藤大輔	大脳基底核コリン作用を高め運動学習を促進する浸水ニューロモデュレーションの開発	16,380,000
18	2018	2020	基盤研究 (C)	今井理恵	ジャンル準拠指導と評価に基づくパフォーマンス課題の開発	4,420,000
19	2018	2020	基盤研究 (C)	藤井 豊	重症呼吸器疾患に対する補助循環治療効果を明確にする－小動物モデルでの検討－	4,420,000
20	2018	2020	基盤研究 (C)	下山博子	助産師のワーク・エンゲイジメントを基盤にした妊娠中期中絶ケア教育モデルの開発	3,380,000
21	2018	2020	基盤研究 (C)	森下慎一郎	がん患者に対する運動と栄養をあわせた戦略的リハビリテーションプログラムの開発	4,550,000
22	2018	2020	基盤研究 (C)	佐藤未希	女性大腿切断者の月経周期における断端周径変化が義足ソケットに及ぼす影響について	3,510,000
23	2018	2020	基盤研究 (C)	下山好充	水泳選手におけるスイムエルゴメータを用いた高強度トレーニングの開発	4,420,000
24	2018	2020	基盤研究 (C)	郷 貴博	アライメント調整不良が大腿義足歩行に及ぼす影響－ソケット内転角について－	3,510,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
25	2018	2020	基盤研究 (C)	渡邊千春	通院治療を継続する高齢独居がんサバイバーが持つ生活調整力の解明	1,690,000
26	2018	2020	基盤研究 (C)	八坂敏一	ミクログリアはニューロンに接触して何をしているのか？—疼痛モデルによる解析—	4,290,000
27	2018	2020	挑戦的 研究 (萌芽)	澤田純明	SPring-8のマイクロCTを利用した福井洞窟出土縄文草創期焼骨群の種同定	6,240,000
28	2018	2020	挑戦的 研究 (萌芽)	大鶴直史	バーチャルリアリティとロボティクスを応用した心拍駆動型身体認知変容システムの開発	6,240,000
29	2018	2020	若手研究	佐藤裕紀	デンマークにおける「生涯にわたるキャリアガイダンス」の機能と役割に関する研究	3,250,000
30	2018	2020	若手研究	谷賢太郎	視覚障がい者を対象とした心肺蘇生法支援及び教育を行うWebアプリ開発	4,030,000
31	2018	2020	若手研究	高橋素彦	小型6軸力覚センサを用いた無拘束な義足歩行・走行の運動力学的評価法の開発	4,160,000
32	2018	2021	若手研究	間宮靖幸	DLBにおける幻視と視覚性制御の関係性解明に向けた多角的検討	4,030,000
33	2018	2020	若手研究	高橋英明	軟骨変性をもたらす力学的ストレス強度閾値とメカノセンシング機構の解明	4,290,000
34	2018	2020	若手研究	村田憲章	緑内障患者の読書困難に対する新しい視覚的リハビリテーションの模索	4,160,000
35	2018	2020	若手研究	外川 佑	眼球運動計測をリンクさせた軽度半側空間無視症例の自動車運転訓練シミュレータ開発	4,160,000
36	2018	2020	若手研究	伊藤 渉	「切り返し」によるACL損傷のスクリーニングテストの開発	4,160,000
37	2018	2020	若手研究	山本悦史	組織能力に応じたプロスポーツ事業創造モデルの検討	2,600,000
38	2019	2023	基盤研究 (A)	大西秀明	知覚学習イノベーション—次世代感覚運動学習法の創出を目指して—	44,200,000
39	2019	2021	基盤研究 (B)	西原康行	VR技術を用いた教師の即時的な課題解決方略を高めるシステムの開発	15,600,000
40	2019	2021	基盤研究 (B)	田口 徹	遅発性筋痛の神経・分子機構解明とその理学療法効果の実証	17,940,000
41	2019	2022	基盤研究 (B)	大鶴直史	慢性疼痛に対する認知行動療法の効果を向上させる脳内ネットワーク刺激戦略	17,030,000
42	2019	2022	基盤研究 (C)	寺田貴美代	多文化ソーシャルワークによるDV被害者支援の包括的サポート・システムモデルの開発	4,420,000
43	2019	2021	基盤研究 (C)	栞原 桂	新潟県の新生児聴覚スクリーニング検査refer児の追跡調査	4,420,000
44	2019	2021	基盤研究 (C)	大森 豪	変形性膝関節症の病態解明—長期疫学および新しい運動学的アプローチ	4,030,000
45	2019	2022	基盤研究 (C)	戸田春男	ルーブリックと生物学的ストレスマーカーを基にした視能訓練士実習の改善	4,290,000
46	2019	2021	基盤研究 (C)	塙 晴雄	サルコペニアと運動による骨格筋内マイオネクチン発現変化が鉄代謝に与える影響の検証	4,160,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
47	2019	2021	基盤研究 (C)	江玉睦明	アキレス腱障害患者特有の捻れ構造と力学的特性の解明～予防法の開発に向けて～	4,160,000
48	2019	2021	基盤研究 (C)	神田 賢	骨粗鬆症性椎体骨折患者の後弯変形・2次骨折・慢性腰痛予防プロトコルの確立	4,420,000
49	2019	2021	基盤研究 (C)	山代幸哉	アスリーートの慢性痛に伴う過剰注意の脳活動解明と競技早期復帰を目指した評価指標構築	4,160,000
50	2019	2021	基盤研究 (C)	佐藤晶子	短期のチアミン不足とエネルギー源の偏りが安静・運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響	2,470,000
51	2019	2021	基盤研究 (C)	越中敬一	組織温度の変化に起因したグリコーゲン代謝調節機構の解明とその実践的応用方法の検討	4,290,000
52	2019	2022	基盤研究 (C)	岩森 大	とろみ食品の嚥下調整食への展開に向けた実証的研究	4,290,000
53	2019	2021	挑戦的 研究 (萌芽)	佐藤大輔	水中環境における自己身体認知を高める教育支援システムの開発	6,240,000
54	2019	2021	若手研究	萩原康雄	再考：海と山の縄文人 -四肢骨骨幹部から縄文人の生活様式を復元する-	4,160,000
55	2019	2020	若手研究	多々良俊哉	幼児の眼屈折に影響を与える因子の究明	2,860,000
56	2019	2021	若手研究	若井由梨	「イメージや動きの言語化」を促すダンス指導プログラムの考案	3,900,000
57	2019	2022	若手研究	大松健太郎	AR(拡張現実)技術を用いた心停止徴候認識能力向上のための教育システムの開発	3,380,000
58	2019	2021	若手研究	高橋智美	EDVRA-S:認知症高齢者暴力リスクアセスメントスコアシート-簡易版の開発	3,640,000
59	2019	2020	若手研究	堀田一樹	体外循環モデルラットの骨格筋における酸素・循環動態の解明	4,290,000
60	2019	2020	若手研究	宮口翔太	運動学習に寄与する神経ネットワークの強化が運動学習効率にもたらす効果の解明	4,160,000
61	2019	2021	若手研究	中村雅俊	ストレッチングによる筋ステイフネス減少メカニズムの解明	4,160,000
62	2019	2020	若手研究	小島 翔	触覚刺激による介入が皮質間ネットワークおよび知覚学習に及ぼす影響	4,160,000
63	2019	2021	若手研究	馬場康博	オープンウォータースイミングにおける泳技術評価法の確立とレース分析法への応用	4,160,000
64	2019	2021	若手研究	下門洋文	泳技能学習によるヒトの流体-神経適応過程の解明	4,290,000
65	2019	2021	若手研究	針谷美智子	小学校児童の逆上がり及び後方支持回転動作を改善するための学習指導方略の開発	2,730,000
66	2019	2020	若手研究	織部祐介	小児循環器疾患の臨床試験における患者の放射線被ばく線量解析	2,860,000
67	2019	2021	若手研究	須田裕紀	義足のアライメントとソケット圧力における適合評価の最適化	4,030,000
68	2019	2020	若手研究	生方北斗	Goldmann視野計を用いた動的視野検査の技能評価システムの開発	4,290,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
69	2019	2020	研究活動 スタート 支援	佐宗亜衣子	縄文人に初期農耕集団の特徴はみられるか？：古病理および形態的特徴に基づく検討	2,860,000
70	2019	2020	研究活動 スタート 支援	藤本知臣	運動時低体温症の発生メカニズムの解明－運動時温度感覚に着目して－	2,730,000
71	2020	2023	基盤研究 (B)	澤田純明	日本列島で土器を使い始めた人々の形態・遺伝子・食性・健康状態を解明する	17,550,000
72	2020	2023	基盤研究 (B)	奈良貴史	長岡藩牧野家の歴代藩主・正室の人類学的再検討	17,550,000
73	2020	2023	基盤研究 (B)	佐宗亜衣子	縄文家族論の新展開：廃屋墓出土人骨群の血縁関係と埋葬過程の解明	17,810,000
74	2020	2023	基盤研究 (B)	椿 淳裕	酸素ダイナミクスに基づく大脳皮質微小循環の評価法の開発と検証	17,940,000
75	2020	2022	基盤研究 (C)	吉田重和	比較教育研究における ISCED 活用の可能性－日蘭の職業教育プログラムを事例として	1,690,000
76	2020	2022	基盤研究 (C)	富澤晃文	インクルーシブ保育における幼児の包括的な語音聴取評価法の開発	4,420,000
77	2020	2023	基盤研究 (C)	斎藤トシ子	加齢性疾患・フレイル予防を目的としたビタミンD大規模コホート研究10年後追跡	4,420,000
78	2020	2022	基盤研究 (C)	山口典子	男性の妊孕性に関するリテラシーと血中ホルモン測定による妊孕力の実態	4,420,000
79	2020	2022	基盤研究 (C)	児玉直樹	地域や在宅で使用可能な軽度認知障害スクリーニングシステムの開発と評価	4,160,000
80	2020	2023	基盤研究 (C)	宇田優子	外来看護で可能な災害への備え支援プログラムの開発－神経難病患者対象－	3,770,000
81	2020	2022	基盤研究 (C)	佐藤成登志	看護・介護従事者の職業性腰痛に対する包括的腰痛予防プログラムの効果検証	4,290,000
82	2020	2023	基盤研究 (C)	内山 信	難聴が認知症発症後の患者の臨床像に及ぼす影響の検討	3,900,000
83	2020	2022	基盤研究 (C)	相馬俊雄	脳卒中片麻痺者における体幹ベルト付下肢装具歩行の機能特性の解明	4,290,000
84	2020	2022	基盤研究 (C)	齊藤 慧	知覚学習の効果を向上させる神経ネットワーク刺激戦略の開発	4,290,000
85	2020	2022	基盤研究 (C)	太田大樹	遅発性筋痛における機械感受性イオンチャンネルの役割の解明	4,420,000
86	2020	2022	基盤研究 (C)	玉越敬悟	脳卒中超急性期リハビリテーションの効果検証と新たな治療戦略の開発	4,290,000
87	2020	2022	基盤研究 (C)	能村友紀	非侵襲的脳刺激と認知トレーニングの融合による認知機能低下抑制プログラムの開発	4,290,000
88	2020	2023	基盤研究 (C)	佐藤敏郎	運動競技選手の浮き趾を含む足裏形態、履物、関節痛との関係	4,160,000
89	2020	2022	基盤研究 (C)	池田祐介	水中ドルフィンキックのための専門的技術トレーニング法の開発	4,160,000
90	2020	2022	基盤研究 (C)	吉松 梓	多様なニーズを対象とした自然体験活動の効果の可視化とモデルプログラムの開発	4,290,000
91	2020	2022	基盤研究 (C)	増田 修	変角光学的要因に基づく「本物らしさ」の質知覚における脳神経メカニズムの解明	4,290,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
92	2020	2023	挑戦的 研究 (開拓)	大西秀明	小脳の構造・機能・ネットワーク解析 による「研ぎ澄まされた感覚」の可視 化	25,740,000
93	2020	2022	若手研究	鶴瀬亮一	VR技術を用いた大学野球選手および指 導者育成の試み	3,380,000
94	2020	2022	若手研究	大野 健	化学交換飽和移動MRIを用いた脳内グ リシン動態モニタリング法の開発	3,380,000
95	2020	2022	若手研究	神藏貴久	救命のために努力をしてくれた人を救 える社会に ～損害補償の実態と動向 ～	4,160,000
96	2020	2022	若手研究	紅林佑介	統合失調症の認知機能の改善を目指す モバイルツール併用型外来患者用運動 プログラム	3,770,000
97	2020	2021	若手研究	菊元孝則	膝前十字靭帯再建術後の反対側におけ る衝撃吸収パターンの解明	4,160,000
98	2020	2023	若手研究	田村俊暁	時間的・空間的音響解析法を用いた日 本語話者に適した発話評価課題の開発	4,030,000
99	2020	2023	若手研究	北上守俊	高次脳機能障害者に対する科学的根拠 に基づいた就労支援プログラムの開発	4,160,000
100	2020	2022	若手研究	鈴木祐介	早期変形性膝関節症の新規抽出アプ ローチの開発-関節加速度を用いて-	4,290,000
101	2020	2022	若手研究	長坂和明	島皮質の活動をリモート制御する大脳 皮質電気刺激法の確立	3,770,000
102	2020	2022	若手研究	犬飼康人	小脳および前庭器官への電流刺激が小 脳抑制ならび前庭脊髄路興奮性に与え る影響	4,160,000
103	2020	2022	若手研究	浅尾章彦	反復末梢性磁気刺激と運動イメージの 併用による脳-脊髄の可塑的変化の解 明	4,160,000
104	2020	2021	若手研究	横田裕丈	脳律動の個人特性に合わせた皮質活動 の変調が二点識別覚へ及ぼす影響の解 明	4,160,000
105	2020	2021	若手研究	高林知也	RigidとFlexibleな扁平足における足部 内の動きと力学的負荷の解明	4,160,000
106	2020	2021	若手研究	平林 怜	反復他動運動に着目した効果的な相反 性抑制増強法の開発	4,160,000
107	2020	2022	若手研究	熊崎 昌	衝突系スポーツ活動中における頭部衝 撃の量的可視化と客観的指標の開発	4,290,000
108	2020	2022	若手研究	三瀬貴生	泳動作中の肩峰下空間距離を推定する 手法の開発と肩障害の発生要因解明へ の応用	4,160,000
109	2020	2022	若手研究	奈良梨央	背泳ぎスタートパフォーマンス向上の ためのフィードバックシステムの構築	3,640,000
110	2020	2022	若手研究	渡辺優奈	妊婦の鉄栄養状態と鉄摂取量の関係解 明～鉄代謝調節因子「ヘプシジン」に 着目して～	4,160,000
111	2020	2022	若手研究	長谷川晃	虚血性心疾患画像診断支援のための深 層畳み込みニューラルネットワークの 開発	4,160,000
112	2020	2022	若手研究	藤本知臣	低温環境下におけるふるえ発生メカニ ズムの解明-皮膚温度受容器の役割に 着目して-	4,160,000
113	2020	2021	研究活動 スタート 支援	天野 暁	脳卒中後慢性期上肢運動麻痺に対する CI療法の運動学的効果の検討	2,600,000

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
114	2020	2021	研究活動 スタート 支援	和田直子	子育てと仕事の両立で母親が発揮する調整力の解明—新たな支援モデルの提唱に向けて	2,600,000

(2) 厚生労働科学研究費補助金 採択一覧表
該当なし

(3) 新潟県内国公立大学の科学研究費配分額一覧

令和2年度

(金額単位：千円)

	大学名	件数	直接費	間接費	合計
1	新潟大学	794	1,344,500	403,350	1,747,850
2	長岡技術科学大学	109	280,800	84,240	365,040
3	新潟医療福祉大学	106	152,700	45,810	198,510
4	上越教育大学	45	62,700	18,810	81,510
5	新潟県立大学	26	31,200	9,360	40,560
6	新潟薬科大学	18	19,400	5,820	25,220
7	新潟工科大学	11	19,000	5,700	24,700
8	新潟県立看護大学	20	15,700	4,710	20,410
9	新潟食料農業大学	7	11,800	3,540	15,340
10	国際大学	10	8,400	2,520	10,920
11	新潟青陵大学	9	7,700	2,310	10,010
12	新潟国際情報大学	7	5,500	1,650	7,150
13	長岡造形大学	4	5,100	1,530	6,630
14	事業創造大学院大学	2	3,700	1,110	4,810
15	日本歯科大学新潟短期大学	2	3,700	1,110	4,810
16	敬和学園大学	4	2,500	750	3,250
17	長岡大学	1	2,400	720	3,120
18	長岡崇徳大学	3	2,200	660	2,860
19	新潟経営大学	2	500	150	650
20	新潟リハビリテーション大学	1	400	120	520
21	明倫短期大学	1	400	120	520

12) 新潟医療福祉学会

・会員数と構成（2021年3月31日現在）

会員数	353名		
(内訳)	本学教員	247名	(70.0%)
	本学卒業生	14名	(4.0%)
	関連病院施設スタッフ等	2名	(0.6%)
	その他一般等	90名	(25.5%)

・学会誌の発行（和文誌・英文誌）

2020年10月 新潟医療福祉学会誌・和文誌第20巻第1号（第20回新潟医療福祉学会学術集会特集）

2020年11月 新潟医療福祉学会誌（和文誌）第20巻第2号

Niigata Journal of Health and Welfare（英文誌）第20巻第1号

2020年3月 新潟医療福祉学会誌（和文誌）第20巻第3号、

Niigata Journal of Health and Welfare（英文誌）第20巻第2号

・学術集会の開催

第20回新潟医療福祉学会学術集会

開催日：2020年10月31日（土）～11月15日（日）

開催方式：Webおよび誌上開催

大会長：新潟医療福祉大学リハビリテーション学部作業療法学科長 大山峰生教授

概要：主要テーマ「健康寿命の延伸に向けた専門職連携の発展」として、20周年記念特別講演およびシンポジウムの他、一般演題105題の研究発表等が行われた。

・評議委員会、総会の開催

評議員会 開催日：2020年7月22日（水）

会場：Zoomによるオンライン開催

総会 開催日：2020年10月31日（土）

会場：Teamsによるオンライン開催

8. 図書館

- 1) 蔵書数※ 134,489冊
 2) 年間受入冊数※ 5,594冊
 3) 利用状況
 (1) 開館日数 234日
 (2) 開館時間 1,912時間
 (3) 入館者数 47,357人
 (4) 貸出冊数 13,950冊
 4) データ推移
 (1) 蔵書データ

	図書			視聴覚 資料	雑誌			電子ジャーナル※※	
	蔵書数	和書	洋書		種数	和雑誌	洋雑誌	種数	うち国外
2015年	104,487	94,481	10,006	2,412	1,368	1,105	263	5,716	4,408
2016年	111,002	98,519	10,038	2,445	1,389	1,126	263	7,105	5,844
2017年	117,595	104,803	10,251	2,541	1,422	1,157	265	7,191	5,883
2018年	121,749	111,132	10,617	2,593	1,435	1,168	267	8,518	7,068
2019年	129,137	118,292	10,845	2,753	1,448	1,181	267	8,536	7,086
2020年	134,489	120,557	11,053	2,879	1,459	1,192	267	8,732	7,163

(2) 利用データ

	開館日数	入館者数	貸出冊数	複写依頼	複写受付	学外者 ※※※
	日	人	冊	件	件	人
2015年	303	199,060	43,117	1,433	1,874	982
2016年	290	215,938	38,399	1,158	1,508	899
2017年	310	255,396	39,006	1,099	1,343	756
2018年	306	268,078	42,879	1,088	1,207	1,124
2019年	305	247,326	41,330	922	974	1,054
2020年	234	47,357	13,950	671	613	60

※視聴覚資料数含む

※※購読契約電子ジャーナル種数

※※※一般学外者の入館者数

9. 学生関係

1) 収容定員

(1) 学部

学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	—	480名
	作業療法学科	50名	—	200名
	言語聴覚学科	40名	—	160名
	義肢装具自立支援学科	40名	—	160名
医療技術学部	臨床技術学科	100名	—	400名
	視機能科学科	50名	—	200名
	救急救命学科	55名	—	220名
	診療放射線学科	90名	—	360名
健康科学部	健康栄養学科	40名	—	160名
	健康スポーツ学科	250名	5名	860名
看護学部	看護学科	107名	3名	434名
社会福祉学部	社会福祉学科	120名	5名	490名
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	5名	330名
合 計		1,142名	18名	4,454名

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	収容定員
医療福祉学 研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21名	42名
			作業療法学分野		
			言語聴覚学分野		
			義肢装具自立支援学分野		
			医療技術安全管理学分野		
			視覚科学分野		
		救急救命学分野			
		健康科学専攻	健康栄養学分野	10名	20名
			健康スポーツ学分野		
			看護学分野		
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	10名
			保健医療福祉マネジメント学分野		
	医療情報・ 経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	8名	
博士後期課程	医療福祉学専攻	—	10名	30名	
合 計				50名	110名

2) 入試広報活動

(1) 学部

① WEBオープンキャンパス等の開催

期日	内容	
4月29日(水)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 703名参加
6月13日(土)・14(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,972名参加
6月15日(月)・ 6月22日(月)～7月3日(金)	高校教諭対象WEB入試説明会	高等学校教諭 47校54名参加
7月4日(土)・5日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,607名参加
8月8日(土)・9日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 2,644名参加
9月5日(土)・6日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 2,140名参加
10月10日(土)・11日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,668名参加
11月14日(土)・15日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,439名参加
12月5日(土)・6日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,444名参加
1月1日(金)～11日(月)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 840名参加
2月11日(木)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 316名参加
3月20日(土)・21日(日) 27日(土)・28日(日)	WEBオープンキャンパス	高校生・保護者等 1,077名参加

新型コロナウイルス感染症対策のため、全イベントを来場型からWEB型へ変更し、開催。

- ②進学相談会 新潟県、岩手県、秋田県、宮城県、福島県、山形県、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、富山県、石川県、長野県の各都道府県において45会場で開催し、708名の参加があった。
- ③高校ガイダンス・高校出張講義 高校ガイダンスは、新潟県内・県外の延べ266校に参加し、2,472名の参加があった。また本学教員による高校出張講義は、新潟県内・県外の高校で延べ77講座を実施し、630名の参加があった。

(2) 大学院

①大学院説明会等の開催

期日	内容	
6月15日(月)	アクセス日本留学フェア 外国人学生のための進学説明会(大学院進学希望者向け)・東京(オンライン参加)	外国人留学生 5名来場
6月23日(火)	アクセス日本留学フェア 日本語学校教員対象・大阪(オンライン参加)	日本語学校教員 2名来場
6月30日(火)	大学院説明会「教えて!大学院①」	学部生, 大学院生 26名参加
7月26日(日)	大学院夏のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 21名参加
8月6日(木)	大学院説明会「教えて!大学院②」	学部生 2名参加
8月27日(木)	大学院説明会「教えて!大学院③」	学部生, 大学院生 8名参加
9月11日(金)	大学院秋のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 13名参加
11月21日(土)	大学院冬のオープンキャンパス	在学生 3名参加
12月10日(火)	大学院説明会「教えて!大学院④」	学部生, 大学院生 14名参加
1月19日(火)	大学院説明会「教えて!大学院⑤」	学部生 6名参加
3月11日(木)	大学院春のオープンキャンパス	在学生, 社会人等 14名参加

②在学生向け大学院説明 学部生対象の自由科目「研究プロジェクト演習(UROP)」履修説明会の際, 大学院進学の魅力や修士課程学費減免特待生制度等についての紹介を行った。その他, 学科からの要望に応じ, 随時個別に大学院概要の説明等を行った。

③学会誌等への広告掲載, ホームページ・SNS等の活用 各種学会誌, 各種団体等の会報誌・ホームページへの大学院広告ならびにバナー広告の掲載を行った。また, 新潟医療福祉大学大学院ホームページ, Twitter, 異業種交流会501メールマガジン, 大学院進学サイト「大学院へ行こう」等で, 大学院イベント情報, 入試情報等の周知を行った。

3) 入学者選抜方法

(1) 学部

学部	学科	入学定員	選抜区分別募集人員														
			総合型選抜						学校推薦型選抜				社会人等特別選抜	大学入学共通テスト利用選抜		一般選抜	
			A方式 (主体性重視型)	B方式 (基礎教養重視型)	C方式 (スポーツ重視型)		D方式 (基礎学力重視型)	公募制		指定校制	前期日程	後期日程		前期日程	後期日程	前期日程	後期日程
					前期日程	後期日程		前期日程	後期日程								
リハビリテーション学部	理学療法学科	120名	12名	5名	若干名	—	17名	10名	—	14名	若干名	9名	3名	37名	10名		
	作業療法学科	50名	5名	3名	若干名	—	6名	4名	—	9名	若干名	4名	—	15名	2名		
	言語聴覚学科	40名	7名	2名	—	—	2名	2名	—	10名	若干名	2名	2名	10名	2名		
	義肢装具自立支援学科	40名	8名	2名	若干名	—	2名	4名	2名	4名	若干名	3名	2名	9名	2名		
医療技術学部	臨床技術学科	100名	10名	3名	—	—	9名	6名	—	11名	若干名	8名	2名	45名	4名		
	視機能科学科	50名	10名	2名	若干名	—	4名	5名	2名	9名	若干名	2名	2名	10名	2名		
	救急救命学科	55名	9名	2名	若干名	—	7名	5名	—	8名	若干名	3名	2名	15名	2名		
	診療放射線学科	90名	10名	2名	—	—	9名	6名	—	10名	若干名	6名	2名	41名	2名		
健康科学部	健康栄養学科	40名	5名	3名	—	—	5名	6名	—	6名	若干名	2名	—	10名	2名		
	健康スポーツ学科	250名	40名	15名	75名	10名	5名	10名	—	25名	若干名	20名	3名	40名	5名		
看護学部	看護学科	107名	12名	8名	—	—	8名	13名	—	12名	若干名	4名	2名	43名	3名		
社会福祉学部	社会福祉学科	120名	22名	7名	若干名	—	3名	8名	2名	30名	若干名	7名	2名	33名	3名		
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80名	12名	4名	若干名	—	2名	5名	2名	20名	若干名	8名	2名	20名	2名		
合計		1,142名	162名	58名	75名	10名	79名	84名	8名	168名	若干名	78名	24名	328名	41名		

健康スポーツ学科・看護学科・社会福祉学科・医療情報管理学科では、上記に加え3年次編入学選抜を実施。

3年次編入学定員／健康スポーツ学科；5名 看護学科；3名 社会福祉学科；5名 医療情報管理学科；5名

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	試験区分別募集人員			
					一般	社会人	国際貢献活動経験者等	外国人留学生
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21名	21名			
			作業療法学分野					
			言語聴覚学分野					
			義肢装具自立支援学分野					
			医療技術安全管理学分野					
			視覚科学分野					
	救急救命学分野							
	健康科学専攻	健康栄養学分野	10名	10名				
		健康スポーツ学分野						
		看護学分野						
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5名	5名					
	保健医療福祉マネジメント学分野							
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	4名	4名				
		博士後期課程	医療福祉学専攻	—	10名	10名		
合計				50名	50名			

4) 入学者選抜試験結果

(1) 学部

①1年次入学者選抜試験結果

学部	学科	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数 (第1志願)	合格者数 (第2志願)	実質倍率	入学者数
リハビリテーション学部	理学療法学科	120	632	5.3	564	229	—	2.5	140
	作業療法学科	50	162	3.2	143	100	50	1.4	51
	言語聴覚学科	40	106	2.7	95	58	14	1.6	40
	義肢装具自立支援学科	40	116	2.9	105	67	8	1.6	45
医療技術学部	臨床技術学科	100	631	6.3	558	185	—	3.0	103
	視機能科学科	50	105	2.1	99	79	14	1.3	51
	救急救命学科	55	205	3.7	184	80	6	2.3	54
	診療放射線学科	90	730	8.1	614	186	—	3.3	95
健康科学部	健康栄養学科	40	276	6.9	231	67	1	3.4	44
	健康スポーツ学科	250	498	2.0	464	365	35	1.3	258
看護学部	看護学科	107	801	7.5	647	272	—	2.4	111
社会福祉学部	社会福祉学科	120	216	1.8	195	192	31	1.0	111
医療経営管理学部	医療情報管理学科	80	185	2.3	164	127	34	1.3	84
合計		1,142	4,663	4.1	4,063	2,007	193	2.0	1,187

(注1) 合格者数は、正規合格者数を表記(繰上合格者は含まない)。

(注2) 実質倍率は、受験者数÷合格者数(第1志願)で算出。

②3年次編入学者選抜試験結果

学部	学科	入学定員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入学者数
健康科学部	健康スポーツ学科	5	2	0.4	2	0	—	0
看護学部	看護学科	3	1	0.3	1	1	1.0	1
社会福祉学部	社会福祉学科	5	0	—	0	0	—	0
医療経営管理学部	医療情報管理学科	5	0	—	0	0	—	0
合計		18	3	0.2	3	1	3.0	1

(2) 大学院

研究科	課程	専攻	分野	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
医療福祉学研究科	修士課程	保健学専攻	理学療法学分野	21	20	20	20	20
			作業療法学分野		1	1	1	1
			言語聴覚学分野		0	0	0	0
			義肢装具自立支援学分野		1	1	1	1
			医療技術安全管理学分野		1	1	1	1
			視覚科学分野		0	0	0	0
			救急救命学分野		1	1	1	1
		健康科学専攻	健康栄養学分野	10	5	5	5	4
			健康スポーツ学分野		8	8	8	8
			看護学分野		4	4	4	4
		社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	5	3	3	2	2
			保健医療福祉マネジメント学分野		0	0	0	0
		医療情報・経営管理専攻	医療情報・経営管理学分野	4	4	4	4	4
	修士課程小計				40	48	48	47
博士後期課程	医療福祉学専攻	—	10	12	12	12	12	
合計				50	60	60	59	58

5) 在籍学生数 (2021年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
リハビリテーション学部	理学療法学科	134	134	123		391
	作業療法学科	49	43	40		132
	言語聴覚学科	45	41	42		128
	義肢装具自立支援学科	44	37	40		121
医療技術学部	理学療法学科				132	132
	作業療法学科				35	35
	言語聴覚学科				37	37
	義肢装具自立支援学科				41	41
	臨床技術学科	99	100	87	101	387
	視機能科学科	48	43	46	47	184
	救急救命学科	54	53	52	53	212
	診療放射線学科	86	87	84		257
健康科学部	健康栄養学科	43	41	41	45	170
	健康スポーツ学科	216	218	204	214	852
	看護学科				87	87
看護学部	看護学科	104	105	105		314
社会福祉学部	社会福祉学科	124	126	129	131	510
医療経営管理学部	医療情報管理学科	86	89	87	91	353
合計		1,132	1,117	1,080	1,014	4,343

(2) 大学院

①修士課程

(人)

専攻	分野	1年生	2年生	合計
保健学専攻	理学療法学分野	12	13	25
	作業療法学分野	3	6	9
	言語聴覚学分野	1	1	2
	義肢装具自立支援学分野	3	6	9
	医療技術安全管理学分野	1	2	3
	視覚科学分野	2	1	3
健康科学専攻	健康栄養学分野	5	1	6
	健康スポーツ学分野	6	11	17
	看護学分野	1	3	4
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	1	2	3
	保健医療福祉マネジメント学分野	1	4	5
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	5	4	9
合計		41	54	95

②博士後期課程

専攻	1年生	2年生	3年生	合計
医療福祉学専攻	12	12	23	47

6) 異動学生数 (2021年3月31日現在)

(1) 学部

(人)

学部	学科	学年	休学者	退学者	転学科 (転入)	転学科 (転出)	除籍者	復学者
リハビリテー ション学部	理学療法学科	1年生	4	1		0	0	0
		2年生	7	1		1	0	0
		3年生	5	3		1	0	1
		4年生						
	作業療法学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	0	3		0	1	0
		3年生	0	2		0	0	0
		4年生						
	言語聴覚学科	1年生	1	0		0	0	0
		2年生	0	1		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生						
	義肢装具自立支援 学科	1年生	0	1		0	0	0
		2年生	0	1		0	0	0
		3年生	1	0		0	0	0
		4年生						
医療技術学部	理学療法学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	3	3		0	0	3
	作業療法学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	3	1		0	0	0
	言語聴覚学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	2		0	0	1
	義肢装具自立支援 学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	0		0	0	0
	臨床技術学科	1年生	1	0		0	0	0
		2年生	0	0		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	1	1		0	0	1
	視機能科学科	1年生	0	4		0	0	0
		2年生	1	1		0	0	0
		3年生	0	1		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	救急救命学科	1年生	2	1		0	0	0
		2年生	0	0		1	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	診療放射線学科	1年生	1	4		0	0	0
		2年生	1	1		0	0	0
		3年生	5	4		0	0	0
		4年生						
健康科学部	健康栄養学科	1年生	0	0		0	0	0
		2年生	0	0		0	0	0
		3年生	0	0		0	0	0
		4年生	0	0		0	0	0
	健康スポーツ学科	1年生	1	3	0	0	0	0
		2年生	0	3	2	0	0	0
		3年生	0	2	0	0	0	0
		4年生	1	6	0	0	0	2

学部	学科	学年	休学者	退学者	転学科 (転入)	転学科 (転出)	除籍者	復学者
健康科学部	看護学科	1年生						
		2年生						
		3年生						
		4年生	0	0		0	0	1
看護学部	看護学科	1年生	0	3		0	0	0
		2年生	1	1		0	0	0
		3年生	1	2		0	0	0
		4年生						
社会福祉学部	社会福祉学科	1年生	1	1	0	0	0	0
		2年生	0	3	1	0	0	1
		3年生	0	0	0	0	1	0
		4年生	0	0	0	0	0	0
医療経営管理 学部	医療情報管理学科	1年生	0	0	0	0	0	0
		2年生	0	1	0	0	0	0
		3年生	0	0	4	0	0	1
		4年生	1	1	0	0	0	0
合計			42	63	7	3	2	11

(2) 大学院

①修士課程

(人)

専攻	分野	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
保健学専攻	理学療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	1	0	0
	作業療法学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	1	0	0	0
	言語聴覚学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	健康栄養学分野	2年生	0	0	0	0
		健康栄養学分野	1年生	0	0	0
	義肢装具自立支援学分野	2年生	0	0	0	0
		医療技術安全管理分野	1年生	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	健康科学専攻	健康栄養学分野	1年生	0	0	0
2年生			0	0	0	0
健康スポーツ学分野		1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
	看護学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	1	0	0	0
社会福祉学専攻	保健医療福祉政策・計画・運営分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	1	1	0	0
	保健医療福祉マネジメント学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	1
医療情報・経営管理学専攻	医療情報・経営管理学分野	1年生	0	0	0	0
		2年生	0	0	0	0
合計			3	2	0	1

②博士後期課程

(人)

専攻	学年	休学者	退学者	満期退学者	除籍者	復学者
医療福祉学専攻	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	0	0	0	0	0
	3年生	5	2	2	0	2
合計		5	2	2	0	2

7) 学生生活

(1) 学生生活に関する指導

学生委員会、交通安全委員会を中心に学内および居住地域での生活マナー・駐車マナー、学内挨拶向上を目的とした標語の募集・表彰、学生の被害防止、危険薬物使用防止等の指導に加え、危機管理委員会および健康管理センターと連携し、新型コロナウイルス感染症予防対策の注意喚起を実施した。

- ① 駐車場使用指導・・・学内駐車場の安全管理、違反者に対するマナー指導。
- ② 生活指導・・・・・・学内外におけるマナー・生活指導、アパート居住者に対し騒音等に関する注意喚起等。
- ③ 犯罪被害防止・・・警察へ近隣パトロールの依頼、不審者情報の発信。
- ④ 危険薬物使用防止・警察との連携によるWEB形式の薬物乱用防止講演会を開催。
- ⑤ 感染予防指導・・・定期的に感染予防情報を発信し理解促進を実施。

(2) オリエンテーション

各学年に対し学生生活や履修手続等について、WEB形式による全体オリエンテーションを実施した。また、学科別オリエンテーションで学外実習や就職等についての説明を行った。

(3) 健康診断

学部生全員と大学院生・研究生の希望者を対象として健康診断を実施した。

(4) 心理相談

学生を対象とした心理相談を以下のとおり行った。

- ① 相談日：月曜日 午前11時10分～午後3時30分
水曜日 午前11時10分～午後3時30分／第1, 第3水曜日 午後4時00分～午後5時00分
木曜日 午後2時00分～午後5時00分
金曜日 午後12時10分～午後4時30分
- ② 相談員：精神科医師（男性）／臨床心理士（男性、女性）
- ③ 相談法：WEB形式または対面、電話
- ④ 相談件数：205件（前期71件、後期134件）

(5) 奨学金制度（2021年3月31日現在）

① 本学独自の奨学金制度（給付型）

名称	新潟医療福祉大学奨学金	新潟医療福祉大学学資融資奨学金
内容	対象者に奨学金を給付	対象者に教育ローンの利子相当額を給付
出願資格	経済的理由により修学が困難であり、且つ成績が優秀な学生	経済的な理由により修学が困難である学生
給付金額	25万円（年額）	融資元本300万円を上限とする教育ローンの当該年度の利子相当額
採用人数	30名（2年～4年次）	50名を上限
選考方法	書類審査および面接	書類審査および面接
募集時期	10月	10月
採用者数実績	30名	13名

② 日本学生支援機構奨学金

貸与型

学年	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子※）	合計
1年生	253件	468件	721件
2年生	279件	417件	696件
3年生	260件	351件	611件
4年生	176件	347件	523件
合計	968件	1,583件	2,551件

※年利率3%を上限とする変動制

給付型

学年	給付奨学金
1年生	114件
2年生	81件
3年生	60件
4年生	45件
合計	300件

(6) 学生寮

2018年4月に開寮した学生寮「N-Village 伍桃」は、2020年4月に寮2期生297名が入寮した。寮生による学生寮組織として、「学修プログラム委員会」「衛生委員会」「催事委員会」「広報活動委員」の4つの委員会を組織・運営し、単なる生活の場としての機能にとどまらず、将来、QOLサポーターとして働くための基礎となる学修プログラムおよびレクリエーションを実施した。

- ① 学修プログラム委員会の主な活動・・・「定期テスト攻略会」を開催し、入学後最初の定期テストに向け、定期テスト対策を実施した。
- ② 衛生委員会の主な活動・・・「年末大掃除大賞」を開催し、清掃用具などを配布することで、寮生が住居棟内を清掃し、冬休みの帰省前等の節目に全ユニットで自発的に清掃活動を行うという意識付けを行った。
- ③ 催事委員会の主な活動・・・「ハロウィンイベント」「クリスマスビンゴ」を開催し、コロナ禍であってもリモート等の手段を用いて、寮生同士の交流を行った。
- ④ 広報活動委員会の主な活動・・・学生寮内での感染予防の取り組みや、催事活動などを取材し、学生寮ブログに掲載した。

(7) 学友会

文化活動およびスポーツ活動ならびに地域活動を通じ、会員相互の親睦、資質の向上および健康の増進を図り、大学生活の充実に貢献することを目的として組織している。定期総会を開催し、予算、決算、その他重要事項を審議した。大学側とともに定例協議会を実施し、コロナ禍での学友会のあり方や活動方針などを確認した。学友会が中心となり大学祭（伍桃祭）および新入生向けクラブ・サークル相談会（中止となった桃迎会の代替）の企画・運営を行った。

① 顧問

佐藤敏郎 健康スポーツ学科 教授
 間宮靖幸 作業療法学科 助教
 岸 哲志 視機能科学科 講師
 中山あかね 事務局学務部 学生課

② 役員

会長 田中朋寛 健康スポーツ学科
 副会長 本山雅大 理学療法学科
 会計 岸 初希 社会福祉学科

(8) 大学祭

第20回大学祭（伍桃祭）を10月11日（日）にオンライン形式にて開催した。他大学が学園祭を中止にする中で本学学友会では大学史上初となるオンラインでの開催を決断し、無事に開催することができた。コロナ禍でクラブサークル活動や学内行事が中止となる中で創意工夫し学生生活の充実や学生満足度の向上に貢献した。

(9) クラブ活動

強化指定クラブ10団体

	強化指定クラブ名	代表学生名	GM・部長・監督名
1	男子バスケットボール部	山田魁都	山崎史恵（部長）・若月弘久（監督）

	強化指定クラブ名	代表学生名	GM・部長・監督名
2	女子バスケットボール部	成瀬夕湖	西原康行（部長）・伊藤篤司（監督）
3	水泳部	桑添 陸	下山好充（監督）
4	陸上競技部	金子大貴	小林志郎（監督）
5	男子サッカー部	橋本恭輔	神田勝夫（GM）・秋山隆之（部長）・佐熊裕和（監督）
6	女子サッカー部	古庄和奏	神田勝夫（GM）・秋山隆之（部長）・草木克洋（監督）
7	ダンス部	岩本風花	脇野哲郎（部長）若井由梨（監督）
8	女子バレーボール部	山本萌々果	森 光雄（部長）・濱野礼奈（監督）
9	硬式野球部	笹川 翼	佐藤敏郎（部長）・佐藤和也・鶴瀬亮一（監督）
10	卓球部	伊藤暢孝	笹本嘉朝（部長）・品田穂雄（監督）

体育系クラブ13団体，文化系クラブ13団体

	クラブ名	代表学生名	顧問名
11	ソフトボール部	熊木龍之介	山崎史恵
12	軟式野球部	渡邊尚也	吉田重和
13	男子バレーボール部	星 朋希	佐藤敏郎
14	学友会卓球部	捧 修斗	笹本嘉朝
15	硬式テニス部	荒岡宏輔	西海幸頼
16	バトミントン部	坂本幸太郎	佐藤裕紀
17	剣道部	高橋頌吾	中島郁子
18	フットサル部	丸山雄基	山本悦司
19	男子ハンドボール部	但野翔太	岩森 大
20	女子ハンドボール部	殿広亜未	岩森 大
21	アスレティックトレーナー部	卷瀨泰輝	熊崎 昌，三瀬貴生
22	よさこい部 舞桃会	千葉未鈴	江玉睦明
23	園芸部	牧 孝則	阿部 薫
24	茶道部	廣田咲羅	五十嵐紀子
25	和太鼓部	菅原明日香	高野晃輔
26	吹奏楽部	酒井杏菜	高野晃輔
27	手話部	龍田 栞	佐久間由紀
28	写真部	岩脇隆祐	山崎貴子
29	レクア. コム部	田村晴勇	丸田秋男
30	軽音部	田村彩人	木下直彦
31	VICON部	大滝 航	江原義弘
32	栄養サポート部	岡島知夏	澁谷顕一
33	Spring Board	岩谷佳樹	久保雅義
34	ピアエデュケーション部	広川未来	山口典子
35	さーぴす～20歳からの子宮頸がん予防～	小宮山紘規	藤井 豊
36	アルティメット部Scarlet	板垣志音	佐藤敏郎

合計36団体

(10) 学生表彰

2020年度学部卒業式・大学院修了式において、下記の表彰が行われた。

①学部（92名および3団体）

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
学長賞 (学業成績 優秀者)	理学療法学科	神居 寧	各学科で最も優秀な成績を修めた。
	作業療法学科	高橋早映	
	言語聴覚学科	清水日向子	
	義肢装具自立支援学科	大島沙菜	
	臨床技術学科	稲田菜乃	
	視機能科学科	山口夏奈	
	救急救命学科	関 駿哉	
	健康栄養学科	福村紗香	
	健康スポーツ学科	加藤諒香	
	看護学科	鈴木愛佳	
	社会福祉学科	五十嵐千尋	
医療情報管理学科	丸山晃仁		
学長賞 (課外活動 個人)	水泳部	田中優弥	第30回ユニバーシアード競技大会日本代表 (2019.7.4-7.14) 50m バタフライ 2位 第96回日本学生選手権水泳競技大会 (2020.10.1-10.4) 100m バタフライ 1位
		深澤 舞	第30回ユニバーシアード競技大会日本代表 (2019.7.4-7.14) 100m 平泳ぎ 2位 第96回日本学生選手権水泳競技大会 (2020.10.1-10.4) 200m 平泳ぎ 1位
	陸上競技部	澁谷 蒼	日本学生陸上競技個人選手権大会 (2019.6.9) 男子走り高跳 1位
	男子サッカー部	ンダウタラ	J1リーグ 横浜F・マリノス入団
学長賞 (課外活動 団体)	社会福祉学科 社会福祉専門ゼミ		ヤンマーアグリ株式会社主催 (2021.1.29) 第31回ヤンマー学生懸賞論文・作文 大賞受賞。
優秀賞 (学業成績 優秀者)	理学療法学科	神野美佳	学業成績が特に優秀で 人物に優れていた。
	理学療法学科	奥村昭太	
	理学療法学科	清水裕太	
	理学療法学科	齋藤寛代	
	理学療法学科	久村 卓	
	理学療法学科	舎川真侑	
	理学療法学科	金谷美佳	
	理学療法学科	小林拓夢	
	作業療法学科	古澤 慧	

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
優秀賞 (学業成績 優秀者)	作業療法学科	折橋佳那	学業成績が特に優秀で 人物に優れていた。
	言語聴覚学科	船井南那	
	言語聴覚学科	有賀 楓	
	義肢装具自立支援学科	宮澤佳希	
	義肢装具自立支援学科	桜沢友雅	
	臨床技術学科	猪越 静	
	臨床技術学科	佐藤悠佳	
	臨床技術学科	小池祐磨	
	臨床技術学科	新津美咲	
	臨床技術学科	田中文弥	
	視機能科学科	大野菜美	
	視機能科学科	松下隼也	
	視機能科学科	齋藤涼香	
	救急救命学科	白井開都	
	救急救命学科	中澤幸也	
	救急救命学科	鈴木輝真	
	健康栄養学科	佐々木真悠	
	健康栄養学科	永井綾音	
	健康スポーツ学科	佐藤和洋	
	健康スポーツ学科	渡辺百香	
	健康スポーツ学科	會津萌実	
	健康スポーツ学科	工藤慶郁	
	健康スポーツ学科	菅 聖翔	
	健康スポーツ学科	布施智美	
	健康スポーツ学科	奥村晴香	
	健康スポーツ学科	小泉 郁	
	健康スポーツ学科	江戸谷柚香	
	健康スポーツ学科	中濱大輔	
	健康スポーツ学科	渡瀬克紀	
	健康スポーツ学科	古庄和奏	
	健康スポーツ学科	柄澤杏夏	
	健康スポーツ学科	山本泰輝	
	看護学科	坂本佳奈子	
看護学科	阿部香穂里		
看護学科	岩渕真由		
看護学科	花岡まなみ		
看護学科	古畑美優		

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
優秀賞 (学業成績 優秀者)	社会福祉学科	岩村拓海	学業成績が特に優秀で 人物に優れていた。
	社会福祉学科	駒沢成美	
	社会福祉学科	石塚まや奈	
	社会福祉学科	小林春香	
	社会福祉学科	田口悠衣	
	社会福祉学科	長谷川雪乃	
	社会福祉学科	星野美佑	
	社会福祉学科	鶴巻ひかり	
	医療情報管理学科	鈴木柚季	
	医療情報管理学科	藤橋 南	
	医療情報管理学科	前田 凧	
	医療情報管理学科	熊倉菜月	
	医療情報管理学科	渡辺大輔	
優秀賞 (課外活動 個人)	水泳部	桑添 陸	日本選手権水泳競技大会 OWS 競技男子10km 5位 (2018.9.23) FINA マラソンスイミングワールドシ リーズ・ドーハ大会日本代表 (2020.2.15)
		菅野里奈	第95回日本学生選手権水泳競技大会 200m自由形7位 (2019.9.7) 第96回日本学生選手権水泳競技大会 200m自由形6位 (2020.10.1-10.4)
	女子サッカー部 アルビレックス新潟 レディース	園田悠奈	なでしこリーグ1部 アルビレックス新潟 レディース選手契約更新
		田中美和	なでしこリーグ1部 アルビレックス新潟 レディース選手契約更新
	陸上競技部	大沼桃香	第89回日本学生陸上競技対抗選手権大会 (2020.9.11-9.13) 女子4×400mR 7位
		松田知利	2019日本学生陸上競技個人選手権大会 (2019.6.9) 男子円盤投 4位
		神田千穂	2019日本学生陸上競技個人選手権大会 (2019.6.9) 女子円盤投 4位
		金子大貴	第33回U20日本陸上競技選手権大会 (2017.10.22) 男子走高跳び2位
	医療情報管理学科	佐藤汰星	Master the Mainframe 2019 成績優秀者 (2019.9.8-12.31)
優秀賞 (課外活動 団体)	強化指定ダンス部		第32回全日本高校・大学ダンスフェスティ バル (2019.8.6-8.9) 大学の部 創作コンクール部門 特別賞
	軟式野球部		第41回全日本大学軟式野球選手権大会 (2018.8.19-8.24) 3位

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
優秀賞 (社会活動 個人)	健康スポーツ学科	阿部 栞	新発田市と新潟医療福祉大学健康スポーツ学科が協働で行ったオリンピック・パラリンピック教育のうち障がい者スポーツ普及啓発活動に貢献したとして新発田市スポーツ推進課からの感謝状を授与された。 (2020.9.2-9.10)
		貝尾 凌	
		川上綾太	
		佐藤愉生	
		高橋彩恵	
	中林みなみ		
	栄養サポート部	宮本真菜	U19・タレント日本チーム オーストラリア合宿における栄養サポート活動に対して公益社団法人日本ボート協会から感謝状を授与された。(2019.2-3)
菊地未来			

②大学院（5名）

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
学長賞 (学業成績 優秀者)	医療福祉学専攻	平林 怜	博士後期課程で最も優秀な成績を修めた。
	保健学専攻	佐藤 成	修士課程で最も優秀な成績を修めた。
優秀賞 (学業成績 優秀者)	医療福祉学専攻	深谷泰山	学業・研究に熱心に取り組み、特に優れた論文を執筆した。
	健康科学専攻	五十嵐小雪	
	保健学専攻	渡邊 拓	

③学部 在学表彰（18名および2団体）

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
在学表彰 (課外活動 個人)	水泳部	加藤永遠	第62回日本選手権(25m)水泳競技大会 (2020.10.17-10.18) 50m平泳ぎ 5位
		盛 音葉	第62回日本選手権(25m)水泳競技大会 (2020.10.17-10.18) 50mバタフライ 7位
		笹原世玲菜	第96回日本学生選手権水泳競技大会 (2020.10.1-10.4) 4×100mフリーリレー 4位
		津田萌咲	第62回日本選手権(25m)水泳競技大会 (2020.10.17-10.18) 50mバタフライ 1位(学生新記録樹立)
		山崎 光	第96回日本学生選手権水泳競技大会 (2020.10.1-10.4) 4×100mメドレーリレー 6位
		大内紗雪	第96回日本学生選手権水泳競技大会 (2020.10.1-10.4) 50m自由形 6位
	武中香奈枝	第96回日本学生選手権水泳競技大会 (2020.10.1-10.4) 4×100mフリーリレー 4位	
	陸上競技部	山村紋叶	第89回日本学生陸上競技対抗選手権大会 (2020.9.11-9.13) 女子4×400mR 7位

表彰区分	所属	氏名	表彰理由
在学表彰 (課外活動 個人)	陸上競技部	中村花菜	第89回日本学生陸上競技対抗選手権大会 (2020.9.11-9.13) 女子4×400mR 7位
		菘輪夢未	第89回日本学生陸上競技対抗選手権大会 (2020.9.11-9.13) 女子走高跳び 3位
		中町真澄	U-20全国陸上競技会 (2020.10.23-10.25) 男子円盤投 1位
		木村玲奈	U-20全国陸上競技会 (2020.10.23-10.25) 女子やり投げ 3位
		堀井遥樹	第89回日本学生陸上競技対抗選手権大会 (2020.9.11-9.13) 男子走高跳び 3位
在学表彰 (課外活動 団体)	連携基礎ゼミ内 EM田村ゼミ		第3回パブコン～もしもあなたがスポーツ 庁長官だったら～ 優秀賞 (2019.11-2020.2)
在学表彰 (社会活動 個人)	健康スポーツ学科	大原有彩	新発田市と新潟医療福祉大学健康スポーツ 学科が協働で行ったオリンピック・パラリ ンピック教育のうち障がい者スポーツ普及 啓発活動に貢献したとして新発田市スポー ツ推進課からの感謝状を授与された。 (2020.9.2-9.10)
		工藤由宇	
		山田 岳	
		守屋健次郎	
		大溪麻央	
在学表彰 (社会活動 団体)	レクア.コム部		新潟市の民間社会福祉の向上と発展につく したことによる新潟市社会福祉協議会から 社会福祉功労者として表彰。 (2020.11.15)

(11) 海外研修

新型コロナウイルス感染症の世界的まん延により、実施することはできなかった。

(12) 学習支援センター

数学、解剖学・生理学、物理、化学、日本語表現を指導する講師および専属の事務兼コーディネーターを配置し、学習支援業務を行っている。感染症対策として、従来対面で行っていた個別指導は7割を、基礎セミナーはすべてをオンラインで実施した。また、専門科目を学ぶうえで必要な基礎知識の習得を目的とした学習動画を作成し、学生が必要な時にいつでも学べる環境を提供した。新入生には、動画配信による入学前セミナーを実施した。

ホームページの見直しを行い、活動内容をわかり易く伝え各種申込手続きが簡便にできるページに改修した。

学習指導の質の保証を目的に、学習支援センター講師として採用した大学院生に対し複数回の研修を行った。

- ① 個別指導利用件数・・・1,009件
- ② 基礎セミナー受講者数・・・1,039名
- ③ 学習動画配信数・・・19種 34本
- ④ 動画配信による入学前セミナー総視聴回数・・・5,087回

8) 強化指定クラブ成績

【水泳部】

・第96回日本学生選手権水泳競技大会

男子	100m バタフライ	優勝 (田中優弥 HS4)
男子	50m 自由形	2位 (田中優弥 HS4)
女子	100m 平泳ぎ	2位 (深澤 舞 HS4)
女子	200m 平泳ぎ	優勝 (深澤 舞 HS4)
女子	200m 自由形	6位 (菅野里奈 HS3)
女子	50m 自由形	6位 (大内紗雪 HS1)
女子	100m バタフライ	2位 (津田萌咲 HS2)
女子	4×100m フリーリレー	4位
女子	4×100m メドレーリレー	6位

・第62回日本選手権水泳競技大会 (25m)

男子	50m バタフライ	2位 (田中優弥 HS4)
男子	50m バタフライ	3位 (水沼尚輝 職員)
男子	100m バタフライ	2位 (水沼尚輝 職員)
男子	100m バタフライ	3位 (田中優弥 HS4)
男子	50m 自由形	優勝 (松井浩亮 職員)
男子	100m 自由形	2位 (松井浩亮 職員)
男子	50m 平泳ぎ	5位 (加藤永遠 HS3)
女子	50m バタフライ	優勝 (津田萌咲 HS2)
女子	50m バタフライ	7位 (盛 音葉 HS3)
女子	50m 自由形	2位 (佐藤 綾 職員)
女子	50m 自由形	7位 (大内紗雪 HS1)
女子	100m 自由形	3位 (佐藤 綾 職員)
女子	100m 平泳ぎ	4位 (深澤 舞 HS4)

・第96回日本選手権水泳競技大会

男子	50m 自由形	2位 (松井浩亮 職員)
男子	100m 自由形	4位 (松井浩亮 職員)
男子	100m バタフライ	2位 (水沼尚輝 職員)
男子	100m バタフライ	4位 (田中優弥 HS4)
女子	100m 自由形	5位 (佐藤 綾 職員)
女子	200m 平泳ぎ	3位 (深澤 舞 HS4)

・ジャパンオープン2020

男子	50m 自由形	2位 (松井浩亮 職員)
男子	100m 自由形	4位 (松井浩亮 職員)
男子	50m バタフライ	優勝 (田中優弥 HS4)
男子	50m バタフライ	2位 (水沼尚輝 職員)
男子	100m バタフライ	2位 (水沼尚輝 職員)
男子	100m バタフライ	6位 (田中優弥 HS4)
女子	100m 自由形	3位 (佐藤 綾 職員)
女子	200m 平泳ぎ	5位 (深澤 舞 HS3)
女子	50m 背泳ぎ	6位 (山崎 光 HS2)
女子	50m バタフライ	7位 (津田萌咲 HS2)

【陸上競技部】

- ・第89回日本学生陸上競技対校選手権大会
 - 男子 走高跳 3位 (澁谷 蒼 HS4)
 - 男子 走高跳 3位 (堀井遥樹 HS3)
 - 女子 走高跳 3位 (蓑輪夢未 HS1)
 - 女子 やり投げ 8位 (木村玲奈 PT1)
 - 女子 4×400mリレー 7位
- ・U20全国陸上競技大会2020
 - 男子 円盤投 優勝 (中町真澄 HS1)
 - 女子 走高跳 6位 (蓑輪夢未 HS1)
 - 女子 やり投げ 3位 (木村玲奈 PT1)
- ・第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 24位

【男子サッカー部】

- ・第48回北信越大学サッカーリーグ 1部 優勝
- ・新潟日報杯・共同通信杯 第25回新潟県サッカー選手権大会 優勝 (天皇杯新潟県代表)
- ・天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権大会 3回戦進出
- ・atarimaeni cup (全日本大学サッカー代替大会) 出場
- ・第46回北信越フットボールリーグ1部 1部 5位
- ・第18回インディペンデンスリーグ全日本大学サッカーフェスティバル 出場

【女子サッカー部】

- ・第29回全日本大学女子サッカー選手権大会 ベスト8進出
- ・2019 なでしこチャレンジリーグ (EAST) 6位
- ・第42回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会 出場

【男子バスケットボール部】

- ・第54回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選会 3位

【女子バスケットボール部】

- ・第54回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選会 2位
- ・第72回全日本大学バスケットボール選手権大会 出場

【女子バレーボール部】

- ・令和2年度全日本大学バレーボール大会北信越代表チーム決定戦 北信越代表権獲得
- ・第67回全日本バレーボール大学女子選手権大会 出場

【硬式野球部】

- ・関甲信学生野球連盟 秋季1部リーグ 4位

【ダンス部】

- ・秋田モダンダンスコンクール 出場

【卓球部】

- ・第68回秋季北信越学生卓球選手権大会 1部 4位

9) 国家試験・資格試験結果（2021年5月12日現在）

種 別	本 学				全 国
	受験者数	合格者数	合格率	前年実績	合格率
理学療法士	121	117	96.7%	98.3%	79.0%
作業療法士	29	28	96.6%	100.0%	81.3%
言語聴覚士	34	27	79.4%	90.6%	69.4%
義肢装具士	37	30	81.1%	78.1%	72.7%
臨床工学技士	98	91	92.9%	96.6%	84.2%
臨床検査技師	85	69	81.2%	68.2%	80.2%
視能訓練士	46	45	97.8%	100.0%	91.1%
救急救命士	52	50	96.2%	—	86.2%
管理栄養士	45	44	97.8%	97.7%	64.2%
健康運動指導士	20	17	85.0%	77.8%	61.9%
アスレティックトレーナー（実技）※	3	2	66.7%	100.0%	非公開
看護師	84	83	98.8%	98.9%	90.4%
保健師	50	50	100.0%	98.4%	94.3%
助産師	5	5	100.0%	100.0%	99.6%
社会福祉士	122	65	53.3%	56.4%	29.3%
精神保健福祉士	12	12	100.0%	85.7%	64.2%
介護福祉士	5	5	100.0%	92.9%	71.0%
診療情報管理士	52	25	48.1%	87.5%	62.4%
診療報酬請求事務能力認定試験	44	11	25.0%	72.0%	42.8%
基本情報技術者試験	3	2	66.7%	71.4%	41.8%

10) 就職状況

(1) 就職相談室等の利用状況

名称	スタッフ数	開室日数		開室時間	年間相談件数
		週当たり	年間		
就職センター	9	5	246	8:45~17:00	9,294

(2) 求人状況

学科	件数	人数
理学療法学科	1,050	2,375
作業療法学科	1,122	2,535
言語聴覚学科	916	1,775
義肢装具自立支援学科	170	280
臨床技術学科	700	1,163
視機能科学科	161	220
救急救命学科	23	49
診療放射線学科	156	259

学科	件数	人数
健康栄養学科	297	561
健康スポーツ学科	69	180
看護学科	956	2,937
社会福祉学科	1,834	4,748
医療情報管理学科	237	481
その他	1,092	3,230
計	8,783	20,793

(3) 学科別就職状況

学科	卒業者数	就職希望者数	進学者数	就職者数	内定率(%)
理学療法学科	125	99	19	99	100.0%
作業療法学科	35	35	0	35	100.0%
言語聴覚学科	40	32	0	32	100.0%
義肢装具自立支援学科	42	41	0	41	100.0%
臨床技術学科	101	91	0	89	97.8%
視機能科学科	47	44	0	44	100.0%
救急救命学科	52	44	0	44	100.0%
健康栄養学科	45	43	2	43	100.0%
健康スポーツ学科	208	182	12	181	99.5%
看護学科	87	85	2	85	100.0%
社会福祉学科	130	121	1	121	100.0%
医療情報管理学科	91	85	3	84	98.8%
計	1,003	902	39	898	99.6%

※ 進学者の進学先は大学院, 大学, 専門学校を含む。

(4) 都道府県別就職状況

都道府県	就職者数	都道府県	就職者数
北海道	5	山梨県	1
青森県	2	長野県	50
岩手県	1	岐阜県	2
宮城県	14	静岡県	8
秋田県	8	愛知県	7
山形県	27	京都府	3
福島県	38	大阪府	7
茨城県	8	兵庫県	5
栃木県	11	奈良県	1
群馬県	21	和歌山県	2
埼玉県	44	島根県	1
千葉県	35	広島県	1
東京都	109	徳島県	2
神奈川県	38	福岡県	2
新潟県	395	大分県	1
富山県	26	海外(シンガポール)	1
石川県	22		

10. その他

1) 新潟医療福祉大学附属インターナショナルこども園

(1) 定員

19名（0歳児6名 1歳児4名 2歳児3名 3歳児3名 4歳児2名 5歳児1名）

(2) 園児数

2020年度園児数：11名（従業員枠 7名 地域枠4名）

内訳：0歳児4名（地域枠1名） 1歳児1名 2歳児1名（地域枠1名）

3歳児3名（地域枠1名） 4歳児2名（地域枠1名） 5歳児1名

一時預かり登録：2名

内訳：1歳児1名 2歳児1名

(3) 2020年度の主な行事

6月 七夕

9月 ミニ運動会

10月 芋ほり, ハロウィンパレード

11月 勤労感謝デーイベント

12月 クリスマス会

学校法人 新潟総合学園
新潟医療福祉大学年報

2020（令和 2）年度

発行日 2021年9月1日

編集・発行 新潟医療福祉大学
〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地
TEL : 025-257-4455
FAX : 025-257-4456
URL : <https://www.nuhw.ac.jp>

印刷 株式会社ウイザップ